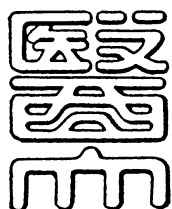


日本医科大学研究業績年報

第 39 卷

Nippon Medical School Research Annual

Vol. 39



平成 4 (1992) 年度

April 1992 ~ March 1993

日本医科大学研究業績年報

第 39 卷

Nippon Medical School Research Annual

Vol. 39

平成 4 (1992) 年度

April 1992 ~ March 1993

ま え が き

学長 庄 司 佑

平成4年度の研究業績年報が刊行されることとなった。本学の基礎科学各科、基礎・臨床医学の各講座、さらには大学または病院の各付置施設などにおける1か年の成果を整理総括するものであり、大学として研究機関としての発展の軌跡であり、真に重要な出版物であることは申すまでもない。

本学における各方面での研究発表は毎年しだいに数を増してきており、内容の充実もまた明らかであるが、日本国内での、さらには世界の学問的水準に達する発表の数はなお多くはないし、国際的にそのまま通用する外国語での発表も、国内の本学に比肩する他大学にくらべ少ないと言わざるを得ない。

医科大学に勤務する者にとって、医学に直接関与する分野での研究業績発表の場は多いが、種々の面から発表の質と量は他学と比較され易い。

個々の教職員の研究が高く評価され、研究者として尊敬され、胸を張って学会に臨めることが、そのまま大学の評価をあげることになり、よい研究者と豊富な研究費の吸引力となって、さらに将来の進歩向上の原動力と化するわけで、一步一步の地道な努力の堆積が将来の大成に連なるのである。

各部門の長の位置にある者は研究の責任者であり、先頭に立って刻苦勉励し、所属する者の成果をまとめて大きな業績にまとめて頂きたいし、個々の研究者はそれぞれの持場で各自のスケールに相応する仕事をすすめ、それらを組立てるリーダーに豊かな内容を提供して、組織としての効果をあげて欲しい。

基礎科学に勤務する方達は、医科大学に所属しながら、医学に直接は関係しない部門での研究が多く、若干のハンディキャップを持つ不利はあるが、現在の科学領域では、よき研究者であることが、よき教育者になる必要条件ではないにしても強く希望される条件であることを御理解頂き、今後一層の御研鑽を期待する。

本学でも自己点検評価の委員会が設置され活動を開始していて、この業績集はそのよい材料となる。

自己評価がさらにすすめば他学との相互評価に進むわけであるが、自己満足におちいらず、他からの厳しい評価に耐えられる、他学に誇り得る実績をあげられることを強く希望する。

今回より各部局でまとめられたフロッピーディスクを借用して手間を省くことになったが、これが進めば出版に要する時間と費用が大幅に節約出来ると期待しており皆様の御協力をお願いする。

本年報の編集に盡力された研究委員会委員長島田 隆教授および委員の方々、実務担当の研究課職員の方々に感謝の意を表する。

目 次

〔1〕基礎科学

1. 人文科学・社会科学	1
[国文学]	1
[哲学・倫理学]	1
[心理学]	2
[歴史学]	3
[社会学]	4
[文化人類学]	5
[社会文化論]	5
[経済学]	5
[法 学]	6
2. 自然科学	7
[数 学]	7
[物理学]	9
[化 学]	9
[生物学]	11
3. 外国語	13
[英 語]	13
[ドイツ語]	16
[フランス語]	17
4. 保健体育	18
[保健体育]	18

〔2〕基礎医学

1. 解剖学第一講座	21
2. 解剖学第二講座	23
3. 生理学第一講座	26
4. 生理学第二講座	29
5. 生化学第一講座	31
6. 生化学第二講座	33
7. 薬理学講座	36
[薬理学]	36
[臨床薬理センター]	37
8. 病理学第一講座	38
9. 病理学第二講座	43
10. 微生物学・免疫学講座	49
11. 衛生学・公衆衛生学講座	53
12. 法医学講座	54

13.	医療管理学講座	57
14.	基礎医学共同研究利用施設	59
	[実験動物管理室]	59
	[中央電子顕微鏡研究施設]	61
	[基礎医学情報処理室]	63
〔3〕臨床医学		
1.	内科学第一講座	67
	[付属病院第1内科]	67
	[付属病院老人科]	90
	[第二病院内科]	94
	[多摩永山病院内科]	96
2.	内科学第二講座	99
	[第一病院内科]	99
	[第一病院リウマチ科]	110
3.	内科学第三講座	112
	[付属病院第3内科]	112
4.	内科学第四講座	124
	[付属病院第4内科]	124
5.	精神医学講座	133
	[付属病院神経科・第一病院神経科]	133
6.	小児科学講座	140
	[付属病院小児科]	140
	[第一病院小児科]	145
	[第二病院小児科]	148
	[多摩永山病院小児科]	149
7.	放射線医学講座	152
	[付属病院放射線科]	152
	[第一病院放射線科]	159
	[第二病院放射線科]	161
	[多摩永山病院放射線科]	163
8.	皮膚科学講座	166
	[付属病院皮膚科]	166
	[第一病院皮膚科]	170
	[第二病院皮膚科]	172
9.	外科学第一講座	174
	[付属病院第1外科]	174
	[多摩永山病院外科]	193
	[多摩永山病院消化器科]	195
10.	外科学第二講座	197
	[第一病院外科・付属病院胸部外科]	197

	[第一病院内視鏡科].....	213
	[第二病院外科].....	215
11.	脳神経外科学講座.....	219
	[付属病院脳神経外科].....	219
	[多摩永山病院脳神経外科].....	228
12.	整形外科科学講座.....	231
	[付属病院整形外科・第一病院整形外科・第二病院整形外科・多摩永山病院整形外科].....	231
13.	産婦人科学講座.....	237
	[付属病院産婦人科].....	237
	[第一病院産婦人科].....	243
	[第二病院産婦人科].....	247
	[多摩永山病院産婦人科].....	250
14.	耳鼻咽喉科学講座.....	252
	[付属病院耳鼻咽喉科].....	252
	[第一病院耳鼻咽喉科].....	257
	[第二病院耳鼻咽喉科].....	258
	[多摩永山病院耳鼻咽喉科].....	260
15.	泌尿器科学講座.....	261
	[付属病院泌尿器科].....	261
	[第一病院泌尿器科].....	266
	[第二病院泌尿器科].....	268
	[多摩永山病院泌尿器科].....	268
16.	眼科学講座.....	272
	[付属病院眼科・第一病院眼科・第二病院眼科・多摩永山病院眼科].....	272
17.	麻酔科学講座.....	277
	[付属病院麻酔科].....	277
	[第一病院麻酔科].....	281
	[第二病院麻酔科].....	283
	[多摩永山病院麻酔科].....	284
18.	救急医学講座.....	286
	[付属病院救命救急センター].....	286
	[多摩永山病院救命救急センター].....	302
19.	形成外科学講座.....	306
	[付属病院形成外科].....	306
20.	付属病院付置施設等.....	312
	[付属病院集中治療室].....	312
	[付属病院病理部].....	319
	[付属病院中央検査部].....	320
	[付属病院薬剤部].....	322
	[付属病院生理機能センター].....	324

21.	第一病院付置施設等	325
	[第一病院東洋医学センター]	325
	[第一病院血液センター]	325
	[第一病院病理部]	326
	[第一病院薬剤科]	329
22.	第二病院付置施設等	330
	[第二病院消化器病センター]	330
	[第二病院リハビリテーションセンター]	332
	[第二病院病理部]	334
	[第二病院中央検査室]	335
	[第二病院薬剤科]	337
23.	多摩永山病院付置施設等	338
	[多摩永山病院病理部]	338
	[多摩永山病院中央検査室]	340
	[多摩永山病院薬剤科]	341
	[多摩永山病院看護部]	342
〔4〕 付置研究施設		
1.	老人病研究所	347
2.	ワクチン療法研究施設	351

〔1〕 基 礎 科 学

1. 人文科学・社会科学

【国文学】

研究概要

昨年度に引き続き、文学・伝承を通して日本人の精神文化の基層を探る作業を研究の中心に置いた。日本人の伝統的な観念・思考パターンは現代までも地下の水脈の如く生き続け、無意識の中にその行動を規定し、芸術作品などの形をとって現われる場合が多いからである。その1. 日本人の死生観の由来を死の起源神話の中に探った。日向神話前半のコノハナノサクヤビメにまつわる死の起源神話について、そのモチーフ自体は日本独特のものではなくインドネシアなどに広い分布をもつものであるが、『古事記』には天皇の短命・死について特記している箇所がある。天皇の長寿は祝福されて当然であるのに、その夭折を確言するのは何故か。従来この話はあまり論じられていないが、この神話を考察した結果、天皇短命伝承の中には穀霊ホノニギノミコトを介して、死と復活の要素、水による再生の信仰が隠されていることが解明できた。その2. 学生の質問がきっかけとなり、教室で文学に現われた性の転換及び人間の生き方の問題を取り上げた。前者については古典として『とりかへばや物語』を考察した。この作品からは好奇的・変態的な面よりは、性転換の生活からくる悲喜劇、性格が男女あべこべの兄妹に対する親の愛情とか悲嘆、男装の姫君を通しての女性の生き方の問題などの方が強く読み取れた。これはさらに学科の垣根を取り払い、西欧などの作品との比較、また人間の深層心理にある両性具備への希求などとも絡めて心理学方面からも考えるべき問題であろう。後者については『平家物語』とそれに取材した木下順二の『子午線の祀り』を併読することによって、さまざまな人間像を考察することができた。その3. 学生の希望により月1回読書会をもった。時間の関係と本の種類によって、2年生の小人数になったが、『源氏物語』橋姫の巻の精読を試みた。その4. 古典芸能を現代の視点で捉える作業を続けている。

研究業績

論文

- 1) 福島千賀子：〔原著〕死の起源神話とコノハナノサクヤビメ。日本医科大学基礎科学紀要, No. 14, 13~26, 1993.

【哲学・倫理学】

研究概要

1. 1992年9月から翌93年8月までドイツ連邦共和国ボン大学での在外研究のため、日本を留守にしている。長島の課題は「ドイツ観念論の研究」、とりわけ、シェリングと自然哲学の研究である。特に、現在はフィヒテとシェリングの関係を中心にして、当時の認識論から存在論への転換が中心的テーマである。ボン、ベルリン、ミュンヘン、リュールベックの研究者と連絡を取りつつ研究を進めている。なお現在の哲学、倫理学の担当者はドイツ観念論の研究者であり、自然哲学を共通のテーマにし、この間共同して研究を行ってきた人々たちである。

2. 更に、渡独前1992年の7月に「日本シェリング協会」の結成に参加し、とりわけ、この学会の記念論集の企画、今後の学会企画としてのシェリング全集の刊行、シェリングレキシコンの作成及びシェリング論集の外国語版の企画などに携わっている。最初の2年間（第一期）は理事、常任幹事になったために、今後は自然哲学とともにシェリング協会の仕事になるだろう。自然哲学研究の方面でも、論集を連続的に刊行する目処がつき第1集が93年度中には刊行される予定であるが、その編集に携わっている。また、翻訳の企画も進行しており、監修することになっている。また、国際的なネットワークの呼びかけがあるために、この呼びかけにも参加していく方向を検討している。

3. 生命倫理に関してもこの間取り組んで来ているが、またこの間生命倫理学といわれる問題群を整理してきたが、

この整理の段階から、次の段階に進む必要がある段階になっている。そして応用倫理学の研究として、生命倫理学と環境倫理学とを結びながら研究を進めるべき段階に到達しているように思われる。この方面でも、現在論集と翻訳とを検討しているところである。

研究業績

論文

- 1) 長島 隆：〔原著〕シェリング自然哲学の射程；「生成」の存在論的把握と有機体の問題，理想，649，55～64，1992.

著書

- 1) 長島 隆：〔分担・翻訳〕子供を迎える人の本；「養親」のための手引き，（岩崎暁男，伊坂青司監修），どうぶつ社，1992.

研究発表

- 1) 長島 隆：〔セミナー報告〕「科学史と自然哲学と—松山寿一『ドイツ自然哲学と近代科学』にふれて」自然哲学研究会，1992.

[心理学]

研究概要

本年度は昨年に引き続きコラージュ療法の臨床研究および基礎研究に加え，啓蒙的活動として総務庁人事局他7カ所の要請を受けコラージュ療法のセミナーやカウンセリングの講演を行った。また，東京コラージュ療法研究会が本教室を事務局として4月に発足し，6月，9月，11月，1993年2月の計5回開催し，主に事例研究を行った。

また，昨年来準備を進めていた「体験コラージュ療法」（共著）が9月に発行された。さらに本年度は1993年夏に出版予定の「コラージュ療法入門」（共著）と「コラージュ療法—基礎的研究と実際」（単著）の準備に忙殺された年であった。

また，昨年より始めたオープンスタディールームは，引き続き週一回開室した。本年度は学生の希望により箱庭作成を体験し，話し合うなどを中心に5～6名が参加した。

研究業績

論文

- 1) 杉浦京子：〔原著〕コラージュ療法の基礎的研究Ⅰ；表現特徴の発達に関するパイロット・スタディー，日本医科大学基礎科学紀要，No. 13，13～76，1992.
- 2) 服部令子¹⁾，杉浦京子（¹⁾国立精神・神経センター精神保健研究所）：〔原著〕対人恐怖に対するコラージュ療法，日本芸術療法学会誌，No. 23～1，76～84，1992.
- 3) 杉浦京子：〔原著〕コラージュ療法の基礎的研究Ⅱ；表現特徴に関するパイロット・スタディー，日本医科大学基礎科学紀要，No. 14，11～34，1993.

著書

- 1) 杉浦京子，森谷寛之¹⁾，入江 茂²⁾，服部令子³⁾，近喰ふじ子⁴⁾（¹⁾鳴門教育大学，²⁾入江クリニック，³⁾早稲田大学，⁴⁾佼成病院）：〔共著〕体験コラージュ療法，第3章自己啓発としての体験コラージュ，P. 3～5，P. 52～83，山王出版，1992.

学会発表

- 1) 杉浦京子：〔個人研究発表〕発達的にみた一般人のコラージュ表現特徴. 第1回東京コラージュ療法研究会, 1992.
- 2) 近喰ふじ子¹⁾, 杉浦京子 (¹佼成病院)：〔一般演題〕コラージュ療法におけるアプローチの応用(1)；母子相互法について. 第33回日本心身医学会, 1992.
- 3) 杉浦京子：〔個人研究発表〕発達的にみたコラージュ表現；幼児から老人まで. 第1回東海コラージュ療法研究会, 1992.
- 4) 入江 茂¹⁾, 森谷寛之²⁾, 杉浦京子, 服部令子³⁾, 近喰ふじ子⁴⁾, 橋口英俊⁵⁾, 山中康裕⁶⁾ (¹入江クリニック, ²鳴門教育大, ³早稲田大学, ⁴佼成病院, ⁵東京家政大学, ⁶京都大学)：〔シンポジウム〕心理療法におけるコラージュ療法の可能性(その2). 第11回日本心理臨床学会, 1992.
- 5) 近喰ふじ子¹⁾, 杉浦京子, 服部令子²⁾ (¹佼成病院, ²早稲田大学)：〔一般演題〕小児心身症へのコラージュ療法の導入；母子相互法について. 第24回日本芸術療法学会, 1992.
- 6) 杉浦京子：〔事例報告〕小4女子場面減黙症の事例. 第52回日本臨床教育研究会, 1993.

〔歴史学〕

研究概要

日本中世史と日本医学史の2ジャンルを専攻しているが、本年も例年と同じく前者に偏している。医学史関係の論稿は、船橋氏のルーツを扱ったもの一篇のみであった。

本年度には、大きく2点が目立つ。村上直（法政大教授）、圭室文雄（明治大教授）、丹羽邦男（神奈川大教授）などと共に編纂委員兼、分担執筆をしてきた『神奈川県姓氏家系大辞典』が数年間の努力の末、ついに発刊されたことがその1点である。本書において奥富は、同県の原始、古代、中世を一人で担当した上、伊勢原市も専当した。

本年度で目立つ第2点は本学、湘南短大、神奈川歯大などの紀要に分けて発表してきた相模三浦一族関係の論考がひとまず完了したことである。若干の訂正増補の後、近々に著書として刊行する予定である。

なお、研究、教育のほかに啓蒙をも使命と見、その方面についても、朝日カルチャー新宿校、同横浜校、東急カルチャースクールなどのほか、江東区、板橋区などでも講演を行ってきたほか、1992年末には前早大教授熊谷幸次郎氏手拓の「日本古鐘銘拓本展」（早大総合学術センター）の委員をも務めた。

研究業績

論文

- 1) 奥富敬之：〔原著〕比企・畠山・和田三乱と相模三浦一族. 日本医科大学基礎科学紀要, 12, 1~22, 1992.
- 2) 奥富敬之：〔原著〕三浦半島の歴史(二). 湘南文学, 3, 154~160, 1992.
- 3) 奥富敬之：〔原著〕西国防府所在の頼朝の墓. 歴史読本, 17, 7, 268~269, 1992.
- 4) 奥富敬之：〔原著〕鎌倉の略史. 毎日グラフ別冊, 105~112, 1992.
- 5) 奥富敬之：〔原著〕鎌倉幕府の実力者10人. 歴史読本, 17, 14, 109~119, 1992.
- 6) 奥富敬之：〔原著〕噂の源頼朝変死事件. 歴史と旅, 19, 13, 66~73, 1992.
- 7) 奥富敬之：〔原著〕源義経伝説. 歴史読本, 37, 20, 166~167, 1992.
- 8) 奥富敬之：〔原著〕もしも神風がなかったら. ザ・ビッグ・マン, 3, 1, 123~124, 1992.
- 9) 奥富敬之：〔原著〕三浦半島の歴史(三). 湘南文学, 4, 152~159, 1992.
- 10) 奥富敬之：〔原著〕史伝・相模三浦一族の危機. 日本医科大学基礎科学紀要, 13, 1~25, 1992.
- 11) 奥富敬之：〔原著〕清和源氏をめぐる謎と異説. 歴史と旅, 19, 17, 150~157, 1992.
- 12) 奥富敬之：〔原著〕賜姓・名字と放氏・削名字. 歴史と旅, 19, 18, 94~99, 1992.

- 13) 奥富敬之：〔原著〕相模三浦一族の滅亡．神奈川県立大学基礎科学論集，10，13～29，1992．
- 14) 奥富敬之：〔原著〕漢方医船橋氏のルーツ．歴史と旅，20，5，124～131，1993．

著 書

- 1) 奥富敬之：〔分担〕日本神話・伝説総覧（義経の項），p. 166～167，新人物往来社，1992．
- 2) 奥富敬之：〔分担〕日本史大事典（第2巻），平凡社，1993．
- 3) 奥富敬之：〔編纂・分担〕神奈川県姓氏家系大辞典．角川書店，1993．

〔社会学〕

研究概要

社会的出身や育った背景が違い今の生活状況も異なる多様な人々は、いかにして共生しうるか。この問いに対して、近年は多方面からのアプローチが試みられているが、ここでは多くの異質な人々が共生する社会の存立条件を、主に実証的な調査研究による考察を進めている。研究テーマは、大きく分けると2つの系統に整理される。第1の系統は、社会階級・階層に関する理論的・実証的研究である。具体的には、社会の階級・階層構造と個人の側の実践との相互規定関係について、地域を媒介項において究明するという方法で進めている。第2の系統は、現代の地域社会の諸問題、特に高齢者の福祉問題とその政策的な対応に関する調査研究である。具体的には、種々の社会福祉サービスに対するニーズの推計把握およびその指標化について検討を進めている。この方面の研究は、部分的には第1の関心の応用と位置づけることが可能であろう。本年は以上のような関心に従って、ヴィネット方式の意識調査やフィールド調査の分析を進めた。

研究業績

論 文

- 1) 野呂芳明：〔原著〕家族関係・住居の種類と年金意識（研究プロジェクト報告：ヴィネット方式のアンケート調査による適正な年金給付額の推計）。季刊社会保障研究，28～1，55～63，1992．
- 2) 野呂芳明：〔原著〕世代・家族と公的年金に対する意識。家族研究年報，18，22～35，1993．

著 書

- 1) 野呂芳明：〔分担〕データを整理・分析する；基本からコンピュータまで，“社会学の宇宙”（川崎賢一，藤村正之編），P. 91～101，恒星社厚生閣，1992．
- 2) 野呂芳明：〔分担〕社会階層，“社会学の宇宙”（川崎賢一，藤村正之編），P. 157～163，恒星社厚生閣，1992．
- 3) 野呂芳明：〔分担〕階層構成と市民生活，“都市政策と市民生活；福山市を対象に”（似田貝香門，蓮見音彦編），P. 77～92，東京大学出版会，1993．

学会発表

- 1) 野呂芳明：〔シンポジウム〕年金意識と世代・家族；ヴィネット方式による公正な年金額の調査データより（現代家族と世代；支援と負担のゆくえ）。第375回家族問題研究会大会，1992．
- 2) 野呂芳明：〔一般報告〕福山市における階層構成と市民生活について。第65回日本社会学会大会，1992．

[文化人類学]

研究概要

人間の行動原理と文化・文明の変容ならびに現代における大きな社会的問題との関連性について究明するとともに、これらの諸問題の根本的な解決法について模索している。今まで、「現代社会への適応と精神の偏向現象」、「人間の行動原理と環境問題」等について整理してきたが、今年は「生活の豊かさ」の本質についてまとめた。次年度は、「役割認知の諸相と社会構造・社会適応との関連性」について焦点を当て、文明の変容原理ならびに社会的諸問題の本質についてさらに究明していきたい。なお、人間の精神世界あるいは文化の地域的特性を知る手法としての色彩選択テストの開発研究も継続中である。

研究業績

論文

- 1) 伊藤末博：〔原著〕生活の豊かさ、日本医科大学基礎科学紀要，No. 14，35～44，1993。

学会発表

- 1) 伊藤末博，丸山芳也¹⁾（¹⁾秩父中央病院）：〔一般講演〕色彩象徴過程と人格構造に関する精神医学・交叉文化心理学的研究第11報；地域理解における CCT の効用と限界，第56回日本心理学会総会，1992。

[社会文化論]

研究概要

わが国で初の『港湾産業事典』の執筆および共同研究に専念した。項目は主に、イギリス、ドイツ、アメリカ、カナダ、日本、諸国の社会、文化とミナトの経済・社会における国際物流社会・文化をメインとした、史的発達過程について記述した。

主な項目は次のとおりである。①「国際港湾社会文化と言論の自由」、「港湾における情報産業と社会」、「カナダの港湾都市の社会・文化」、「ドイツの（ハンブルグ自由都市）社会・文化とポート、オーソリティ」、「ロンドン港の社会・文化とベニー大学」、「米国のオークランド港とジャック・ロンドン・スクエア」、「国際港都、横浜とシー・ポート・メディア」、「日本の港湾労働と健康管理」の諸領域について触れた。つまり、人と人、国と国、すべてのコミュニケーションの有効性をセントラル・フォーカスとして記述した。

刊行は本年の7月の予定。発行所は（財）港湾労働経済研究所、販売店は成山書店。その他、（社）東京都港湾福利厚生協会（官轄は東京都庁）の研究委託。テーマは：東京都の港湾労働者の厚生施設とコミュニティ・機能。

研究業績

著書

- 1) 荒木智種：〔自著〕「国際港湾社会文化概説」；一人と人，国と国，すべての交流一；（財）港湾労働経済研究所発行，p.p. 1—164，1992年。

[経済学]

研究概要

経済理論および日本経済・世界経済の現状把握のための研究会を組織し、本年度はとくに「日本の経済システム」を中心に研究を進めた。

また、「21世紀の教育と産業を考える研究会の事務局」を担当し、以下のテーマの調査研究を進め、論文等として発表した。

(1) コンピュータ・ネットワーク利用の「光と陰」、および情報化の進展とともに必要となる SE、プログラマー等の育成問題について

(2) 産業構造の高度化に対応した人材育成の課題について

(3) 基礎研究の振興と研究人材の育成について

さらに環境教育（とくに大学における）の現状について調査中であり、近く報告をまとめる予定である。

研究業績

論文

- 1) 長谷部孝司¹⁾、秋本福夫²⁾、三輪春樹（¹⁾東京成徳大学、²⁾東海大学工学部）：〔報告〕調査報告。産業構造の高度化と理工系出身者の人材問題に関する調査研究。P. 35～150、(財)産業研究所、1992。
- 2) 三浦宏一¹⁾、犬田 充²⁾、三輪春樹、立原 繁²⁾、長谷部孝司³⁾（¹⁾東海大学文明研究所、²⁾同政治経済学部、³⁾東京成徳大学）。〔報告〕：ニューメディア利用による在宅医療システム。電気通信普及財団調査研究報告書、7、278～287、(財)電気通信普及財団、1992。
- 3) 三浦宏一¹⁾、三輪春樹、長谷部孝司²⁾、立原 繁³⁾、野口正人³⁾（¹⁾東海大学文明研究所、²⁾東京成徳大学、³⁾東海大学政治経済学部）。〔報告〕情報通信利用の高度化に伴う人材育成のあり方。電気通信普及財団調査研究報告書、7、244～250、1993。

著書

- 1) 三輪春樹：〔分担〕高度情報社会における人材育成；その社会経済的位置づけ。“情報通信利用の高度化に伴う人材育成の在り方に関する調査研究報告書”（21世紀の教育と産業を考える研究会編）、P. 1-1-1-4、政策科学研究所、1992。
- 2) 岩田恵一¹⁾、三輪春樹（¹⁾NTT データ通信）：〔分担〕社会的階層構造に対する影響。“コンピュータ・ネットワークの社会活動に対する影響に関する調査研究”（21世紀の教育と産業を考える研究会「情報化」小委員会編）、P. 94～102、政策科学研究所、1992。

〔法 学〕

研究概要

人は、自分の死後の財産関係や身分関係について自分で処理したいと考える。これが、遺言である。その遺言の仕方について、遺言とはどういうものか、遺言書はどう作成するのか、遺言の効力はどうあるのか、遺言の事故とトラブル、遺産にかかる税金はどうあるべきかなどについての項目を設け、さらに遺言に関する細かい事例を取り上げ、現実に起こりうる問題点を紹介した本である。

離婚の形態にはさまざまな要因が考えられる。民法770条1項5号には、その他婚姻しがたい重大な事由が含まれるが、治癒しがたい病気にかかった場合に、夫婦は、婚姻を継続できないほどの婚姻破綻に至ったとみるべきかどうかについて、老人性痴呆症としてのアルツハイマー病、癌、身体障害などを参考にしながら自論を展開したものである。特に、同号1項4号に該当した場合の精神病離婚との関係をどうみることが争点であり、夫婦間の協力扶助義務の履行状態を検討する。

研究業績

著書

- 1) 森田悦史：〔分担〕やさしい遺言のはなし（小野幸二編）遺言の効力，公正証書遺言，外国での遺言，危急遺言の方法等 法学書院，1992.

学会発表

- 1) 森田悦史：（報告）治療し難い病気と婚姻破綻の構造について，日本医療法政学会，1992.

2. 自然科学

〔数 学〕

研究概要

三宅：数学教育学会を活動の拠点としているが，数学教育へのパソコン導入についての研究は一段落させて，数学の文化史的な調査研究とファジー理論の数理的研究に力点を移動しつつある．前者に於いて，明治維新前後の和算から洋算への変換の時期に興味を抱いている．一方ファジー理論に於いて，ファジー測度に焦点を当てて研究すべく，資料収集および基礎理論の考究につとめている．

伊藤：主にポジトロン CT による中枢神経受容体のインビボでの結合能の定量計測法の確立について，科学技術庁放射線医学総合研究所などと共同研究を行っている．

儀我：手がけている論文に使うため，ベクトル解析と Schwartz の超関数論について調べた．

飯田：コンピュータと深くかかわりのあるアルゴリズムについて，グラフ論的問題を中心に据え，アルゴリズムの発見，改良，P-NP 問題等を研究．

渡辺：素粒子論の数学的モデルである場の量子論の厳密な解析，および不規則な環境の中での拡散現象を単純化したモデルであるフラクタル上の拡散方程式にくりこみ群の方法を適用する試みを続行する．

研究業績

論 文

- 1) Miyake, A. : 〔綜説〕From High School to College. Mathematics Education in Japan/for Icme-7. Special Issue of Bulletin of Mathematics Education, Mathematics Education Society of Japan, 48~51, 1992.
- 2) Miyake, A. : 〔原著〕Japanese Classic Geometry ; Sangaku. Mathematics Education in Japan/for Five Nations Conference, Special Issue of Bulletin of Mathematics Education, Mathematics Education Society of Japan, 13~16, 1992.
- 3) Miyake, A. : 〔原著〕Changes in Lessons of linear Algebra and Statistics through the Use of Personal Computers, Mathematics Education in Japan/for Five Nations Conference, Special Issue of Bulletin of Mathematics Education, Mathematics Education Society of Japan, 20~23, 1992.
- 4) 三宅章彦：〔原著〕中浜万次郎の数学．数学教育学会研究紀要1993年度春季年会発表論文集，136~137, 1992.
- 5) Giga, M., and Giga, Y.¹⁾, (¹⁾Hokkaido Univ.) : 〔原著〕Hermann sohr L_p estimates for the Stokes system ; Lecture notes in mathematics 1540 proceedig Kyoto 1991, Springer-Verlag, 55~67, 1992.
- 6) 伊藤高司, 佐々部典子¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹⁾日医大内科第1) : 〔原著〕心房細動停止過程の検討 ; f 波周期の数理統計学的解析．心臓ベージング, 8, 563~569, 1992.
- 7) Ito, T., Yokoi, F.¹⁾, Komiyama, T.²⁾, Hayashi, T.¹⁾, Iio, M.³⁾, Hara, T.³⁾ (¹⁾Department of Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, ²⁾Nippon medical School, ³⁾National Nakano Chest Hospital) : 〔原著〕Application of carbon-11 labelled nicotine in the measurement of human cerebral blood flow

and other physiological parameters. European Journal of Nuclear Medicine, 20, 46~52, 1993.

学会発表

- 1) 三宅章彦：〔一般講演〕鷗外の統計論争. 数学教育学会1992年度春季年会, 1992.
- 2) 三宅章彦, 伊藤良彦¹⁾, 山下 元²⁾, 永田 久³⁾, 西村和子⁴⁾, 須田 宏⁵⁾, 河村勝久⁶⁾, 政池寛三⁷⁾ (¹⁾城西大学, ²⁾早稲田大学, ³⁾法政大学, ⁴⁾川村女子大学, ⁵⁾慶応義塾大学, ⁶⁾東海大学, ⁷⁾東京学芸大学)：〔一般講演〕大学数学(教養課程)へのファジー理論の導入(2). 数学教育学会1992年度春季年会, 1992.
- 3) 飯田博和：〔一般講演〕専門科目でない一般教養の情報処理教育. 数学教育学会1992年度春季年会, 1992.
- 4) 渡辺 浩：〔一般講演〕Lattice construction of chiral anomaly. 京都大学基礎物理学研究所モレキュール型研究会”格子理論の現状”, 1992.
- 5) 三宅章彦：〔一般講演〕Mori Ogai and the debate on statistics. The 2nd International Symposium on the History of Mathematics and Mathematical Education using Chinese Characters(呼和浩特), 1992.
- 6) Miyake, A.：〔一般講演〕From High School to College. 7th International Congress on Mathematical Education (ICME-7), 1992.
- 7) Miyake, A.：〔一般講演〕Changes in Lessons of linear Algebra and Statistics through the Use of Personal Computers Five Nations Conference on Mathematics Education (New Jersey), 1992.
- 8) Miyake, A.：〔特別講演〕Japanese Classic Geometry ; Sangaku. Five Nations Conference on Mathematics Education (New Jersey), 1992.
- 9) 渡辺 浩：〔一般講演〕カイラルアノーマリの格子構成論. 微分幾何小研究会”力学系と微分幾何”, 1992.
- 10) 伊藤高司, 小林 薫¹⁾, 須原哲也²⁾, 鈴木和年²⁾, 館野之男²⁾, 井上 嶺²⁾ (¹⁾日医大, ²⁾放医研)：〔一般講演〕ベンゾジアゼピン受容体の定量評価. 第32回日本核医学会総会, 1992.
- 11) 伊藤高司, 小林 薫¹⁾, 田中雅康²⁾, 須原哲也²⁾, 鈴木和年²⁾, 井上 修²⁾, 館野之男²⁾ (¹⁾日医大, ²⁾放医研)：〔一般講演〕アルコール負荷におけるベンゾジアゼピンレセプターの PET 計測. 第32回日本核医学会総会, 1992.
- 12) 伊藤高司, 小林 薫¹⁾, 井上 修²⁾, 須原哲也²⁾, 鈴木和年²⁾, 館野之男²⁾ (¹⁾日医大, ²⁾放医研)：〔一般講演〕11C-Ro15-4613によるベンゾジアゼピンレセプターの測定; 11C-Ro15-1788と比較して. 第32回日本核医学会総会, 1992.
- 13) 伊藤高司, 小林 薫¹⁾, 須原哲也²⁾, 井上 修²⁾, 鈴木和年²⁾, 佐藤俊之²⁾, 館野之男²⁾ (¹⁾日医大, ²⁾放医研)：〔一般講演〕トリアゾラムの脳内ムスカリン性アセチルコリンレセプターに対する効果. 第32回日本核医学会総会, 1992.
- 14) 伊藤高司, 小林 薫¹⁾, 田中雅康²⁾, 鈴木和年²⁾, 井上 修²⁾ (¹⁾日医大, ²⁾放医研)：〔ポスター〕ベントバルビタールによるベンゾジアゼピン受容体結合の変化. 第32回日本核医学会総会, 1992.
- 15) 三宅章彦：〔一般講演〕和算について. 数学教育学会1992年度秋季例会, 1992.
- 16) 三宅章彦, 公田 蔵¹⁾, 高田 彰²⁾, 町田彰一郎³⁾, 松宮哲夫⁴⁾, 渡辺 信⁵⁾, 岡森博和⁴⁾ (¹⁾立教大学, ²⁾山梨大学, ³⁾埼玉大学, ⁴⁾大阪教育大学, ⁵⁾東海大学)：〔シンポジウム〕国際会議からみた数学教育. 数学教育学会1992年度秋季例会
- 17) 三宅章彦, 伊藤良彦¹⁾, 山下 元²⁾, 永田 久³⁾, 西村和子⁴⁾, 須田 宏⁵⁾, 河村勝久⁶⁾, 政池寛三⁷⁾ (¹⁾城西大学, ²⁾早稲田大学, ³⁾法政大学, ⁴⁾川村女子大学, ⁵⁾慶応義塾大学, ⁶⁾東海大学, ⁷⁾東京学芸大学)：〔一般講演〕大学数学(教養課程)へのファジー理論の導入(3). 数学教育学会1992年度秋季例会, 1992.
- 18) 飯田博和：〔一般講演〕理工学部の教養数学. 数学教育学会1992年度秋季例会, 1992.
- 19) 儀我真理子：〔一般講演〕統計を教えてみて. 数学教育学会1992年度秋季例会, 1992.
- 20) 飯田博和, 三宅章彦, 村上征勝¹⁾ (¹⁾統計数理研究所)：〔一般講演〕医学部における統計教育の実態調査. 数学教育学会1993年春季年会, 1993.

[物理学]

研究概要

1) 筋肉蛋白質であるミオシンとアクチンの間の力の性質を研究するための分子間力の測定装置を開発し、実験を行っている。また、電場が存在するときの溶液中のイオンの動的性質の研究を継続している。[香川]

2) 視物質における励起発色団の動的構造変化と、それによって誘起される蛋白部分の高次構造変化との関連性を理論的に研究している。現在、発色団から蛋白部分へのエネルギー伝達機構について、それを合理的に説明し得るようなモデルを考案中である。[菊地]

3) 前年度に続いて、カオスの統計力学について検討している。また、カオスの観点から、神経系、巨大分子内ゆらぎ転移とその機能発現との関係について検討している。[須田]

4) 重い中間子の中でも s 波の粒子の質量を、準相対論的クォーク模型のもとで、議論した。この場合も、バリオンと同じく、クォーク間の距離は我々が提唱した規則のもとに変化させている。Ds 型のスピン 1 の粒子を除けば、かなり実験値に近い値を得た。Bs とそのスピン 1 の粒子の質量 (我々の結果は各々 5344 MeV と 5393 MeV) の測定結果が待たれる。[三浦]

研究業績

論文

- 1) Kikuchi, H. and Suzuki, H.¹⁾ (¹⁾Waseda Univ.): [原著] Dynamical Theory of Photoisomerization of Rhodopsin Chromophore. I; Calculation of the Transition Probability. J. Phys. Soc. Jpn. 61, 1946~1959, 1992.
- 2) Itoh, C.¹⁾, Minamikawa, T.²⁾, Miura, K. and Watanabe, T.³⁾ (¹⁾Meiji-Gakuin Univ., ²⁾Tokyo Univ. of Mercantile Marine, ³⁾Asia Univ.): [原著] Bb and Bc Meson Masses. Nuovo Cim. 105A, 1539~1548, 1992.

学会発表

- 1) 菊地浩人, 島袋岳夫¹⁾, 鈴木英雄¹⁾ (¹⁾早大理工): [一般講演] 視物質発色団の光異性化に関する多次元 Franck-Condon factor の計算. 日本物理学会1992年秋の分科会, 1992.
- 2) 梅崎馨章¹⁾, 菊地浩人, 鈴木英雄¹⁾ (¹⁾早大理工): [一般講演] INDO-CI 法によるポリペプチドの電子論 I; エネルギー期待値の構造. 日本物理学会1992年秋の分科会, 1992.
- 3) 菊地浩人, 島袋岳夫¹⁾, 鈴木英雄¹⁾ (¹⁾早大理工): [一般講演] 視物質発色団の光異性化による過渡的電場の発生. 日本生物物理学会第30回年会, 1992.
- 4) 梅崎馨章¹⁾, 菊地浩人, 鈴木英雄¹⁾ (¹⁾早大理工): [一般講演] 電子論から見た蛋白質のエネルギーの構造. 日本生物物理学会第30回年会, 1992.
- 5) 永井喜則¹⁾, 菊地浩人, 香川 浩 (¹⁾麻布大教養): [一般講演] ミオシン-アクチン相互滑り運動における斥力の効果. 日本生物物理学会第30回年会, 1992.

[化学]

研究概要

石田: シリカゲル TLC に関する研究.

- ① ジルコニウム (IV), ハフニウム (IV) および他の金属の三成分分離.
- ② 塩類水溶液系における希土類元素の吸着挙動と隣接元素の多成分分離.

③ 希土類元素の吸着・脱着機構の解明.

田中：①質量分析計を用いた研究：金属錯体，生体内微量物質の同定および定量，中毒原因物質の同定等．②原子炉を用いた研究：中性子放射化分析による生体内微量金属の同定および定量，中性子オートラジオグラフィーとX線写真の組合せによるそれぞれの透過能の違いを用いた胆石内部構造の研究．

菅原：アルカリ金属-ナフタレン錯体を用いたテルペン系化合物の合成および，不飽和酸とジクロロカルベンとの反応による，ジクロロシクロプロパンカルボン酸の合成．

永井：アミノ酸と塩基（2，2'-ビピリジンなど）を配位子とするルテニウム錯体の研究．

① 新錯体の合成．

② 高速液体クロマトグラフィーによる錯体異性体の分離およびその機構．

③ 錯体の溶液化学．錯体構造と溶媒和の関係．

④ 錯体の光化学反応．

武田：CM セルロース TLC に関する研究．

① 塩類水溶液系-有機溶媒混合系における希土類元素の陽イオン交換吸着挙動．

② 吸着挙動に影響を及ぼす諸因子の検討．

③ イットリウムの特異的分離とその機構の解明．

研究業績

論文

- 1) Sugahara, K., Watanabe, S.¹⁾, Fujita, T.¹⁾, Sakamoto, M.¹⁾, and Shirakawa, I.¹⁾ (¹⁾千葉大学工学部)：〔原著〕Synthesis of β -lactams from 1-citronellal. J. Essent. Oil. Res., 4, 595~599, 1992.
- 2) Nagai, T.：〔原著〕Chromatographic behaviour of bis(2, 2'-bipyridine) ruthenium(II) complexes containing alaninato, phenylalaninato and tyrosinato ligands. J. Chromatogr., 606, 33~42, 1992.
- 3) Ikezawa, H.¹⁾, Miki, E.¹⁾, Mizumachi, K.¹⁾, Ishimori, T.¹⁾, Nagai, T., and Tanaka, M. (¹⁾立教大学理学部)：〔原著〕Preparation and characterization of two kinds of cis- $[\text{RuCl}(\text{qn})_2\text{NO}]$ (Hqn=4-methyl-, 2, 4-dimethyl-, 2-ethyl-, or 5-chloro-8-quinolinol), and the photoinduced preparation of the trans- $[\text{RuCl}(\text{qn})_2\text{NO}]$ from the cis-complex. Bull. Chem. Soc. Jpn., 66, 89~97, 1993.
- 4) Miki, E.¹⁾, Masano, H.¹⁾, Iwasaki, H.¹⁾, Tomizawa, H.¹⁾, Mizumachi, K.¹⁾, Ishimori, T.¹⁾, Tanaka, M., Nagai, T., and Nagao, N.²⁾ (¹⁾立教大学理学部, ²⁾上智大学理学部)：〔原著〕Preparation and characterization of cis-and trans- $[\text{Ru}(\text{OAc})(2\text{mqn})_2\text{NO}]$ (OAc=acetate, 2mqn=2-methyl-8-quinolinolate), and their mutual photoisomerization reactions. Inorg. Chim. Acta, 205, 129~136, 1993.
- 5) Nagai, T.：〔原著〕Properties of Δ -, and Λ - $[\text{Ru}(\text{S-am})(\text{bpy})_2]^+$ complexes (am=Ala, Phg, Leu, Phe or Tyr ligand) in solutions originating from (S)-aminoacidato ligand: mechanism of the chromatographic separation, effect of hydration on the stability of the diastereoisomers, and racemization of the phenylalaninato ligand. 博士学位論文(理学, 立教大学), 乙第120号, 1993.

学会発表

- 1) 武田洋一, 石田宏二, 池川麻子¹⁾, 二宮修治¹⁾, 大沢眞澄¹⁾ (¹⁾東京学芸大学教育学部)：〔一般講演〕シリカゲル-アンモニウム塩水溶液系における希土類元素の TLC 挙動-Rf 値に及ぼす溶媒陰イオンの影響. 日本分析化学会第41年会, 1992.
- 2) 菅原理二, 渡辺昭次¹⁾, 藤田 力¹⁾, 坂本品己¹⁾, 高木史明¹⁾, 山野辺聡¹⁾ (¹⁾千葉大学工学部)：〔一般講演〕立体障害ケトンから香料および関連化合物の合成. 第36回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会, 1992.
- 3) 池川麻子¹⁾, 武田洋一, 二宮修治¹⁾, 石田宏二, 大沢眞澄¹⁾ (¹⁾東京学芸大学教育学部)：〔一般講演〕アルカリ土

類金属塩水溶液系における希土類元素のシリカゲル薄層クロマトグラフィー. 日本化学会第64秋季年会, 1992.

- 4) 田中幹夫, 永井 俊, 三木英一¹⁾, 石森達二郎¹⁾(¹⁾立教大学理学部): [展示] Glycerol, D₃-glycerol, D₈-glycerol をマトリックスとする [RuCl₂ (bpy)₂] (M) および [Ru (CN)₂ (bpy)₂] (M) 錯体の LSIMS スペクトル中で観測された (M) および (M+G) への H⁺ および D⁺, あるいは H⁺ の付加. 1992年度質量分析連合討論会, 1992.

[生物学]

研究概要

1) ①光合成細菌の光合成色素蛋白複合体の機能解析のためイギリス・グラスゴー大学で研修を行った. *Rhodospseudomonas acidophila* 7050は培養光により色素組成が変化する. 光強度を変えた培養から精製した色素蛋白複合体の色素組成に差異がみられ, カロテノイドからバクテリオクロロフィルへのエネルギー伝達効率にもカロテノイドの種類に依存した差異があった. ②光合成細菌や藻類は高等植物よりカロテノイドからクロロフィルへのエネルギー伝達が良いことが知られている. 主に第一励起準位から蛍光発光をするカロテノイドは伝達がよく, 主に第二励起準位からのものはよくないことを発見し, 分子構造と分光特性の関連を検討している. ③グラム陰性メチロトローフ好気性光合成細菌 *Pseudomonas radiosa* は, 細胞膜には普通的光合成細菌に類似した色素蛋白複合体をもち, 外膜には他の生物に知られていない極性カロテノイドを含有することを見いだした. 外膜カロテノイドの化学構造決定と機能の解析を進めている. (高市)

2) 動物の発生における細胞増殖因子の役割を調べている. これまで両生類胚の中胚葉誘導に細胞増殖因子が関わっていることを報告してきたが, 現在は誘導に先立って起こる体軸の決定機構に注目している. カエル胚は8細胞期中胚葉誘導への応答能を有しており, さらに背側と腹側では異なる応答を示すことから, 胚には予め背腹軸を決定する因子が局在することが確実になった. また, 棘皮動物の胚から数種の TGF- β 系遺伝子を単離することにも成功した. (木下)

3) 棘皮動物の未受精卵中の UDP-糖化合物を中心に酸溶性ヌクレオチドについて検討してきたが, ヌクレオチド以外の酸溶性物質についても, 分離, 同定を行っている. また, ウニ類の4種の体腔細胞のうち, 食細胞について薄層のブドウ球菌に作用させる方法を用いて食作用を調べた結果, アカウニとバフンウニの食細胞が, ヒト白血球と類似の食作用を示すことを認めた. (関)

研究業績

論文

- 1) Sasa, T.¹⁾, Suda, S.¹⁾, Watanabe, M.M.¹⁾, and Takaichi, S. (¹⁾Natl. Inst. Environmental Studies): [原著] A yellow marine *Chlamydomonas*; Morphology and pigment composition. *Plant Cell Physiol.*, 33, 527~534, 1992.
- 2) Sasa, T.¹⁾, Takaichi, S., Hatakeyama, N.¹⁾, and Watanabe, M.M.¹⁾ (¹⁾Natl. Inst. Environmental Studies): [原著] A novel carotenoid ester, loroxanthin dodecenoate, from *Pyraminonas parkeae* (Prasinophyceae) and a chlorarachniophyte alga. *Plant Cell Physiol.*, 33, 921~925, 1992.
- 3) Gardiner, A.T.¹⁾, Takaichi, S., and Cogdell, R.J.¹⁾ (¹⁾Univ. Glasgow): [原著] The effect of changes in light intensity and temperature on the peripheral antenna of *Rhodospseudomonas acidophila*. *Biochem. Soc. Trans.*, 21, 6S, 1992.
- 4) Gillbro, T.¹⁾, Andersson, P.O.¹⁾, Liu, R.S.H.²⁾, Asato, A.E.²⁾, Takaichi, S., and Cogdell, R.J.³⁾ (¹⁾Univ. Umea, ²⁾Univ. Hawaii, ³⁾Univ. Glasgow): [原著] Location of the carotenoid 2A_g-state and its role in photosynthesis. *Photochem. Photobiol.*, 57, 44~48, 1993.

- 5) Mimuro, M.¹⁾, Nagashima, U.²⁾, Nagaoka, S.³⁾, Takaichi, S., Yamazaki, I.⁴⁾, Nishimura, Y.⁴⁾, and Katoh, T.⁵⁾ (¹⁾Natl. Inst. Basic Biol., ²⁾Ochanomizu Univ., ³⁾Ehime Univ., ⁴⁾Hokkaido Univ., ⁵⁾Kyoto Univ.): [原著] Direct measurement of low-lying singlet excited (2^1A_g) state of a linear carotenoid, neurosporene, in solution. Chem. Phys. Lett., 204, 101~105, 1993.

著 書

- 1) Takaichi, S., and Ishidsu, J.: [分担] Carotenoid glycoside ester from *Rhodococcus rhodochrous*. "Methods in Enzymology 213: Carotenoids Part A: Chemistry, Separation, Quantitation and Antioxidation" (Packer, L. ed), P. 366~374, Academic Press (San Diego), 1992.
- 2) Takaichi, S., and Shimada, K.¹⁾ (¹⁾Tokyo Metropolitan Univ.): [分担] Characterization of carotenoids in photosynthetic bacteria. "Methods in Enzymology 213: Carotenoids Part A: Chemistry, Separation, Quantitation and Antioxidation" (Packer L. ed), P. 374~385, Academic Press (San Diego), 1992.
- 3) Takaichi, S., Gardiner, A.T.¹⁾, and Cogdell, R.J.¹⁾ (¹⁾Univ. Glasgow): [分担] Pigment composition of light-harvesting pigment-protein complexes from *Rhodopseudomonas acidophila*: Effect of light intensity. "Current Research in Photosynthesis" (Murata, N. ed), Vol. I, P. 149~152, Kluwer Academic Publishers (Dordrecht), 1992.
- 4) 木下 圭: [分担] ゴジラの形を決める「ホメオボックス遺伝子」の存在. "ゴジラ生物学序説" (Super Strings SR 21編), P. 127~144, ネスコ/文芸春秋, 1992.

学会発表

- 1) Takaichi, S., Shimada, K.¹⁾, Saito, S.²⁾, and Nishimura, Y.²⁾ (¹⁾Tokyo Metropolitan Univ., ²⁾Science Univ. Tokyo): [一般講演] Carotenoids of aerobic photosynthetic bacteria: Carotenoid sulfate and carotenoid carboxylate. International Symposium on Molecular Structure and Regulation of Photosynthetic Pigment Systems (Sanda), 1992.
- 2) Takaichi, S., Gardiner, A.T.¹⁾, and Cogdell, R.J.¹⁾ (¹⁾Univ. Glasgow): [展示] Pigment composition of light-harvesting pigment-protein complexes from *Rhodopseudomonas acidophila*: Effect of light intensity. IXth International Congress on Photosynthesis (Nagoya), 1992.
- 3) Tatsuzawa, H.¹⁾, Takaichi, S., and Yamamoto, Y.¹⁾ (¹⁾Meiji Univ.): [展示] Carotenoid of *Myxococcus* species isolated from the lake sediments. 6th International Symposium on Microbial Ecology (Barcelona), 1992.
- 4) Gardiner, A.T.¹⁾, Takaichi, S., and Cogdell, R.J.¹⁾ (¹⁾Univ. Glasgow): [一般講演] The effect of changes in light intensity and temperature on the peripheral antenna of *Rhodopseudomonas acidophila*. The Biochemical Society (UK) 644th Meeting (Glasgow), 1992.
- 5) 高市真一: [招待講演] 光合成系でのカロテノイド色素の機能. 第6回カロテノイド研究談話会, 1992.
- 6) 立沢秀高¹⁾, 高市真一, 山本鎔子²⁾ (¹⁾荏原総合研究所, ²⁾明治大学): [一般講演] 湖沼底泥より分離した粘液細菌のカロテノイド. 第6回カロテノイド研究談話会, 1992.
- 7) 斉藤 智¹⁾, 高市真一, 嶋田敬三²⁾, 西村行正¹⁾ (¹⁾東京理科大学, ²⁾東京都立大学): [一般講演] メタノール資化性好気性光合成細菌の色素蛋白複合体と遊離型カロテノイド酸の性質. 第6回カロテノイド研究談話会, 1992.
- 8) 三室 守¹⁾, 長嶋雲兵²⁾, 長岡伸一³⁾, 高市真一, 西村賢宜⁴⁾, 山崎 巖⁴⁾, 加藤哲也⁵⁾ (¹⁾基礎生物学研究所, ²⁾お茶の水女子大学, ³⁾愛媛大学, ⁴⁾北海道大学, ⁵⁾京都大学): [一般講演] カロテノイドの励起状態に対する溶媒効果. 第6回カロテノイド研究談話会, 1992.
- 9) 木下 圭, 木下 勉¹⁾, 浅島 誠²⁾ (¹⁾広島大学, ²⁾横浜市立大学): [一般講演] アフリカツメガエル胚の初期卵

割期割球における中胚葉への応答能について。日本動物学会第63回大会，1992。

- 10) 木下 勉¹⁾，木下 圭^{(1)広島大学}：〔一般講演〕ウニ胚小割球の細胞分化に関わる遺伝子の探索。日本動物学会第63回大会，1992。
- 11) 三室 守¹⁾，長嶋雲兵²⁾，長岡伸一³⁾，高市真一，西村賢宜⁴⁾，山崎 巖⁴⁾，加藤哲也⁵⁾(¹⁾基礎生物学研究所，²⁾お茶の水女子大学，³⁾愛媛大学，⁴⁾北海道大学，⁵⁾京都大学)：〔一般講演〕光合成系のカロテノイドの分子構造と分光特性。日本生物物理学会第30回年会，1992。
- 12) Kinoshita, T.¹⁾, and Kinoshita, K. (¹⁾Hiroshima Univ.)：〔一般講演〕The inducing effect of activin A on the differentiation of sea urchin micromeres. Sea Urchin Development VIII Conference (Pacific Grove), 1993。
- 13) 高市真一，Gardiner, A.T.¹⁾，三室 守²⁾，Cogdell, R.J.¹⁾(¹⁾Glasgow 大学，²⁾基礎生物学研究所)：〔一般講演〕光合成細菌 *Rhodospseudomonas acidophila* 7050色素蛋白複合体の色素組成とエネルギー伝達効率に対する培養光強度の影響。日本植物生理学会1993年度年会と第33回シンポジウム，1993。
- 14) 斉藤 智¹⁾，高市真一，嶋田敬三²⁾，西村行正¹⁾(¹⁾東京理科大学，²⁾東京都立大学)：〔一般講演〕メタノール資化性・好気性光合成細菌 *Pseudomonas radiosa* のカロテノイド酸の存在状態。日本植物生理学会1993年度年会と第33回シンポジウム，1993。
- 15) 三室 守¹⁾，長嶋雲兵²⁾，長岡伸一³⁾，高市真一 (¹⁾基礎生物学研究所，²⁾お茶の水女子大学，³⁾愛媛大学)：〔一般講演〕カロテノイドの分子構造と分光特性III。日本植物生理学会1993年度年会と第33回シンポジウム，1993。

3. 外国語

[英 語]

研究概要

We continue to place emphasis on teaching communicative skills, and the new language laboratory is proving beneficial in this respect. Work has been carried out aimed at identifying methods by which the written media (specifically Time magazine) can be used to achieve the seemingly contradictory goal of improving learners' oral/aural skills. A textbook written on the premise that the written media can indeed be used in this way has met with reasonable success.

Although conclusions have already been reached in our comparative study of the English proficiency of Japanese and Thai medical students, work still remained to be done on the results of the questionnaire we designed to investigate their attitudes towards English language learning.

Literary research was continued into the reception of Chaucer's *Canterbury Tales* in eighteenth-century England, as was research on sixteenth-century English dramas. Part of the latter work was presented at a symposium on virtue plays. Work also proceeded on producing a reference work on medieval drama.

研究業績

論文

- 1) Minton, T., 中村哲子，西川純恵：〔報告〕英語学習に関する医学生の意識調査報告。日本医科大学基礎科学紀要，第13号，39～49，1992。
- 2) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析70；関係副詞 when を含む常用表現。Timescope アルク，April 6，35，1992。

- 3) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (25) The Sumo Halls Are Alive. Timescope アルク, April 6, 36, 1992.
- 4) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析71; "now that..."の形式. Timescope アルク, April 13, 35, 1992.
- 5) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析72; when に代わる関係副詞 that. Timescope アルク, April 20, 35, 1992.
- 6) Minton, T.: [その他] Breathing a Sigh of Relief, 英語教育高校篇. 三省堂, No. 16, April 92, 10~11, 1992.
- 7) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析73; 表面に現れない関係副詞. Timescope アルク, May 4, 35, 1992.
- 8) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (26) Bloodied But Unbowed. Timescope アルク, May 4, 36, 1992.
- 9) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析74; This is why...とその応用形. Timescope アルク, May 11, 35, 1992.
- 10) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析75; 関係副詞 why の使われ方. Timescope アルク, May 18, 35, 1992.
- 11) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析76; 関係副詞 how の周辺. Timescope アルク, June 1, 35, 1992.
- 12) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (27) The Beef Against. Timescope アルク, June 1, 36, 1992.
- 13) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析77; the way...など. Timescope アルク, June 8, 35, 1992.
- 14) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析78; the way...の接続詞的用法. Timescope アルク, June 15, 35, 1992.
- 15) Minton, T.: [その他] How Can You Tell a Japanese?, 英語教育高校篇. 三省堂, No.18, June 92, 10~11, 1992.
- 16) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析79; 比較表現が出現する頻度. Timescope アルク, July 6, 35, 1992.
- 17) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (28) What's Wrong with the Weather. Timescope アルク, July 6, 36, 1992.
- 18) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析80; "as...as..."による同等比較. Timescope アルク, July 13, 35, 1992.
- 19) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析81; 比喩を表す"as...as...". Timescope アルク, July 20, 35, 1992.
- 20) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析82; 直喩表現, および数量の比較. Timescope アルク, August 3, 35, 1992.
- 21) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (29) The Great Stone Wall. Timescope アルク, August 3, 36, 1992.
- 22) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析83; "as many as..." "as much as...". Timescope アルク, August 10, 35, 1992.
- 23) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析84; as little as...; as early as...など. Timescope アルク, August 17, 35, 1992.
- 24) Minton, T.: [その他] Modern Conveniences, 英語教育高校篇. 三省堂, No. 20, August 92, 10~11, 1992.
- 25) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析85; "as...as..." における省略. Timescope アルク, Sept. 7, 35, 1992.
- 26) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (30) The Other Player. Timescope アルク, Sept. 7, 36, 1992.

- 27) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析86；文脈の流れでつかむ”just as...as...”. Timescope アルク, Sept. 14, 35, 1992.
- 28) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析87；”as...as one can”など. Timescope アルク, Sept. 21, 35, 1992.
- 29) Minton, T.：〔その他〕Reading Test, Part 2：Reading Comprehension: What is Incest? Part 3：Speed Reading：News from the Under Ground. Timescope アルク, Sept. 28, 33～36, 1992.
- 30) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析88；this much の用法について. Timescope アルク, Oct. 5, 35, 1992.
- 31) Minton, T.：〔その他〕Dialogues on Topics from TIME (31) The Curse of the Answered Prayer. Timescope アルク, Oct. 5, 36, 1992.
- 32) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析89；that much の that の用法. Timescope アルク, Oct. 12, 35, 1992.
- 33) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析90；”as well as...”の諸相. Timescope アルク, Oct. 19, 35, 1992.
- 34) Minton, T.：〔その他〕Home Sweet Home, 英語教育高校篇, 三省堂, No. 22, Oct. 92, 10～11, 1992.
- 35) Minton, T.：〔その他〕Reading Test, Part 2：Reading Comprehension：Cracking the Whip, Part 3：Speed Reading：Eurocars Feel Japan’s Challenge/The Glad Sound of Muffled Microbes. Timescope アルク, Oct. 26, 33～36, 1992.
- 36) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析91；”as well as...”の実例検討. Timescope アルク, Nov. 2, 35, 1992.
- 37) Minton, T.：〔その他〕Dialogues on Topics from TIME (32) The Fall of the Don. Timescope アルク, Nov. 2, 36, 1992.
- 38) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析92；”B as well as A”と”A and B as well”. Timescope アルク, Nov. 9, 35, 1992.
- 39) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析 93；”not only...but...as well” など. Timescope アルク, Nov. 23, 35, 1992.
- 40) Minton, T.：〔その他〕Reading Test, Part 2：Reading Comprehension：After Beans, Le Deluge, Part 3：Speed Reading：Message to London/An Unfitting End. Timescope アルク, Nov. 30, 33～36, 1992.
- 41) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析94；文脈に付加する as well. Timescope アルク, Dec. 7, 35, 1992.
- 42) Minton, T.：〔その他〕Dialogues on Topics from TIME (33) America’s Big Shift. Timescope アルク, Dec. 7, 36, 1992.
- 43) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析95；”may well...”から”may as well...”へ. Timescope アルク, Dec. 14, 34, 1992.
- 44) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析96；”might as well...(as...)”. Timescope アルク, Dec. 21, 34, 1992.
- 45) Minton, T.：〔その他〕The Silly Season, 英語教育高校篇, 三省堂, No. 24, Dec. 92, 10～11, 1992.
- 46) Minton, T.：〔その他〕Reading Test, Part 2：Reading Comprehension：Refractions from the Sins of the Fathers, Part 3：Speed Reading：Women Strike Back/It’s a Sad, Sad World. Timescope アルク, Dec. 28, 32～35, 1992.
- 47) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析97；”twice as...as...”など. Timescope アルク, Jan. 4, 34, 1992.
- 48) Minton, T.：〔その他〕Dialogues on Topics from TIME (34) The New Royal Watch：Waiting for William. Timescope アルク, Jan. 4, 35, 1993.
- 49) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析98；種々の倍数表現. Timescope アルク, Jan. 11, 34, 1993.

- 50) Minton, T.: [その他] Reading Test, Part 2: Reading Comprehension; Help Wanted, Part 3: Speed Reading; The Big Whopper/Plunging Ashore into a Blaze of TV Lights? Timescope アルク, Jan. 25, 32~35, 1993.
- 51) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (35) Dire Straits. Timescope アルク, Feb. 1, 35, 1993.
- 52) Minton, T.: [その他] Do You Live on an Island?, 英語教育高校篇, 三省堂, No. 26, Feb. 93, 18~19, 1993.
- 53) Minton, T.: [その他] Reading Test, Part 2: Reading Comprehension; Not-So-Black Markets, Part 3: Speed Reading; Put Out that Butt!/Clinton's Surprise; A Brawl over Gays. Timescope アルク, Feb. 22, 32~35, 1993.
- 54) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (36) Dialing "P" for Panic. Timescope アルク, March 1, 35, 1993.
- 55) Minton, T.: [その他] 留学に際しての面接試験, The English Journal 学校篇, アルク, March 93, 35, 1993.
- 56) Minton, T.: [その他] Reading Test, Part 2: Reading Comprehension; Drops of Scandal, Part 3: Speed Reading; Look! Trial Balloons in Mass Formation/Finally the Big Bad Bundesbank Blinks. Timescope アルク, March 29, 32~35, 1993.

著 書

- 1) 山口俊治: [自著] 基本からやってみるか英会話; 日常会話篇, p. 1~426, 語学春秋社, 1992.
- 2) Minton, T.: [自著] 読む聞く話す TIME, p. 1~199, アルク, 1992.
- 3) 山口俊治: [監修] 基本からやってみるか英会話: 日常会話篇カセットテープ全4巻, 語学春秋社, 1992.
- 4) 青木義巳, Minton, T.: [共著] 青木ミントンの英語ポイント英作文, 大和書房, 1992.
- 5) 木村恒夫, Minton, T.: [共著] TOEIC 800点シリーズ: TOEIC 速聴特訓プログラム, p. 1~175, 1993.
- 6) Minton, T.: [CD 吹込み] 英語で歌う日本の歌, Vol. 1~3, 公文出版, 1992.
- 7) 山口俊治: [自著] コンプリート英語構文, p. 1~510, および日本語訳 p. 1~91, 桐原書店, 1993.

学会発表

- 1) Minton, T.: [教育講演] 読む聞く話す TIME, アルク (於: 福岡ビジネス専門学校), 1992.
- 2) 山口俊治: [招待講演] 読解・文法の指導とコミュニケーション教育, 平成4年度山形県高等学校教育研究会英語部会大会, 1992.
- 3) Minton, T.: [教育講演] 読む聞く話す TIME, アルク (於: 大阪東和リブホール), 1992.
- 4) Minton, T.: [教育講演] 読む聞く話す TIME, アルク (於: 札幌アステイホール), 1992.
- 5) Minton, T.: [教育講演] 読む聞く話す TIME, アルク (於: 金沢石川県青年会館), 1992.
- 6) Minton, T.: [教育講演] 読む聞く話す TIME, アルク (於: 仙台イベントホール山口), 1992.
- 7) 中村哲子: [研究発表] Vice とヒロインたち (シンポジウム「美徳劇における中世的伝統と展開」において), 日本中世英語英文学会第8回全国大会, 1992.

[ドイツ語]

研究概要

本教室では、従来、学生にドイツ文法を教えるにはどのような方法がより効果的であるかという問題について検討してきている。学生からよく聞かれる「文法をより系統的、かつ能率的に修得する方法はないか」という要求を考慮

しつつ、従来の固定化された教育方法に柔軟性を持たせながら、「教えやすく、習いやすい」教材の作成を目指している。

現在、各大学におけるドイツ語の教授方法には、大きく分けて2つのタイプがあると考えられる。一つは「文法・講読分離型」、もう一つは外国語の能力は「話す、聞く、読む、書く」という4つの能力の総合であるという判断から、教授法においてもこれを分離することを否定する「総合型」である。後者のタイプにおいてはドイツ各州の教育センターやゲーテ・インスティトゥートを始め、国内の大学でも次々と新しい試みがなされている。特に数年前からは、発話者の意思や思想、感情などの伝達および交換に重点を置く“Kommunikativer Sprachunterricht”が盛んに研究されるようになってきており、この面での教材も開発され、授業で実際に成果を挙げているところもある。本教室では、「総合型」を加味しつつ「分離型」を採用して、学生の読解および表現能力の養成につとめている。

なお、教室員の個別的研究について言えば、国信はヴィンケルマン研究およびその日本における受容史について、安藤は日独文化交流史研究の一環として、明治における来日外国人の足跡とその業績について調査、資料蒐集および翻訳を行っている。横内は初級ドイツ語教育における諸問題について調べている。

研究業績

論文

- 1) 横内一実, 安藤 勉, 国信浩洋: [教育報告] ドイツ語比較テスト(9); 本学および他大学との学力比較に関する報告。日本医科大学基礎科学紀要, 第13号, 51~59, 1993.

著書

- 1) 金森誠也¹⁾, 安藤 勉 (¹⁾日本大学): [共訳] テオドール・ブリーヴィエ著: ベルリン。論創社, 1992.

学会発表

- 1) 国信浩洋: [研究発表] 上田敏とヴィンケルマン, 1992年度日本独学史学会研究発表会, 1992.
- 2) 安藤 勉: [研究発表] 明治末における信州山岳とドイツ人, 1992年度日本独学史学会研究発表会, 1992.

[フランス語]

研究概要

当教室では、フランス語を読み、書き、話せることを目標とし、テキストを厳選し、視聴覚教育も加え、十全な語学能力の育成に努めてきたが、その方針はこの年度も同様である。その際フランスのモンペリエ大学の教育方法を常に協力・交流によって最新のメソッドを活用することも、年ごとに充実させてゆくことを実践している。今後もこの方式を発展させてゆきたい。

当教室の研究としては、主に、フランス17・18世紀の文学・思想をより深めてゆくことが中心となる。具体的には『ルソーの世界』を出版することで一定の目標に達したし、加えてユートピア思想・文学の研究も深め、学会発表や翻訳等で実践中である。

今後もパリ大学およびモンペリエ大学との交流を深めて、学生のフランス語能力向上を計り、論文をそれらの大学に公表することを第1目標としたい。そしてその成果を講義で生かし、学生がフランスの思想・文化の理解を深めるようにしてゆきたい。

研究業績

論文

- 1) 小林 浩：〔原著〕ルソー研究(5)．日本医科大学基礎科学紀要，第13号，P. 1—12，1992.

著書

- 1) 小林 浩：〔自著〕ルソーの世界．法政大学出版局，1992.

学会発表

- 1) 小林 浩：〔特別講演〕フランス十七世紀のユートピア文学について．日本フランス語フランス文学会，1992.
- 2) 小林 浩：〔特別講演〕ラ・オントンについて．日本ユートピア文学学会，1992.

4. 保健体育

〔保健体育〕

研究概要

当教室では，高齢者の体力についての研究，運動性貧血の発症要因についての生化学的研究，および幼児から大学生までを対象とした行動体力と防衛体力についての縦断的研究を行っている。

その概要は下記のごとくである。

1) 高齢者の健康と体力の維持・増進を目的とした歩行運動強度について，心拍数を基に検討している。本年は65～84歳の男女を対象に歩行の実態を測定した結果，高齢者の歩行は所要時間，歩幅，歩数／分等と心拍数間の関連性が少なかった。さらに個人差が大きく，特に女子被検者においては38%の多くが安全性限界を越えた心拍数を示し，歩行運動にも安全の面から問題点のあることを得た。この概要は「老人病研究会年報，15，1992.」に報告した。（酒巻）

2) 運動性貧血の発症に対する腸管からの鉄吸収能の関与について，ラットを用いた動物実験により検討した。その結果，運動トレーニング時には体内の鉄需要の増加に伴い，腸管よりの鉄吸収能が亢進することが明らかになった。（三上）

3) 低・中学年児童の運動経験と運動能力テスト成績の関係を，測定値および我々の考案した身長差を除いた簡易評価法を用い縦断的に検討した結果，測定値においては，体格・運動能力テストの全種目に加齢に伴い顕著な上昇がみられたのに対し，判定指数では加齢に伴い上昇する種目はなく，各年次間に停滞，下降の変動傾向がみられる種目が多く，本方法を用いての評価が必要と認められた。（森本）

研究業績

論文

- 1) 森本三千代，三上俊夫，酒巻敏夫：〔研究報告〕低・中学年児童の運動経験と運動能力テスト成績について．日医大基礎科学紀要，14，51～63，1993.

学会発表

- 1) 森本三千代，酒巻敏夫，三上俊夫：〔一般講演〕低・中学年児童の教科外運動経験と運動能力テストについて．日本体育学会第43回大会，1992.

〔2〕基 礎 医 学

1. 解剖学第一講座

研究概要

昨年度から引続き、細胞骨格、内分泌器官の形態学、本年度から新たに結合組織線維成分の構築、cAMP response element 結合蛋白質 (CREB) 発現の発生学の研究が行われた。従来から行われてきた中枢神経伝導路の研究は担当の山田助教授と北村助手の東京医科大学への転出に伴い、同大学に移転された。

細胞骨格に関する研究では、血管内皮細胞に場を広げ、機械的張力刺激に対する細胞骨格の応答変化が蛍光組織化学的に調べられた。その結果すでに明らかにしたラット子宮静脈の内皮細胞の妊娠時における諸変化相を切出した非妊娠時の静脈で張力負荷・解除実験で再現させることができた。持続的張力によっても血圧、血流によると同様の変化が血管内皮細胞に起こされることを示した。また、細胞周縁に沿って発達する内皮細胞に特有なストレスファイバーが新たに見出された。

結合組織の線維成分である膠原および弾性線維の組織内構築ならびに細胞との相互関係をラットの骨格筋筋腱結合部・心臓乳頭筋腱索結合部で検討した。レクチンを用いた弾性線維の検索結果では弾性線維は腱索中央部では長軸方向に、内皮下層では網目状に配列して豊富に存在することが分った。

cAMP により磷酸化されて遺伝子の転写制御を行う CREB の発生段階における発現の様相をラット神経上皮で *In situ* hybridization と免疫組織化学により検討した。その結果 CREB は胎生10日に神経上皮全層に発現し、胎生が進むと共に減少することが分った。これは CREB が神経上皮細胞の増殖分化に影響を持つことを示している。

コンピューターによる三次元立体構築像形成分野で、現在のハード及びソフトウェア環境での最良の方法を考案し、また、樹脂包埋切片からの連続切片作製の画期的方法を開発し、内分泌器官を中心に応用した。スunks腺島で外分泌部と独立した島では血管系も独立しており、外分泌部内に存在する島においても島の毛細血管は最寄の静脈に還流することを示した。下垂体前葉では各種分泌細胞の立体分布を始めて画像として示した。

研究業績

論文

- 1) Kitamura, T.¹⁾, Yamada, J.¹⁾, Sato, H., and Yamashita, K. (¹⁾東京医科大学・解剖)：〔原著〕Cells of origin of the spinoparabrachial fibers in the rat : A study with fast blue and WGA-HRP. J. Comp. Neurol., 328, 449~461, 1993.
- 2) 杉本啓治, 藤井幸子, 左合治彦¹⁾ (¹⁾慈恵医科大学・産婦人科)：〔原著〕上皮細胞におけるストレスファイバー形成と張力の関連性. 運動生化学, 5, 42~48, 1993.

学会発表

- 1) 市川安昭, 石川朋子, 鬼頭純三¹⁾, 山下和雄 (¹⁾名古屋大学・動物実験施設)：〔一般講演〕スunks腺島における PP 細胞の局在. 第97回日本解剖学会総会, 1992.
- 2) 石川朋子, 市川安昭, 山下和雄：〔シンポジウム特別発言〕スunks下垂体前葉分泌細胞の分布の三次元的観察. 日本解剖学会関東地方会第2回懇話会, 1992.
- 3) 杉本啓治：〔シンポジウム〕張力刺激に対する上皮細胞のアクチンフィラメント動態. 日本解剖学会関東地方会第2回懇話会, 1992.
- 4) 杉本啓治, 藤井幸子, 左合治彦¹⁾, 海保正義²⁾ (¹⁾慈恵医科大学・産婦人科, ²⁾山之内製薬・安全研)：〔奨学賞受賞記念講演〕張力刺激に対する上皮細胞の応答応；特にアクチンフィラメントの動態について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 5) 杉本啓治, 藤井幸子, 左合治彦¹⁾ (¹⁾慈恵医科大学・産婦人科)：〔招待講演〕上皮細胞におけるストレスファイ

バー形成と張力の関連性. 第5回運動生化学研究会シンポジウム, 1992.

- 6) 野呂瀬嘉彦¹⁾, 高橋秀実¹⁾, 横室公三¹⁾, 市川安昭, 山下和雄, 川並汪一²⁾ (¹⁾微生物・免疫学, ²⁾第二病院・病理部): [一般講演] ノードマウスに移植した BALB 3T3細胞とマスト細胞; 形態学的観察. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 7) 杉本啓治, 藤井幸子, 左合治彦¹⁾, 山下和雄 (¹⁾慈恵医科大学・産婦人科): [一般講演] 内皮細胞ストレスファクターの張力刺激による発現調節. 第45回日本細胞生物学会総会, 1992.

2. 解剖学第二講座

研究概要

解剖学第二講座の研究は比較神経学と肉眼解剖学の二つの分野からなっている。比較神経学の分野は、従来の系統樹の本幹に添った（特殊化していない）動物種のみを扱う古典的な比較神経学と異なり、むしろ特殊化した動物種を積極的に対象とする。すなわち、共通の祖先から同一時期に出来るだけ多くの種に分かれて適応放散に成功し、現存しているものを対象とする方法である。種が獲得した生態的地位を解析することによって脳の構造を理解しようとするもので、中枢神経系の成立機構の解明を目指している。また、このような比較神経学的な考え方を基盤として、脳内の情報の処理機構の解明にも力を入れている。特に二つ以上の異なる種類の情報（特に視覚と一般体性感覚）がどのようにに相関しているか、その機構を形態学的に解明することを目的としている。これは、硬骨魚類と爬虫類の視蓋を対象にして光学顕微鏡および電子顕微鏡のレベルで実験が行われている。もう一つの重要な課題は、感覚系において中枢から末梢、または高次のセンターから低次のセンターへ向かういわゆる遠心性の線維はどのような機能をもつかの解明で、鳥類の視覚系に焦点をあてて実験を進めている。本年度からは、免疫組織化学や異種間の胚の移植実験などの新しい手法を取り入れた。

肉眼解剖学の分野では、臨床上役立ち得るものを一義的に考え、ヒトを中心として研究を進めている。成人に見られる異常構造（variation）や正常構造のパターンの成立機序を説明するためにヒトの胎児を用いて発生学的な検索を行い、同時に、真猿類に含まれる各種のサルやその他の哺乳類も合わせて用いて比較解剖学的な検索も行っている。これらの対象となる範囲は、各部の動脈系と静脈系、肝臓の門脈系、泌尿器系（特に腎臓）、運動器系（筋肉と骨格）、末梢神経系、などである。

研究業績

論文

- 1) 宮木孝昌, 伊藤博信: [総説] 入門講座/手術のための解剖11; 膝関節周辺と脛骨および腓骨周辺の解剖. 骨・関節・靱帯, 5, 5~14, 1992.
- 2) 宮木孝昌, 伊藤博信: [総説] 入門講座/手術のための解剖12; 足の解剖. 骨・関節・靱帯, 5, 129~138, 1992.
- 3) Ito, H., Yoshimoto, M., Uchiyama, H., Somiya, H.¹⁾, and Negishi, K. (¹⁾麻布大学): [原著] Changes in retinal projections and ganglion cell morphology after unilateral enucleation in carp. Brain, Behav. and Evol., 40, 197~208, 1992.
- 4) Somiya, H.¹⁾, Yoshimoto, M., and Ito, H. (¹⁾麻布大学): [原著] Cytoarchitecture and fiber connections of the Edinger-Westphal nucleus in the filefish. Phil. Trans. R. Soc. Lond. B., 337, 73~81, 1992.
- 5) 吳 嘉文, 吉本正美, 伊藤博信: [原著] 板鰐類の終神経. 解剖学雑誌, 67, 317~332, 1992.
- 6) Kobayashi, S.¹⁾, Kishida, R.²⁾, Goris, R. C.¹⁾, Yoshimoto, M., and Ito, H. (¹⁾横浜市大・医・解剖, ²⁾山口大・医・解剖): [原著] Visual and infrared input to the same dendrite in the tectum opticum of the python, *Python requis*: electron microscopic evidence. Brain Res., 597, 350~352, 1992.
- 7) 上野則之¹⁾, 須藤 光¹⁾, 服部康夫¹⁾, 弓削庫太¹⁾, 宮木孝昌, 伊藤博信 (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科): [原著] 外耳に分布する神経; ヒトおよびスノクスについて. 日耳鼻会報, 96, 212~218, 1993.
- 8) Teranishi, T.¹⁾, and Negishi, K. (¹⁾金沢大・医・神経情報研): [原著] Dendritic morphology of interstitial amacrine cells with monostratified dendrites in different-sized carp retinas. Dev. Brain Res., 67, 327~332, 1992.
- 9) Negishi, K., Shinagawa, S.¹⁾, Ushijima, M.²⁾, Kaneko, Y.²⁾, and Saito, T.²⁾ (¹⁾金沢大・医・神経情報研, ²⁾筑波大・生物科学系): [原著] An immunohistochemical study of regenerating newt retinas. Dev. Brain Res.,

68, 255~264, 1992.

- 10) Kato, S.¹⁾, Negishi, K., Mawatari, K.²⁾, and Kuo, C.-H.²⁾ (¹⁾金沢大・医・神経情報研, ²⁾金沢大・がん研・薬理): [原著] A mechanism for glutamate toxicity in the C6 glioma cells involving inhibition of cystine uptake leading to GSH depletion. *Neuroscience*, 48, 903~914, 1992.
- 11) 浅川光夫, 飯田和美¹⁾, 平井和人²⁾, 清水真澄³⁾, 七戸和博³⁾ (¹⁾ワクチン療法研究施設, ²⁾日本医学技術専門学校, ³⁾実験動物管理室): [報告] スナネズミ (*Meriones unguiculatus*) の臓器重量について. *日医大誌*, 59, 186~189, 1992.
- 12) 田沼久美子, 北沢 命, 呉 嘉文, 別当有敬, 秋本 清, 横打圭子: [報告] 左心膜の部分欠損の1例. *日医大誌*, 59, 190~194, 1992.
- 13) 宮木孝昌, 伊藤博信: [報告] 霊長類肝臓の動脈系の形態. *霊長類研究所年報*, 22, 61, 1992.

著 書

- 1) 川村祥介・伊藤博信: [監修] ナウタ神経解剖—神経科学入門—. 広川書店, 1992.
- 2) 伊藤博信: [分担] ヴォルフ人体解剖アトラス (内野滋雄・田中重徳, 監修). 西村書店, 1993.

学会発表

- 1) 内山博之, 伊藤博信: [一般講演] 鳥類網膜における遠心性投射の標的細胞. 第97回日本解剖学会総会, 1992.
- 2) 小林園生¹⁾, 岸田令次²⁾, Goris, R.C.¹⁾, 吉本正美, 伊藤博信 (¹⁾横浜市大・医・解剖, ²⁾山口大・医・解剖): [一般講演] ニシキヘビ視蓋における赤外線と視覚からの投射線維の層構造および微細構造の観察. 第97回日本解剖学会総会, 1992.
- 3) 宮木孝昌, 伊藤博信: [一般講演] 肝臓の輸入・輸出静脈の分布型; ヒトにおける考察. 第97回日本解剖学会総会, 1992.
- 4) 浅川光夫, Merker H.-J., 伊藤博信: [展示] コモンマーモセットの腎盤について. 第97回日本解剖学会総会, 1992.
- 5) 吉本正美, 伊藤博信: [展示] 硬骨魚類の Nucleus corticalis のニューロン上にシナプスする終末の種類と分布. 第97回日本解剖学会総会, 1992.
- 6) Negishi, K., and Teranishi, T.¹⁾ (¹⁾金沢大・医・神経情報研): [一般講演] Double intracellular marking of carp retinal cells with Lucifer yellow and biocytin. 第69回日本生理学会総会, 1992.
- 7) Shinagawa, S.¹⁾, and Negishi, K. (¹⁾金沢大・医・神経情報研): [一般講演] Some factors influencing the distribution and density of proliferating cell nuclear antigen (PCNA) -immunoreactive cells in goldfish retina. 第69回日本生理学会総会, 1992.
- 8) 上野則之¹⁾, 須藤 光¹⁾, 服部康夫¹⁾, 弓削庫太¹⁾, 宮木孝昌, 伊藤博信 (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科): [一般講演] 外耳へ分布する神経, 第2報, ヒトおよびスナグス, モグラについて. 第93回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1992.
- 9) 利根川均¹⁾, 百束比古¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 滝沢 康¹⁾, 山本 達¹⁾, 野中尚子¹⁾, 文入正敏¹⁾, 田沼久美子, 伊藤博信 (¹⁾附属病院形成外科): [一般講演] 下腿の鳥状筋膜皮弁に関する解剖学的ならびに臨床的考察. 第35回日本形成外科学会総会, 1992.
- 10) Uchiyama, H.: [シンポジウム] Centrifugal modulation of the quail retinal function. International Symposium on Advanced Computing for Life-Science (Iizuka, Fukuoka), 1992.
- 11) 吉本正美, 伊藤博信: [一般講演] コイ目に属するウグイ (*Tribolodon*) の視覚系. 平成4年度生理研視覚研究会, 1992.
- 12) 白井由佳子¹⁾, 内山博之, 伊藤博信 (¹⁾附属病院眼科): [一般講演] ナキウサギ (*Ochotona rufescens rufescens*) の網膜 (A preliminary report). 平成4年度生理研視覚研究会, 1992.

- 13) 浅川光夫：〔一般講演〕哺乳類腎臓の比較解剖。第60回日本医科大学医学会総会，1992.
- 14) 利根川均¹⁾，百束比古¹⁾，秋元正字¹⁾，滝沢 康¹⁾，山本 達¹⁾，野中尚子¹⁾，文入正敏¹⁾，田沼久美子，伊藤博信（¹⁾附属病院形成外科）：〔展示〕下腿の皮膚動脈に関する解剖学的ならびに臨床的応用。第60回日本医科大学医学会総会，1992.
- 15) 北川 亘，田沼久美子：〔一般講演〕ヒト胎児の甲状腺に分布する動脈について。日本解剖学会第80回関東地方会，1992.
- 16) 大坂信太郎，北沢 命，田沼久美子：〔一般講演〕ヒト成人の甲状腺に分布する動脈について。日本解剖学会第80回関東地方会，1992.
- 17) 西嶋 洋，田沼久美子：〔一般講演〕脳底動脈の全分枝の解剖学的検索。日本解剖学会第80回関東地方会，1992.
- 18) Shiraishi, K., Nakazawa, S., and Ito, H.: 〔一般講演〕 Zinc enhances kainate neurotoxicity in the rat hippocampus. Society for Neuroscience 22nd Annual Meeting (Anaheim, CA, USA), 1992.
- 19) 内山博之，伊藤博信：〔一般講演〕ウズラ網膜に於ける遠心性投射と標的細胞。日本神経科学学会(第16回大会)，1992.
- 20) 吉本正美，伊藤博信：〔一般講演〕ウグイ (*Tribolodon*) の網膜視神経細胞と視覚投射。日本神経科学学会(第16回大会)，1992.
- 21) Rohrer, B.¹⁾, Negishi, K., Tao, J.¹⁾, and Stell, W.K.¹⁾ (¹⁾カルガリー大・医・解剖)：〔一般講演〕 A role for basic fibroblast growth factor (bFGF) in the visually guided regulation of eye growth in the chick. Invest. Ophthalmol. Vis. Sci. (ARVO Annual Meeting Abstracts), 34, 1209, 1993.
- 22) 内山博之：〔セミナー〕脊椎動物の終神経と網膜への投射系について。GnRH 研究会，1993.

3. 生理学第一講座

研究概要

1. 基礎医学情報処理室と協同して開発したフラクタル次元マップ解析法をさらに発展させ、各種精神活動時の脳波からその生理学的意義を検討している。例えば、小児科との協同研究で、てんかん児に特異的なフラクタル次元を見出し、熱性けいれんとの比較検討を進めている。また、内科と協同して心電図のフラクタル次元解析を行い、ほぼ完成させた。

2. 赤血球の変形能と微小循環動態に関する生理学的及び病態生理学的研究を、我々が開発した極めて定量的な赤血球変形能測定法、生体標本灌流法、等々を用いて行い、国際的に高い評価を得ている。また、溶血性貧血との関連で、ヒトのε-グロビン遺伝子の発現制御機構を解明するために、in vitro 転写実験系を確立し、サイレンサーを同定、サイレンサーに特異的に結合する蛋白質の解析を進めている。臨床医学各教室はもとより、米国 NIH などとの協同研究も、順調に継続している。

研究業績

論文

- 1) Uyesaka, N., Hasegawa, S.¹⁾, Ishioka, N.²⁾, Ishioka, R., Shio, H.³⁾, and Schechter, A. N.⁴⁾ (¹⁾Dept. of Third Internal Medicine, ²⁾Institute of Medical Science, The Jikei Univ. School of Medicine, ³⁾The Shiga Medical Center for Adult Disease, ⁴⁾Laboratory of Chemical Biology, NIDDK, NIH) : [原著] Effects of superoxide anions on red cell deformability and membrane proteins. *Biorheology*, 29, 217~229, 1992.
- 2) Wada-Kiyama, Y., Peters, B.¹⁾, and Noguchi, C. T.¹⁾ (¹⁾Laboratory of Chemical Biology, NIDDK, NIH) : [原著] The ε-globin gene silencer ; Characterization by in vitro transcription. *J. Biol. Chem.*, 267, 11532~11538, 1992.
- 3) Uyesaka, N., Hasegawa, S.¹⁾, Imai, H., Nakamura, T., and Furuhashi, K. (¹⁾Dept. of Third Internal Medicine) : [原著] Possible role of red cell deformability and microvasculature in microcirculation. *Jpn. J. Physiol.*, 42, 891~904, 1992.
- 4) Osaka, M., Saitoh, H.¹⁾, Sasabe, N.¹⁾, Miyauchi, Y.¹⁾, Atarashi, H.¹⁾, Katoh, T.¹⁾, Hayakawa, H.¹⁾, and Shinagawa, Y. (¹⁾First Department of Internal Medicine) : [原著] Fractal dimensionality of heart rate variability. *Ther. Res.*, 13, 3965~3969, 1992.
- 5) Rodgers, G. P.¹⁾, Dover, G. J.²⁾, Uyesaka, N., Noguchi, C. T.¹⁾, Schechter, A. N.¹⁾, and Nienhuis, A. W.³⁾ (¹⁾Laboratory of Chemical Biology, NIDDK, NIH, ²⁾Department of Pediatrics, Johns Hopkins Medical School, ³⁾Clinical Hematology Branch, National Heart, Lung, and Blood Institute) : [原著] Augmentation by erythropoietin of the fetal-hemoglobin response to hydroxyurea in sickle cell disease. *N. Engl. J. Med.*, 328, 73~80, 1993.
- 6) Ikawa, T., Shimada, M.¹⁾, Matsuda, H.²⁾, and Okabe, H.³⁾ (¹⁾Department of Biology, College of Arts and Sciences, University of Tokyo, ²⁾Mathematical Ecology Section, National Research Institute of Fisheries Science, ³⁾Institute for Polymers and Textiles) : [原著] Sex allocation of parasitic wasps ; local mate competition, dispersal before mating and host quality variation. *J. Evol. Biol.*, 6, 79~94, 1993.

著書

- 1) 品川嘉也：自分を120%活かす脳刺激法。丸善，1992。
- 2) 品川嘉也，瀬野裕美¹⁾ (¹⁾基礎医情報) : [共著] 医学・生物学とフラクタル解析；生物に潜む自己相似性を探る。

学会発表

- 1) 木山裕子, 上坂伸宏, Noguchi, C. T.¹⁾ (¹⁾Laboratory of Chemical Biology, NIDDK, NIH): [一般講演] ヒト・ヘモグロビン遺伝子の発現機序. 第69回日本生理学会大会, 1992.
- 2) 上坂伸宏, Rodgers, G. P.¹⁾, 比留間博之²⁾, Noguchi, C. T.¹⁾, Schechter, A. N.¹⁾ (¹⁾Laboratory of Chemical Biology, NIDDK, NIH, ²⁾内科第3): [展示] 鎌状赤血球症のHU/EPO併用治療による赤血球変形能の顕著な改善. 第69回日本生理学会大会, 1992.
- 3) 中村 孝, 長谷川節雄¹⁾, 塩 栄夫²⁾, 上坂伸宏 (¹⁾内科第3, ²⁾滋賀県立成人病センター): [展示] Heinz小体形成赤血球の変形能低下と生体内溶血. 第69回日本生理学会大会, 1992.
- 4) 品川嘉也, 瀬野裕美¹⁾, 河野貴美子¹⁾, 小糸秀美¹⁾, 北見聡章¹⁾, 小松崎英樹²⁾, 橋本 清²⁾ (¹⁾基礎医情報, ²⁾多摩永山病院小児科): [一般講演] 脳波のフラクタル次元マップ. 第69回日本生理学会大会, 1992.
- 5) 河野貴美子¹⁾, 小糸秀美¹⁾, 品川嘉也 (¹⁾基礎医情報): [一般講演] 集中思考時の脳波解析. 第69回日本生理学会大会, 1992.
- 6) 長谷川節雄¹⁾, 野村武夫¹⁾, 中村 孝, 上坂伸宏 (¹⁾内科第3: [展示] 孔径3mmのnickel meshを用いた赤血球変形能測定法の確立とその臨床応用. 第54回日本血液学会総会, 1992.
- 7) 大坂元久, 斎藤寛和¹⁾, 宮内靖史¹⁾, 平山悦之¹⁾, 佐々部典子¹⁾, 新 博次¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 品川嘉也(¹⁾内科第1): [一般講演] 異なったデータ処理による心拍変動パワースペクトル(HRV)解析の比較検討. 第31回日本エム・イー学会大会, 1992.
- 8) Osaka, M., Saito, H.¹⁾, Sasabe, N.¹⁾, Miyauchi, Y.¹⁾, Hirayama, Y.¹⁾, Atarashi, H.¹⁾, Katoh, T.¹⁾, Hayakawa, H.¹⁾, and Shinagawa, Y. (¹⁾1st Dept. of Internal Medicine): [ポスター] Personal adjustment of low and high frequency bands (PAB) in spectral analysis of heart rate variability (HRV). 5th International Congress on Ambulatory Monitoring (Saint Louis, Missouri), 1992.
- 9) 大坂元久, 斎藤寛和¹⁾, 宮内靖史¹⁾, 新 博次¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 品川嘉也 (¹⁾内科第1): [一般講演] 心房細動発生の波動方程式モデル. 第7回日本心臓ペースング学会学術大会, 1992.
- 10) 長谷川節雄¹⁾, 野村武夫¹⁾, 塩 栄夫²⁾, 上坂伸宏 (¹⁾内科第3, ²⁾滋賀県立成人病センター: [一般講演] 遺伝性球状赤血球症患者赤血球のheterogeneityとfilterability. 第15回日本バイオレオロジー学会年会, 1992.
- 11) Uyesaka, N.: [シンポジウム] Effects of superoxide anions on RBC deformability and membrane proteins-Impaired RBC deformability due to degradation of membrane proteins. (Thema: Membrane skeleton of red cells and the deformability). The 8th International Congress of Biorheology (Yokohama), 1992.
- 12) Nakamura, T., Hasegawa, S.¹⁾, Shio, H.²⁾, and Uyesaka, N. (¹⁾Dept. of 3rd Internal Medicine, ²⁾The Shiga Medical Center for Adult Disease): [展示] Red cell filterability through nickel mesh filter with 3 μ m pores. The 8th International Congress of Biorheology (Yokohama), 1992.
- 13) Hasegawa, S.¹⁾, Rodgers G. P.²⁾, Shio, H.³⁾, Schechter, A. N.²⁾, and Uyesaka, N. (¹⁾Dept. of 3rd Internal Medicine, ²⁾Laboratory of Chemical Biology, NIDDK, NIH, ³⁾The Shiga Medical Center for Adult Disease: [展示] Impaired deformability of heinz body-forming red cells. The 8th International Congress of Biorheology (Yokohama), 1992.
- 14) Uyesaka, N., Rodgers, G. P., Noguchi, C. T., and Schechter, A.N.¹⁾ (¹⁾Laboratory of Chemical Biology, NIDDK, NIH): [展示] Effect of hydroxyurea and erythropoietin therapy on RBC filterability. The 8th International Congress of Biorheology (Yokohama), 1992.
- 15) 大坂元久, 斎藤寛和¹⁾, 佐々部典子¹⁾, 宮内靖史¹⁾, 新 博次¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 品川嘉也(¹⁾内科第1): [展示] 心拍変動のフラクタル次元性. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

- 16) 品川嘉也：〔シンポジウム〕死からみた老化（テーマ：老化考—1992年個体と細胞の死）。日本基礎老化学会第16回大会，1992.
- 17) 大坂元久，斎藤寛和¹⁾，新 博次¹⁾，加藤貴雄¹⁾，早川弘一¹⁾，品川嘉也（¹⁾内科第1）：〔一般講演〕心房細動発生の波動方程式モデル．第9回日本心電図学会学術集会，1992.
- 18) 河野貴美子¹⁾，村松尚可¹⁾，品川嘉也（¹⁾基礎医情報）：〔一般講演・展示〕珠算発達過程の脳波およびそのフラクタル次元と年齢の相関．第22回日本脳波・筋電図学会学術大会，1992.
- 19) 品川嘉也，小松崎秀樹¹⁾，橋本 清¹⁾，河野貴美子²⁾（¹⁾多摩永山病院小児科，²⁾基礎医情報）：〔展示〕2種類の脳波フラクタル次元を持つ例とその診断学的意義．第22回日本脳波・筋電図学会学術大会，1992.
- 20) 品川嘉也，河野貴美子¹⁾（¹⁾基礎医情報）：〔一般講演〕様々な精神作業時の脳波フラクタル次元解析．第19回日本脳研究会，1992.
- 21) 大坂元久，斎藤寛和¹⁾，宮内靖史¹⁾，佐々部典子¹⁾，新 博次¹⁾，加藤貴雄¹⁾，早川弘一¹⁾，品川嘉也（¹⁾内科第1）：〔一般講演〕体位変換による自律神経系の反応性；加齢の影響．第34回日本老年医学会総会，1992.
- 22) Wada-Kiyama, Y.：〔ポスター〕Unique sequence features in the 2Kbp upstream flanking region of the epsilon globin gene. The American Society of Hematology 34th Annual Meeting (Anaheim, CA), 1992.
- 23) Hiruma, H.,¹⁾Noguchi, C.T.²⁾, Uyesaka, N., Schechter, A. N.²⁾, and Rodgers, G.P.²⁾（¹⁾Dept. of 3rd Internal Medicine, ²⁾Laboratory of Chemical Biology, NIDDK, NIH）：〔ポスター〕Membrane and hemoglobin contributions to impaired filtration in erythrocytes containing sickle hemoglobin. The American Society of Hematology 34th Annual Meeting (Anaheim, CA), 1992.
- 24) 大坂元久，斎藤寛和¹⁾，佐々部典子¹⁾，宮内靖史¹⁾，新 博次¹⁾，加藤貴雄¹⁾，早川弘一¹⁾（¹⁾内科第1）：〔一般講演〕心拍変動のフラクタル次元(FD)解析；新しい自律神経機能の評価法．第57回日本循環器学会学術集会，1993.
- 25) 大坂元久：〔一般講演〕心拍変動のパワースペクトルの計算．日本 ME 学会専門別研究会；生体信号の長時間無拘束計測と解析研究会，1993.

4. 生理学第二講座

研究概要

神経細胞に於ける情報処理の鍵を握っているのは軸索起始部であるというのが現代生理学の通説であり、教科書にも記載されている。これは運動細胞に於ける一番閾値の低いスパイクはこの部位起源であるという推測に基づく (Coombs et al., J. Physiol., 139: 198~231, 1957)。しかし、海馬錐体細胞では一番閾値の低いスパイクは樹状突起起源の複合スパイクである (Fujita, J. Physiol., 443: 335~353, 1991) ので上記の推測が普遍性を欠く事は明白である。神経細胞に於ける基本的原理は普遍性がある筈である。従って上述の錐体細胞に於ける結果は運動細胞にも適用出来る可能性がある。Fujita はこの問題に取り組み肯定的な結果を得て学会で発表した。すなわち、脊髄運動細胞でも最も閾値の低いスパイクは樹状突起の複合スパイクでありこの事実は現在の通説を覆す事になる。Maru らはテンカンのキンドリング・モデルを用いて海馬の錐体細胞の樹状突起スパイクや興奮性伝達物質である NMDA 受容体活性化に由来する電位と発作波閾値の低下との連関を電流源密度解析法を用いて調べた。NMDA 受容体の動向は現在種々の面から研究されている。新皮質ではこの受容体の動向と神経細胞の発達には関連があると考えられている (Bargard et al., J. Neurophysiol., 69: 230~240, 1993)。Harada はラット脊髄運動細胞の 1a シナプスの NMDA 受容体は幼少時にしか見られない事を見出し、NMDA 受容体と 1a シナプスの形成には相関があるとの観点に立って研究をしている。Kobayashi は放射線医学研究所の Inoue と共同研究を行った。すなわち、NMDA 受容体の非競合的阻害薬 MK801 をラットに投与すると線条体のドーパミンの結合が容量依存的に増加した。これは MK801 の直接作用ではなく、この薬剤投与による他の神経系の活動の減少に由来するものである事を明らかにした。この結果はパーキンソン氏症候群など大脳基底核の病態の解明に新たな視点を提供するものと思われる。

研究業績

論文

- 1) 丸 栄一, 鈴木慎也, 芦田 廣¹⁾ (¹⁾防衛医大・生理学 2): [原著] てんかん原性獲得過程における樹状突起異常電気活動の役割; キンドリングてんかんモデルを用いた神経生理学的研究, てんかん治療研究振興財団研究年報, 4, 96~105, 1992.
- 2) Kobayashi, K.: [原著] An increase in IN VIVO binding of [³H] SCH 23390 induced by MK-801 in mouse striatum. Neuropharmacology, 32, 341~348, 1993.

学会発表

- 1) 藤田安一郎: [一般講演] 運動細胞と海馬錐体細胞の電気活動の比較, 第69回日本生理学会大会, 1992.
- 2) 丸 栄一, 鈴木慎也, 芦田 廣¹⁾ (¹⁾防衛医大・生理学 2): [一般講演] 海馬 CA1 発作間歇期スパイクの電流密度解析, 第69回日本生理学会大会, 1992.
- 3) 原田嘉夫: [一般講演] 脊髄 1a シナプス伝達に関与する二種類のグルタミン酸受容体, 第69回日本生理学会大会, 1992.
- 4) 小林 薫, 橋本謙二¹⁾, 井上 修¹⁾ (¹⁾放射線研究所): [一般講演] 標識アミンのマウス体内動態に関する検討, 日本薬学会第112年会, 1992.
- 5) 伊藤高司¹⁾, 小林 薫, 須原哲也¹⁾, 鈴木和年¹⁾, 館野之男¹⁾, 井上 修¹⁾ (¹⁾放射線研究所): [一般講演] ベンゾジアゼピン受容体の定量評価, 第32回日本核医学総会, 1992.
- 6) 小林 薫, 伊藤高司¹⁾, 田中雅康¹⁾, 須原哲也¹⁾, 鈴木和年¹⁾, 井上 修¹⁾, 館野之男¹⁾ (¹⁾放射線研究所): [一般講演] アルコール負荷におけるベンゾジアゼピンレセプターの PET 計測, 第32回日本核医学総会, 1992.
- 7) 須原哲也¹⁾, 井上 修¹⁾, 鈴木和年¹⁾, 佐藤俊之¹⁾, 館野之男¹⁾, 小林 薫, 伊藤高司¹⁾ (¹⁾放射線研究所): [一般

講演] トリアゾラムの脳内ムスカリン性アセチルコリンレセプターに対する効果. 第32回日本核医学総会, 1992.

- 8) 伊藤高司¹⁾, 田中雅康¹⁾, 小林 薫, 鈴木和年¹⁾, 井上 修¹⁾ (¹⁾放射線研究所): [一般講演] ベントバルビタールによるベンゾジアゼピン受容体結合の変化. 第32回日本核医学総会, 1992.
- 9) 小林 薫, 田中雅康¹⁾, 佐藤俊之¹⁾, 若原俊一¹⁾, 井上 修¹⁾ (¹⁾放射線研究所): [一般講演] ドーパミン D1レセプターのインビボ結合特性の加齢による変化(3次元表示による比較検討). 第22回日本神経精神薬理学会年会, 1992.
- 10) Fujita, Y.: [一般講演] Dendritic origin of the A-spike (IS-spike) of motoneurons in adult cats and infant pigs. 第16回日本神経科学大会, 1992.
- 11) Maru, E., Suzuki, S., Asida, H.¹⁾ (¹⁾防衛医大・生理学2): [一般講演] A current source density analysis of dendritic spike conduction during hippocampal seizures. 第16回日本神経科学大会, 1992.
- 12) Harada, Y.: [一般講演] Developmental changes in the relative contribution of two glutamate receptors to Ia monosynaptic transmission in the rat spinal cord. 第16回日本神経科学大会, 1992.

5. 生化学第一講座

研究概要

1. ラットグロビン遺伝子群の発現調節機構に関する研究：従来から、ラットグロビン遺伝子群の全構造の解明と、これを基盤としたグロビン遺伝子の stage-specific および tissue-specific な発現調節機構の研究を行っている。本年度は発現量の著しく異なる II β , III β a', III β c について、その制御機構を明らかにするため、5'-上流広領域のプロモーター共通配列の検索、CAT assay による活性部位や発現の細胞特異性の検討を行った。また、近年重視されている LCR (locus control region) の構造、機能の検討も行っている。

2. 全身型甲状腺ホルモン不応症家系における T_3 受容体遺伝子の解析：これまでに、発端者および家族における当該遺伝子の変異部位の同定、変異遺伝子の in vitro 発現による T_3 -binding affinity の測定等を行ったが、本年度はさらに TRE-TK-CAT construct を用いた COS 細胞への co-transfection により、変異遺伝子の発現が正常受容体の作用を阻害すること (dominant-negative) を明らかにした。

3. ラット cytochrome c oxidase subunit (COX) Vb 遺伝子、およびヒト DNA ミスマッチ修復蛋白質 (MRP-1) 遺伝子について：従来の成果に加えて、COXVb に関しては 5'-上流領域の deletion mutant を用いた CAT assay および gel shift assay による活性部位の同定、また MRP-1 については、バキュロウイルス発現系による大量発現と生成蛋白質の可溶化、heteroduplex DNA を用いたゲルシフト法の開発を行った。

4. 実験的白内障：フェオホルバイド a によるラットの実験的白内障の発生機序について、活性酸素関与の可能性を中心に検討を行った。

5. 複合フラビン酵素の構造と機能に関する研究：複合金属フラビン酵素であるキサンチン酸化酵素および NO 合成酵素の構造、反応機構、調節等の酵素化学的性状解析を行っている。キサンチン酸化酵素については、X線結晶解析に適する結晶が得られ、現在カナダ・トロント大学と共同研究で、筑波高エネルギー研究所のサイクロトロンによる結晶構造解析を進めている。また、二つの酵素の cDNA 発現系を用いた大量発現と、変異酵素の発現による酵素の構造と機能について検討を行っている。さらに、それらの生成するスーパーオキシドや NO ラジカルの生理的、病因的役割の解析も行っている。

研究業績

論文

- 1) Shuto, Y., Wakabayashi, I.¹⁾, Amuro, N.²⁾, Minami, S.¹⁾, and Okazaki, T. (¹⁾内科学第3, ²⁾付属病院老人科)：〔原著〕A point mutation in the 3, 5, 3'-triiodothyronine-binding domain of thyroid hormone receptor β associated with a family with generalized resistance to thyroid hormone. J. Clin. Endocrinol. Metab., 75, 213~217, 1992.
- 2) Shuto, Y., Okazaki, T., and Wakabayashi, I.¹⁾ (¹⁾内科学第3)：〔原著〕Transcriptional activity of a mutant thyroid hormone receptor β in a family with generalized resistance to thyroid hormone. Mol. Cell Endocrinol., 90, 111~115, 1992.
- 3) 西野武士：〔総説〕鉄含有酵素-活性酸素生成機構における非ヘム鉄の役割。活性酸素・フリー ラジカル, 3, 686~692, 1992.

学会発表

- 1) 周東祐仁, 岡崎太郎, 若林一二¹⁾ (¹⁾内科学第3)：〔一般講演〕全身型甲状腺ホルモン不応症の T_3 受容体の COS 細胞における発現。第29回日本臨床代謝学会, 1992.
- 2) Shuto, Y., Okazaki, T., and Wakabayashi, I.¹⁾ (¹⁾内科学第3)：〔一般講演〕Expression of a mutant thyroid

hormone receptor β in a family with generalized resistance to thyroid hormone in COS cells. The 9th International Congress of Endocrinology (Nice), 1992.

- 3) 小林茂樹¹⁾, タン・ウィン¹⁾, 阿部靖子, 岡崎太郎, 清水由規¹⁾ (¹⁾眼科): [一般講演] フェオホルパイド a による実験的白内障. 第31回日本白内障学会, 1992.
- 4) 周東祐仁, 岡崎太郎, 若林一二¹⁾ (¹⁾内科学第3): [一般講演] 全身型甲状腺ホルモン不応症における T₃受容体の分子生物学的解析. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 5) 神田佳和¹⁾, 永島洋司¹⁾, 阿部靖子 (¹⁾生化学第2): [一般講演] 母乳中細胞増殖因子. 第65回日本生化学会大会, 1992.
- 6) 奥村 敏, 渡辺美千明, 藤井裕之, 岡崎太郎: [一般講演] ラット β グロビン遺伝子 5'上流領域の解析. 第65回日本生化学会大会, 1992.

6. 生化学第二講座

研究概要

現在、生化学第二講座は、1) 分子生物、2) 遺伝子診断、3) 遺伝子治療の三つの研究部門で構成されており、それぞれ分子生物学的手法を用いた分子遺伝学及び臨床遺伝学の研究を行っている。

1) 分子生物

ヒト DNA ミスマッチ修復酵素の構造と機能に関する研究：DNA ミスマッチ修復酵素 (MRP1) 遺伝子は島田等により1989年に始めてクローニングされた遺伝子で、構造上、細菌のミスマッチ修復酵素 (mut S) との間に高い相同性を持っている。DNA 修復は個体維持のための最も基本的な機構と考えられており、その障害と細胞の癌化との関係が注目されている。我々は、MRP1遺伝子の構造と発現機構、MRP1蛋白の構造と機能を解析することにより、これまでほとんど明らかになっていなかった高等動物の DNA ミスマッチ修復機構を解明することを目的としている。MRP1をバクテリアおよび蚕のバキュロウイルスを使って発現させる系を確立し、大量の MRP1組換え蛋白を得、MRP1に対するモノクローナル抗体を作ること成功した。現在、この抗体を使って、MRP1の精製、組織分布、細胞内局在、機能解析を行っている。

ヒト葉酸脱水素酵素 (DHFR) および MRP1遺伝子の両方向性プロモーターの構造、機能解析：DHFR と MRP1遺伝子は第5染色体上に約90bpの間隔を置いて、逆向きに存在し、それらの発現は両方向性プロモーターにより調節されている。我々は、このプロモーターの構造と機能について解析を行っている。新たに開発した、プライマー伸長法を使って、転写開始点が、イニシエーター配列により決定されていることを明らかにした。さらに、この両方向性プロモーターの転写開始機構、細胞周期における特異的発現調節機構についての研究をすすめている。

2) 遺伝子診断

PCR-SSCP 法を使った多型解析による出生前遺伝子診断法の確立：PCR (polymerase chain reaction) 法の開発により遺伝子診断法は急速な発達を遂げた。我々は、21-ヒドロキシラーゼ (21-OH) 欠損症を対象に、PCR-SSCP 法と多型解析法を組み合わせる胎児絨毛組織から得られる微量の DNA の異常を迅速かつ確実に診断する方法の開発を行っている。副腎性器症候群の原因である21-OH 欠損症は胎児期にステロイド投与を行えば治療可能であると考えられている。出生前診断が確実に行えるようになれば、出生前ステロイド治療のみならず将来的には出生前遺伝子治療も可能になり、他の多くの遺伝性疾患の治療方針を決定するうえでも重要であると考えられる。

3) 遺伝子治療

遺伝子治療とは遺伝子を患者の細胞に導入して疾患の治療を行おうとするもので遺伝病のみならずガンや AIDS の治療法としても注目されている。米国では1990年から臨床試験が開始され、既に50例以上の遺伝子治療が実施されている。我国でも1993年4月に島田等により作成された遺伝子治療ガイドラインが厚生省から発表されており、数年以内には本格的な遺伝子治療時代に入るものと期待されている。日本医大生化学第二教室は我国の遺伝子治療の中心的研究機関として国内外の研究室と協力して多くの基礎、臨床研究を行っている。

Adeno associated virus を使った新しい遺伝子導入ベクターの開発：遺伝子治療を行うためには安全で効率の高い遺伝子導入法の開発が最も重要な技術的課題である。我々は現在一般に用いられているレトロウイルスベクターに比較して多くの利点を持つと考えられている Adeno associated virus(AAV)ベクターの開発を行っている。既に、AAVベクターにより多くの種類の細胞の染色体内に、効率よく遺伝子を組み込めることが確認された。現在、さらにベクターの産生細胞株を樹立し高い力価を持つベクターの大量産生法の開発を行っている。

HIV ベクターを用いた AIDS 遺伝子治療法の開発：AIDS の原因ウイルスである HIV は CD4分子をレセプターとしてリンパ球に感染することが知られている。我々は、この性質を利用して、リンパ球に特異的に遺伝子を導入できる、安全な HIV ベクターを開発した。このベクターを使って、抗 HIV 遺伝子であるアンチセンス、リボザイム、デコイ等の遺伝子をリンパ球に導入し HIV の増殖を阻害し AIDS の治療を行う新しい遺伝子治療法の開発を行っている。

る。

ガンの遺伝子治療の基礎的研究：ガンの遺伝子治療法として，細胞毒性を持つヘルペスチミジンキナーゼ(HSTK)遺伝子とガン免疫増強作用のあるインターロイキン-4 (IL-4) 遺伝子を使った治療の可能性を検討している。これまでのマウスを使った実験において，HSTK, IL-4遺伝子共に移植ガンの増殖を著明に阻害することが確認された。これらの作用機序を解明する基礎的研究と平行して，抗ガン遺伝子を内視鏡経路で消化管ガン，泌尿器系ガンに直接導入して治療する新しい in vivo 遺伝子治療法の開発を行っている。

研究業績

論文

- 1) Liu, J.M., Green, S.W., Shimada, T., and Young, N.S.: [原著] A block in full-length transcript maturation in cells non-permissive for B19 parvovirus. *J.Virol.*, 66, 4686~4692, 1992.
- 2) Fujii, H., Shinya, E., and Shimada, T.: [原著] A GC box in the bidirectional promoter is essential for expression of the human dihydroforate reductase and mismatch repair protein 1 gene. *FEBS Lett.*, 314, 33~36, 1992.
- 3) Hisayasu, S., Orimo, H., Migita, S.¹⁾, Ikeda, Y., Satoh, K., Shinjo (Kanda), S., Hirai, Y., and Yoshino, Y.²⁾ (¹⁾国学院栃木短大, ²⁾昭和女子大): [原著] Soybean protein isolate and soybean lectin inhibit iron absorption in rat. *J. Nutr.*, 122, 1190~1196, 1992.
- 4) Hirai, Y., Eugene, E.A.¹⁾, and Berliner, L.J.²⁾ (¹⁾Institute of Biological Physics, USSR Academy of Science, ²⁾Ohio State University): [原著] Proteolytic digestion of α -Lactalbumin: Physiological implications. *J. Protein Chem.*, 11, 51~57, 1992.
- 5) 立川裕理¹⁾, 折茂英生 (¹⁾内科学第3): [原著] ヒト胎盤における膜結合型カルモジュリンの精製とその性質. *日医大誌*, 59, 247~257, 1992.
- 6) 折茂英生: [原著] カルシウムの腸管吸収におけるカルシウム結合蛋白質，とくに IMCaI (Integral membrane calcium binding protein) の役割. 上原記念生命科学財団研究報告集, 6, 97~99, 1992.
- 7) 大友康裕¹⁾, 神田佳和, 吉野芳夫²⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾救急医学, ²⁾昭和女子大): [原著] ラット Kupffer 細胞及び hepatocyte の刺激の相違によるロイコトリエン産生能の変化. *日外会誌*, 94, 231~241, 1993.
- 8) Shirasaka, T., Yarchoan, R., O., Brien, M.C., Husson, R.N., Anderson, B.D., Kojima, E., Shimada, T., and Mitsuya, H.: [原著] Changes in drug sensitivity of human immunodeficiency virus type 1 during therapy with azidothymidine, dideoxycytidine, and dideoxyinosine: An in vitro comparative study. *Proc. Natl. Acad. Sci. USA.*, 90, 562~566, 1993.
- 9) 島田 隆: [総説] 遺伝子治療の現状. *臨床検査*, 36, 239~241, 1992.
- 10) 島田 隆: [総説] 6/1, 2 RAC Meeting より. *免疫 Immunology Frontier*, 2, 382~384, 1992.
- 11) 島田 隆: [総説] 遺伝子治療の現状と展望-遺伝子工学の最前線. *臨床医のための実験医学シリーズ*, 1: 136~147, 1992.
- 12) 新谷英滋, 島田 隆: [総説] 遺伝子治療とは. *Brain Nursing*, 9, 421~426, 1993.
- 13) 鈴木 聡, 島田 隆: [総説] 癌の遺伝子治療. (特集: 癌化学療法) 化学療法の領域, 9, 252~258, 1993.
- 14) 鈴木 聡, 島田 隆: [総説] 遺伝子治療の現状と展望. *血液・腫瘍科 (1993)* 印刷中
- 15) 島田 隆: [総説] 抗 HIV 遺伝子を使った遺伝子治療の可能性. 増刊号「HIV 感染症・AIDS1993年」日本臨床 (1993) 印刷中

学会発表

- 1) 島田 隆: [記念講演] 遺伝子治療の現状と展望. 第60回日本医大医学会総会, 1992.

- 2) 島田 隆：〔特別講演〕米国における遺伝子治療の現状。第37回日本人類遺伝学会，1992。
- 3) 神田佳和，長島洋司，阿部靖子¹⁾ (¹⁾生化学第1)：〔一般講演〕母乳中の細胞増殖因子。第65回日本生化学会大会，1992。
- 4) 家永 聡¹⁾，荒木 勤，神田佳和，島田 隆 (¹⁾産婦人科学)：〔一般講演〕妊娠末期ラット胎児肝 glycogen 生成における glycerol からの糖新生の関与。第16回日本産科婦人科栄養代謝研究会，1992。
- 5) 内山幸昌¹⁾，Than Win¹⁾，平井幸彦，清水由規¹⁾ (¹⁾眼科)：〔一般講演〕WBN/Kob 雄ラット白内障に対する AR 阻害剤の検討 (その 3)。第96回日本眼科学会総会，1992。
- 6) 内山幸昌¹⁾，Than Win¹⁾，平井幸彦，清水由規¹⁾ (¹⁾眼科)：〔一般講演〕WBN/Kob 雄ラット白内障に対する AR 阻害剤の検討 (その 4)。第96回日本眼科学会総会，1992。
- 7) Migita, M., Yamamoto, M.¹⁾, Shimada, T., Hirai, Y., and Sakuraba, H.²⁾ (¹⁾小児科, ²⁾都立臨床研)：〔シンポジウム〕Enzyme replacement therapy for Gaucher disease ; The first case in Japan. 4th Meeting of Molecular Biology for Genetic Disorders, 1992。
- 8) 新谷英滋，藤井裕之，島田 隆：〔一般講演〕ヒト DHFR/MRP-1 遺伝子の両方向性プロモーターの転写開始制御機構。第65回日本生化学会大会，1992。
- 9) 新谷英滋，鈴木紀子，島田 隆：〔一般講演〕組換え HIV ベクターのパッケージング機構。第15回日本分子生物学会年会，1992。
- 10) 平井幸彦，新谷英滋，右田 真，佐藤久美子，Samulski, R.J.¹⁾，島田 隆 (¹⁾University of Pittsburgh)：〔一般講演〕Adeno associated virus (AAV) ベクターによる遺伝子導入。第15回日本分子生物学会年会，1992。
- 11) 鈴木 聡，伊月葉子，池田由紀，島田 隆：〔一般講演〕Cos 細胞を使ったマウスレトロウイルスベクター産生系。第15回日本分子生物学会年会，1992。
- 12) 島田 隆：〔特別講演〕遺伝子治療の現状と展望。第33回日本胸部疾患学会総会，1993。
- 13) Shinya, E.：〔招待講演〕Current concept and techniques for human gene therapy. Annual Meeting of the Cancer Research Center and 2nd Seoul Cancer Symposium on Gene Therapy of Cancer (Seoul, Korea), 1993。
- 14) Shinya, E., and Simada, T.：〔展示〕Packaging of recombinant HIV vector in Cos cells. Keystone Symposium of Molecular and Cellular Biology (Colorado, U.S.A.), 1993。

7. 薬理学講座

〔薬理学〕

研究概要

本年度の当研究室の研究概要は以下のとおりであった。

(1) 運動ニューロンの生存, 神経突起伸展を担う物質の同定と精製とを目指し現在ニワトリ胚後肢筋から活性因子を分離精製中である。(2) 運動ニューロンの軸索切断誘発性細胞死の臨界期が, 新生ラットの9日目から12日目までにあることが判明した。(3) 神経細胞死の機構を解析するために, ショウジョウバエ幼虫中枢神経系由来樹立細胞を用いた細胞死の実験系の確立を進めている。(4) ショウジョウバエ中枢神経系より樹立した細胞系をモデル系として用い, 細胞増殖促進, および阻害に関与する物質の同定を行っている。(5) 新生ラット摘出脊髄標本を用いて電気生理学的にニューロンに作用する物質を検討している。とくにL-dopaの運動ニューロン脱分極作用が一部グルタミン酸受容体サブタイプのAMPA/kainate受容体を介することが判明した。(6) 気管支喘息の発現機序解明ならびに治療薬開発の目的で, モルモット単離気道平滑筋細胞と摘出気管筋標本を用い, 抗原誘発時の平滑筋収縮における K^+ チャネルの開閉ならびにそれに関わるチャネル開口薬について検討している。(7) 膵臓からのホルモン分泌は, 体液性および神経性に調節されている。しかし, 不明の点も多い。例えば血糖上昇に伴うインスリン分泌に中枢神経系が関与しているか否かは判然としない。この機構を検討している。

研究業績

論文

- 1) 宮田雄平: [総説] L-DOPAの脊髄運動ニューロン脱分極作用, 医学の歩み, 162, 827~830, 1992.

学会発表

- 1) Ui, K., Nishimura, S.¹⁾, Sakuma, M., Togashi, S.²⁾, Ueda, R.²⁾, Miyata, Y., and Miyake, T.²⁾ (¹⁾創価大学・生命研, ²⁾三菱化成生命研・細胞生物): [展示] Establishment and characterization of cell lines from larval CNS of *Drosophila melanogaster*. International Symposium on "Recent Advances in Molecular and Developmental Genetics of Insects" (Kashikosima) 1992.
- 2) Nemoto, K., Okamura, T., Tsujitani, M.¹⁾, and Sakaguchi, M.¹⁾ (¹⁾ポーラ化成工業医薬品研): [展示] A new dissociation method of airway smooth muscle cells for evaluation of bronchial asthma. The 8th International Congress of Immunology (Budapest, Hungary), 1992.
- 3) Tsujitani, M.¹⁾, Sakaguchi, M.¹⁾, Nemoto, K., and Okamura, T. (¹⁾ポーラ化成工業医薬品研): [展示] PM56 D9 inhibits IgG-mediated anaphylactic contraction of airway single smooth muscle cells from guinea pigs. The 8th International Congress of Immunology (Budapest, Hungary), 1992.
- 4) 根本香代, 岡村忠夫: [一般講演] モルモット気管平滑筋のIgGを介したアナフィラキシー性収縮における K^+ チャネルの関与, 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 5) 佐久間雅文, 小西史郎¹⁾, 宮田雄平 (¹⁾三菱化成生命研): [展示] L-DOPAによる運動ニューロンの脱分極はAMPA/kainateの拮抗薬で遮断される。日本神経科学学会第16回大会, 1992.
- 6) 根本香代, 岡村忠夫: [一般講演] モルモット気管筋のアナフィラキシー性収縮と86Rb流出, 第66回日本薬理学会年会, 1993.

[臨床薬理センター]

研究概要

臨床薬理センターでは臨床薬理学の立場から次のような研究を行っている。

1. Population pharmacokinetics の研究：NONMEM (Non Linear Mixed Effect Model) は患者一人当たりの採血点が1-2点でも、解析が可能な population pharmacokinetics 理論を応用した薬物動態解析プログラムで、その臨床的有用性を研究している。

2. 抗不整脈薬の光学異性体の薬物動態に関する研究：disopyramide はラセミ体で投与されるが、効果の指標となるのは光学異性体 (d-体) の血中濃度である。内科第1と共同で腎障害時の不整脈患者における disopyramide 光学異性体の薬物動態解析を試みている。

3. 自然発症慢性膵炎モデル：我々が見出した自然発症慢性膵炎モデルの WBN/Kob ラットを用いて抗慢性膵炎治療薬の効果の評価法に関する研究を行ってきた。現在までの研究の結果、慢性膵炎治療薬の治療効果は病理的観察が最も重要であり、その治療メカニズムに関して Brd-U の細胞内取込みを指標として細胞増殖面からの検討を加えている。

4. 薬物の臨床試験に関する方法論の研究：新しい薬物開発における臨床試験のあり方、評価方法、薬物治験審査委員会のあり方などを委員会事務局としての業務経験を生かして研究している。臨床試験の試験計画書の記載が GCP、厚生省ガイドラインに合っているか、非臨床試験データが反映されているかなどを薬剤群別に検討した。現在、抗癌剤の第1相試験における前臨床データを利用して増量に関する調査・検討を行っている。そして、第2相試験のよりよい方法を模索するため薬効群別に現状と問題点を調査している。

研究業績

論文

- 1) 大橋和史, 原 浩子, 高橋文恵, 阿曾亮子, 秋元敏男¹⁾, 仲間一雅¹⁾(¹⁾実験動物管理室)：〔原著〕Menogaryl(TUT-7) のラットにおける体内動態；単回, 反復経口投与時の血中動態および四塩化炭素肝障害の影響。癌と化学療法, 9, 1825-1829, 1992.

学会発表

- 1) Ohashi, K., Takayama, E., Aso, R., Akimoto, T.¹⁾, and Nakama, K.¹⁾ (¹⁾実験動物管理室)：〔展示〕A new evaluation method for anti-chronic pancreatitis agents using WBN/Kob rats; A trial of FUT-187. Vth World Conf. on Clin. Pharmacol. & Ther. (Yokohama), 1992.
- 2) Aso, R., Ohashi, K., Kamei, S.¹⁾, Katoh, T.¹⁾, Takahashi, H.²⁾, and Ogata, H.²⁾ (¹⁾内科学第1, ²⁾明治薬科大学薬剤学教室)：〔展示〕Usefulness and problems of the population pharmacokinetic analysis from therapeutic data using NONMEM; Trial with disopyramide enantiomer data. Vth World Conf. on Clin. Pharmacol. & Ther. (Yokohama), 1992.
- 3) 大橋和史, 阿曾亮子：〔セミナー〕薬効別薬剤の第一相試験の考え方。4) 抗悪性腫瘍薬。第7回臨床薬理富士五湖カンファレンス, 1992.
- 4) 阿曾亮子, 大須賀恵美子, 奈良弘恵, 大橋和史：〔展示〕日本医科大学薬物治験審査委員会年間報告(平成3年度)。第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

8. 病理学第一講座

研究概要

当教室では、超微形態学的、免疫組織学的方法論による研究を主とするが、コンピューターを用いた画像解析による研究もとりいれられつつある。対象臓器は腎臓、肺臓、心臓を中心とし、肝臓、泌尿器、腫瘍病理などについても研究がなされている。腎臓では、抗胸腺抗体やハブ蛇毒により惹起された実験腎炎の病理学的解析、糸球体病変における細胞外基質の動態の検討、コンピューターの応用による糸球体の立体再構築、各種造影剤の腎組織に及ぼす影響、虚血性尿細管障害におけるアポトーシスの関与、糖尿病性腎症の糸球体病変の解析、糖尿病自然発症ラットの腎変化についての研究などが行われた。また、フライブルグ大学(ドイツ)Vogt 研究室との共同研究を継続し、ループス腎炎の病因についてヒストンとの関連に注目した検討が行われている。1992年6月の日仏腎臓シンポジウム(パリ)では、実験腎炎による糸球体修復過程についてのこれまでの研究の成果を報告した。腎移植の病理についても、新しい免疫抑制剤 FK506 の腎に及ぼす影響の病理学的検討や、免疫抑制剤 Deoxy-spergualin に関する国立循環器センターとの共同研究が遂行された。肺臓では、肺病変に際しての肺間質の動態を中心に多彩な研究が進められ、肺の線維症進行の病理過程、とくに特発性間質性肺炎あるいは肺線維症の際の肺胞構造改変機序、肺疾患と種々の matrix component やこれに対するレセプターの動態との関わり、ブラ・ブレップにおける弾性線維障害、気管支損傷の治癒過程などについての検討が行われた。心臓では、僧帽弁穿孔の動物実験による研究が始められ、穿孔後の組織像の変遷が追求された。その他、過酸化水素による臓器障害の電顕的観察、ハムスター肺の発癌過程の研究、肝切除後の再生過程、組織培養による前立腺癌の骨形成能などについての検討がなされた。技師による電顕標本の染色法や酵素抗体法の技術に関する研究も行われている。

研究業績

論文

- 1) 福田 悠：〔総説〕肺間質の形態学。キッセイクール，10，13～14，1992。
- 2) 山中宣昭：〔総説〕基質障害を特徴とする腎炎・腎症（特集：病理組織診断における電子顕微鏡の有用性）。病理と臨床，10（臨時増刊号），86～95，1992。
- 3) 山中宣昭，温 敏：〔総説〕コンピューターによる腎糸球体構築の三次元的解析。腎と透析，32，214～222，1992。
- 4) 北沢孝三¹⁾，杉崎徹三¹⁾，山中宣昭（¹⁾昭和大腎臓内科）：〔図解講座〕急性間質性腎炎の1例。腎と透析，32，858～862，1992。
- 5) 飯塚一秀¹⁾，吉村吾志夫¹⁾，山中宣昭（¹⁾昭和大学藤が丘病院腎臓内科）：〔図解講座〕皮膚病変，高血圧，高カルシウム血症を認めた腎機能障害例。腎と透析，33，186～191，1992。
- 6) 山中宣昭：〔総説〕腎炎の進展と細胞外基質：形態学的アプローチ。興和医報，35，1～7，1992。
- 7) 雨宮 浩¹⁾，鈴木盛一¹⁾，林 良輔¹⁾，新谷 聡¹⁾，嶋谷邦彦²⁾，渡辺浩志²⁾，剣持 敬³⁾，福岡敏幸⁴⁾，山中宣昭（¹⁾国立循環器センター，²⁾広島大第2外科，³⁾千葉大第2外科，⁴⁾奈良医大第1外科）：〔原著〕拒絶反応に対するパルス療法剤デオキシスパーガリンの動物実験的にみた特性について。移植，27，468～478，1992。
- 8) Kimura, G., Sugisaki, Y., Masugi, Y., and Nakazawa, N.¹⁾（¹⁾病理学第2）：〔原著〕Calcification in human osteoblasts culture in medium conditioned by the prostatic cancer cell line PC-3 and prostatic acid phosphatase. Urol. Int., 48，25～30，1992。
- 9) 根岸 鋼，益田幸成：〔原著〕ウサギの低栄養実験；神経性食思不振症における可逆性脳萎縮についての病理学的検討。心身医療，4，670～676，1992。

- 10) 福田 悠：〔総説〕間質性肺疾患における肺胞構造改変の機序。最新医学, 47, 1279~1289, 1992.
- 11) 福田 悠：〔総説〕弾性線維と疾患。Connect. Tissue, 24, 135~140, 1992.
- 12) Yamada, K.¹⁾, Sugisaki, Y., Akimoto, M.¹⁾, and Yamanaka, N. (¹⁾付属病院泌尿器科)：〔原著〕New morphological changes induced by FK506 in a short period in rat kidney and the effect of SOD and OKY-046 on them ; the relationship of FK506 nephrotoxicity to lipid peroxidation and change in production of thromboxan A2 in the kidney. Transplant Int., 5, 564~567, 1992.
- 13) Yamada, K.¹⁾, Sugisaki, Y., Akimoto, M.¹⁾, and Yamanaka, N. (¹⁾付属病院泌尿器科)：〔原著〕FK506 induced juxtaglomerular apparatus hyperplasia and tubular damage in rat kidney morphologic and biologic analysis. Transplant Proc., 24, 1396~1398, 1992.
- 14) 福田 悠：〔総説〕肺胞構成成分と肺の線維化；電顕レベル。Mebio, 10, 28~33, 1992.
- 15) Schmiedeke, T.¹⁾, Stöckl, F.¹⁾, Muller, S.²⁾, Sugisaki, Y., Batsford, S.¹⁾, Woitas, R.¹⁾, and Vogt, A.¹⁾ (¹⁾University of Freiburg, Germany, ²⁾ CNRS, Strasburg, France)：〔原著〕Glomerular immune deposits in murine lupus models may contain histones. Clin. Exp. Immunol., 90, 453~458, 1992.
- 16) Tomita, Y.¹⁾, Endo, T.¹⁾, Takano, T.¹⁾, Hayakawa, H.¹⁾, Tamura, K.²⁾, and Sugisaki, Y. (¹⁾内科第1, ²⁾付属病院病理部)：〔報告〕Extensive hemorrhagic myocardial infarction associated with left atrial myxoma. Cardiology, 81, 384~388, 1992.
- 17) Fukuda, Y., Herman, E.H.¹⁾, and Ferrans, V.J.²⁾ (¹⁾Food and Drug Administration, USA ²⁾NHLBI, NIH, USA)：〔原著〕Effect of ICRF-187 on the pulmonary damage induced by hyperoxia in the rat. Toxicology, 74, 185~202, 1992.
- 18) Mizutani, T.¹⁾, Onda, M.¹⁾, Tokunaga, A.¹⁾, Fujita, I.¹⁾, Okuda, T.¹⁾, Iida, S.¹⁾, Kiyama, T.¹⁾, Nishi, K.¹⁾, Matsukura, N.¹⁾, Yamashita, K.¹⁾, Sugisaki, Y., and Yamanaka, N. (¹⁾外科学第1)：〔短報〕Correlation of c-erbB-2 with invasion and metastasis in human gastric cancer. Gastroenterol. Jpn., 27, 424, 1992.
- 19) 福田 悠：〔総説〕肺線維症の超微形態。病理と臨床, 11, 157~164, 1993.

著 書

- 1) 山中宣昭：〔分担〕メサングウム増殖性腎炎の実験モデル。”腎疾患-state of arts”(成清卓二, 浅野 泰編), P. 202~204, 医歯薬出版, 1992.
- 2) 山中宣昭：〔分担〕立体構築へのコンピューターの応用。”腎臓学 Key Notes”(長沢俊彦監修), P. 193~195, 東京医学社, 1992.
- 3) 福田 悠：〔分担〕慢性閉塞性肺疾患の病理。”弾性線維”(大山俊郎編), P. 218~231, 共立出版, 1992.

学会発表

- 1) 牛 広明¹⁾, 伊藤 正¹⁾, 加藤富三¹⁾, 山中宣昭 (¹⁾第一病院放射線科)：〔展示〕ヨード造影剤に対する腎臓病理組織変化の実験的検討(第1報)。第51回日本医学放射線学会総会, 1992.
- 2) 原口秀司, 福田 悠, 山中宣昭：〔展示〕気腫性肺嚢胞(ブラ, プレブ)の弾性線維障害。第81回日本病理学会総会, 1992.
- 3) 杉崎祐一, 石崎正通, 益田幸成, 山中宣昭：〔展示〕糖尿病自然発症ラット(WBN/Kob)の腎変化について2；脂質負荷による病変の進展の検討。第81回日本病理学会総会, 1992.
- 4) 温 敏, 杉崎祐一, 山中宣昭：〔一般講演〕糖尿病腎症糸球体病変の三次元的解析。第81回日本病理学会総会, 1992.
- 5) 清水 章, 益田幸成, 石崎正通, 杉崎祐一, 山中宣昭：〔一般講演〕Thy-1腎炎における抗 Thy-1, 1抗体反復投与の影響。第81回日本病理学会総会, 1992.

- 6) 堀場光二, 菅野重人, 福田 悠, 山中宣昭: [一般講演] 気管損傷治癒過程とフィブロネクチンレセプター. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 7) 田村浩一¹⁾, 福田 悠, 鈴木恒道¹⁾, 山中宣昭 (¹⁾付属病院病理部): [一般講演] 僧帽弁の実験的穿孔部位における組織反応. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 8) 小林 匡¹⁾, 山中宣昭, 田村浩一²⁾, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1, ²⁾付属病院病理部): [展示] ハムスター脾発癌過程および同種継代移植における血型関連物質と細胞増殖との関連性. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 9) 塚田克也¹⁾, 田村浩一¹⁾, 杉崎祐一, 鈴木恒道¹⁾, 山中宣昭 (¹⁾付属病院病理部): [展示] 混合囊胞腺腫合併の若年顆粒膜細胞腫の1例. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 10) 森 正陽, 田村浩一¹⁾, 山中宣昭 (¹⁾付属病院病理部): [展示] ラット肝切除後の再生過程における小葉の構造の変化の検討. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 11) 松島 隆¹⁾, 塚田克也¹⁾, 田村浩一¹⁾, 杉崎祐一, 鈴木恒道¹⁾, 山中宣昭 (¹⁾付属病院病理部): [展示] 卵巣嚢胞性疾患の免疫組織染色による診断. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 12) 細根 勝¹⁾, 尾見徳弥¹⁾, 赤須東樹¹⁾, 川並汪一¹⁾, 小山美弥²⁾, 大網 弘²⁾, 野村信夫³⁾, 石崎良太郎³⁾, 浅野伍朗⁴⁾, 山中宣昭 (¹⁾第二病院病理部, ²⁾老人病研究所病理部門, ³⁾同分子生物学部門, ⁴⁾病理学第2): [展示] 皮膚との移行領域におけるHPV感染. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 13) 福田 悠, Basset, F.¹⁾, and Ferrans, V.J.²⁾ (¹⁾INSERM, U82, France, ²⁾NHLBI, NIH, USA): [一般講演] 特発性間質性肺炎・肺線維症 (IPF) における肺胞構造改変とフィブロネクチンレセプター. 第32回日本胸部疾患学会総会, 1992.
- 14) 臼杵二郎¹⁾, 福田 悠, 仁井谷久暢¹⁾ (¹⁾内科学第4): [一般講演] リンパ管内進展を示した末梢肺原発線維腫の1例. 第32回日本胸部疾患学会総会, 1992.
- 15) Yamanaka, N.: [シンポジウム] Repair process of glomerular lesions in the experimental model (Theme: Glomerular disease). 1st Franco-Japanese Symposium in Nephrology (Paris), 1992.
- 16) Yamanaka, N., and Shimizu, A.: [特別講演] Collagenofibrotic glomerulonephropathy. Renal Conference in Basel University (Basel), 1992.
- 17) Kawamoto, K., Nakamura, Y.¹⁾, Tate, L.¹⁾, Evtl, E.F.¹⁾, Romberger, D.J.¹⁾, and Rennard, S.I.¹⁾ (¹⁾Department of Internal Medicine, Nebraska University Medical Center): [展示] Modulation of fibroblast type 1 collagen and fibronectin production by bronchial epithelial cells. 1992 ATA/ATS International Conference (Miami), 1992.
- 18) 山中宣昭: [教育講演] 腎生検のみかた. 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 19) 安保和俊¹⁾, 桑原健太郎¹⁾, 継 仁¹⁾, 土屋正巳¹⁾, 村上睦美¹⁾, 益田幸成, 杉崎祐一, 山中宣昭 (¹⁾付属病院小児科): [一般講演] Immunotactoid glomerulopathy とされる1例. 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 20) 山田和彦¹⁾, 秋元成太¹⁾, 杉崎祐一, 山中宣昭 (¹⁾付属病院泌尿器科): [一般講演] FK506による腎障害: 投与中止後の変化について. 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 21) 仲間一雅¹⁾, 秋元敏雄¹⁾, 佐藤 茂²⁾, 相原 薫²⁾, 杉崎祐一 (¹⁾実験動物管理室, ²⁾中央電子顕微鏡研究施設): [一般講演] WBN/Kob ラットにおける構成組織細胞の病理形態学的特異性2: 糖尿病発症後の病変経過について. 第39回日本実験動物学会総会, 1992.
- 22) 福田 悠, Basset, F.¹⁾, and Ferrans, V.J.²⁾ (¹⁾INSERM, U82, France, ²⁾NHLBI, NIH, USA): [一般講演] 特発性肺線維症における肺胞構造改変と早期線維化巣. 第24回日本結合織学会総会, 1992.
- 23) 福田 悠: [シンポジウム] 細胞外基質と肺疾患 (テーマ: 細胞外基質と病変). 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.
- 24) 藩 杰, 佐藤 茂¹⁾, 山中宣昭, 相原 薫¹⁾ (¹⁾中央電子顕微鏡研究施設): [一般講演] 過酸化水素による各重要臓器の形態学的変化1: 動脈内皮細胞について. 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.

- 25) 松並平晋, 片岡光枝, 新井孝司, 若松恭子, 小松三恵, 益田幸成, 福田 悠, 杉崎祐一, 山中宣昭:〔展示〕電子顕微鏡用 PAM 染色の検討(第 3 報); 結合組織繊維の染色性について. 第39回日本臨床病理学会総会, 1992.
- 26) 若松恭子, 福田 悠, 石崎正通, 片岡光枝, 新井孝司, 小松三恵, 松並平晋, 山中宣昭:〔展示〕酵素抗体法と一般染色の重染色の検討; 4 型コラーゲン・Al-PAS, ケラチン・Al-PAS. 第39回日本臨床病理学会総会, 1992.
- 27) 山田和彦¹⁾, 杉崎祐一, 秋元成太¹⁾, 山中宣昭^(¹付属病院泌尿器科):〔一般講演〕FK506による腎障害; 投与中止後の血中・臓器中濃度および形態学的検討. 第27回日本移植学会総会, 1992.
- 28) 古田知行¹⁾, 弦間昭彦¹⁾, 吉村明修¹⁾, 吉森弘三¹⁾, 林原賢治¹⁾, 谷口泰之¹⁾, 植松和嗣¹⁾, 臼杵二郎¹⁾, 原口秀司²⁾, 山中宣昭, 小泉 潔²⁾, 五味淵誠²⁾, 田中民夫²⁾, 田中茂夫²⁾, 仁井谷久暢¹⁾(¹内科学第 4, ²胸部外科):〔一般講演〕術前化学療法施行非小細胞肺癌における臨床病理学的検討. 第33回日本肺癌学会総会, 1992.
- 29) 原口秀司, 福田 悠, 山中宣昭, 庄司 佑¹⁾(¹外科学第 2):〔一般講演〕肺ブラ・ブレブの弾性線維障害. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 30) 小泉 潔¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 三上 巖¹⁾, 大沢 肇¹⁾, 山田研一¹⁾, 秋山博彦¹⁾, 別所竜蔵¹⁾, 山内仁紫¹⁾, 原口秀司¹⁾, 川本雅司, 竹田普浩²⁾, 庄司 佑¹⁾(¹外科学第 2, ²付属病院麻酔科):〔一般講演〕肺癌に対する気管支形成術での右心機能の検討. 第45回日本胸部外科学会総会, 1992.
- 31) Shimizu, A., Masuda, Y., Sugisaki, Y., and Yamanaka, N.:〔展示〕Apoptosis and living cell desquamation in repair process of ischemic tubular necrosis. The American Society of Nephrology, 1992 Annual Meeting (Baltimore), 1992.
- 32) 山中宣昭, 成清卓二¹⁾(¹群馬大学医学部第 3 内科):〔ワークショップ〕実験腎炎モデル; 現状と将来の展望. 第35回日本腎臓学会総会, 1992.
- 33) 清水 章, 杉崎祐一:〔ワークショップ〕メサングウム増殖性腎炎の解析(テーマ:実験腎炎モデル; 現状と将来の展望) 第35回日本腎臓学会総会, 1992.
- 34) 牛 広明, 温 敏, 山中宣昭, 伊藤 正¹⁾(¹第一病院放射線科):〔一般講演〕低浸透圧性, 高浸透圧性ヨード造影剤に対する腎病理組織変化. 第35回日本腎臓学会総会, 1992.
- 35) 杉崎祐一, 石崎正通, 益田幸成, 山中宣昭, 仲間一雅¹⁾(¹実験動物施設):〔一般講演〕糖尿病自然発症ラット(WBN/Kob)の腎変化について 2:免疫組織学的検討. 第35回日本腎臓学会総会, 1992.
- 36) 北村博司, 杉崎祐一, 清水 章, 益田幸成, 山中宣昭, 丸茂丈昭¹⁾(¹東京医科歯科大学内科):〔一般講演〕ハブ毒腎炎における Endothelin の免疫活性について. 第35回日本腎臓学会総会, 1992.
- 37) 山田和彦¹⁾, 杉崎祐一, 秋元成太¹⁾, 山中宣昭(¹付属病院泌尿器科):腎輸入細動脈及び糸球体に於ける JG 細胞化; FK506投与ラットに於ける検討. 第35回日本腎臓学会総会, 1992.
- 38) 益田幸成, 清水 章, 北村博司, 石崎正通, 杉崎祐一, 山中宣昭:〔一般講演〕抗 Thy-1腎炎およびハブ毒腎炎の増殖性病変について. 第35回日本腎臓学会総会, 1992.

〔前年度追加分〕

論文

- 1) 山田和彦¹⁾, 杉崎祐一, 秋元成太¹⁾, 山中宣昭(¹付属病院泌尿器科):〔原著〕FK506投与による腎の形態学的変化. 今日の移植, 4, 353~354, 1991.
- 2) 小泉 潔¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 富士崎隆¹⁾, 塩田昌彦¹⁾, 原口秀司¹⁾, 真崎義隆¹⁾, 師田哲郎¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 川本雅司(¹外科学第 2):〔原著〕肺癌の気管支形成術後の喀痰増加に関して; 血行動態と肺血管外水分量からの検討. 日胸外会誌, 39, 381~387, 1991.

学会発表

- 1) Batsford, S.¹⁾, Stökl, F.¹⁾, Schmiedeke, T.¹⁾, Muller, S.²⁾, Atanassov, C.¹⁾, Waldherr, R.¹⁾, Rodriguezs, B.¹⁾,

Sugisaki, Y., Nakabayashi, K.³⁾, Nagasawa, T.³⁾, Donini, U.¹⁾, Andrassy, K.¹⁾, and Vogt, A.¹⁾ (¹⁾University of Freiburg, Germany, ²⁾CNRS, Strasbourg, France, ³⁾杏林大学内科) : [一般講演] Detection of glomerular histone and ubiquitin deposits in kidney biopsy of patients with systemic lupus erythematosus. Renal Association (Birmingham), 1991.

9. 病理学第二講座

研究概要

1) 腫瘍細胞の増殖、分化には間質の血管や細胞外基質の動態が関与している。すなわち、腫瘍細胞と間葉系細胞は相互に細胞外基質を生合成し受容体を介して、その増殖制御に関わっていると思われる。教室では癌細胞、肝細胞、血管内皮細胞内のフィブロネクチン、グリコサミノグリカン、ラミニン、III型、IV型コラーゲンの合成や、各々の受容体の局在を観察すると共にコラーゲン、フィブロネクチンの mRNA の発現と癌細胞における核質の性状変化に加えて、プロテアーゼの発現を in situ hybridization 法で確認している。一方上皮細胞や癌細胞には細胞外基質の生合成と併せ、FGF, EGF など増殖因子が局在し病態進展に関与している。このような細胞外基質の作用機構については、さらに細胞骨格や細胞内シグナル伝達系との関連性の上から、細胞内における遺伝情報発現の調節機構の解明も試みている。

2) 動脈硬化症の発生の基盤には高脂血症、高血圧など諸因子の関与が注目されるが、特に barrier としての血管内皮細胞障害が重要と思われる。高脂血症や、内膜擦過動物モデルを用いて内膜の障害や、修復の過程において内皮細胞の各種酵素の局在や、再生過程における細胞外基質や FGF, VEGF など増殖因子の産生動態を解明し、内皮細胞と平滑筋細胞の相互作用の観点から動脈硬化の発生機序の解明を試みている。また、ヒト心筋梗塞症の発生要因として注目される、冠動脈硬化病変の特異性につき超音波顕微鏡など多次元画像解析法を導入し形態計測的な解明を試みている。

3) 敗血症や虚血性病変に続発するショックの病態の発生機序の解明を目的として、肝細胞、心筋細胞、血管内皮細胞、などの細胞障害を free radical による細胞膜系機能障害の発生機序に注目し検討している。

研究業績

論文

- 1) Yajima, M., Murata, J., Yamada, N., and Asano, G.: [原著] Ultrastructural observations of small blood vessels in leprosy patients. 日らい会誌, 60, 121~127, 1991.
- 2) 陳 大志^{1,2)}, 恩田昌彦¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 中島米治郎¹⁾ (¹⁾外科学第1, ²⁾病理学第2): [原著] 虚血腸管壁に神経機能障害に関する免疫組織化学的研究. 日消外科誌, 25, 2732~2742, 1992.
- 3) 渋谷純一^{1,2)}, 庄司 佑²⁾, 中沢南堂¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2, ²⁾外科学第2): [原著] レクチンおよび細胞骨格タンパク重合阻害剤による細胞のコラーゲン収縮能への影響. 結合組織, 23, 53~63, 1992.
- 4) 上畑昭美^{1,2)}, 栗田 明²⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2, ²⁾防衛医科大学第1内科): [原著] 虚血性心筋病変の発生進展における冠動脈閉塞時間および側副血行路の発達の意義. 脈管学, 32, 161~171, 1992.
- 5) 北川泰之¹⁾, 前田昭太郎¹⁾, 今泉孝敬²⁾, 稲福睦美²⁾, 小口直彦, 浅野伍朗(¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾同内科): [原著] 5重複癌の1剖検例. 癌の臨床, 38, 825~832, 1992.
- 6) 早田孝敬 浅野伍朗: [原著] 浸透性頸管拡張器である Lamicel 挿入による妊娠ラット子宮頸管における形態学的変化について. 産婦人科の実験, 41, 1393~1396, 1992.
- 7) 土谷春仁, 浅野伍朗: [原著] 胃原発B細胞性悪性リンパ腫に関する免疫組織化学的検討; 特にリンパ濾胞との関連性. 日網会誌, 32, 25~39, 1992.
- 8) 北 俊典^{1,2)}, 平野敏一¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 庄司 佑²⁾ (¹⁾病理学第2, ²⁾外科学第2): [原著] 胃癌の間質における血管の増生とその意義. 日外会誌, 93, 1465~1473, 1992.
- 9) 矢島幹久, 山田 稔, 大矢良之¹⁾, 浜谷次郎¹⁾, 清水秀樹, 上杉憲子, 浅野伍朗(¹⁾国立横須賀病院研究検査科): [原著] 髄液細胞診にて診断し得た軟膜原発悪性黒色腫の1症例. 日臨細胞会誌, 31, 1091~1092, 1992.
- 10) 浦田伸一, 間 武雄, 小黑辰夫¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾中央電子顕微鏡研究施設): [原著] ヒト骨膜由来細胞の増殖分

化過程における細胞骨格と細胞外基質の形態的变化. 結合組織, 23, 29~38, 1992.

- 11) Kiyama, T.¹⁾, Onda, M.¹⁾, Tokunaga, A.¹⁾, Fujita, I.¹⁾, Okuda, T.¹⁾, Mizutani, T.¹⁾, Yoshiyuki, T.¹⁾, Shimizu, Y.¹⁾, Nishi, K.¹⁾, Matsukura, N.¹⁾, Tanaka, N., Todome, Y.²⁾, Ohkuni, H.²⁾, and Asano, G. (¹⁾First Department of Surgery, ²⁾Department of Microbiology): [原著] Correlation between epidermal growth factor receptor concentration and the growth of human gastric cancer xenografts in nude mice. Gastroenter. Jap., 27, 459~465, 1992.
- 12) Kameyama, K., and Asano, G.: [原著] Evaluation of elastic structural change in coronary atherosclerosis using scanning acoustic microscopy. Atherosclerosis., 94, 191~200, 1992.
- 13) Win, T., Uchiyama, Y.¹⁾, Shimizu, Y.¹⁾, Nakama, K.¹⁾, and Akimoto, T.¹⁾ (¹⁾Department of Ophthalmology): [原著]: Therapeutic value of aldose reductase inhibitor on lenses of spontaneously diabetic WBN/Kob rat. Current Aspect in Ophthalmology, 1, 477~485, 1992.
- 14) Aida, T., Takeuchi, S., Urata, S., and Asano, G.: [原著] Expression of extracellular matrices in periosteal cells. Conn. Tissue, 24, 117~118, 1992.
- 15) Tsukui, T.¹⁾, Kikuchi, K.¹⁾, Mabuchi, A.¹⁾, Sudo, T.³⁾, Sakamoto, T.⁴⁾, Sato, N.^{1,2)}, Tsuneoka, K.⁴⁾, Shikita, M.⁴⁾, Aida, T., Asano, G., Watari, E.¹⁾, and Yokomuro, K.¹⁾ (¹⁾Department of Microbiology and Immunology, ²⁾Second Department of Surgery, ³⁾Tohre Co. Ltd., ⁴⁾National Institute of Radiological Science.): [原著] Production of macrophage colony-stimulating factor by adult murine parenchymal liver cells (Hepatocytes). J. Leuko. Biol., 52, 383~389, 1992.
- 16) Qiao, Y., Kameyama, K., Yokoyama, M., and Asano, G.: [原著] Effects of vitamin E on atherogenesis in cholesterol-fed guinea pigs. J. Clin. Electron Micros., 25, 445, 1992.
- 17) Kitagawa, Y.¹⁾, Shirai, Y.¹⁾, Oguro, T.²⁾, Sasaki, Y.²⁾, Yamada, N.³⁾, Murase, Y.³⁾, Maeda, S.⁴⁾, Tsunoda, T.⁴⁾, Azuma, K.⁴⁾, and Asano, G.⁵⁾ (¹⁾Department of Orthopaedics, ²⁾Central Institute for Electron Microscopic Research, ³⁾Pathological Division First Hospital, ⁴⁾Tama Nagayama Hospital): [原著] Ultrastructural study of peripheral primitive neuroectodermal tumor. J. Clin. Electron Micros., 25, 500, 1992.
- 18) Murata, J., and Asano, G.: [原著] Ultrastructural changes of peripheral neuropathy in the wistar bonn/kobori rat. J. Clin. Electron Micros., 25, 582, 1992.
- 19) Ishiwata, T., Aida, T., Yokoyama, M., and Asano, G.: [原著] Ultrastructural examination of endothelial regeneration: Localization of fibronectin and the receptor. J. Clin. Electron Micros., 25, 440~441, 1992.
- 20) Namimatsu, S.¹⁾, Nakamura, S.²⁾, Nakagami, Y.²⁾, Oguro, T.²⁾, Sasaki, Y.²⁾, Ghagizaden, M.²⁾, Aihara, K.²⁾, Yajima, G.²⁾, and Asano, G.³⁾ (¹⁾Central Research Institute 1st. Hospital. ²⁾Central Institute for Electron Microscopic Research): [原著] Electron microscopic studies on application of PATSC-GMS staining in kidney diseases. J. Clin. Electron Micros., 25, 755, 1992.
- 21) Kashiwado, I.¹⁾, Yuge, K.¹⁾, Hattori, Y.¹⁾, Qiao, Y., and Asano, G. (¹⁾Department of Otolaryngology): [原著] Ultrastructural changes in the cochlea of the inner ear in guinea pigs with hypercholesterolemia. J. Clin. Electron Micros., 25, 733, 1992.
- 22) Oguro, T.¹⁾, Aida, K. (¹⁾Central Institute for Electron Microscopic Researches.): [原著] Ultrastructural effects of hydrogen peroxide on the sarcolemma of rat heart. Am. J. Cardiovasc. Pathol., 4, 265~276 1992.
- 23) 相本隆幸¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 有馬保生¹⁾, 飯田信也¹⁾, 金沢義一¹⁾, 内藤善哉²⁾, 会田邦晴¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 小林 匡¹⁾, 横山 正¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 江上 格¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第1): [原著] Vater 乳頭部に発生した異所性非機能性膵島腫瘍の1例. 日消外会誌, 25, 2412~2416, 1992.
- 24) 相本隆幸¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 内藤善哉, 会田邦晴¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 小林 匡¹⁾, 横山 正¹⁾, 笹島耕二¹⁾,

- 田尻 孝¹⁾, 江上 格¹⁾, 浅野伍朗^(¹外科学第1)): [原著] ヒト膵臓癌における neron-enolase および myc 遺伝子産物に関する免疫組織化学的検討. 膵臓, 7, 158~164, 1992.
- 25) Hirano, T., Zitsch, R.P., and Gluckman, J.L.: [原著] Cell kinetics study of upper aerodigestive tract squamous cell carcinoma using bromodeoxyuridine. Ann. Otol. Rhinol. & Larynol., 102, 42~46, 1993.
- 26) 矢野正雄¹⁾, 秋丸琥甫¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 中川 仁²⁾, 山田宣孝²⁾(¹外科学第2, ²第一病院病理部): [原著] Schnitzler 転移を吸引穿刺細胞診にて診断し得た胃悪性カルチノイド腫瘍(内分泌細胞癌)の1例. 日臨細胞会誌, 32, 95~96, 1993.
- 27) 相本隆幸^{1,2)}, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 浅野伍朗²⁾(¹外科学第1, ²病理学第2): [原著] ヒト膵癌における Ag-NORs 染色からみた腫瘍細胞増殖能の検討. 日外会誌, 94, 78~85, 1993.
- 28) Chen, D.Z.¹⁾, Onda, M.¹⁾, Moriyama, Y.¹⁾, Nakajima, Y.¹⁾, Kyohno, S.¹⁾, Han, M., and Asano, G. (¹First Dept. of Surgery): [原著] Changes in the vasoactive intestinal peptide (VIP) content in dog intestines resulting from hypoxic blood perfusion especially its relations with prostaglandin E₁ (PGE₁). XXVIII World Congress, International College of Surgeons, 215~219, 1992.
- 29) 山田裕之, 間 武雄, 田口克司, 浅野伍朗: [原著] ヒト肝生検におけるIII型, IV型プロコラーゲン, プロリン水酸化酵素 mRNA の分布局在. 日本臨床, 51, 423~427, 1993.
- 30) Mikami, K.¹⁾, Sato, S.²⁾, Nakazawa, N., Asano G., and Watanabe, T.¹⁾(¹Department of Legal Medicine, ²Central Institute for Electron Microscopic Researches): [原著] Ethanol-elicited structural and biochemical alterations in mitochondrial ATPase in cultured myocardial cells. Virchows Archiv B. Cell Pathol., 63, 365~371, 1993
- 31) 小口直彦, 平野敏一, 浅野伍朗: [原著] 唾液腺多形腺腫における細胞内骨格蛋白と細胞外基質成分の局在に関する免疫組織化学的検討. 日耳鼻, 96, 780~786, 1993.
- 32) 新井克志¹⁾, 伊藤嘉恭¹⁾, 浅野伍朗(¹防衛医科大学形成外科): [原著] ケロイドについての提言(第1報). 形成外科, 36, 257~263, 1993.

著 書

- 1) 浅野伍朗: [監修] 診断・研究のための病理技術詳解; 3. 免疫組織化学法. 藤田企画, 1992.
- 2) 松山郁生¹⁾, 佐藤春明²⁾, 川原清子(¹長野県がん検診センター病理部, ²第一病院病理部): [分担] 診断・研究のための病理技術詳解(浅野伍朗監修); 3. 免疫組織化学法. 藤田企画, 1992.
- 3) 浅野伍朗: [編集] コアテキスト病理学1, 2. 廣川書店, 東京, 1992.
- 4) 浅野伍朗: [分担] 循環障害, 心疾患(心膜炎, 心筋症, 動脈硬化症), 感覚器; 病理学2. [浅野伍朗編集] 廣川書店, 東京, 1992
- 5) 山田宣孝: [分担] 中枢神経疾患; 病理学2. [浅野伍朗編集] 廣川書店, 東京, 1992.
- 6) 今津 修: [分担] 中枢神経疾患; 病理学2. [浅野伍朗編集] 廣川書店, 東京, 1992.
- 7) 小口直彦: [分担] 感覚器疾患; 病理学2. [浅野伍朗編集] 廣川書店, 東京, 1992.

学会報告

- 1) 竹田数章, 浅野伍朗, 山田宣孝¹⁾(¹第一病院病理部): [一般講演] 抗 PCNA 抗体による甲状腺濾胞性病変の検討. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 2) 北川泰之^{1,3)}, 前田昭太郎³⁾, 浅野伍朗¹⁾, 白井康正³⁾(¹病理学第2, ²整形外科, ³多摩永山病院病理部): [一般講演] 末梢性 PNET の病理組織学的検討 第2報; ユーイング肉腫と神経芽細胞腫の鑑別上の問題点. 第81回日本病理学会総会, 1992
- 3) ムワナタンブエロ・ミランガ, 外山和秀, 会田邦晴, 中沢南堂, 浅野伍朗: [展示] 癌細胞の細胞外基質への接

着性とヌードマウスへの可移植性について，第81回日本病理学会総会，1992.

- 4) 渡辺昌則，平野敏一，浅野伍朗：〔展示〕胃癌間質における筋線維芽細胞の増殖と細胞外基質の局在．第81回日本病理学会総会，1992.
- 5) 石渡俊行，間 武雄，横山宗伯，浅野伍朗：〔展示〕血管内皮損傷後の血管壁細胞の増殖動態，特にフィブロネクチンの役割について．第81回日本病理学会総会，1992.
- 6) 細根 勝¹⁾，尾見徳弥¹⁾，赤須東樹¹⁾，川並汪一¹⁾，小山美弥²⁾，大網 弘²⁾，野村信夫³⁾，石崎良太郎³⁾，浅野伍朗，山中宣昭⁴⁾（¹⁾第二病院病理部，²⁾老人病研究所病理，³⁾同分子生物学，⁴⁾病理学第1）：〔展示〕皮膚との境界領域における HPV 感染．第81回日本病理学会総会，1992.
- 7) 山本英希，加藤秀和，松本光司¹⁾，山田宣孝¹⁾，浅野伍朗（¹⁾第一病院病理部）：〔展示〕PCNA・核 DNA 量からみた大腸腺腫・大腸癌増殖能と P53の局在に関する検討．第81回日本病理学会総会，1992.
- 8) 横山宗伯，間 武雄，石渡俊行，浅野伍朗：〔一般講演〕内皮細胞の増殖と Type IV コラーゲン mRNA 発現の関連．第81回日本病理学会総会，1992.
- 9) 渡辺 仁，平良敦史，亀山孝二，浅野伍朗，恩田昌彦¹⁾（¹⁾外科学第1）：〔一般講演〕肝臓における虚血一再灌流障害と Ca²⁺-ATPase の活性局在についての検討．第81回日本病理学会総会，1992.
- 10) 小口直彦，平野敏一，浅野伍朗：〔一般講演〕唾液腺における多形腺腫の細胞内骨格蛋白と細胞外基質成分の免疫組織化学的検討．第81回日本病理学会総会，1992.
- 11) 北 俊典，渡辺昌則，平野敏一，浅野伍朗：〔展示〕肉腫様成分を伴う肝細胞癌の1剖検例．第81回日本病理学会総会，1992.
- 12) 松本光司¹⁾，山田宣孝¹⁾，馬杉洋三¹⁾，浅野伍朗（¹⁾第一病院病理部）：〔展示〕Epithelioid hemangioendothelioma の疑われた乳児肝原発悪性腫瘍の1剖検例．第81回日本病理学会総会，1992.
- 13) 間 武雄，竹内 司，浦田伸一，浅野伍朗：〔一般講演〕ヒト培養骨膜細胞における細胞外基質成分の発現の検討．第24回日本結合組織学会総会，1992.
- 14) 横山宗伯，間 武雄，石渡俊行，浅野伍朗：〔一般講演〕血管内膜修復過程における細胞外基質の役割の検討．第24回日本動脈硬化学会総会，1992.
- 15) 石渡俊行，間 武雄，横山宗伯，浅野伍朗：〔一般講演〕In situ hybridization 法による血管内皮細胞と細胞外基質の相互作用．第24回日本動脈硬化学会総会，1992.
- 16) 喬 炎，亀山孝二，桜井太一郎，浅野伍朗：〔一般講演〕高脂食負荷大動脈病変に対する Vitamin E 投与の影響．第24回日本動脈硬化学会総会，1992.
- 17) 亀山孝二，石渡俊行，横山宗伯，浅野伍朗：〔一般講演〕ヒト冠動脈における硬化病巣の進展過程についての形態計測的検討．第24回日本動脈硬化学会総会，1992.
- 18) 山本英希^{1,2)}，山田宣孝³⁾，浅野伍朗¹⁾，庄司 佑²⁾（¹⁾病理学第2，²⁾外科学第2，³⁾第一病院病理）：〔展示〕大腸癌における癌抑制遺伝子 p53の発現と PCNA 標識率．第51日本癌学会総会，1992.
- 19) 会田邦晴^{1,2)}，内藤善哉¹⁾，恩田昌彦²⁾，ムワナタンブエ・ミランガ²⁾，外山和秀²⁾，相本隆幸¹⁾，小林 匡²⁾，内田英二²⁾，浅野伍朗¹⁾，中沢南堂¹⁾（¹⁾病理学第2，²⁾外科学第1）：〔展示〕ヒト肝癌細胞（AsPC-1）亜系細胞株における細胞外基質の影響．第51日本癌学会総会，9，1992.
- 20) 瀬谷知子^{1,2)}，田中宣威¹⁾，恩田昌彦¹⁾，古川清憲¹⁾，横井公良¹⁾，横山滋彦¹⁾，カーン・ハヤト¹⁾，内藤善哉²⁾，会田邦晴^{1,2)}，浅野伍朗²⁾（¹⁾外科学第1，²⁾病理学第2）：〔展示〕ヒト大腸癌における細胞外基質と Integrin Family の発現．第51日本癌学会総会，1992.
- 21) 猪口正孝^{1,3)}，猪口孝一²⁾，渋谷哲男¹⁾，天神敏博¹⁾，浅野伍朗，庄司 佑¹⁾（¹⁾外科学第2，²⁾内科学第3，³⁾病理学第2）：〔展示〕肝疾患における癌抑制蛋白 p53異常発現の免疫組織化学的検討．第51日本癌学会総会，1992.
- 22) 外山和秀^{1,2)}，ムワナタンブエ・ミランガ¹⁾，荒木 勤²⁾，土居大祐¹⁾，会田邦晴¹⁾，中沢南堂¹⁾，浅野伍朗¹⁾（¹⁾病理学第2，²⁾産婦人科）：〔展示〕新樹立のヒト子宮中分化内膜型腺癌細胞の性状と細胞外基質との相互作用．第51

日本癌学会総会, 1992.

- 23) 白石 敦^{1,2)}, 間 武雄¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 庄司 佑²⁾ (¹⁾病理学第2, ²⁾外科学第2): [展示] ヒト大腸癌における basic FGF および basic FGF mRNA の局在. 第51日本癌学会総会, 1992.
- 24) 山本英希¹⁾, 矢野正雄¹⁾, 須田浩充¹⁾, 大塚俊司¹⁾, 山田宣孝¹⁾, 角田誠之²⁾, 伊藤正秀²⁾, 大島 博²⁾, 渋谷哲男³⁾, 庄司 佑³⁾, 加藤秀和, 浅野伍朗, (¹⁾第一病院病理部, ²⁾同内視鏡科, ³⁾外科学第2): (展示) 大腸生検グループ分類診断基準の提唱; 核 DNA 量, PCNA, p53の発現からみて. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 25) 今津 修¹⁾, 大塚俊司¹⁾, 佐藤春明¹⁾, 村瀬幸宏¹⁾, 仲原昌子¹⁾, 早澤久美¹⁾, 山田宣孝¹⁾, 荒木俊彦²⁾, 北村 伸²⁾, 赫 彰郎²⁾, 浅野伍朗 (¹⁾第一病院病理部, ²⁾内科学第2): [展示] 痴呆を伴う motor neuron disease の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 26) 矢野正雄¹⁾, 山本英希¹⁾, 須田浩充¹⁾, 村瀬幸宏¹⁾, 大塚俊司¹⁾, 佐藤春明¹⁾, 仲原昌子¹⁾, 早澤久美¹⁾, 山田宣孝¹⁾, 浅野伍朗, 秋丸琥甫²⁾ (¹⁾第一病院病理部, ²⁾外科学第2): (展示) 乳癌穿刺細胞診像からみた乳癌組織分類の再検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 27) 須田浩充²⁾, 山本英希²⁾, 矢野正雄²⁾, 山田宣孝¹⁾, 岩瀬和泉²⁾, 秋丸琥甫²⁾, 庄司 佑²⁾, 浅野伍朗 (¹⁾第一病院病理部, ²⁾外科学第2): [展示] 同時性両側乳癌の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 28) 莎 其拉¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第1): [展示] 胃癌患者の免疫能に関する末梢血リンパ球および組織リンパ球サブセットの検索. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 29) 陳 大志¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 中島米治郎¹⁾, 京野昭二¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第1): [展示] 虚血腸管における壁に神経叢の虚血性変化についての超微形態学的検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 30) 李 曉¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 江上 格¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第1): [展示] 迷走神経切断ハムスターの胆石形成におよぼす金銭草煎剤の作用の検討. I. 胆石形成と金銭草煎剤の作用について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 31) 清水一雄¹⁾, 渡辺秀裕¹⁾, 井出道也¹⁾, 陳 光永¹⁾, 長浜充二¹⁾, 北村 裕¹⁾, 渋谷哲男¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 若林一二²⁾, 山田宣孝³⁾, 大塚俊司³⁾ (¹⁾外科学第2, ²⁾付属病院内分泌内科, ³⁾第一病院病理部): [展示] モノクローナル抗体 HISL-19による神経内分泌腫瘍の組織化学的検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 32) 矢島幹久¹⁾, 長谷川実¹⁾, 上杉憲子¹⁾, 太田早苗¹⁾, 成田 稔¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾国立療養所多磨全生園): [展示] ハンセン病療養中に乳腺原発悪性リンパ腫の発症をみた1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 33) 角田 隆¹⁾, 浅野伍朗, 白井康正¹⁾, 井上惣一郎¹⁾, 北川泰之¹⁾, 松井琴恵¹⁾, 皆川 敦¹⁾, 松原美幸²⁾, 渡会泰彦²⁾, 鈴木恒道²⁾, 前田昭太郎³⁾ (¹⁾付属病院整形外科, ²⁾同病理部, ³⁾多摩永山病院病理部): [展示] 穿刺吸引細胞診にて診断し得た坐骨神経原発と考えられる脂肪肉腫の1症例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 34) 大塚俊司¹⁾, 早澤久美¹⁾, 仲原昌子¹⁾, 村瀬幸宏¹⁾, 佐藤春明¹⁾, 竹田数章²⁾, 山本英希²⁾, 今津 修²⁾, 山田宣孝^{1,2)} (¹⁾第一病院病理部, ²⁾病理学第2): [展示] 抗 PCNA 抗体による増殖細胞の染色(第2報); 固定液および有用性について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 35) 早澤久美¹⁾, 佐藤春明¹⁾, 村瀬幸宏¹⁾, 仲原昌子¹⁾, 大塚俊司¹⁾, 山田宣孝^{1,2)} (¹⁾第一病院病理部, ²⁾病理学第2): [展示] 病理部門における情報処理について(第5報); 細胞診, 組織診データの3年間の集計. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 36) 亀山孝二, 桜井太郎, 横山宗伯, 石渡俊行, 浅野伍朗: [一般講演] 冠動脈硬化に合併する unstable plaque の形態学的観察. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 37) 恩田宗彦, 間 武雄, 石渡俊行, 横山宗伯, 浅野伍朗: [一般講演] 損傷血管の修復過程における bFGF の発現の検討. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 38) 恩田宗彦, 間 武雄, 石渡俊行, 浅野伍朗: [一般講演] 血管内膜修復過程における VEGF の役割; 特に In situ hybridization 法による VEGF mRNA の局在の検討. 第33回日本組織細胞化学学会総会, 1992.
- 39) 竹内 司, 間 武雄, 浅野伍朗: [一般講演] 肝再生過程におけるフィブロネクチンと bFGF の役割; 特に RT

—PCR 法および in situ hybridization 法による検討。第33回日本組織細胞化学学会総会，1992。

- 40) 桜井太一郎，亀山孝二，浅野伍朗：〔一般講演〕ヒト冠動脈の硬化病巣における脂質蓄積に関する研究。第33回日本組織細胞化学学会総会，1992。
- 41) 桜井太一郎，亀山孝二，浅野伍朗：〔一般講演〕動脈硬化病巣における脂質の局在とその性状の検討。平成4年度日本動脈硬化学会平成4年度冬季大会，1992。

10. 微生物学・免疫学講座

研究概要

当教室の研究は、免疫学、アレルギー学、細菌学、ウイルス学等広範な領域に渡っているが、いずれの分野の研究も、免疫学的立場からなされた研究が多い。

免疫学：肝臓に存在する造血細胞，myeloid系細胞，および肝臓の産生するサイトカインの研究から，肝臓が hematolymphoid system の一臓器として機能することを明らかにしてきた。本年度は，①肝実質細胞が macrophage colony stimulating factor (M-CSF) を産生することを明らかにし，②肝部分切除後，肝臓内の hematolymphoid cell が一過性に活性化し，その subsets の割合が変動することを報告した。その他に，T細胞の抗原特異的リセプター複合体の研究から，T細胞が休止状態にある時，すでに，この複合体に CD4あるいは CD8分子が結合していることを見出し，T細胞活性化の MHC 拘束性に新理論を展開しつつある。

感染免疫学：① HIV をモデルとして，ウイルスの変異とそれを認識するキラーT細胞の特異性について研究が続けているが，本年度は，キラーT細胞が HIV-lgp160の抗原決定期限内の特定のアミノ酸構造（分枝型と環状型）を識別することを見出した。②セムリキ森林ウイルスの E2構造蛋白の抗原性が，ファゴリソゾームの酵素に対する感受性と密接に関連することを報告した。

アレルギー学：①ヒトの食物アレルギーに類似した症状を示す動物モデルをラットで開発し，このモデルを使用して食品の抗原性，漢方薬を含め各種薬剤の効果等を検討中である。② in vivo におけるマスト細胞の分化について，ヌードマウスに移植した3T3細胞の腫瘍を用いて研究を進めている。

細菌学：多剤耐性ぶどう球菌の院内感染の防止を目的として，細菌学的，疫学的研究を続けている。

研究業績

論文

- 1) 坂本俊樹，庄司 佑¹⁾，横室公三（¹⁾外科第2）：〔原著〕肝再生と肝類洞壁細胞。肝胆膵，24，959～969，1992。
- 2) Sakamoto, T, Saizawa, T, Mabuchi, A. et al：〔原著〕The liver as a potential hematolymphoid organ examined from modifications occurring in the systemic and intrahepatic hematolymphoid system during liver regeneration after partial hepatectomy. Regional. Immunol., 4, 1～11, 1992。
- 3) 平野文也，坂本俊樹，三樹 勝¹⁾，横室公三（¹⁾第二病院外科）：〔原著〕肝再生におけるマウスリンパ球 subset の変動；Flow cytometry を用いた解析。日医大誌，59，38～47，1992。
- 4) 平野文也，坂本俊樹，馬淵綾子，横室公三：〔原著〕肝再生における肝内リンパ球の変動；Flow cytometry による解析。肝類洞壁細胞研究の進歩，5，152～155，1992。
- 5) 馬淵綾子，坂本俊樹，津久井拓，平野文也，渡理英二，野呂瀬嘉彦，横室公三：〔原著〕肝非実質細胞およびその培養上清によって誘導される脾細胞の増殖と分化。肝類洞壁細胞研究の進歩，5，160～164，1992。
- 6) 坂本俊樹，西澤高士，平野文也，馬淵綾子，宮本昌之，庄司 佑¹⁾，横室公三（¹⁾外科第2）：〔原著〕肝再生における肝内の hematolymphoid cell population の変動；全身，特に脾臓と比較して。肝類洞壁細胞の進歩，5，165～168，1992。
- 7) 津久井拓，菊池京子，横室公三：〔原著〕肝実質細胞培養上清中に存在する骨髓細胞増殖刺激因子の精製。日医大誌，59，294～301，1992。
- 8) Tsukui, T., Kikuchi, K., Mabuchi, A., Sudo, T., Sakamoto, T., Sato, N., Tsuneoka, K., Shikita, M., Aida, T., Asano, G., Watari, E., and Yokomuro, K.：〔原著〕Production of macrophage colony-stimulating factor by adult murine parenchymal liver cells (hepatocytes). J. Leukocyte Biol., 52, 383～389，1992。
- 9) Watari, E., and Yokomuro, K.：〔原著〕T-cell hybridomas recognizing the envelope proteins of Semliki

Forest virus ; Their sensitivity to endo/lysosomal protease and the antigenicity. Jpn. J. Med. Sci. Biol., 45, 113~125, 1992.

- 10) 渡理英二, 横室公三 : [総説] AIDS におけるマイコプラズマ感染の意義. 臨床免疫, 24, 1178~1182, 1992.
- 11) 大久保孝行, 水谷 渉, 桑原 繁, 長谷正義, 小島孔章, 本間義春, 竹内良夫 : [原著] 補液中に添加された抗生物質の抗原性発現. 日獣誌, 45, 583~587, 1992.
- 12) 馬淵綾子, 坂本俊樹, 津久井拓, 横室公三 : [ワークショップ] 肝再生と免疫(研究会から : 第2回「The meeting of Liver and Immunology」Minophagen Medical Review, 37, 34~36, 1992.
- 13) Hidaka, S.¹⁾, Abe, K.¹⁾, Takeuchi, Y., and Liu, S.Y.¹⁾ (¹⁾福岡歯科大生化学) : [原著] Study on the inhibition of the formation of oral calcium phosphates ; Beneficial effects of Chinese traditional (Kampo) medicines. Manuscript for J. Periodont. Res., 1992.
- 14) 竹内良夫 : [原著] 病院薬剤師のための漢方製剤の知識 ; 小青竜湯(基礎)編, 日本病院薬剤師会雑誌, 28, 107~108, 1992.
- 15) 竹内良夫 : [原著] 臨床医のための漢方 ; 鼻アレルギーと漢方. 診療研究, No. 274, 3~13, 1992.
- 16) 荒川 勉¹⁾, 柴田柁樹¹⁾, 細見和雄¹⁾, 渡邊日章²⁾, 本間義春, 川角 浩, 竹内良夫 (¹⁾ロッテ中央研究所, ²⁾日医大法医学) : [原著] ペパーミント油と天然樹脂チクル, ジェルトンの抗アレルギー作用の検討. 食衛生, 33, 569~575, 1992.
- 17) Takahashi, H., Nakagawa, Y., Pendelton, C.D., Houghten, R.A., Yokomuro, K., Germain, R.N., and Berzofsky, J.A. : [原著] Analysis of CTL cross-reactivity to an HIV-1 immunodominant determinant ; Elicitation of widely cross-reactive CTLs. Vaccine, 92, 69~74, 1992.
- 18) 高橋秀実 : [総説] アジュバントとしての ISCOM ; サブユニットワクチンへの道. 医学のあゆみ, 162, 5022, 1992.
- 19) 中川洋子, 高橋秀実, 横室公三 : [総説] AIDS ワクチン開発の現況. カレントセラピー, 10, 1159~1163, 1992.
- 20) 高橋秀実 : [総説] ウイルス感染に対する免疫応答. 蛋白質-核酸-酵素, 37, 2875~2883, 1992.
- 21) 高橋秀実 : [総説] ペプチドによる免疫応答の制御 ; T細胞レセプターの認識ペプチド. 免疫薬理, 10, 5~11, 1992.
- 22) 高橋秀実 : [総説] HIV の変異とキラーT細胞の特異性. 実験医学, 10, 812~815, 1992.
- 23) Takahashi, H. : [総説] Antigen processing and presentation. Microbiology and Immunology, 37, 1~9, 1993.
- 24) 高橋秀実 : [総説] T細胞レセプターによる HIV の知識. BIOMEDICA, 8, 140~141, 1993.
- 25) 高橋秀実 : [総説] AIDS-最新の動向. Mebio, 10, 52~59, 1993.
- 26) 高橋秀実 : [報告] HIV エンヴェロップ抗原に対するT細胞の示す交差障害性の検討. 厚生省エイズ対策研究推進事業平成3年度研究成果報告書, 47~51, 1992.
- 27) 高橋秀実 : [報告] 遺伝子組換え技術及び合成ペプチドを用いたウイルス変異とCTL 特異性の検討. 厚生省遺伝子組換え技術を用いたワクチン開発に関する研究班平成3年度研究成果報告書, 27~29, 1992.
- 28) 高橋秀実 : [報告] エイズウイルスに対する特異的細胞障害性T細胞を誘導しうるワクチンの開発. 平成元年~3年度文部省重点領域研究研究成果報告書, 268~273, 1992.
- 29) 中川洋子, 渡理英二, 横室公三 : [原著] 肝内リンパ球画分培養肥満細胞の形態と機能. アレルギー, 42, 250~257, 1993.
- 30) Kikuchi, K., Kawamura-Konishi, Y., and Suzuki, H. : [原著] The reaction of Aspergillus niger catalase with methyl hydroperoxide. Arch. Biochem. Biophys., 296, 88~94, 1992.

著 書

- 1) 竹内良夫：〔分担〕漢方製剤の知識（X）（監修 日本病院薬剤協会）。薬事新報社，1993.
- 2) 高橋秀実：〔分担〕生体の免疫力和エイズ「ワクチンの可能性」"エイズ危機"（塩川優一編），P. 168～179，NHK出版，1992.
- 3) 高橋秀実：〔分担〕HIV に対する細胞障害性 T 細胞の応答とワクチン開発；ATL と AIDS（井川洋二，吉田光昭，山本直樹編），P. 88～93，実験医学創刊号，1993.

学会発表

- 1) 亀井裕子¹⁾，宮永嘉隆¹⁾，高橋めぐみ，渡理英二（¹⁾女子医大眼科）：〔一般講演〕Epstein-Barr ウイルスのウサギ眼感染における抗体の推移とウイルスの局在。第29回日本眼感染症学会，1992.
- 2) 川角 浩，本間義春，栗山純一，横室公三，竹内良夫：〔一般講演〕Coagulase positive Staphylococcus(CNS) の薬剤感受性に関する研究(2)。感染症学会（東京），1992.
- 3) 川角 浩，本間義春，栗山純一，横室公三，竹内良夫：〔一般講演〕Coagulase negative Staphylococcus(CNS) の薬剤感受性に関する研究(3)。化学療法学会（名古屋），1992.
- 4) 亀井裕子¹⁾，宮永嘉隆¹⁾，高橋めぐみ，渡理英二（¹⁾女子医大眼科）：〔一般講演〕Epstein-Barr ウイルスのウイルス眼感染における初期抗体の動態。第96回日本眼科学会総会，1992.
- 5) Takahashi, H.：〔シンポジウム〕Au unique subunit immunogen (ISCOM-gp160) can elicit both MHC class I-restricted HIV envelopespecific CD8⁺CTL and neutralizing antibodies. 1st International Union of Biochemistry and Molecular Biology Conference (Nagoya), 1992.
- 6) 高橋秀実，渡辺勇四郎¹⁾，中川洋子，水上民夫²⁾，黒田 肇³⁾，小林正文³⁾，斉藤 泉⁴⁾，野村武夫³⁾，横室公三，宮村達男⁴⁾（¹⁾聖マリアンナ医大第二内科，²⁾協和発酵東京研究所，³⁾日本医大内科第3，⁴⁾国立予研ウイルス）：〔一般講演〕C型肝炎ウイルス core 領域に対する抗体エピトープの検索とその臨床的意義の検討。第28回日本肝臓学会総会，1992.
- 7) 横室公三：〔シンポジウム〕免疫担当細胞と組織障害・修復。第2回日本医科大学医学会シンポジウム，1992.
- 8) Berzofsky, J.A.¹⁾，Shirai, M.¹⁾，Nakagawa, Y., Pendleton, C.D.¹⁾，Houghten, R.A.¹⁾，Yokomuro, K., Germain, R.N.¹⁾，and Takahashi, H.（¹⁾米国 NIH）：〔ワークショップ〕Promiscuity for MHC and induction of broad crossreactivity for HIV-1 isolates of a dominant CTL determinant of the HIV-1 envelope. National Cancer Institute Annual Meeting (Bethesda U.S.A.), 1992.
- 9) Takahashi, H., Nakagawa, Y., Pendleton, C.¹⁾，Houghten, R., Yokomuro, K., Germain, R.N., and Berzofsky, J.¹⁾（¹⁾米国 NIH）：〔ワークショップ〕CTL crossreactivity to an immunodominant determinant of HIV-1 envelope protein ; Induction of broadly crossreactive CTL. 8th International Congress of Immunology (Budapest, Hungary), 1992.
- 10) Berzofsky, J.A.¹⁾，Takahashi, H., Kozlowski, S.¹⁾，Takeshita, T., Shirai, M.¹⁾，Pendleton, C.D.¹⁾，Nakagawa, Y., Houghten, R.A.¹⁾，Yokomuro, K., Germain, R.N.¹⁾，and Margulies, D.H.¹⁾（¹⁾米国 NIH）：〔シンポジウム〕Structural and processing requirements for recognition of an immunodominant epitope of HIV-1 envelope protein by CD8⁺ cytotoxic T lymphocytes. Satellite Meeting of 8th International Congress of Immunology on Prediction and Recognition of Antigen Determinants (Budapest, Hungary), 1992.
- 11) 青木 亘¹⁾，野原秀明¹⁾，斉藤公一¹⁾，墨田 肇¹⁾，川角 浩，竹内良夫（¹⁾付属病院生理機能センター）：〔一般講演〕本院生理機能センターにおける多剤耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の現状（第2報）。第60回日本医科大学医学会総会，1992.
- 12) Takahashi, H., Nakagawa, Y., Yokomuro, K., and Berzofsky, J.A.¹⁾（¹⁾米国 NIH）：〔シンポジウム〕Introduction of CD8⁺CTL by immunization with syngeneic irradiated HIV-1 envelope derived peptide-

pulsed splenic dendritic cells. Cold Spring Harbor Symposium (New York, USA), 1992.

- 13) 竹内良夫, 川角 浩, 本間義春, 栗山純一, 横室公三: [一般講演] 食物アレルギーの実験モデルの作製. 第42回日本アレルギー学会総会 (仙台), 1992.
- 14) 高橋秀実: [シンポジウム] ウイルス感染に対するキラーT細胞の応答. 第40回ウイルス学会総会, 1992.
- 15) 岡 慎一¹⁾, 百田憲司¹⁾, 井田節子¹⁾, 講神貴美¹⁾, 塩田達雄¹⁾, 高橋秀実, 藤原佳浩²⁾, 武部 豊²⁾, 木村 哲²⁾, 島田 肇²⁾ (¹⁾東大・医科研, ²⁾国立予研): [一般講演] 激症経過を示した HIV 感染患者から分離された HIV-1 V3の解析. 第40回日本ウイルス学会総会, 1992.
- 16) 野呂瀬嘉彦, 高橋秀実, 横室公三, 市川安昭¹⁾, 山下和雄¹⁾, 川並汪一²⁾ (¹⁾解剖第1, ²⁾第二病院病理): [一般講演] ノードマウスに移植した BALB/c3T3細胞とマスト細胞; 形態学的観察. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 17) 中川洋子, 高橋秀実, 横室公三: [一般講演] ウイルス特異的免疫応答に対する漢薬の作用; キラーT細胞誘導に対する温度変化及び漢薬作用の検討. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 18) 馬淵綾子, 松井 聡, 金子勝美, 池田正和, 横室公三: [一般講演] 肝内リンパ細胞の性状と機能. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 19) 岡部俊成, 野呂瀬嘉彦, 飛田正俊, 丸山和男, 向後俊昭, 留目優子, 大國 寿, 坂口雅弘, 井上 栄: [一般講演] ブドウ球菌菌体成分 Peptidoglycam (PG) がアトピー性皮膚炎患児末梢血リンパ球の IgE 産生能におよぼす影響についての検討. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 20) Takeuchi, Y., Kiyono, J., and Yokomuro, K.,: [展示] Comparative studies of anti-allergic effects of Sho-seiryu-to. The 7th International Congress of Oriental Medicine (台湾), 1992.
- 21) 高橋秀実, 中川洋子, 横室公三, Berzofsky, J.A.¹⁾ (¹⁾米国 NIH): [一般講演] HIV エンヴェロップ抗原に対するキラーT細胞の示す交差傷害性の検討. 第22回日本免疫学会総会, 1992.
- 22) 中川洋子, 高橋秀実, 横室公三, Berzofsky, J.A.¹⁾ (¹⁾米国 NIH): [一般講演] ウイルス変異に対する CTL 特異性の検討; HIV エンヴェロップ蛋白をモデルとして. 第22回日本免疫学会総会, 1992.
- 23) 竹下俊行, 高橋秀実, 越野立夫, Kozlowski, S.¹⁾, Margulies, D.H.¹⁾, Berzofsky, J.A.¹⁾ (¹⁾米国 NIH): [一般講演] 外因性 $\beta 2$ microglobulin の添加によって促進されるペプチドと class I MHC 分子との結合. 第22回日本免疫学会総会, 1992.
- 24) 横室公三: [ワークショップ]: 肝臓の hematolymphoid system. 第1回ワークショップ「肝臓のリンパ球」, 1992.
- 25) 馬淵綾子, 松井 聡, 野呂瀬嘉彦, 北島真澄, 西澤光義, 横室公三: [一般講演] 肝臓の hematolymphoid system; T細胞の増殖と分化に及ぼす肝実質細胞の影響 (II), 第22回日本免疫学会総会, 1992.
- 26) 宮本昌之¹⁾, 坂本俊樹²⁾, 河路秀巳, 恩田昌彦¹⁾, 横室公三 (¹⁾外科第1, ²⁾外科第2): [一般講演] 肝再生の過程で起こる胸腺細胞の臓器集積性の変動; PNA 陽性胸腺細胞静注後の肝, 脾への集積性とその経時的変化. 第22回日本免疫学会総会, 1992.
- 27) 中村俊彦, 馬淵綾子, 菊池京子, 津久井拓, 横室公三: [一般講演] 肝実質細胞の培養上清中に存在する D10 G4.1 (Th2クローン) の増殖を抑制する因子について. 第22回日本免疫学会総会, 1992.
- 28) 馬淵綾子, 津久井拓, 坂本俊樹, 菊池京子, 横室公三: [シンポジウム] 初代培養肝実質細胞が産生するサイトカインの検索. 第6回肝類洞壁研究会 (久留米シンポジウム), 1992.
- 29) 宮本昌之, 恩田昌彦¹⁾, 横室公三 (¹⁾外科第1): [シンポジウム] リンパ球の homing と肝類洞細胞; PNA 陽性細胞の肝へ集積性とその肝再生過程に於ける変動. 第6回肝類洞壁研究会 (久留米シンポジウム), 1992.
- 30) 高橋めぐみ, 横室公三: [一般講演] 肝内抗体産生細胞と培養肝実質細胞が及ぼす影響. 第66回日本細菌学会, 1993.

11. 衛生学・公衆衛生学講座

研究概要

働く人のための良い環境づくりと、健康増進に関連する研究を主として行っている。産業医学領域は、南、勝又、稲垣が作業環境のバイオロジカルモニタリングの研究、作業者の生化学的ストレス評価法の研究を行っている。希土類、アルカリ土類金属の ICP による分析法の確立（本学に ICP はないが、他所で不自由をしのいで借りた上での）を目指したり、体液中の MHPG 定量法を確立した。また、ある金属が鉛の毒作用を増強することをフィールドで発見した。南は、酸化性物質の血色素への作用が、メトヘモグロビン生成だけでなく、内因性物質の著明なアダクト形成もあることを確認した。この研究には本年度の科研費も用いられた。大学院生の王と留学生の李は、皮膚アレルギー反応を起こす物質の *in vitro* でのスクリーニング法を研究している。稲垣は免疫プレートを用いた簡易なバイオロジカルモニタリング法を開発中であり、勝又は、重金属の毒作用を増強する要因を検討している。内科学第 1 大学院から当方でフィールド研究に参加した馬場は、過労による心血管系の負担を研究している。いわゆる正常者の心電図測定も 150 例を超え、夜勤者の負担度評価へと研究が進んでいる。前任の乗木教授からの研究を引き続いて行っている若山は、猿島肝炎の HCV 抗体を検査機関に依頼して得た結果を集計している。薩田は今までのインフルエンザ（流行）と学童欠席者の関係の研究から、エイズに対する意識調査へとテーマをかえている。目立たないながら、着実に知見を積み重ねつつある当教室である。しかし、若い人々に人気がない仕事をやっていることも事実であるが、良い原著論文を仕上げようと努力していることも事実である。

研究業績

論文

- 1) 三宅一昌：〔原著〕H₂-blocker 長期投与によるラット胃十二指腸粘膜内重炭酸脱水酵素への影響について。日医大誌, 59, 129~135, 1992.
- 2) Morita, K., Minami, M., and Inagaki, H.: 〔原著〕Kinetics of plasma 3,4-dihydroxyphenylalanine (DOPA) during physical exercise; A comparative study with that of noradrenaline. Biogenic Amines, 8, 431~441, 1992.
- 3) Fan, X-H.: 〔原著〕Effect of exposure to benzene on natural killer (NK) cell activity and interleukin-2 (IL-2) production of C57BL/6 mice. J. Nippon Med. Sch., 59, 393~399, 1992.
- 4) Minami, M., Inagaki, H., Katsumata, M., Miyake, K. and Tomoda, A.¹⁾ (¹⁾Tokyo Med. Coll.): 〔原著〕Inhibitory action of chloramine on formate-metabolizing system; Studies suggested by an unusual case record. Biochem. Pharmacol., 45, 1059~1064, 1993.

学会発表

- 1) Miyake, K., Hirota, K.¹⁾, Yamakado, S.¹⁾, Kishida, T.¹⁾, Sueoka, N.¹⁾, Kagawa, T.¹⁾, Hirakawa, T.¹⁾, Kobayashi, M.¹⁾, Inagaki, H., and Minami, M. (¹⁾内科学第 3): 〔展示〕Effect of long-term H₂-blocker treatment on carbonic anhydrase in gastroduodenal mucosa. First United European Gastroenterology Week (Athens), 1992.
- 2) 若山葉子, 荒牧琢己¹⁾ (¹⁾内科学第 1): 〔一般講演〕肝炎流行地区の予後の検討。第 51 回日本公衆衛生学会総会, 1992.
- 3) 徳竹 哲, 南 正康, 稲垣弘文, 勝又聖夫: 〔一般講演〕脳内ドーパミン放出に対する有機硝酸塩の影響。第 180 回日本産業衛生学会関東地方会例会, 1993.

12. 法医学講座

研究概要

当教室は、従来より法医中毒学を中心に多岐の分野にわたり、救急医学・形成外科学・脳神経外科学・病理学・化学・中央電顕施設などの各教室とも共同研究を行っている。また、法医学実務として親子鑑定を行い、赤血球型・血清型・赤血球酵素型・HLA 型・DNA フィンガープリント法などについて血液型学的研究を行っている。

1. 法中毒学：1) アルコールの代謝ならびにアルコールの生体への影響をテーマとして、アルコール代謝における中心的酵素であるアルコール脱水素酵素・アルデハイド脱水素酵素の isozyme レベルでの代謝調節を検討し、アルコール感受性に対する個体差の解明に取り組んでいる。また、アルコールの臓器障害の機序を究明するため、培養心筋細胞を用いて生理学的・生化学的実験を行っている。また、アルコールの代謝物である酢酸を測定し、その代謝による意義と役割を検討している。2) 救急医学教室と共同で急性薬毒物中毒による入院患者の緊急薬毒物分析法を開発し、TLC・HPLC・GC・GC/MS などを用いたより簡便・迅速で精度の高い系統的な分析システムの開発に取り組んでいる。さらに、覚醒剤・コカイン・麻薬などの不法薬物などの簡易分析法も検討している。3) 共同利用施設の NMR を用いて、種々の薬毒物中毒時の脳内エネルギー代謝、水の緩和時間等を in vivo で経時的に測定し、中毒機序の解明に応用している。

2. その他：1) 形成外科学とは損傷皮膚のエネルギー代謝、脳神経外科とは脳腫瘍へのモノクローナル抗体の効果、内科学第2教室とは虚血時の脳浮腫について共同研究を行っている。2) 脳死に関わる種々の問題点を法医学的・社会医学的な立場から考察している。3) 近い将来の司法解剖実施を睨み、病理組織学的手法の検討、死後経過時間推定に関する研究、法医剖検 VTR 画像の応用等の実務的研究に着手している。

研究業績

論文

- 1) Tomita, Y., Haseba, T., Kurosu, M., and Watanabe, T.: [原著] Effects of chronic ethanol intoxication on aldehyde dehydrogenase in mouse liver. *Alcohol & Alcoholism*, 27, 171~180, 1992.
- 2) 林田眞喜子, 仁平 信, 守谷直樹, 渡辺日章, 須崎紳一郎¹⁾, 牧野俊郎¹⁾, 山本保博¹⁾. (¹⁾救急医学): [原著] TOXI-LAB システムの評価に関する基礎的研究. *中毒研究*, 5, 251~265, 1992.
- 3) Ohno, Y., Chiba, S.¹⁾, Uchigasaki, S.¹⁾, Uchima, E.²⁾, Nagamori, H.²⁾, Mizugaki, M.³⁾, Ohyama, Y.³⁾, Kimura, K.³⁾, and Suzuki, Y.⁴⁾ (¹⁾Dept. of legal Medicine, Nihon University School of Medicine, ²⁾Dept. of Legal Medicine, Faculty of Medicine, University of the Ryukyus, ³⁾Dept. of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University Hospital, ⁴⁾Pharmaceutical Institute, Tohoku University): [原著] The influence of tetrodotoxin on the toxic effects of aconitine in vivo. *Tohoku J. Exp. Med.*, 167, 155~158, 1992.
- 4) 黒須三恵: [その他] 医学・生物学的に脳死は人の死か. *科学*, 62, 392, 1992.
- 5) 山本伊佐夫, 長谷場健, 黒須三恵, 渡辺日章: [原著] マウス acidic alcohol dehydrogenase (Class III ADH) 蛋白の活性調節能とそのアルコール代謝における意義. *日医大誌*, 59, 38~46, 1992.
- 6) 守谷直樹, 仁平 信, 佐藤 茂¹⁾, 渡辺日章. (¹⁾中央電顕施設): [原著] 多量エタノールの腹腔内投与によるマウスの肝臓・心臓・肺臓並びに腎臓の微細構造の変化. *アルコール研究と薬物依存*, 47, 189~200, 1992.
- 7) 千葉正悦¹⁾, 大野曜吉, 武藤 亨¹⁾, 塚本昭次郎¹⁾, 鉄 堅²⁾, 押田茂實¹⁾. (¹⁾日本大学医学部法医学, ²⁾中国医科大学法医学): [原著] MN 式血液型凝集反応と免疫組織化学的検査法による ABO 式判定法を利用した異型輸血の識別法. *法医学の実際と研究*, 35, 47~50, 1992.
- 8) 大野曜吉, 今井康友¹⁾, 押田茂實²⁾. (¹⁾東京大学医学部, ²⁾日本大学医学部法医学): 小型画像処理装置による剖検例画像データベースの構築. *法医学の実際と研究*, 35, 129~134, 1992.

- 9) 内ヶ崎西作¹⁾, 武藤 亨¹⁾, 柴田 治²⁾, 山口進久¹⁾, 塚本昭次郎¹⁾, 千葉正悦¹⁾, 北澤 実^{1,3)}, 鉄 堅^{1,4)}, 押田茂實¹⁾, 大野曜吉. (¹⁾日本大学医学部法医学, ²⁾日本大学法学部, ³⁾日本大学医学部麻醉科学, ⁴⁾中国医科大学法医学): [原著] 医療用ディスプレイ手袋を使用した場合の鑑定資料の取扱いについて, 法医学の実際と研究, 35, 309~311, 1992.
- 10) 黒須三恵: [その他] 脳死は医学的に人の死か. 日医大誌, 59, 486, 1992.
- 11) 黒須三恵: [原著] ロサンゼルスにおける法医学の役割. 法医学の実際と研究, 35, 397~404, 1992.
- 12) Zhu, G.¹⁾, Ishizaki, M.²⁾, Haseba, T., Wu, R.L.¹⁾, Sun, T.-T.¹⁾, and Kao, W.-Y.¹⁾ (¹⁾シンシナチ大学, ²⁾病理学第1): [原著] Expression of K12 Keratin in alkali-burned rabbit cornea. Cur.Eye.Res., 11, 875~887, 1992.
- 13) 仁平 信: [総説] 麻薬. Emergency Nursing, 1993春季増刊, 125~127, 1993.
- 14) Kanno, K.¹⁾, and Hirakawa, K. (¹⁾Dept. of Plastic and Reconstructive Surgery): [原著] Chronological observation on the energy metabolism of skin flaps by ³¹P-MRS: A novel approach to evaluate the state of flap. Plast.Reconstr. Surg., 91, 322~328, 1993.

学会発表

- 1) 富田ゆかり, 長谷場健, 渡辺日章: [展示] 手掌領域に出現する紋理の同一個体内の左右差; 特に第II, 第III, 第IV指間紋について. 第76次日本法医学会総会, 1992.
- 2) 平川慶子, 植草協子, 林田眞喜子, 仁平 信, 渡辺日章: [展示] 急性エタノール投与ラット脳の³¹P-MRS および¹H-MRS. 第76次日本法医学会総会, 1992.
- 3) 黒須三恵, 渡辺日章, トーマス T. 野口¹⁾. (¹⁾南カリフォルニア大学): [一般講演] ロサンゼルス地区での検死制度と臓器移植におけるその役割. 第76次日本法医学会総会, 1992.
- 4) 山村美和¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 平川慶子 (¹⁾付属病院形成外科): [一般講演] 核磁気共鳴を用いた体内埋入異物患者の臨床医学的研究. 第35回日本形成外科学会総会, 1992.
- 5) Kanno, K.¹⁾, Hyakusoku, H.¹⁾, Fumiiri, M.¹⁾, Hirakawa, K., and Watanabe, T. (¹⁾付属病院形成外科): [一般講演] Chronological observation of the energy metabolism of skin flaps by the ³¹P-MRS surface coil method. The Xth Congress of the International Confederation for Plastic and Reconstructive Surgery (Madrid), 1992.
- 6) 大野曜吉: [特別講演] 異状死体と行政解剖. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 7) 黒須三恵, 長谷場 健, 大野曜吉: [展示] 脳死は人の死か否か; 医学・生物学の専門家の考え方. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 8) 林田眞喜子, 佐藤美保, 仁平 信, 大野曜吉: [展示] 両親の片側が死亡している親子鑑定における HLA 型検査が有効であった事例について (第2報). 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 9) 池田幸穂¹⁾, 王 慕一¹⁾, 朝倉隆之¹⁾, 中澤省三¹⁾, 平川慶子, 植草協子 (¹⁾付属病院脳神経外科): [展示] Proton magnetic resonance spectroscopy (¹H-MRS) による脳凍結損傷の代謝分析. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 10) 長谷場健, 山本伊佐夫, 渡辺日章, 亀山孝二¹⁾, 松下和弘²⁾, 大河内正一³⁾, 朝倉俊博, 上平 恒⁴⁾ (¹⁾病理学第2, ²⁾埼玉医科大学・医動物, ³⁾法政大学・工, ⁴⁾北海道大学・理): [一般講演] アルコールの溶液構造と薬理作用との関係. 第27回日本アルコール医学会総会, 1992.
- 11) 三上啓子, 長谷場健, 渡辺日章: [一般講演] 心筋ミトコンドリア ATPase のエタノールによる変化; 培養心筋細胞を用いた形態学的・生化学的検討. 第27回日本アルコール医学会総会, 1992.
- 12) Ohno, Y., Chiba, S.¹⁾, Uchigasaki, S.¹⁾, Mizugaki, M.²⁾, and Suzuki, Y.³⁾ (¹⁾Dept. of Legal Medicine, Nihon University School of Medicine, ²⁾Dept. of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University Hospital, ³⁾Pharma-

ceutical Institute, Tohoku University) : [一般講演] The toxicological combined effect of aconitine with tetrodotoxin. 30th International Meeting of TIAFT, 1992.

- 13) 大野曜吉, 千葉正悦¹⁾, 内ヶ崎西作¹⁾, 水柿道直²⁾, 鈴木康男³⁾(¹⁾日本大学医学部法医学, ²⁾東北大学医学部, ³⁾東北大学薬学部) : [一般講演] アコニチン中毒におけるフグ毒の中毒学的複合作用. 日本法中毒学会第11年会, 1992.
- 14) Nihira, M., Hayashida, M., and Hirakawa, K. : [展示] Acetate concentration in rat tissues after ethanol injection. 30th International Meeting of TIAFT, 1992.
- 15) 仁平 信, 林田眞喜子, 平川慶子 : [展示] エタノール投与によるラット組織中の酢酸濃度. 日本法中毒学会第11年会, 1992.
- 16) Hayashida, M., Nihira, M., and Hirakawa, K. : [展示] Emergency toxicological screening in the critical care medical center (CCMC) of Nippon Medical School in past ten years. 30th International Meeting of TIAFT, 1992.
- 17) 林田眞喜子, 仁平 信, 平川慶子 : [展示] 過去10年間の日本医科大学救命救急センター (CCMC) における緊急薬毒物スクリーニング. 日本法中毒学会第11年会, 1992.
- 18) Hirakawa, K., Hayashida, M., and Nihira, M. : [展示] ¹H-MRS of tissue extracts from rat high dose of ethanol receiving. 30th International Meeting of TIAFT, 1992.
- 19) 平川慶子, 林田眞喜子, 仁平 信 : [展示] エタノール急性投与ラットの臓器抽出物の¹H-MRS. 日本法中毒学会第11年会, 1992.
- 20) 平川慶子, 植草協子, 仁平 信, 黒須三恵, 長谷場健, 林田眞喜子, 富田ゆかり, 三上啓子, 佐藤美保, 大野曜吉 : [一般講演] ³¹P-MRS によるラット骨格筋の死後変化の数量化の試み. 第61回日本法医学会関東地方会, 1992.
- 21) 井上幸彦¹⁾, 山村美和¹⁾, 文入正敏¹⁾, 平川慶子, 植草協子 (¹⁾付属病院形成外科) : [一般講演] 核磁気共鳴を用いた体内埋入異物分析法の評価と問題点. 日本形成外科学会基礎学術集会, 1992.
- 22) 井上幸彦¹⁾, 山村美和¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 平川慶子, 植草協子 (¹⁾付属病院形成外科) : [一般講演] 液体NMR による体内埋入異物の解析. 日本美容外科学会, 1992.
- 23) 井上幸彦¹⁾, 百束比古¹⁾, 大久保正智¹⁾, 山村美和¹⁾, 佐野和史¹⁾, 文入正敏¹⁾, 平川慶子, 仁平 信 (¹⁾付属病院形成外科) : [一般講演] 陰茎埋入異物12症例の検討. 日本形成外科学会関東支部東京地方会, 1993.

13. 医療管理学講座

研究概要

1992年度は国際シンポジウム、国内学会でのシンポジウム、学会発表など、研究者間での交流と共に社会への教育として、岩崎教授が教育講座などで幅広く活躍した。また、1992年5月、教室は米国の大学教育医療管理カリキュラム認定協会から認定を受けた。当教室の研究テーマは「医療の質」である。この主要テーマに沿って、以下の項目の研究を行った。

- 1) 医療の質向上に関する研究会（継続研究）
- 2) 地域医療管理教育に関する研究
- 3) 外来機能に関する研究（ASR）
- 4) 医療問題全般にわたる総合的研究（地域医療、グループ診療、エイズ、小児外科 QOL 等）
- 5) 国際的な医療管理の問題に関する研究

各々について説明する。

1) については、当教室内に事務局を置き、この研究会の中心となって活動し、本年度で4年目を迎える。診療、看護、管理運営の3部門での病院医療の評価基準第1版の改訂とそれに基づく会員病院の実地検証を行った。また、新たな病院評価の試みとして、指標（Indicator）を用いた評価手法および退院患者の受療満足度調査に着手した。現在は第3版の基準項目を作成中である。

2) については、私学助成振興財団の補助をうけたもので、学生の現場での学習で地域に密着した医療管理を実体験を通して学ばせ、社会医学と臨床医学の複雑なからみあいを体得させる教育を行うための研究で、報告書を作成した。

3) については、福山通運渋谷長寿健康財団の補助をうけたもので、病院の外来機能についての研究で、当教室が中心となって行っている。

4) については、岩崎主任教授が各学会で、特別講師、シンポジストとして発言を行うと共に、現在の医療の問題点、医療経営の展望、医療経済、高齢化社会、QOL、患者教育などについて医療管理の視点から、医療提供者、社会双方に訴えている。

5) その他、国際的に問題となっている医療管理分野で、シンポジウム参加をはじめとして研究を行った。

研究業績

論文

- 1) 岩崎 榮, 吉中 稔:〔翻訳〕貧困者ならびにコストの高い患者の入院手段としての救急部門の役割. JAMA, 13, 43~47, 1992.
- 2) 岩崎 榮:〔総説〕これからの医療管理学教室の行方と産婦人科医. 日本医科大学産婦人科学教室同窓会誌, 3, 14~27, 1992.
- 3) 岩崎 榮:〔総説〕病院委員会の活動について. 日医師会誌, 107, 1673~1677, 1992.
- 4) 岩崎 榮, 布施理美, 吉中 稔, 熊田朝子:〔総説〕教室の仕事を中心として;医療の質向上を目指す研究. 日医大誌, 59, 79~79, 1992.
- 5) 岩崎 榮:〔総説〕施設の縮小化で質の向上を図る. 日病院会誌, 39, 1211~1211, 1992.
- 6) 岩崎 榮, 高柳和江, 吉中 稔, 布施理美:〔総説〕医療における質の管理;その評価と改善. 日医大誌, 59, 289~293, 1992.
- 7) 岩崎 榮:〔総説〕短期収容・振り分け機能が小規模施設の生き残りを分ける. ばんぶう, 136, 42~44, 1992.
- 8) 岩崎 榮:〔総説〕大学附属病院における高度先進医療の問題点;医療管理の立場から. 臨外, 54, 1182~1184, 1992.

- 9) 岩崎 榮：〔総説〕診療報酬改定の意義と来春改定の課題，社会保険旬報，1793，6～9，1993.
- 10) 高柳和江，岩崎 榮，吉中 稔：〔総説〕説明された上での患者による治療の選択，日医新報，3569，95～97，1992.
- 11) 高柳和江：〔総説〕グループ診療；米国に学ぶもの（上），日経ヘルスケア，11，122～123，1992.
- 12) 高柳和江：〔総説〕グループ診療；米国に学ぶもの（下），日経ヘルスケア，12，87～88，1992.
- 13) Takayanagi, K., Yoshinaka, Y., and Iwasaki, S.: [原著] The role of the maternal and child healthbook system in reducing perinatal mortality in Japan. Clinical Performance and Quality Health Care, 1, 29～33, 1993.
- 14) 布施理美，中村加枝¹⁾，黒澤 尚²⁾，岩崎 榮（¹⁾精神医学，²⁾精神医学・救命救急センター：〔原著〕救命救急センターにおける consultation-liaison psychiatry 活動の業務量と評価，ICU と CCU，17，253～262，1993.

著 書

- 1) 岩崎 榮，高柳和江：〔報告書〕地域医療管理教育に関する研究，英和印刷，1993.

学会発表

- 1) 岩崎 榮：〔パネルディスカッション〕プライマリ・ケアの現況と将来構想，耳鼻科医会関東地方会，1993.
- 2) 岩崎 榮：〔セミナー〕臨床検査情報担当者の今後の役割，日本臨床検査医会振興会セミナー，1992.
- 3) 岩崎 榮：〔一般講演〕わが国におけるこれからの医療展望，第65回日本整形外科学会学術集会，1992.
- 4) 岩崎 榮：〔基調講演〕わが国における患者指導の現状と将来展望，日本臨床内科医会患者指導セミナー，1992.
- 5) 岩崎 榮：〔特別発言〕国保診療所をめぐる諸問題，第32回全国国保地域医療学会，1992.
- 6) 高柳和江，石原信浩¹⁾，角田 晋¹⁾，赤沢 滋²⁾，宮野 武³⁾，駿河敬次郎¹⁾（¹⁾公立葛南病院外科，²⁾公立葛南病院精神科，³⁾順天堂大学小児外科）：〔一般講演〕小児外科疾患の受容と QOL，第3回小児外科 QOL 研究会，1992.
- 7) 高柳和江，岩崎 榮，吉中 稔，布施理美：〔一般講演〕医療における質の分析，第30回日本病院管理学会総会，1992.
- 8) 高柳和江：〔シンポジウム特別発言〕Social maturity の研究，第30回日本病院管理学会総会，1992.
- 9) Takayanagi, K.: [パネルディスカッション] Country report on health status and primary health care. International Symposium on Health Policy and Health Services Systems (Tokyo), 1992.
- 10) Takayanagi, K., and Suruga, K.¹⁾（¹⁾Katsunan Municipality Hospital）：〔一般講演〕New approach in quality of life assessment of neonatal surgical cases. Asian Surgical Association's 9th Biennial Congress (Manila), 1993.

14. 基礎医学共同研究利用施設

〔実験動物管理室〕

研究概要

実験動物モデル（疾患モデル・生物学的モデル）の研究・開発をテーマとして、自発性疾患動物の病態解析・各種実験動物の生理学的特性検索およびモデル動物のコロニー育成を行っている。本年は主として以下のような研究を行った。

1. 疾患モデル動物

1) WBN/Kob 雄ラットの糖尿病発症が幼齢期に自発する膵病変に起因することが分かり、その病因究明のため、1～18カ月齢ラットの主要臓器の組織形態学的検索を行った。その結果、このラットは幼齢期からいくつかの臓器・器官に組織形態学的変化のあることが確認された。検索した15臓器全てに2カ月齢頃から初期循環障害を示す所見が認められ、著明な病的変化を認めたものは膵臓、精巣、眼底網膜であり、次いで心臓、腎臓の病変が確認された。

2) Streptozotocin 誘発糖尿病ラットの性行動について観察し、雄ラットで糖尿病発症後8週齢頃から copulation, ejaculation 回数の減少および射精潜時の延長がみられたことなどから、このラットが糖尿病性機能低下症のモデルとなり得ることを示した。

3) コレステロール負荷ウサギを用いて、飼料の繊維含量と血清脂質量との関係を調べ、食物繊維が脂肪吸収阻害効果を有する可能性を示した。

2. 生物学的モデル

スナネズミの特性について検討した。主要臓器重量の data base を作成し、この動物特有の臍臭腺について組織学的検索を加えた。感染モデルとしては、感染が成立しながら宿主が衰弱しないという特異な経過を示す糞線虫感染や、脳筋炎ウイルス接種に対し、マウスと異なり糖尿病症状が誘発されないことを観察した。イヌフィラリア抗原免疫により IgE 様抗体を産生することも明らかにした。

以上の他、本年度は実験動物の飼育環境向上のための器材や動物実験手技の教育用器具の試作・検討を行った。

研究業績

論文

- 1) 福生吉裕¹⁾, 仲間一雅, 清水眞澄⁽¹⁾内科学第2): [原著] コレステロール負荷ウサギにおける繊維(リンゴファイバー)の脂質代謝に及ぼす影響について. Therapeutic Research, 13, 517~522, 1992.
- 2) 仲間一雅: [報告] WBN/Kob ラットにおける胃・膵・眼疾患および糖尿病の病態解明. 文部省科研費研究, 総合研究(A) 研究成果報告, 1~138, 1992.
- 3) Asakawa, M.¹⁾, Shimizu, M., Shichinohe, K., Shiota, K.²⁾, and Mwanatambwe, M.³⁾ (¹⁾解剖学第2, ²⁾桐生短期大学, ³⁾病理学第2): [原著] Morphological and histological observation of umbilical scent gland in the Mongolian gerbil. S.F.J.S.V., 3, 27~32, 1992.
- 4) 浅川光夫¹⁾, 飯田和美²⁾, 平井和人³⁾, 清水眞澄, 七戸和博⁽¹⁾解剖学第2, ²⁾ワクチン療法研究施設, ³⁾日医技専): [臨床・実験報告] スナネズミ (*Meriones unguiculatus*) の臓器重量について. 日医大誌, 59, 186~189, 1992.
- 5) Shichinohe, K., Shimizu, M., Kato, K.¹⁾, Tamura, N.²⁾, Tsukidate, S.³⁾, and Fujita, K.³⁾ (¹⁾救急医学, ²⁾日獣大・獣医寄生虫, ³⁾東医歯大・医・医動物): [原著] Basic studies on the Mongolian gerbil as a susceptible host to filarial infection: IgE-like antibody formation against *Dirofilaria immitis* adult worm antigen. Jpn. J. Trop. Med. Hyg., 20, 271~281, 1992.
- 6) 大橋和史¹⁾, 原 浩子¹⁾, 高橋文恵¹⁾, 阿曾亮子¹⁾, 秋元敏雄, 仲間一雅: (¹⁾臨床薬理センター) [原著] Menogaril

(TUT-7) のラットにおける体内動態；単回，反復投与時の血中動態および四塩化炭素肝障害の影響，癌と化学療法，19，1825～1829，1992.

著 書

- 1) Win, T.¹⁾, Uchiyama, Y.¹⁾, Shimizu, Y.¹⁾, Nakama, K., and Akimoto, T. (¹⁾Dept. of Ophthalmology) : [分担] Therapeutic value of aldose reductase inhibitor on lenses of spontaneously diabetic WBN/Kob rat. Current Aspects in Ophthalmology (1), p. 477～485, Excerpta Medica (Amsterdam), 1992.
- 2) 七戸和博 : [訳書分担] ロッキー山紅斑熱. “獣医臨床シリーズ；マダニ媒介性疾患” (福井正信監訳), p. 37～50, 学窓社, 1993.

学会発表

- 1) 田村直彦¹⁾, 佐伯英治¹⁾, 石井俊雄¹⁾, 藤田壽吉²⁾, 清水眞澄, 七戸和博, 藤田紘一郎³⁾ (¹⁾日獣大・獣医寄生虫学, ²⁾日獣大・寄衛研, ³⁾東医歯大・医・医動物) : [一般講演] *Strongyloides ratti* に対するスナネズミの感受性と末梢血好酸球応答について, 第61回日本寄生虫学会総会, 1992.
- 2) 清水眞澄, 七戸和博, 鈴木和子¹⁾ (¹⁾日獣大・獣医外科) : [一般講演] Mongolian gerbil の免疫学研究における有用性, 第10回日本比較臨床血液学会総会, 1992.
- 3) 仲間一雅, 秋元敏雄, 佐藤 茂¹⁾, 相原 薫¹⁾, 杉崎祐一²⁾, (¹⁾中央電頭施設, ²⁾病理学第1) : [一般講演] WBN/Kob ラットにおける構成組織細胞の病理形態学的特異性；2) 糖尿病発症後の病変経過について, 第39回日本実験動物学会総会, 1992.
- 4) 三枝順三¹⁾, 木内吉寛²⁾, 長島康明³⁾, 潘 甜美⁴⁾, 前島一淑⁴⁾, 仲間一雅 (¹⁾産医研, ²⁾横浜市大・医・実験動物, ³⁾ゼクセル, ⁴⁾慶応大・医・実験動物) : [一般講演] オゾン燻蒸殺菌機の試作と実証試験, 第39回日本実験動物学会総会, 1992.
- 5) 七戸和博, 村田順造¹⁾, 清水眞澄 (¹⁾病理学第2) : [一般講演] スナネズミの EMC ウイルスM株に対する感受性について, 第39回日本実験動物学会総会, 1992.
- 6) 清水眞澄, 七戸和博, 野呂瀬嘉彦¹⁾ (¹⁾微生物学免疫学) : [一般講演] Mongolian gerbil のアレルギー学研究への応用について(3), 第39回日本実験動物学会総会, 1992.
- 7) 鷹取美雪¹⁾, 清水眞澄, 七戸和博 (¹⁾付属病院研究室) : [一般講演] 脳心筋炎ウイルスM株誘発糖尿病について；(1) 飼育環境の発症におよぼす影響, 第11回日本比較臨床血液学会総会, 1992.
- 8) 清水眞澄, 鷹取美雪¹⁾, 七戸和博 (¹⁾付属病院研究室) : [一般講演] 脳心筋炎ウイルスM株誘発糖尿病について；(2) スナネズミの感受性, 第11回日本比較臨床血液学会総会, 1992.
- 9) 清水眞澄, 七戸和博, 野呂瀬嘉彦¹⁾ (¹⁾微生物学免疫学) : [一般講演] Mongolian gerbil (スナネズミ) の chemical mediator に対する感受性について(2), 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 10) Miyata, T.¹⁾, Ito, H.¹⁾, Yoshioka, K.¹⁾, Akiyama, T.¹⁾, Jyo, K.²⁾, Doi, K.³⁾, Tsuzuki, T.⁴⁾, Kurabayashi, Y.⁵⁾, Nobunaga, K.⁶⁾, Iwaki, T.⁷⁾, Kurosawa, T.⁸⁾, Tamura, H.⁹⁾, Nakama, K., Takeda, K.¹⁰⁾, and Maejima, K.⁴⁾ (¹⁾Koken., ²⁾Hyogo College of Med., ³⁾Tokyo Univ., ⁴⁾Keio Univ., ⁵⁾Okayama Univ., ⁶⁾Tohoku Univ., ⁷⁾Jikei Univ., ⁸⁾Osaka Univ., ⁹⁾Teikyo Univ., ¹⁰⁾Takeda Chem.) : [Poster] A rat simulator alternative for beginners handling laboratory animals. 43rd AALAS Annual Meeting (California), 1992.
- 11) Mwanatambwe, M.¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 清水眞澄, 七戸和博, 家所哲夫²⁾, 藤田紘一郎³⁾ (¹⁾病理学第2, ²⁾東医歯大・医・医動物) : [一般講演] フィラリア感染好適宿主としての Mongolian gerbil の基礎的検討；(10) 臍臍腺について, 第34回日本熱帯医学会総会, 1992.
- 12) 清水眞澄, 七戸和博, 家所哲夫¹⁾, 月館説子¹⁾, 藤田紘一郎¹⁾ (¹⁾東医歯大・医・医動物) : [一般講演] フィラリア感染好適宿主としての Mongolian gerbil の基礎的検討；(11) Chemical mediator に対する皮膚の感受性.

第34回日本熱帯医学会総会, 1992.

- 13) 七戸和博, 清水眞澄, Mwanatambwe, M.¹⁾, 家所哲夫²⁾, 月舘説子²⁾, 藤田紘一郎²⁾(¹⁾病理学第2, ²⁾東医歯大・医・医動物): [一般講演] フィラリア感染好適宿主としての Mongolian gerbil の基礎的検討; (12) EMC ウイルスの感受性について. 第34回日本熱帯医学会総会, 1992.
- 14) 杉崎祐一¹⁾, 石崎正通¹⁾, 益田幸成¹⁾, 山中宣昭¹⁾, 仲間一雅(¹⁾病理学第1): [一般講演] 糖尿病自然発症ラット(WBN/Kob)の腎変化について. II. 免疫組織学的検討. 第35回日本腎臓学会総会, 1992.
- 15) 清水眞澄, 七戸和博, 加藤一良¹⁾, 山本保博¹⁾(¹⁾救急医学: [一般講演] 免疫薬理学のモデルとしてのスナネズミ. 第66回日本薬理学会総会, 1993.

[中央電子顕微鏡研究施設]

研究概要

1990年4月独立して約3年を経過した今日においては学の内外の御指導と御支援のもとで順調な発展をとげ、本年度においてはWHOの研究研修協力センターとしてのII期目の協定を円滑に遂行し、III期の研究研修協力センターとしての指定を受けるに至った。

この特徴は、従来の電子顕微鏡診断学の認定に将来の飛躍を期するための分子生物学の電顕診断学への導入とその体系化を行うことを包括したこととあり、social needsに対応したappropriate technologyの標準化を指向したことにある。

研究活動は従来の様式に従って中央電子顕微鏡研究施設としてのものと、WHO研究研修協力センターとしてのものに大別して記述する。

(I) 研究施設機能:

1) 電顕診断学学内5,000例, 全国規模1,000例, 通算6,000例の業務を行っており、京都府立大学と川崎病の超微形態的研究を行っている。これは将来 computer による情報処理を行う予定になっている。

2) 学内外の共同研究として、WBN/KOB ラットの糖尿病の病態生理(中央実験動物管理室)、glial tumor の微細構造、smoking による気管支粘膜の変化(東京女子医大第2病院)、両性類の肺界面活性物質の超微構造(関東医研)、骨軟化症(環境庁)、胎児発生の微細鋳型モデルの SEM による観察(三菱化成 生命研)。

3) 教育、研修面 a) 医学部院生の orientation, 院生、研究生の指導、医学部自主学習 b) 学校法人日本医科大学 日本医学専門学校の先端医学特論(20単位担当) c) 社団法人日本電子顕微鏡学会の Library を矢島記念資料センターに創設 d) 同関東支部主催生物試料作製コースの運営 e) 生涯教育としての電顕基礎コースの設営。

4) 編集協力として、Journal of Submicroscopic Cytology & Pathology (Univ. of Bologna), Diagnostic Cytopathology (Medical College of Wisconsin), Microscopy Society of North America Bulletin Electron Microscopy in Health Sciences.

5) 日本医学教育学会、医学生の外国語教育試案作成

(II) WHO 研究研修協力センター機能:

現在、医学、医療の分野で本邦においては約50個所のWHO研究研修協力センターがあり、technology transfer の分野で global health science collaboration の中枢となりつつある。本施設は8年の実績から単に本邦のみならず電顕、およびその関連技法の世界的展開の中枢となり今回WHOの要請をいれ認定分野も分子生物学に拡大した。また、中国西安医科大学と韓国国立慶北大学の学術協定締結について全面的な協力を行い、実現の基礎をつくったことも特筆にあたいしよう。また米国と中国の協力のもとで行われつつある National Registry System in Malignant Tumors in Children in PRC の組織化に協力中である。

研究業績

論文

- 1) Kishikawa, T.: [原著] Study on the change of lung lamellar body to lattice tubular myelin by N-acetylglucosaminidase with special reference to membrane components and calcium. J. Submicrosc. Cytol. Pathol., 24, 297~305, 1992.
- 2) Han, M., Chen, D.¹⁾, and Aihara, K. (¹⁾付属病院第1外科): [原著] Ultrastructural and immunohistochemical changes in intestinal nerve plexuses in dogs after the occlusion of superior mesenteric vessels. J. Clin. Electron Microscopy, 25, 47~54, 1992.
- 3) 相原 薫: [総説] 国際化時代における医学教育と研究. 日医大誌, 60, 12~26, 1993.

著書

- 1) 広畑泰久: [分担] 電子顕微鏡写真技術“電子顕微鏡の上手な使い方講座II”日本電子顕微鏡学会サマースクール実行委員会編), P. 88~104, 医学出版センター, 1992.
- 2) 広畑泰久: [分担] 撮影と写真処理“電子顕微鏡の上手な使い方講座III”日本電子顕微鏡学会サマースクール実行委員会編), P. 47~58, 医学出版センター, 1992.

学会発表

- 1) Liu, A.M., and Aihara, K.: [展示] Ultrastructural and immunohistological study of malignant pleural mesothelioma. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 2) 佐藤 茂, 相原 薫: [一般講演] 心外膜下 flow について: 発生学的研究. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 3) Ghazizadeh, M., Sasaki, Y., Oguro, T., Kishikawa, T., and Aihara, K.: [一般講演] The value of proliferating cell nuclear antigen (PCNA) in prostatic tumors. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 4) 仲間一雅¹⁾, 秋元敏雄¹⁾, 佐藤 茂, 相原 薫, 杉崎祐一²⁾(¹⁾実験動物管理室, ²⁾病理学第1): [一般講演] WBN/Kob ラットにおける構成組織細胞の病理形態学的特異性; 2) 糖尿病発症後の病変経過について. 第39回日本実験動物学会総会, 1992.
- 5) 北川泰之¹⁾, 白井康正¹⁾, 小黑辰夫, 佐々木喜広, 山田宣孝²⁾, 村瀬幸宏³⁾, 前田昭太郎⁴⁾, 東 敬子⁴⁾, 浅野伍朗⁵⁾(¹⁾付属病院整形外科, ²⁾第一病院病理部, ³⁾多摩永山病院病理部, ⁴⁾病理学第2): [一般講演] いわゆる広義の末梢性 primitive neuroectodermal tumor (PENT) の病理学的検討第4報: 電顕的観察. 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.
- 6) 並松茂樹¹⁾, 中村進一¹⁾, 中神義三¹⁾, 小黑辰夫, 佐々木喜広, Ghazizadeh, M., 相原 薫, 矢島権八, 浅野伍朗²⁾(¹⁾第一病院中央研究室, ²⁾病理学第2教室): [一般講演] PATSC-GHS 染色法による各種腎臓疾患における電顕の応用. 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.
- 7) 佐藤 茂, 安達彰子, 大宮千恵子, 相原 薫: [一般講演] 心筋細胞束間の間質の形成—発生学的研究. 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.
- 8) Jie, P., 佐藤 茂, 山中宣昭¹⁾, 相原 薫 (¹⁾病理学第1): [一般講演] 過酸化水素による各重要臓器の形態学的変化: I. 動脈内皮細胞について. 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.
- 9) 五十嵐俊夫¹⁾, 佐藤 茂, 相原 薫, 荒木 勤¹⁾(¹⁾付属病院産婦人科): [ワークショップ] ラット子宮内膜の発情周期に伴う超微形態II. 上皮細胞, 間質細胞および好酸球の相互関係 (テーマ: 子宮内膜の増殖性病変—前癌・癌を含めて—). 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.
- 10) 佐藤泰山¹⁾, 高木 勇²⁾, 酒井一由²⁾, 花市敬正³⁾, 相原 薫, 鈴木克哉 (¹⁾藤田保健衛生大学電顕室, ²⁾同 衛生学部解剖, ³⁾名大・医・機器センター) [一般講演] 同一グリッド上での識別染色法. 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.

- 11) Li Li Guang, 安達彰子, 鈴木克哉, 井上京子, 相原 薫：〔展示〕小児の膜性腎症に関する電顕的研究と予後の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 12) 渡会泰彦¹⁾, 浅川一枝¹⁾, 横沢俊一¹⁾, 鈴木恒道¹⁾, 山中宣昭²⁾, 杉沢 裕³⁾, 前田昭太郎⁴⁾, 小黑辰夫 (¹⁾付属病院病理部, ²⁾病理学第1, ³⁾付属病院泌尿器科, ⁴⁾多摩永山病院病理部)：〔展示〕尿細胞診で診断した腎ペリーニ管癌の1例. 第31回日本臨床細胞学会, 1992.
- 13) Li X.T., Pan J., Qiu Z.D., Li H.L., Sato, S., Kishikaw, T., and Aihara, K., 〔一般講演〕The changes of the pulmonary surfactant of the rat lung after inhalation of the automobile exhausts.; 1 Ultrastructure characterization of rat lung surfactant observed with conventional method. 第28回日本界面医学会学術講演会総会, 1992.

〔基礎医学情報処理室〕

研究概要

旧式化した主計算機 FACOM 3300の公開運用を停止し, 情報処理環境の改善および基盤整備を推進した. 基礎医学共同利用施設として開放的で利用しやすい施設とする為に新たに公開利用室を設け, 基本機器として Machintosh コンピュータ3台を導入し, 周辺機器および研究用ソフトウェアの充実を計り, 利用者数の増加をみた.

河野, 品川等は, 各種アナログ情報のデジタル化とその数値処理, 統計処理の研究開発を行った. その一つとして開発を推進してきたフラクタル次元解析は臨床応用を行い, 各学会に発表した.

以下に, その主な点をまとめる.

1. 当教室で新たに開発したフラクタル次元マップ法を内外の雑誌に発表した.
2. てんかん児の脳波において, 累積変動量を用いたフラクタル次元推定で特異なパターンを持つ例が小児科を中心とするグループにより報告された. 診断的意義を追求すべく, さらに研究継続中である.
3. フラクタル次元解析の心電図への応用は第1内科を中心に行われ, 論文にもまとめられた.

研究業績

論文

- 1) 河野貴美子：〔原著〕脳波からみた気功師の意識と受け手の状態. 人体科学, 1, 103~112, 1992.
- 2) 河野貴美子, 段 立葉, 小糸秀美, 品川嘉也：〔原著〕脳波から見た気功と瞑想. 第3回国際気功会議学術論文集, 179~187, 1992.
- 3) 品川嘉也, 河野貴美子：〔原著〕気功を脳波から探る. 医療'92, 8, 88~91, 1992.
- 4) 河野貴美子：〔原著〕脳波のフラクタル次元解析. Frangrance Journal, 20, 41~46, 1992.
- 5) Shinagawa, Y., Seno, H., Kawano, K., Koito, H., Kitami, T., Komatsuzaki, H.¹⁾, and Hashimoto, K.¹⁾ (¹⁾Dept of Pediatrics)：〔原著〕EEG fractal dimension map and abnormal graph dimension. JPN. J. Physiol, 42, 172, 1992.
- 6) Kawano, K., Koito, H., and Shinagawa, Y.：〔原著〕Analysis of EEGS during concetration. JPN. J. Physiol, 42, 172, 1992.

著書

- 1) 品川嘉也：自分を120%活かす右脳刺激法. 丸善メイツ, 1992.
- 2) 品川嘉也, 瀬野裕美：〔共著〕医学・生物学とフラクタル解析：生物に潜む自己相似性を探る. 東京書籍, 1992.
- 3) 長尾 力¹⁾, 斉藤憲司²⁾, 下山晴彦³⁾, 駒沢 純⁴⁾, 瀬野裕美⁵⁾, 河野貴美子, 加藤 正⁶⁾ (¹⁾認知科学研究所, ²⁾東京大学学生相談所, ³⁾東京工業大学保険管理センター, ⁴⁾東京コンセルヴァトアール尚美, ⁵⁾広島大学理学部, ⁶⁾北

里研究所バイオイアトリックセンター)：〔共訳〕意識の進化論。青土社，1992。

学会発表

- 1) 河野貴美子，小糸秀美，品川嘉也：〔一般講演〕思考集中時の脳波解析。第69回日本生理学会大会，1992。
- 2) 品川嘉也，瀬野裕美，河野貴美子，小糸秀美，北見聡章，小松崎英樹¹⁾，橋本 清¹⁾(¹⁾小児科)：〔一般講演〕脳波のフラクタル次元マップ。第69回日本生理学会大会，1992。
- 3) 小松崎英樹¹⁾，橋本 清¹⁾，川上康彦¹⁾，榎戸 久¹⁾，古谷正伸¹⁾，高石康子¹⁾，藤田武久¹⁾，釜沼 敏¹⁾，藤野 修¹⁾，平山恒夫¹⁾，品川嘉也，瀬野裕美，小糸秀美，河野貴美子(¹⁾小児科)：〔一般講演〕てんかん脳波のフラクタル次元解析。第95回日本小児科学会，1992。
- 4) 河野貴美子，品川嘉也，加藤隆吉¹⁾(¹⁾東京催眠心理研究所)：〔一般講演〕催眠時脳波のフラクタル次元解析。第8回日本催眠学会総会，1992。
- 5) 品川嘉也：〔シンポジウム〕死からみた老化。第16回日本基礎老化学会，1992。
- 6) 小松崎英樹¹⁾，橋本 清¹⁾，藤野 修¹⁾，釜沼 敏¹⁾，藤田武久¹⁾，高石康子¹⁾，古谷正伸¹⁾，榎戸 久¹⁾，川上康彦¹⁾，平山恒憲¹⁾，品川嘉也，河野貴美子(¹⁾小児科)：〔一般講演〕フラクタル次元解析によるてんかん児脳波の検討。第26回日本てんかん学会，1992。
- 7) 品川嘉也，小松崎英樹¹⁾，橋本 清¹⁾，河野貴美子(¹⁾小児科)：〔一般講演〕2種類の脳波フラクタル次元を持つ例とその診断学的意義。第22回日本脳波・筋電図学会学術大会，1992。
- 8) 河野貴美子，村松尚可，品川嘉也：〔一般講演〕珠算発達過程の脳波およびそのフラクタル次元と年齢の相関。第22回日本脳波・筋電図学会学術大会，1992。
- 9) 品川嘉也，河野貴美子：〔一般講演〕様々な精神作業時の脳波フラクタル次元解析。第19回日本脳研究会，1992。
- 10) 河野貴美子：〔シンポジウム〕表現とは何か；大脳生理学の立場から。第24回日本芸術療法学会，1992。
- 11) 河野貴美子：二重盲検法による気功の人体科学的計測；脳波から見た受け手への影響。人体科学会第2回大会，1992。

〔3〕臨 床 医 学

1. 内科学第一講座

[付属病院第1内科]

研究業績

内科学第一教室では循環器学、肝臓病学ならびに代謝、糖尿病学を中心に以下に示すような臨床的、基礎的研究を行った。

循環器病学では不整脈に関する研究として、1) 電気生理学的アプローチによる各種不整脈発生機序の検討、ならびにカテーテルアブレーション法による不整脈の治療、2) 各種抗不整脈薬の電気薬理学的検討、3) 加算平均心電図法による各種不整脈の無侵襲的検討、4) Holter 心電図法の新しい臨床応用、5) 単相性活動電位記録による不整脈発生機序の実験的検討、虚血性心疾患として、1) 虚血性心疾患の病態、重症度および予後に及ぼす自律神経機能の影響、2) 時間的、環境的因子による虚血性心疾患の発生機序および病態への影響、3) 薬剤負荷による心筋虚血の診断、予後との関係、4) 負荷心筋シンチによる心筋虚血と交感神経異常の意義、5) 末梢循環機能評価による心不全の病態生理、6) 心エコー図法による心血行動態の新しい指標について、7) 心筋梗塞におけるリモデリングの対策、8) 再灌流障害の機序およびその防止に関する実験的研究。

肝臓病学では、1) 実験的門脈圧亢進モデルにおける病態生理、特に血行動態に関する研究、2) 硬変性門脈圧亢進症の病態生理、特に血行動態と食道静脈瘤の関係、3) 門脈圧亢進症の薬物療法に関する実験的、臨床的検討、4) ウイルス肝炎に関する臨床病理学的検討、5) HCV マーカー陰性のアルコール性肝障害に関する臨床病理学的検討、6) 肝細胞膜電流に関する電気生理学的研究。

代謝、糖尿病学では、1) 糖尿病を有する急性心筋梗塞症における Lp(a) の検出状況およびその危険因子としての役割、2) 糖尿病を有する心筋梗塞例における心室頻拍の発生状況、3) 糖尿病のコントロール評価のための新しい指標である 1-5AG の臨床的有用性と他の指標との比較について、4) 無痛性あるいは無症候性心筋虚血の病態における糖尿病の役割（特に疼痛閾値との関連）、5) 高血糖が心室細動の発生と病態に及ぼす影響についての実験的検討。

研究業績

論文

- 1) 加藤貴雄, 斉藤寛和: [総説] 抗不整脈薬の薬物相互作用 (特集: 循環器系治療薬の相互作用). 循環器, 31, 363~367, 1992.
- 2) 早川弘一: [総説] 甲状腺と不整脈. 診療手帳, 115, 13~15, 1992.
- 3) 加藤貴雄: [総説] Vaughan Williams 分類 class Ic 抗不整脈薬の功罪 (特集: 抗不整脈薬の進歩). Topics in Cardiovasc Med., 4, 8~10, 1992.
- 4) 早川弘一: [総説] 救急患者対策とマグネシウム; とくに低マグネシウム血症の原因とその救急治療. マグネシウム代謝, 5, 15~16, 1992.
- 5) 加藤和三¹⁾, 中田八洲郎²⁾, 飯沼宏之¹⁾, 杉本恒明³⁾, 比江嶋一昌⁴⁾, 笠貫 宏⁵⁾, 田辺晃久⁶⁾, 新 博次⁽¹⁾ 心臓血管研究所附属病院, ²⁾順天堂大学循環器内科, ³⁾東京大学内科第2, ⁴⁾東京医科歯科大学内科第1, ⁵⁾東京女子医大附属日本心臓血管研究所内科, ⁶⁾東海大学内科第1): [原著] 発作性上室性頻拍, 発作性心房細動・粗動に対する Pirmenol の臨床評価. 臨医薬, 8, 925~938, 1992.
- 6) 大坂元久, 斉藤寛和, 早川弘一: [総説] 原因とその対策. 総合臨, 41, 699~703, 1992.
- 7) Kishida, H., Fukuma, N., Saito, T.: [原著] Circadian variation of ischemic threshold in patients with chronic stable angina. Int. J. Cardiol., 35, 65~70, 1992.
- 8) 江上 格¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 鶴田宏幸¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 中島米治郎¹⁾, 京野昭二¹⁾, 内田英二¹⁾, 小林 匡¹⁾, 相本隆幸¹⁾,

- 関山達也, 野村敦宣 (¹外科第1) : [報告] 肝硬変合併・臍性腹水の術後, MOF より心肺停止および臍液瘻合併の1治療例. 胆と臍, 13, 431~435, 1992.
- 9) 今泉孝敬¹⁾, 中込明裕¹⁾, 説田浩一¹⁾, 富田喜文¹⁾, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 佐々木美典, 安武正弘, 草間芳樹, 畑 典武, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹集中治療室) : [原著] 右冠動脈閉塞における血栓溶解療法と右室梗塞の予防; 冠動脈部位別の検討. 医学と薬学, 27, 833~839, 1992.
- 10) 加藤貴雄 : [総説] 抗不整脈薬. 臨床医, 18, 1260~1264, 1992.
- 11) 安武正弘, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一 : [原著] アセチルコリン冠動脈注入試験による冠動脈内皮障害の評価; 低濃度負荷の有用性について. 脈管学, 32, 451~457, 1992.
- 12) 荒牧琢己, 関山達也, 筒井 仁, 長野具雄 : [総説] 高齢者の肝硬変. 現代医療, 24, 1527~1534, 1992.
- 13) 草間芳樹 : [総説] 活性酸素による不整脈惹起. 心臓, 24, 617~628, 1992.
- 14) 岸田 浩 : [総説] 無症候性心筋虚血の実態, 予後, 治療. 臨成人病, 22, 689~690, 1992.
- 15) 折茂裕美¹⁾, 大木由加志¹⁾, 荒牧琢己, 黒田 肇²⁾, 宮本幹夫¹⁾, 岡田一芳¹⁾, 若林恒郎¹⁾, 山中宣昭³⁾, 手代木正¹⁾, 山本正生¹⁾ (¹小児科, ²内科第3, ³病理第1) : [総説] チオプロニンによる肝障害. 小児科, 33, 565~568, 1992.
- 16) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 杉本恒明²⁾, 比江嶋一昌³⁾, 中田八洲郎⁴⁾, 新 博次, 笠貫 宏⁵⁾, 田辺晃久⁶⁾ (¹心臓血管研究所, ²東京大学内科第2, ³東京医科歯科大学内科第1, ⁴順天堂大学循環器内科, ⁵東京女子医大附属日本心臓血圧研究所内科, ⁶東海大学内科第1) : [原著] 上室性期外収縮に対する Pirmenol の効果と安全性; Disopyramide を対照薬とした多施設二重盲検群間比較試験. 臨医薬, 8, 1107~1125, 1992.
- 17) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 杉本恒明²⁾, 井上 博²⁾, 比江嶋一昌³⁾, 中田八洲郎⁴⁾, 新 博次, 笠貫 宏⁵⁾, 田辺晃久⁶⁾ (¹心臓血管研究所, ²東京大学内科第2, ³東京医科歯科大学内科第1, ⁴順天堂大学循環器内科, ⁵東京女子医大附属日本心臓血圧研究所内科, ⁶東海大学内科第1) : [原著] 心室期外収縮に対する Pirmenol の効果と安全性; Disopyramide を対照薬とした多施設二重盲検群間比較試験. 臨医薬, 8, 1127~1148, 1992.
- 18) 加藤貴雄 : [総説] 重症不整脈予防のための心電図監視 (特集: 集中治療と重症不整脈). ICU と CCU, 16, 505~512, 1992.
- 19) 清野精彦, 内田高浩 : [総説] ジギタリス中毒とその対策. 総合臨, 41, 2107~2108, 1992.
- 20) 早川弘一 : [総説] 抗不整脈薬による不整脈. カレントセラピー, 10, 1131~1133, 1992.
- 21) 岸田 浩 : [総説] 無症候性心筋虚血 (特集: 最近注目されてきた病態と疾患). 内科, 69, 1043~1044, 1992.
- 22) 新 博次 : [総説] 抗不整脈薬の薬効評価. Pharma Med., 10, 19~24, 1992.
- 23) 新 博次, 佐々木照之, 井野 威, 早川弘一, 穴戸 亮¹⁾, 安田耕太郎²⁾, 椎野三洋³⁾, 太田真一³⁾, 門脇久治³⁾ (¹鳳川診療所, ²鳳川診療所(現: 東京臨床薬理研究所), ³野村生物科学研究所) : [原著] Pirmenol hydrochloride (CI-845) の第1相臨床試験. 臨薬理, 23, 475~493, 1992.
- 24) 草間芳樹, 齊藤 勉, 岸田 浩 : [総説] 無症候性心筋虚血; 内科の立場から. 循環制御, 13, 271~274, 1992.
- 25) Kishida, H., Hata, N.¹⁾, Kunimi, T.¹⁾, Miyagawa, H.¹⁾, Nishiyama, H.¹⁾, and Katoh, K.²⁾ (¹Department of Cardiology, National Yokosuka Hospital, ²The Cardiovascular Institute) : [原著] Antianginal effects of amlodipine at a single dose on exertional angina patients using treadmill exercise testing : A randomized crossover study in comparison with placebo. Cardiovasc Drugs Ther., 6, 481~487, 1992.
- 26) 加藤和三¹⁾, 安田寿一²⁾, 飯塚昌彦³⁾, 杉本恒明⁴⁾, 木全心一⁵⁾, 谷口興一⁶⁾, 太田真夫, 河合忠一⁷⁾, 篠山重威⁸⁾, 楠川禮造⁹⁾, 中島光好¹⁰⁾ (¹心臓血管研究所, ²北海道大学名誉教授, ³獨協医科大学内科第1, ⁴東京大学医学部内科第1, ⁵東京女子医大附属成人医学センター, ⁶東京医科歯科大学附属霞ヶ浦分院, ⁷京都大学名誉教授, ⁸富山医科薬科大学内科第2 (現: 京都大学医学部内科第3), ⁹山口大学内科第2, ¹⁰浜松医大薬理学教室) : [原著] 慢性心不全に対する Pimobendan (UD-CG 115 BS) の臨床評価; プラセボを対照とした多施設共同二重盲検比較試験. 臨医薬, 8, 1311~1351, 1992.

- 27) 新 博次, 早川弘一:〔総説〕不整脈の薬物療法の評価と適応. 循環器, 32, 60~67, 1992.
- 28) 太田真夫, 高野照夫¹⁾ (¹集中治療室):〔総説〕肥満と循環機能(特集:肥満患者の管理). ICU と CCU, 16, 617~623, 1992.
- 29) 新 博次, 斎藤寛和:〔総説〕不整脈診療におけるホルター心電図の有用性と限界. Med. Pract., 9, 1137~1140, 1992.
- 30) 加藤貴雄:〔総説〕薬物治療から非薬物治療へ. Ther. Res., 13, 2847~2858, 1992.
- 31) 小林義典, 早川弘一:〔総説〕薬物治療から非薬物治療への切り換え時期. 循環科学, 12, 646~650, 1992.
- 32) 岸田 浩:〔総説〕ホルター心電図による狭心症診断のポイント. Medicina, 29, 1163~1165, 1992.
- 33) 中込明裕, 岸田 浩:〔総説〕不安定狭心症処方の要点. 総合臨, 41, 2289~2290, 1992.
- 34) 加藤貴雄, 亀井真一郎, 早川弘一:〔原著〕新しい加算平均システムによる心室微小電位の検出とその変動; 不整脈との直接的関連性の検討. 福田記念医療技術振興財団情報, 2, 29~33, 1992.
- 35) 富田喜文, 田中啓治¹⁾, 横山広行, 星野公彦, 佐々木美典, 安武正弘, 今泉孝敬, 高山守正, 宗像一雄, 高野照夫¹⁾, 早川弘一, 桜井太一郎²⁾, 浅野伍朗²⁾ (¹集中治療室, ²病理第2):〔原著〕血管内超音波断層法の有用性と問題点. 循環器情報処理研究会雑誌, 7, 107~113, 1992.
- 36) 畑 典武¹⁾, 国見聡宏, 岸田 浩, 宮川秀郎¹⁾, 池間陽子¹⁾, 早川弘一 (¹国立横須賀病院循環器科):〔原著〕冠動脈石灰化の臨床的意義についての検討. 脈管学, 32, 615~621, 1992.
- 37) 遠藤孝雄, 高野照夫¹⁾ (¹集中治療室):〔総説〕乳酸アムリノン. 現代医療, 24, 2113~2116, 1992.
- 38) 小林義典, 亀井真一郎, 加藤貴雄:〔総説〕重症不整脈における大動脈内バルーンパンピングの適用(特集:頻脈性不整脈, 非薬物治療の進歩). 集中治療, 4, 919~929, 1992.
- 39) 草間芳樹, 子島 潤, 高野照夫¹⁾ (¹集中治療室):〔総説〕白血球の役割. 現代医療, 24, 2539~2544, 1992.
- 40) 岸田 浩:〔総説〕無症候性心筋虚血の治療のすすめ方(特集:無症候性心筋虚血の診断と治療). Prog Med, 12, 1913~1917, 1992.
- 41) Miyauchi, Y., Endo, T., Kuroki, S., and Hayakawa, H.:〔報告〕Right atrial myxoma presenting with recurrent episodes of pulmonary embolism. Cardiology, 81, 178~181, 1992.
- 42) Kuruma, A., Saitoh, H., Ino, T., Atarashi, H., Katoh, T., Hayakawa, H., Ikeshita, M.¹⁾ and Tanaka, S.¹⁾ (¹Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery):〔報告〕A case of cardiac foreign bodies associated with four types of tachycardias. PACE, 15, 1215~1224, 1992.
- 43) 田中啓治¹⁾, 中込明裕¹⁾, 島井新一郎¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹集中治療室):〔原著〕早期梗塞後狭心症の重症度判定と難治例に対する冠動脈血行再建術. 脈管学, 32, 711~714, 1992.
- 44) 新谷博一¹⁾, 加藤和三²⁾, 杉本恒明³⁾, 新 博次, 比江嶋一昌⁴⁾, 飯沼宏之⁵⁾, 片桐 敬⁶⁾, 笠貫 宏⁷⁾, 井上 博³⁾, 佐久間昭⁸⁾ (¹昭和大学, ²心臓血管研究所, ³東京大学内科第2, ⁴東京医科歯科大学内科第1, ⁵心臓血管研究所内科, ⁶昭和大学内科第3, ⁷東京女子医大心臓血圧研究所内科, ⁸東京医科歯科大学難治疾患研究所):〔原著〕塩酸ビルジカイニド(SUN 1165)の上室性期外収縮に対する臨床評価; 用量検討のための多施設二重盲検比較試験. 臨薬理, 23, 557~572, 1992.
- 45) 平井敏之¹⁾, 宮崎定活¹⁾, 飯田和美¹⁾, 藤田敬四郎¹⁾, 後藤博一¹⁾, 大竹 稔 (¹ワクチン療法研究施設):〔原著〕進行期肺癌の長期(3年以上)生存症例について. 日医新報, 3569, 43~46, 1992.
- 46) 新 博次, 早川弘一:〔総説〕不整脈の薬物治療, 心臓病のトピックス; 胎児から老年者まで. 臨科学, 28, 1148~1155, 1992.
- 47) 新 博次:〔総説〕期外収縮治療の薬物選択の基準. Medicina, 29, 1886~1888, 1992.
- 48) 畑 典武¹⁾, 国見聡宏, 千場 純²⁾, 長岡章平²⁾, 宮川秀郎¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一 (¹国立横須賀病院循環器科, ²同内科):〔原著〕膠原病における心病変合併と抗カルジオリピン抗体との関係. 脈管学, 32, 1145~1151, 1992.
- 49) 清野精彦:〔総説〕バイタルサインの異常とその病態. 臨床医, 18, 1778~1780, 1992.

- 50) 新 博次, 早川弘一:〔総説〕不整脈. 肺と心, 39, 278~284, 1992.
- 51) 来馬明規, 新 博次:〔総説〕失神, めまい. 臨床医, 18, 1762~1764, 1992.
- 52) 加藤貴雄:〔総説〕心電図自動診断の問題点. Medicina, 29, 1724~1728, 1992.
- 53) 岸田 浩:〔総説〕虚血性心疾患に対する効果の評価. 薬理と治療, 20, 2273~2279, 1992.
- 54) Osaka, M., Saitoh, H., Sasabe, N., Miyauchi, Y., Atarashi, H., Katoh, T., Hayakawa, H., and Shinagawa, Y.¹⁾ (¹Department of Physiology):〔原著〕Fractal dimensionality of heart rate variability. Ther. Res., 13, 3965~3969, 1992.
- 55) Takano, H., Endo, T., Saitoh, T., and Hayakawa, H.:〔報告〕Extensive calcification in infarcted myocardium; Diagnostic value of ultrafast computed tomography. Cardiology, 81, 258~261, 1992.
- 56) 長野具雄, 小海信一, 荒牧琢己, 佐藤良一¹⁾ (¹近畿大学内科第1):〔原著〕モルモット分離肝細胞の膜電流に及ぼす細胞内酸性化の影響と緩衝機序. 第9回肝代謝研究会報告集, 95~100, 1992.
- 57) 富田喜文, 岸田 浩:〔総説〕大動脈内バルーンパンピング (IABP). 医学のあゆみ, 163, 551~555, 1992.
- 58) 関山達也, 荒牧琢己:〔総説〕門脈圧亢進症 (食道静脈瘤). 臨成人病, 22, 1836~1838, 1992.
- 59) 加藤貴雄, 来馬明規, 藤森ひろみ, 早川弘一:〔総説〕不整脈. 日本臨, 50, 293~299, 1992.
- 60) 斉藤寛和, 早川弘一:〔総説〕心房細動・粗動. 臨成人病, 22, 1718~1719, 1992.
- 61) 井野 威:〔総説〕心腔内薬物注入法. medicina, 29, 345~347, 1992.
- 62) 加藤貴雄:〔総説〕発作性上室性頻拍 (PSVT) のマネージメント (特集:不整脈の病態と治療). カレントテラピー, 10, 103~107, 1992.
- 63) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 細田磋一²⁾, 笠貫 宏²⁾, 杉本恒明³⁾, 井上 博³⁾, 加藤貴雄, 比江嶋一昌⁴⁾, 五島雄一郎⁵⁾, 田辺晃久⁶⁾, 下村克朗⁶⁾, 武田忠直⁷⁾, 橋場邦武⁸⁾ (¹⁾心臓血管研究所, ²⁾東京女子医科大学循環器内科, ³⁾東京大学内科第2, ⁴⁾東京医科歯科大学内科第1, ⁵⁾東海大学内科第1, ⁶⁾国立循環器病センター内科, ⁷⁾大阪市立大学内科第1, ⁸⁾長崎大学内科第3):〔原著〕上室性期外収縮に対する Cibenzoline の用量検索二重盲検試験. 臨評価, 513~533, 1992.
- 64) 高野照夫¹⁾, 清野精彦 (¹集中治療室):〔総説〕強心薬の今後の展望 (特集:急性心不全の病態生理と治療方針). 新薬と治療, 42, 7~9, 1992.
- 65) 新 博次, 井野 威, 早川弘一:〔原著〕PSVT を対象とした抗不整脈薬の臨床電気生理学的薬効評価とその有用性. Jpn Circ J., 56, 1451~1453, 1992.
- 66) 早川弘一, 新 博次:〔原著〕抗不整脈薬の選び方. 呼吸と循環, 40, 1157~1163, 1992.
- 67) 岸田 浩:〔総説〕心筋虚血の診断とその病態の多様性について. 日医大誌, 59, 497~499, 1992.
- 68) Munakata, K., Sato, N., Sasaki, Y., Yasutake, M., Kusama, Y., Takayama, M., Kishida, H., Hayakawa, H.:〔報告〕Two cases of variant form angina pectoris associated with myocardial bridge; A possible relationship among coronary vasospasm, atherosclerosis and myocardial bridge. Jpn Circ J., 56, 1248~1252, 1992.
- 69) 清野精彦, 本間 博, 塚本 浩:〔総説〕心臓エコー検査法と循環器疾患. 日医大誌, 59, 479~484, 1992.
- 70) 太田真夫, 高野照夫¹⁾ (¹集中治療室):〔総説〕冷汗といわゆるショック. Heart Nursing, 増刊, 195~202, 1992.
- 71) 新 博次:〔総説〕Flecainide acetate. 循環制御, 13, 685~687, 1992.
- 72) 富田喜文, 田中啓治¹⁾ (¹集中治療室):〔総説〕血管内超音波法. 集中治療, 4, 1423~1429, 1992.
- 73) 早川弘一:〔総説〕抗不整脈剤. 総合臨, 41, 1057~1058, 1992.
- 74) 加藤貴雄:〔総説〕抗不整脈薬 (特集:血中薬物動態のモニタリング). 臨床モニター, 3, 231~239, 1992.
- 75) Koumi, S., Sato, R.¹⁾, Katori, R.¹⁾, Hisatome, I.²⁾, Nagasawa, K.³⁾, Hayakawa, H. (¹First Department of Internal Medicine, Kinki University School of Medicine, ²First Department of Internal Medicine, Tottori

- University School of Medicine, ³⁾Tama-Nagayama Hospital) : [原著] Sodium channel states control binding and unbinding behaviour of antiarrhythmic drugs in cardiac myocytes from the guinea pig . Cardiovasc Res., 26, 1199~1205, 1992.
- 76) Aramaki, T., Sekiyama, T., Katsuta, Y., Kurokawa, H., Komeichi, H., Tsutsui, H., Terada, H., Ohsuga, M., Satomura, K., and Okumura, H. : [原著] Long-term haemodynamic effects of a 4-week regimen of nipradilol, a new β -blocker with nitrovasodilating properties, in patients with portal hypertension due to cirrhosis. A comparative study with propranolol. J. Hepatol., 15, 48~53, 1992.
- 77) Koumi, S., Sato, R.¹⁾, Hisatome, I.²⁾, Hayakawa, H., Okumura, H., and Katori, R.¹⁾ (¹⁾The First Department of Internal Medicine, Kinki University School of Medicine, ²⁾The First Department of Internal Medicine, Tottori University School of Medicine) : [原著] Disopyramide block of cardiac sodium current removal of the fast inactivation process in guinea pig ventricular myocytes. J. Pharmacol. Exp. Ther., 261, 1167~1174, 1992.
- 78) Tomita, Y., Endo, T., Takano, T.¹⁾, Hayakawa, H., Tamura, K.²⁾, and Sugisaki, Y.²⁾ (¹⁾CCU, ²⁾Department of Pathology) : [報告] Extensive hemorrhagic myocardial infarction associated with left atrial myxoma. Cardiology, 81, 384~388, 1992.
- 79) 岸田 浩 : [総説] 不安定狭心症. Pharmacy Today, 5, 13~17, 1992.
- 80) 早川弘一 : [総説] 心不全における不整脈の意義. 興和医報, 35, 64~67, 1992.
- 81) 加藤貴雄 : [総説] 抗不整脈薬静注時の血圧低下とその対策. 日医新報, 3578, 130~130, 1992.
- 82) 加藤貴雄 : [総説] 心室内伝導障害. 新循環器診療 Cardiol, 2, 14~14, 1992.
- 83) 富田喜文, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室) : [総説] Lp (a) と冠動脈病変 : 特に急性心筋梗塞と Lp (a) の関係. 医のあゆみ, 161, 514~514, 1992.
- 84) 大津文雄¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 長沢紘一¹⁾, 斉藤 勉, 岸田 浩, 早川弘一 (¹⁾多摩永山病院内科) : [原著] 労作狭心症における運動負荷試験成績の変動幅と治療後の改善度. 心臓, 24, 6~8, 1992.
- 85) 岸田 浩 : [総説] 無症候性心筋虚血の治療をめぐる. 循環制御, 14, 5~6, 1993.
- 86) 新 博次 : [総説] 抗不整脈薬. 今月の治療, 1, 83~89, 1993.
- 87) 富田喜文, 高野照夫¹⁾, 橋本英洋 (¹⁾集中治療室) : [総説] 再梗塞の予防. 臨床医, 19, 64~66, 1993.
- 88) 清野精彦, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室) : [総説] 心不全の病態と治療. 循環器, 72~78, 1993.
- 89) 新 博次, 平山悦之, 井野 威, 大村和子, 斉藤寛和, 早川弘一 : [原著] 心室性不整脈に対する抗不整脈薬の選択 : Class Icあるいは β -blocker無効例における第二選択薬に関する検討. 心電図, 13, 76~82, 1993.
- 90) 井野 威, 新 博次, 早川弘一 : [原著] Pirmenol, pilsicainide 単回経口投与による pharmacological cardioversion ; 発作性. 心電図, 13, 39~47, 1993.
- 91) 清野精彦, 富田喜文, 早川弘一 : [総説] 心臓突然死の病態と急性期処置の奏効率について. 総合臨, 42, 23~28, 1993.
- 92) 本間 博, 田中啓治¹⁾ (¹⁾集中治療室) : [総説] CCU での超音波診断法の有用性と限界 : 経食道心エコー図法も含めて. 集中治療, 5, 81~85, 1993.
- 93) 高山守正¹⁾, 小谷英太郎, 国見聡宏, 横山広行¹⁾, 荒尾正人, 青木 聡, 笹川 新, 関戸司久, 星野公彦¹⁾, 佐々木美典, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 宗像一雄, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室) : [原著] 下壁梗塞心電図を伴う急性前壁梗塞の検討 : 冠再灌流療法における左前下行枝下壁枝の臨床的意義. 医学と薬学, 29, 158~162, 1993.
- 94) 清野精彦 : [総説] 虚血性心疾患と末梢動脈硬化症. 治療, 75, 455~458, 1993.
- 95) 井野 威 : [総説] 甲状腺機能亢進症・低下症と不整脈. 治療, 75, 796~798, 1993.
- 96) 斉藤寛和, 新 博次, 早川弘一 : [総説] コンピューター心電図解析. 病態生理, 12, 127~134, 1993.

- 97) 加藤貴雄：〔総説〕不整脈診断の進歩；加算平均心電図法とその応用，日医大誌，60，59～63，1993.
- 98) 早川弘一，新 博次，他抗不整脈薬併用療法研究会員：〔総説〕抗不整脈薬併用療法ガイドライン，心電図，13，218～226，1993.
- 99) 草間芳樹：〔総説〕貧血と狭心症，治療，75，465～466，1993.
- 100) 新 博次：〔総説〕最近の汎用自動心電計による解析精度，日医大誌，60，67～73，1993.
- 101) 酒井俊太，星野公彦，多田祐美子，井野 威，関山達也，宗像一雄，早川弘一：〔報告〕拡張型心筋症様心病変と完全型ベーチェット病を伴った肢帯型筋ジストロフィー症の1例，心臓，25，187～191，1993.
- 102) Yahata, S., Endo, T., Kawaguchi, N., Aoki, S., Katsuta, Y., and Hayakawa, H.: 〔報告〕Dermatomyositis-polymyositis and malignancy; Is there a direct relation?, 日医大誌，60，50～53，1993.
- 103) 島井新一郎：〔総説〕心不全と腎障害（特集：併存疾患の薬物治療－病態の理解と治療の実際－），治療，75，485～488，1993.
- 104) 太田真夫：〔総説〕高血圧症と糖尿病（特集：併存疾患の薬物治療－病態の理解と治療の実際－），治療，75，413～416，1993.
- 105) 大須賀勝¹⁾，上田洋一，黒川浩史，関山達也，荒牧琢己（¹⁾多摩永山病院内科）：〔総説〕肝硬変と食道静脈瘤（特集：併存疾患の薬物治療－病態の理解と治療の実際－），治療，75，535～538，1993.
- 106) 勝田悌実：〔総説〕肝硬変と腎障害（特集：併存疾患の薬物療法－病態の理解と治療の実際－），治療，75，544～546，1993.
- 107) 加藤貴雄，早川弘一：〔総説〕抗不整脈薬の進歩と新しい問題点，Med. Pract., 10，468～476，1993.
- 108) 新 博次：〔総説〕新しい抗不整脈薬；amiodaroneを中心として（特集：不整脈－現在の問題点），臨成人病，23，345～350，1993.
- 109) 新谷博一¹⁾，岸田 浩，加藤和三²⁾，河合忠一³⁾，平盛勝彦⁴⁾，斉藤宗晴⁵⁾，飯沼宏之⁶⁾，片桐 敬⁷⁾，神原啓文⁸⁾，南野隆三⁹⁾，佐久間 昭¹⁰⁾（¹⁾昭和大学，²⁾心臓血管研究所附属病院，³⁾京都大学，⁴⁾岩手医科大学内科第2，⁵⁾自治医科大学附属大宮医療センター心臓血管科，⁶⁾心臓血管研究所附属病院，⁷⁾昭和大学内科第3，⁸⁾京都大学医療技術短期大学部，⁹⁾桜橋渡辺病院循環器内科，¹⁰⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所情報医学研究部門）：〔原著〕狭心症に対するTY-10368 (Isosorbide 5-mononitrate 製剤)の臨床評価；Nifedipine 持効錠との二重盲検比較試験，臨医薬，9，643～668，1993.
- 110) 富田喜文¹⁾，高野照夫¹⁾，清野精彦，高山守正¹⁾，宗像一雄，太田真夫，田中啓治¹⁾，大竹 稔，早川弘一（¹⁾集中治療室）：〔原著〕急性心筋梗塞における血中リポ蛋白（a）の意義；特に冠動脈硬化重症度との関連について，心臓，25，281～288，1993.
- 111) 早川弘一：〔総説〕心臓ベージング，循環器専門医，1，110～113，1993.
- 112) 大坂元久，斉藤寛和，宮内靖史，野村敦宣，佐々部典子，井野 威，新 博次，加藤貴雄，早川弘一：〔総説〕異なったデータ処理による心拍変動パワースペクトル解析の比較検討，日本ME学会専門別研究会，生体信号の長時間無拘束計測と解析研究会研究報告集，2，191～196，1993.
- 113) 加藤貴雄：〔総説〕不整脈治療薬（特集：循環器系疾患治療薬とその使い方），Medicament News, 1397，16～17，1993.
- 114) 河住 茂¹⁾，酒井俊太¹⁾，桑名壮太郎¹⁾，堀川龍是²⁾，草間芳樹³⁾，横山広行³⁾，早川弘一（¹⁾三菱重工大倉山病院内科，²⁾三菱重工本社診療所，³⁾稲田登戸病院循環器科）：〔報告〕42歳で診断された肺動脈弁狭窄と左肺動脈上行大動脈起始を伴った両大血管右室起始症の1例，心臓，25，295～300，1993.
- 115) 草間芳樹：〔総説〕不整脈とフリーラジカル（特集：集中治療とフリーラジカル），集中治療，5，233～239，1993.
- 116) Sato, N., Endo, T., Kiuchi, K., and Hayakawa, H.: 〔原著〕Effects of a thromboxane synthetase inhibitor, Y-20811, on infarct size neutrophil accumulation and arrhythmias after coronary artery occlusion and

reperfusion. J. Cardiovasc Pharmacol., 21, 353~361, 1993.

- 117) 佐々部典子, 加藤貴雄, 早川弘一, 伊藤高司:〔原著〕心房細動停止過程の検討: f 波周期の数理統計学的解析. 心臓ペースング, 8, 563~569, 1993.
- 118) 加藤貴雄:〔総説〕その他の上室性不整脈. 今月の治療, 1, 14~14, 1993.
- 119) 田中啓治¹⁾, 横山広行¹⁾, 高山守正¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一⁽¹⁾集中治療室):〔総説〕冠動脈内血栓溶解療法と急性期リハビリテーション. 診療と新薬, 30, 571~575, 1993.

〔前年度追加分〕

- 1) 加藤貴雄, 早川弘一, 細田瑳一¹⁾, 杉本恒明²⁾, 比江嶋一昌³⁾, 広沢弘七郎⁴⁾, 加藤和三⁵⁾, 五島雄一郎⁶⁾, 下村克朗⁷⁾, 橋場邦武⁸⁾(¹⁾自治医科大学循環器内科(現:東京女子医科大学心研内科), ²⁾東京大学内科第2, ³⁾東京医科歯科大学内科第1, ⁴⁾東京女子医科大学心研内科(現:榊原記念クリニック), ⁵⁾心臓血管研究所附属病院, ⁶⁾東海大学内科第1, ⁷⁾国立循環器病センター, ⁸⁾長崎大学内科第3):〔原著〕発作性上室性不整脈に対する cibenzoline 注射剤の臨床効果;多施設共同による第2相試験. 臨医薬, 7, 2247~2258, 1991.
- 2) 新 博次, 早川弘一, 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 杉本恒明²⁾, 比江嶋一昌³⁾, 中田八洲郎⁴⁾, 笠貫 宏⁵⁾, 田辺晃久⁶⁾(¹⁾心臓血管研究所附属病院, ²⁾東京大学内科第2, ³⁾東京医科歯科大学内科第1, ⁴⁾順天堂大学循環器内科, ⁵⁾東京女子医大附属日本心臓血圧研究所内科, ⁶⁾東海大学内科第1):〔原著〕心室性期外収縮に対する Pirmenol (CI-845) の初期第2相試験. 臨医薬, 7, 2431~2450, 1991.
- 3) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 杉本恒明²⁾, 細田瑳一³⁾, 笠貫 宏³⁾, 加藤貴雄, 比江嶋一昌⁴⁾, 広沢弘七郎⁵⁾, 五島雄一郎⁶⁾, 田辺晃久⁶⁾, 下村克朗⁷⁾, 武田忠直⁸⁾, 橋場邦武⁹⁾(¹⁾心臓血管研究所附属病院, ²⁾東京大学内科第2, ³⁾東京女子医科大学心研内科, ⁴⁾東京医科歯科大学内科第1, ⁵⁾榊原記念病院循環器内科, ⁶⁾東海大学内科第1, ⁷⁾国立循環器病センター, ⁸⁾大阪市立大学内科第1, ⁹⁾長崎大学内科第3):〔原著〕発作性上室頻拍に対する cibenzoline 注射剤の臨床効果;プラセボを対照とした多施設二重盲検比較試験. 臨評価, 19, 461~476, 1991.
- 4) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 細田瑳一²⁾, 笠貫 宏²⁾, 杉本恒明³⁾, 井上 博³⁾, 加藤貴雄, 比江嶋一昌⁴⁾, 広沢弘七郎⁵⁾, 五島雄一郎⁶⁾, 田辺晃久⁶⁾, 下村克朗⁷⁾, 武田忠直⁸⁾, 橋場邦武⁹⁾(¹⁾心臓血管研究所附属病院, ²⁾東京女子医科大学心研内科, ³⁾東京大学内科第2, ⁴⁾東京医科歯科大学内科第1, ⁵⁾榊原記念病院循環器内科, ⁶⁾東海大学内科第1, ⁷⁾国立循環器病センター, ⁸⁾大阪市立大学内科第1, ⁹⁾長崎大学内科第3):〔原著〕心室期外収縮に対する cibenzoline 注射剤の臨床効果と安全性;Disopyramide を対照薬とした多施設二重盲検群間比較法による検討. 臨評価, 19, 439~459, 1991.
- 5) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 杉本恒明²⁾, 細田瑳一³⁾, 笠貫 宏³⁾, 加藤貴雄, 比江嶋一昌⁴⁾, 広沢弘七郎⁵⁾, 五島雄一郎⁶⁾, 田辺晃久⁶⁾, 下村克朗⁷⁾, 武田忠直⁸⁾, 橋場邦武⁹⁾(¹⁾心臓血管研究所附属病院, ²⁾東京大学内科第2, ³⁾東京女子医科大学心研内科, ⁴⁾東京医科歯科大学内科第1, ⁵⁾榊原記念病院循環器内科, ⁶⁾東海大学内科第1, ⁷⁾国立循環器病センター, ⁸⁾大阪市立大学内科第1, ⁹⁾長崎大学内科第3):〔原著〕発作性心房細・粗動に対する cibenzoline 注射剤の臨床効果;プラセボを対照薬とした多施設二重盲検比較試験. 臨評価, 19, 477~490, 1991.
- 6) 新 博次, 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 杉本恒明²⁾, 比江嶋一昌³⁾, 中田八洲郎⁴⁾, 笠貫 宏⁵⁾, 田辺晃久⁶⁾(¹⁾心臓血管研究所附属病院, ²⁾東京大学内科第2, ³⁾東京医科歯科大学内科第1, ⁴⁾順天堂大学循環器内科, ⁵⁾東京女子医科大学心研内科, ⁶⁾東海大学内科第1):〔原著〕各種不整脈に対する Pirmenol 長期投与試験. 臨医薬, 8, 141~154, 1992.
- 7) Osaka, M., Saitoh, H., Sasabe, N., Miyauchi, Y., Atarashi, H., Katoh, T., Hayakawa, H., and Shinagawa, Y.¹⁾(¹⁾Department of Physiology):〔原著〕Personal adjustment of low and high frequency bands in heart rats variability spectral analysis. Ther. Res., 13, 719~728, 1992.
- 8) 来馬明規, 平山悦之, 井野 威, 新 博次, 宗像一雄:〔総説〕微小電極法と吸引電極法の違いについて. 循環制御, 13, 185~189, 1992.

著 書

- 1) 岸田 浩：〔分担〕無症候性冠動脈疾患“循環器疾患，最新の治療’92～’93”（杉本恒明，篠山重威編），P. 1～10，南江堂，1992.
- 2) 佐々部典子，早川弘一：〔分担〕心房細動“循環器疾患，最新の治療’92～’93”（杉本恒明，篠山重威編），P. 329～332，南江堂，1992.
- 3) 岸田 浩：〔分担〕血管拡張薬“臨床脈管学”（三島好雄，稲垣義明編），P. 75～83，文光堂，1992.
- 4) 岸田 浩：〔分担〕心筋梗塞“今日の診断指針”（亀山正邦，亀田治男，高久史麿，阿部令彦編），P. 740～746，医学書院，1992.
- 5) 早川弘一：〔分担〕頻拍発作“図解救急処置ガイド”（Medical Practice 編），P. 165～170，文光堂，1992.
- 6) 加藤貴雄，金 応文：〔分担〕加算平均心電図 QRS 初期部電位“不整脈学”（杉本恒明編），P. 283～286，南江堂，1992.
- 7) 早川弘一：〔分担〕心室頻拍の治療方針“不整脈学”（杉本恒明編），P. 338～340，南江堂，1992.
- 8) 早川弘一：〔分担〕Binodal disease “不整脈学”（杉本恒明編），P. 403～404，南江堂，1992.
- 9) 新 博次：〔分担〕アブリンジン“不整脈学”（杉本恒明編），P. 560～562，南江堂，1992.
- 10) 新 博次：〔分担〕アミオダロン“不整脈学”（杉本恒明編），P. 579～581，南江堂，1992.
- 11) 荒牧琢己：〔分担〕薬剤性肝障害“外来診療のすべて”（高久史麿監修），P. 392～393，メジカルビュー社，1992.
- 12) 加藤貴雄：〔編集〕ナースのためのモニター心電図の読み方と緊急処置，チーム医療，1992.
- 13) 加藤貴雄：〔分担〕心電図モニターの基本，致死的不整脈と緊急処置，危険な不整脈と緊急処置“ナースのためのモニター心電図の読み方と緊急処置”（加藤貴雄，小沢友紀雄編），P. 1～22，チーム医療，1992.
- 14) 斉藤寛和，早川弘一：〔分担〕新しい抗不整脈薬の適応と有効性は？；予後を含めて“心臓病の臨床—今日の論点”（木全心一編），P. 142～148，中外医学社，1992.
- 15) 岸田 浩：〔分担〕無症候性心筋虚血発作の診断法と治療は？；有効性の判断を含めて“心臓病の臨床—今日の論点”（木全心一編），P. 16～22，中外医学社，1992.
- 16) 清野精彦，竹田晋浩¹⁾（¹⁾集中治療室）：〔分担〕急性心不全の呼吸管理“循環器 Now No.1”（矢崎義雄編），P. 238～242，南江堂，1992.
- 17) 亀井真一郎：〔分担〕一時的ペースングの適応と手技“心臓ペースメーカー”（田中茂夫編），P. 14～23，メジカルビュー社，1992.
- 18) 清野精彦，小野寺威夫：〔分担〕心臓電気生理学的検査ペースングに必要な EPS について“心臓ペースメーカー”（田中茂夫編），P. 32～45，メジカルビュー社，1992.
- 19) 加藤貴雄，八島正明：〔分担〕ペースメーカー植込み術の疾患別適応“心臓ペースメーカー”（田中茂夫編），P. 46～53，メジカルビュー社，1992.
- 20) 清野精彦，高野照夫¹⁾（¹⁾集中治療室）：〔分担〕心不全の病態と治療“Annual Review 循環器1993”（杉本恒明，松本昭彦，杉下靖郎，門間和夫編），P. 72～78，中外医学社，1992.
- 21) 島井新一郎：〔分担〕急性心筋梗塞“好中球エラスターゼ病態と治療への新しい手がかり”（小川道雄編），P. 183～192，へるす出版，1992.
- 22) 高野照夫¹⁾，富田喜文（¹⁾集中治療室）：〔分担〕不安定狭心症における血栓溶解療法の役割“t-PA の基礎と臨床，新しい溶血栓薬の実践”（新谷博一編），P. 97～108，医薬ジャーナル社，1992.
- 23) 加藤貴雄：〔著書〕臨床不整脈，総合医学社，1992.
- 24) 加藤貴雄：〔分担〕上室性期外収縮“疾患別最新処方”（上田 泰，清水喜八郎，春見建一編），P. 48～49，メジカルビュー社，1992.
- 25) 加藤貴雄：〔分担〕CCU における不整脈“今日の循環器疾患治療指針”（細田瑳一編），P. 223～223，医学書院，

1992.

- 26) 加藤貴雄：〔分担〕心室性期外収縮の重症度と治療指針“不整脈 Q & A”（比江嶋一昌編）。P. 27～29, 日医新報, 1992.
- 27) 加藤貴雄：〔分担〕心筋梗塞後の心室性頻脈性不整脈の治療“不整脈 Q & A”（比江嶋一昌編）。P. 63～65, 日医新報, 1992.
- 28) 早川弘一：〔分担〕心筋梗塞, 心不全“内科診療ポケットブック”（広瀬俊一他編）。P. 401～413, 金原出版, 1992.
- 29) 早川弘一：〔分担〕狭心症“内科診療ポケットブック”（広瀬俊一他編）。P. 525～530, 金原出版, 1992.
- 30) 早川弘一, 比江嶋一昌¹⁾（¹⁾東京医科歯科大学内科第1）：〔編集〕臨床心臓電気生理学第6刷。南江堂, 1992.
- 31) 伊藤 敬¹⁾, 加藤貴雄, 小坂井嘉夫²⁾, 児玉和久³⁾, 田中悦子⁴⁾, 松尾博司⁵⁾, 三井利夫⁶⁾, 村瀬充也⁷⁾（¹⁾東京通信病院循環器科, ²⁾国立循環器病センター, ³⁾大阪警察病院心臓センター, ⁴⁾東京慈恵会医科大学第2生理学, ⁵⁾埼玉医大総合医療センター第3内科, ⁶⁾筑波大学臨床医学系外科, ⁷⁾大垣市民病院胸部外科）：〔共著〕むずかしいペースメーカー心電図とその解釈と対策。協和企画通信, 1992.
- 32) 早川弘一：〔編集〕CCU ICU とモニタリング, CCU ICU 研修スクール No. 1, テクノコミュニケーションズ, 1992.
- 33) 岸田 浩：〔分担〕抗狭心症薬“続・医薬品の開発第8巻”（中島光好編）。P. 105～112, 廣川書店, 1993.
- 34) 早川弘一：〔分担〕抗不整脈薬“治療薬ガイド'93”（和田 攻, 大久保昭行, 永田直一, 矢崎義雄編）。P. 209～212, 文光堂, 1993.
- 35) 関山達也, 黒川浩史, 荒牧琢己：〔分担〕循環障害による肝障害“肝・胆・膵診療マニュアル”（金山正明, 林直諒, 多羅尾和郎編）。P. 284～288, 金原出版, 1993.
- 36) 荒牧琢己, 長野具雄：〔分担〕Budd-chiari 症候群“肝・胆・膵診療マニュアル”（金山正明, 林 直諒, 多羅尾和郎編）。P. 289～292, 金原出版, 1993.
- 37) 早川弘一, 井野 威：〔分担〕老年者の抗不整脈治療“老年者の薬物療法指針”（蔵本 築編）。P. 33～46, 厚生省長寿科学総合研究事業, 老年者の薬物療法に関する研究班, 1993.
- 38) 早川弘一：〔分担〕抗不整脈薬“続・医薬品の開発第8巻”（中島光好編）。P. 115～119, 廣川書店, 1993.

学 会

- 1) 勝田悌実, 荒牧琢己, 滝口美由子, 関山達也, 寺田秀人, 古明地弘和, 筒井 仁, 里村克章, 奥村英正：〔展示〕肝硬変における頭上位体位変換に対する内臓容量血管の反応性低下。第89回日本内科学会講演会, 1992.
- 2) 斉藤寛和, 宮内靖史, 大坂元久, 佐々部典子, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一, 伊藤博元¹⁾, 白井康正¹⁾（¹⁾整形外科）：〔展示〕自律神経活動日内変動に対する体位の影響。第89回日本内科学会講演会, 1992.
- 3) 横山広行, 安武正弘, 斉藤 勉, 畑 典武, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一：〔展示〕運動負荷試験による心筋梗塞後心事故の予見。第89回日本内科学会講演会, 1992.
- 4) 清野精彦, 説田浩一, 富田喜文, 高野照夫¹⁾, 早川弘一（¹⁾集中治療室）：〔展示〕急性心筋梗塞症例における各種 cytokine 及び endothelin の modulation に関する検討。第89回日本内科学会講演会, 1992.
- 5) 大津文雄¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一（¹⁾多摩永山病院内科）：〔展示〕労作狭心症患者における無症候性発作と狭心症発作の関係。第89回日本内科学会講演会, 1992.
- 6) 畑 典武¹⁾, 宮川秀郎¹⁾, 池間陽子¹⁾, 国見聡宏, 岸田 浩, 早川弘一（¹⁾国立横須賀病院循環器科）：〔展示〕冠動脈石灰化の臨床的意義についての検討。第89回日本内科学会講演会, 1992.
- 7) 畑 典武¹⁾, 宮川秀郎¹⁾, 池間陽子¹⁾, 千場 純²⁾, 長岡章平²⁾, 国見聡宏, 早川弘一（¹⁾国立横須賀病院循環器科, ²⁾同内科）：〔展示〕膠原病における心病変合併と抗カルジオリビン抗体との関係。第89回日本内科学会講演会, 1992.
- 8) Munakata, K.：〔特別講演〕Circadian variation in Japanese patients with acute myocardial infarction.

The 13th Korean-Japan Joint Conference on Cardiovascular Disease (Kyung-Ju), 1992.

- 9) Sekiyama, T., Kurokawa, H., Nagano, T., Tsutsui, H., Komeichi, H., Ohsuga, M., Terada, H., Katsuta, Y., Satomura, K., Aramaki, T., and Okumura, H.: [展示] Long-term hemodynamic effects of nipradilol, a new β -blocker with portal hypertension due to cirrhosis: A comparative study with propranolol. The 8th Biennial Meeting of Asian Pacific Association for the Study of the Liver (Seoul), 1992.
- 10) Nagano, T., Tsutsui, H., Kurokawa, H., Komeichi, H., Ohsuga, M., Terada, H., Sekiyama, T., Satomura, K., Katsuta, Y., Aramaki, T., and Okumura, H.: [展示] Reassessment of the risk factors for hepatocellular carcinoma (HCC) in patients with liver cirrhosis (LC). The 8th Biennial Meeting of Asian Pacific Association for the Study of the Liver (Seoul), 1992.
- 11) 来馬明規, 宮内靖史, 平山悦之, 亀井真一郎, 黒木伸一, 小野寺威夫, 斉藤寛和, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 2種類の左脚頻拍と徐拍依存性ブロックを伴う房室接合部頻拍を合併した心筋内異物の1例. 第22回臨床心臓電気生理研究会, 1992.
- 12) 宮内靖史, 黒木伸一, 柏木睦美, 本間 博, 高山守正, 遠藤孝雄, 早川弘一, 小坂真一¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 橋本英洋²⁾ (¹⁾胸部外科, ²⁾下谷病院内科): [一般講演] 肺梗塞を繰り返した右房粘液腫の1例. 第409回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 13) 八幡丞子, 長江安洋, 滝口芙由子, 筒井 仁, 関山達也, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己: [一般講演] 肝機能異常により発見された Budd-Chiari 症候群が疑われた1例. 第219回日本消化器病学会関東地方会, 1992.
- 14) Sato, N., Endo, T., Kaneko, H., Kiuchi, K., Ibuki, C., Tomita, Y., Nejima J., and Hayakawa, H.: [一般講演] Thromboxane synthetase inhibitor (TXSI) reduced reperfusion arrhythmias but failed to limit size of myocardial infarction after coronary artery occlusion (CAO) and reperfusion (CAR) in dogs. The XIV World Congress of the Int'l Society for Heart Research (Kobe), 1992.
- 15) Seino, Y., Shimai, S., Ibuki, C., and Hayakawa, H.: [一般講演] Cardiodynamic and neurohormonal importance of atrial contribution in rate-responsive pacing. The First Int'l Symposium on Atrial Cardiology (Kobe), 1992.
- 16) 草間芳樹, 大竹 稔, 早川弘一, Hearse, D.J.¹⁾, Avkiran, M.¹⁾ (¹⁾セント・トーマス病院): [一般講演] 糖尿病心における再灌流時不整脈糖尿病ラットを用いた検討. 第35回日本糖尿病学会総会, 1992.
- 17) 佐々木美典, 岸田 浩, 佐野純子, 佐藤直樹, 国見聡宏, 安武正弘, 斉藤 勉, 富田喜文, 高山守正, 清野精彦, 太田真夫, 宗像一雄, 大竹 稔, 早川弘一: [一般講演] 糖尿病患者における Anginal warning system 障害の機序. 第35回日本糖尿病学会総会, 1992.
- 18) 太田真夫, 杉木雄治, 真鍋辰哉, 中村辰男, 富田喜文, 草間芳樹, 清野精彦, 田中啓治, 橋本英洋, 清水順治, 高野照夫, 大竹 稔, 早川弘一: [展示] 糖尿病と重症不整脈; 心筋梗塞急性期での検討. 第35回日本糖尿病学会総会, 1992.
- 19) 藤岡幹雄¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 洪 基哲¹⁾, 山崎佳子¹⁾, 大村和子¹⁾, 藤原忠通¹⁾, 伊藤徳治¹⁾, 横山広行, 早川弘一 (¹⁾ 稲田登戸病院循環器科): [一般講演] 糖尿病における運動負荷時 ST 低下の検討; 運動負荷時無症候性 ST 低下は無症候性心筋虚血か. 第35回日本糖尿病学会総会, 1992.
- 20) 堀川龍是¹⁾, 真鍋辰哉, 富田喜文, 太田真夫, 橋本英洋, 清水順治, 大竹 稔, 早川弘一 (¹⁾三菱重工健康管理センター): [展示] 糖尿病コントロールの指標としての 1,5-anhydro-D-glucitol. 第35回日本糖尿病学会総会, 1992.
- 21) 大坂元久, 斉藤寛和, 宮内靖史, 平山悦之, 佐々部典子, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 品川嘉也¹⁾ (¹⁾生理第1): [一般講演] 異なったデータ処理による心拍変動パワースペクトル (HRVS) 解析の比較検討. 第31回日本 ME 学会大会, 1992.
- 22) 黒木伸一, 加藤貴雄, 遠藤康実, 藤森ひろみ, 金 応文, 亀井真一郎, 田中 隆, 小林義典, 早川弘一, 関口真

- 一¹⁾ (1)日電三栄)：〔一般講演〕新しい画面抽出加算法による心内微小電位の評価。第31回日本 ME 学会大会，1992。
- 23) 佐々部典子，斉藤寛和，宮内靖史，野村敦宣，大坂元久，小野寺威夫，井野 威，新 博次，加藤貴雄，早川弘一：〔一般講演〕高位右房電位 (A波) による心拍変動スペクトル分析；体表面 R 波による分析との違い。第31回日本 ME 学会大会，1992。
- 24) Fujimori, H., Katoh, T., Endoh, Y., Kim, E.M., Kamei, S., Kuroki, S., and Hayakawa, H.：〔一般講演〕A new approach to evaluate ventricular arrhythmias by free optimal signal-averaging during treadmill exercise test. 5th Int'l Congress on Ambulatory Monitoring (St. Louis), 1992.
- 25) Kuroki, S., Katoh, T., Endoh, Y., Fujimori, H., Kim, E.M., Kamei, S., and Hayakawa, H.：〔一般講演〕Verification of transient arrhythmogenic changes in filtered QRS complex using new technic for signal-averaging in patients with ventricular arrhythmias. 5th Int'l Congress on Ambulatory Monitoring (St. Louis), 1992.
- 26) Kamei, S., Katoh, T., Fujimori, H., Kim, E.M., Kuroki, S., and Hayakawa, H.：〔展示〕Non-invasive evaluation of the anterograde conduction properties through Kent bundle by signal-averaging electrocardiography. 5th Int'l Congress on Ambulatory Monitoring (St. Louis), 1992.
- 27) Osaka, M., Saitoh, H., Sasabe, N., Miyauchi, Y., Hirayama, Y., Atarashi, H., Katoh, T., Hayakawa, H., and Shinagawa, Y.¹⁾ (1)Department of Physiology)：〔展示〕Personal adjustment of low and high frequency bands (PAB) in spectral analysis of heart rate variability (HRV). 5th Int'l Congress on Ambulatory Monitoring (St. Louis), 1992.
- 28) 藤森ひろみ，加藤貴雄，遠藤康実，金 応文，亀井真一郎，黒木伸一，早川弘一：〔一般講演〕運動負荷任意加算平均心電図による心室性不整脈の評価。第7回日本心臓ペースング学会，1992。
- 29) 平山悦之，新 博次，来馬明規，小野寺威夫，小林義典，斉藤寛和，井野 威，早川弘一：〔一般講演〕心室性不整脈に対する抗不整脈薬；二次選択に関する検討。第7回日本心臓ペースング学会，1992。
- 30) 大坂元久，斉藤寛和，宮内靖史，新 博次，加藤貴雄，早川弘一，品川嘉也¹⁾ (1)生理第1)：〔一般講演〕心房細動発生の波動方程式モデル。第7回日本心臓ペースング学会，1992。
- 31) Kantrowitz, A.¹⁾, Freed, P.S., Cardona, R.R., Gage, K., Marinescu, G.N., Westvels, A.H., Litch, B., Suzuki, A., Hayakawa, H., Takano, T., Rios, E., and Rubenfire, M. (1)Sinai Hospital of Detroit)：〔一般講演〕Initial clinical trial of a closed-loop, fully automatic intraaortic balloon pump. 38th Annual Meeting of the American Society for Artificial Internal Organs (ASAIO), 1992.
- 32) Otsu, F.¹⁾, Saitoh, T., Kishida, H., Katoh, K.²⁾, and Kawakubo, K.³⁾ (1)Tama Nagayama Hospital, 2) Cardiovascular Institute, 3)Tokyo University)：〔一般講演〕Different of atenorol and diltiazem on symptomatic and asymptomatic myocardial ischemia in patients with stable angina. 5th Int'l Congress on Ambulatory Monitoring (St. Louis), 1992.
- 33) Suzuki, T.¹⁾, Otsu, F.¹⁾, Tsukamoto, H.¹⁾, Kurihara, H.¹⁾, Manabe, T.¹⁾, Ohkuni, S.¹⁾, Nagasawa, K.¹⁾, Kishida, H., and Hayakawa, H. (1)Tama Nagayama Hospital)：〔一般講演〕Relationship between incidence of asymptomatic and symptomatic myocardial ischemia in patients with stable angina. 5th Int'l Congress on Ambulatory Monitoring (St. Louis), 1992.
- 34) 小谷英太郎，国見聡宏，荒尾正人，青木 聡，笹川 新，関戸司久，佐々木美典，安武正弘，草間芳樹，宗像一雄，早川弘一，横山広行¹⁾，星野公彦¹⁾，富田喜文¹⁾，高山守正¹⁾，高野照夫¹⁾ (1)集中治療室)：〔一般講演〕下壁梗塞心電図を呈し，冠動脈造影にて左前下枝末梢部の完全閉塞が確認された急性心筋梗塞の1例。第144回日本循環器学会関東甲信越地方会，1992。
- 35) 荒尾正人¹⁾，亀山元帥¹⁾，鈴木 健¹⁾，洪 芳樹¹⁾，小宮山徹三¹⁾，杉木雄治¹⁾，大津文雄¹⁾，長澤紘一¹⁾，前田昭太

- 郎²⁾, 早川弘一 (1)多摩永山病院内科, 2)同病理): [一般講演] アスペルギルス心筋内浸潤により心筋梗塞再発作が疑われた1剖検例. 第144回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1992.
- 36) 竹田晋浩¹⁾, 横山広行¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 清野精彦, 早川弘一, 池下正敏²⁾, 田中茂夫²⁾ (1)集中治療室, 2)胸部外科): [一般講演] 発症時より前脊髄動脈の閉塞による脊髄梗塞 (Adamkiewicz 症候群) を呈した解離性大動脈瘤の1例. 第144回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1992.
- 37) 高野仁司, 斉藤 勉, 滝口ふゆ子, 草間芳樹, 遠藤孝雄, 大竹 稔, 早川弘一: [一般講演] 心筋梗塞後の広範な左室心筋石灰化の1例. 第410回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 38) 佐々部典子, 斉藤寛和, 宮内靖史, 大坂元久, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一: [シンポジウム] 心室性頻拍 (VT) 発症時の自律神経活動の特徴 (主題: 心室性頻拍におけるホルター心電図の意義). 第13回ホルター心電図研究会, 1992.
- 39) 哲翁弥生, 斉藤 勉, 岸田 浩, 多田祐美子, 山崎佳子, 佐野純子, 福間長知, 島井新一郎, 早川弘一: [一般講演] 慢性透析患者における自律神経活動: 心拍変動周波数分析を用いて. 第13回ホルター心電図研究会, 1992.
- 40) 野村敦宣¹⁾, 田寺 長¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 藤田信輔¹⁾, 福間長知¹⁾, 斉藤寛和, 早川弘一 (1)北村山公立病院内科): [一般講演] 起立性低血圧症例における ATP による血行動態の変化. 第13回ホルター心電図研究会, 1992.
- 41) 藤田信輔¹⁾, 田寺 長¹⁾, 野村敦宣¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 福間長知¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一 (1)北村山公立病院内科): [一般講演] 高血圧症患者の夜間血圧に対する自律神経機能の関与の検討. 第13回ホルター心電図研究会, 1992.
- 42) 荒尾正人¹⁾, 大津文雄¹⁾, 山中博之¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 斉藤 勉, 岸田 浩, 早川弘一 (1)多摩永山病院内科): [一般講演] 未治療安定労作狭心症例における狭心発作の再現性; ホルター心電図法による検討. 第13回ホルター心電図研究会, 1992.
- 43) 横山広行¹⁾, 星野公彦¹⁾, 中込明裕¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 佐藤直樹, 国見聡宏, 佐々木美典, 安武正弘, 草間芳樹, 畑 典武, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一 (1)集中治療室): [展示] 待機的 PTCA 後早期に残存する ST 下降の成因について. 第1回日本心血管インターベンション学会, 1992.
- 44) 佐々木美典, 佐藤直樹, 国見聡宏, 安武正弘, 草間芳樹, 畑 典武, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 横山広行¹⁾, 星野公彦¹⁾, 中込明裕¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 説田浩一¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾ (1)集中治療室): [一般講演] 左冠動脈主幹部高度狭窄に対する経皮的冠血管形成術の成績. 第1回日本心血管インターベンション学会, 1992.
- 45) 富田喜文, 星野公彦, 横山広行, 国見聡宏, 佐々木美典, 今泉孝敬, 安武正弘, 草間芳樹, 高山守正, 清野精彦, 宗像一雄, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一: [展示] 急性心筋梗塞の再灌流療法における血中トロポニン T 測定の意味. 第1回日本心血管インターベンション学会, 1992.
- 46) Kato, T., Atarashi, H., Ino, T., Kuroki, S., Kamei, S., Endoh, Y., Hayakawa, H., and Mabuchi, K.¹⁾ (1)Inst. Biol. Sci., Mitsui Pharm. Inc.): [展示] MS-551, a novel class III antiarrhythmic agent. 1. Its safety, pharmacokinetics and pharmacodynamics at intravenous administration in healthy subjects. XIX Int'l Congress on Electrophysiology (Lisbon), 1992.
- 47) Kato, T., Atarashi, H., Ino, T., Kuroki, S., Kamei, S., Endoh, Y., Hayakawa, H., and Mabuchi, K.¹⁾ (1)Inst. Biol. Sci., Mitsui Pharm. Inc.): [一般講演] MS-551, a novel class III antiarrhythmic agent. 2. Its safety, pharmacokinetics and pharmacodynamics at oral administration in healthy subjects. XIX Int'l Congress on Electrophysiology (Lisbon), 1992.
- 48) Kim, E.M., Katoh, T., Tanaka, T., Miyauchi, Y., Endoh, Y., Fujimori, H., Kamei, S., Kuroki, S., and Hayakawa, H.: [展示] Arrhythmogenic changes in initial portion of signal-averaged QRS complex in patients with myocardial infarction. XIX Int'l Congress on Electrophysiology (Lisbon), 1992.
- 49) Okuni, S.¹⁾, Suzuki, T.¹⁾, Otsu, F.¹⁾, Kurihara, H.¹⁾, Ohki, K.¹⁾, Manabe, T.¹⁾, Tsukamoto, H.¹⁾, Yamanaka, H.¹⁾, Nagasawa, K.¹⁾, and Hayakawa, H.¹⁾ (1)Dept. of Int. Med., Tama-Nagayama Hosp.): [一般講演]

Mechanism of exercise-induced ST-segment elevation in patients with myocardial infarction. XIX Int'l Congress on Electrocardiology (Lisbon), 1992.

- 50) 高山守正¹⁾, 小谷英太郎, 国見聡宏, 横山広行¹⁾, 荒尾正人, 青木 聡, 笹川 新, 関戸司久, 星野公彦¹⁾, 佐々木美典, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 宗像一雄, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室): [シンポジウム] 下壁梗塞心電図を伴う急性前壁梗塞の検討; 冠再灌流療法における左前下行枝下壁枝の臨床. 第15回 Coronary Thrombolysis 研究会, 1992.
- 51) 八幡丞子, 長江安洋, 古明地弘和, 筒井 仁, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己: [一般講演] 慢性C型肝炎に合併した高齢者男性の原発性胆汁性肝硬変の1例. 第220回日本消化器病学会関東地方会, 1992.
- 52) 田中 隆¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 加藤貴雄, 早川弘一, 高野照夫²⁾ (¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾集中治療室): [一般講演] 急性心筋梗塞に合併する房室ブロックの臨床的特徴とその発現メカニズム. 第12回心筋梗塞研究会, 1992.
- 53) 佐藤良一¹⁾, 香取 瞭¹⁾, 久留一郎²⁾, 村松 光, 小海信一 (¹⁾近畿大学内科第1, ²⁾鳥取大学内科第1): [一般講演] 急性一亜急性期の心筋梗塞時のリエントリー型心室性不整脈の発生機序. 第12回心筋梗塞研究会, 1992.
- 54) 小池淳樹, 草間芳樹, 遠藤孝雄, 勝田悌実, 早川弘一: [一般講演] 急性横断性脊髄症で発症したサルコイドーシスの1例. 第411回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 55) Sekiyama, T., Tsutsui, H., Katsuta, Y., Aramaki, T., Kurokawa, H., Ohsuga, M., Terada, H., Satomura, K., Okumura, H., and Yoshimura, M.¹⁾ (¹⁾Tokyo Research Laboratories, Kowa): [展示] The effects of aging and liver disease on pharmacokinetics of nipradilol (NIP), a new β -blocker with nitrovasodilating properties. Vth World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics (Yokohama), 1992.
- 56) Zhao, L.X., Okuyama, T., Kikkawa, K., Murata, S., Munakata, K., Ueda, Y., and Hayakawa, H.: [展示] Calcium antagonistic action of "Qian-Hu" on canine coronary artery. Vth World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics (Yokohama), 1992.
- 57) Munakata, K., Sasagawa, A., Sekido, M., Aoki, S., Arao, M., Sato, N., Yokoyama, H., Kunimi, T., Sasaki, Y., Nakagomi, A., Yasutake, M., Kusama, Y., Hata, N., Takayama, M., Kishida, H., and Hayakawa, H.: [一般講演] Coronary vasodilating action of Cilostazol; A novel C-AMP phosphodiesterase inhibitor. Vth World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics (Yokohama), 1992.
- 58) Hata, N.¹⁾, Kishida, H., Kunimi, T., Miyagawa, H.¹⁾, Nishiyama, H.¹⁾, and Katoh, K.²⁾ (¹⁾Cardiology, National Yokosuka Hospital, ²⁾Cardiovascular Institute Hospital): [一般講演] Anti-anginal effects of amlodipine at a single dose on exertional angina patients using treadmill; A randomized cross-over study in comparison with placebo. Vth World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics (Yokohama), 1992.
- 59) Aso, R.¹⁾, Ohashi, K.¹⁾, Kamei, S., Katoh, T., Takahashi, H.²⁾, and Ogata, H.²⁾ (¹⁾Clinical Pharmacology Center, ²⁾Meiji College of Pharmacy): [展示] Usefulness and problems of the population pharmacokinetic analysis from therapeutic data using NONMEM; Trial with disopyramide enantiomer data. Vth World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics (Yokohama), 1992.
- 60) Yamanaka, H.¹⁾, Manabe, T.¹⁾, Kobayashi, K.¹⁾, Tanaka, K.¹⁾, Suzuki, T.¹⁾, Otsu, F.¹⁾, Nagasawa, K.¹⁾, Kishida, H., and Hayakawa, H. (¹⁾Tama Nagayama Hospital): [展示] Effect of carteolol hydrochloride on norepinephrine and CAMP levels during exercise test in patients with hypertension. Vth World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics (Yokohama), 1992.
- 61) Tetsuo, Y., Shimai, S., Tada, Y., Yamazaki, Y., Sano, J., Fukuma, N., Saitoh, T., Kishida, H., and Hayakawa, H.: [展示] Autonomic imbalance as a cause of hemodialysis-induced hypotension estimated by power spectral analysis of heart rate variability. XIVth Congress of the European Society of Cardiology

(Barcelona), 1992.

- 62) Yamazaki, Y., Saitoh, T., Kishida, H., Takano, H., Yahata, S., Arao, M., Hanashi, A., Tada, Y., Tetsuoh, Y., Sano, J., Fukuma, N., and Hayakawa, H.: [展示] Does the change of autonomic tone pattern influence anginal attacks in patients with variant angina? XIVth Congress of the European Society of Cardiology (Barcelona), 1992.
- 63) Imaizumi, T., Takayama, M., Kusama, Y., Tomita, Y., Seino, Y., Yasutake, M., Munakata, K., Takano, T., Kishida, H., and Hayakawa, H.: [一般講演] Prediction of left ventricular contractile recovery on IV dobutamine echocardiography early after coronary artery reperfusion in patients with acute myocardial infarction. XIVth Congress of the European Society of Cardiology (Barcelona), 1992.
- 64) 上田洋一, 黒川浩史, 筒井 仁, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己: [一般講演] 自己免疫性肝炎の臨床的病理組織学的経過. 第13回臨床肝臓懇話会, 1992.
- 65) 加藤貴雄: [指定講演] 抗不整脈薬併用療法, 臨床面から. 第7回犬山不整脈カンファランス, 1992.
- 66) 木村陽一, 来馬明規, 八島正明, 小野寺威夫, 斉藤寛和, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 2本の副伝導路と二重房室結節路を有し, 2種類の房室回帰性頻拍がみられた, WPW 症候群の1例. 第145回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1992.
- 67) 真鍋辰哉¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 山中博之¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 早川弘一 (¹⁾多摩永山病院内科): [一般講演] 高血圧患者の運動負荷試験に対する心혈行動態の変動. 第145回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1992.
- 68) 川口直美, 八島正明, 金子晴生, 井野 威, 鄭 廣模, 遠藤孝雄, 早川弘一: [一般講演] 経過中 non-Hodgkin リンパ腫を合併した多発性筋炎の1例. 第412回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 69) 山崎佳子, 金 応文, 草間芳樹, 遠藤孝雄, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 若林一二¹⁾ (¹⁾内科第3): [一般講演] インターフェロン投与後甲状腺機能亢進症を合併したC型慢性肝炎の1例. 第221回日本消化器病学会関東地方会, 1992.
- 70) 田中啓治¹⁾, 横山広行¹⁾, 高山守正¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室): [シンポジウム] 冠動脈内血栓溶解療法と急性期リハビリテーション (主題: 再灌流療法後の心臓リハビリテーション). 第15回心臓リハビリテーション研究会, 1992.
- 71) Tsukamoto, H., Seino, Y., Takano, T., and Hayakawa, H.: [展示] Pathophysiological analysis of cutaneous microcirculation in patients with congestive heart failure; Analysis by laser doppler spectroscopy. The 10th Int'l Conference of the Cardiovascular System Dynamics Society (Kobe), 1992.
- 72) Seino, Y., Tsukamoto, H., Shimai, S., Setsuta, K., Takano, T., and Hayakawa, H.: [展示] Sequential changes in neurohormonal factors and the relationship to cardiovascular hemodynamics in patients with acute myocardial infarction. The 10th Int'l Conference of the Cardiovascular System Dynamics Society (Kobe), 1992.
- 73) Tsutsui, H., Komeichi, H., Aramaki, T., Kurokawa, H., Ohsuga, M., Terada, H., Sekiyama, T., Satomura, K., Katsuta, Y., and Okumura, H.: [展示] Persistent portal hypertension by intrahepatic portal obstruction with dextran beads in rabbits. XIV Int'l Congress of Gastroenterology (Athens), 1992.
- 74) Katsuta, Y., Sekiyama, T., Kurokawa, H., Tsutsui, H., Komeichi, H., Ohsuga, M., Terada, H., Satomura, K., Aramaki, T., and Okumura, H.: [展示] Poor response in splanchnic capacitance to cardiopulmonary baroreceptor unloading in cirrhosis. XIV Int'l Congress of Gastroenterology (Athens), 1992.
- 75) 小林義典: [海外留学者講演] イヌ心室筋細胞における単一早期刺激および二連続早期刺激間の活動電位持続時間 restitution 動態の差異. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 76) 雪吹周生: [海外留学者講演] 再灌流性不整脈と Na⁺/H⁺ 交換機構: ラット摘出灌流心を用いての検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

- 77) 本間 博, 内田拓実, 塚本 浩, 馬 煥煥, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 渡 淳¹⁾, 黒田 肇¹⁾, 松崎つや子²⁾, 齊藤公一²⁾ (¹⁾内科第3, ²⁾付属病院生理機能センター): [一般講演] 経食道心エコー法による左心室拡張能の評価. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 78) 大須賀勝: [海外留学者講演] 門脈圧亢進症の薬物療法. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 79) 上田洋一, 荒牧琢己, 熊田博光¹⁾ (¹⁾虎の門病院消化器科): [一般講演] C型慢性肝炎に対するインターフェロン療法; 肝生検所見, HCV-RNA からみた有効性の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 80) 清野精彦: [奨学賞受賞記念] 心不全における末梢循環不全の病態生理に関する研究; 各種神経体液性因子の変動と末梢; 臓器血流配分について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 81) 岸田 浩: [特別講演] 心筋虚血の診断とその病態の多様性について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 82) 高野仁司, 木村陽一, 小谷英太郎, 森下 真, 浅井邦也, 酒井俊太, 大国真一, 国見聡宏, 星野公彦, 横山広行, 内田拓也, 富田喜文, 本間 博, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一: [展示] ドブタミン負荷エコーによる梗塞部心筋の viability および residual ischemia の検出. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 83) 関戸司久, 木村陽一, 小谷英太郎, 森下 真, 高野仁司, 笹川 新, 浅井邦也, 酒井俊太, 大国真一, 国見聡宏, 星野公彦, 横山広行, 内田拓実, 富田喜文, 本間 博, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一: [展示] 血管拡張療法, 冠血栓溶解療法は左室 remodeling を抑制するか. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 84) 山崎佳子, 齊藤 勉, 哲翁弥生, 多田祐美子, 福岡長知, 岸田 浩, 早川弘一, 出井 正¹⁾, 坂本光史¹⁾ (¹⁾医療法人和光会): [展示] 健康診断における運動負荷試験成績. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 85) 国見聡宏, 齊藤 勉, 岸田 浩, 浅井邦也, 酒井俊太, 大国真一, 佐々木美典, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 宗像一雄, 早川弘一, 星野公彦¹⁾, 横山広行¹⁾, 高山守正¹⁾ (¹⁾集中治療室): [展示] 急性心筋梗塞発症の概日リズムに關与する因子の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 86) 大坂元久, 齊藤寛和, 佐々部典子, 宮内靖史, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 品川嘉也¹⁾ (¹⁾生理第1): [展示] 心拍変動のフラクタル次元性. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 87) 中原 圓¹⁾, 田島廣之¹⁾, 大矢 徹¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 川俣博志¹⁾, 林 宏光¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 小坂真一²⁾, 宗像一雄, 真々田裕宏³⁾, 谷谷信彦³⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾胸部外科, ³⁾外科第1): [展示] 血管内異物の非手術的除去について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 88) 太田真琴¹⁾, 青木見佳子¹⁾, 佐々木映子¹⁾, 畑 三恵子¹⁾, 矢島 純¹⁾, 本田光芳¹⁾, 来馬明規, 田中啓治, 早川弘一, 佐藤要悟²⁾ (¹⁾皮膚科, ²⁾佐藤病院外科): [展示] 心病変を伴ったサルコイドーシスの1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 89) 寺田秀人, 荒牧琢己: [一般講演] 胆管結紮による二次性胆汁性肝硬変における門脈圧亢進症; その血行動態に関する検討. 第28回日本胆道学会総会, 1992.
- 90) 加藤貴雄: [特別講演] 循環器用剤の TDM. 第13回薬物治療モニタリング研究会, 1992.
- 91) Seino, Y., Tsukamoto, H., Ohki, K., Nakamura, T., Kashiwagi, M., Takano, T., and Hayakawa, H.: [一般講演] Pathophysiology of cutaneous microcirculation in patients with congestive heart failure; Analysis by laser Doppler spectroscopy. 16th World Congress of the Int'l Union of Angiology (Paris), 1992.
- 92) Kunimi, T., Saitoh, T., Kishida, H., Yokoyama, H., Sasaki, Y., Yasutake, M., Munakata, K., and Hayakawa, H.: [展示] Circadian variation of the frequency of onset of acute myocardial infarction; Influences of diabetes mellitus and pretreatment. 16th World Congress of the Int'l Union of Angiology (Paris), 1992.
- 93) Yokoyama, H., Kunimi, T., Hoshino, K., Sasaki, Y., Yasutake, M., Imaizumi, T., Tomita, Y., Kusama, Y., Hata, N., Takayama, M., Munakata, K., Takano, T., Kishida, H., and Hayakawa, H.: [一般講演] Significance of transient exercise-induced ST depression early after PTCA. 16th World Congress of the Int'l Union of Angiology (Paris), 1992.
- 94) Yasutake, M., Munakata, K., Hata, N., Sato, N., Yokoyama, H., Kunimi, T., Sasaki, Y., Kusama, Y.,

- Takayama, M., Kishida, H., and Hayakawa, H.: [展示] Coronary vasodilating action of cilostazol: A novel C-AMP phosphodiesterase inhibitor. 16th World Congress of the Int'l Union of Angiology (Paris), 1992.
- 95) Sasaki, Y., Kishida, H., Tada, Y., Tetsuoh, Y., Yamazaki, Y., Sano, J., Kunimi, T., Yokoyama, H., Sato, N., Yasutake, M., Tomita, Y., Saitoh, T., Hata, N., Takayama, M., Munakata, K., and Hayakawa, H.: [展示] Early impairment of anginal warning system in coronary artery disease patients with diabetes mellitus. 16th World Congress of the Int'l Union of Angiology (Paris), 1992.
- 96) Fujioka, M., Kusama, Y., Yokoyama, H., Yamazaki, Y., Ohmura, K., Koh, M., Imaizumi, T., Fujiwara, T., and Hayakawa, H.: [一般講演] Does exercise-induced asymptomatic ST depression in diabetic patients indicate silent myocardial ischemia? 16th World Congress of the Int'l Union of Angiology (Paris), 1992.
- 97) Hata, N.¹⁾, Kunimi, T.¹⁾, Miyanaga, H.¹⁾, Ikema, Y.¹⁾, Kitamura, H.¹⁾, Shouji, S.¹⁾, Kishida, H., and Hayakawa, H. (¹National Yokosuka Hospital): [展示] Clinical significance of coronary artery calcification (CAC). 16th World Congress of the Int'l Union of Angiology (Paris), 1992.
- 98) 長野具雄, 佐藤良一¹⁾, 小海信一²⁾, 荒牧琢己 (¹近畿大学内科第1, ²North Western Univ. Chicago): [一般講演] モルモット分離肝細胞の膜電流に及ぼす細胞内酸性化の影響と緩衝機序. 第9回肝代謝研究会. 1992.
- 99) 黒木伸一, 加藤貴雄, 北山浩気, 藤森ひろみ, 金 応文, 亀井真一郎, 田中 隆, 早川弘一: [一般講演] 加算平均心電図による副伝導路順行伝導の評価. 第10回心電図信号情報処理ワークショップ. 1992.
- 100) 来馬明規, 井野 威, 小林義典, 小野寺威夫, 黒木伸一, 斉藤寛和, 八島正明, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 池下正敏¹⁾, 田中茂夫¹⁾ (¹胸部外科): [一般講演] Adams-Stokes 症状を伴う薬剤抵抗性 AVNRT に対し, AV nodal modification が奏効した1例. 第4回カテーテル・アブレーション公開研究会. 1992.
- 101) 来馬明規, 藤森ひろみ, 斉藤寛和, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 大動脈弁狭窄症に非対称性中隔肥厚と完全房室ブロックを合併した1例. 第16回日本老年医学会関東甲信越地方会. 1992.
- 102) 金子晴生, 斉藤寛和, 遠藤孝雄, 勝田悌実, 荒牧琢己, 早川弘一: [一般講演] 多発性骨髄腫 (IgA, κ) を合併した原発性胆汁性肝硬変の1例. 第413回日本内科学会関東地方会. 1992.
- 103) 大竹 稔: [特別発言] 糖尿病性血管病変の病像と治療の現況および将来. 第33回日本脈管学会総会. 1992.
- 104) 横山広行, 草間芳樹, 藤岡幹雄¹⁾, 洪 基哲¹⁾, 大村和子¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 宮内靖史¹⁾, 山崎佳子, 岸田 浩, 藤原忠通¹⁾, 早川弘一 (¹稲田登戸病院内科): [一般講演] 運動負荷時無症候性 ST 下降を示す糖尿病患者における冠動脈病変. 第33回日本脈管学会総会. 1992.
- 105) 田中啓治¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 子島 潤¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高山守正¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹集中治療室): [一般講演] 急性心筋梗塞に対する冠動脈内血栓溶解療法と心破裂. 第33回日本脈管学会総会. 1992.
- 106) 草間芳樹, 本間 博, 横山広行, 高野仁司, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一: [一般講演] 梗塞責任冠動脈に対する血行再建の検討; ドブタミン負荷エコーを用いて. 第33回日本脈管学会総会. 1992.
- 107) 富田喜文, 大竹 稔, 佐々木美典, 安武正弘, 草間芳樹, 清野精彦, 高山守正, 太田真夫, 宗像一雄, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹集中治療室): [一般講演] 冠動脈硬化症の重症度と血中 Lp (a) の関係; 心筋梗塞患者における検討. 第33回日本脈管学会総会. 1992.
- 108) 小谷英太郎, 森下 真, 横山広行, 国見聡宏, 星野公彦, 佐々木美典, 安武正弘, 富田喜文, 子島 潤, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹集中治療室): [一般講演] 下壁梗塞心電図を伴う急性前壁梗塞の特徴; 左前下行枝心尖部到達度の評価. 第33回日本脈管学会総会. 1992.
- 109) 国見聡宏, 安武正弘, 小谷英太郎, 高野仁司, 青木 聡, 笹川 新, 関戸司久, 星野公彦, 横山広行, 佐々木美典, 富田喜文, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一: [一般講演] 急性心筋梗塞発症に対する冠動脈内皮障害と vasoreactivity の関与. 第33回日本脈管学会総会. 1992.
- 110) 富田喜文, 田中啓治¹⁾, 国見聡宏, 横山広行, 星野公彦, 佐々木美典, 今泉孝敬, 高山守正, 宗像一雄, 高野照

- 夫¹⁾, 早川弘一 (1)集中治療室): [一般講演] 冠動脈血管内超音波法の有用性の検討. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 111) 畑 典武¹⁾, 宮川秀郎¹⁾, 北村秀和¹⁾, 千場 純²⁾, 長岡章平²⁾, 庄司 敏¹⁾, 木村良峰²⁾, 池間陽子¹⁾, 国見聡宏, 岸田 浩, 早川弘一 (1)国立横須賀病院循環器科, 2)同内科): [一般講演] シェーグレン症候群における心障害合併と抗カルジオリピン抗体との関係. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 112) 岸田 浩: [シンポジウム] 無症候性心筋虚血の Circadian rhythm とその臨床的意義 (主題: 循環器領域における Circadian rhythm の臨床的意義). 第4回時間循環器研究会, 1992.
- 113) 大坂元久, 斉藤寛和, 佐々部典子, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 心拍変動の日内変動; 相関次元を指標として. 第4回時間循環器研究会, 1992.
- 114) 関山達也, 荒牧琢己: [ワークショップ] 硬変性門脈圧亢進症におけるプロプラノロール(PR)及びニブラジロール(NIP)の肝血行動態並びに食道静脈瘤に対する効果 (主題: 門脈圧亢進症の治療). 第34回日本消化器病学会大会, 1992.
- 115) 大須賀勝, 勝田梯実, 荒牧琢己, Lebrech, D.¹⁾ (1)INSERM U24, France): [一般講演] 門脈圧亢進証ラットモデルにおける肝血行動態に対するニブラジロール (NIP) の効果. プロプラノロール (PR) との比較検討. 第34回日本消化器病学会大会, 1992.
- 116) 加藤貴雄: [ファイアーサイドカンファランス] 心室遅延電位の臨床的有用性; 不整脈の治療と心室遅延電位 (主題: 加算平均心電図-体表心臓微小電位検出法の進歩). 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 117) 井野 威, 新 博次, 早川弘一: [パネルディスカッション] Pirmenol, pilsicainide 単回経口投与による pharmacological cardioversion (主題: 抗不整脈薬の功罪). 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 118) 斉藤寛和, 佐々部典子, 大坂元久, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一: [シンポジウム] 発作性頻脈性不整脈発症時の自律神経活動 (主題: 自律神経と心電現象). 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 119) 山中博之¹⁾, 大國真一¹⁾, 真鍋辰哉¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 早川弘一 (1)多摩永山病院内科): [一般講演] ヘルスカウンター組み込み型ホルター心電計の有用性. 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 120) 宮内靖史¹⁾, 斉藤寛和, 大村和子¹⁾, 洪 基哲¹⁾, 藤原忠通¹⁾, 野村敦宣, 佐々部典子, 大坂元久, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 (1)稲田登戸病院循環器科): [一般講演] 心拍数に対する自律神経活動の影響; 心拍数とその変動成分の関係から. 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 121) 川口直美, 新 博次, 平山悦之, 八島正明, 小林みどり, 来馬明規, 加藤貴雄, 早川弘一, 高野照夫¹⁾ (1)集中治療室): [一般講演] 自動心電計による心筋梗塞診断精度の検討. 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 122) 来馬明規, 小林義典, 八島正明, 平山悦之, 斉藤寛和, 井野 威, 新 博次, 早川弘一: [一般講演] 拍動心における単一および二連続早期刺激の活動電位持続時間の差異; 心内膜側と心外膜側との比較. 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 123) 横山広行, 星野公彦, 国見聡宏, 佐々木美典, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (1)集中治療室): [一般講演] PTCA 後の運動負荷試験 ST 下降の推移と遠隔期再狭窄に関する検討. 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 124) 小野寺威夫, 井野 威, 斉藤寛和, 黒木伸一, 来馬明規, 八島正明, 新 博次, 早川弘一: [一般講演] 201Tl 心筋シンチグラフィを用いた発作性上室性頻拍中の冠循環異常の検討. 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 125) 黒木伸一, 加藤貴雄, 来馬明規, 八島正明, 藤森ひろみ, 金 応文, 亀井真一郎, 小野寺威夫, 井野 威, 早川弘一: [一般講演] 心拍数の変化による心内微小電位の変動; 加算平均心電図法による検討. 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 126) 金 応文, 加藤貴雄, 北山浩気, 藤森ひろみ, 内田拓実, 亀井真一郎, 黒木伸一, 早川弘一: [一般講演] I 群抗不整脈薬経口投与の心電図高周波成分に及ぼす影響; 加算平均心電図による検討. 第9回日本心電学会学術集会, 1992.

- 127) 亀井真一郎, 加藤貴雄, 北山浩気, 遠藤康実, 藤森ひろみ, 金 応文, 黒木伸一, 早川弘一: [一般講演] QT 加算平均心電図による delayed potential 非侵襲検出の試み, 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 128) 大坂元久, 斉藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 品川嘉也¹⁾(¹⁾生理第1): [一般講演] 心房細動発生の波動方程式モデル, 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 129) 大村和子¹⁾, 洪 基哲¹⁾, 宮内靖史¹⁾, 藤岡幹雄¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 山崎佳子, 藤原忠通¹⁾, 加藤貴雄, 早川弘一(¹⁾稲田登戸病院循環器科): [一般講演] 心房拡張例における加算平均心電図による発作性心房細動予知の検討, 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 130) 黒木伸一, 加藤貴雄, 遠藤康実, 藤森ひろみ, 金 応文, 亀井真一郎, 早川弘一: [一般講演] 潜在性 WPW 症候群の洞調律時無侵襲診断; 加算平均心電図法による検討, 第40回日本心臓病学会学術集会, 1992.
- 131) 哲翁弥生, 斉藤 勉, 葉梨亜矢, 多田祐美子, 山崎佳子, 佐野純子, 福岡長知, 岸田 浩: [展示] 心筋虚血時の自律神経系の動態, 第40回日本心臓病学会学術集会, 1992.
- 132) 佐野純子, 斉藤 勉, 多田祐美子, 哲翁弥生, 山崎佳子, 佐々木美典, 福岡長知, 岸田 浩: [展示] 急性心筋梗塞発症に対する自律神経障害の影響, 第40回日本心臓病学会学術集会, 1992.
- 133) 本間 博, 草間芳樹, 横山広行, 高野仁司, 小谷英太郎, 内田拓実, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 汲田伸一郎¹⁾, 隈崎達夫¹⁾(¹⁾放射線科): [展示] 心筋梗塞領域における viable myocardium の検出; ドブタミン負荷心エコー図法と運動負荷201Tl 心筋 SPECT とを用いて, 第40回日本心臓病学会学術集会, 1992.
- 134) 国見聡宏, 斉藤 勉, 岸田 浩, 星野公彦, 横山広行, 佐々木美典, 安武正弘, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 早川弘一: [展示] 急性心筋梗塞発症の概日リズムに関与する因子の検討, 第40回日本心臓病学会学術集会, 1992.
- 135) 星野公彦, 富田喜文, 横山広行, 国見聡宏, 佐々木美典, 安武正弘, 草間芳樹, 高山守正, 清野精彦, 宗像一雄, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一: [一般講演] 心筋壊死の診断における血中トロポニンTの有用性; 急性心筋梗塞・不安定狭心症例における検討, 第40回日本心臓病学会学術集会, 1992.
- 136) 多田祐美子, 斉藤 勉, 葉梨亜矢, 哲翁弥生, 山崎佳子, 佐野純子, 佐々木美典, 福岡長知, 岸田 浩: [一般講演] 労作時発作を有する異型狭心症の病態と予後, 第40回日本心臓病学会学術集会, 1992.
- 137) 田中啓治¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高山守正¹⁾, 高野照夫¹⁾, 二宮淳一²⁾, 早川弘一(¹⁾集中治療室, ²⁾胸部外科): [シンポジウム] 急性心筋梗塞に伴う心破裂および心原性ショックの対策; 冠動脈血栓溶解療法, 次世代型 IABP (スーパーバルーンポンプ), 経皮的心肺補助法(PCPS) (主題: 心筋梗塞の超急性期の診断と治療), 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 138) 富田喜文¹⁾, 星野公彦¹⁾, 横山広行¹⁾, 平山悦之¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 子島 潤¹⁾, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一(¹⁾集中治療室): [シンポジウム] 心筋梗塞の超急性期における生化学的診断法の意義; 特に血中トロポニンT測定の有用性について(主題: 心筋梗塞の超急性期の診断と治療), 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 139) 栗原広孝¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大國真一¹⁾, 山中博之¹⁾, 真鍋辰哉¹⁾, 大木清司¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 早川弘一(¹⁾多摩永山病院内科): [一般講演] 高血圧症患者における運動負荷試験に対する血行動態の変化; インピーダンス法による検討, 第29回日本臨床生理学会総会, 1992.
- 140) 内田拓実, 本間 博, 鄭 廣模, 滝口美由子, 菅原博子, 宗像一雄, 早川弘一, 松崎つや子¹⁾, 中村利枝¹⁾(¹⁾生理機能センター): [一般講演] 心筋梗塞領域における viable myocardium の検出; ドブタミン負荷心エコー図法と運動負荷 Tl-201心筋 SPECT とを用いて, 日本超音波医学会第61回研究発表会, 1992.
- 141) 川口直美, 富田喜文, 井野 威, 清野精彦, 宗像一雄, 早川弘一: [展示] 拡張型心筋症様の cardiac involvement を合併した centronuclear myopathy の1例, 第14回心筋生検研究会, 1992.
- 142) 斉藤寛和, 佐々部典子, 野村敦宣, 大坂元久, 平山悦之, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一: [一般講演] 交感神経 α 受容体刺激の変時作用; 加齢の影響, 第14回カテコールアミンと循環器系研究会, 1992.
- 143) 北山浩気, 哲翁弥生, 本間 博, 斉藤寛和, 遠藤孝雄, 早川弘一: [一般講演] 潰瘍性大腸炎で発症した多発性筋炎の1例, 第414回日本内科学会関東地方会, 1992.

- 144) 野村敦宣¹⁾, 田寺 長¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 藤田信輔¹⁾, 福間長知¹⁾, 斉藤寛和, 早川弘一(¹⁾北村山公立病院内科): [一般講演] ATP による自律神経活動の変化; 起立性低血圧症例において. 第45回日本自律神経学会総会, 1992.
- 145) 宮内靖史¹⁾, 大村和子¹⁾, 藤原忠通¹⁾, 斉藤寛和, 佐々部典子, 大坂元久, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一(¹⁾稲田登戸病院循環器科): [一般講演] 心拍変動周波数成分に対する心拍数の影響. 第45回日本自律神経学会総会, 1992.
- 146) 佐野純子, 斉藤 勉, 岸田 浩, 多田祐美子, 哲翁弥生, 山崎佳子, 佐々木美典, 福間長知, 早川弘一: [一般講演] 自律神経障害は労作狭心症の予後を推定しえるか? ; 老年群と非老年群との対比. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 147) 国見聡宏, 岸田 浩, 斉藤 勉, 宗像一雄, 早川弘一: [一般講演] 急性心筋梗塞発症の概日リズム; 老年者と若年者の比較検討. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 148) 真鍋辰哉¹⁾, 大津文雄¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一: [一般講演] 労作狭心症患者における無症候性心筋虚血発作の高齢者と若年者の臨床的意義の差異. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 149) 大坂元久, 斉藤寛和, 宮内靖史, 佐々部典子, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 品川嘉也¹⁾ (¹⁾生理第1): [一般講演] 体位変換による自律神経系の反応性; 加齢の影響. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 150) 畑 典武¹⁾, 宮川秀郎¹⁾, 庄司 敏¹⁾, 木村良峰¹⁾, 羽尾邦彦¹⁾, 国見聡宏, 岸田 浩, 早川弘一 (¹⁾国立横須賀病院循環器科・外科): [一般講演] 開腹手術後の心電図所見悪化と加齢との関係. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 151) 来馬明規, 八島正明, 平山悦之, 黒木伸一, 小野寺威夫, 斉藤寛和, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 心臓電気生理学的検査対象例における老年者の不整脈の特徴. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 152) 井野 威, 新 博次, 斉藤寛和, 小野寺威夫, 北山浩気, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] I 群抗不整脈薬 pirlmenol, pilsicainide の薬物動態に対する加齢の影響. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 153) 金 応文, 加藤貴雄, 北山浩気, 藤森ひろみ, 亀井真一郎, 黒木伸一, 田中 隆, 太田真夫, 早川弘一: [一般講演] 加算平均心電図高周波成分に及ぼす加齢の影響. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 154) 杉木雄治, 太田真夫, 富田喜文, 清野精彦, 田中啓治, 橋本英洋, 清水順治, 高野照夫, 大竹 稔, 早川弘一: [一般講演] 高齢者糖尿病症例における心筋梗塞急性期での心室頻拍の発生状況. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 155) 国見聡宏, 斉藤 勉, 木村陽一, 小谷英太郎, 高野仁司, 森下 真, 浅井邦也, 酒井俊太, 大國真一, 雪吹周生, 富田喜文, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 星野公彦¹⁾, 横山広行¹⁾, 高山守正¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [一般講演] 急性心筋梗塞発症の季節変動. 第78回日本医科大学医学会例会, 1992.
- 156) 金子晴生, 来馬明規, 筒井 仁, 本間 博, 斉藤寛和, 関山達也, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己: [一般講演] Ig-A, κ 型多発性骨髄腫を合併した原発性胆汁性肝硬変の1例. 第27回日本肝臓学会東部会, 1992.
- 157) 小池淳樹, 筒井 仁, 遠藤孝雄, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 竹内 司¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理第2): [一般講演] 肝不全を呈した全身性アミロイドーシスの1剖検例. 第27回日本肝臓学会東部会, 1992.
- 158) 関山達也, 黒川浩史, 上田洋一, 筒井 仁, 大須賀 勝, 寺田秀人, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己: [ワークショップ] HCV 抗体陰性のアルコール性肝障害に関する臨床病理学的検討. 第27回日本肝臓学会東部会, 1992.
- 159) 加藤貴雄: [特別講演] 加算平均心電図とその進歩: 不整脈治療への応用. 不整脈学術講演会, 1992.
- 160) 畑 典武¹⁾, 宮川秀郎¹⁾, 千場 純²⁾, 長岡章平²⁾, 国見聡宏, 岸田 浩, 早川弘一 (¹⁾国立横須賀病院循環器科, ²⁾同内科): [一般講演] 膠原病における抗カルジオリピン抗体と心病変との関係. 第47回国立病院療養所総合医学会, 1992.
- 161) Katoh, T., Kamei, S., Fujimori, H., Kim, E.M., Kuroki, S., and Hayakawa, H.: [一般講演] Non-invasive detection of the concealed anterograde Kent conduction in concealed WPW syndrome. 65th Scientific Sessions of American Heart Association (New Orleans), 1992.

- 162) Katoh, T., Kuroki, S., Endoh, Y., Kim, E.M., Kamei, S., and Hayakawa, H. : [一般講演] Event-related transient changes in signal-averaged filtered QRS complex. Relation to the mechanism of ventricular arrhythmias. 65th Scientific Sessions of American Heart Association (New Orleans), 1992.
- 163) Seino, Y., Tsukamoto, H., Takano, T., and Hayakawa, H. : [一般講演] Abnormal vasomotion and reduced cutaneous blood mass remain in congestive heart failure even with normalized cardiovascular hemodynamics. 65th Scientific Sessions of American Heart Association (New Orleans), 1992.
- 164) Sasabe, N., Saitoh, H., Nomura, A., Osaka, M., Ino, T., Atarashi, H., and Katoh, T. : [一般講演] Heart period variability spectral analysis using atrial electrogram ; Differences from RR period variability. 65th Scientific Sessions of American Heart Association (New Orleans), 1992.
- 165) Tomita, Y., Ohtake, M., Yasutake, M., Takayama, M., Seino, Y., Munakata, K., Tanaka, K., Kishida, H., Takano, T., and Hayakawa, H. : [展示] Serum LP (a) predicts the severity of coronary sclerosis in acute myocardial infarction independently. 2nd Int'l LP (a) Conference (New Orleans), 1992.
- 166) Seino, Y. : [シンポジウム] Troponin-T release kinetics in AMI and unstable angina, Int'l Symposium on Current Research of Cardiac Troponin-T (New Orleans), 1992.
- 167) 小林みどり, 金 応文, 草間芳樹, 遠藤孝雄, 加藤貴雄, 早川弘一 : [一般講演] 肺癌を合併した原発性マクログロブリン血症. 第415回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 168) 八幡丞子, 青木 聡, 井野 威, 遠藤孝雄, 宗像一雄, 星野公彦¹⁾, 竹田晋浩¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 高山守正¹⁾, 高野照夫¹⁾, 窪倉浩俊²⁾, 山内仁紫²⁾, 落 雅美²⁾, 田中茂夫²⁾, 小川真紀²⁾, 浅野伍朗³⁾ (¹⁾集中治療室, ²⁾胸部外科, ³⁾病理第2) : [一般講演] 心タンポナーデで発症し, 心外膜の著明な肥厚を伴い進展した心臓血管肉腫の1例. 第146回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1992.
- 169) 黒川浩史, 上田洋一, 筒井 仁, 長野具雄, 古明地弘和, 大須賀勝, 寺田秀人, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己 : [一般講演] 肝硬変症におけるニトログリセリンの門脈圧降下作用機序 ; 2用量群による比較検討. 第13回日本臨床薬理学会, 1992.
- 170) 大木清司¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 真鍋辰哉¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一 (¹⁾多摩永山病院内科) : [一般講演] 心筋虚血の程度とニトログリセリンテープ連用の関係 ; 表面心電図法による検討. 第13回日本臨床薬理学会, 1992.
- 171) 新 博次, 平山悦之, 来馬明規, 斉藤寛和, 井野 威, 高野照夫, 早川弘一 : [シンポジウム] 突然死より救命された特発性心室細動例の経過 (主題 : 特発性心室不整脈と突然死). 第5回日本心臓性急死研究会, 1992.
- 172) 加藤貴雄 : [特別講演] 不整脈の薬物療法. 第10回広島循環器病研究会, 1992.
- 173) 高山守正¹⁾, 富田喜文¹⁾, 森下 真¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 横山広行¹⁾, 星野公彦¹⁾, 草間芳樹, 高野照夫¹⁾, 関 隆志²⁾, 小川俊一²⁾, 弓削邦夫²⁾, 平山恒夫²⁾ (¹⁾集中治療室, ²⁾小児科) : [一般講演] 川崎病による急性心筋梗塞に対しPTCRとDeferred PTCAが有効であった1例. 第1回関東心血管インターベンションカンファレンス, 1992.
- 174) 小池淳樹, 黒木伸一, 斉藤寛和, 太田真夫, 橋本英洋, 清水順治, 大竹 稔, 早川弘一 : [一般講演] ケトアシドーシス(DKA)性昏睡で発症し, rhabdomyolysisを合併したIDDMの1例. 日本糖尿病学会関東甲信越地方会第30回講演会, 1993.
- 175) 早川弘一 : [教育講演] 急性循環不全 update. 日本集中治療医学会第1回関東甲信越地方会, 1993.
- 176) 子島 潤¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 内田拓実¹⁾, 家所哲夫¹⁾, 高山守正¹⁾, 本間 博, 宗像一雄, 早川弘一 (¹⁾集中治療室) : [一般講演] 慢性心不全急性増悪期の液性因子. 第9回心不全研究会, 1993.
- 177) 北山浩気, 井野 威, 来馬明規, 小林義典, 小林利行, 八島正明, 斉藤寛和, 新 博次, 早川弘一 : [一般講演] 副伝導路カテーテルアブレーションにて逆行伝導のみ途絶した1例. 第5回臨床不整脈研究会, 1993.
- 178) 林 純一, 黒川浩史, 上田洋一, 筒井 仁, 大須賀 勝, 寺田秀人, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正 : [一般講演] 多核巨細胞を伴う成人の肝障害. 第27回日本成人病学会, 1993.

- 179) 小原俊彦¹⁾, 田寺 長¹⁾, 野村敦宣¹⁾, 藤田信輔¹⁾, 小野寺威夫¹⁾, 三品雅洋²⁾, 柏木史彦²⁾, 福間長知, 早川弘一⁽¹⁾
北村山公立病院内科, ²⁾同神経内科): [一般講演] 脳幹部梗塞における自律神経活動の特徴. 第27回日本成人病学会, 1993.
- 180) Hata, N.¹⁾, Kunimi, T., Kishida, H., Miyagawa, H.¹⁾, Ikema, Y.¹⁾, Shoji, S.¹⁾, Oohata, T.¹⁾, Ameku, S.¹⁾, Yamazaki, N.²⁾, and Hayakawa, H. (¹⁾Cardiology, National Yokosuka Hospital, ²⁾Yamazaki Medical Clinic): [一般講演] Clinical significance of coronary artery calcification. : Atherosclerosis, peripheral arterial disease, new trend in cardiovascular therapy. The 2nd Int'l Joint Workshop (Monte-Carlo), 1993.
- 181) 藤森ひろみ, 加藤貴雄, 金 応文, 亀井真一郎, 黒木伸一, 早川弘一: [一般講演] 加算平均 QRS 高周波微小電位に及ぼす心拍数変動の影響; 運動負荷法と心房ペースング法の比較. 第3回体表心臓微小電位研究会, 1993.
- 182) 森下 真, 小野寺威夫, 斉藤寛和, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 横山宗伯¹⁾, 桜井太一郎¹⁾, 浅野伍朗⁽¹⁾病理第2): [一般講演] 経門脈的に脾転移を示した肝細胞癌の1剖検例. 第223回日本消化器病学会関東地方会, 1993.
- 183) 木村陽一, 富田喜文, 井野 威, 遠藤孝雄, 勝田悌実, 荒牧琢己, 早川弘一: [一般講演] 著明な好酸球増加症を伴った側頭動脈炎の1例. 第416回日本内科学会関東地方会, 1993.
- 184) 永井信也¹⁾, 横山広行²⁾, 子島 潤²⁾, 間宮康貴²⁾, 高山守正²⁾, 田中啓治²⁾, 高野照夫²⁾, 金子晴生, 草間芳樹, 早川弘一, 妻鳥昌平⁽¹⁾老人科, ²⁾集中治療室): [一般講演] 不安定狭心症から薬剤抵抗性冠閉塞を繰り返した若年者急性心筋梗塞の1例. 第416回日本内科学会関東地方会, 1993.
- 185) 佐伯和則, 富田喜文, 井野 威, 遠藤孝雄, 早川弘一: [一般講演] 脳梗塞と同時合併した原発性冠動脈解離による急性心筋梗塞, いわゆる心脳卒中の1例. 第147回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1993.
- 186) 小野卓哉¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 田島秀則¹⁾, 内田拓実¹⁾, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 本間 博, 斉藤寛和, 早川弘一, 朽方規喜²⁾, 矢島俊己²⁾, 田中茂夫²⁾ (¹⁾集中治療室, ²⁾胸部外科): [一般講演] 経胸壁の超音波断層法にて診断が困難であった巨大左房粘液腫の1例. 第147回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1993.
- 187) Sato, R.¹⁾, Hisatomo, I.²⁾, Takai, H.¹⁾, Aida, Y.¹⁾, Matsumoto, S.¹⁾, Karasaki, S.¹⁾, Oyazu, M.¹⁾, Koumi, S., and Katori, R.¹⁾ (¹⁾Kinki Univ. School of Med., ²⁾Tottori Univ. School of Med.): [展示] The characterization of slower component of recovery kinetics from use-dependent block on sodium channel with disopyramide. 37th Annual Meeting of the Biophysical Society (Washington D.C.), 1993.
- 188) 大坂元久, 斉藤寛和, 宮内靖史, 野村敦宣, 八島正明, 佐々部典子, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 日内変動のリズム解析法; cosiner 法以外の手法を探って. 第5回時間循環器研究会, 1993.
- 189) 国見聡宏, 斉藤 勉, 福間長知, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一: [一般講演] 急性心筋梗塞発症の概日リズムに与える患者諸因子の影響. 第5回時間循環器研究会, 1993.
- 190) 本間 博, 酒井俊太, 高野仁司, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 内田拓実¹⁾, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [一般講演] 急性心筋虚血時の左心室拡張機能のモニター; 肺静脈血流速波形の拡張期波最大減速を用いて. 第4回日本臨床モニター学会, 1993.
- 191) 浅井邦也, 八島正明, 井野 威, 鄭 廣模, 遠藤孝雄, 早川弘一, 壇 和夫⁽¹⁾内科第3): [一般講演] 胸腺腫にパラサイミック症候群として種々の自己免疫異常を合併した1例. 第417回日本内科学会関東地方会, 1993.
- 192) 大須賀勝, 寺田秀人, 関山達也, 勝田悌実, 荒牧琢己, Moreau, R., Lebec, D. (Inserm U-24, France): [一般講演] 正常ラットの内臓循環に及ぼすヒト Atrial natriuretic peptide の効果. 第79回日本消化器病学会総会, 1993.
- 193) 林 純一, 黒川浩史, 上田洋一, 筒井 仁, 大須賀 勝, 寺田秀人, 関山達也, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己: [展示] ウイルス性慢性肝疾患における自己抗体の出現率. 第79回日本消化器病学会総会, 1993.
- 194) Saitoh, H., Nomura, A., Osaka, M., Sasabe, N., Ino, T., Atarashi, H., Katoh, T., Kishida, H., and Hayakawa, H.: [一般講演] Effects of $\alpha 1$ -adrenergic stimulation on human sinus node automaticity. American College

of Cardiology 42nd Annual Scientific Session (Anaheim). 1993.

- 195) 早川弘一：「ファアサイドレクチャー」心臓ペースング。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 196) 田中啓治¹⁾，高山守正¹⁾，高野照夫¹⁾，池下正敏²⁾，隈崎達夫³⁾，早川弘一（¹⁾集中治療室，²⁾胸部外科，³⁾放射線科）：「パネルディスカッション」急性大動脈解離における内科的降圧療法“画像診断から画像治療へ”（主題：動脈解離の病態と治療）。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 197) 来馬明規，新 博次，斉藤寛和，八島正明，黒木伸一，小野寺威夫，井野 威，早川弘一：「展示」新しい超短時間作用型 β 遮断薬ONO-1101の不整脈抑制作用と薬物動態について。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 198) 鈴木郁代，早川弘一，中込明裕¹⁾，小川 剛¹⁾，宗像純司¹⁾（¹⁾都立駒込病院内科）：「展示」年齢・性別からみたジビリダモール負荷心筋シンチグラム（D-TI）の有用性。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 199) 中込明裕，田中啓治，高山守正，高野照夫，安武正弘，富田喜文，草間芳樹，宗像一雄，岸田 浩，早川弘一：「展示」梗塞後狭心症（PIA）の病態と治療法の選択について。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 200) 酒井俊太，草間芳樹，本間 博，高野仁司，横山広行，内田拓実，宗像一雄，岸田 浩，早川弘一，高山守正¹⁾，高野照夫¹⁾（¹⁾集中治療室）：「展示」ドブタミン（DOB）負荷による心筋梗塞領域におけるST上昇と梗塞部壁運動変化との比較。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 201) 国見聡宏，斉藤 勉，葉梨亜矢，多田祐美子，哲翁弥生，山崎佳子，佐野純子，福岡長知，草間芳樹，宗像一雄，岸田 浩，早川弘一：「展示」急性心筋梗塞発症の日内リズムへの冠攣縮の関与。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 202) 大坂元久，斉藤寛和，佐々部典子，宮内靖史，新 博次，加藤貴雄，早川弘一：「展示」心拍変動のフラクタル次元（FD）解析：新しい自律神経機能の評価法。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 203) 宮内靖史¹⁾，洪 基哲¹⁾，大村和子¹⁾，藤岡幹雄¹⁾，今泉孝敬¹⁾，藤原忠通¹⁾，草間芳樹，早川弘一（¹⁾稲田登戸病院循環器科）：「展示」糖尿病患者のQT延長における自律神経障害の関与；心拍変動周波数分析を用いた検討。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 204) 佐々部典子，斉藤寛和，宮内靖史，野村敦宣，大坂元久，井野 威，新 博次，加藤貴雄，早川弘一：「展示」房室伝導時間への自律神経支配の検討；その変動スペクトル分析から。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 205) 横山広行¹⁾，星野公彦¹⁾，高山守正¹⁾，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾，宗像一雄，岸田 浩，早川弘一：「展示」PTCA成功後の運動負荷時ST下降の成因；Hibernating myocardiumの関与。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 206) 高山守正，安武正弘，本間 博，内田拓実，草間芳樹，宗像一雄，高野照夫，早川弘一：「展示」経皮経静脈的僧帽弁交連裂開術（PTMC）施行後の僧帽弁逆流の推移；自然改善例の予測。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 207) 国見聡宏，大國真一，星野公彦，横山広行，安武正弘，斉藤 勉，富田喜文，草間芳樹，高山守正，宗像一雄，岸田 浩，早川弘一：「展示」急性心筋梗塞発症に対するvasoreactivityの関与；梗塞発症の日内リズムとの対比。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 208) 横山広行¹⁾，星野公彦¹⁾，高山守正¹⁾，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾，草間芳樹，本間 博，高野仁司，酒井俊太，宗像一雄，岸田 浩，早川弘一（¹⁾集中治療室）：「展示」Hibernating myocardiumに対する冠血行再建の影響；Successful PTCA前後の標的血管領域壁運動および壁運動予備能の比較。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 209) 高山守正¹⁾，安武正弘，本間 博，内田拓実¹⁾，草間芳樹，宗像一雄，高野照夫¹⁾，早川弘一（¹⁾集中治療室）：「展示」経皮経静脈的僧帽弁交連裂開術（PTMC）施行後の僧帽弁逆流の推移；自然改善例の予測。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 210) 藤森ひろみ，加藤貴雄，遠藤康実，金 応文，亀井真一郎，黒木伸一，早川弘一：「展示」加算平均QRS高周波微小電位に及ぼす心拍数変動の影響；運動負荷法と心房ペースング法の比較。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 211) 福岡長知，岸田 浩，八幡丞子，葉梨亜矢，哲翁弥生，多田祐美子，山崎佳子，佐野純子，斉藤 勉，早川弘一：「展示」本態性高血圧症例における陰性U波の出現機序；血中 α -HANPと心臓RIアンギオグラフィー（心RI）

- による検討。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 212) 小野寺威夫¹⁾，井野 威，斉藤寛和，来馬明規，八島正明，新 博次，早川弘一（¹⁾北村山公立病院内科）：〔展示〕発作性上室性頻拍における ST 低下の成因に関する検討。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 213) 黒木伸一，加藤貴雄，遠藤康実，藤森ひろみ，金 応文，亀井真一郎，田中 隆，早川弘一：〔展示〕心室期外収縮出現前後の QRS 高周波成分の一過性変動とその消長。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 214) 来馬明規，新 博次，小林義典，八島正明，平山悦之，斉藤寛和，早川弘一：〔展示〕拍動心における活動電位持続時間 restitution の検討；単一早期刺激（S1）と二連続早期刺激（S2）ならびに心内膜側（Epi）と心外膜側（Endo）の比較。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 215) 葉梨亜矢，斉藤 勉，八幡丞子，哲翁弥生，多田祐美子，山崎佳子，佐野純子，国見聡宏，福間長知，岸田 浩，早川弘一：〔展示〕心筋梗塞患者の心室性期外収縮（VPC）出現の心拍反応性と日内変動について。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 216) 哲翁弥生，斉藤 勉，葉梨亜矢，多田祐美子，山崎佳子，佐野純子，福間長知，岸田 浩，早川弘一，笹川 新¹⁾，島井新一郎¹⁾（¹⁾国保福生病院内科）：〔一般講演〕運動誘発心筋虚血における自律神経活動の異常応答。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 217) 山崎佳子，斉藤 勉，八幡丞子，葉梨亜矢，哲翁弥生，多田祐美子，佐野純子，国見聡宏，福間長知，岸田 浩，早川弘一：〔一般講演〕自律神経活動の周期変動から推定した異型狭心症における Ca 拮抗薬の作用機序。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 218) 大村和子¹⁾，洪 基哲¹⁾，宮内靖史¹⁾，藤岡幹雄¹⁾，今泉孝敬¹⁾，藤原忠通¹⁾，山崎佳子，早川弘一（¹⁾稲田登戸病院循環器科）：〔一般講演〕心房遅延電位が陽性となる心房性期外収縮頻発例の検討。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 219) 藤岡幹雄¹⁾，今泉孝敬¹⁾，洪 基哲¹⁾，大村和子¹⁾，宮内靖史¹⁾，藤原忠通¹⁾，草間芳樹，横山広行，早川弘一（¹⁾稲田登戸病院循環器科）：〔一般講演〕糖尿病患者における運動負荷時無症候性 ST 低下は心筋虚血か。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 220) 本間 博，草間芳樹，内田拓実，塚本 浩，馬 煥煥，高山守正，宗像一雄，岸田 浩，早川弘一：〔一般講演〕肺静脈血流速波形の拡張期波最大減速度による左室拡張動態の推定。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 221) 富田喜文，清野精彦，星野公彦，高山守正¹⁾，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾，早川弘一（¹⁾集中治療室）：〔一般講演〕不安定狭心症における血清 troponin-T 上昇とその病態生理学的意義について。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 222) 高山守正¹⁾，宗像一雄，堀川龍是，富田喜文，横山広行¹⁾，星野公彦¹⁾，国見聡宏，大國真一，草間芳樹，岸田 浩，高野照夫¹⁾，大竹 稔，早川弘一（¹⁾集中治療室）：〔一般講演〕急性心筋梗塞回復後の積極的脂質低下療法による冠動脈病変の進展と退縮：Coronary lipid study 中間報告。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 223) 中込明裕¹⁾，田中啓治¹⁾，今泉孝敬¹⁾，高山守正¹⁾，高野照夫¹⁾，安武正弘，富田喜文，草間芳樹，宗像一雄，岸田 浩，早川弘一（¹⁾集中治療室）：〔一般講演〕冠動脈内血栓溶解療法（PTCR）の梗塞後狭心症（PIA）発症に及ぼす効果；非施行群との比較。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 224) 森下 真¹⁾，高山守正¹⁾，永井信也¹⁾，横山広行¹⁾，佐野純子¹⁾，八島正明¹⁾，星野公彦¹⁾，内田拓実¹⁾，竹田晋浩¹⁾，杉本忠彦¹⁾，高田加寿子¹⁾，子島 潤¹⁾，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾，早川弘一（¹⁾集中治療室）：〔一般講演〕高齢者急性心筋梗塞に対する血栓溶解療法の有効性についての検討。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 225) 藤田信輔¹⁾，田寺 長¹⁾，野村敦宣¹⁾，小原俊彦¹⁾，小野寺威夫¹⁾，福間長知，岸田 浩，早川弘一（¹⁾北村山公立病院内科）：〔一般講演〕夜間血圧変動におよぼす自律神経活動の検討。第57回日本循環器学会総会，1993。
- 226) 島井新一郎¹⁾，笹川 新¹⁾，星野公彦²⁾，子島 潤²⁾，横山広行²⁾，高山守正²⁾，田中啓治²⁾，高野照夫²⁾，富田喜文，清野精彦，宗像一雄，早川弘一（¹⁾国保福生病院内科，²⁾集中治療室）：〔一般講演〕ミオシン軽鎖 I（MLC-I）流出動態からみた血栓溶解療法の効果判定。第57回日本循環器学会総会，1993。

- 227) 星野公彦¹⁾, 清野精彦, 富田喜文, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室): [一般講演] 急性心筋梗塞における血清 troponin-T 遊出動態分析による心筋 salvage の評価. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 228) 哲翁弥生, 齊藤 勉, 八幡丞子, 多田祐美子, 山崎佳子, 佐野純子, 福岡長知, 岸田 浩, 早川弘一, 笹川 新¹⁾, 島井新一郎¹⁾ (¹⁾国保福生病院内科): [一般講演] 血液透析時低血圧発現機序とその規定因子について; RI アンギオグラフィと心拍変動周波数分析を用いて. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 229) 野村敦宣, 齊藤寛和, 田寺 長, 小原俊彦, 藤田信輔, 福岡長知, 小野寺威夫, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] ATP による自律神経活動及び循環動態の変化 (テーマ: 急性心筋梗塞の発症に関わる心理・社会的要因について). 第42回循環器 PSM の会, 1993.
- 230) 高山守正: [シンポジウム] 急性心筋梗塞回復後の積極的脂質低下療法による冠動脈病変の進展と退縮; Coronary lipid study 中間報告(主題: 動脈硬化—予防から退縮へ). 第57回日本循環器学会サテライトシンポジウム, 1993.
- 231) 加藤貴雄, 黒木伸一, 金 応文, 藤森ひろみ, 早川弘一: [一般講演] 心臓微小電位の変動と心室性不整脈の関連性 (主題: 体表微小電位の診断基準の検討); 日本循環器学会診療基準委員会体表微小電位による心疾患診断に関する研究. 第2回公開中間研究発表会, 1993.
- 232) 大坂元久, 齊藤寛和, 宮内靖史, 野村敦宣, 佐々部典子, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 異なったデータ処理による心拍変動パワースペクトル解析の比較検討. 生体信号の長時間無拘束計測と解析研究会, 1993.

[前年度追加分]

- 1) 国見聡宏, 齊藤 勉, 岸田 浩, 横山広行, 佐々木美典, 安武正弘, 高山守正, 宗像一雄, 早川弘一: [展示] 心筋梗塞発症時刻の概日リズムにおよぼす糖尿病 (DM) の影響. 第56回日本循環器学会総会, 1992.

[付属病院老人科]

研究概要

老年期における糖代謝および糖尿病, 動脈硬化性疾患, 脂質代謝異常, 高血圧症, 肥満の問題を中心に臨床的研究を行った.

老年期における糖代謝および糖尿病については, 1) 血糖連続測定による経口ブドウ糖負荷時の血糖曲線の解析を主として年齢およびインスリン分泌の面より行い, 血糖曲線の型がインスリン分泌能と密接な関連を有する結論を得た. 2) 老年者糖尿病患者における尿中 N-Acetyl- β -D-glucosaminidase (NAG) 活性測定の臨床的意義の検討を行った. 3) 老年者糖尿病の臨床像を明らかにする目的で, 断面調査を行い検討した. 4) ブドウ糖負荷後のグルカゴン負荷試験の臨床的有用性を検討した. 5) 多数の剖検例につき検討し, 軽度の耐糖能異常が冠動脈硬化性疾患の危険因子であることを明らかにし報告した.

老年期の肥満について, 1) 肥満の日常生活動作におよぼす影響を剖検例につき retrospective に検討した. 2) 老年期の肥満の心・脳血管障害との関連を剖検例につき検討し, 特に脳梗塞病変との関連が明らかとなり報告した. 3) 血圧, 血清脂質との相互関連を非糖尿病患者につき検討し, 若壮年者同様肥満因子の存在が血圧上昇および脂質代謝異常と密接な関連を有していることを多変量解析にて明らかにし報告した.

老年者の Lp (a) に関する検討を行った.

老年者の日常生活動作におよぼす諸因子の影響を検討した.

尿中 N-Acetyl- β -D-glucosaminidase (NAG) 活性の非糖尿病患者における加齢変化を検討した.

研究業績

論文

- 1) 大庭建三, 春山 勝, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 妻鳥昌平, 板垣晃之¹⁾, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾ (¹⁾浴風会病院): [原著] 老年期の軽度耐糖能異常と冠動脈病変: 剖検よりの検討. 動脈硬化, 20, 669~673, 1992.
- 2) Shuto, Y.¹⁾, Wakabayashi, I.¹⁾, Amuro, N., Minami, S.¹⁾, and Okazaki, T.²⁾ (¹⁾内科学第3, ²⁾生化学第1): [原著] A point mutation in the 3,5,3'-triiodothyronine-binding domain of thyroid hormone receptor- β associated with a family with generalized resistance to thyroid. J. Clin. Endocrinol. Metab., 75, 213~217, 1992.
- 3) 春山 勝, 安室尚樹, 笹井恵子, 平井真明, 中野博司, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平, 板垣晃之¹⁾, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾ (¹⁾浴風会病院): [原著] 老年者の肥満と生命予後: 比例ハザードモデルによる検討. 第12回日本肥満学会記録, 189~190, 1992.
- 4) 鈴木達也, 大庭建三, 南 順文, 春山 勝, 平井真明, 中野博司, 洲上正章, 妻鳥昌平: [原著] 老年期の肥満と血圧, 血清脂質: 非糖尿病, 非高血圧症例における検討. 第12回日本肥満学会記録, 141~142, 1992.
- 5) 大庭建三, 春山 勝, 中野博司, 妻鳥昌平, 板垣晃之¹⁾, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾ (¹⁾浴風会病院): [原著] 老年期の肥満と脳・心血管病変: 剖検成績よりの検討. 第12回日本肥満学会記録, 52~53, 1992.
- 6) 安藤恵子, 妻鳥昌平: [綜説] 老年者の耐糖能異常と高インスリン血症. 東京医師会誌, 45, 787~791, 1992.
- 7) 大庭建三, 妻鳥昌平: [綜説] 老年期における肥満と脂肪分布. 日本医事新報 No. 3583, 109~110, 1992.
- 8) 春山 勝, 佐藤周三, 安室尚樹, 安藤恵子, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平: [報告] 著明な染色体異常を認め, G-CSFの使用後に急性骨髄性白血病を併発した多発性骨髄腫の1例. 老年者造血器疾患研究会会誌, 1, 38~43, 1992.
- 9) 折茂 肇¹⁾, 大庭建三, 佐々木英忠²⁾, 鳥羽研二¹⁾, 菊谷豊彦³⁾ (¹⁾東大老年病, ²⁾東北大学老人科, ³⁾日本東洋医学会): [綜説] 老人疾患に対する漢方治療の意義と役割: 大学老年科の立場から. 漢方医学, 17, 28~36, 1993.
- 10) 大庭建三, 中野博司, 春山 勝: [綜説] 不整脈と脳血管障害(特集: 併存疾患の薬物療法). 治療, 75, 469~471, 1993.

著書

- 1) 妻鳥昌平, 竹内 正¹⁾, 森井浩世²⁾, 福地義之助³⁾, 上田慶二⁴⁾, 勝沼英宇⁵⁾ (¹⁾東京女子医大消化器内科, ²⁾大阪市大2内, ³⁾東大老年病, ⁴⁾都多摩老人医療センター, ⁵⁾前東京医大老年病): [編集] 内分泌・代謝疾患. 老人薬物療法ハンドブック・メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 2) 中野博司, 妻鳥昌平: [分担] 糖尿病. “老人薬物療法ハンドブック”(平井俊策監修), p. 140~148, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 3) 中野博司, 妻鳥昌平: [分担] 糖尿病性昏睡. “老人薬物療法ハンドブック”(平井俊策監修), p. 149~150, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 4) 山下直博, 妻鳥昌平: [分担] 高脂血症. “老人薬物療法ハンドブック”(平井俊策監修), p. 151~157, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 5) 大庭建三, 魚住 敏: [分担] 痛風, 高尿酸血症. “老人薬物療法ハンドブック”(平井俊策監修), p. 158~163, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 6) 洲上正章, 妻鳥昌平: [分担] バセドウ病. “老人薬物療法ハンドブック”(平井俊策監修), p. 164~167, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 7) 洲上正章, 妻鳥昌平: [分担] 甲状腺機能低下症. “老人薬物療法ハンドブック”(平井俊策監修), p. 168~170, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.

- 8) 洲上正章, 妻鳥昌平: [分担] 単純甲状腺腫, 甲状腺腫瘍. “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 171~172, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 9) 大庭建三, 中野博司: [分担] 先端巨大症. “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 173~174, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 10) 大庭建三, 中野博司: [分担] 下垂体前葉機能低下症. “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 175~176, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 11) 大庭建三, 中野博司: [分担] 尿崩症. “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 177~178, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 12) 大庭建三, 中野博司: [分担] ADH 分泌異常症候群 (SIADH). “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 179~180, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 13) 山下直博, 妻鳥昌平: [分担] 副甲状腺機能亢進症. “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 181~183, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 14) 山下直博, 妻鳥昌平: [分担] 副甲状腺機能低下症. “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 184~186, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 15) 大庭建三, 妻鳥昌平: [分担] クッシング症候群. “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 187~189, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 16) 大庭建三, 妻鳥昌平: [分担] 原発性アルドステロン症. “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 190~191, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 17) 武内 寛, 妻鳥昌平: [分担] アジソン病. “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 192~193, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 18) 武内 寛, 妻鳥昌平: [分担] 急性副腎皮質不全 (副腎クリーゼ). “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 194~195, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 19) 武内 寛, 妻鳥昌平: [分担] 褐色細胞腫. “老人薬物療法ハンドブック” (平井俊策監修), p. 196~197, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1992.
- 20) 春山 勝, 大庭建三, 妻鳥昌平: [分担] Propentofylline 服用中に再発作を経験したが脳の損傷を軽く抑え得た多発性脳梗塞の1例. “私のカルテからー脳疾患を中心にー”. p. 165~167, 医薬ジャーナル社, 1992.

学会発表

- 1) 春山 勝, 安室尚樹, 平井真明, 中野博司, 大庭建三, 妻鳥昌平, 板垣晃之¹⁾, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾ (1) 浴風会病院): [一般講演] 老年者の日常生活動作に影響する諸因子に関する検討. 第89回日本内科学会総会, 1992.
- 2) 濱松 優¹⁾, 平井真明, 佐藤研之, 仲地紀勝, 鈴木達也, 笹井恵子, 春山 勝, 中野博司, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平, 中村進一¹⁾ (1) 第一病院皮膚科): [一般講演] 発熱および体重減少を契機に発見された老年者進行性全身硬化症の1例. 第15回日本老年医学会関東甲信越地方会, 1992.
- 3) 江連 司¹⁾, 清水一雄¹⁾, 渡辺秀裕¹⁾, 長浜充二¹⁾, 酒井欣男¹⁾, 平井恭二¹⁾, 星野有哉¹⁾, 有田 淳¹⁾, 渋谷哲男¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 大庭建三, 鈴木達也, 妻鳥昌平 (1) 外科学第2): [一般講演] 甲状腺原発の偏平上皮癌の1例. 第17回日本外科系連合学会, 1992.
- 4) 春山 勝, 大崎良一郎, 中野博司, 大庭建三, 妻鳥昌平, 板垣晃之¹⁾, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾ (1) 浴風会病院): [一般講演] 耐糖能異常が日常生活動作の低下及び生命予後に及ぼす影響; 比例ハザードモデルによる検討. 第35回日本糖尿病学会総会, 1992.
- 5) 大庭建三, 春山 勝, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 野崎琢史, 志賀幸雄, 妻鳥昌平: [一般講演] ブドウ糖負荷後のグルカゴン負荷試験の有用性に関する検討. 第35回日本糖尿病学会総会, 1992.
- 6) 中野博司, 洲上正章, 永井信也, 鈴木達也, 笹井恵子, 奥山 裕, 春山 勝, 平井真明, 大庭建三, 妻鳥昌平:

- 〔一般講演〕血糖連続測定によるブドウ糖負荷試験の検討；インスリンの面からの血糖曲線の成因の検討。第35回日本糖尿病学会総会，1992。
- 7) 佐藤周三，春山 勝，安室尚樹，笹井恵子，平井真明，中野博司，山下直博，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕著明な染色体異常を認め，G-CSFの使用後に急性骨髄性白血病を併発した多発性骨髄腫の1例。第411回日本内科学会関東地方会，1992。
 - 8) 横山広行¹⁾，高山守正¹⁾，富田喜文¹⁾，平山悦之¹⁾，高田加寿子¹⁾，家所哲夫，安室尚樹，子島 潤¹⁾，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾（¹⁾集中治療室）：冠再灌流療法普及後の急性心筋梗塞に伴う急性心不全治療の現況。第34回日本老年医学会総会，1992。
 - 9) 平井真明，南 順文，村重典昭，安室尚樹，笹井恵子，鈴木達也，春山 勝，中野博司，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕老年者糖尿病の尿中 N-Acetyl- β -D-glucosaminidase (NAG) 活性の臨床的意義。第34回日本老年医学会総会，1992。
 - 10) 中野博司，笹井恵子，永井信也，佐藤周三，佐藤研之，安室尚樹，春山 勝，平井真明，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕老年者糖尿病の臨床像に関する検討；断面調査による老年者糖尿病の臨床的特徴。第34回日本老年医学会総会，1992。
 - 11) 鈴木達也，中野博司，井川宗彦，仲地紀勝，春山 勝，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕老年者の Lp (a) に関する検討。第34回日本老年医学会総会，1992。
 - 12) 春山 勝，佐藤周三，安室尚樹，安藤恵子，平井真明，中野博司，山下直博，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕著明な染色体異常を認め，G-CSFの使用後に急性骨髄性白血病を併発した多発性骨髄腫の1例。第8回老年者造血器疾患研究会，1992。
 - 13) 平井真明，鈴木達也，笹井恵子，安室尚樹，春山 勝，中野博司，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕老年者の尿中 N-Acetyl- β -D-glucosaminidase (NAG) 活性の検討；非糖尿病患者における加齢変化。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
 - 14) 岡崎恭次，濱崎せり，佐藤周三，村重典昭，永井信也，春山 勝，洲上正章，中野博司，大庭建三，妻鳥昌平：〔展示〕10歳代で発症したインスリン非依存型糖尿病の3例。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
 - 15) 廣沢利彦，網代由美子，佐藤研之，仲地紀勝，春山 勝，平井真明，洲上正章，中野博司，大庭建三，妻鳥昌平：〔展示〕石灰化の進展を認めた後腹膜良性腫瘍の1例。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
 - 16) 松浦良樹，松永玲子，井川宗彦，春山 勝，平井真明，中野博司，大庭建三，妻鳥昌平：〔展示〕老年者進行性全身性硬化症 (PSS) の2例。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
 - 17) 井川宗彦，春山 勝，中野博司，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平，川口信子¹⁾，赤池正博¹⁾，加藤良夫¹⁾（¹⁾健生堂病院）：〔一般講演〕肝膿瘍を合併した老年者糖尿病の2例。第16回日本老年医学会関東甲信越地方会，1992。
 - 18) 佐藤周三，春山 勝，笹井恵子，安室尚樹，平井真明，中野博司，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕低ナトリウム血症を呈した非ケトン性高浸透圧性昏睡の1例。第30回日本糖尿病学会関東甲信越地方会，1993。
 - 19) 妻鳥昌平：〔特別講演〕加齢と糖代謝。日本医科大学医学会第78回例会，1992。
 - 20) Ezure, T.¹⁾, Shimizu, K.¹⁾, Watanabe, H.¹⁾, Sakai, Y.¹⁾, Nagahama, M.¹⁾, Kitamura, Y.¹⁾, Shibuya, T.¹⁾, Shoji, T.¹⁾, Ooba, K., and Metori, S.: 〔一般講演〕Primary squamous cell carcinoma of the thyroid. 6th Asia-Pacific Endocrine Conference (Honolulu), 1993。
 - 21) 永井信也，横山宏行¹⁾，子島 潤¹⁾，間宮康貴¹⁾，高山守正¹⁾，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾，金子晴生²⁾，草間芳樹²⁾，早川弘一²⁾，妻鳥昌平（¹⁾集中治療室，²⁾内科学第1）：〔一般講演〕不安定狭心症から薬剤抵抗性冠閉塞を繰り返した若年者急性心筋梗塞の1例。第416回日本内科学会関東地方会，1993。

[第二病院内科]

研究概要

第二病院内科では、糖尿病の心・肺・腎・機能ならびに合併症の研究に引き続き、脳の合併症について MRI を用いて研究を行った。糖尿病では約60%の症例に無症候性の小脳梗塞巣が認められ、特に腎症合併例に多い事を明らかにした。腎臓では、慢性腎不全の血液浄化法における肺胞気動脈酸素分圧較差の変動につき、血液透析と血液濾過の cross over study を行った。院内他科との共同研究として産婦人科、看護部と共同でエイズに対する医療従事者の意識調査を行った。放射線科、外科との共同研究で悪性疾患による閉塞性黄疸に対する放射線および非手術的管腔開存に関する研究を行った。また、中央検査室と共同で環境調査のための簡易細菌検出フィルム培地を考案し、調査研究を行った。

研究業績

論文

- 1) 池野廣幸¹⁾, 菅原 通¹⁾, 野本恵子¹⁾, 原 文男, 大川共一²⁾, 花井 均³⁾ (1)第二病院中央検査室, 2)同院長, 3)日研生物医学研究所). : [報告]環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考案; 第1報 試作品について. 日本手術部医学会誌, 14, 84~86, 1993.
- 2) 菅原 通¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 野本恵子¹⁾, 原 文男, 大川共一²⁾, 花井 均³⁾ (1)第二病院中央検査室, 2)同院長, 3)日研生物医学研究所). : [報告]環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考案; 第2報 付着菌の検討. 日本手術部医学会誌, 14, 86~88, 1993.
- 3) 池田桐子¹⁾, 清水暢夫¹⁾, 斉藤正人, 原 文男 (1)第二病院眼科): [原著]原発性胆汁性肝硬変に合併した眼球突出の1例. 臨床眼科, 47, 321~324, 1993.

学会発表

- 1) 増田康文, 知念正人, 鈴木 攻, 松原貴規, 村澤恒男, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原 文男: [一般講演]糖尿病の進展と脳血管障害-MRIによる検討. 第89回日本内科学会講演会, 1992.
- 2) 桑島政臣¹⁾, 三宅良彦¹⁾, 藤巻忠夫¹⁾, 佐藤恒久¹⁾, 原 文男, 林 正博¹⁾, 藤井 効¹⁾, 川村陽一¹⁾, 宮川政久¹⁾, 矢崎吉純¹⁾, 秋月哲史¹⁾, 山本 豊¹⁾, 長谷川武志¹⁾ (1)川崎市循環器懇話会): [一般講演]川崎市に於ける急性心筋梗塞の発生実態調査. 第89回日本内科学会講演会, 1992.
- 3) 原田雄一, 松原貴規, 村澤恒男, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原 文男, 難波 亨¹⁾, 久吉隆郎¹⁾ (1)第二病院外科): [一般講演]縦隔腫瘍摘出により自覚症状の著しい改善を認めた Recklinghausen 病の1例. 第412回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 4) 清水由晴, 伊藤達也, 知念正人, 原田雄一, 藤井裕介, 村澤恒男, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原 文男: [一般講演]妊娠・分娩に合併した内科疾患について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 5) 久吉隆郎¹⁾, 天野純治¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知己¹⁾, 本木洋一郎¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 平野義之¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 原 文男, 川並汪一³⁾ (1)第二病院外科, 2)同放射線科, 3)同病理部): [一般講演]縦隔腫瘍の外科的治療例の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 6) 小俣 香¹⁾, 佐藤雅史¹⁾, 渡部英之¹⁾, 山岸嘉彦¹⁾, 久吉隆郎²⁾, 難波 亨²⁾, 原 文男, 原田雄一, 川並汪一²⁾, 細根 勝²⁾ (1)第二病院放射線科, 2)同外科, 3)同病理部): [展示] von Recklinghausen 氏病に合併した中縦隔悪性神経鞘腫の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 7) 荒川 薫¹⁾, 馬越正道¹⁾, 原 一郎¹⁾, 渡部英之²⁾, 山本博人²⁾, 原 文男, 伊藤達也 (1)第二病院消化器センター, 2)同放射線科): [展示]悪性疾患による閉塞性黄疸に対する放射線照射および非手術的管腔開存に関する研究. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

- 8) 隠岐和美¹⁾, 井上雅規¹⁾, 野本恵子¹⁾, 田村朋美¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 原 文男 (1)第二病院中央検査室): [一般講演] 免疫凝集測定装置 PAMIA-10による血清 cA19-9測定専用試薬の基礎的および臨床的検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 9) 小伊藤保雄¹⁾, 福田節子¹⁾, 中島由美子¹⁾, 津金香代子¹⁾, 板倉剛志¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 原 文男 (1)第二病院中央検査室): [展示] PEROX-サイトグラムにおける異常パターンと血小板凝集像との関連性. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 10) 重川明子¹⁾, 菊池栄枯¹⁾, 寺尾幸茂¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 原 文男 (1)第二病院中央検査室): [展示] ランブル鞭毛虫検査法の評価. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 11) 鈴木憲康¹⁾, 畑 哲¹⁾, 小伊藤保雄¹⁾, 鈴木久美¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 原 文男 (1)第二病院中央検査室): [展示] 全自動 EIA 分析器 “QUARTUS” の有効性についての検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 12) 中島由美子¹⁾, 井上雅規¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 原 文男 (1)第二病院中央検査室): [展示] 自己免疫性溶血性貧血の症例についての考案. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 13) 鈴木憲康¹⁾, 畑 哲¹⁾, 小伊藤保雄¹⁾, 鈴木久美¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 原 文男 (1)第二病院中央検査室): [展示] 乳頭分泌液中癌胎児性抗原 (CEA) 測定試薬 “マンモテック” の有用性. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 14) 玉手ひさ子¹⁾, 井梅和美¹⁾, 山賀節子¹⁾, 荒井誠一¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 原 文男 (1)第二病院中央検査室): [展示] 外来ドック受診者における呼吸機能についての検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 15) 池野廣幸¹⁾, 菅原 通¹⁾, 野本恵子¹⁾, 本間登志江¹⁾, 吉田美和¹⁾, 原 文男 (1)第二病院中央検査室): [展示] 数値分類によるグラム陰性菌の同定に間する信頼性と有用性の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 16) 菅原 通¹⁾, 野本恵子¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 原 文男 (1)第二病院中央検査室): [展示] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考案; (第3報) 機能と応用について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 17) 池野廣幸¹⁾, 菅原 通¹⁾, 野本恵子¹⁾, 原 文男, 大川共一²⁾, 花井 均³⁾ (1)第二病院中央検査室, 2)同院長, 3)日研生物医学研究所): [展示] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考案; 第1報試作品について. 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 18) 菅原 通¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 野本恵子¹⁾, 原 文男, 大川共一²⁾, 花井 均³⁾ (1)第二病院中央検査室, 2)同院長, 3)日研生物医学研究所): [展示] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考案. 第2報付着菌の検討. 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 19) 知念正人, 松本茂之, 増田康文, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原 文男: [一般講演] Hand-Schueller-Christian 病の心浸潤により心不全をくり返した1例. 第414回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 20) 村澤恒男, 松本茂之, 清水由晴, 伊藤達也, 知念正人, 増田康文, 鈴木 攻, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原 文男: [一般講演] 慢性腎不全の血液浄化法における肺動脈血酸素分圧較差の変動; 第2報血液透析と血液濾過の crossover study. 第35回日本腎臓学会総会, 1992.
- 21) 吉松和彦¹⁾, 高橋 通¹⁾, 菊池三郎¹⁾, 原 文男, 大川共一²⁾ (1)第二病院産婦人科, 2)同院長): [展示] エイズに対する医療従事者の意識に関する調査. 日本医科大学医学会第79回例会, 1993.
- 22) 吉田美和¹⁾, 菅原 通¹⁾, 池野広幸¹⁾, 原 文男 (1)第二病院中央検査室): [展示] 最近3年間における臨床材料から検出した淋菌 (N, gonorrhoeae) について. 日本医科大学医学会第79回例会, 1993.
- 23) 池野廣幸¹⁾, 菅原 通¹⁾, 野本恵子¹⁾, 原 文男, 大川共一²⁾, 花井 均³⁾ (1)第二病院中央検査室, 2)同院長, 3)日研生物医学研究所): [展示] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考案; 第3報 試作品における環境付着菌の検査. 第8回日本環境感染学会総会, 1993.
- 24) 菅原 通¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 原 文男, 大川共一²⁾, 馬越正道³⁾, 天野純治⁴⁾ (1)第二病院中央検査室, 2)同院長, 3)同消化器病センター, 4)同外科): [展示] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の評価 (第4報) 手術野における消毒効果の評価. 第8回日本環境感染学会総会, 1993.
- 25) 松本茂之, 地念正人, 増田康文, 松原貴規, 村澤恒男, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原 文男: [一般講演] 抗座

攣剤による薬疹出現2週間後に出現した PIE 症候群の 1 例. 第416回日本内科学会関東地方会, 1992.

- 26) 久吉隆郎¹⁾, 天野純治¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知巳¹⁾, 松本茂之, 佐藤雅史²⁾, 山本博人²⁾, 川並汪一³⁾, 新井 悟³⁾
(¹⁾第二病院外科, ²⁾同放射線科, ³⁾同病理部): [一般講演] 特殊な再開発を呈した肺肉腫の 1 例. 第106回日本肺学会関東部会, 1993.

[多摩永山病院内科]

研究概要

当科では虚血性心疾患, 高血圧症, 低血圧症などの循環器疾患を中心に気管支喘息についても臨床研究を行っている.

1) 循環器疾患: 万歩計組み込みホルター心電計, 24時間血圧計, 運動負荷試験, 心拍変動パワースペクトル解析, インピーダンス法を用い, 疾患の重症度と病態, 循環動態の特徴, 各種病態と薬物療法の意義などにつき学会報告した. これらテーマにつき引き続き研究を行っている.

2) 気管支喘息: これまでは気管支喘息を治療面より検討してきたが, 種々の解析法を用いる事により臨床面から発症機序につき検討中である.

3) 薬剤科との共同研究: より安全で有効な治療法確立のため TDM (therapeutic drug monitoring) を臨床に取り入れている. 現在, 各種薬剤が気管支拡張薬の薬物動態に及ぼす影響やうっ血性心不全が薬物動態に及ぼす影響, MRSA 予防のための抗生剤使用法などについて研究中である.

研究業績

論文

- 1) 大津文雄: [綜説] 不整脈の診断と治療; 最近のトピックスを中心として. 北多摩医師会報, 16, 31~33, 1992.
- 2) 北川泰之¹⁾, 前田昭太郎¹⁾, 今泉孝敬, 稲福睦美, 小口直彦²⁾, 浅野伍朗²⁾ (¹⁾多摩永山病院・病理部, ²⁾病理学第2): [報告] 5 重複癌の 1 剖検例 (症例). 癌の臨, 38, 825~832, 1992.
- 3) 大津文雄, 鈴木 健, 長澤紘一, 斎藤 勉¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科学第1): [原著] 労作狭心症における運動負荷試験成績の変動幅と治療後の改善度. 心臓, 24, 6~8, 1992.
- 4) 大木清司, 鈴木 健: [原著] ホルター心電図における ST 変化; 検査データを考える. 検と技, 20, 731~734, 1992.
- 5) 大須賀勝, 上田洋一¹⁾, 黒川浩史¹⁾, 岡山達也¹⁾, 荒牧琢己¹⁾ (¹⁾内科学第1): [綜説] 肝硬変と食道静脈瘤; 併存疾患の薬物治療. 治療, 75, 321~324, 1993.
- 6) 大津文雄: [綜説] 報告書を受ける医師の立場から; TDM における動態解析と報告書作成. TDM 研, 10, 8~10, 1993.
- 7) 大津文雄: [綜説] 労作狭心症患者における無症候性心筋虚血発作に対する β 遮断薬・Ca 拮抗薬の有用性とその差異. 循環制御, 14, 17~20, 1993.
- 8) 長澤紘一: [総説] 本態性低血圧症患者の血圧日内変動. 医のあゆみ, 164, 607, 1993.
- 9) Koumi S., Sato R.¹⁾, Katori R.¹⁾, Hisamoto I.¹⁾, Nagasawa K., and Hayakawa H.¹⁾ (¹⁾1st internal medicine: [原著] Sodium channel states control binding and unbinding behaviour of antiarrhythmic drugs in cardiac myocytes from the guinea pig. Cardiovasc. Res., 26, 1199~1205, 1992.
- 10) 長野具雄, 小海信一, 荒牧琢己¹⁾, 佐藤良一²⁾ (¹⁾内科学第1, ²⁾近畿大学医学部内科学第1): [原著] モルモット分離肝細胞の膜電流に及ぼす細胞内酸性化の影響と緩衝機序. 第9回 肝代謝研究会報告集, 1992.

著書

- 1) 長澤紘一：〔分担〕交感神経刺激薬：低血圧治療薬。“腎臓学 key notes”（長澤俊彦監修），P. 207～208，東京医学社，1992。

学会発表

- 1) 大津文雄，鈴木 健，長澤紘一，岸田 浩¹⁾，早川弘一¹⁾。（¹⁾内科学第1）：〔一般講演〕労作狭心症患者における無症候性発作と狭心症発作の関係。第89回日本内科学会総会，1992。
- 2) Otsu, F., Saitoh, T.¹⁾, Kishida, H.¹⁾, Katoh, K.²⁾, and Kawakubo, K.³⁾ (¹⁾1st Internal Medicine, ²⁾Cardiovascular Institute, ³⁾Internal Medicine, Tokyo University)：〔一般講演〕Different of atenorol and diltiazem on symptomatic and asymptomatic myocardial ischemia in patients with stable angina pectoris. 5th International Congress on Ambulatory Monitoring (Saint Louis), 1992
- 3) Suzuki, T., Otsu, F., Tukamoto, H., Kurihara, H., Manabe, T., Ohkuni, S., Nagasawa, K., Kishida, K.¹⁾, and Hayakawa, H.¹⁾ (¹⁾1st Internal Med.)：〔一般講演〕Relationship between incidence of asymptomatic and symptomatic myocardial ischemia in patients with stable angina. 5th International Congress on Ambulatory Monitoring (Saint Louis), 1992.
- 4) 堀川龍是¹⁾，真鍋辰哉²⁾，富田喜文²⁾，太田真夫²⁾，橋本英洋²⁾，清水順治²⁾，大竹 稔²⁾，早川弘一²⁾（¹⁾三菱重工健康管理センター，²⁾内科学第1）：〔一般講演〕糖尿病コントロールの指標としての1,5-anhydro-D-glucitol。第35回日本糖尿病学会年次学術集会，1992。
- 5) 太田真夫¹⁾，杉木雄治，真鍋辰哉，中村辰男¹⁾，富田喜文¹⁾，草間芳樹¹⁾，清野精彦¹⁾，田中啓治¹⁾，橋本英洋¹⁾，清水順治¹⁾，高野照夫¹⁾，大竹 稔¹⁾，早川弘一¹⁾（¹⁾内科学第1）：〔一般講演〕糖尿病と不整脈；心筋梗塞急性期での検討。第35回日本糖尿病学会年次学術集会，1992。
- 6) 荒尾正人，亀山元帥，鈴木 健，洪 芳樹，小宮山徹三，杉木雄治，大津文雄，長澤紘一，前田昭太郎¹⁾，早川弘一²⁾（¹⁾多摩永山病院病理，²⁾内科学第1）：〔一般講演〕アスペルギルス心筋内浸潤により心筋梗塞再発作が疑われた1剖検例。日本循環器学会関東甲信越地方会第144回学術集会，1992。
- 7) 山中博之，長澤紘一，真鍋辰哉，大國眞一，小原啓子，鈴木 健，大津文雄：〔展示〕本態性低血圧患者の血圧日内変動と心理テスト。第33回日本心身医学会総会，1992。
- 8) 荒尾正人，大津文雄，山中博之，鈴木 健，長澤紘一，斎藤 勉¹⁾，岸田 浩¹⁾，早川弘一¹⁾（¹⁾内科学第1）：〔一般講演〕未治療安定労作狭心症例における狭心症発作の再現性；ホルター心電図による検討。第13回ホルター心電図研究会，1992。
- 9) Okuni, S., Suzuki, T., Otsu, F., Kurihara, H., Ohki, K., Manabe, T., Tsukamoto, H., Yamanaka, H., Nagasawa, K., and Hayakawa, H.¹⁾ (¹⁾1st Internal Med.): 〔一般講演〕Mechanism of exercise-induced ST-segment elevation in patients with myocardial infarction. XIX International Congress on Electrophysiology (Lisbon), 1992.
- 10) 田中 隆，鈴木 健，大津文雄，長澤紘一，加藤貴雄¹⁾，早川弘一¹⁾，高野照夫²⁾（¹⁾内科学第1，²⁾集中治療室）：〔一般講演〕急性心筋梗塞に合併する房室ブロックの臨床的特徴とその発現メカニズム。第12回心筋梗塞研究会，1992。
- 11) Yamanaka, H., Manabe, T., Kobayasi, K., Tanaka, K., Suzuki, T., Otsu, F., Nagasawa, K., Kishida, H.¹⁾, and Hayakawa, H.¹⁾ (¹⁾1st Inter. Med.): 〔展示〕Effect of carteolol hydrochloride on norepinephrine and CAMP levels during exercise test in patients with hypertension. Vth World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics (Yokohama), 1992.
- 12) 石渡統夫¹⁾，奥田朗夫¹⁾，恩田玲子¹⁾，酒井艶枝¹⁾，飯野幸永¹⁾，長澤紘一（¹⁾多摩永山病院中央検査室）：〔一般講演〕HB ワクチン接種4年後の抗体価の推移。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 13) 佐藤知枝¹⁾，柴田明佳¹⁾，飯野幸永¹⁾，畝本賜男²⁾，村田正弘²⁾，北村誠一³⁾，石川富雄⁴⁾，本間妙子⁵⁾，福岡イツ子⁵⁾，

- 野口 素⁵⁾, 鈴木 健, 田中洋介⁶⁾(¹多摩永山病院中央検査室, ²同薬剤科, ³同放射線科, ⁴同栄養科, ⁵同看護部, ⁶同消化器科): [一般講演] 多摩永山病院における定期的細菌検査について (第4報), 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 14) 柴田明佳¹⁾, 佐藤知枝¹⁾, 飯野幸永¹⁾, 畝本賜男²⁾, 村田正弘²⁾, 北村誠一³⁾, 石川富雄⁴⁾, 本間妙子⁵⁾, 野口 素⁵⁾, 政次富美子⁵⁾, 鈴木 健, 田中洋介⁶⁾, 吉岡正智⁷⁾(¹多摩永山病院中央検査室, ²同薬剤科, ³同放射線科, ⁴同栄養科, ⁵同看護部, ⁶同消化器科, ⁷同外科): [一般講演] 当院における院内環境調査 (第2報); 手術室について, 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
 - 15) 真鍋辰哉, 鈴木 健, 大津文雄, 山中博之, 長澤紘一, 早川弘一¹⁾ (¹内科学第1): [一般講演] 高血圧患者の運動負荷試験に対する心行動態の変動, 第145回日本循環器学会関東甲信越地方会学術集会, 1992.
 - 16) Nagasawa, K., Kurihara, H., Yamanaka, H., and Hatta, S., : [Symposium] Relation of blood pressure circadian rhythm to cardiovascular complaints and orthostatic test results in patients orthostatic dysregulation. (Thema : Ortho-static dysregulation). 16th World Congress of the International Union of Angiology (Paris, 1992.)
 - 17) 山中博之, 大國眞一, 真鍋辰哉, 鈴木 健, 大津文雄, 長澤紘一, 早川弘一¹⁾ (¹内科学第1): [一般講演] ヘルスカウンター組み込み型ホルター心電計の有用性, 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
 - 18) 大須賀勝, 勝田悌実¹⁾, 荒牧琢己¹⁾ (¹内科学第1): [一般講演] 門脈圧亢進症ラットモデルにおける肝血行動態に対するニブラジロール(NIP)の効果; プロプラノール(PR)との比較検討, 第34回日本消化器学会大会, 1992.
 - 19) 大津文雄: [シンポジウム] 報告を受ける医師の立場から; TDM における動態解析と報告書作成, 第9回日本TDM学会, 1992.
 - 20) 栗原広孝, 鈴木 健, 大國眞一, 山中博之, 真鍋辰哉, 大木清司, 長澤紘一, 早川弘一¹⁾ (¹内科学第1): [一般講演] 高血圧症患者における運動負荷試験に対する血行動態の変化; インピーダンス法による検討, 第29回日本臨床生理学会総会, 1992.
 - 21) 真鍋辰哉, 大津文雄, 鈴木 健, 長澤紘一, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹内科学第1): [一般講演] 労作狭心症患者における無症候性心筋虚血発作の年齢者と若年者の臨床的意義の差異, 第34回日本老年医学会総会, 1992.
 - 22) 杉木雄治, 太田真夫¹⁾, 富田喜文¹⁾, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 橋本英洋¹⁾, 清水順治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 大竹 稔¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹内科学第1): [一般講演] 高齢者糖尿病症例における心筋梗塞急性期での心室頻拍の発生状況, 第34回日本老年医学会総会, 1992.
 - 23) 北山浩気, 鈴木 健, 大津文雄, 葉梨亜矢, 山中博之, 佐々木美典, 長野具雄, 真鍋辰哉, 大木清司, 田中 隆, 田中邦夫, 大須賀勝, 杉木雄治, 長澤紘一: [一般講演] 時系列解析法による気管支喘息発作の季節的変動と気候的諸因子の関係, 日本医科大学医学会第78回例会, 1992.
 - 24) 大木清司, 鈴木 健, 大津文雄, 真鍋辰哉, 長澤紘一, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹内科学第1): [一般講演] 心筋虚血の程度とニトログリセリンテープ連用の関係, 第13回日本臨床薬理学会, 1992.
 - 25) 大須賀勝, 寺田秀人¹⁾, 関山達也¹⁾, 勝田悌実¹⁾, 荒牧琢己¹⁾ (¹内科学第1): [一般講演] 正常ラットの臓循環に及ぼすヒト Atrial natriuretic peptide の効果, 第79回日本消化器病学会総会, 1993.

2. 内科学第二講座

〔第一病院内科〕

研究概要

内科学第二講座は神経内科学を主たる診療科目に据えており、主要研究テーマを脳血管障害の病態究明においている。そこから得られた最新の知見は臨床治療の面に応用されている。研究にあたっては動物実験に基づく基礎的なアプローチと、実際の診断・治療に基づく臨床的なアプローチの両面から取り組んでいる。

実験的研究は(1) 脳虚血急性期の病態および治療、(2) 脳血管性痴呆と関連する遅発性神経細胞壊死のメカニズムの二大テーマにつき、いくつかの動物実験モデルを用い、病理組織学・脳循環代謝・脳浮腫の面から検討を行っているが、近年はそれらの手法に加え、MRI・マイクロアッセイ・免疫組織化学・gene expressionなどの応用によりさらに多角的な検討をすすめている。

一方、臨床においては今後高齢人口の比率上昇に伴って増加の予想される痴呆に対し、PET, MRI, SPECTなどの画像診断機器を利用した研究が行われ、また脳卒中急性期の症例に対する新しい治療法の試みがなされている。さらに、変性疾患における脳循環代謝の変動についての検討も行われている。

さらに、脳血管障害の重要な基礎疾患である高血圧症、高脂血症に対する研究が疫学および動物実験による細胞・組織学方面より行われている。このグループの多年にわたる八丈島の町民検診に基づく疫学調査は多方面から評価されている。

こうした脳血管障害に対する研究のほか、当教室では第一病院人工透析室をあずかるグループがあり、従来から行われてきた透析を中心とした研究に加え、平成元年度より開始された腎移植は現在症例数も増加している。また、糸球体腎炎に対するサイトカイン(TGF など)の役割について研究を進めており、さらに厚生省腎傷害研究班の一員として多嚢胞腎の調査研究も行っている。

以上、当教室には四つの研究グループがあり、国内外の関係学会において幅広く活発な活動を行い、多くの論文を発表している。

研究業績

論文

- 1) Memezawa, H., Minamisawa, H., Smith, M.-L.¹⁾, and Siesjö, B.K.¹⁾ (¹⁾Experimental Brain Research, Lund University, Sweden): [原著] Ischemic penumbra in a model of reversible middle cerebral artery occlusion in the rat. *Exp. Neurol.*, 89, 67~78, 1992.
- 2) Katsura, K., Ekholm, A.¹⁾, and Siesjö, B.K.¹⁾ (¹⁾Experimental Brain Research, Lund University, Sweden): [原著] Coupling among changes in energy metabolism, acid base homeostasis and ion fluxes in ischemia. *Can. J. Phys. Pharm.*, 70, 170~175, 1992.
- 3) 勝又俊弥, 北村 伸, 稲村憲治, 赫 彰郎: [原著] Hemiballismusの臨床所見とCT所見との比較. *日老医誌*, 29, 123~128, 1992.
- 4) 坂本静樹, 赫 彰郎: [総説] Up Date 一過性脳虚血発作; 脳循環代謝から. *現代医療*, 25, 81~87, 1993.
- 5) 柏木史彦, 片山泰朗, 目々澤肇, 赫 彰郎: [原著] 高張溶液 (glycerol) の実験的脳虚血に及ぼす効果; Part 2, 投与量に関する検討. *脳卒中*, 14, 179~186, 1992.
- 6) 木村俊介, 片山泰朗, 赫 彰郎: [原著] 頭蓋温度調節下における砂ネズミ海馬 CA1の遅発性神経細胞壊死に対するインドメタシンの効果. *日医大誌*, 59, 335~343, 1992.
- 7) Katsura, K., Asplund, B.¹⁾, Ekholm, A.¹⁾, and Siesjö, B.K.¹⁾ (¹⁾Experimental Brain Research, Lund Univer-

- sity, Sweden): [原著] Extra-and intracellular pH in the brain during ischemia, related to tissue lactate content in normo-and hypercapnic rats. *Euro. J. Neurosci.*, 4, 166~176, 1992.
- 8) Hasegawa, T.¹⁾, Koyama, J., Takagi, S., Nisimaki, K.¹⁾, Morita, K.¹⁾, and Nakajima, S.¹⁾ (¹⁾老人病研究所): [原著] Plasma homocysteine levels in rabbits fed a high cholesterol diet. *動脈硬化*, 20, 57~59, 1992.
 - 9) Iino, Y.: [原著] Improvement of renal function in transplanted kidneys with a new immunosuppressive drug, 15-deoxyspergualin. *Transplantation Proceeding*, 24, 1381~1382, 1992.
 - 10) 飯野靖彦: [総説] 透析患者の神経系異常. *医学のあゆみ* (別冊), 347~349, 1992.
 - 11) 福生吉裕: [総説] 外来での高脂血症の診断とその治療. *岡崎医報*, 37, 20~21, 1992.
 - 12) 北村 伸, 保津豊徳, 赫 彰郎: [原著] 慢性期脳梗塞患者における TA-3090の有用性と脳血流量に与える影響についての検討. *診療と新薬*, 29, 1072~1082, 1992.
 - 13) 小林陽二, 渋谷敏道, 越 泰彦, 金川卓郎¹⁾ (¹⁾愛生会田尻ヶ丘病院): [原著] 老年期脳性小児麻痺例における難治性麻痺性イレウスに対するツムラ大建中湯の効果についての検討. *漢方医学*, 16, 238~241, 1992.
 - 14) 手塚博幸, 赫 彰郎: [総説] 側頭動脈炎. *医学と薬学*, 27, 1118~1128, 1992.
 - 15) 手塚博幸, 加部直美, 赫 彰郎: [総説] 片頭痛と動脈硬化関連リスクファクター. *頭痛研究会会誌*, 19, 20~23, 1992.
 - 16) 飯野靖彦: [総説] 内科医のための救急: 浮腫. *モダン・フィジシャン*, 12, 676~677, 1992.
 - 17) 飯野靖彦, 丸茂文昭, 篠田 悟, 長沢俊彦, 前川正信: [原著] 血液透析における低分子ヘパリンの至適投与量. *医学と薬学*, 28, 375~385, 1992.
 - 18) 酒井聡一¹⁾, 宗 正敏²⁾, 飯野靖彦, 大坪 修³⁾, 杉野信博⁴⁾ (¹⁾慈恵会医科大学, ²⁾和歌山県立医科大学, ³⁾虎ノ門病院, ⁴⁾東京女子医科大学): [原著] 難治性ネフローゼ症候群にたいする LDL 吸着療法の臨床効果. *腎と透析*, 33, 321~328, 1992.
 - 19) 成瀬達郎¹⁾, 小林陽二, 加藤一彦²⁾, 丁 宗³⁾ (¹⁾昭和大学付属豊洲病院, ²⁾東京女子医科大学第2内科, ³⁾北里研究所付属東洋医学総合研究所): [総説] 夏の疲労と漢方薬. *都医ニュース*, 325, 11~12, 1992.
 - 20) 赫 彰郎: [総説] 老年期痴呆の画像診断; 特に脳循環代謝の面から. *老年精医誌*, 3, 774, 1992.
 - 21) 赫 彰郎: [総説] 脳血管性痴呆の診断と治療の現況. *東京医師会誌*, 45, 9~14, 1992.
 - 22) 赫 彰郎, 平井俊策¹⁾, 丸山勝一²⁾ (¹⁾群馬大学医学部神経内科, ²⁾東京女子医科大学脳神経センター神経内科): [総説] 脳血管障害に対する塩酸インデロキサジン2%散剤の臨床効果. *診療と新薬*, 29, 209~220, 1992.
 - 23) 山崎峰雄, 荒木俊彦, 今津 修, 北村 伸, 赫 彰郎: [原著] Machado-Joseph 病の1例; 脳循環代謝所見の検討. *臨床神経学*, 32, 755~757, 1992.
 - 24) 大坪孝一, 片山泰朗, 赫 彰郎: [原著] スナネズミ海馬における虚血性神経細胞傷害に対する高張溶液の効果. *脈管学*, 32, 661~614, 1992.
 - 25) 手塚博幸, 加部直美, 赫 彰郎: [原著] 群発頭痛に対する prednisolone の予防的治療効果. *神経治療学*, 9, 363~367, 1992.
 - 26) 福生吉裕, 仲間一雅¹⁾, 清水まさえ¹⁾ (¹⁾実験動物管理室): [原著] コレステロール負荷ウサギにおける繊維 (リンゴファイバー) の脂質代謝に及ぼす影響について. *Therapeutic Research*, 13, 517~522, 1992.
 - 27) 越 泰彦, 赫 彰郎: [総説] 脳血流量の画像化と使用機器. *日本医事新報*, 3563, 130, 1992.
 - 28) 稲村憲治, 赫 彰郎: [総説] 特集・脳梗塞急性期の治療; 抗脳浮腫療法. *脳神経*, 44, 779~785, 1992.
 - 29) Memezawa, H., Smith, M.-L.¹⁾, SiesjöD, B.K.¹⁾ (¹⁾Experimental Brain Research, Lund University, Sweden): [原著] Penumbra tissues salvaged by reperfusion following middle cerebral artery occlusion in rats. *Stroke*, 23, 552~559, 1992.
 - 30) 河辺満彦, 清水光義, 竹内正至, 松信精一, 葉山修陽, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎: [原著] 維持透析療法

導入期における経口1-25(OH)₂D3パルス療法の試み, 日腎会誌, 34, 807~811, 1992.

- 31) 飯野靖彦:〔総説〕腎不全の診断と検査. 東京医師会誌, 45, 1059~1068, 1992.
- 32) 飯野靖彦:〔総説〕腎移植患者のケア. 臨成人病, 22, 1894~1895, 1992.
- 33) 飯野靖彦:〔総説〕成人病型多発性嚢胞腎. 内科, 69, 1215~1218, 1992.
- 34) 飯野靖彦:〔原著〕移植腎の生理;特に電解質代謝について. 日腎会誌, 34, 1240~1241, 1992.
- 35) 小林陽二, 大村直子, 高木信一, 福生吉裕, 赫 彰郎:〔原著〕高 EPA 血症の血液凝固線溶系への影響;経管栄養剤への EPA 添加による検討. JJPEN, 14, 1345~1349, 1992.
- 36) 大友英一¹⁾, 田代邦雄²⁾, 小暮久也³⁾, 赫 彰郎 (¹⁾浴風会病院, ²⁾北大神経内科, ³⁾東北大神経内科):〔原著〕Benzothiazepine 系 Ca⁺⁺拮抗薬 TA-3090の慢性期脳血管障害に対する効果;Nicardipine を対照とした二重盲検試験. Clin. Eval., 20, 359~400, 1992.
- 37) 原 一男:〔総説〕慢性透析療法の現況といくつかの合併症について. 日医大誌, 59, 433~436, 1992.
- 38) 長尾毅彦, 浜本 真¹⁾, 萩原万里子, 神田明美, 市堰 肇, 宮崎徳蔵¹⁾, 一瀬邦弘²⁾, 田中邦明²⁾, 小倉三津雄²⁾, 津島隆也³⁾, 伊藤雄一⁴⁾(¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科, ²⁾同精神科, ³⁾同健康管理室, ⁴⁾同臨床病理科):〔原著〕老年期痴呆における血清 α 1-Antichymotrypsin の臨床的検討. 日老医会誌, 29, 778~781, 1992.
- 39) 山崎峰雄, 浜本 真¹⁾, 長尾毅彦¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 赫 彰郎 (¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科):〔原著〕高齢者脳血栓症急性期における hypervolmic hemodilution therapy の検討. 脳卒中, 14, 467~471, 1992.
- 40) 福生吉裕:〔総説〕解明され始めた単球/マクロファージと内皮の遭遇. Physician's Journal, 1, 37~41, 1992.
- 41) 高木信一, 福生吉裕, 瀬田健一¹⁾, 斉藤俊光²⁾, 中島克行²⁾, 長谷川卓志³⁾, 中島信治³⁾, 赫 彰郎 (¹⁾博慈会老人病研究所付属病院, ²⁾日本抗体研究所, ³⁾老人病研究所):〔原著〕慢性期脳梗塞患者における血中 Remnant-like Particle (Lipo-Z) アポリポ蛋白および血清脂質の検討. 動脈硬化, 20, 675~679, 1992.
- 42) 福生吉裕:〔総説〕ストレスと脂質代謝・イライラで増えるコレステロール;壮年の健康とコレステロール. 健康と食生活, 10, 8~12, 1992.
- 43) 片山泰朗:〔総説〕脳梗塞の治療・最近の考え方;内科の立場から. 東京医師会誌, 45, 910~916, 1992.
- 44) 目々澤肇, 赫 彰郎, Smith, M.-L.¹⁾, Siesjö, B.K.¹⁾(¹⁾Laboratory for Experimental Brain Reserch, University of Lund, Sweden):〔原著〕ラット中大脳動脈閉塞モデルにおける Ischemic Penumbra; Time window の検討. Brain Hypoxia, 6, 47~55, 1992.
- 45) 永島幹夫, 松井 南¹⁾(¹⁾老人病研究所):〔原著〕スカベンジャー受容体関連蛋白のクローニング. 実験医学, 10, 2458~2464, 1992.
- 46) 小林陽二, 福生吉裕, 赫 彰郎, 金川卓郎¹⁾(¹⁾愛生会田尻ヶ丘病院):〔原著〕動脈硬化症と耳朶皺襞(Diagonal Earlobe Crease)との関連性についての検討;お血の臨床的一所見としての有用性について. 日東洋医会誌, 43, 263~273, 1992.
- 47) 柏木史彦, 片山泰朗, 神谷達司, 赫 彰郎:〔原著〕高張溶液(glycerol)の実験的脳虚血に及ぼす効果;Part 3 投与方法に関する検討. 脳卒中, 14, 583~590, 1992.
- 48) Katayama, Y., Kashiwagi, F., Memezawa, H., and Terasi, A.:〔原著〕Effect of a prostacyclin derivative (OP-41483) and a hyperosmotic agent (glycerol) on brain edema and metabolism in cerebral ischemia. Jpn. Circ. J., 56, 1239~1247, 1992.
- 49) Terasi, A.:〔総説〕Visual diagnosis of cerebral vascular diseases using CT, MRI, SPECT and PET. Supplement of China-Japan Medical Conference, 27~33, 1992.
- 50) 永積 惇:〔総説〕脳卒中の診断と内科的治療. 埼玉医会誌, 27, 109~114, 1992.
- 51) 赫 彰郎, 海江田亮:〔原著〕脳血管障害における脳室周囲白質病変の研究. 平成3年度厚生省循環器病研究委託費による研究報告集, 180~180, 1992.
- 52) 赫 彰郎, 萩原万里子:〔総説〕脳出血(急性期・慢性期). 臨床成人病, 22, 1658~1659, 1992.

- 53) 飯野靖彦：〔原著〕腎移植患者のケア。臨床成人病，22，1894～1895，1992。
- 54) 飯野靖彦：〔総説〕腎疾患の診断に必要な諸検査；腎不全の診断と検査。東京医師会誌，45，1059～1063，1992。
- 55) 永島幹夫，福生吉裕，松井 南¹⁾（¹⁾老人病研究所）：〔原著〕スカベンジャー受容体関連蛋白（SCR-1）の cDNA クローニング。Therapeutic Research，13，4677～4685，1992。
- 56) 目々澤肇，片山泰朗，赫 彰郎：〔総説〕主要疾患の新しい話題'93・脳血管障害；局所脳虚血に対する最近のアプローチ。Medicament News，1390，9～12，1993。
- 57) 赫 彰郎，手塚博幸：〔総説〕頭痛の診断と治療；片頭痛，群発頭痛。日内会誌，82，41～49，1993。
- 58) 永積 惇，赫 彰郎：〔総説〕脳血管性痴呆と尿失禁。老年精医誌，4，32～37，1993。
- 59) 本田治久，小林陽二，福生吉裕，赫 彰郎：〔総説〕在宅栄養療法の現状と問題点；老人における問題点。JJPEN，15，27～31，1993。
- 60) Fukuo, Y., and Takagi, S.：〔原著〕Comparison with levels of apoproteins in Chiangmai people and Japanese. South-East Asia Med. Res., 25，93～96，1993。
- 61) Kambara, R., Fukuo, Y., Hada, K., Hasegawa, T.¹⁾, and Terashi, A.（¹⁾老人病研究所）：〔原著〕Sonic stress as one of the cardinal risk factors for atherosclerosis. J. Nippon Med. Sch., 60，74～76，1993。
- 62) 柏木哲也，飯野靖彦：〔総説〕腎栄養学；腎不全における消化管機能。腎と透析，33，132～135，1993。
- 63) 手塚博幸，赫 彰郎：〔総説〕虚血性脳血管障害。循環科学，13，154～157，1993。
- 64) 赫 彰郎，駒場祐一：〔総説〕脳血管障害の診断，治療における PET の役割。治療学，27，47～50，1993。
- 65) 飯野靖彦：高脂血症を伴う慢性腎不全。今月の治療，1，33～34，1993。
- 66) 中島敦夫，飯野靖彦：〔総説〕悪性腫瘍と高カルシウム血症。治療，75，77～83，1993。
- 67) 飯野靖彦，中島敦夫：〔原著〕ビタミン D パルス療法と 22oxa-, 25-(OH)₂D₃。治療，75，877，1993。
- 68) 三好功峰¹⁾，中村重信²⁾，平井俊策³⁾，赫 彰郎（¹⁾兵庫医科大学精神神経科，²⁾広島大学内科第三，³⁾群馬大学神経内科）：〔総説〕老年期痴呆をめぐる諸問題。老年精医誌，4，81～93，1993。
- 69) 片山泰朗：〔総説〕微小な脳梗塞は早期予防が極めて大事で特に注意したいのはこんな人。わかさ，4，115～116，1993。
- 70) 片山泰朗：〔総説〕脳梗塞の前ぶれは頭痛・手足のしびれなど多いが特に見逃せない症状はこれ。わかさ，4，117～119，1993。
- 71) Katsura, K., Ekholm, A.¹⁾, and Siesjö, B.K.¹⁾（¹⁾Experimental Brain Research, Lund University, Sweden）：〔原著〕Tissue PCO₂ in brain ischemia related to lactate content in normo-and hypercapnic rats. J. Cereb. Blood. Flow Metab., 12，270～280，1992。
- 72) Katsura, K., Minamisawa, H., Ekholm, A.¹⁾, Folbergrová, J.²⁾, and Siesjö, B.K.¹⁾（¹⁾Experimental Brain Research, Lund University, Sweden, ²⁾Institute of Physiology, Czechoslovak Academy of Science, Czechoslovakia）：〔原著〕Changes of labile metabolites during anoxia in moderately hypo- and hyperthermic rats；Correlation to membrane fluxes of K⁺. Brain Research，590，6～12，1992。
- 73) 飯野靖彦，松信精一：〔総説〕移植後の高脂血症。腎と透析，34，71～74，1993。
- 74) 丸茂文昭¹⁾，飯野靖彦（¹⁾東京医科歯科大学）：〔原著〕ブドウ糖加重炭酸透析液 GA-1088 の臨床評価。基礎と臨床，27，495～505，1993。
- 75) 丸茂文昭¹⁾，飯野靖彦（¹⁾東京医科歯科大学）：〔原著〕慢性腎不全患者における GA-1088 の臨床評価。基礎と臨床，27，507～524，1993。
- 76) 丸茂文昭¹⁾，飯野靖彦（¹⁾東京医科歯科大学）：〔原著〕慢性腎不全患者における GA-1088 の一般臨床試験。基礎と臨床，27，525～539，1993。
- 77) 坂本静樹，赫 彰郎：〔総説〕Up Date 一過性脳虚血発作；脳循環代謝から。現代医療，25，81～87，1993。

著 書

- 1) 赫 彰郎, 片山泰朗, 柏木史彦: [分担] 脳循環代謝改善薬と脳代謝; 脳循環代謝改善薬. (大友英一編). P. 23~34, 医薬ジャーナル社, 1992.
- 2) 飯野靖彦: [分担] 高カリウム血症; 今日の診断指針第3版(日野原重明, 阿部正和監修). P. 89, 医学書院, 1992.
- 3) 飯野靖彦: [分担] 多尿・乏尿・無尿; 尿細管間質性疾患; 臨床診断学検査編第3版(高久史麿, 尾形悦郎監修). P. 399~400 & P. 417~419, 1992.
- 4) 飯野靖彦: [分担] 過酸化脂質: 腎臓病学 keynotes (長沢俊彦監修). P. 125, 東京医学社, 1992.
- 5) 福生吉裕: [翻訳] アルツハイマー病に対するアセチル-L-カルニチン (Spagnoli, A. 著). 1, P. 39~44, Physician's Journal, 1992.
- 6) 福生吉裕: [翻訳] 糖尿病性網膜症に対するアスピリンの効果 (early treatment diabetic retinopathy study research group 編). Vol. 1, No. 2, P. 39~44, Physician's Journal, 1992.
- 7) 福生吉裕: [翻訳] 病気を防ぐ血液のはなし. 研友出版, 1992.
- 8) 福生吉裕: [翻訳] 早期パーキンソン病に対する Selegiline (Myllyla, V.V. et al. 著, Vol. 1, No. 6, P. 39~44, Physician's Journal, 1992.
- 9) 福生吉裕: [翻訳] 閉経後のエストロジェン補充療法に続く冠動脈疾患と脳卒中 (Stampfer, M.J. et al. 著). Vol. 1, No. 1, P. 43~47, Physician's Journal, 1992.
- 10) 福生吉裕: [翻訳] プロプラノールの併用は食道静脈瘤の内視鏡的硬化療法に有効 (Vinel, J.P. et al. 著). Vol. 1, No. 8, P. 40~44, Physician's Journal, 1992.
- 11) 赫 彰郎, 駒場祐一: [分担] 脳血管性痴呆; 皮質白質広範虚血型(前頭葉). (大友英一, 平井俊策編), P. 16~17, メディカルビュー社, 1992.
- 12) 赫 彰郎, 駒場祐一: [分担] 脳血管性痴呆; 皮質白質広範虚血型(後頭葉). (大友英一, 平井俊策編), P. 18~19, メディカルビュー社, 1992.
- 13) 赫 彰郎, 酒寄 修: [分担] 脳血管性痴呆; 小梗塞多発型 (大友英一, 平井俊策編), P. 22~23, メディカルビュー社, 1992.
- 14) 赫 彰郎: [分担] 脳血管性痴呆の予知. (平山恵造編集), モダンクリニカルポイント・神経内科. P. 80~81, 金原出版, 1992.
- 15) 福生吉裕: [翻訳] ヒトおよびブタ・インスリンでの低血糖症状の比較 (Colagiuri, S. et al. 著). Vol. 2, No. 1, P. 40~44, Physician's Journal, 1993.
- 16) Inamura, K., and Terashi, A.: [分担] Pathophysiology of Stroke; Prospects in Aging. (Dall, J.L.C., Ermini, M., Herrling, P.L., Lehr, U., Meier-Ruge, W. and Staehelin 編), P. 239~261, Academic Press (London), 1993.
- 17) 福生吉裕: [翻訳] 血清インスリン値と高血圧症メタアナリシス (Denker PS et al. 著). Vol. 2, No. 3, P. 45~50, Physician's Journal, 1993.
- 18) 飯野靖彦: [分担] 成人型多発性嚢胞腎; 今日の治療指針1993(日野原重明, 阿部正和監修). P. 427, 医学書院, 1993.
- 19) 赫 彰郎: [分担] 脳梗塞の治療と予防. (日野原重明, 阿部正和監修), 今日の治療指針. P. 193~194, 医学書院, 1993.

学会発表

- 1) 福生吉裕: [特別講演] 動脈硬化と高脂血症; その対策. 伊東市医師会生涯教育講演会, 1992.
- 2) 北村 伸, 酒寄 修: [一般講演] 脳室周囲高信号域と痴呆; 多発性梗塞における脳循環代謝面からの検討. 第

89回日本内科学会総会, 1992.

- 3) 北村 伸, 酒寄 修, 小宮山佐, 荒木俊彦, 駒場祐一, 赫 彰郎: [一般講演] 脳室周囲高信号域と痴呆; 多発性脳梗塞における脳循環代謝面からの検討. 第89回日本内科学会総会, 1992.
- 4) 福生吉裕, 小林陽二, 高木信一, 本田治久, 赫 彰郎, 瀬田健一¹⁾ (¹博慈会老人病研究所附属病院): [一般講演] 脳卒中再発予防のための経管栄養剤の研究 (第7報); EPA rich 経管栄養剤の場合. 第59回日本内科学会総会, 1992.
- 5) 福生吉裕: [一般講演] 動脈硬化; 予防と高脂血症治療の実践. 内科医会, 1992.
- 6) 飯野靖彦: [ワークショップ] 移植腎の生理; Transplant Nephrology の展開. 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 7) 長尾毅彦, 萩原万里子, 宮崎徳蔵¹⁾, 一瀬邦弘²⁾ (¹東京都多摩老人医療センター神経内科, ²同精神科): [一般講演] 老年期痴呆における血清 $\alpha 1$ -Antichymotrypsin 臨床的検討; 第2報. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 8) 浜本 真¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 一瀬邦弘²⁾, 青柳高明²⁾ (¹東京都多摩老人医療センター神経内科, ²同精神科, ³微生物化学研究所): [一般講演] Alzheimer 型痴呆における血清 protease の検討. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 9) 山室 学, 桑原武夫¹⁾, 湯浅龍彦¹⁾, 片山泰朗, 辻 省二¹⁾, 赫 彰郎 (¹新潟大学神経内科): [一般講演] ラット中大脳動脈閉塞モデル虚血巣のMRSによる観察. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 10) 宮崎徳蔵¹⁾, 浜本 真¹⁾, 長尾毅彦¹⁾, 赫 彰郎 (¹東京都多摩老人医療センター神経内科): [一般講演] 凝血学的指標を用いた老年者虚血性脳血管障害の治療. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 11) 白田和弘, 稲村憲治, 南澤宏明, 片山泰朗, 赫 彰郎: [一般講演] 脳虚血後の超急性期における神経細胞障害; 高血糖モデル, 正常血糖モデルでの検討. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 12) 大坪孝一, 片山泰朗, 柏木史彦, 木村俊介, 赫 彰郎: [一般講演] 砂ネズミ海馬における虚血性神経細胞傷害に対する高張溶液の効果. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 13) 小宮山佐, 酒寄 修, 荒木俊彦, 北村 伸, 赫 彰郎: [一般講演] 脳血流階調画像を用いた痴呆性疾患の鑑別. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 14) 大山雅史, 北村 伸, 永積 惇, 赫 彰郎, 千田道雄: [一般講演] 失語症におけるPETによる言語負荷中の局所脳血流量の変化について. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 15) 小林陽二, 福生吉裕, 赫 彰郎, 金川卓郎¹⁾ (¹愛生会田尻ヶ丘病院): [一般講演] 動脈硬化におけるお血の一診断的所見としての耳朶皺襞 (diagonal earlobe crease) の提唱. 第43回日本東洋医学会学術総会, 1992.
- 16) 福生吉裕: [特別講演] 高脂血症の見方と治療. 岡崎市医師会生涯教育講演会, 1992.
- 17) 栗原 怜¹⁾, 清水 章¹⁾, 北村博司¹⁾, 鳴海福星¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 松信精一, 葉山修陽, 桑原道雄²⁾, 坂本尚登²⁾, 秋庭 隆²⁾ (¹春日部秀和病院腎臓内科, ²東京医科歯科大内科第二): [一般講演] 急性腎不全を合併した微少変化型ネフローゼ症候群 (MCNS) に横紋筋融解 toxic epidermal necrolysis (TEN) を併発した1例. 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 18) 清水光義, 津金沢俊和, 中村 正, 竹内正至, 松信精一, 葉山修陽, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎, 馬杉洋三¹⁾ (¹日本医科大学病理部): [一般講演] Wiskott-Aldrich 症候群にIgA腎症を合併した1例. 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 19) 竹内正至, 葉山修陽, 清水光義, 松信精一, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎, 馬杉洋三¹⁾ (¹日本医科大学病理部): [一般講演] 慢性関節リウマチ (RA) にIgA腎症と続発性アミロイドーシスを合併した1剖検例. 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 20) 葉山修陽, 清水光義, 竹内正至, 松信精一, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎, 佐治 守¹⁾, 田口桜子¹⁾ (¹日本医科大学薬剤科): [一般講演] MRSA 尿路感染症に対する0.1%Gentiana Violet 溶液の膀胱洗浄の効果について. 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 21) 松信精一, 葉山修陽, 北村博司, 飯野靖彦, 栗原 怜¹⁾, 清水 章¹⁾, 米島秀夫¹⁾ (¹春日部秀和病院腎センター):

- 〔一般講演〕ステロイド投与が奏効した急性腎不全に伴った重症呼吸不全 (uremic lung) の 1 例, 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 22) 山室 学, 桑原武夫¹⁾, 湯浅龍彦¹⁾, 片山泰朗, 辻 省次¹⁾, 赫 彰郎 (¹⁾新潟大学神経内科): 〔一般講演〕ラット中大脳動脈閉塞モデル虚血巣の MRS による観察. 第33回日本神経学会総会, 1992.
 - 23) 大坪孝一, 木村俊介, 柏木史彦, 飯田 恵, 片山泰朗, 赫 彰郎: 〔一般講演〕スナネズミ海馬における虚血性神経細胞傷害に対する Glycerol および Mannitol の保護効果. 第15回脳浮腫研究会, 1992.
 - 24) 本田治久, 福生吉裕, 秋丸琥甫¹⁾, 寺田由貴²⁾, 仲間一雅²⁾, 赫 彰郎 (¹⁾外科学第2, ²⁾実験動物管理室): 〔一般講演〕胸腺と動脈硬化 (第5報); 胸腺摘出ウサギモデルでの検討. 第24回日本動脈硬化学会総会, 1992.
 - 25) 神原礼文, 永島幹夫, 福生吉裕, 松井 南¹⁾, 赫 彰郎 (¹⁾老人病研究所): 〔一般講演〕Steroid hormone によるマクロファージ PDGF 遺伝子発現の抑制. 第24回日本動脈硬化学会総会, 1992.
 - 26) 永島幹夫, 福生吉裕, 松井 南¹⁾ (¹⁾老人病研究所): 〔シンポジウム〕スカベンジャー受容体関連蛋白 (SCR-1) の cDNA クローニング. 第9回アポ蛋白シンポジウム, 1992.
 - 27) Matsunobu, S., Ozono, E., Nakajima, A., Suga, M., Utsumi, K., Nakamura, T., Shimizu, M., Kitahama, H., Takeuchi, M., Kawabe, M., Hayama, N., Iino, Y., Hara, K., and Terashi, A.: 〔一般講演〕The experience of LDL apheresis in a case of steroid resistant nephrotic syndrome due to FGS. The 4th International Congress of the World Apheresis Association, 1992.
 - 28) 小宮山佐, 酒寄 修, 荒木俊彦, 北村 伸, 赫 彰郎: 〔一般講演〕脳血流階調化画像を用いた痴呆性疾患の鑑別. 第5回日本老年精神医学会, 1992.
 - 29) 酒寄 修, 小宮山佐, 駒場祐一, 荒木俊彦, 北村 伸, 赫 彰郎: 〔一般講演〕脳室周囲高信号域と痴呆の関係について; 脳循環代謝面からの検討. 第5回日本老年精神医学会, 1992.
 - 30) 今津 修, 北村 伸, 永積 惇, 赫 彰郎: 〔一般講演〕アルツハイマー型痴呆に見られる PVL. 第5回日本老年精神医学会, 1992.
 - 31) 赫 彰郎: 〔特別講演〕老年期痴呆の画像診断; 特に脳循環代謝の面から. 第5回日本老年精神医学会, 1992.
 - 32) 一瀬邦弘¹⁾, 田中邦明¹⁾, 浜本 真²⁾, 長尾毅彦, 宮崎徳蔵²⁾, 神田明美, 内山 真³⁾, 大川一子³⁾ (¹⁾東京都多摩老人医療センター精神科, ²⁾同神経内科, ³⁾国立精神・神経センター精神保健研究所): 〔一般講演〕アルツハイマー型痴呆の早期診断と予後予測; 局所脳血流検査の横断的・縦断的検討. 第5回日本老年精神医学会, 1992.
 - 33) 大山雅史, 北村 伸, 赫 彰郎, 千田道雄: 〔一般講演〕事象関連電位 (P300) 潜時正常例と遅延例における聴覚認知課題中の局所脳血流量の変化について; PET action study による検討. 第4回非侵襲脳機能局在研究会, 1992.
 - 34) Fukuo, Y., Takagi, S., Honda, H., Kobayashi, Y., and Terashi, A.: 〔一般講演〕Clinical trial for prevention of recurrence with cerebral infarction by EPA rich tubal alimentation. The 5th World Congress of Pharmacology (Yokohama), 1992.
 - 35) 葉山修陽, 竹内正至, 清水光義, 松信精一, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎, 栗原 怜¹⁾, 米島秀夫¹⁾ (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科): 〔一般講演〕透析患者における無症候性脳梗塞および脳白質病変の検討. 第37回日本透析療法学会総会, 1992.
 - 36) Yamamuro, M., Igarashi, H., Yuasa, T.¹⁾, Katayama, Y., and Terashi, A. (¹⁾Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University): 〔展示〕¹H and ³¹P-Magnetic resonance spectroscopy of cerebral infarction in rats. Eleventh Annual Scientific Meeting of Society of Magnetic Resonance in Medicine (Berlin), 1992.
 - 37) Nagao, T., Hamamoto, M.¹⁾, Kanda, A., Ichiseki, H., Miyazaki, T.¹⁾, and Terashi, A. (¹⁾Dept. of Neurology Tokyo Metropolitan Tama Geriatric Hospital): 〔一般講演〕Alered hemostatic molecular markers in acute ischemic stroke, International Stroke Society Second World Cogress of Stroke (Washington DC), 1992.

- 38) Terashi, A., and Otomo, H.¹⁾ (¹⁾Yokufukai Hospital) : [一般講演] Clinical usefulness of OKY-046 on the acute stage of cerebral thrombosis ; Double blind trial in comparison with placebo. International Stroke Society Second World Congress of Stroke (Washington DC), 1992.
- 39) Hamamoto, M.¹⁾, Nagao, T., Kanda, A., and Terashi, A. (¹⁾Dept. of Neurology Tokyo Metropolitan Tama Geriatric Hospital) : [一般講演] Hypervolemic hemodilution therapy for the elderly patient with arterothrombotic and hemodynamic ischemic stroke. International Stroke Society Second World Congress of Stroke (Washington DC), 1992.
- 40) Katayama, Y., Kashiwagi, F., Katsumata, T., Kamiya, T., Igarashi, H., and Terashi, A. : [一般講演] Effect of thrombocytopenia on cerebral ischemia. Second World Congress of Stroke (Washington DC), 1992.
- 41) Kashiwagi, F.¹⁾, Katayama, Y., Igarashi, H., Iida, S., Muramatsu, H., and Terashi, A. (¹⁾Kosei General Hospital) : [一般講演] Effect of a new Ca⁺⁺ antagonist (SM-6586) on experimental cerebral ischemia. Second World Congress of Stroke (Washington DC), 1992.
- 42) Kimura, S., Katayama, Y., Otsubo, K., Kashiwagi, F., and Terashi, A. : [一般講演] The effects of indomethacin on delayed neuronal death under different levels of cranial temperatures. Second World Congress of Stroke (Washington DC), 1992.
- 43) Usuda, K., Katayama, Y., and Terashi, A. : [一般講演] Ischemic neuronal damage ; A morphological study on evolution of damage in hyperglycemia and normoglycemia. Second World Congress of Stroke (Washington DC), 1992.
- 44) Katsumata, T., Obo, R., Muramatsu, H., Soeda, T., Katayama, Y., and Terashi, A. : [展示] The sequential change of CBF and pathology in a transient focal ischemic model. Second World Congress of Stroke (Washington DC), 1992.
- 45) Otsubo, K., Katayama, Y., and Terashi, A. : [一般講演] Protective effects of glycerol and mannitol on ischemic neuronal damage in gerbil hippocampus. Second World Congress of Stroke (Washington DC), 1992.
- 46) Fukuo, Y., Takagi, S., and Terashi, A. : [一般講演] Remnant like particles (Lipo Z) in patients with chronic cerebral infarction. International Stroke Society Second World Congress of Stroke (Washington DC), 1992.
- 47) Hagiwara, M., Kaieda, M., Nakazawa, M., Kitamura, S., Nagazumi, A., and Terashi, A. : [一般講演] Clinical study on relationship between P300 and the lesions of chronic vascular disease. International Stroke Society Second World Congress of Stroke (Washington DC), 1992.
- 48) 大坪孝一, 福地孝明, 木村俊介, 柏木史彦, 飯田 恵, 片山泰朗, 赫 彰郎 : [一般講演] スナネズミ海馬における遅発性神経細胞壊死に対する glycerol および mannitol の効果. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 49) 勝又俊弥, 於保倫之助, 村松浩美, 柏木史彦, 片山泰朗, 赫 彰郎 : [展示] 塞栓子を用いたラット一過性脳虚血モデルに関する研究 ; Temporal thresholds の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 50) 村松浩美¹⁾, 並松茂樹¹⁾, 片山泰朗, 柏木史彦, 飯田 恵, 目々澤肇, 赫 彰郎(¹⁾第一病院中央研究室) : [一般講演] イブジラストの長期投与による SHRSP における脳卒中発症の予防効果の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 51) 津金澤俊和, 浜本 真¹⁾, 長尾毅彦, 神田明美, 宮崎徳蔵¹⁾, 赫 彰郎(¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科) : [一般講演] Alzheimer 型痴呆と髄液循環障害. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 52) 花島 浩¹⁾, 飯田正美¹⁾, 勝野 浩¹⁾, 前田きみ子¹⁾, 岩崎正知¹⁾(佼成病院内科) : [一般講演] 当院における過去10年間の脳卒中の動向. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

- 53) 大園英一, Nishimura, H.¹⁾, Share, R.¹⁾ (¹⁾Dept. of Physiology Health Science Center, University of Tennessee): [海外留学者講演] 哺乳類腎臓の比較解剖. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 54) 栗原 怜¹⁾, 竹内正至¹⁾, 桜井祐成¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 松信精一, 大園英一, 葉山修陽, 飯野靖彦, 清水一雄²⁾ (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科, ²⁾外科学第2): [一般講演] 二次性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺全摘・一部自家移植術の長期的効果. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 55) 内山明美¹⁾, 中野一博¹⁾, 家所良夫²⁾, 秋丸琥甫²⁾, 新宅孝征³⁾, 永積 惇 (¹⁾血液センター, ²⁾外科学第2, ³⁾中央検査室): [一般講演] 大量輸血を必要としたA×B型の1症例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 56) 杉木祐子, 新井弘一, 萩原万里子, 北村 伸, 葉山修陽, 赫 彰郎, 栗原 怜¹⁾ (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科): [展示] 脳血流代謝に異常が見られ, 高 Na 血症の認められた central pontine myelinolysis の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 57) 有井一正, 新井弘一, 坂本静樹, 氏家 隆, 葉山修陽, 原 一男, 赫 彰郎: [展示] 特徴的な運動形態を見た脊髄性ミオクロームスと思われる1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 58) 木村俊介, 片山泰朗, 目々澤肇, 南澤宏明, 赫 彰郎, 村松浩美¹⁾ (¹⁾生理研究室): [展示] 頭蓋温度調節下における砂ネズミ海馬 CAI の遅発性神経細胞壊死に対する indomethacin の効果. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 59) 三品雅洋¹⁾, 柏木史彦¹⁾, 赫 彰郎 (¹⁾北村山公立病院神経内科): [展示] 鏡面習字を伴った左視床梗塞の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 60) 飯田章太郎¹⁾, 伊藤正秀¹⁾, 大島 博¹⁾, 杉木祐子 (¹⁾内視鏡科): [展示] 胃生検が診断上有効であった原発性アミロイドーシスの1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 61) 立花米一¹⁾, 手塚博幸, 今井博彦, 赫 彰郎 (¹⁾目白第2病院): [展示] 糖尿病患者における眼輪筋反射の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 62) 杉木祐子, 萩原万里子, 北村 伸, 赫 彰郎, 栗原 怜¹⁾ (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科): [展示] 高 Na 血症を呈した central pontine myelinolysis の1例; 脳循環代謝について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 63) 浜本 真¹⁾, 長尾毅彦, 神田明美, 山崎峰雄, 宮崎徳蔵¹⁾ (¹⁾東京都多摩老人医療センター): [展示] Parkinson 症状, 痴呆を主徴としたミトコンドリア脳筋症が疑われた1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 64) 坂本静樹, Hirano, A.: [一般講演] パーキンソン症候群; 剖検脳の大脳基底核部における免疫組織学的研究. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 65) 今津 修, 大塚俊司, 佐藤春明, 村瀬幸宏, 仲原昌子, 早澤久美, 山田宣孝, 荒木俊彦, 北村 伸, 赫 彰郎, 浅野伍朗: [展示] 痴呆を伴う motor neuron disease の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 66) 福島 優, 小林陽二, 福生吉裕, 赫 彰郎: [展示] 脳卒中患者における急性期血清 Lp (a) 値の変動. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 67) 本田治久, 福生吉裕, 秋丸琥甫¹⁾, 寺田由貴, 仲間一雅²⁾, 赫 彰郎 (¹⁾外科学第2, ²⁾実験動物管理室): [展示] 胸腺と動脈硬化; 胸腺摘出ウサギモデルでの検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 68) 小林陽二, 福生吉裕, 赫 彰郎: [展示] Chronic articular polycyclic system 型 adult onset still 病に対する漢方併用療法の経験. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 69) 福生吉裕, 駒場祐一, 赫 彰郎, 内山明美¹⁾, 中野一博¹⁾ (¹⁾血液センター): [展示] 新たな HLA タイプを示したナルコレプシーの1症例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 70) 福生吉裕, 小林陽二, 荒木 宏, 本田治久, 寺田由貴, 大村直子, 赫 彰郎, 並松茂樹¹⁾, 角田隆巳²⁾ (¹⁾第一病院中央研究室, ²⁾伊藤園中央研究室): [展示] Catechin の抗酸化作用およびマクロファージの抗泡沫化に対する検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 71) 福生吉裕: [シンポジウム] 茶の動脈硬化抑制に関する細胞生物学的アプローチ. 第1回中西合作動脈硬化・血栓症一次予防国際学会シンポジウム (北京), 1992.

- 72) 小林陽二：〔シンポジウム〕動脈硬化におけるお血の一診断的所見としての耳朶皺襞。第1回中西合作動脈硬化・血栓症一次予防国際学会シンポジウム（北京），1992。
- 73) 大坪孝一，木村俊介，柏木史彦，飯田 恵，片山泰朗，赫 彰郎：〔一般講演〕スナネズミ海馬における虚血性神経細胞傷害に対する glycerol の効果；投与時期の検討。第4回日本脳循環代謝学会総会，1992。
- 74) 福地孝明，片山泰朗，南澤宏明，目々澤肇，稲村憲治，赫 彰郎：〔一般講演〕脳虚血および再灌流の脳 Pyruvate dehydrogenase 活性および局所エネルギー代謝に及ぼす影響。第4回日本脳循環代謝学会総会，1992。
- 75) 片山泰朗，柏木史彦，飯田 恵，目々澤肇，南澤宏明，赫 彰郎：〔一般講演〕イブジラストの長期投与による SHRSP における脳卒中発症の予防効果の検討。第34回日本老年医学会総会，1992。
- 76) 高橋真理子，師田晴子，中沢 勝，海江田亮，萩原万理子，葉山修陽，北村 伸，永積 惇，赫 彰郎，栗原 怜¹⁾（¹春日部秀和病院腎臓内科）：〔一般講演〕透析患者の無症候性梗塞および知的機能に関する臨床的検討。第34回日本老年医学会総会，1992。
- 77) 保津豊徳，酒寄 修，小宮山佐，荒木俊彦，北村 伸，永積 惇，赫 彰郎：〔一般講演〕痴呆患者の髄液中神経伝達物質と局所脳循環代謝の関係についての検討。第34回日本老年医学会総会，1992。
- 78) 福島 優，小林陽二，福生吉裕，赫 彰郎：〔一般講演〕急性期脳卒中患者における血清 Lp (a) 値変動の検討。第34回日本老年医学会総会，1992。
- 79) 小林陽二，福生吉裕，赫 彰郎，金川卓郎¹⁾（¹愛生会田尻ヶ丘病院）：〔一般講演〕高齢低蛋白血症患者に対する蛋白補助剤添加の試み。第34回日本老年医学会総会，1992。
- 80) 上田雅之，駒場祐一，荒木俊彦，北村 伸，赫 彰郎：〔一般講演〕Valproate 長期投与中，Reye 症候群様の発作と lipid storage myopathy を呈した1例。第134回日本神経学会関東地方会，1992。
- 81) 福生吉裕，神原礼文，荒木 宏，永島幹夫，小林陽二，赫 彰郎：〔一般講演〕茶成分 catechin の抗動脈硬化作用についての検討。日本動脈硬化学会冬季大会，1992。
- 82) 竹内正至¹⁾，桜井祐成¹⁾，栗原 怜¹⁾，米島秀夫¹⁾，松信精一，大園英一，葉山修陽，飯野靖彦（¹春日部秀和病院腎臓内科）：〔展示〕シャント側中枢深部静脈狭窄症を合併した透析患者の2症例。第60回日本医科大学医学会，1992。
- 83) 松信精一，飯野靖彦，大沢弘和，中村 正，清水光義，竹内正至，北村博司，大園英一，葉山修陽，原 一男，赫 彰郎，馬杉洋三¹⁾（¹日本医科大学病理部）：〔展示〕慢性糸球体腎炎に対するサイクロスポリンA低容量単独投与の有効性。第60回日本医科大学医学会，1992。
- 84) 清水光義，津金沢俊和，大沢弘和，竹内正至，松信精一，中村 正，大園英一，葉山修陽，飯野靖彦，原 一男，赫 彰郎，馬杉洋三¹⁾（¹日本医科大学病理部）：〔展示〕Wiskott-Aldrich 症候群に IgA 腎症を合併した1例。第60回日本医科大学医学会，1992。
- 85) 清水光義，飯野靖彦，大沢弘和，中村 正，松信精一，大園英一，葉山修陽，原 一男，赫 彰郎：〔一般講演〕腎移植患者におけるグルコースクランプ法を用いたインスリン感受性の検討。第35回日本腎臓学会総会，1992。
- 86) 栗原 怜¹⁾，竹内正至¹⁾，桜井祐成¹⁾，鳴海福星¹⁾，米島秀夫¹⁾，松信精一，葉山修陽（¹春日部秀和病院腎臓内科）：〔一般講演〕副甲状腺自家移植術後の長期効果，副甲状腺機能と骨塩量。第35回日本腎臓学会総会，1992。
- 87) 松信精一，飯野靖彦，大沢弘和，中村 正，清水光義，竹内正至，北村博司，大園英一，葉山修陽，原 一男，赫 彰郎，馬杉洋三¹⁾（¹日本医科大学病理部）：〔展示〕慢性糸球体腎炎に対するサイクロスポリンA低容量単独投与の有効性。第35回日本腎臓学会総会，1992。
- 88) 赫 彰郎：〔特別講演〕脳血管性痴呆の病態。第5回青森脳血管性痴呆研究会，1992。
- 89) 黒木副武，津島隆也¹⁾，於保倫之助，井上剛輔¹⁾（¹東京都多摩老人医療センター内科）：〔一般講演〕老人検診における HbA1c の役割；動脈効果度の指標について。第34回日本老年医学会総会，1992。
- 90) 市堰 肇，浜本 真¹⁾，長尾毅彦¹⁾，神田明美，宮崎徳蔵¹⁾，一瀬邦弘²⁾，田中邦明²⁾，千葉一夫²⁾，赫 彰郎（¹東京都多摩老人医療センター神経内科，²同放射線科）：〔一般講演〕痴呆性てんかん重積状態の血流シンチによる

病態生理学的検討。第34回日本老年医学会総会，1992。

- 91) 小宮山佐，酒寄 修，駒場祐一，荒木俊彦，北村 伸，赫 彰郎：〔一般講演〕多発性脳梗塞における痴呆の有無と脳循環代謝の差異について。第34回日本老年医学会総会，1992。
- 92) 赫 彰郎：〔シンポジウム〕 Visual diagnosis of cerebral vascular disease using CT, MRI, SPECT and PET. China-Japan Medical Conference, 1992。
- 93) 小原俊彦¹⁾，田寺 長¹⁾，野村敦宣¹⁾，藤田伸輔¹⁾，小野寺威夫¹⁾，三品雅洋，柏木史彦，福岡長知²⁾，早川弘一²⁾（¹⁾北村山公立病院内科，²⁾内科学第1）：〔一般講演〕脳幹部梗塞における自律神経活動の特徴。第27回日本成人病学会総会，1993。
- 94) Hayama, N., Imazu, O., Iino, Y., Hara, K., Terashi, A., Wang, W.¹⁾, and Schneider, D.E.¹⁾ (¹⁾University of Tennessee)：〔一般講演〕 Osmolarity and potassium cause alterations in the volume of glomerulosa cells. 6th Asia-Pacific Endocrine Conference (Hawaii, U.S.A), 1993。
- 95) 小宮山佐，駒場祐一，酒寄 修，荒木俊彦，北村 伸，赫 彰郎：〔一般講演〕多発性脳梗塞の痴呆の有無と白質脳循環代謝の検討。長寿科学総合研究老年病分野研究会，1993。
- 96) 一瀬邦弘¹⁾，田中邦明¹⁾，長田憲一¹⁾，横田則夫¹⁾，浜本 真²⁾，長尾毅彦，宮崎徳蔵²⁾，赤沢憲治³⁾，大蔵健義⁴⁾，内山 真⁵⁾，大川匡子⁵⁾，荻野信義⁶⁾（¹⁾東京都多摩老人医療センター精神科，²⁾同神経内科，³⁾同婦人科，⁴⁾独協医大越谷病院婦人科，⁵⁾国立精神神経センター精神保健センター，⁶⁾テキサス大学サンアントニオ神経内分泌）：〔一般講演〕初期アルツハイマー型痴呆に対する薬物効果；エストロゲン投与群と非投与群の比較。長寿科学総合研究老年病分野研究会，1993。
- 97) 増谷祐之，海江田亮，原 一男，赫 彰郎：〔一般講演〕当科における神経梅毒の診療経験。日本医科大学医学会第79回例会，1993。
- 98) 原 一男：〔一般講演〕慢性透析療法の現況といくつかの合併症について。日本医科大学医学会第79回例会，1993。
- 99) 赫 彰郎：〔特別講演〕脳血管障害の最近の話題。三鷹学術研究会，1993。
- 100) 津金沢俊和，浜本 真¹⁾，長尾毅彦，神田明美，宮崎徳蔵¹⁾（¹⁾東京都多摩老人医療センター）：〔一般講演〕片麻痺を呈した高齢発症多発性硬化症と思われる1例。第124回日本神経学会関東地方会，1993。
- 101) 福島 優，小林陽二，福生吉裕，赫 彰郎：〔一般講演〕脳卒中患者における急性期血清 Lp (a) 値の変動。第27回日本成人病学会，1993。
- 102) 荒木 宏，福生吉裕，小林陽二，赫 彰郎，佐治 守¹⁾，田口桜子¹⁾（¹⁾薬剤科）：〔一般講演〕咽頭 MRSA 保菌者に対する Gentian Violet の治療効果。第27回日本成人病学会，1993。
- 103) 荒木俊彦，小宮山佐，酒寄 修，北村 伸，赫 彰郎：〔一般講演〕多発性脳梗塞の脳循環代謝による経時低変化。第27回日本成人病学会総会，1993。
- 104) 小宮山佐，駒場祐一，酒寄 修，荒木俊彦，北村 伸，赫 彰郎：〔一般講演〕多発性脳梗塞の痴呆の有無と白質脳循環代謝の検討。長寿科学総合研究老年病分野研究発表会，1993。
- 105) Sakamoto, S.：〔シンポジウム〕 Studies of cerebral blood flow and metabolism in patients with senile dementia of the Alzheimers type and diagnostic evaluation of the dementing illness by positron emission tomography. 第5回国際痴呆共同研究シンポジウム（東京），1993。
- 106) 山口 博，大山雅史，荒木俊彦，北村 伸，赫 彰郎：〔一般講演〕PET にて脳梗塞直後の再灌流が強く示唆された1例。第124回日本神経学会関東地方会，1993。
- 107) 上田雅之，駒場祐一，荒木俊彦，海江田亮，氏家 隆，北村 伸，原 一男，赫 彰郎：〔一般講演〕Valproate 長期投与中，Reye 症候群様の発作と lipid storage myopathy を呈した1例。第147回日本内科学会関東地方会，1993。
- 108) 清水光義，飯野靖彦，松信精一，葉山修陽，原 一男，赫 彰郎：〔一般講演〕糖尿病患者の腎移植および腎移植患者のインスリンランプ。第7回東京糖尿病性腎症セミナー，1992。

[第一病院リウマチ科]

研究概要

本年度は内科的には抗リウマチ剤，特にメソトレキセートを中心として抗リウマチ剤の長期成績を検討した．外科的には，現在までの人工関節の成績などを考慮し，新機種（Hy flex total knee）を開発した．また，再置換術などの検討も行った．9月からはRA滑膜の絶対量を減少させ，抗リウマチ剤の効果を最大限に得る目的で多関節滑膜切除術を行っている．基礎的にはRA病的滑膜より培養細胞を得て，cytokine産生能，増殖因子の発現，増殖能などについて研究している．また，リウマチ因子の糖鎖異常についても検討した．今後は基礎的な研究としてRA病的滑膜における血管新生，滑膜培養細胞に対する抗腫瘍剤および放射線の影響，顆粒球除去の治療効果などを研究課題として考えている．

研究業績

論文

- 1) Yoshino, S.: [原著] Sexual activity of married female rheumatoid patients after total joint replacements in lower extremity (ies). APLAR, 177~178, 1992.
- 2) Yoshino, S., Koiwa, M., Shiga, H., Nakamura, H., Higaki, M., and Miyasaka, N.: [報告] Detection of opioid peptides in synovial tissues of patients with rheumatoid arthritis. J. Rheumatol., 19, 660~661, 1992.
- 3) 吉野 慎一: [総説] 関節リウマチ. 日本医事新報, 21~25, 1992.
- 4) 中村 洋, 吉野 慎一: [総説] RAにおけるオピオイドペプチドの発現. 医学のあゆみ, 161, 584~587, 1992.
- 5) 吉野 慎一: [総説] 膝関節全置換術. 整形・災害外科, 35, 1111~1114, 1992.
- 6) 中村 洋, 吉野 慎一, 藤森十郎, 小岩政仁, 志賀弘朗, 向井英一, 田中弘美¹⁾ (田中整形外科医院): [報告] 胸椎部脊髄症を呈した関節リウマチの1例. リウマチ, 32, 223~229, 1992.
- 7) 藤森十郎, 吉野 慎一: [総説] 膝関節滑膜切除術. 骨・関節・靱帯, 5, 735~740, 1992.
- 8) 小岩政仁, 吉野 慎一, 藤森十郎: [総説] 関節リウマチの外科的適応. Journal of Clinical Rehabilitation, 1, 327~330, 1992.
- 9) 飯盛仁志¹⁾, 竹内孝仁¹⁾, 安岡利一¹⁾, 吉野 薫¹⁾, 余宮きのみ¹⁾, 吉野 慎一 (第二病院リハビリテーションセンター): [報告] 歩行解析による人工膝関節置換術後における膝関節動的機能の検討. リハビリテーション医学, 29, 581~584, 1992.
- 10) 吉野 慎一: [総説] 発想のすすめ. 整形・災害外科, 35, 751~752, 1992.
- 11) 小岩政仁, 吉野 慎一, 志賀弘朗, 中村 洋: [原著] 関節リウマチとオピオイドペプチドの関連について; 滑膜組織における β -Endorphinの検出. アレルギー, 41, 1423~1429, 1992.
- 12) 吉野 慎一: [報告] Up to date. 関節リウマチと face scale. 74, 1694~1695, 1992.
- 13) 鈴木 昇, 吉野 慎一, 藤森十郎, 小和田誠: [報告] 多発性無腐性骨壊死 (膝蓋骨壊死を含む) をきたした SLE の1例. 整形外科, 43, 1930~1933, 1992.
- 14) 中村 洋, 吉野 慎一: [総説] 感染症への対策. 関節外科, 11, 1423~1428, 1992.

著書

- 1) 藤森十郎, 吉野 慎一: [分担] 頸椎. 慢性関節リウマチと関節. P. 1~3, 協和企画通信, 1992.

学会発表

- 1) Yoshino, S., Fujimori, J., and Shoji, H.: [一般講演] Comparison of cruciate retained and excised total

knee replacements inpatients with bilateral total knee replacement. The 59th Annual Meeting of American Academy of Orthopaedic Surgeons, 1992.

- 2) Yoshino, S.: [一般講演] Revision arthroplasty after total knee arthroplasty. Combined Symposium of Japanese-German Orthopedic Rheumatology, 1992.
- 3) 藤森十郎, 吉野慎一, 中村 洋, 志賀弘朗, 向井英一, 鈴木伸之: [一般講演] 関節リウマチの初期薬物療法的重要性について. 第36回日本リウマチ学会, 1992.
- 4) 鈴木伸之, 吉野慎一, 小岩政仁, 志賀弘朗, 永島正一, 向井英一: [一般講演] 関節リウマチに対するブシラミンとチオプロニンの有用性の比較. 第36回日本リウマチ学会, 1992.
- 5) 中村 洋, 吉野慎一, 黄田道信, 間 武雄¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2): [一般講演] RA 滑膜組織における preproenkephalin mRNA の発現について. 第36回日本リウマチ学会, 1992.
- 6) 中村 洋, 吉野慎一, 間 武雄¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 安久津靖彦¹⁾ (¹⁾病理学第2): [一般講演] Basic fibroblastic growth factor mRNA の RA 滑膜組織における局在について. 第36回日本リウマチ学会, 1992.
- 7) 郡司直哉, 吉野慎一, 田中秀和, 石内直樹, 鈴木伸之, 黄田道信, 小岩政仁: [一般講演] TKR 後の膝蓋骨適合性の経時的推移. 第36回日本リウマチ学会, 1992.
- 8) 志賀弘朗, 吉野慎一, 小岩政仁, 田中秀和, 鈴木伸之, 石内直樹: [一般講演] 人工関節置換術をおこなった RA 患者の QOL. 第36回日本リウマチ学会, 1992.
- 9) 小岩政仁, 吉野慎一, 藤森十郎, 志賀弘朗, 長谷川潤, 永島正一, 石内直樹: [一般講演] DMARDs の survival rate について. 第36回日本リウマチ学会, 1992.
- 10) 石内直樹, 吉野慎一, 藤森十郎, 中村 洋, 志賀弘朗, 郡司直哉: [一般講演] 関節リウマチに対する MTX と SASP の併用療法の検討. 第36回日本リウマチ学会, 1992.
- 11) 中村 洋, 黄田道信, 吉野慎一, 間 武雄¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2): [一般講演] 関節リウマチ滑膜における bFGF および enkephalin mRNA の発現について. 第24回日本結合組織学会, 1992.
- 12) 永島正一, 吉野慎一, 藤森十郎, 小岩政仁, 岸本 真, 鈴木 昇: [一般講演] 金製剤とメソトレキセート併用療法の効果; 第2報. 第36回日本リウマチ学会, 1992.
- 13) 黄田道信, 吉野慎一, 中村 洋, 永島正一: [一般講演] RA 患者の精神, 免疫, 内分泌機能について. 第36回日本リウマチ学会, 1992.
- 14) 岸本 真, 吉野慎一, 藤森十郎, 小岩政仁, 田中秀和, 石内直樹: [一般講演] 人工関節置換術後の各種炎症パラメーターの推移. 第20回日本リウマチ関節外科, 1992.
- 15) 藤森十郎, 吉野慎一, 小岩政仁, 岸本 真, 郡司直哉, 田中秀和: [一般講演] RA に対する各種人工膝関節置換術と術後可動域. 第20回日本リウマチ関節外科学会, 1992.
- 16) 黄田道信, 吉野慎一, 中村 洋, 間 武雄¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2): [展示] 関節リウマチ滑膜における basic fibroblast growth factor の組織学的検討. 第7回日本整形外科学会基礎学術集会, 1992.
- 17) 今井卓夫¹⁾, 司馬正邦¹⁾, 滝 和博²⁾, 中村 洋 (¹⁾武蔵野赤十字病院整形外科, ²⁾同病理部): [一般講演] 膝蓋骨の原発性骨腫瘍; 良性軟骨芽細胞腫. 第28回日本赤十字社医学会総会, 1992.
- 18) 和字慶晃一, 吉野慎一, 高橋 央, 加藤 興, 平井 博, 平野大地, 吉岡太郎: [一般講演] RA に挿入したセメントレス Y/SIV 人工膝関節脛骨コンポーネントの bone-ingrowth について. 第23回人工関節研究会, 1993.

3. 内科学第三講座

〔付属病院第3内科〕

研究概要

内科学第三講座では消化器病学、血液学および内分泌学の3領域を中心に、以下の基礎的ならびに臨床的研究を推進した。

消化器病学については(1)逆流性食道炎の病態生理、(2) *Helicobacter pylori* 感染と胃の組織学的病変、(3) 十二指腸・大腸内胆汁酸濃度と大腸腺腫および大腸癌の関連、(4) 虚血性腸炎、門脈圧亢進性腸疾患および慢性炎症性腸疾患における内視鏡的ならびに機能検査の検討、(5) 胆石症における肝障害の腹腔鏡的観察、(6) 門脈圧亢進症に対する肝静脈カテーテル法と生検法、経静脈的肝内門脈大循環短絡術、内視鏡的食道静脈瘤結紮術の手技と評価等の課題を追究した。

血液学領域の基礎的研究では(1) 白血病、骨髄異形成症候群等造血器悪性腫瘍の発症ならびに進展における発癌遺伝子および癌抑制遺伝子の意義、(2) 骨髄巨核球の成熟機構、(3) 骨髄異形成症候群の病態生理とサイトカインの関連等に重点を置き、臨床面では(4) 特発性血小板減少性紫斑病および再生不良性貧血の治療につき自験症例の成績をまとめ、(5) 骨髄異形成症候群の臨床病態ならびに治療に関する研究を継続し、(6) 昨年度までに引き続き厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班が企画した再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、自己免疫性溶血性貧血、発作性夜間血色素尿症および不応性貧血の病態生理、治療等に関する種々の多施設共同研究に参加した。

内分泌学の領域では、基礎的研究の課題として(1) 栄養状態と成長ホルモン分泌を連係させる中枢神経機構の解析、(2) 成長ホルモンの中枢神経における作用点の解明を選び、臨床的には(3) ゴナドトロピン単独欠損症の病態、(4) 成長ホルモン放出ペプチドの意義について検討を加えた。

研究業績

論文

- 1) 清水弘¹⁾、松下陽子¹⁾、青木國雄²⁾、野村武夫、吉田弥太郎³⁾、柳川 洋⁴⁾(¹⁾岐阜大公衆衛生、²⁾愛知県がんセンター、³⁾京都大1内、⁴⁾自治医大公衆衛生)：〔原著〕不応性貧血の全国有病者調査。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成3年度研究業績報告書、82～83、1992。
- 2) 黒石哲生¹⁾、青木國雄²⁾、清水弘³⁾、野村武夫(¹⁾愛知県がんセンター疫学、²⁾愛知県がんセンター、³⁾岐阜大公衆衛生)：〔原著〕特発性造血障害患者登録の状況。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成3年度研究業績報告書、84～85、1992。
- 3) 蔵本 淳¹⁾、藤村欣吾¹⁾、高蓋寿朗¹⁾、野村武夫(¹⁾広島大原医研内科)：〔原著〕多施設共同研究による難治性ITPに対するrh-IFN alpha-2bの治療成績。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成3年度研究業績報告書、118～122、1992。
- 4) 小峰光博¹⁾、唐沢正光²⁾、前川 正³⁾、三輪史朗⁴⁾、内野治人⁵⁾、野村武夫(¹⁾昭和大藤が丘病院内科血液、²⁾群馬大3内、³⁾群馬大、⁴⁾沖中記念成人病研、⁵⁾大阪赤十字病院)：〔原著〕自己免疫性溶血性貧血の治療成績—総括報告。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成3年度研究業績報告書、134～136、1992。
- 5) 小峰光博¹⁾、新倉春男¹⁾、森 啓¹⁾、野村武夫(¹⁾昭和大藤が丘病院内科血液)：〔原著〕赤血球破砕症候群の予備調査の集計成績。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成3年度研究業績報告書、138～140、1992。
- 6) 宮崎澄雄¹⁾、古賀広幸¹⁾、藤田一郎¹⁾、小峰光博²⁾、野村武夫(¹⁾佐賀医大小児科、²⁾昭和大藤が丘病院内科血液)：〔原著〕小児期溶血性貧血の全国調査成績。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成3年度研究業績報告書、142～143、1992。

- 7) 藤岡成徳¹⁾, 山田輝雄¹⁾, 田中 茂¹⁾, 前川 正²⁾, 野村武夫 (¹⁾三井記念病院血液内科, ²⁾群馬大): [原著] 発作性夜間血色素尿症の重症度分類と予後. 厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成3年度研究業績報告書, 152~153, 1992.
- 8) 吉田弥太郎¹⁾, 小熊 茂¹⁾, 内野治人²⁾, 前川 正³⁾, 野村武夫 (¹⁾京都大1内, ²⁾大阪赤十字病院, ³⁾群馬大): [原著] Alfalcidol 長期投与の randomized trial. 厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成3年度研究業績報告書, 162~163, 1992.
- 9) 吉田弥太郎¹⁾, 小熊 茂¹⁾, 内野治人²⁾, 前川 正³⁾, 野村武夫 (¹⁾京都大1内, ²⁾大阪赤十字病院, ³⁾群馬大): [原著] 骨髓低形成 RA. 厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成3年度研究業績報告書, 164~165, 1992.
- 10) 野村武夫, 横瀬紀夫, 緒方清行: [原著] MDSにおける IL-2の役割; 血清 IL-2高値例における観察. 厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成3年度研究業績報告書, 190~191, 1992.
- 11) Okawa, H.¹⁾, Nagasawa, M.¹⁾, Morio, T.¹⁾, Takase, K.¹⁾, Tanaka, K.¹⁾, Yata, J.¹⁾, Dan, K., Nomura, T., Sakamaki, H.²⁾, Onozawa, Y.²⁾, Sasaki, T.²⁾, Shibuya, A.³⁾, Adachi, Y.³⁾, Touda, S.⁴⁾, Nara, N.⁴⁾, and Matsushita, T.⁵⁾ (¹⁾東京医歯大小児科, ²⁾都立駒込病院内科, ³⁾都立墨東病院内科, ⁴⁾東京医歯大1内, ⁵⁾国立病院医療センター内科): [原著] Peroxidase-negative and myelomonocytic antigen-positive acute leukemia. *Int. J. Hematol.*, 55, 165~171, 1992.
- 12) Sarkar, D. K., and Minami, S.: [解説] Pituitary portal blood collection; a powerful technique for studying hypothalamic hormone secretion. *Neuroendo-crine Research Methods Volume 1* (Greensterim B. ed.), P. 235~247 Harwood Academic Publishers, 1992.
- 13) Inokuchi, K., Futaki, M., Miyake, K., Kuwabara, T., Shinohara, T.¹⁾, Dan, K., and Nomura, T. (¹⁾日赤医療センター): [原著] N-RAS activation in the terminal stage of undifferentiated chronic myeloproliferative disease. *Int. J. Hematol.*, 56, 9~16, 1992.
- 14) Ogata, K., Miller, C.E.¹⁾, Nomura, T., Abe, K., Zhang, Z., and Murphy Jr, M.J.¹⁾ (¹⁾Hipple Cancer Center): [原著] Effects of recombinant cytokines on murine megakaryocyte colony formation in a serum-free fibrin clot culture system. *Pathobiology*, 60, 143~148, 1992.
- 15) 緒方清行, 厨信一郎: [原著] ヒト肺癌細胞株 MC-1の産生する巨核球・血小板系造血刺激因子とその作用. *臨床血液*, 33, 629~632, 1992.
- 16) 折茂裕美, 大木由加志, 荒牧琢巳, 黒田 肇, 宮本幹夫, 岡田一芳, 若林恒郎, 山中宣昭, 手代木正, 山本正生: [原著] チオプロニンによる肝障害. *小児科*, 3, 565~568, 1992.
- 17) 岸田輝幸: [総説] 消化管における内視鏡的ポリペクトミー; 特に内視鏡的大腸ポリペクトミーについて. *日医大誌*, 59, 262~265, 1992.
- 18) 三宅弘一, 猪口孝一: [総説] DCC 遺伝子と白血病. *日本臨床*, 50, 1358~1362, 1992.
- 19) 立川裕理, 折茂英生¹⁾ (¹⁾生化学第2): [原著] ヒト胎盤における膜結合型カルモジュリンの精製とその性質. *日医大誌*, 59, 247~257, 1992.
- 20) Dan, K., Gomi, S., Kuramoto, A., Maekawa, T., and Nomura, T.: [原著] A multicenter prospective study on the treatment of chronic idiopathic thrombocytopenic purpura. *Int. J. Haematol.*, 55, 287~292, 1992.
- 21) Hasegawa, O., Sugihara, H., Minami, S., and Wakabayashi, I.: [原著] Masculinization of growth hormone (GH) secretory pattern by dihydrotestosterone-one is associated with augmentation of hypothalamic somatostatin and GH-releasing hormone mRNA levels in ovariectomized rats. *Peptides*, 13, 475~481, 1992.
- 22) 長田祐二, 藤森俊二, 南 定, 山門 進, 田口克司, 玉川恭士, 田口文彦, 田辺義博, 岸田輝幸, 吉田 豊, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫: [症例報告] 内視鏡的ポリペクトミーを施行した大腸海綿状血管腫の1例. *消化器内視鏡の進歩*, 40, 349~352, 1992.
- 23) 廣田 薫, 伊藤敏治, 香川隆男, 末岡伸夫, 丸山正明, 青木正明, 平川恒久, 小林正文: [原著] 胃腺腫細胞核

内 DNA 量と臨床病理学的所見との対比. 消化器内視鏡の進歩, 40, 69~73, 1992.

- 24) 浦部晶夫¹⁾, 溝口秀昭²⁾, 高久史磨³⁾, 野村武夫, 前川 正⁴⁾(¹⁾関東通信病院内科, ²⁾東京女子医大 1 内, ³⁾国立病院医療センター, ⁴⁾群馬大): [原著] 特発性造血障害の治療—現状と展開 1. 再生不良性貧血. 臨床血液, 33, 885~887, 1992.
- 25) 野村武夫: [総説] pH4処理酸性人免疫グロブリン (特集: Up Date 注目の新薬: 内分泌・代謝・免疫系). 現代医療, 24, 2227~2231, 1992.
- 26) 瀬底正彦: [総説] SCG のメリットは何か. Ther. Res., 13 (Suppl.), 2, 266~269, 1992.
- 27) 平川恒久, 香川隆男: [総説] 胸やけ・げっぷ. 薬物療法の指標. 診断と治療, 80 (Suppl.), 152~155, 1992.
- 28) 檀 和夫: [総説] 特発性血小板減少性紫斑病. 診断と治療, 80 (Suppl.), 347~349, 1992.
- 29) Inokuchi, K., Futaki, M., Yamada, T., Tanabe, Y., Ohki, I., Dan, K., Nomura, T., Inoue, T.¹⁾, Tojo, A.¹⁾, Ozawa, K.¹⁾, and Asano, S.¹⁾ (¹⁾東京医科学研究所内科): [原著] Molecular breakpoints and platelet counts in chronic myelogenous leukemia response. Blood, 80, 556~557, 1992.
- 30) Shuto, Y., Wakabayashi, I., Amuro, N., Minami, S., and Okazaki, T.: [原著] A point mutation in the 3,5,3-triiodo-tyronine-binding domain of thyroid hormone receptor- β associated with a family with generalized resistance to thyroid hormone. J. Clin. Endocrinol. Metab., 75, 213~217, 1992.
- 31) Minami, S., Kamegai, J., Sugihara, H., Hasegawa, O., and Wakabayashi, I. [原著] Systemic administration of recombinant human growth hormone induces the expression of the c-fos gene in the hypothalamic arcuate and periventricular nuclei in hypophysectomized rats. Endocrinology, 131, 213~217, 1992.
- 32) 田口文彦, 岸田輝幸, 山門 進, 南 定, 藤森俊二, 田口克司, 玉川恭士, 吉田 豊, 小林正文, 野村武夫: [報告] 当科における血液疾患に合併した小腸大腸病変についての検討. Ther. Res., 13(Suppl.), 2, 206(5434)~211 (5439), 1992.
- 33) 野村武夫: [総説] 合併症と対策: 出血(白血病—治療はどこまですすんだか—). 臨床と研究, 69, 2458~2463, 1992.
- 34) Yoshida, Y.¹⁾, Oguma, S.¹⁾, Uchino, H.²⁾, Maekawa, T.³⁾, and Nomura, T. (¹⁾京都大 1 内, ²⁾大阪赤十字病院, ³⁾群馬大): [原著] Clinical features of long-term survivors of refractory myelodysplastic anemias: A Japanese cooperative study. Leuk. Res., 16, 775~779, 1992.
- 35) 浦部晶夫¹⁾, 宮川 清¹⁾, 大林由明²⁾, 佐藤 宏²⁾, 戸川 敦³⁾, 天野正道³⁾, 溝口秀昭⁴⁾, 増田道彦⁴⁾, 野村武夫, 檀 和夫, 小峰光博⁵⁾, 村上博和⁵⁾, 唐沢正光⁵⁾, 三浦恭定⁶⁾, 坂本 忍⁶⁾, 吉田 実⁶⁾, 浅野茂隆⁷⁾, 藤岡成徳⁸⁾, 武藤良知⁹⁾, 宮脇修一¹⁰⁾, 高久史磨¹¹⁾ (¹⁾東京大 3 内, ²⁾関東通信病院血液内科, ³⁾国立病院医療センター内科, ⁴⁾東京女子医大 1 内, ⁵⁾群馬大 3 内, ⁶⁾自治医大血液, ⁷⁾東京大医科学研内科, ⁸⁾三井記念病院血液内科, ⁹⁾虎の門病院血液科, ¹⁰⁾済生会前橋病院内科, ¹¹⁾国立病院医療センター): [原著] 血液疾患に伴う深在性真菌症における血中ベータ・グルカン測定ならびに miconazol 投与の臨床的有用性. 感染症会誌, 66, 1113~1119, 1992.
- 36) 小林正文, 岩切勝彦: [総説] 食道逆流発生の病態生理. 総合臨床, 41, 2330~2336, 1992.
- 37) 若林一二: [解説] 神経内分泌学の歩みと間脳, 下垂体疾患. 治療, 74, 2~3, 1992.
- 38) 若林一二: [解説] 先端巨大症. 治療, 74, 52~60, 1992.
- 39) 津久井拓, 菊池京子¹⁾, 横室公三¹⁾, (¹⁾微生物学免疫学): [原著] 肝実質細胞培養上清中に存在する骨髓細胞増殖刺激因子の精製. 日医大誌, 59, 294~301, 1992.
- 40) Ito, T., Miyairi, Y., Kuwabara, T., Dan, K., and Nomura, T. [Letters to editor] Granulocyte-colony stimulating factor corrects granulocytopenia in Felty's syndrome. Am. J. Hematol., 40, 318~319, 1992.
- 41) 野村武夫, 清水弘之¹⁾, 吉田弥太郎²⁾, 柳川 洋³⁾ (¹⁾岐阜大公衆衛生, ²⁾京都大 1 内, ³⁾自治医大公衆衛生): [原著] 不応性貧血の有病率調査報告. 日医新報, 3566, 26~29, 1992.
- 42) 檀 和夫: [総説] 白血病と妊娠. 産婦人科の実際, 41, 1347~1351, 1992.

- 43) Shuto, Y., Okazaki, T., and Wakabayashi, I. : [原著] Transcriptional activity of a mutant thyroid hormone receptor β in family with generalized resistance to thyroid hormone. *Mol. Cell Endocrinol.*, 90, 111~115, 1992.
- 44) 宮崎澄雄¹⁾, 古賀広幸¹⁾, 赤塚順一²⁾, 長尾 大³⁾, 中畑龍俊⁴⁾, 田口信行⁵⁾, 月本一郎⁶⁾, 小西省三郎⁷⁾, 小峰光博⁸⁾, 野村武夫^(¹⁾佐賀医大小児科, ²⁾慈恵医大第3分院小児科, ³⁾神奈川県立こども医療センター血液科, ⁴⁾信州大小児科, ⁵⁾国立小児病院血液科, ⁶⁾東邦大小児科, ⁷⁾大阪市立小児保健センター2内, ⁸⁾昭和大藤が丘病院内科血液) : [原著] 小児溶血性貧血の全国調査成績. *日小児血液会誌*, 6, 437~440, 1992.
- 45) Futaki, M., Inokuchi, K., Matsuoka, H., Miyake, K., Dan, K., and Nomura, T. : [原著] Relationship of the type of bcr-abl hybrid mRNA to clinical course and transforming activity in Philadelphia-positive chronic myelogenous leukemia. *Leukemia Research*, 16, 1071~1075, 1992.
- 46) Nakagawa, K., Ishizuka, T., Shimizu, C., Ito, Y., and Wakabayashi, I. : [原著] Increased hypothalamic somatostatin mRNA with in vivo administration of dexamethasone in rats. *Acta Endocrinol*, 127, 416~419, 1992.
- 47) Ogata, K., Yamada, T., Ito, T., Gomi, S., Tanabe, Y., Ohki, I., Dan, K., and Nomura, T. : [原著] Low-dose etoposide : A potential therapy for myelodysplastic syndromes. *Brit. J. Haematol.*, 82, 354~357, 1992.
- 48) 野村武夫 : [総説] VIII. 血液・造血器疾患 ; 再生不良性貧血 Aplastic anemia. *日本臨牀*, 1992年増刊 (通巻647号, 本邦臨牀統計集 (上巻)), 735 ~746, 1992.
- 49) 野村武夫 : [総説] VIII. 血液・造血器疾患 ; 後天性溶血性貧血 acquired hemolytic anemia. *日本臨牀*, 1992年増刊 (通巻647号, 本邦臨牀統計集 (上巻)), 754~765, 1992.
- 50) 小林正文, 末岡伸夫, 丸山正明, 田口文彦 : [総説] 血液疾患と消化管病変. *Monthly Book Gastro.*, 11, 71~79, 1992.
- 51) Kishida, T., Sato, J., Fujimori, S., Minami, S., Yamakado, S., Tamagawa, Y., Taguchi, F., Yoshida, Y., and Kobayashi, M. : [原著] An endoscopic study of antibiotic-associated hemorrhagic colitis. *日医大誌*, 59, 450~456, 1992.
- 52) Sarkar, D. K., Kim, K. H., and Minami, S. : [原著] Transforming growth factor- β 1 messenger RNA and protein expression in the pituitary gland ; Its action on prolactin secretion and lactotropic growth. *Mol. Endocrinol.*, 6, 1825~1833, 1992.
- 53) Minami, S., and Sarkar, D.K. : [原著] Central administration of neuropeptide Y induces precocious puberty in female rats. *Neuroendocrinology*, 56, 930~934, 1992.
- 54) 丸山正明, 廣田 薫, 中川義也, 岩切勝彦, 澤田秀雄, 末岡伸夫, 伊藤敏治, 青木正明, 香川隆男, 平川恒久, 瀬底正彦, 小林正文, 高岡重博¹⁾ (¹⁾東急病院内科) : [症例報告] 十二指腸球部 Adenomyoma の1例. *消化器内視鏡の進歩*, 41, 308~311, 1992.
- 55) 藤森俊二, 山門 進, 山手裕一郎, 猪口孝一, 佐藤 順, 南 定, 田口克司, 秦泉寺亮, 玉川恭士, 田口文彦, 岸田輝幸, 吉田 豊, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫 : [症例報告] 回盲部潰瘍生検により診断した成人T細胞白血病の1例. *消化器内視鏡の進歩*, 41, 332~336, 1992.
- 56) 山田裕之, 多田教彦, 斉藤 整, 吉沢雅史, 山田益弘, 田口克司, 松坂 聡, 黒田 肇, 小林正文, 横山滋彦¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 有馬保正¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 伊藤誠二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 山下精彦¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 福田 功²⁾, 小川 龍²⁾ (¹⁾外科第1, ²⁾麻酔科) : [症例報告] 腹腔鏡的胆嚢摘出術14例の経験. 第2回腹腔鏡的胆嚢摘出術研究会記録, 21~23, 1992.
- 57) 野村武夫 : [総説] 出血傾向のある患者への実際的対応 ; 観血の手技・手術 (今月の主題 : 出血傾向の臨床), *Medicina*, 30, 116~117, 1993.
- 58) 若林一二 : [解説] 20世紀医療の反省と21世紀医療への展望・提言. *治療*, 75, 2~3, 1993.

- 59) 若林一二：〔解説〕成長ホルモン分泌異常症。治療, 75, 97~103, 1993.
- 60) 檀 和夫：〔総説〕急性前骨髄性白血病。治療, 75, 161~168, 1993.
- 61) 伊藤敏治, 陶山幸二, 塚原理歌, 松岡弘樹, 横瀬紀夫, 三宅弘一, 安 恵美, 二木真琴, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 山田 隆, 田辺義博, 大木一郎, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫：〔症例報告〕6：9 転座を認めた急性白血球の2例。臨床血液, 34, 50~56, 1993.
- 62) Oguma, S.¹⁾, Yoshida, Y.¹⁾, Uchino, H.²⁾, Okuma, M.¹⁾, Maekawa, T.³⁾, and Nomura, T. (¹⁾京都大1内, ²⁾大阪赤十字病院, ³⁾群馬大)：〔原著〕Reanalysis of prognosis in refractory anemia alone, with ring sideroblasts, and with excess of blasts. *Int. J. Hematol.*, 57, 15~25, 1993.
- 63) 山田裕之, 間 武雄¹⁾, 田口克司, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理第2)：〔原著〕ヒト肝生検組織におけるIII型, IV型プロコラーゲン, プロリン水酸化酵素 mRNA の分布局在。日本臨床, 51, 423~427, 1993.
- 64) 瀬底正彦：〔総説〕消化性治療の問題点。今月の治療, 1 (4), 39~70, 1993.
- 65) 小林正文, 香川隆男：〔原著〕日本消化器内視鏡学会卒後教育委員会, 緊急内視鏡 (含異物) ガイドライン (案)。Gastroenterological Endosc., 35, 421~425, 1993.
- 66) Sasajima, K.¹⁾, Yamanaka, Y.¹⁾, Inokuchi, K., Takizawa, T.²⁾, Ujihara, Y.¹⁾, Ide, Y.²⁾, Onda, M.¹⁾, and Takubo, K.³⁾ (¹⁾外科第1, ²⁾下谷病院外科, ³⁾東京ガンセンター)：〔原著〕Multiple polyps of esophagus, stomach, colon, and rectum accompanying rectal cancer in a patient with constitutional chromosomal inversion. *Cancer*, 71, 672~676, 1993.
- 67) Ogata, K., Yokose, N., Ito, T., An, E., Dan, K., and Nomura, T.：〔原著〕Effects of interleukin 2 on myelodysplastic syndromes. *Leukemia Res.*, 17, 137~142, 1993.
- 68) Yokose, N., Ogata, K., Ito, T., Miyake, K., An, E., Inokuchi, K., Yamada, T., Gomi, S., Tanabe, Y., Ohki, I., Kuwabara, T., Hasegawa, S., Shinohara, T.¹⁾, Dan, K., and Nomura, T. (¹⁾日赤医療センター)：〔原著〕Chemotherapy for minimally differentiated acute myeloid leukemia (AML-M0) report on five cases and review of the literature. *Annals of Hematology*, 66, 67~70, 1993.
- 69) Minami, M., Inagaki, H., Katsumata, M., Miyake, K., and Tomoda, A.：〔原著〕Inhibitory action of chloramine of formate-metabolizing system. *Biochemical Pharmacology*, 45, 1059~1064, 1993.
- 70) Sugihara, H., Minami, S., Okada, K., Kamegai, J., Hasegawa, O., and Wakabayashi, I.：〔原著〕Somatostatin reduces transcription of the growth hormone gene in rats. *Endocrinology*, 131, 1225~1229, 1993.
- 71) Kamegai, J., Minami, S., Sugihara, H., and Wakabayashi, I.：〔原著〕Barrel rotation evoked by intracerebro-ventricular injection of somatostatin and arginine-vasopressin is accompanied by the induction of c-fos gene expression in the granular cells of rat cerebellum. *Mol. Brain Res.*, 18, 115~120, 1993.

著 書

- 1) 野村武夫：〔分担〕二次性貧血。“今日の診断指針 第3版” (亀山正邦, 亀田治男, 高久史磨, 阿部令彦編), P. 986~988, 医学書院, 1992.
- 2) 野村武夫：〔分担〕二次性貧血。“最新内科学体系18 血液・造血器疾患1 貧血, 多血症” (山村雄一, 吉利 和監修), P. 399~416, 中山書店, 1992.
- 3) 野村武夫：〔分担〕薬剤による血液障害：薬剤性血液障害の動向。“Drug Therapy コンパクトシリーズ3 血液障害のある患者への投薬” (清水直容監修), P. 8~16, ミクス, 1992.
- 4) 野村武夫：〔分担〕血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP)。“外来診療のすべて” (高久史磨監修), P. 702~703, メジカルビュー社, 1992.
- 5) 若林一二：〔著書・分担〕無月経・乳汁分泌症候群。今日の治療指針, P. 529, 医学書院, 1993.
- 6) 野村武夫：〔分担〕鉄欠乏性貧血。“新臨床内科学” (高久史磨, 尾形悦郎監修), P. 821~824, 医学書院, 1993.

- 7) 野村武夫：〔分担〕無トランスフェリン血症，“新臨床内科学”（高久史麿，尾形悦郎監修），P. 824～825，医学書院，1993.
- 8) 野村武夫：〔分担〕鉄芽球性貧血，“新臨床内科学”（高久史麿，尾形悦郎監修），P. 825～826，医学書院，1993.
- 9) 野村武夫：〔分担・責任編集〕血液・造血器疾患の動向，“今日の治療指針”（日野原重明，阿部正和監修），P. 463，医学書院，1993.
- 10) 野村武夫：〔編集指導〕“医科学大事典補遺巻10『最新の医療情報1993』”（岡 博，和田 攻編），講談社，1993.
- 11) 小林正文：〔分担〕食道炎，食道潰瘍，最新内科学大系40，食道炎，食道癌，消化管検査総論（井村裕夫他編），P. 160～183，中山書店，1993.
- 12) 小林正文：〔分担〕胃ポリープ，新臨床内科学第6版（高久史麿他編），P. 482～483，医学書院，1993.
- 13) 平川恒久，瀬底正彦：〔分担〕食道良性狭窄，最新内科学大系40（井村裕夫他編），P. 347～359，中山書店，1993.
- 14) 檀 和夫：〔分担〕特発性血小板減少性紫斑病，Idiopathic thrombocytopenic purpura (ITP) “今日の治療指針 1993年版”（日野原重明，阿部正和監修），P. 486～487，医学書院，1993.

学会発表

- 1) 岸田輝幸，田口文彦，藤森俊二，南 定，山門 進，玉川恭士，吉田 豊，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕大腸腺腫および大腸癌患者の十二指腸液・大腸残渣液の胆汁酸分析に関する検討，第89回日本内科学会総会，1992.
- 2) 亀谷 純，長谷川修，岡田憲明，澤田秀雄，杉原 仁，南 史朗，若林一二：〔一般講演〕下垂体茎切断の成長ホルモン（GH）分泌に与える影響，第89回日本内科学会総会，1992.
- 3) 岸田輝幸，藤森俊二，南 定，山門 進，玉川恭士，田口文彦，吉田 豊，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕大腸癌患者の血清鉄値（Fe）および血清フェリチン値（Ft）に関する検討，第78回日本消化器病学会総会，1992.
- 4) 吉沢雅史，金沢秀典，齊藤 整，宮入泰郎，山田益弘，宮田邦久，山田裕之，田口克司，渡 淳，多田教彦，松坂 聡，坂本文夫，香川隆男，黒田 肇，小林正文：〔一般講演〕肝硬変の予後に関する検討：1972～81年における症例と1982～91年における症例の比較，第78回日本消化器病学会総会，1992.
- 5) 渡 淳，齊藤 整，吉沢雅史，山田益弘，宮田邦久，多田教彦，松坂 聡，金沢秀典，小林正文：〔一般講演〕直接穿刺法による食道静脈瘤内圧の測定；門脈血行動態との比較，第78回日本消化器病学会総会，1992.
- 6) 末岡伸夫，岩切勝彦，杉浦敏昭，青木正明，川上明彦，香川隆男，平川恒久，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕色調変化型食道炎，バレット上皮の画像処理，第43回日本消化器内視鏡学会総会，1992.
- 7) 平川恒久，香川隆男，丸山正明，末岡伸夫，青木正明，劉 賓，盧 元礼，小林正文，永井俊彦¹⁾（¹⁾東京都多摩老人医療センター）：〔一般講演〕腐食性食道炎の基礎的検討，第43回日本消化器内視鏡学会総会，1992.
- 8) 横山滋彦¹⁾，恩田昌彦¹⁾，山下精彦¹⁾，森山雄吉¹⁾，田中宣威¹⁾，江上 格¹⁾，田尻 孝¹⁾，伊藤誠二¹⁾，金 徳栄¹⁾，有馬保生¹⁾，中島栄治郎¹⁾，小林正文，黒田 肇，多田教彦，山田益弘（¹⁾外科第1）：〔一般講演〕腹腔鏡下胆嚢摘出術における術後の腸管運動の検討，第43回日本消化器内視鏡学会総会，1992.
- 9) 山門 進，藤森俊二，南 定，田口文彦，玉川恭士，岸田輝幸，吉田 豊，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕虚血性大腸炎における大腸粘膜血流の検討，第43回日本消化器内視鏡学会総会，1992.
- 10) 岸田輝幸，藤森俊二，南 定，山門 進，田口克司，田口文彦，玉川恭士，吉田 豊，平川恒久，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕抗生物質起因性出血性大腸炎とSchönlein-Henoch 症候群に関する大腸内視鏡的及び病理組織学的比較検討，第43回日本消化器内視鏡学会総会，1992.
- 11) 横瀬紀夫，緒方清行，伊藤敏治，安 恵美，檀 和夫，野村武夫：〔展示〕MDS に対する IL-2療法の可能性，第89回日本内科学会総会講演会，1992.
- 12) 横瀬紀夫，三宅弘一，安 恵美，伊藤敏治，猪口孝一，緒方清行，五味聖二，山田 隆，田辺義博，大木一郎，長谷川節雄，檀 和夫，野村武夫，篠原多美子¹⁾（¹⁾日赤医療センター染色体研究室）：〔一般講演〕未分化急性

骨髄性白血病 (AML-M0) の臨床像の特徴. 第54回日本血液学会総会, 1992.

- 13) 伊藤敏治, 緒方清行, 安 恵美, 横瀬紀夫, 宮入泰郎, 檀 和夫, 野村武夫: [一般講演] MDS および正常者単離巨核球の in vitro 血小板産生像. 第54回日本血液学会総会, 1992.
- 14) 吉田弥太郎¹⁾, 小熊 茂¹⁾, 内野治人²⁾, 前川 正³⁾, 野村武夫 (¹⁾京都大 1 内, ²⁾大阪日赤, ³⁾群馬大): [展示] 本邦不応性貧血の長期生存例; 本邦多施設研究. 第54回日本血液学会総会, 1992.
- 15) 緒方清行, 横瀬紀夫, 安 恵美, 伊藤敏治, 檀 和夫, 野村武夫: [展示] 血清 IL-2 高値を認めた MDS 症例の検討. 第54回日本血液学会総会, 1992.
- 16) 山田 隆, 松岡弘樹, 塚原理歌, 横瀬紀夫, 三宅弘一, 二木真琴, 安 恵美, 伊藤敏治, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫: [展示] 当科における多発性骨髄腫の治療成績. 第54回日本血液学会総会, 1992.
- 17) 三宅弘一, 猪口孝一, 塚原理歌, 松岡弘樹, 二木真琴, 檀 和夫, 野村武夫, 篠原多美子¹⁾(¹⁾日赤医療センター): [展示] 白血病発症における DCC 遺伝子の関与. 第54回日本血液学会総会, 1992.
- 18) 松岡弘樹, 猪口孝一, 宮入泰郎, 檀 和夫, 野村武夫: [展示] 再発時に第17番染色体に異常を呈し, 白血病細胞の p53 蛋白質が陽性となった急性骨髄性白血病の 1 例. 第54回日本血液学会総会, 1992.
- 19) 杉原 仁, 南 史朗, 長谷川修, 亀谷 純, 岡田憲明, 澤田秀雄, 若林一二: [一般講演] ソマトスタチン (SS) 投与による成長ホルモン (GH) 遺伝子転写率の変化. 第65回日本内分泌学会学術総会, 1992.
- 20) 長谷川修, 岡田憲明, 南 史朗, 杉原 仁, 亀谷 純, 柴崎 保, 若林一二: [一般講演] 飢餓ラットの成長ホルモン分泌動態と Neuropeptide Y. 第65回日本内分泌学会学術総会, 1992.
- 21) 岡田憲明, 南 史朗, 杉原 仁, 亀谷 純, 長谷川修, 澤田秀雄, 若林一二: [一般講演] 飢餓ラットの成長ホルモン分泌におよぼす各種栄養素の効果. 第65回日本内分泌学会学術総会, 1992.
- 22) 亀谷 純, 南 史朗, 杉原 仁, 長谷川修, 岡田憲明, 澤田秀雄, 若林一二: [一般講演] ソマトスタチンにより惹起された Barrel rotation と脳内 c-fos 遺伝子発現. 第65回日本内分泌学会学術総会, 1992.
- 23) 南 史朗, 亀谷 純, 杉原 仁, 長谷川修, 岡田憲明, 澤田秀雄, 若林一二: [一般講演] c-fos 遺伝子発現を指標とした成長ホルモンの視床下部における作用点の検討. 第65回日本内分泌学会学術総会, 1992.
- 24) 伊月葉子, 松坂 聡, 青木正明, 末岡伸夫, 秦泉寺亮, 平川恒久, 小林正文, 徳永 昭¹⁾, 恩田昌彦¹⁾(¹⁾外科第 1): [一般講演] 粘膜炎腫瘍類似の形態を呈した胃癌の 1 例. 第219回日本消化器病学会関東支部例会, 1992.
- 25) 高橋秀実¹⁾, 渡辺勇四郎²⁾, 中川洋子³⁾, 水上民夫³⁾, 黒田 肇, 小林正文, 斉藤 泉, 野村武夫, 横室公三¹⁾, 宮村達男⁴⁾(¹⁾微生物学免疫学, ²⁾聖マリアンナ医大内科第 2, ³⁾協和醸酵研究所, ⁴⁾国立予研腸内ウイルス): C 型ウイルス core 領域に対する抗体エピトープの検索とその臨床的意義. 第28回日本肝臓学会総会, 1992.
- 26) Okada, K., Sugihara, H., Minami, S., and Wakabayashi, I.: [展示] Effect of nutrient supply and central administration of antiserum to neuropeptide Y on growth hormone secretory pattern in prolonged food deprived rats. 74th Annual Meeting, The Endocrine Society (San Antonio, U.S.A.), 1992.
- 27) Kamegai, J., Minami, S., Sugihara, H., Hasegawa, O., and Wakabayashi, I.: [展示] Effect of growth hormone on somatostatin gene expression in hypothalamic arcuate nucleus in rats. 74th Annual Meeting, The Endocrine Society (San Antonio, U.S.A.), 1992.
- 28) 林 達之¹⁾, 車谷 亮¹⁾, 宇藤 浩¹⁾, 野中泰延¹⁾, 鈴木恒道²⁾, 別所文雄³⁾, 林 泰秀³⁾, 野村武夫 (¹⁾東京警察病院内科, ²⁾同病理, ³⁾東大小児科): [一般講演] 摘脾後著明な肝腫大を伴い, 巨核芽球性白血病 (AML M7) への移行が見られた原発性骨髄線維症 (PMF) の 1 例. 第115回日本臨床血液学会例会, 1992.
- 29) 山本 泰, 水谷良子¹⁾, 村井善郎¹⁾, 大木一郎, 横瀬紀夫, 二木真琴, 野村武夫 (¹⁾東京都多摩老人医療センター血液科): [一般講演] PRCA, 胃癌を合併した IBL like T-cell lymphoma の 1 症例. 第115回日本臨床血液学会例会, 1992.
- 30) 長谷川節雄, 野村武夫, 塩 栄夫¹⁾, 上坂伸宏²⁾ (¹⁾生理学第 1, ²⁾京大神経内科): [一般講演] 遺伝性球状赤血

球症患者赤血球の heterogeneity と filterability. 第15回日本バイオレオロジー学会年会, 1992.

- 31) 佐藤 順, 多田教彦, 中塚雄久, 竹内 司, 齊藤 整, 吉沢雅史, 山田益弘, 山田裕之, 田口克司, 松坂 聡, 長谷川節雄, 黒田 肇, 小林正文: [一般講演] 乳糜腹水を伴った Zieve 症候群と考えられる 1 例. 第54回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 32) 丸山正明, 廣田 薫, 中川義也, 岩切勝彦, 末岡伸夫, 伊藤敏治, 青木正明, 香川隆男, 平川恒久, 瀬底正彦, 小林正文, 野村武夫, 高岡重博¹⁾ (¹⁾東急病院内科): [一般講演] 胆嚢 adenomyomatosis 様組織像を示した十二指腸球部粘膜下腫瘍の 1 例. 第54回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 33) 杉浦敏昭, 山田益弘, 岩切勝彦, 廣田 薫, 末岡伸夫, 青木正明, 香川隆男, 平川恒久, 小林正文, 徳永 昭¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, (¹⁾外科第1): [一般講演] 若年者乳頭状腺癌の 1 例. 第54回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 34) 藤森俊二, 山門 進, 山手裕一郎, 猪口孝一, 佐藤 順, 南 定, 秦泉寺亮, 玉川恭士, 田口文彦, 岸田輝幸, 吉田 豊, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 回盲部に浸潤潰瘍を認めた Adult T cell leukemia の 1 例. 第54回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 35) 平川恒久, 香川隆男, 廣田 薫, 末岡伸夫, 田口克司, 伊藤敏治, 青木正明, 桑名壮太郎, 小林正文, 永井俊彦¹⁾ (¹⁾東京都多摩老人医療センター): [一般講演] HCl, NaOH による家兎腐食性食道炎の基礎的検討. 第54回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 36) 中塚雄久, 山門 進, 佐藤 順, 藤森俊二, 南 定, 田口文彦, 猪口孝一, 岸田輝幸, 香川隆男, 吉田 豊, 檀 和夫, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 抗生物質の経口投与が奏功した巨赤芽球性貧血を伴う蛋白漏出性腸症の 1 例. 第220回日本消化器病学会関東支部例会, 1992.
- 37) Hasegawa, S., Rodgers, G.P., Shio, H., Schechter, A.N., and Uesaka, N.: [一般講演] Impaired deformability of Heintz body forming red cells. The Eighth International Congress of Biorheology, 1992.
- 38) Miyake, K., Inokuchi, K., Futaki, M., Dan, K., and Nomura, T.: [展示] Expression of the DCC gene in myelodysplastic syndromes and acute myelogenous leukemia. The 24th Congress of the International Society of Hematology (London), 1992.
- 39) An, E., Ogata, K., Ito, T., Yokose, N., Dan, K., and Nomura, T.: [展示] Effects of erythropoietin, interleukin 6 (IL-6) and IL-1- β on purified murine megakaryocytes. The 24th Congress of the International Society of Hematology (London), 1992.
- 40) Miyazaki, S.¹⁾, Koga, H.¹⁾, Fujita, I.¹⁾, Omine, M.²⁾, and Nomura, T. (¹⁾佐賀医大小児科, ²⁾昭和大藤が丘病院内科血液): [展示] The nationwide surveillance of childhood hemolytic anemia in Japan. The 24th Congress of the International Society of Hematology (London), 1992.
- 41) Toyama, K.¹⁾, Ohyashiki, K.¹⁾, Yoshida, Y.²⁾, and Nomura, T. (¹⁾東京医大1内, ²⁾京都大1内): [展示] Clinical implications of chromosomal abnormalities in 401 patients with myelodysplastic syndromes; A multicentric study in Japan. The 24th Congress of the International Society of Hematology (London), 1992.
- 42) Shinohara, E.¹⁾, Matsuoka, H., Miyake, K., Futaki, M., Inokuchi, K., Dan, K., and Nomura, T. (¹⁾日赤医療センター染色体): [展示] Chromosome abnormality 17q- and mutant p53 mRNA detected in bone marrow cells of an acute myeloblastic leukemia FAB-M2 patient in relapse. The 24th Congress of the International Society of Hematology (London), 1992.
- 43) 山崎佳子¹⁾, 金 応文¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 遠藤孝雄¹⁾, 里村克章¹⁾, 勝田悌実¹⁾, 荒巻琢巳¹⁾, 若林一二(¹⁾内科第1): [一般講演] インターフェロン投与後甲状腺機能亢進症を合併したC型慢性肝炎の 1 例. 第221回日本消化器病学会関東支部例会, 1992.
- 44) 小泉信人, 吉沢雅史, 佐藤 順, 藤森俊二, 南 定, 三宅一昌, 立川裕理, 山門 進, 玉川恭士, 田口克司, 岸田輝幸, 吉田 豊, 小林正文, 本田光芳¹⁾ (¹⁾皮膚科): [一般講演] 壊疽性膿皮症を伴った潰瘍性大腸炎の 1

例. 第221回日本消化器病学会関東支部例会, 1992.

- 45) 猪口孝一, 松岡弘樹, 三宅弘一, 二木真琴, 檀 和夫, 野村武夫: [一般講演] bcr-abl cDNA の in vitro assay 系による NIH3T3細胞の形質転換能. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 46) 本間 博¹⁾, 内田拓実¹⁾, 塚本 浩¹⁾, 馬 煥煥¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 渡 淳, 黒田 肇, 松崎つや子²⁾, 齊藤公一²⁾ (¹⁾内科第1, ²⁾付属病院生理機能センター): [一般講演] 経食道心エコー法による左心室拡張能の評価. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 47) 中川義也, 二神生爾, 竹内 司, 丸山正明, 末岡伸夫, 香川隆男, 平川恒久, 小林正文, 丘 正道¹⁾(¹⁾病理第1): [一般講演] *Helicobacter pylori* の組織学的出現率. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 48) 周東祐仁, 岡崎太郎¹⁾, 若林一二 (¹⁾生化第1): [一般講演] 全身型甲状腺ホルモン不応症における T_s受容体の分子生物学的解析. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 49) 中塚雄久, 多田教彦, 名知志子, 李 峰, 竹内 司, 齊藤 整, 吉沢雅史, 山田益弘, 山田裕之, 松坂 聡, 田口克司, 坂本文夫, 金沢秀典, 黒田 肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] アルコール性肝障害に急性B型肝炎を併発し, 興味ある腹腔鏡所見を呈した1例. 第32回腹腔鏡懇話会, 1992.
- 50) 青木 亘¹⁾, 野原秀明¹⁾, 齊藤公一¹⁾, 黒田 肇, 川角 浩²⁾, 竹内良夫²⁾ (¹⁾付属病院生理機能センター, ²⁾免疫・微生物): [一般講演] 本院生理機能センターにおける多剤耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) の現状—第2報—. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 51) Kishida, T., Fujimori, S., Minami, S., Yamakado, S., Taguchi, F., Tamagawa, Y., Yoshida, Y., Hirakawa, T., and Kobayashi, M.: [展示] Clinical significance of serum iron and ferritin in patients with colorectal cancer. First United European Gastroenterology week. (Athens, Greece), 1992.
- 52) Yamakado, S., Tada, N., Fujimori, S., Minami, S., Kishida, T., Hirakawa, T., and Kobayashi, M.: [展示] Colonic mucosal blood flow among patients with portal hypertension. First United European Gastroenterology week. (Athens, Greece), 1992.
- 53) Taguchi, F., Kishida, T., Fujimori, S., Minami, S., Yamakado, S., Tamagawa, Y., Yoshida, Y., Hirakawa, T., and Kobayashi, M.: [展示] Duodenal bile acids in patients with colorectal adenoma and cancer. First United European Gastroenterology week. (Athens, Greece), 1992.
- 54) Sueoka, N., Iwakiri, K., Hirota, K., Miyake, K., Aoki, M., Kagawa, T., and Kobayashi, M.: [展示] Classification and observation of mild esophagitis (Discoloring type) using an electronic endoscope. First United European Gastroenterology week (Athens, Greece), 1992.
- 55) Hirota, K., Ito, T., Kagawa, T., Sueoka, N., Maruyama, M., Aoki, M., Hirakawa, T., and Kobayashi, M.: [展示] DNA ploidy and S-phase fraction of gastric adenoma, First United European Gastroenterology week. (Athens, Greece), 1992.
- 56) Miyake, K., Hirota, K., Yamakado, S., Kishida, T., Sueoka, N., Kagawa, Y., Hirakawa, T., Kobayashi, M., Inagaki, H., and Minami, M.: [展示] Effect of long term H2 bloker treatment on carbonic anhydrase in gastroduodenal mucosa. First United European Gastroenterology week. (Athens, Greece), 1992.
- 57) Shuto, T., Okazaki, T., and Wakabayashi, I.: [展示] Expression of a mutant thyroid hormone receptor- β in a family with generalized resistance to thyroid in COS cells. 9th International Congress of Endocrinology (Nice, France), 1992.
- 58) Sugihara, H., Minami, S., Hasegawa, O., Okada, K., and Wakabayashi, I.: [展示] Effect of somatostatin infusion on growth hormone gene transcription gene in rats. 9th International Congress of Endocrinology (Nice, France), 1992.
- 59) Minami, S., Kamegai, S., Sugihara, H., Hasegawa, O., and Wakabayashi, I.: [展示] Systemic administration of recombinant human growth hormone induces the expression of the c-fos gene in the hypothalamic

arcuate and periventricular nuclei in hypophysectomized rats. 9th International Congress of Endocrinology (Nice, France), 1992.

- 60) 南 史朗, 杉原 仁, 亀谷 純, 長谷川修, 澤田秀雄, 岡田憲明, 小野瀬裕之, 若林一二: [一般講演] 自己免疫性溶血性貧血の治療中に発症した選択的ゴナドトロピン分泌低下症. 第65回日本内分泌学会秋季学術大会, 1992.
- 61) 杉原 仁, 南 史朗, 長谷川修, 亀谷 純, 澤田秀雄, 岡田憲明, 鈴木信周, 若林一二: [一般講演] 下垂体機能低下症に合併した偽性アルドステロン症. 第65回日本内分泌学会秋季学術大会, 1992.
- 62) 南 史朗, 亀谷 純, 杉原 仁, 長谷川修, 岡田憲明, 澤田秀雄, 若林一二: [一般講演] 視床下部における成長ホルモン受容体 (GHR) mRNA の分布. 第19回日本内分泌学会神経内分泌分科会, 1992.
- 63) 金沢秀典, 渡 淳: [ワークショップ] Propranolol による食道静脈瘤の予防; 硬化療法を対照治療法とした controlled study. 第34回日本消化器病学会大会, 1992.
- 64) 南 定, 伊藤敏治, 佐藤 順, 藤森俊二, 山門 進, 田口文彦, 玉川恭士, 岸田輝幸, 吉田 豊, 小林正文: [展示] 大腸腺腫と異型度と p53 蛋白の発現. 第34回日本消化器病学会大会, 1992.
- 65) 吉田 豊, 佐藤 順, 藤森俊二, 南 定, 田口克司, 山門 進, 田口文彦, 岸田輝幸, 小林正文: [展示] 大腸ポリープおよび大腸癌における DCC (deleted in colorectal carcinoma) 遺伝子の検討. 第34回日本消化器病学会大会, 1992.
- 66) 松坂 聡, 金沢秀典, 中塚雄久, 斉藤 整, 吉沢雅史, 多田教彦, 黒田 肇, 小林正文: [一般講演] 肝硬変の予後支配因子に関する検討; 特に短期予後因子と長期予後因子の比較. 第34回日本消化器病学会大会, 1992.
- 67) 小林正文: [特別講演] 逆流性食道炎. 第24回臨床内視鏡研究会, 1992.
- 68) 山門 進, 佐藤 順, 藤森俊二, 南 定, 多田教彦, 松坂 聡, 田口文彦, 岸田輝幸, 吉田 豊, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 門脈圧亢進症 (PH) 例の大腸内視鏡所見の検討. 第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 69) 岸田輝幸, 佐藤 順, 藤森俊二, 南 定, 山門 進, 玉川恭士, 田口文彦, 吉田 豊, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] Schönlein-Henoch purpura (SHP) の消化管内視鏡所見の検討; 文献的考察を加えて. 第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 70) 竹内 司, 間 武雄¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理第2): [一般講演] 肝細胞障害後の修復過程におけるフィブロネクチンと bFGF の役割. 第33回日本組織細胞化学学会総会, 1992.
- 71) 藤森俊二, 岸田輝幸, 佐藤 順, 二神生爾, 中川義也, 南 定, 立川裕理, 三宅一昌, 山門 進, 田口克司, 玉川恭士, 田口文彦, 吉田 豊, 平川恒久, 小林正文: [一般講演] 最近経験した小さい大腸平滑筋腫の2例. 第10回大腸検査法研究総会, 1992.
- 72) 岸田輝幸, 李 峰, 平川恒久, 小林正文, 劉 賓¹⁾, 斉 忠政¹⁾, 杜 興亜¹⁾, 王 雁¹⁾ (¹⁾北京同仁病院): [ポスター] 番瀉葉 (Folium sennae) による注腸造影検査前処置法の検討. 第10回大腸検査法研究総会, 1992.
- 73) 山田 隆, 塚原理歌, 松岡弘樹, 三宅弘一, 横瀬紀夫, 二木真琴, 安 恵美, 伊藤敏治, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫: [一般講演] 白血病の感染予防における Norfloxacin の効果. 第34回日本臨床血液学会総会, 1992.
- 74) 横瀬紀夫, 緒方清行, 伊藤敏治, 安 恵美, 檀 和夫, 野村武夫, 坂巻 壽¹⁾, 小野沢康輔¹⁾, 浜口裕之²⁾ (¹⁾都立駒込病院内科, ²⁾武蔵野赤十字病院内科): [一般講演] MDS の病態と血中 IL-2 および sIL-2R との関連. 第34回日本臨床血液学会総会, 1992.
- 75) 塚原理歌, 二木真琴, 中塚雄久, 松岡弘樹, 三宅弘一, 猪口孝一, 檀 和夫, 野村武夫, 篠原多美子¹⁾ (¹⁾日赤医療センター染色体研究室): [一般講演] bcr 切断点部位のきわめて稀な CML と思われる1例. 第34回日本臨床血液学会総会, 1992.
- 76) 松岡弘樹, 塚原理歌, 三宅弘一, 猪口孝一, 檀 和夫, 野村武夫, 篠原多美子¹⁾ (¹⁾日赤医療センター染色体研究

室)：〔一般講演〕再発時に白血病細胞の p53 蛋白質が陽性となった急性骨髄性白血病 (M2) 症例の分子生物学的検討。第34回日本臨床血液学会総会, 1992。

- 77) 二木真琴, 猪口孝一, 塚原理歌, 松岡弘樹, 三宅弘一, 檀 和夫, 野村武夫：〔一般講演〕慢性骨髄性白血病における bcr-abl 遺伝子の発現量と thrombopoiesis との関連。第34回日本臨床血液学会総会, 1992。
- 78) 三宅弘一, 猪口孝一, 塚原理歌, 松岡弘樹, 二木真琴, 檀 和夫, 野村武夫, 篠原多美子¹⁾(¹⁾日赤医療センター染色体研究室)：〔一般講演〕MDS の白血化における DCC 遺伝子。第34回日本臨床血液学会総会, 1992。
- 79) 檀 和夫, 塚原理歌, 松岡弘樹, 三宅弘一, 横瀬紀夫, 安 恵美, 二木真琴, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 山田 隆, 田辺義博, 大木一郎, 長谷川節雄, 野村武夫：〔一般講演〕再生不良性貧血の血液像と予後。第34回日本臨床血液学会総会, 1992。
- 80) 猪口孝一, 塚原理歌, 松岡弘樹, 三宅弘一, 二木真琴, 檀 和夫, 野村武夫：〔一般講演〕P210Bcr/Abl 蛋白質発現 NIH3T3 fibroblast の造腫瘍能の検討。第34回日本臨床血液学会総会, 1992。
- 81) 緒方清行, 横瀬紀夫, 伊藤敏治, 安 恵美, 檀 和夫, 野村武夫, 坂巻 壽¹⁾, 小野沢康輔¹⁾, 浜口裕之²⁾, (¹⁾都立駒込病院内科, ²⁾武蔵野赤十字病院内科)：〔一般講演〕IL-2 によって誘導される MDS リンパ球の抗腫瘍作用について。第34回日本臨床血液学会総会, 1992。
- 82) 安 恵美, 緒方清行, 辰口篤志, 山田 隆, 檀 和夫, 野村武夫：〔一般講演〕Fusarium による全身感染症を併発した急性リンパ性白血病 (ALL) の 1 例。第34回日本臨床血液学会総会, 1992。
- 83) 伊藤敏治, 緒方清行, 横瀬紀夫, 安 恵美, 檀 和夫, 野村武夫：〔一般講演〕精製ヒト巨核球の in vitro 血小板産生様式：無血清液体培養下でのビデオ撮影による解析。第34回日本臨床血液学会総会, 1992。
- 84) 石井新哉, 佐藤 順, 藤森俊二, 南 定, 立川裕理, 田口克司, 田口文彦, 岸田輝幸, 吉田 豊, 平川恒久, 小林正文：〔一般講演〕大腸若年性ポリープを合併した潰瘍性大腸炎の 1 例。第222回日本消化器病学会関東支部例会, 1992。
- 85) 廣田 薫, 成澤慶哉, 横瀬紀夫, 永井俊彦, 百名祐介¹⁾, 横路 洋¹⁾, 村井義朗²⁾(¹⁾東京都多摩老人医療センター外科, ²⁾同血液科)：〔一般講演〕閉塞性黄疸を初発とした Burkitt リンパ腫の 1 例。第222回日本消化器病学会関東支部例会, 1992。
- 86) 緒方清行, 伊藤敏治, 横瀬紀夫, 安 恵美, 檀 和夫, 野村武夫：〔一般講演〕精製ヒト巨核球の in vitro 血小板産生像：ビデオ撮影による解析。第12回血液幹細胞シンポジウム, 1992。
- 87) 小峰光博¹⁾, 野村武夫 (¹⁾昭和大藤が丘病院内科血液)：〔一般講演〕赤血球破碎症候群の予後調査の集計成績。第34回日本臨床血液学会総会, 1992。
- 88) 間宮康貴, 横山広行¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 杉浦敏昭, 南 史朗, 若林一二 (¹⁾集中治療室)：〔一般講演〕下垂体腺腫摘出術後早期に 3 回の急性心筋梗塞を発症した Cushing 病の 1 例。第415回日本内科学会関東地方会, 1992。
- 89) 岸田輝幸, 佐藤 順, 藤森俊二, 南 定, 立川裕理, 山門 進, 玉川恭士, 田口文彦, 吉田 豊, 平川恒久, 小林正文：〔一般講演〕番瀉葉 (Folium sennae) による大腸内視鏡検査前処置法の検討。第55回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992。
- 90) 中塚雄久, 佐藤 順, 藤森俊二, 南 定, 立川裕理, 三宅一昌, 山門 進, 田口克司, 田口文彦, 岸田輝幸, 吉田 豊, 小林正文：〔一般講演〕大量下血をきたした盲腸炎症性偽ポリープの 1 例。第55回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992。
- 91) 吉本 均, 二木真琴, 岩切勝彦, 澤田秀雄, 末岡伸夫, 香川隆男, 平川恒久, 小林正文, 小嶋隆行¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科第1)：〔一般講演〕多発性胃カルチノイドの 1 例。第55回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992。
- 92) 田村秀人, 成澤慶哉, 西垣 均, 山本 泰, 松岡弘樹, 塚原理歌, 三宅弘一, 横瀬紀夫, 安 恵美, 二木真琴, 緒方清行, 猪口孝一, 山田 隆, 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫：〔一般講演〕

- 演] Hydroxyurea により長期のコントロールが得られた慢性骨髄性白血病の好塩基球急性転化. 第116回日本臨床血液学会例会, 1992.
- 93) 横瀬紀夫, 成澤慶哉, 廣田 薫, 永井俊彦: [一般講演] 高齢者における肝腫瘍の背景. 第12回多摩消化器シンポジウム, 1993.
- 94) 中川義也, 三石 卓, 香取利一, 桑名壮太郎, 松田 健¹⁾, 橋本正好¹⁾, 吉安正行¹⁾, 岸田輝幸, 小林正文⁽¹⁾ (三菱重工大倉山病院外科): [一般講演] 移動盲腸に小腸軸捻転が加わって発症したイレウスの1例. 第223回日本消化器病学会関東支部例会, 1993.
- 95) 小泉信人, 田野崎栄, 中塚雄久, 竹内 司, 吉沢雅史, 斉藤 整, 多田教彦, 松坂 聡, 岩切勝彦, 渡 淳, 金沢秀典, 香川隆男, 黒田 肇, 小林正文: [一般講演] 特発性門脈圧亢進症 (IPH) にシェーグレン症候群を合併した1例. 第223回日本消化器病学会関東支部例会, 1993.
- 96) 江本 因¹⁾, 林 達之¹⁾, 野中泰延¹⁾, 鈴木恒道²⁾, 野村武夫, 森 茂郎³⁾ (¹⁾東京警察病院内科, ²⁾同病理, ³⁾東大医科研病理): [一般講演] 混合性結合組織病 (MCTD) に合併した ATL の1例. 第117回日本臨床血液学会例会, 1993.
- 97) 上久保圭子, 田村秀人, 田野崎栄, 山本 泰, 松岡弘樹, 岩切理歌, 三宅弘一, 横瀬紀夫, 安 恵美, 二木真琴, 緒方清行, 猪口孝一, 山田 隆, 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫: [一般講演] 睾丸腫瘍を形成し著明な骨浸潤をきたした成人T細胞性白血病. 第117回日本臨床血液学会例会, 1993.
- 98) 末岡伸夫, 岩切勝彦: [パネルディスカッション] アルコールと胃食道逆流症 (GERD). 第79回日本消化器病学会総会, 1993.
- 99) 山門 進, 佐藤 順, 藤森俊二, 南 定, 田口文彦, 玉川恭士, 岸田輝幸, 吉田 豊, 小林正文: [一般講演] 炎症性腸疾患における血中, 尿中 Neopterin の検討. 第79回日本消化器病学会総会, 1993.
- 100) 岸田輝幸, 佐藤 順, 藤森俊二, 南 定, 立川裕理, 田口克司, 山門 進, 玉川恭士, 田口文彦, 吉田 豊, 小林正文: [一般講演] 大腸癌患者 (閉経期女性) の血清鉄値 (Fe) および血清フェリチン値 (Ft) に関する検討. 第79回日本消化器病学会総会, 1993.
- 101) 中塚雄久, 吉沢雅史, 斉藤 整, 星長春樹, 山田裕之, 多田教彦, 松坂 聡, 金沢秀典, 黒田 肇, 小林正文: [一般講演] 腹腔鏡的脾腫に関する検討. 第33回腹腔鏡懇話会, 1993.
- 102) Inokuchi, K., Futaki, M., Iwakiri, R., Matsuoka, M., Miyake, K., Yamada, T., Dan, K., and Nomura, T.: [一般講演] A possible correlation of b3-a2 type BCR ABL mRNA to thrombopoiesis in CML defined by semiquantitative RT/PCR. Cancer Detection and Prevention, 第8回国際シンポジウム, 1993.

4. 内科学第四講座

[付属病院第4内科]

研究概要

内科学第4教室では、呼吸器疾患を対象に以下の臨床的、基礎的研究を行った。臨床的研究では、非小細胞肺癌に対しては、1) 本疾患に有効な2種の白金製剤(Cisplatin, Carboplatin)の併用療法の第II相試験を実施し、その成績を論文、学会などで報告し、現在比較第III相試験を実施している。2) 非小細胞肺癌を対象に、Cisplatin, UFT 併用療法のPilot Studyを実施している。3) 切除可能非小細胞肺癌を対象に術前化学療法の有用性を検討するためのPilot Studyを胸部外科との共同研究として進行中である。小細胞肺癌に対しては、1) 全身状態が良好で強力な導入化学療法が施行できる症例に対しては、多剤併用療法の比較試験を実施している。2) 強力な導入化学療法、化学療法が施行し得ない症例に対しては、多剤少量併用化学療法を昨年に引き続き実施し、論文、学会で発表した。3) 既治療小細胞肺癌を対象に、Cisplatin, Carboplatin, Etoposide 併用療法の第I相試験を実施している。また、新しい腫瘍マーカーの検索、肺癌患者のQuality of Life (QOL)の客観的評価法の確立、放射線肺臓炎の早期発見とエリスロマイシンによる予防効果、各種呼吸器疾患に対するエリスロマイシンの有用性の検討、新抗癌剤の臨床開発などを行っている。さらに、無線聴診器の臨床的評価および応用を中心とした肺音の研究、慢性呼吸不全患者に対する在宅酸素療法の導入および確立を看護部と共同して実施している。

基礎的分野では、1) 従来の抗癌剤感受性試験を改良し、臨床投与時の薬剤血中動態に近い濃度で判定可能な測定法を確立した。また、ヒト骨髓細胞を用い各種抗癌剤の骨髓細胞に対する障害性をin vitroで評価し、臨床における抗癌剤投与時の骨髓障害を予測する方法を開発した。2) 肺癌患者の臨床検体を用い、原発および転移病巣におけるp53癌抑制遺伝子の発現について検討している。3) 各種肺癌細胞株を用い、細胞外基質への接着、浸潤能および抗癌剤による修飾など転移に関する研究を行っている。4) LAK療法の治療効果の増強を目的とし、養子免疫療法と抗癌剤との併用に関し、その至適投与量・スケジュールについて検討している。また、双特異的抗体を用いLAK細胞の細胞障害活性の増強につき検討した。5) プレオマイシンにより誘発された肺臓炎に対するエリスロマイシンの予防効果、治療効果に関し検討している。6) 各種抗癌剤の併用投与における有効性および至適投与量・スケジュールの検討を行っている。

研究業績

論文

- 1) 太田和雄¹⁾, 涌井 昭²⁾, 馬島 尚³⁾, 仁井谷久暢, 犬山征夫⁴⁾, 小川一誠⁵⁾, 有吉 寛⁶⁾, 吉田 修⁷⁾, 田口鐵男⁸⁾, 木村郁郎⁹⁾, 加藤 俊¹⁰⁾ (1)愛知県立がんセンター, 2)東北大学抗酸菌研究所臨床化学療法部門, 3)千葉県立がんセンター診療部, 4)慶応大学医学部耳鼻咽喉科, 5)癌研癌化学療法センター臨床部, 6)愛知県立がんセンター血液化学療法科, 7)京都大学医学部泌尿器科, 8)大阪大学微生物病研究所外科, 9)岡山大学医学部第2内科, 10)久留米大学医学部産婦人科): [原著] 新白金錯化合物254-S; Cis-diammine (glycolato)-platinum (II)の臨床第I相試験. 癌と科学療法, 19, 855~861, 1992.
- 2) 古瀬清行¹⁾, 福岡正博²⁾, 栗田雄三³⁾, 有吉 寛⁴⁾, 仁井谷久暢, 米田修一⁵⁾, 藤井昌史⁶⁾, 長谷川浩一⁷⁾, 西脇 裕⁸⁾, 田村 亮⁹⁾, 木村郁郎¹⁰⁾, 井上勝一¹¹⁾, 大島駿作¹²⁾, 楠目 馨¹³⁾, 杉本幾久男¹⁴⁾ (1)国立療養所近畿中央病院内科, 2)大阪府立羽曳野病院第2内科, 3)新潟県立がんセンター病院内科, 4)愛知県立がんセンター呼吸器循環器科, 5)埼玉県立がんセンター呼吸器科, 6)国立四国がんセンター病院内科, 7)慈山会医学研究所付属坪井病院内科, 8)国立療養所松戸病院内科, 9)神戸市立市民病院内科, 10)岡山大学医学部第2内科, 11)美唄労災病院内科, 12)京都大学胸部疾患研究所第2内科, 13)三菱京都病院呼吸器科, 14)長浜赤十字病院): [原著] 254-Sの原発性肺癌に対する第

II 相臨床試験. 癌と化学療法, 19, 879~884, 1992.

- 3) 古瀬清行¹⁾, 福岡正博²⁾, 浅本 仁³⁾, 仁井谷久暢, 木村郁郎⁴⁾, 佐久間昭⁵⁾, 山口 豊⁶⁾ (¹⁾国立療養所近畿中央病院内科, ²⁾大阪府立羽曳野病院第2内科, ³⁾国立京都病院呼吸器科, ⁴⁾岡山大学医学部第2内科, ⁵⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所情報医学研究部門, ⁶⁾千葉大学肺癌研究施設外科): [原著] 肺非小細胞に対する254-S・VDS療法とCDDP・VDS療法との比較臨床試験成績. 癌と化学療法, 19, 1019~1026, 1992.
- 4) 忽滑谷直孝, 仁井谷久暢, 田口鐵男¹⁾, 古江 尚²⁾, 太田和雄³⁾, 塚越 茂⁴⁾, 有吉 寛⁵⁾, 池田正典⁶⁾, 赤阪雄一郎⁷⁾, 太田 潤¹⁾, 住永雅司²⁾, 山村秀夫⁸⁾ (¹⁾大阪大学微生物病研究所付属病院外科, ²⁾帝京大学医学部第4内科, ³⁾名古屋記念病院内科, ⁴⁾癌研究所癌化学療法センター, ⁵⁾愛知県立がんセンター血液化学療法部, ⁶⁾近畿大学医学部産婦人科, ⁷⁾東京慈恵会医科大学泌尿器科, ⁸⁾東京大学医学部名誉教授): [原著] 抗悪性腫瘍剤投与による悪心, 嘔吐に対するSN-307錠の単回経口投与による抑制効果, 安全性および有用性の検討; Non-Platinum 抗悪性腫瘍剤投与患者を対象としたSN-307錠のDose-Finding Study. 癌と化学療法, 19, 1347~1357, 1992.
- 5) 吉村明修, 弦間明彦, 吉森浩三, 仁井谷久暢, 山田浩一, 安藤真弘, 竹中 圭, 長谷川浩一¹⁾, 坪井榮孝²⁾ (¹⁾慈山会医学研究所付属坪井病院内科, ²⁾同放射線科): [原著] 原発性非小細胞肺癌に対するシスプラチン・カルボプラチン併用第I相試験; プラチナ化合物の併用によりPlatinum Dose Intensityを高めることを目的として. 肺癌, 32, 827~835, 1992.
- 6) 竹中 圭, 弦間昭彦, 吉村明修, 仁井谷久暢: [原著] 切除不能非小細胞肺癌に対する2コース目化学療法継続の適応; 1コース終了時腫瘍縮小効果を指標として. 肺癌, 32, 861~867, 1992.
- 7) 日野光紀, 小笠原秀人, 吉井 章¹⁾, 米田修一¹⁾, 野口行雄¹⁾, 酒井 洋¹⁾, 吉田清一¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター呼吸器科): [原著] 肺小細胞癌における血清Carcinoembryonic antigen値測定の臨床的意義. 日胸疾患会誌, 30, 278~284, 1992.
- 8) 日野光紀, 米田修一¹⁾, 小林国彦, 小笠原秀人, 吉井 章¹⁾, 酒井 洋¹⁾, 後藤 功¹⁾, 伊藤邦彦¹⁾, 野口行雄¹⁾, 吉田清一¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター呼吸器科): [原著] 進行肺癌に対するRecombinant G-CSFを用いたエトポシド/シスプラチン併用72時間持続点滴静注法でのエトポシド投与量増量の試みと体内薬物動態の検討. Biotherapy, 6, 209~215, 1992.
- 9) 日野光紀, 小笠原秀人, 吉井 章¹⁾, 伊藤邦彦¹⁾, 米田修一¹⁾, 野口行雄¹⁾, 吉田清一¹⁾, 酒井 洋¹⁾, 楮本智子¹⁾, 鈴木文直¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター呼吸器科): [原著] 肺小細胞癌の気管支鏡所見の分析. 埼玉医会誌, 27, 654~661, 1992.
- 10) 篠田欣也, 久勝章司, 橋元恭士, 仁井谷久暢, 本間 博¹⁾, 早川弘一¹⁾, 北村博司²⁾ (¹⁾内科第1, ²⁾病理第1): [原著] 生前に診断し得た肺癌心転移の1例. 肺癌学会, 1992.
- 11) Kobayashi, K., Yoshimura, A., Hino, M., Gemma, A., Yoshimori, K., Shibuya, M., Takemoto, T., Hayashihara, K., Matsuzaka, M., Wasai, S., and Niitani, H.: [原著] Combination of cisplatin and carboplatin in vitro and in clinical practice: Cancer chemotherapy. Challenges for the Future, 7, 279~286, 1992.
- 12) 小林国彦, 武本俊彦, 日野光紀, 林原賢治, 中広一善, 仁井谷久暢: [原著] "Dose oriented" in vitro 抗癌剤感受性試験. 癌学会総会記事, 369, 1992.
- 13) 清水弘之¹⁾, 坪井康次¹⁾, 栗原 稔¹⁾, 村上 稔¹⁾, 富永 健¹⁾, 江口研二¹⁾, 鈴木紀彰¹⁾, 小川 浩¹⁾, 石川邦嗣¹⁾, 多田弘人¹⁾, 堀田知光¹⁾, 小林国彦 (¹⁾厚生省研究班): [原著] 抗癌剤効果判定の指標としてのQOL評価. 癌治療学会総会抄録号, 1283, 1992.
- 14) 小林国彦, 武田文和¹⁾, 後藤 功¹⁾, 伊藤邦彦¹⁾, 酒井 洋¹⁾, 米田修一¹⁾, 野口行雄¹⁾, 高橋崇之²⁾, 小笠原秀人, 仁井谷久暢 (¹⁾埼玉県立がんセンター, ²⁾三共製薬): [原著] EORIC core quality of life questionnaire 日本語認定バージョン (QLQJ) の信頼性・妥当性の検定. 肺癌学会総会号, 32, 683, 1992.
- 15) 杉本裕之¹⁾, 長谷川浩一²⁾, 弦間昭彦, 竹中 圭, 野村浩一郎, 山田浩一, 安藤真弘, 仁井谷久暢, 栗原 稔³⁾ (¹⁾慈山会医学研究所付属坪井病院内科, ²⁾同放射線科, ³⁾昭和大学医学部付属豊洲病院消化器科): [原著] 進行・

再発胃癌に対する MMC+5FU 持続点滴静注法の検討. *Oncologia*, 25, 84~89, 1992.

- 16) 仁井谷久暢, 村田 朗: [原著] 抗癌剤 Anticancer Drugs. 総合臨床 (増刊号), 41, 147~151, 1992.
- 17) Kubota, N.¹⁾, Kanazawa, F.¹⁾, Nishio, K.¹⁾, Takeda, Y., Ohmori, T.¹⁾, Fujisawa, Y.¹⁾, Terashima, Y.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [原著] Detection of topoisomerase I gene point mutation in CPT-11 resistant lung cancer cell line. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 188, 571~577, 1992.
- 18) Nishio, K.¹⁾, Sugimoto, Y.¹⁾, Fujisawa, Y.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Morikage, T.¹⁾, Takeda, Y., Ohata, M.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [原著] Phospholipase C-mediated hydrolysis of phosphatidylcholine is activated by cis-diamminedichloroplatinum(II). *J. Clin. Invest.*, 89, 1622~1628, 1992.
- 19) Nishino, K.¹⁾, Morikage, T.¹⁾, Kubota, N.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Takeda, Y., Fujisawa, Y.¹⁾, Miki, K.¹⁾, Abe, K.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [原著] Alteration of type II regulatory subunit of cAMP-dependent protein kinase in human cisplatin-resistant cells as a basis of collateral sensitivity to 8-cholro-cAMP. *Jpn. J. Cancer Res.*, 83, 754~760, 1992.
- 20) 仁井谷久暢, 吉村明修: [原著] BRM による癌治療と QOL の評価. 癌治療と宿主, 4, 410~416, 1992.
- 21) 忽滑谷直孝: [原著] 癌化学療法における悪心・嘔吐対策と看護の現状. 診療と新薬, 29, 967~979, 1992.
- 22) 赤阪雄一郎¹⁾, 田口鐵男²⁾, 太田和雄³⁾, 古江 尚⁴⁾, 仁井谷久暢, 塚越 茂⁵⁾, 住永雅司⁶⁾, 忽滑谷直孝, 有吉 寛⁶⁾, 池田正典⁷⁾, 太田 潤²⁾, 山村秀夫⁸⁾ (¹⁾東京慈恵会医科大学泌尿器科, ²⁾大阪大学微生物病研究所附属病院外科, ³⁾名古屋記念病院内科, ⁴⁾帝京大学医学部第 4 内科, ⁵⁾癌研究会癌化学療法センター, ⁶⁾愛知県立がんセンター血液化学療法部, ⁷⁾近畿大学医学部産婦人科, ⁸⁾東京大学医学部名誉教授): [原著] 抗悪性腫瘍剤による悪心・嘔吐に対する SN-307 (Ondansetron) 注射液の臨床評価—Cisplatin 投与患者を対象とした Dose-finding Study—(二重盲検クロスオーバー比較試験). 臨床医薬, 8, 1379~1395, 1992.
- 23) 田口鐵男¹⁾, 古江 尚²⁾, 仁井谷久暢, 太田和雄³⁾, 塚越 茂⁴⁾, 宮崎 保⁵⁾, 土田正義⁶⁾, 長谷川浩一⁷⁾, 田中憲一⁸⁾, 栗田雄三⁹⁾, 小磯謙吉¹⁰⁾, 吉田清一¹¹⁾, 小黒昌夫¹²⁾, 阿部令彦¹³⁾, 小川一誠⁴⁾, 河合恒雄¹⁴⁾, 秋元成太¹⁵⁾, 町田豊平¹⁶⁾, 平野正美¹⁷⁾, 白川 茂¹⁸⁾, 大島駿作¹⁹⁾, 吉田 修²⁰⁾, 酒井克治²¹⁾, 福岡正博²²⁾, 小山博記²³⁾, 野田起一郎²⁴⁾, 木村郁郎²⁵⁾, 小倉 剛²⁶⁾, 市丸道人²⁷⁾, 薬師寺道明²⁸⁾, 赤阪雄一郎¹⁶⁾, 忽滑谷直孝, 住永雅司²⁹⁾, 有吉 寛³⁰⁾, 池田正典²⁴⁾, 太田 潤¹⁾ (¹⁾大阪大学微生物病研究所附属病院外科, ²⁾帝京大学医学部第 4 内科, ³⁾名古屋記念病院内科, ⁴⁾癌研究会癌化学療法センター, ⁵⁾北海道大学第 3 内科, ⁶⁾秋田大学泌尿器科, ⁷⁾坪井病院内科, ⁸⁾新潟大学, ⁹⁾新潟県立がんセンター新潟病院内科, ¹⁰⁾筑波大学泌尿器科, ¹¹⁾埼玉県立がんセンター呼吸器科, ¹²⁾千葉県立がんセンター血液化学療法科, ¹³⁾慶応大学外科, ¹⁴⁾癌研究会泌尿器科, ¹⁵⁾日本医大泌尿器科, ¹⁶⁾慈恵医大泌尿器科, ¹⁷⁾藤田保健衛生大内科, ¹⁸⁾三重大学第 3 内科, ¹⁹⁾京都大学胸部疾患研究所附属病院第 2 内科, ²⁰⁾京都大学泌尿器科, ²¹⁾大阪市立大学第 2 外科, ²²⁾府立羽曳野病院第 2 内科, ²³⁾府立成人病センター第 3 外科, ²⁴⁾近畿大学産婦人科, ²⁵⁾岡山大学第 2 内科, ²⁶⁾徳島大学第 3 内科, ²⁷⁾長崎大学原研内科, ²⁸⁾久留米大学産婦人科, ²⁹⁾帝京大学第 4 内科, ³⁰⁾愛知県立がんセンター血液化学療法部): [原著] 抗悪性腫瘍剤による悪心・嘔吐に対する SN-307 (Ondansetron) の抑制効果, 安全性および有用性の検討: Cisplatin 投与患者を対象とした Dose-finding Study. 臨床医薬, 8, 647~660, 1992.
- 24) 忽滑谷直孝, 野村浩一郎, 小野 靖, 小林国彦, 日野光紀, 吉村明修, 工藤翔二, 仁井谷久暢: [原著] CDDP を中心とした癌化学療法の制吐対策. 進行肺癌治療懇話会, 1992.
- 25) 住永雅司¹⁾, 古江 尚¹⁾, 田口鐵男²⁾, 太田和雄³⁾, 仁井谷久暢, 塚越 茂⁴⁾, 有吉 寛⁵⁾, 池田正典⁶⁾, 太田 潤²⁾, 赤阪雄一郎⁷⁾, 忽滑谷直孝, 山村秀夫⁸⁾ (¹⁾帝京大学医学部第 4 内科, ²⁾大阪大学微生物病研究所附属病院外科, ³⁾名古屋記念病院内科, ⁴⁾癌研究会癌化学療法センター, ⁵⁾愛知県立がんセンター血液化学療法部, ⁶⁾近畿大学医学部産婦人科, ⁷⁾東京慈恵会医科大学泌尿器科, ⁸⁾東京大学医学部名誉教授): [原著] 抗悪性腫瘍剤投与による悪

- 心・嘔吐に対する SN-307(Ondansetron)注射液の単価静脈内投与による抑制効果, 安全性および有用性の検討; Cisplatin 投与患者を対象とした SN-307注射液の Dose-finding Study. 癌と化学療法, 19, 1333~1345, 1992.
- 26) 赤阪雄一郎¹⁾, 田口鐵男²⁾, 太田和雄³⁾, 古江 尚⁴⁾, 仁井谷久暢, 塚越 茂⁵⁾, 有吉 寛⁶⁾, 池田正典⁷⁾, 太田 潤²⁾, 住永雅司⁴⁾, 忽滑谷直孝^{(1)東京慈恵会医科大学泌尿器科, 2)大阪大学微生物病研究所附属病院外科, 3)名古屋記念病院内科, 4)帝京大学医学部第4内科, 5)癌研究会癌化学療法センター, 6)愛知県立がんセンター血液化学療法部, 7)近畿大学医学部産婦人科}: [原著] Cisplatinに基づく悪心・嘔吐に対する SN-307 (Ondansetron) 注射液の連日静脈内投与による制吐効果および安全性の検討. 癌と化学療法, 19, 1359~1374, 1992.
- 27) 忽滑谷直孝, 仁井谷久暢, 田口鐵男¹⁾, 古江 尚²⁾, 太田和雄³⁾, 塚越 茂⁴⁾, 有吉 寛⁵⁾, 池田正典⁶⁾, 赤阪雄一郎⁷⁾, 太田 潤¹⁾, 住永雅司²⁾ ^{(1)大阪大学微生物病研究所附属病院外科, 2)帝京大学医学部第4内科, 3)名古屋記念病院内科, 4)癌研究会癌化学療法センター, 5)愛知県立がんセンター血液化学療法部, 6)近畿大学医学部産婦人科, 7)東京慈恵会医科大学泌尿器科}: [原著] Non-Platinum 抗悪性腫瘍剤投与患者を対象とした SN-307(Ondansetron)注射液の連日静脈内投与による制吐効果および安全性の検討. 癌と化学療法, 19, 1375~1385, 1992.
- 28) Keicho, N.¹⁾, Yotsumoto, H.¹⁾, Kudoh, S., and Sakagawa, K.²⁾ ^{(1)The Third Department of Medicine, University of Tokyo, 2)The Department of Cellular Immunology, National Institute of Health}: [原著] Effects of erythromycin on lymphocyte and macrophage differentiation. Sarcoidosis (Suppl), 9, 663~656, 1992.
- 29) 池田正典¹⁾, 田口鐵男²⁾, 太田和雄³⁾, 古江 尚⁴⁾, 仁井谷久暢, 塚越 茂⁵⁾, 有吉 寛⁶⁾, 赤阪雄一郎⁷⁾, 太田 潤²⁾, 住永雅司⁴⁾, 忽滑谷直孝^{(1)近畿大学医学部産婦人科, 2)大阪大学微生物病研究所附属病院外科, 3)名古屋記念病院内科, 4)帝京大学医学部第4内科, 5)癌研究会がん化学療法センター, 6)愛知県立がんセンター血液化学療法部, 7)東京慈恵会医科大学泌尿器科}: [原著] Cisplatin を中心とする抗悪性腫瘍剤による嘔吐発現例を対象とした SN-307 (Ondansetron) の静脈内投与による制吐効果の検討; Open study. 癌と化学療法, 19, 1905~1914, 1992.
- 30) 住永雅司¹⁾, 古江 尚¹⁾, 田口鐵男²⁾, 仁井谷久暢, 太田和雄³⁾, 塚越 茂⁴⁾, 有吉 寛⁵⁾, 池田正典⁶⁾, 赤阪雄一郎⁷⁾, 太田 潤²⁾, 忽滑谷直孝^{(1)帝京大学医学部第4内科, 2)大阪大学微生物病研究所附属病院外科, 3)名古屋記念病院内科, 4)癌研究会がん化学療法センター, 5)愛知県立がんセンター血液化学療法部, 6)近畿大学医学部産婦人科, 7)東京慈恵会医科大学泌尿器科}: [原著] Cisplatin に基づく悪心・嘔吐に対する SN-307 (Ondansetron) 錠の連日経口投与による制吐効果の検討. 癌と化学療法, 19, 1879~1890, 1992.
- 31) Kudoh, S., Sharma, O.M.¹⁾ ^{(1)Southern California University School of Medicine, L.A}: [原著] Diffuse panbronchiolitis and erythromycin. Sarcoidosis, 1, 657~658, 1992.
- 32) 吾妻安良太, 仁井谷久暢: [原著] 双特異的抗体 (Bispecific F(ab')₂) を用いた肺小細胞癌に対する LAK 活性の増強効果. 胸部疾患学会雑誌, 29, 1132~1137, 1992.
- 33) Azuma, A., Yagita, H.¹⁾, Matsuda, H.¹⁾, Okumura, K.¹⁾, and Niitani, H. ^{(1)Department of Immunology, Jintendo University School of Medicine}: [原著] Induction of intercellular adhesion molecule 1 on small cell lung carcinoma cell lines by γ -interferon enhances spontaneous and bispecific anti-CD3 x antitumor antibody-directed lymphokine-activated killer cell cytotoxicity. Cancer Reserch, 52, 4890~4894, 1992.
- 34) 小野 靖, 長谷川浩一¹⁾, 田口鐵男²⁾, 古江 尚³⁾, 仁井谷久暢, 太田和雄³⁾, 塚越 茂⁴⁾, 涌井 昭⁵⁾, 中尾 功⁶⁾, 大橋泰彦⁶⁾, 富永 健⁷⁾, 有吉 寛⁸⁾, 下山 孝⁹⁾, 木村郁郎^{(1)慈山会医学研究所附属坪井病院内科, 2)大阪大学微生物病研究所附属病院外科, 3)名古屋記念病院内科, 4)癌研究会癌化学療法センター, 5)東北大学抗酸菌研究所臨床化学療法部門, 6)癌研究会附属病院内科, 7)都立駒込病院外科, 8)愛知県立がんセンター血液化学療法部, 9)岡山大学第2内科}: [原著] 新経口 FduMP 誘導体 TT-62の臨床第I相試験. 癌治療学会, 1992.
- 35) 有吉 寛¹⁾, 太田和雄²⁾, 田口鐵男³⁾, 古江 尚⁴⁾, 仁井谷久暢, 塚越 茂⁵⁾, 池田正典⁶⁾, 赤阪雄一郎⁷⁾, 太田 潤³⁾,

- 住永雅司⁴⁾, 忽滑谷直孝, 山村秀夫⁸⁾(¹⁾愛知県立がんセンター血液化学療法部, ²⁾名古屋記念病院内科, ³⁾大阪大学微生物病研究所附属病院外科, ⁴⁾帝京大学第4内科, ⁵⁾癌研究会癌化学療法センター, ⁶⁾近畿大学医学部産婦人科, ⁷⁾東京慈恵会医科大学泌尿器科, ⁸⁾東京大学医学部名誉教授): [原著] SN-307 (Ondansetron) 錠の単価経口投与による制吐効果および安全性に関する Placebo との二重盲検比較試験. 癌と化学療法, 19, 2057~2070, 1992.
- 36) 馬場 尚¹⁾, 塚越 茂²⁾, 古江 尚³⁾, 住永雅司³⁾, 坂本和典³⁾, 若林 亮³⁾, 木住野哲³⁾, 仁井谷久暢, 村田 朗, 弦間昭彦, 忽滑谷直孝, 植松和嗣, 古田知行, 栗原 稔⁴⁾, 吉田文英⁵⁾, 磯村伸司⁴⁾, 竹本達哉⁴⁾, 平嶋正直⁴⁾, 泉嗣彦⁴⁾, 中尾 功⁶⁾, 大橋泰彦⁶⁾, 伊藤恵一⁶⁾, 浅井 隆⁷⁾(¹⁾千葉県立がんセンター, ²⁾癌研究会癌化学療法センター, ³⁾帝京大学医学部附属溝の口病院第4内科, ⁴⁾昭和大学医学部附属豊洲病院消化器科, ⁵⁾昭和大学医学部附属豊洲病院内科, ⁶⁾癌研究会附属病院内科, ⁷⁾NTT 東京中央健康管理センター循環器科): [原著] RA-700の臨床第1相試験. 癌と化学療法, 20, 67~78, 1993.
- 37) 工藤翔二, 洲崎春海¹⁾(¹⁾昭和大学医学部耳鼻咽喉科): [原著] び慢性汎細気管支炎. 気管支拡張症における副鼻腔炎. 治療, 75, 163~166, 1993.
- 38) 工藤翔二: [原著] 慢性呼吸不全. Medicina, 30, 248~250, 1993.
- 39) 田口鐵男¹⁾, 古江 尚²⁾, 仁井谷久暢, 太田和雄³⁾, 塚越 茂⁴⁾, 涌井 昭⁵⁾, 長谷川浩一⁶⁾, 中尾 功⁷⁾, 大橋泰彦⁸⁾, 富永 健⁹⁾, 有吉 寛¹⁰⁾, 下山 孝¹¹⁾, 木村郁郎¹²⁾, 杉町圭蔵¹³⁾(¹⁾大阪大学微生物病研究所附属病院臨床部門門外, ²⁾帝京大学医学部附属病院第4内科, ³⁾名古屋記念病院, ⁴⁾癌研究会癌化学療法センター, ⁵⁾東北大学抗酸菌病研究所附属病院臨床化学療法, ⁶⁾慈山会医学研究所附属坪井病院, ⁷⁾東京駒込赤十字血液センター, ⁸⁾癌研究会附属病院, ⁹⁾都立駒込病院外科, ¹⁰⁾愛知県立がんセンター血液化学療法部, ¹¹⁾兵庫医科大学第4内科, ¹²⁾岡山大学医学部第2内科, ¹³⁾九州大学第2外科): [原著] TT-62の臨床第I相試験. 癌と化学療法, 20, 241~246, 1993.
- 40) 吉村明修, 山野義光, 弦間昭彦, 吉森浩三, 林原賢治, 谷口泰之, 植松和嗣, 渋谷昌彦, 工藤翔二, 仁井谷久暢, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾(¹⁾慈山会医学研究所附属坪井病院): [原著] 原発性非小細胞癌に対するシスプラチン・カルボプラチン併用早期第II相試験. 癌と化学療法, 20, 503~508, 1993.
- 41) Niitani, H., Kobayashi, K.: [総説] Cisplatin/carboplatin therapy in non-small cell lung cancer. Oncology, 49, 51~56, 1992.
- 42) 吉村明修: [総説] 新しい Methotrexate (MTX) 誘導体 (特集: 肺がんに対する新抗癌剤開発の現況). 癌と化学療法, 19, 2133~2139, 1992.
- 43) 吉森浩三: [原著] 養子免疫療法の効果増強に関する実験的検討: LAK 細胞の誘導条件, 治療効果ならびに抗癌剤との併用について. 日医大誌, 59, 44~53, 1992.
- 44) 弦間昭彦, 仁井谷久暢: [総説] 癌の薬物療法; 理論と実際 (2) 肺癌. 薬事新報, 1708, 9~11, 1992.
- 45) 工藤翔二: [総説] I, 疾患と病態の新しい理解 DPB と副鼻腔気管支症候群の病因・病態をめぐって. 気管支喘息と閉塞性肺疾患, 62~69, 1992.
- 46) 吾妻安良太: [総説] 特集 I 「新しい免疫 targeting 療法」, Bispecific 抗体を用いた腫瘍の治療. 臨床免疫, 24, 480~488, 1992.
- 47) 吾妻安良太, 仁井谷久暢, 奥村 康¹⁾(¹⁾順天堂大学医学部免疫学): [総説] Bispecific antibody と癌治療. 癌と化学療法, 18, 1535~1542, 1992.
- 48) 工藤翔二: [総説] 特集/気管支喘息における抗アレルギー薬の使い方 - 最近の抗アレルギー薬との比較 - 気管支喘息の診断上の留意点 - 成人の場合 -. Progress in Medicine, 12, 2951~2956, 1992.
- 49) 工藤翔二: [総説] びまん性汎細気管支炎. 臨床成人病, 22, 109~113, 1992.
- 50) 工藤翔二: [総説] Pao2を規定するもの. 臨床医, 18, 2026~2028, 1992.
- 51) 工藤翔二: [総説] 血液ガスから分かること. 臨床医, 18, 2024~2025, 1992.
- 52) 仁井谷久暢, 久勝章司: [総説] チュブリン作用系抗癌剤. 癌と化学療法, 20, 34~41, 1993

著 書

- 1) 仁井谷久暢, 林原賢治, : [分担] がん化学療法の副作用対策—よりたかい抗がん効果ときめ細かい副作用効果を求めて—抗がん剤の適応を分担. (監修 吉田清一) P. 92~102, 先端医学社, 1992.

学会発表

- 1) 吉村明修: [シンポジウム] 新しい抗癌剤 新しい Methotrexate (MTX) 誘導体. 癌治療学会, 1992.
- 2) Takeda, Y., Nishio, K.¹⁾, Morikage, T.¹⁾, Kubota, N.¹⁾, Kojima, A.¹⁾, Kubo, S.¹⁾, Fujisawa, Y.¹⁾, Niitani, H., and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Reversal of multidrug resistance by genistein in non-P-glycoprotein mediated multidrug-resistant cell line (K562/TPA). Proc. AACR, 33, 2847, 1992.
- 3) Kubota, N.¹⁾, Ohta, S.¹⁾, Takeda, Y., Ohmori, T.¹⁾, Nishino, K.¹⁾, Morikage, T.¹⁾, Fujiwara, Y.¹⁾, Kanazawa, F.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Detection of topoisomerase I gene mutation in camptothecin analogue (CPT-11) -resistant cell line using PCR-SSCP analysis. Proc. AACR, 33, 2680, 1992.
- 4) Morikage, T.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Nishio, K.¹⁾, Takeda, Y., Kubota, N.¹⁾, Kondoh, H.¹⁾, Fujiwara, Y.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Modulation of cisplatin resistance by amphotericin B in cisplatin resistant human lung cancer cell lines. Proc. AACR, 33, 1992.
- 5) Nishio, K.¹⁾, Sugimoto, Y.¹⁾, Fujiwara, Y.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Morikage, T.¹⁾, Takeda, Y., and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Phospholipase C-mediated hydrolysis of phosphatidylcholine (PC) is activated by cis-diamminedichloroplatinum (II). Proc. AACR, 33, 1992.
- 6) Kubota, N.¹⁾, Ohta, S.¹⁾, Takeda, Y., Kubo, S.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Morikage, T.¹⁾, Nishio, K.¹⁾, Furukawa, Y.¹⁾, Kanazawa, F.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Detection of topoisomerase I gene mutation in camptothecin analogue (CPT-11) -resistant cell line using PCR-SSCP analysis. Proc. Jpn. Cancer Assoc., 83, 2109, 1992.
- 7) Nishio, K.¹⁾, Morikage, T.¹⁾, Kubota, N.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Takeda, Y., Fujiwara, Y.¹⁾, Miki, K.¹⁾, Abe, K.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Alteration of type II regulatory subunit of cAMP-dependent protein kinase in human cisplatin-resistant cells—collateral sensitivity to 8-Cl-cAMP. Proc. Jpn. Cancer Assoc., 83, 1992.
- 8) Ohmori, T.¹⁾, Morikage, T.¹⁾, Nishio, K.¹⁾, Takeda, Y., Kubota, N.¹⁾, Ohta, S.¹⁾, Fujiwara, Y.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Role of Na⁺, K⁺-ATPase in the cellular uptake mechanism of cisplatin in non-small cell lung cancer cell lines. Proc. Jpn. Cancer Assoc., 83, 1992.
- 9) Takeda, Y., Nishio, K.¹⁾, Morikage, T.¹⁾, Kubota, N.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Fujiwara, Y.¹⁾, Niitani, H., and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Screening modulators of drug resistance in a human myelogenous leukemia cell line resistant to 12-O-tetradecanoylphorbol 13-acetate (TPA) which shows non-P-glycoprotein mediated multidrug resistance. Proc. Jpn. Cancer Assoc., 83, 1992.
- 10) Ohta, S.¹⁾, Nishio, K.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Kubo, S.¹⁾, Takeda, Y., Kubota, N.¹⁾, Morikage, T.¹⁾, Fujikawa, Y.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Resistant mechanisms of anticancer agents targeting microtubules. Proc. Jpn. Cancer Assoc., 83, 1992.
- 11) Morikage, T.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Nishio, K.¹⁾, Takeda, Y., Fujiwara, Y.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Enhancing effect of amphotericin B on sensitivity and cellular

accumulation of cisplatin in human lung cancer cell lines. Proc. Jpn. Cancer ASSOC., 83, 1992.

- 12) 林原賢治, 吉村明修, 弦間昭彦, 吉森浩三, 谷口泰之, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝²⁾ (慈山会医学研究所付属坪井病院内科, ²⁾同放射線科): [一般講演] 原発性非小細胞癌に対する Cisplatin (CDDP), Carboplatin (CBDCA) 併用療法の臨床第 I/II 相試験. 内科学会, 1992.
- 13) 忽滑谷直孝, 小林国彦, 野村浩一郎, 村田 朗, 吉森浩三, 林原賢治, 中広一善, 仁井谷久暢: [一般講演] QOL 質問紙による癌治療評価の基礎的研究. 内科学会, 1992.
- 14) 吉村昭修, 谷口泰之, 林原賢治, 弦間明彦, 吉森浩三, 渋谷昌彦, 小林国彦, 仁井谷久暢: [一般講演] 原発性非小細胞肺癌患者に対する Cisplatin, Carboplatin 併用療法の臨床第 II 相試験. 胸部疾患学会, 1992.
- 15) 臼杵二郎, 福田 悠¹⁾, 仁井谷久暢 (病理第 1): [一般講演] リンパ管内進展を示した末梢肺原発線維腫 9 例. 胸部疾患学会, 1992.
- 16) 西尾和人¹⁾, 杉本芳一¹⁾, 大森 亨¹⁾, 森陰俊彦¹⁾, 竹田雄一郎, 藤原康弘¹⁾, 西條長宏¹⁾ (国立がんセンター薬物試験部): [一般講演] シスプラチンを用いた肺癌細胞のジアシルグリセロール (DAG) 産生経路の検討. 胸部疾患学会, 1992.
- 17) 野村浩一郎, 酒井茂利, 森川哲行, 飯塚和弘, 渋谷昌彦, 青山昭徳, 仁井谷久暢: [一般講演] ヒト肺癌細胞の血管内皮細胞への接着, 浸潤能に関する検討. 胸部疾患学会, 1992.
- 18) 植松和嗣, 西脇 裕¹⁾, 児玉哲郎¹⁾, 松本武敏¹⁾, 金子篤志¹⁾, 滝口裕一¹⁾, 北條史彦¹⁾, 林辺 晃¹⁾, 西村忠世¹⁾, 西山祥行¹⁾ (国立療養所松戸病院内科): [一般講演] 気管支断端陽性肺癌切除例の検討. 気管支学会, 1992.
- 19) 中広一善: [一般講演] 気管支鏡検査時におけるストレス軽減の検討. 気管支学会, 1992.
- 20) 森川哲行, 谷口泰之, 中広一善, 野村浩一郎, 忽滑谷直孝, 久勝章司, 林原賢治, 山野義光, 吉森浩三, 村田 朗, 古田知行, 小倉宏道¹⁾, 川並往一¹⁾, 仁井谷久暢 (第二病院病理部): [一般講演] 気管支鏡にて診断しえた成人 T 細胞性白血病の肺浸潤の 1 例. 気管支学会, 1992.
- 21) 森川哲行, 山田浩一, 忽滑谷直孝, 日野光紀, 倉根修二, 仁井谷久暢: [一般講演] 小細胞肺癌 poor-risk 症例に対する multi-cyclic chemotherapy の検討. 胸部疾患学会関東地方会, 1992.
- 22) 安藤真弘, 竹中 圭, 小野 靖, 山野義光, 渡辺秀一¹⁾, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝²⁾, 弦間昭彦, 山田浩一, 久勝章司, 仁井谷久暢 (慈山会医学研究所付属坪井病院内科, ²⁾同放射線科): [一般講演] 肺非小細胞癌における予後因子としての血清 NSE 値の検討. 癌治療学会, 1992.
- 23) 西尾和人¹⁾, 森陰俊彦¹⁾, 窪田尚弘¹⁾, 大森 亨¹⁾, 竹田雄一郎, 藤原康弘¹⁾, 阿部 薫¹⁾, 西條長宏¹⁾ (国立がんセンター薬物試験部): [一般講演] 8-Cl-cAMP によるシスプラチン耐性の克服と機序の検討. 癌治療学会, 1992.
- 24) 窪田尚弘¹⁾, 太田 斉¹⁾, 竹田雄一郎, 久保幸代¹⁾, 大森 亨¹⁾, 森陰俊彦¹⁾, 西尾和人¹⁾, 藤原康弘¹⁾, 官澤文彦¹⁾, 西條長宏¹⁾ (国立がんセンター薬物試験部): [一般講演] CPT-11 耐性株における PCR-SSCP 法を用いた Topoisomerase I (Topo I) gene 変異検出の試み. 癌治療学会, 1992.
- 25) 大森 亨¹⁾, 森陰俊彦¹⁾, 藤原康弘¹⁾, 西尾和人¹⁾, 窪田尚弘¹⁾, 竹田雄一郎, 太田 斉¹⁾, 西條長宏¹⁾ (国立がんセンター薬物試験部): [一般講演] ヒト非小細胞に於ける cisplatin (CDDP) 取り込み機構の検討. 癌治療学会, 1992.
- 26) 竹田雄一郎, 西尾和人¹⁾, 森陰俊彦¹⁾, 窪田尚弘¹⁾, 大森 亨¹⁾, 藤原康弘¹⁾, 仁井谷久暢, 西條長宏¹⁾ (国立がんセンター薬物試験部): [一般講演] 抗癌剤多剤耐性を示す 12-O-tetradecanoylphorbol 13-acetate (TPA) 耐性ヒト骨髓球性白血病細胞株の耐性克服の検討. 癌治療学会, 1992.
- 27) 野村浩一郎, 忽滑谷直孝, 小林国彦, 吉森浩三, 林原賢治, 中広一善, 仁井谷久暢: [一般講演] 肺癌患者に対する CDDP を中心とする化学療法の QOL へ及ぼす影響の検討. 癌治療学会, 1992.
- 28) 安藤真弘, 竹中 圭, 小野 靖, 山野義光, 渡辺秀一¹⁾, 長谷川浩一¹⁾, 左近司光明²⁾, 弦間昭彦, 山田浩一, 久勝章司, 仁井谷久暢 (慈山会医学研究所付属坪井病院内科, ²⁾同外科): [一般講演] 肺非小細胞癌における予

後因子としての血清 NSE 値の検討. 腫瘍マーカー研究会, 1992.

- 29) 仁井谷久暢: [シンポジウム] トポイソメラーゼ阻害剤の臨床応用. 癌学会, 1992.
- 30) 森川哲行, 酒井茂利, 野村浩一郎, 大塚麻理子, 青山昭徳, 飯塚和弘, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢: [一般講演] B16 F10細胞の artificial lung metastasis に与える抗癌剤前処理の影響. 癌学会, 1992.
- 31) 野村浩一郎, 酒井茂利, 森川哲行, 大塚麻理子, 渋谷昌彦, 青山昭徳, 仁井谷久暢: [一般講演] ヒト肺癌細胞の血管内皮細胞への接着に影響する因子の検討. 肺癌学会, 1992.
- 32) 谷口泰之, 吉村明修, 弦間明彦, 吉森浩三, 林原賢治, 植松和嗣, 仁井谷久暢: [一般講演] 初回治療に CDDP を含む化学療法を施行された非小細胞肺癌症例での予後因子の検討, 肺癌学会, 1992.
- 33) 古田知行, 弦間昭彦, 吉村明修, 吉森浩三, 林原賢治, 谷口泰之, 植松和嗣, 臼杵二郎, 原口秀司¹⁾, 山中宣昭²⁾, 小泉 潔¹⁾, 五味淵誠¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 仁井谷久暢^(¹⁾胸部外科, ²⁾病理第1): [一般講演] 術前化学療法施行非小細胞肺癌における臨床病理学的検討. 肺癌学会, 1992.
- 34) 森川哲行, 酒井茂利, 野村浩一郎, 飯塚和弘, 渋谷昌彦, 青山昭徳, 仁井谷久暢: [一般講演] ヒト肺癌細胞の血管内皮細胞への接着に影響する因子の検討. 肺癌学会, 1992.
- 35) 野村浩一郎, 忽滑谷直孝, 中広一善, 小林国彦, 小野靖, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝²⁾, 仁井谷久暢^(¹⁾慈山会医学研究所付属坪井病院内科, ²⁾同放射線科): [一般講演] 癌化学療法に伴う悪心/嘔吐の QOL に及ぼす影響. 肺癌学会, 1992.
- 36) 西尾和人¹⁾, 竹田雄一郎, 大森 亨¹⁾, 窪田尚弘¹⁾, 小笠原勇人¹⁾, 船山康則¹⁾, 太田 斉¹⁾, 西條長宏¹⁾ (¹⁾国立がんセンター薬物試験部): [一般講演], 癌化学療法の新しい標的—シグナル伝達機構. 肺癌学会, 1992.
- 37) 大森 亨¹⁾, 西尾和人¹⁾, 窪田尚弘¹⁾, 竹田雄一郎, 太田 斉¹⁾, 西條長宏¹⁾ (¹⁾国立がんセンター薬物試験部): [一般講演] ヒト非小細胞肺癌シスプラチン取り込み機構における Na⁺, K⁺-ATPase の関与. 肺癌学会, 1992.
- 38) 小笠原勇人¹⁾, 西尾和人¹⁾, 大森 亨¹⁾, 竹田雄一郎, 窪田尚弘¹⁾, 船山康則¹⁾, 大平達夫¹⁾, 三浦かおる¹⁾, 太田 斉¹⁾, 磯貝行秀¹⁾, 西條長宏¹⁾ (¹⁾国立がんセンター薬物試験部): [一般講演] シスプラチン耐性ヒト肺癌細胞株における新抗癌抗生物質 KW-2189 の抗腫瘍活性の検討. 肺癌学会, 1992.
- 39) 三浦かおる¹⁾, 西尾和人¹⁾, 大森 亨¹⁾, 竹田雄一郎, 大平達夫¹⁾, 太田 斉¹⁾, 窪田尚弘¹⁾, 宮原由貴¹⁾, 官澤文彦¹⁾, 西條長宏¹⁾ (¹⁾国立がんセンター薬物試験部): [一般講演] Genistein による NK 細胞障害能の抑制. 肺癌学会, 1992.
- 40) 窪田尚弘¹⁾, 西尾和人¹⁾, 大森 亨¹⁾, 船山康則¹⁾, 小笠原勇人¹⁾, 竹田雄一郎, 太田 斉¹⁾, 大平達夫¹⁾, 三浦かおる¹⁾, 久保幸代¹⁾, 宮原由貴¹⁾, 官澤文彦¹⁾, 西條長宏¹⁾ (¹⁾国立がんセンター薬物試験部): [一般講演] CPT-11 耐性株における PCR-SSCR 法を用いた Topoisomerase I (Topo I) gene 変異検出の試み. 肺癌学会, 1992.
- 41) Ohta, S.¹⁾, Nishio, K.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Kubota, N.¹⁾, Takeda, Y., Kanzawa, F.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] A taxol resistant human small cell lung cancer cell line is partially dependent on taxol for its growth. 肺癌学会, 1992.
- 42) Kunikane, H.¹⁾, Krishan, A.¹⁾, Ohta, S.¹⁾, Takeda, Y., Nishio, K.¹⁾, and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division): [一般講演] Flow cytometric monitoring of cellular doxorubicin retention and its heterogeneity in drug resistant human lung cancer cell lines. 肺癌学会, 1992.
- 43) 船山康則¹⁾, 西尾和人¹⁾, 竹田雄一郎, 太田 斉¹⁾, 大平達夫¹⁾, 三浦かおる¹⁾, 小笠原勇人¹⁾, 窪田尚弘¹⁾, 大森 亨¹⁾, 長谷川鎮雄¹⁾, 西條長宏¹⁾ (¹⁾国立がんセンター薬物試験部): [一般講演] Suramin の Topoisomerase II に対する作用機序についての検討. 肺癌学会, 1992.
- 44) 小林国彦, 吉村明修, 日野光紀, 弦間昭彦, 吉森浩三, 林原賢治, 野口行雄¹⁾, 米田修一¹⁾, 酒井 洋¹⁾, 後藤 功¹⁾, 仁井谷久暢^(¹⁾埼玉県立がんセンター): [シンポジウム] Pharmacokinetics からみた CDDP, CBDA の併用. 第39回日本化学療法学会東関東支部総会/第41回日本感染症学会東日本支部学会, 1992.
- 45) 吾妻安良太, 千川就可¹⁾, 市川美穂¹⁾, 橋本起一郎¹⁾, 宮坂康彦¹⁾, 小松原登¹⁾, 花島 浩¹⁾, 仁井谷久暢^{(¹⁾佼成病}

- 院)：〔一般講演〕自己免疫的機序の関与が示唆された再生不良性貧血の1症例。内科学会関東地方会，1992.
- 46) 清家正博，野村浩一郎，栗本太嗣，森川哲行，植松和嗣，谷口泰之，弦間昭彦，吉村明修，日野光紀，工藤翔二，仁井谷久暢，弦間和仁¹⁾，隈崎達夫¹⁾(¹⁾放射線科)：〔一般講演〕上大静脈症候群に対して Expandable metallic stent を使用した2例。胸部疾患学会関東地方会，1993.
- 47) 逸見しのぶ，野村浩一郎，弦間昭彦，清家正博，小林国彦，吉村明修，日野光紀，工藤翔二，仁井谷久暢，小泉潔¹⁾，原口秀司²⁾，臼杵二郎²⁾，福田 悠²⁾，児玉哲郎³⁾，下里幸雄⁴⁾(¹⁾胸部外科，²⁾病理第1，³⁾国立がんセンター東病院病理，⁴⁾国立がんセンター中央病院病理)：〔一般講演〕右中間幹にポリープ様発育を呈した Basaloid squamous cell carcinoma の1例。肺癌学会関東部会，1993.
- 48) Takeda, Y., Nisho, K.¹⁾, Kubota, N.¹⁾, Ohmori, T.¹⁾, Ohat, S.¹⁾, Nootani, H., and Saijo, N.¹⁾ (¹⁾National Cancer Center Pharmacology Division)：〔一般講演〕Establishment of a human small cell lung cancer subline resistant to okadaic acid. 肺癌学会，1992.

5. 精神医学講座

[付属病院神経科・第一病院神経科]

研究概要

教室の研究領域には、精神生理学、時間生物学、脳画像研究といった生物学的研究、コンサルテーション・リエゾン精神医学、社会精神医学、児童・思春期精神医学、さらに、パセドウ精神障害、セネストパチー、てんかん精神病など臨床研究、心身症、東洋医学、臨床心理などがある。さらに高齢者のうつ病についての臨床研究が本年新たに開始された。

精神生理学領域では、感情精神病や催眠状態の脳機能統合について脳波コヒーレンスを中心に研究され、前者については事象関連電位のトポグラフィ研究が加わった。また、PSGやMSLT(SPT)を用いた感情精神病の日内リズム研究が進められ、精神薬理学においてもこの時間生物学的手法が導入されて各種抗うつ薬の日内リズムへの影響についての研究が開始された。

コンサルテーション・リエゾン精神医学領域では、従来の自殺企図者の研究で自殺未遂者の転帰や自殺前行動、自殺手段などにつき詳細の分析が行われ、また、いわゆるICUシンドロームの検討やせん妄についての研究、コンサルテーション・リエゾン活動の分析など行われた。さらに、CCU患者の心理的側面が研究された。

社会精神医学領域では、精神分裂病の通院服薬状況にかかわる因子についての研究がまとめられ、また、大富士方式社会復帰プログラムにおける臨床症状との関連が検討された。

神経症研究では新しい神経症尺度が完成し、各種対象に試みられているが、これを用いた未治療パセドウ病患者の研究が開始された。

臨床研究では、高齢者うつ病の研究が始まり、疫学、臨床徴候、転帰、治療、脳画像所見などの詳細な分析が行われた。また、てんかん精神病、ピサ症候群、摂食障害における分裂病症状、喘息発作と躁病の関係など事例研究が行われた。

その他、臨床心理ではメンタルヘルス・インベントリーや不登校のカウンセリングなどの研究が行われた。また、気功の精神生理学、協同研究としてスポーツ医学における精神・心理的側面の研究も行われた。

研究業績

論文

- 1) 山寺博史：〔綜説〕最近の睡眠薬。治療，74，89～94，1992。
- 2) 山寺博史：〔綜説〕生物学的指標と精神科診断学Ⅰ－神経生理学的指標－薬物脳波の手法を用いた精神分裂病研究。精神科診断学，9，51～63，1992。
- 3) 山寺博史，加藤昌明¹⁾，塚原靖二¹⁾，大熊輝雄¹⁾（¹⁾国立精神・神経センター武蔵病院）：〔原著〕データレコーダを用いた簡易な各種脳波基準電極導出法の検討。臨床検査，36，313～316，1992。
- 4) Yamadera, H., Kajimura, N.¹⁾, Kimura, M., Nakamura, S., Suzuki, H., Mori, T., and Endo, S.: (¹⁾国立精神・神経センター武蔵病院)：〔Proceed.〕The rem rhythm of depression in day time and sleep EEG. Jap. J. Psychi. Neurol., 46, 241～243, 1992。
- 5) 岩崎康孝¹⁾，黒澤 尚（¹⁾救急医学）：〔綜説〕自殺再企図の予防策。中毒研究，5，343～348，1992。
- 6) 加藤 正¹⁾，沼田健裕¹⁾，白山正人（¹⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室）：〔原著〕気功法の生理・心理学的研究。人体科学，1，29～38，1992。
- 7) 白山正人：〔綜説〕HOW TO スポーツの医学と科学；将来に向けての展望。体育施設，21，114～115，1992。
- 8) 武藤芳照¹⁾，白山正人他（¹⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室）：〔報告〕腰痛・関節痛に対する水中

- 運動・水泳の心身への効果に関する検討. 平成2・3年度文部省科学研究費補助金一般(B) 研究成果報告書「腰痛・関節痛に対する水中運動・水泳プログラムとその身体的・精神的効果」(武藤芳照研究代表者) 31~55, 1992.
- 9) 黒澤 尚: [綜説] ICU syndrome 再考. 救急医学, 16, 583~587, 1992.
 - 10) 橋口英俊, 神保寛子, 山本洋子: [綜説] メンタルヘルス・インベントリーに関する研究(その1~2), 日本カウンセリング学会第26回大会発表論集, 72~75, 1992.
 - 11) 橋口英俊: [綜説] 不登校・登校拒否; 健康カウンセリングの立場から, 日本カウンセリング学会第26回大会発表論集, 41~42, 1992.
 - 12) 白山正人: [原著] 精神医学的検討. 臨床スポーツ医学, 9, 497~504, 1992.
 - 13) 白山正人: [綜説] 慢性疲労症候群. 体育の科学, 42, 479~482, 1992.
 - 14) 山寺博史: [綜説] 生体リズム障害の視点から見た睡眠覚醒障害. 日医大誌, 59, 283~284, 1992.
 - 15) Kurosawa, H., Iwasaki, Y.¹⁾, Watanabe, N.¹⁾, Hasegawa, A., Kisi, Y., and Nakamura, K. (¹⁾救急医学): [綜説] What is the term ICU syndrome? The relationship between ICU, post-operative, and other mental disorders. Clinical Intensive Care, 3, 122~126, 1992.
 - 16) 藤波茂忠, 野村重友, 岩木康弘, 荒井圭介, 山口英人, 塚川光利, 越智眞理子, 斎藤隆亮, 藤木健夫, 白山正人, 岩崎靖雄: [原著] 50項目の神経症尺度 FNI (Fifty-items Neurotic Index) の作成. 精神経誌, 94, 515~532, 1992.
 - 17) 岸 泰宏, 黒澤 尚: [綜説] 自殺に関する常識テスト. 心の臨床アラカルト, 11, 60~62, 1992.
 - 18) 西松能子: [原著] 精神分裂病患者の外来通院服薬状況に影響する諸因子の検討. 日医大誌, 59, 217~226, 1992.
 - 19) 黒澤 尚, 中村加枝: [綜説] 心身医療を必要とした救急患者(特集: 心身医療を必要とする救急患者). 心身医療, 4, 759~764, 1992.
 - 20) 長野真弓¹⁾, 白山正人, 宮下充正²⁾ (¹⁾福岡大学体育学部, ²⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室): [原著] 換気性閾値強度の運動が運動後過剰酸素摂取量の量・持続時間に及ぼす影響. 体力科学, 41, 436~446, 1992.
 - 21) 濱本 紘¹⁾, 北原公一¹⁾, 白山正人 (¹⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室): [原著] QOL と心臓リハビリテーション. Ther. Res., 13, 174~176, 1992.
 - 22) 朝田 薫, 遠藤幸彦, 遠藤俊吉, 鈴木博子, 木村真人, 森 隆夫, 山寺博史, 加藤隆吉¹⁾ (¹⁾東京催眠心理研究所): [原著] 催眠の脳統合機能と意識; 脳波トポグラフィと閉眼時眼球運動所見から. 催眠と科学, 7, 9~16, 1992.
 - 23) 遠藤幸彦, 朝田 薫, 木村真人, 鈴木博子, 森 隆夫, 山寺博史, 遠藤俊吉: [原著] 催眠状態における定量脳波分析と脳波コヒーレンス(第1報). 催眠と科学, 7, 32~34, 1992.
 - 24) 河野貴美子¹⁾, 遠藤幸彦, 小糸秀美¹⁾, 加藤隆吉²⁾, 比川嘉也³⁾ (¹⁾基礎医学情報処理室, ²⁾東京催眠心理研究所, ³⁾生理学第1): [原著] 催眠における術者と被催眠者の脳波学的関連性; 脳波からみた催眠と気功の差異. 催眠と科学, 7, 17~23, 1992.
 - 25) 山寺博史: [綜説] 薬物脳波学の過去と現在. 神経精神薬理, 14, 549~568, 1992.
 - 26) 黒澤 尚, 北島潤一郎¹⁾ (¹⁾東京医科歯科大学精神医学): [綜説] 卒後臨床研修について; 身体医学の学習(特集: 大学精神科医局に求められるものは何か). こころの臨床アラカルト, 11, 22~24, 1992.
 - 27) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚 (¹⁾救急医学): [綜説] チーム医療におけるこころのケア(特集: こころのケア). こころの科学, 45, 31~34, 1992.
 - 28) 白山正人: [綜説] こころの健康とスポーツ. からだの科学, No. 166, 61~64, 1992.
 - 29) 上埜高志¹⁾, 山寺博史 (¹⁾東北大学精神科): [綜説] 新しい抗精神病薬の薬物脳波学的アプローチ. 神経精神薬理, 14, 629~635, 1992.
 - 30) 山寺博史: [綜説] 第7回 IPEG と第32回 NCDEU の学術会議に出席して. 神経精神薬理, 14, 661~663, 1992.
 - 31) 森 隆夫: [書評] 病院心理臨床(長尾 博著)を読んで. 医学のあゆみ, 163, 229~230, 1992.

- 32) 網島浩一¹⁾, 山寺博史, 加藤進昌²⁾, ミツ汐洋¹⁾, 高橋清久¹⁾(¹⁾国立精神・神経センター, ²⁾滋賀医科大学精神科): [短報] ゾピクロン投与によるラット脳内および血中デルタ睡眠誘発ペプチド様免疫活性 (DSIP-LI) の変化. 脳と精神の医学, 3, 341~345, 1992.
- 33) 黒澤 尚, 岸 泰宏: [綜説] ICU シンドローム(ストレス・マネージメント). ナースプラスワン, 2, 168~172, 1992.
- 34) 吉河達祐¹⁾, 小川 龍¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾麻酔学): [綜説] 術前後に見られ患者の不安(特集: 術前訪問). オペナースィング, 92増刊, 43~46, 1992.
- 35) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [綜説] 急性中毒患者のメンタルケア. エマージェンシーナースィング, 増刊号, 79~85, 1992.
- 36) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [綜説] 老年期のリエゾン精神医学と救急医療. 老年医学雑誌, 3, 1355~1360, 1992.
- 37) 岩崎正人: [綜説] 注意すべき状態の患者への薬物療法; アルコール依存症者. 臨床外科, 47, 258~259, 1992.
- 38) 沼田健裕¹⁾, 加藤 正¹⁾, 白山正人(¹⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室): [原著] ストレス負荷状態において気功法が循環器および自律神経系に及ぼす効果の検討; 脳波解析を主体として. 第4回上海国際シンポジウム報告集別冊, 1~6, 1992.
- 39) 遠藤俊吉, 他: [原著] Buspiron の各種神経症に対する二重盲検比較試験; Placebo との比較. Clin.Eval., 19, 447~475, 1992.
- 40) 伊藤敬雄, 辺見 弘¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 勝見 敦¹⁾, 百瀬文教¹⁾, 松田一成¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 黒澤 尚, 西沢健司²⁾, 柴田恭史³⁾, (¹⁾救急医学, ²⁾付属病院薬剤部, ³⁾同中央検査部): [症例報告] 破傷風様症状を呈した向精神薬による副作用の1症例. 日救急医学会誌, 13, 1992.
- 41) 森田左紀子¹⁾, 堤 邦彦¹⁾, 吉増克美²⁾, 篠原 隆³⁾, 高橋丈夫⁴⁾, 岸 泰宏(¹⁾北里大学医学部精神医学, ²⁾東京女子医科大学精神医学, ³⁾帝京大学医学部精神医学, ⁴⁾東京医科大学霞ヶ浦病院精神医学): [原著] 救命救急センターにおける自殺未遂患者に対する精神医学的関与の実態. 臨床精神医学, 21, 1973~1983, 1992.
- 42) 山寺博史: [綜説] 膠原病と精神神経症状; 全身性エリテマトーデスを中心として. 治療, 75, 817~819, 1993.
- 43) 岩崎康孝¹⁾, 岸 泰宏(¹⁾救急医学): [報告] 診断に困難を伴った老年期うつ病の自殺企図症例. 救急医学, 17, 88~89, 1993.
- 44) 岩崎正人, 遠藤俊吉: [綜説] アルコール性肝障害と精神神経障害(特集: 依存疾患の薬物治療). 治療, 75, 305~307, 1993.
- 45) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [綜説] 入院中逸脱行為の頻発した高所からの飛び降りによる自殺未遂症例. 救急医学, 17, 240~241, 1993.
- 46) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [綜説] けいれん. Medical Practice, 別冊, 136~138, 1993.
- 47) 西松能子, 黒澤 尚, 遠藤俊吉, 高野照夫¹⁾, 長谷川朝穂(¹⁾集中治療学): [綜説] 急性心筋梗塞期における精神症状の検討; コンサルテーションリエゾン精神医療から. 診療と新薬, 107~112, 1993.
- 48) 岸 泰宏, 黒澤 尚: [綜説] 術後譫妄と ICU 症候群. 臨床麻酔, 17, 311~317, 1993.
- 49) 布施理美¹⁾, 中村加枝, 黒澤 尚, 岩崎 榮¹⁾(¹⁾医療管理学): [原著] 救命救急センターにおける Consultation-Liaison Psychiatry 活動の業務量と評価. ICU と CCU, 17, 253~262, 1993.

著 書

- 1) 遠藤俊吉: 内科疾患における精神障害. “今日の診断指針, 第3版”(亀山正邦他編), P. 1228~1230, 医学書院, 1992.
- 2) 橋口英俊, 武藤 隆, 佐々木正人, 高橋恵子, 山田洋子, 湯川良三: [編集] 児童心理学の進歩 No 31, 金子書房, 1992.

- 3) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚⁽¹⁾救急医学): [分担]自殺・危機介入, “医学のための行動科学”(鈴木二郎編), P. 226~230, 金芳堂, 1992.
- 4) 黒澤 尚, 吉川達祐¹⁾(¹⁾麻酔学): [分担]せき, “救急イラストレイテッドマニュアル”(芦川和高, 小林国男, 山本保博編集), P. 88~89, 文光堂, 1992.
- 5) 黒澤 尚, 春日武彦: [分担]精神異常, “救急イラストレイテッドマニュアル”(芦川和高, 小林国男, 山本保博編集), P. 118~119, 文光堂, 1992.
- 6) 黒澤 尚, 岩崎康孝¹⁾(¹⁾救急医学): [分担]肝性昏睡, “救急イラストレイテッドマニュアル”(芦川和高, 小林国男, 山本保博編集), P. 150~151, 文光堂, 1992.
- 7) 橋口英俊: [分担]痛みと心, “痛みの科学”(山村秀夫他編), 第1章, P. 30~39, 富士レビオ, 1992.
- 8) 森 隆夫, 遠藤俊吉: [分担]抗うつ薬の特徴と選び方—MAO阻害薬, “抗うつ薬の進歩”(筒井末春編), P. 77~86, 医薬ジャーナル社, 1992.
- 9) 黒澤 尚: [分担]心理的問題, “心筋梗塞リハビリテーションマニュアル”(日本医師会, 厚生省保健医療局疾病対策課監修), P. 115~134, 第一法規出版, 1992.
- 10) 黒澤 尚, 市橋秀夫¹⁾, 皆川邦直²⁾(¹⁾福島大学, ²⁾東京都精神医学総合研究所): [編集]器質性・外因性精神障害のとりえ方, 星和書店, 1992.
- 11) 春日武彦, 黒澤 尚: [分担]一般薬剤に起因する精神症状, “器質性・外因性精神障害のとりえ方”(黒澤 尚, 市橋秀夫, 皆川邦直編), P. 137~146, 星和書店, 1992.
- 12) 飛鳥井望¹⁾, 黒澤 尚, 堤 邦彦²⁾, 篠原 隆³⁾(¹⁾東京都精神医学総合研究所, ²⁾北里大学, ³⁾東京都立府中病院): [編集]救急スタッフのための精神科マニュアル, ヘルス出版, 1992.
- 13) 渡辺信夫¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [分担]せん妄の診断, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 2~3, ヘルス出版, 1992.
- 14) 中村加枝, 黒澤 尚: [分担]せん妄の原因, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 4~5, ヘルス出版, 1992.
- 15) 中村加枝, 黒澤 尚: [分担]せん妄の環境因子, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 6~7, ヘルス出版, 1992.
- 16) 渡辺信夫¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [分担]せん妄の薬物療法, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 8~9, ヘルス出版, 1992.
- 17) 渡辺信夫¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [分担]せん妄の一般的管理, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 10~11, ヘルス出版, 1992.
- 18) 渡辺信夫¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [分担]薬剤によるせん妄, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 12~13, ヘルス出版, 1992.
- 19) 渡辺信夫¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [分担]熱傷とせん妄, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 14~15, ヘルス出版, 1992.
- 20) 黒澤 尚: [分担]術後せん妄, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 16~17, ヘルス出版, 1992.
- 21) 黒澤 尚: [分担]ICU症候群, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 18~19, ヘルス出版, 1992.
- 22) 中村加枝, 黒澤 尚: [分担]アルコール離脱せん妄, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 20~21, ヘルス出版, 1992.
- 23) 渡辺信夫¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [分担]アルコールてんかん, “救急スタッフのための精神科マニュアル”(飛鳥井望, 黒澤 尚, 堤 邦彦, 篠原 隆編), P. 22~23, ヘルス出版, 1992.
- 24) 黒澤 尚, 森 隆夫: [分担]私の経験, “器質性・外因性精神障害のとりえ方”(黒澤 尚, 市橋秀夫, 皆川邦

直編), P. 84~85, 星和書店, 1992.

- 25) 橋口英俊: [分担] 身体と運動機能の発達の意義; 足から人間を考える. “新児童心理学講座第3巻「身体と運動機能の発達」”(橋口英俊編), P. 1~40, 金子書房, 1992.
- 26) 白山正人: [分担] スポーツとメンタルヘルス. “新・児童心理学講座3. 身体と運動機能の発達”(橋口英俊責任編), P. 203~235, 金子書房, 1992.
- 27) 政二 慶¹⁾, 白山正人, 宮下充正¹⁾ (¹⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室): [Proceed.] 急速肘関節屈筋伸展動作時の上腕二頭筋と腕橈骨筋の筋放電活動. 日本バイオメカニクス学会第11回大会論集—動きとスポーツの科学(北川 薫編), P. 108~111, 日本バイオメカニクス学会第11回大会実行委員会(中京大学体育学部運動生理学研究室内), 1992.
- 28) 黒澤 尚, 西松能子: [分担] ストレスと心疾患. “Annual Review 循環器1993”(杉本恒明, 松本明彦, 杉下靖郎, 門間和夫編), P. 123~127 中外医学社, 1993.
- 29) 橋口英俊: [分担] 健康カウンセリングからみた不登校. “教育フォーラム11”(人間教育研究協議会編), P. 4~12, 1993.
- 30) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救急医学): [翻訳] うつ病と自殺; 予防は可能か?. ランセット日本語版, 3, 28~29, 1993.
- 31) 白山正人: [分担] 発育期のスポーツ障害の種類と特徴; 心理的領域. “子どものスポーツ障害ハンドブック”(東京都教育委員会編) P. 16~18, 東京都教育委員会, 1993.
- 32) 橋口英俊: [分担] 性格の測定 1. 2. “心理測定法”(池田栄編), 第6章, 第7章, P. 71~100, 日本放送出版協会, 1993.
- 33) 遠藤俊吉: [分担] 心身症. “今日の治療指針”(稲垣義明他編), P. 244~245, 医学書院, 1993.
- 34) 西松能子: [分担] 急性心筋梗塞の精神症状(ICU Syndromeをふくめて), “急性心筋梗塞”(矢崎義雄編), 循環器NOW. P. 210, 南江堂, 1993.
- 35) 西松能子, 黒澤 尚: [分担] 心理的問題. “心筋梗塞リハビリテーションマニュアル”(厚生省保健医療局疾病対策課, 日本医師会監修), P. 115~133, 第一法規, 1993.

学会発表

- 1) Iwasaki, Y.¹⁾, Kurosawa, H., and Watanabe, N.¹⁾ (¹⁾救急医学): [展示] The delirium of trauma patients. incidence, outcome, length of stay. The American Psychiatric Association 145th Annual Meeting (N.Y), 1992.
- 2) 浮 文宏, 朝田 薫, 黒澤 尚, 遠藤俊吉, 百束比古, 秋元正宇¹⁾, 滝沢 康¹⁾, 文入正敏¹⁾ (¹⁾形成外科): [シンポジウム] 重症熱傷における Consultation Liaison Psychiatry 活動 往診型(チームアプローチとしての熱傷治療). 第18回日本熱傷学会総会, 1992.
- 3) Yamadera, H., Tsukahara, Y.¹⁾, Kato, M.¹⁾, Kimura, M., Endo, S., and Okuma, T.¹⁾ (¹⁾国立精神・神経センター): [シンポジウム] Pharmacodynamics of zopiclone on EEG, ERP topography and subjective mental rating scale in healthy volunteers. International Pharmacology-EEG Group Symposium in Florida, 1992.
- 4) 藤波茂忠, 野村重友, 岩木康弘, 荒井圭介, 山口英人, 塚川光利, 越智眞理子, 斎藤隆亮, 藤木健夫, 伊藤國彦¹⁾ (¹⁾伊藤病院): [一般講演] 50項目の神経症尺度 FNI からみた未治療パセドウ病822例. 第33回日本心身医学会総会, 1992.
- 5) 伊藤敬雄, 辺見 弘¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 勝見 敦¹⁾, 百瀬文教¹⁾, 松田一成¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 黒澤 尚, 西沢健司²⁾, 柴田恭史³⁾, (¹⁾救急医学, ²⁾付属病院薬剤部, ³⁾同中央検査部): [一般講演] 破傷風様症状を呈した向精神薬による副作用の1症例. 第33回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 6) 渡嘉敷史郎¹⁾, 長崎文江¹⁾, 久志本成樹¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 黒澤 尚 (¹⁾救急医学): [一般講演] 交通事故

故による傷害者の実態第2報；背景因子について．第33回日本救急医学会関東地方会，1992．

- 7) 黒澤 尚：〔教育講演〕救命救急センターでのリエゾン治療．第10回タイプA行動パターン研究会，1992．
- 8) 小泉幸子，山田正枝，木村真人，山寺博史，遠藤俊吉：〔一般講演〕レボメプロマジン投与によりピサ症候群と思われるジストニアを呈した退行期うつ病の1症例．第35回東京精神医学会，1992．
- 9) 山口竹千代，山田正枝，中村加枝，山寺博史，遠藤俊吉：〔一般講演〕うつ状態から幻覚妄想状態を呈したてんかん精神病の1例．第35回東京精神医学会，1992．
- 10) 岩崎康孝¹⁾，黒澤 尚，渡辺信夫¹⁾(¹⁾救急医学)：〔一般講演〕第三次救急施設に搬入される服毒自殺未遂者について第6報；自殺企図前行動について．第14回日本中毒研究会，1992．
- 11) 遠藤幸彦，朝田 薫，森 隆夫，木村真人，鈴木博子，山寺博史，遠藤俊吉，加藤隆吉¹⁾(¹⁾東京催眠心理研究所)：〔一般講演〕催眠状態に於ける定量脳波分析とコヒーレンス(第2報)．第8回日本催眠学会総会，1992．
- 12) 沼田健裕¹⁾，加藤 正¹⁾，白山正人(¹⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室)：〔一般講演〕ストレス負荷状態において気功法が循環器系および自律神経系に及ぼす効果の検討；脈波解析を主体として．第4回上海国際気功シンポジウム(上海)，1992．
- 13) 高山大起¹⁾，山口竹千代，高橋 亨¹⁾，遠藤俊吉，鈴木英朗(¹⁾医療法人大富士病院)：〔一般講演〕慢性分裂病患者者の就労技能修得に及ぼす残遺症状の影響について．第60回日本医科大学医学会総会，1992．
- 14) 西松能子，黒澤 尚，遠藤俊吉，高野照夫¹⁾，長谷川朝穂(¹⁾集中治療室)：心筋梗塞急性期における精神症状の検討．第15回心臓リハビリテーション研究会，1992．
- 15) 中村秀一，山寺博史，木村真人，鈴木英朗，山口竹千代，森 隆夫，遠藤俊吉，梶村尚史¹⁾(¹⁾国立精神・神経センター)：〔一般講演〕躁うつ病の躁病相と寛解期における生体リズムの脳波学的検索．第7回臨床時間生物学研究会，1992．
- 16) 木村真人，山寺博史，森 隆夫，中村秀一，朝田 薫，鈴木博子，山田正枝，加藤昌明¹⁾，遠藤俊吉(¹⁾国立精神・神経センター武蔵病院)：〔展示〕うつ病者の脳波パワーとコヒーレンス(第1報)．第22回日本脳波筋電図学会，1992．
- 17) 遠藤幸彦，森 隆夫，朝田 薫，木村真人，鈴木博子，山寺博史，遠藤俊吉，加藤隆吉¹⁾(¹⁾東京催眠心理研究所)：〔展示〕催眠状態に於ける定量脳波分析と脳波コヒーレンス(第2報)．第22回日本脳波筋電図学会，1992．
- 18) 渡辺信夫¹⁾，岩崎康孝¹⁾，黒澤 尚(¹⁾救急医学)：〔一般講演〕第三次救急施設におけるリエゾンサービス第7報；腹部刺創による自殺未遂者．第20回日本救急医学会総会，1992．
- 19) 岩崎康孝¹⁾，黒澤 尚，渡辺信夫¹⁾(¹⁾救急医学)：〔一般講演〕第三次救急施設におけるリエゾンサービス第8報；第三次救急施設における四肢・体幹抑制とせん妄の関係について．第20回日本救急医学会総会，1992．
- 20) 遠藤俊吉：〔会長講演〕高齢者のうつ病；この10年の比較と考察．第5回日本総合病院精神医学会，1992．
- 21) 黒澤 尚：〔教育講演〕日本医科大学における救急リエゾンサービスについて．第5回日本総合病院精神医学会，1992．
- 22) 岩崎康孝¹⁾，黒澤 尚，渡辺信夫¹⁾(¹⁾救急医学)：〔一般講演〕第三次救急施設に搬入される自殺未遂者について第2報；自殺企図前行動について．第5回日本総合病院精神医学会総会，1992．
- 23) 岸 泰宏，黒澤 尚，遠藤俊吉，岩崎康孝¹⁾(¹⁾救急医学)：〔一般演題〕大学病院身体科(一般科)における自殺企図・自殺念慮について．第5回日本総合病院精神医学会総会，1992．
- 24) 西松能子，黒澤 尚，遠藤俊吉，長谷川朝穂¹⁾(¹⁾公徳会佐藤病院)：〔一般演題〕集中治療室におけるコンサルテーション・リエゾン診療型の比較．第5回日本総合病院精神医学会総会，1992．
- 25) 渡辺信夫¹⁾，黒川 顕¹⁾，黒澤 尚，布施理美²⁾(¹⁾救急医学，²⁾医療管理学)：精神病院から第三次救急施設に搬入された患者．第5回日本総合病院精神医学会総会，1992．
- 26) 沼田健裕¹⁾，加藤 正¹⁾，白山正人(¹⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室)：〔一般講演〕ストレス負荷後の気功練習時における自律神経系および循環器系の動態．第2回人体科学学会，1992．

- 27) 大金雅子¹⁾, 白山正人, 宮下充正¹⁾ (¹⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室): [一般講演] レジスタンストレーニング後の脱トレーニング期間中にみられる脚伸展動作のパフォーマンスの変化. 第43回日本体育学会, 1992.
- 28) 小早川智治¹⁾, 白山正人, 宮下充正¹⁾ (¹⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室): [一般講演] ランニング・イベントにおける1指導例. 第43回日本体育学会, 1992.
- 29) 和田正己¹⁾, 白山正人, 宮下充正¹⁾ (¹⁾東京大学教育学部体育学スポーツ科学研究室): [一般講演] 精神障害者の体力. 第43回日本体育学会, 1992.
- 30) 伊藤敬雄, 下田健吾, 木村真人, 山田正枝, 朝田 薫, 鈴木博子, 西松能子, 遠藤俊吉: [一般講演] 摂食障害から分裂病症状が顕在化した2症例. 第67回日本心身医学会関東地方会, 1993.
- 31) 竹澤健司, 竹原 恵, 山田正枝, 木村真人, 西松能子, 遠藤俊吉: [一般講演] 喘息発作が躁病相に増悪した躁うつ病の1症例. 第67回日本心身医学会関東地方会, 1993.
- 32) 山寺博史, 鈴木英朗, 中村秀一, 木村真人, 竹澤健司, 森 隆夫, 遠藤俊吉, 梶村尚史¹⁾ (¹⁾国立精神・神経センター): [一般講演] うつ病および躁うつ病の概日リズムの研究. 第15回日本生物学的精神医学会, 1993.

6. 小児科学講座

[付属病院小児科・第一病院小児科・第二病院小児科・多摩永山病院小児科]

研究概要

本年度の各研究グループの主な研究テーマおよび業績は下記のごとくである。

循環器：小児の閉塞性気道疾患における心肺血行動態の非侵襲的評価，回転デジタル心血管造影法による小児心血管病変の診断，Anthracycline 系薬剤使用急性白血病患児の心収縮・拡張機能，Late potential の臨床的意義，塩酸ドパミン負荷体表電位図を用いた心筋虚血病変の推定。

血液・免疫：白血病，固形腫瘍の治療と晩期障害，貧血の鉄代謝，自己抗体および CD5陽性 β 細胞の解析。

神経：てんかんおよび熱性けいれんにおける脳波のフラクタル次元解析，てんかんの発作間欠期における SPECT による脳血流の分析，中枢神経系疾患における髄液・血清ネオブテリン値の意義，原発全般てんかん患児の知能検査所見。

呼吸器：新生児呼吸音の音響学的解析，RI エロゾルによる気道粘膜線毛輸送系クリアランスの検討，小児換気機能に関する再検討。

腎臓：糸球体腎炎の検討，腎・尿路疾患のマススクリーニング，腎・尿路疾患の腎・尿路疾患の腎および腹部超音波所見。

アレルギー：気管支喘息におけるテオフィリン製剤の薬物動態速度論と投与法の検討，アトピー性皮膚炎における増悪因子としてのブ菌ならびにその菌体成分の関与，各種アレルギー疾患における消化管透過性の変化について，乳幼児期アトピー性疾患の発症予防と進展阻止に関する研究。

肝・消化器：B型肝炎母児間感染の予防とC型肝炎のインターフェロン療法，感染性腸疾患についての研究。

内分泌・代謝：IDDM 患児のソルビトール代謝と合併症との関係，肥満児の合併症と治療。

[付属病院小児科]

研究業績

論文

- 1) Fukazawa, R., Kogo, T., Hirayama, T., Nakahiri, Y., Kawakami, T., Akamatsu, H., Tanae, A., Hibi, I., Nakafuchi, S., and Nakagome, Y.: [原著] Normal Y sequences in Smith-Lemli-Opitz syndrome with total failure of mevalonate synthesis. *Acta Paediatr.*, 81, 570~572, 1992.
- 2) 磯 裕明，弓削邦夫，平山恒夫：[原著] 健常小児における Frank 誘導スカラー心電図による QRS および T 波の空間的定量的分析について；新生児期における臍帯早期・晚期結紮群の比較検討とともに。日医大誌，59，409~417，1992.
- 3) 平山恒夫，勝部康弘，尾内善四郎，柳澤正義，白石裕比湖，清沢伸幸，松田 博，石川純一，中島光好：[原著] 川崎病における pH4 処理酸性人免疫グロブリン製剤 (c-425) を用いた多施設ランダム化コントロール，ステロイド (2) 免疫グロブリン療法下の好中球数は冠動脈障害の予測因子となり得るか。日小児会誌，96，2680~2688，1992.
- 4) 安保和俊，村上睦美：[総説] 浮腫；小児の救急医療—主要症状に対する鑑別診断と救急処置。小児診療，55，782~787，1992.
- 5) 安保和俊¹⁾，村上睦美¹⁾，益田幸成¹⁾，山中宣昭¹⁾，馬杉洋三¹⁾，成相昭吉¹⁾，鎗木陽一¹⁾，豊口 晶¹⁾，朝比奈美子¹⁾，加藤和夫¹⁾ (¹⁾日本医大病理，²⁾横浜南共済病院)：[原著] パルス療法にて著効を示した溶連菌感染後急性糸球体

腎炎の幼児例, *Seminars in Pediatric Nephrology*, 8, 19~22, 1992.

- 6) 安保和俊, 土屋正己, 村上睦美, 山本博章¹⁾ (川崎協同病院): [総説] 血尿と蛋白尿; 腎臓検診における血尿・蛋白尿・異常者の実態, *NEW MOOK 小児科*, 3, 1~11, 1992.
- 7) 安保和俊, 村上睦美: [総説] 小児の救急医療; 血尿・蛋白尿, *小児内科*, 24 (増刊号), 488~491, 1992.
- 8) 吉田 豊, 千葉 隆, 今井大洋: [総説] 膿胸・気胸, *小児診療*, 55, 827~833, 1992.
- 9) 吉田 豊, 千葉 隆, 今井大洋: [総説] 小児科気道ないし閉塞の診断; 理学的診断と画像診断, *Johns*, 8, 569~576, 1992.
- 10) 吉田 豊, 千葉 隆: [総説] 結核・非定型抗酸菌症, *小児診療*, 55 (増刊号), 246~248, 1992.
- 11) 吉田 豊, 今井大洋: [総説] 呼吸困難・呼吸不全, *小児診療*, 55 (増刊号), 782~784, 1992.
- 12) 吉田 豊, 千葉 隆, 今井大洋: [総説] 細菌感染症の化学療法と補助療法; 結核・非定型抗酸菌症, *小児科*, 33, 1175~1178, 1992.
- 13) 吉田 豊, 千葉 隆, 稲葉八興: [総説] 最新の医学技術と機器・呼吸器疾患, *小児臨床*, 45 (増刊号), 2043~2059, 1992.
- 14) 吉田 豊, 高瀬真人, 細部千晴, 稲葉八興: [総説] ARDS (疾患と救急医療), *小児内科*, 24 (増刊号), 359~363, 1992.
- 15) 吉田 豊, 千葉 隆, 稲葉八興: [総説] マイコプラズマ肺炎, *小児診療*, 55, 2593~2599, 1992.
- 16) 小川俊一: [総説] 断層心エコーを用いた心血管区分診断法による先天性心疾患の形態診断, *日医大誌*, 60, 54~58, 1993.
- 17) 千葉 隆: [総説] 扁桃炎・扁桃周囲膿瘍・咽後膿瘍・クループ, '小児の治療指針' *小児診療*, 55, 305~307, 1992.
- 18) 千葉 隆, 吉田 豊: [総説] 新薬の使い方と問題点, 呼吸器疾患, 45, 2693~2703, 1992.
- 19) 村上睦美, 安保和俊: [総説] 特集: 私の処方, 慢性糸球体腎炎, *小児臨*, 45, 817~825, 1992.
- 20) 村上睦美, 安保和俊, 土屋正己: [総説] 生涯検尿; 学校検尿の現状, 腎と透析, 32, 903~908, 1992.
- 21) 村上睦美, 芦田光則¹⁾ (勝榮堂病院小児科): [総説] 血尿の診かた治しかた; 健康診断で見つかった血尿をどう診るか, *泌尿器科 MOOK*, 4, 80~93, 1992.
- 22) 村上睦美: [総説] どこから病気が; パンツの汚れ, *小児科*, 33, 1439~1441, 1992.
- 23) 村上睦美: [総説] 東京都における学校検尿の経験, 腎, 13・14合併号, 3~9, 1992.
- 24) 村上睦美: [総説] 尿が赤い, 濁っている, *小児科*, 33, 1671~1678, 1992.
- 25) 村上睦美: [総説] 検尿を見直す; 学校検尿の現状と問題点, *日医師会誌*, 108, 1364~1368, 1992.
- 26) 村上睦美: [総説] 慢性腎臓病と小児, 全国「腎炎・ネフローゼ」を守る会会報, 22, 29~33, 1992.
- 27) 村上睦美, 安保和俊: [総説] Up Date 注目の疾患; 小児から成人へキャリアオーバーする IgA 腎症, *現代医療*, 25, 471~476, 1993.
- 28) 平山恒夫: [総説] Specialization と integration, *日本循環器学会*, 7, 503, 1992.
- 29) 平山恒夫, 植田 高弘, 継 仁: [総説] 急性腎不全を併発した急性 Donath-Landsteiner 溶血性貧血 (急性発作性寒冷色素尿症), *小児科診療*, 55, 305~311, 1992.

著 書

- 1) Fukazaw, R., Nakahori, Y., Kago, T., Akamatu, H., Tanae, T., Hibi, I., Nagafuchi, S., Nakagome, Y., and Hirayama, T.: [自著] National children's medical research center dept of Newborn and Premature Medical Reserch Center. Normal Y sequences in Smith-Lemli-Opitz Syndrome with total failure of masculinization "Acta Paediatrica 81" Mona Serenius 編, P. 570~572, Scandinarian Unive., 1992.
- 2) 吉田 豊: [編集] 普通感冒 (急性異咽頭炎) "今日の小児治療指針" 編, P. 383, 医学書院, 1992.

- 3) 吉田 豊：〔編集〕夏かぜ “今日の小児治療指針” 編, P. 341, 医学書院, 1992.
- 4) 吉田 豊, 藤岡陸久¹⁾, 前田和一²⁾, 松山四郎³⁾ (¹⁾獨協医大放射線科, ²⁾埼玉医大小児科, ³⁾群馬県立小児医療センター): 〔編集〕こどものX線をどう読むか(3), より良い画像診断のために. 編, “金原出版”, 1992.
- 5) 吉田 豊：〔分担〕小児の肺炎 “今日の診断指針 3” (亀山正邦, 亀田治男編), P. 1536~1538, 医学書院, 1992.
- 6) 吉田 豊：〔分担〕咳嗽 “小児救急クイックガイド” (山本保博, 山本正生編), P. 108~117, 医学書院, 1992.
- 7) 村上睦美：〔分担〕“ナースの小児科学” “腎・泌尿器疾患” (大国真彦, 沢田 淳編), P. 230~237, 中央医学社, 1993.
- 8) 村上睦美, 植田 譲：〔分担〕血尿 “小児救急クイックガイド” (山本保博, 山本正生編), P. 252~257, 医学書院, 1992.
- 9) 村上睦美：〔分担〕学校における腎疾患学童の管理 “今日の治療指針1993年版 35” 編, P. 741~743, 医学書院, 1992.
- 10) 藤野 修：〔分担〕運動麻痺 “小児救急クイックガイド” (山本正生, 山本保博編), P. 192~201, 医学書院, 1992.
- 11) 平山恒夫：〔分担〕チアノーゼ性先天性心疾患に伴う血液過粘性症に対する部分的交換輸液について “モダンクリニカルポイント小児科” (北川照男, 鴨下重彦編), P. 182~183, 金原出版, 1992.

学会発表

- 1) Murakami, M., Tsugu, H., Anbo, K., Tsuchiya, K., Munakata, E., Ashida, A.¹⁾, and Yamamoto, H.²⁾ (¹⁾勝葉堂, ²⁾川崎協同): 〔一般講演〕The asymptomatic proteinuria in children (prospectiv study for 11 years) The 9th International Congress of Pediatric Nephrology (エルサレム), 1992.
- 2) 安保和俊, 継 仁, 伊藤加寿子, 土屋正己, 宗像恵美子, 村上睦美, 平山恒夫, 芦田光則¹⁾, 山本博章²⁾, 石崎正通³⁾, 山中宣昭³⁾, 馬杉洋三³⁾ (¹⁾勝葉堂病院, ²⁾川崎協同病院, ³⁾日医大病理): 〔一般講演〕小児期 IgA 腎症におけ臨床経過の年齢的差異について. 第95回日本小児科学会学術集会, 1992.
- 3) 安保和俊, 桑原健太郎, 継 仁, 村上睦美, 益田幸成¹⁾, 杉崎祐一¹⁾, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾日医大病理): 〔一般講演〕Immunotactoid glomerulopathy とされる 1 例. 第22回日本腎臓学会東部支部, 1992.
- 4) 安保和俊, 継 仁, 村上睦美, 益田幸成¹⁾, 杉崎祐一¹⁾, 山中宣昭¹⁾, 守田利貞²⁾ (¹⁾日医大病理, ²⁾国立東静病院): 〔一般講演〕Lipoproteing glomerulopathy の 1 女児例. 第27回日本小児腎臓病学会, 1992.
- 5) 安保和俊, 桑原健太郎, 継 仁, 土屋正己, 村上睦美, 坪井成美¹⁾, 西村泰司¹⁾, 秋元成太¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科): 〔一般講演〕間欠性水腎症を呈した片腎矮小腎の 1 女児例. 第 1 回日本小児泌尿器科学会, 1992.
- 6) 安保和俊, 立麻典子, 土屋正己, 宗像恵美子, 村上睦美: 〔一般講演〕尿中 BMG が長期間高値を示したネフローゼ症候群の 1 例. 関東小児腎臓病研究会, 1992.
- 7) 稲葉八興, 松岡和彦, 土居寿子, 千葉 隆, 吉田 豊: 〔一般講演〕頸部囊胞状リンパ管腫の 2 症例. 日本小児呼吸器疾患学会, 1992.
- 8) 関 隆志, 弓削邦夫, 古井民一郎, 永井雄一, 平山恒夫, 高山守正¹⁾, 富田善文¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 渋井展子²⁾ (¹⁾集中治療室, ²⁾相模更生病院小児科): 〔一般講演〕PTCR・PTCA 併用にて著明な改善をみた川崎病後の急性心筋梗塞の 1 例. 第12回川崎病研究会, 1992.
- 9) 関 隆志, 渡辺正規, 小川俊一, 張 家昆, 弓削邦夫, 平山恒夫, 山内邦昭¹⁾, 七字稔博²⁾, 吉江主視²⁾ (¹⁾東京都予防医学協会, ²⁾茨城県総合健診協会): 〔一般講演〕心疾患児における管理指導についての意識・実態調査成績 第 3 報: 東京都大田区および茨城県7市町村における管理指導 3 回に亘るアンケート調査の比較検討について. 第23回関東信越学校心臓病予防研究会, 1992.
- 10) 関 隆志, 小川俊一, 弓削邦夫, 平山恒夫, 高山守正¹⁾, 富田善文¹⁾, 杉本忠彦¹⁾ (集中治療室): 〔一般講演〕TPA

を用いた PTCT, 14気圧の加圧による PTCA 併用が有効であった川崎病による急性心筋梗塞の 1 例. 第 4 回日本 Pediatric Intervention Cardiology 研究会, 1992.

- 11) 高山守正¹⁾, 関 隆志, 小川俊一, 弓削邦夫, 平山恒夫, 富田善文¹⁾, 森下 真¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 横山広行¹⁾, 星野公彦¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 高野照夫¹⁾(¹集中治療室): [一般講演]川崎病による急性心筋梗塞に対し PTCT と Deffered PTCA が有効であった 1 例. 第 1 回関東心血管インターベン, 1992.
- 12) 高瀬真人, 千葉 隆, 今井大洋, 細部千晴, 吉田 豊: [一般講演] 気管支喘息児の時間肺活量について. 第 95 回日本小児科学会, 1992.
- 13) 細部千晴, 稲葉八興, 高瀬真人, 千葉 隆, 吉田 豊, 山本正生: [一般講演] 気管支喘息児の肺野別 RI エリゾルクリアランスの検討. 第 29 回日本小児アレルギー学会, 1992.
- 14) 宗像恵美子, 継 仁, 伊藤加寿子, 安保和俊, 土屋正己, 村上睦美, 平山恒夫, 芦田光則¹⁾, 山本博章²⁾, 岡田義治, 山内邦昭 (¹勝葉堂病院, ²川崎協同病院): [一般病院] 腎疾患例および集団検尿での尿中微量アルブミン簡易測定法 (ミクロブミンテスト) の検討. 第 27 回日本小児腎臓病学会, 1992.
- 15) 宗像恵美子, 立麻典子, 安保和俊, 土屋正己, 村上睦美: [一般講演] 特異な基底膜病変を呈した糸球体腎炎の 1 例. 関東小児腎臓病研究会, 1992.
- 16) 勝部康弘, 関 隆志, 弦間優紀子, 弓削邦夫, 平山恒夫: [一般講演] 標準 12 誘導心電図による WPW 症候群の副伝導路の局在部位推定一体表心電図新見によるその信憑性. 第 28 回日本小児循環器学会, 1992.
- 17) 小松崎英樹, 藤野 修, 平山恒憲, 高石康子, 橋本 清, 藤田武久, 榎戸 久: [一般講演] フラクタル次元解析によるてんかん児脳波の検討. 第 26 回日本てんかん学会, 1992.
- 18) 小松崎英樹, 釜沼 敏, 藤野 修, 高石康子, 平山恒夫, 橋本 清, 川上康彦, 藤田武久, 榎戸 久¹⁾(¹下館市民病院): [一般講演] てんかん脳波のフラクタル次元解析. 第 95 回日本小児科学会学術集会, 1992.
- 19) 小川俊一, 勝部康弘, 弓削邦夫, 渡辺正規, 深澤隆治, 上砂光裕, 関 隆志, 張 家昆, 永井雄一¹⁾, 林 毅陸¹⁾, 弦間優紀子¹⁾, 平山恒夫 (¹第二病院小児科): [一般講演] 川崎病における血中エンドテリン (ET-1) 濃度の変動について. 第 28 回日本小児循環器学会, 1992.
- 20) 上砂光裕, 関 隆志, 深澤隆治, 勝部康弘, 渡辺正規, 小川俊一, 弓削邦夫, 平山恒夫: [一般講演] 急性糸球体腎炎急性期における M モード心エコー図による心血行動態の評価について. 第 95 回日本小児科学会, 1992.
- 21) 千葉 隆, 細部千晴, 今井大洋, 吉田 豊, 山本 彰¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 村上隆介¹⁾, 隈崎達夫¹⁾(¹放射線科): [一般講演] 回転デジタル X 線撮影法を応用した気管支造影の試み. 第 28 回日本小児放射線学会, 東京, 1992.
- 22) 千葉 隆, 稲葉八興, 吉田 豊, 高木 亮¹⁾, 本多一義¹⁾, 隈崎達夫¹⁾(¹放射線科): [一般講演] 気管支喘息児の副鼻腔画像診断. 第 20 回日本小児耳鼻咽喉科研究会, 1992.
- 23) 千葉 隆, 稲葉八興, 高瀬真人, 今井大洋, 吉田 豊, 山本 彰¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 村上隆介¹⁾, 隈崎達夫¹⁾(¹放射線科): [一般講演] 回転デジタル X 線撮影法を応用した気管支造影の試み. 日本小児呼吸器疾患学会, 1992.
- 24) 前田美穂, 渡辺 淳, 右田 真, 山本正生, 小野沢康輔¹⁾, 西道隆臣¹⁾, 山本正雅²⁾, 田上憲次郎²⁾(¹都立駒込病院, ²東京都臨床医学研究所): [一般講演] 血小板カルパイン活性の高値を伴う家族性巨大血小板症の一家例. 第 34 回日本臨床血液学会, 1992.
- 25) 村上睦美: [一般講演] 腎疾患の早期発見と予防. 東腎臓協会の会総会, 1992.
- 26) 村上睦美, 立麻典子, 継 仁, 安保和俊, 土屋正己, 宗像恵美子, 平山恒夫, 芦田光則¹⁾, 守田利貞²⁾, 山本博章³⁾, 加藤和夫⁴⁾(¹勝葉堂病院, ²国立東静岡病院, ³川崎協同病院): [一般講演] Anaphylactoid 紫斑病における腎合併症の検討 [I] 抗血小板の影響について. 第 35 回日本腎臓学会, 1992.
- 27) 村上睦美, 宗像恵美子, 伊藤加寿子, 安保和俊, 土屋正己, 平山恒夫, 芦田光則¹⁾, 山本博章²⁾, 三瓶孝明, 岡田義治, 山内邦昭 (¹勝葉堂病院, ²川崎協同病院): [一般講演] 集団検尿における尿中微量アルブミン測定の意義についての検討. 第 39 回日本小児保健学会, 1992.
- 28) 張 家昆, 小川俊一, 弓削邦夫, 渡辺正規, 深澤隆治, 上砂光裕, 関 隆志, 平山恒夫, 林 毅陸¹⁾, 永井雄一¹⁾,

- 弦間優紀子¹⁾, 大久保隆志¹⁾ (¹⁾第二病院小児科): [一般講演] 川崎病における血中エンドセリン (ET-1) 濃度の変動について, 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 29) 張 家昆, 小川俊一, 弓削邦夫, 渡辺正規, 永井雄一¹⁾, 深澤隆治, 林 毅陸¹⁾, 上砂光裕, 関 隆志, 弦間優紀子¹⁾, 大久保隆志¹⁾, 平山恒夫 (¹⁾第二病院小児科): [一般講演] 川崎病の急性期における血清エンドセリン-1 濃度の変動について; ET-1は冠動脈拡張病変予知の指標となりうるか, 第12回日本川崎病研究会, 1992.
- 30) 渡辺正規, 勝部康弘, 小川俊一, 永井雄一, 深澤隆治, 林 毅陸, 上砂光裕, 関 隆志, 張 家昆, 弓削邦夫, 平山恒夫, 隈崎達夫¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 伊藤公一郎, 田島廣之¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 回転デジタル血管造影法による右室流出路・肺動脈狭窄の評価, 第28回日本小児循環器学会, 1992.
- 31) 土屋正己, 継 仁, 伊藤加寿子, 安保和俊, 宗像恵美子, 村上睦美, 平山恒夫, 芦田 光則¹⁾, 山本保博²⁾, 岡田義治, 山内邦昭 (¹⁾勝葉堂病院, ²⁾川崎協同病院): [一般講演] 学校集団検尿三次検診の暫定診断と確定診断との関連について, 第27回日本小児腎臓病学会, 1992.
- 32) 土屋正己, 継 仁, 伊藤加寿子, 安保和俊, 宗像恵美子, 村上睦美, 平山恒夫, 芦田光則¹⁾, 山本博章²⁾ (¹⁾勝葉堂病院, ²⁾川崎協同病院): [一般講演] 膀胱尿管逆流を伴う反復性尿路感染症を認めた3姉妹例; 学校検尿法再検討の立場から, 第39回日本小児科保健学会, 1992.
- 33) 土居寿子, 前田美穂, 山本正生, 平山恒夫: [一般講演] 初期に好酸球増多を認めた巨核芽球性白血病の1例, 関東信越地区小児がん登録研究会, 1993.
- 34) 土居寿子, 津田晃男, 桑原健太郎, 継 仁, 深澤隆治, 安保和俊, 吉田 豊, 平山恒夫, 松岡和彦, 藤本隆夫: [一般講演] Magacystic Microlon Hypoperistasis synrpma (MMIH) の1例, 第417回日本小児科学会東京部地方会, 1992.
- 35) 藤野 修, 橋本 清, 藤田武久, 榎戸 久, 小松崎英樹, 川上康彦, 釜 范 敏, 高石康子, 平山恒憲: [一般講演] 複雑部分発作症例の臨床的・脳波的検討, 第34回日本小児神経学会, 1992.
- 36) 尾内善四郎, 平山恒夫, 勝部康弘, 柳沢正義, 白石裕比湖, 清沢伸彦, 松田 博, 石川純一, 中島光好: [一般講演] ガンマグロブリン (ポリグロビンN) を用いた川崎病に対する多施設ランダム化コントロール・スタディー (1)客観的心エコー評価による至適量の検討, 第12回日本川崎病研究会, 1992.
- 37) 平山恒憲, 桑原健太郎, 継 仁, 藤野 修, 平山恒夫: [一般講演] Hypophosphatasia の1例, 第416回日本小児科学会東京部地方会, 1992.
- 38) 平山恒憲, 橋本 清, 藤野 修, 高石康子, 藤田武久, 小松崎英樹, 川上康彦, 高橋 弘¹⁾, 足立好司¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [一般講演] 低身長精査で発見された下垂体腺腫の一小児例, 関東小児神経研究会, 1993.
- 39) 林 毅陸, 永井雄一, 西沢善樹, 太田秀穂, 武智信幸, 深澤隆治, 平山恒夫: [一般講演] 複雑心血管奇形を伴った7gの1乳児例, 第28回日本小児循環器学会, 1992.
- 40) Ogawa, S., Zhang, J., Yuge, K., Watanabe, M., Fukuzawa, R., Seki, T., and Hirayama, T.: [展示] Increased plasma endothelin-concern-tration in Kawasaki disease. Third International Conference on Endothelin, (Houston), 1993.
- 41) 関 隆志, 渡辺正規, 深澤隆治, 小川俊一, 平山恒夫: [展示] 基礎的心疾患および免疫不全を認めなかった細菌性心内膜炎の1例, 第28回日本小児科循環器学会, 1992.
- 42) 上砂光裕, 弦間優紀子, 小川俊一, 安保和俊, 土屋正己, 村上睦美, 平山恒夫: [展示] 溶連菌感染後急性糸球体腎炎 (PSAGN) 急性期における心エコーによる心行動態の評価, 第35回日本腎臓学会, 1992.
- 43) 深澤隆治, 弓削邦夫, 小川俊一, 渡辺正規, 勝部康弘, 上砂光裕, 関 隆志, 山本正生, 平山恒夫: [展示] Authracycline 系薬剤を使用した急性白血病児の Hand-Grip による心予備能の検討, 日本小児循環器学会, 1992.
- 44) 川上康彦, 藤野 修, 橋本 清, 藤田武久, 埜中征哉¹⁾ (¹⁾国立精神神経センター): [展示] ミトコンドリア DNA 点変異 (3243: A→G) をもち, 10数年間中枢神経症状, 筋力低下の増悪を認めなかったミトコンドリアミオパ

チーに 1 例, 第34回日本小児神経学会総会, 1992.

- 45) 平山恒夫:〔展示〕日本における川崎病の現状;ことに冠動脈病変の画像診断および治療法の進歩について (Development of cardiac imaging and treatment in Kawasaki disease). 哈濱医科大学学術集会 (中国), 1992.

〔第一病院小児科〕

研究業績

論文

- 1) 山本正生, 右田 真, 前田 美穂:〔原著〕思春期鉄欠乏性貧血の実態と対策. 東京都予防医学年報, 21, 60~62, 1992.
- 2) 大木由加志, 手代木正:〔総説〕脱水症 (小児科救急医療;主要症候に対する鑑別診断と処置). 小児診療, 55, 737~743, 1992.
- 3) Reichlin, M.¹⁾, Abumohor, P.¹⁾, and Itoh, Y. (¹⁾Oklahoma Medical Research Foundation):〔原著〕Two sisters producing anti-U1-RNP exhibit serological concordance and clinical discordance. Lupus, 1, 249~254, 1992.
- 4) 伊藤保彦, 福永 慶隆:〔総説〕抗 Ro/SSA 抗体症候群と新生児ループス. 日医大誌, 59, 371, 1992.
- 5) 折茂裕美, 大木由加志, 荒牧琢己¹⁾, 黒田 肇²⁾, 宮本幹夫, 岡田一芳, 若林恒郎, 山中宣昭³⁾, 手代木正, 山本正生 (¹⁾内科学第 1, ²⁾内科学第 3, ³⁾病理学第 1):〔報告〕チオプロニンによる肝障害. 小児科, 33, 565~568, 1992.
- 6) 山本正生:〔総説〕乳児急性白血病. 日医大誌, 59, 205~209, 1992.
- 7) Arslanian, S.¹⁾, Ohki, Y., Becker, D.J.¹⁾, and Drash, A.L.¹⁾ (¹⁾Div. of Endocrinology and Metabolism, Children's Hospital of Pittsburgh):〔原著〕The dawn phenomenon; Comparison between normal and insulin-dependent diabetic adolescents. Pediatr Research, 31, 203~206, 1992.
- 8) 伊藤 保彦, 伊藤加寿子:〔総説〕抗 Ro/SSA 抗体と新生児ループス. 小児科, 33, 631~639, 1992.
- 9) 植田高弘, 右田 真, 山本正生:〔報告〕高度の貧血を呈した牛乳貧血の 1 幼児例. 小児科診療, 55, 1345~1349, 1992.
- 10) 渡辺 淳, 関 隆志, 右田 真, 福永 慶隆, 山本 正生:〔報告〕MMR ワクチン接種後に血小板減少性紫斑病を呈した 1 幼児例. 日小血会誌, 6, 135~137, 1992.
- 11) 山本正生, 村上由加里:〔総説〕乳幼児期アトピー性皮膚炎の治療. アレルギーの臨床, 12, 294, 1992.
- 12) 岸 恵, 大木由加志, 折茂裕美, 朝倉由美, 角田 守, 山本正生, 世田谷区医師会学校医部肥満検診委員会:〔報告〕世田谷区小中学校における肥満児の, 8 年間にわたる経年的変化について. 第12回日本肥満学会記録, 12, 45~46, 1992.
- 13) 大木由加志:〔総説〕小児肥満症と糖質代謝 (肥満・やせ). 小児医学, 25, 821~836, 1992.
- 14) Itoh, Y., and Reichlin, M.¹⁾ (¹⁾Oklahoma Medical Research Foundation):〔原著〕Autoantibodies to the Ro/SSA antigen are conformation dependent I.; Anti-60kD antibodies are mainly directed to the native protein; anti-52kD antibodies are mainly directed to the denatured protein. Autoimmunity, 14, 57~66, 1992.
- 15) 今井 茂¹⁾, 宮入 健¹⁾, 渋谷哲男¹⁾, 秋丸琥甫¹⁾, 内山喜一郎¹⁾, 高橋英毅¹⁾, 山本 英希¹⁾, 山本正生, 渡辺 淳 (¹⁾外科学第 2):〔報告〕幼児に発生した Askin tumor の 1 症例. 日臨外医会誌, 53, 2676~2681, 1992.
- 16) Itoh, Y., Itoh, K., Frank, M.B.¹⁾, and Reichlin, M.¹⁾ (¹⁾Oklahoma Medical Research Foundation):〔原著〕Autoantibodies to the Ro/SSA antigen are conformation dependent II.; Antibodies to the denatured form

of 52kD Ro/SSA are cross reacting subset of antibodies to the native 60kD Ro/SSA molecule. Autoimmunity, 14, 89~96, 1992.

- 17) 折茂裕美, 大木由加志, 山本正生:〔原著〕インスリン依存型糖尿病患者のソルビトール代謝;その臨床的意義. 日児誌, 97, 112~119, 1993.
- 18) Tsukada, M., Komiya, T., Nakazawa, S., Yamamoto, M. et al. (TCCSG members):〔原著〕Treatment of standard risk acute lymphoblastic leukemia in children with the Tokyo Children Cancer Study Group (TCCSG) L84-11 protocol in Japan. International Journal of Hematology, 57, 1~7, 1993.
- 19) 村上由加里, 山本正生, 山下誠夫¹⁾ (¹⁾三菱大倉山病院):〔報告〕暗褐色尿を主訴に来院した不安定ヘモグロビン症(Hb Köln)の1例. 日小血会誌, 7, 71~74, 1993.
- 20) Asano, T., Fukuda, Y.¹⁾, Fukunaga, Y., Yamamoto, M., Yokoyama, M.¹⁾, and Yamanaka, N.¹⁾ (¹⁾病理学第1):〔報告〕Intra-abdominal desmoplastic small cell tumor in an adolescent suggesting a neurogenic origin. Acta Pathologica Japonica, 43, 275~282, 1993.
- 21) 西村昂三, 細谷亮太, 土田昌宏, 向後俊昭, 山本正生・他(TCCSG members):アシクロビル顆粒の水痘に対する臨床試験. 小児臨床, 46, 409~424, 1993.
- 22) 右田 真, 伊藤保彦, 濱田久光, 渡辺 淳, 金子清志, 宗像恵美子, 福永慶隆, 山本正生:〔報告〕治療終了後5年目に水腎症を契機に晩期骨髓再発が確認された common ALL の1例. 小児診療, 37, 225~229, 1993.
- 23) 渡辺恵子, 右田 真, 吉田 豊, 山本正生:〔報告〕ALL 治療経過中に真菌性多発性肝膿瘍を認めた1女児例. 小児科診療, 47, 235~239, 1993.
- 24) 右田 真, 渡辺 淳, 土居寿子, 伊藤保彦, 前田美穂, 大木由加志, 福永慶隆, 鈴木義之¹⁾, 桜庭 均¹⁾, 鈴木 実²⁾, 守田利貞³⁾, 川目 裕⁴⁾, 山本正生 (¹⁾東京都臨床医学総合研究所臨床遺伝学, ²⁾同・生体膜, ³⁾国立東静病院小児科, ⁴⁾東京慈恵会医科大学小児科):〔報告〕Gaucher 病に対する酵素補充療法;本邦第1例. 日児誌, 97, 810~816, 1993.
- 25) 大木由加志:〔総説〕小児肥満とその弊害. 薬局, 44, 293~298, 1993.

〔前年度追加分〕

- 1) 桜庭 均¹⁾, 右田 真, 中島春子¹⁾, 加瀬良一¹⁾, 鈴木 実¹⁾, 鈴木義之¹⁾, 水野美彦²⁾ (¹⁾東京都臨床医学総合研究所, ²⁾都立神経病院):〔報告〕遺伝性酵素欠損症における酵素補充療法の試み. 都立産院共同研究報告集(平成3年度), 19~20, 1992.

著 書

- 1) 山本保博, 山本正生:〔編集〕小児救急クイックガイド. 医学書院. 1992.
- 2) 山本正生:〔分担〕吐血. 小児救急クイックガイド. P. 148~151, 医学書院. 1992.
- 3) 山本正生:〔分担〕小児急患の特殊性と対応策. 小児救急クイックガイド. P. 335~336, 医学書院. 1992.
- 4) 山本正生:〔分担〕PICUの現況と問題点. 小児救急クイックガイド. P. 345~350, 医学書院. 1992.

学会発表

- 1) 折茂裕美, 大木由加志, 朝倉由美, 岸 恵, 入江 学, 山本正生:〔一般講演〕小児糖尿病のソルビトール代謝;その臨床的意義. 第95回日本小児科学会総会, 1992.
- 2) 林 泰秀¹⁾, 別所文雄¹⁾, 山本正生・他:〔一般講演〕乳児白血病の細胞生物学的性状と臨床像. 第95回日本小児科学会総会, 1992.
- 3) 大木由加志, 山本正生, Dorman, J.¹⁾, Orchard, T.¹⁾, Becker, D.¹⁾, and Drash, A.¹⁾ (¹⁾Div. of Endocrinology and Metabolism, Children's Hospital of Pittsburgh):〔一般講演〕IDDM 患者の血圧と Microangiopathy お

よび Macroangiopathy との関係について。第35回日本糖尿病学会総会, 1992.

- 4) 福永慶隆, 竹鼻純子, 浅野 健, 安保和俊, 松岡和彦, 山本正生: [一般講演] EB ウイルス抗体価の異常な変動を伴った顆粒リンパ球増多症の女児例。第115回日本臨床血液学会, 1992.
- 5) 宗像恵美子, 継 仁, 伊藤加寿子, 安保和俊, 土屋正巳, 芦田光則¹⁾, 山本博章²⁾, 村上睦美, 平山恒夫, 岡田義治³⁾, 山内邦昭³⁾(¹⁾勝楽堂病院小児科, ²⁾川崎協同病院小児科, ³⁾東京都予防医学協会): 腎疾患例および集団検尿での尿中微量アルブミン簡易測定法 (ミクロブミンテスト)。第27回日本小児腎臓病学会, 1992.
- 6) 伊藤保彦, 伊藤加寿子, Frank, M.B.¹⁾, Reichlin, M.¹⁾ (Oklahoma Medical Research Foundation): [一般講演] 52KD Ro/SSA 抗原の特異な抗原性とオートエピトープ。第20回日本臨床免疫学会総会, 1992.
- 7) Ohki, Y., Yamamoto, M., Dorman, J.¹⁾, Becker, D.¹⁾, Drash, A.¹⁾, and Orchard, T.¹⁾ (¹⁾Div. of Endocrinology and Metabolism, Children's Hospital of Pittsburgh): [一般講演] Relationship between blood pressure and complications in insulin-dependent diabetics (IDDM). The 18th Annual Meeting of International Study Group of Diabetes in Children and Adolescents. (St Andrews, Scotland, United Kingdom), 1992.
- 8) 折茂裕美, 大木由加志, 朝倉由美, 岸 恵, 山本正生: [一般演題] インスリン依存型糖尿病における Sorbitol 代謝と糖尿病コントロール状況および合併症との関係について。第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 9) 五十嵐徹, 宗像恵美子, 大木由加志, 山本正生, 古井民一郎¹⁾, 立麻典子, 武藤隆雄²⁾, 早坂 清³⁾(¹⁾白十字総合病院, ²⁾武藤小児科医院, ³⁾秋田大学小児科): [一般講演] 糖尿病Ⅲ型の 1 男児例。第415回日本小児科学会東京都地方会, 1992.
- 10) 渡辺 淳, 右田 真, 土居寿子, 伊藤保彦, 太田耕造, 金子清志, 前田美穂, 福永慶隆, 山本正生: [一般講演] 自己免疫性好中球・血小板減少症に鉄欠乏性貧血を合併した 1 男児例。第34回日本小児血液学会, 1992.
- 11) 村上由加里, 渡辺 淳, 右田 真, 金子清志, 福永慶隆, 植田高弘, 山本正生, 川畑 勉¹⁾(¹⁾栃木県南総合病院): [一般講演] 周期性好中球減少症の経過中に急性リンパ性白血病を発症した 1 男児例。第34回日本小児血液学会, 1992.
- 12) 仁保幸次, 右田 真, 太田耕造, 前田美穂, 山本正生: [一般講演] 重症心身障害者の貧血の検討; 鉄代謝を中心に。第34回日本小児血液学会, 1992.
- 13) 折茂裕美, 大木由加志, 岸 恵, 朝倉由美, 入江 学, 山本正生: [一般講演] 日本人 IDDM 患者の思春期以降の罹病期間と microangiopathy の発現との関係について。第10回小児糖尿病カンファレンス, 1992.
- 14) 岸 恵, 大木由加志, 折茂裕美, 朝倉由美, 山本正生: [一般講演] 世田谷区小中学校における肥満児の, 各種合併症に関する検討。第26回日本小児内分泌学会, 1992.
- 15) 五十嵐徹, 渡辺 淳, 村上由加里, 伊藤保彦, 金子清志, 福永慶隆, 山本正生, 長井一泰¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 山田宣孝²⁾, 馬杉洋三²⁾, 小倉雄一³⁾(¹⁾外科学第2, ²⁾第一病院病理部, ³⁾おぐら小児科): [一般講演] 項部に発生した Fibrous hamartoma of infancy の 1 男児例。第416回日本小児科学会東京都地方会, 1992.
- 16) 岸 恵, 大木由加志, 折茂裕美, 朝倉由美, 山本正生, 世田谷区医師会学校医部肥満検診委員会: [一般講演] 世田谷区小中学校における肥満児の, 各種合併症に関する検討。第13回日本肥満学会, 1992.
- 17) 前田美穂, 渡辺 淳, 右田 真, 山本正生, 小野沢康輔¹⁾, 西道隆臣²⁾, 山本正雅²⁾, 田上憲次郎²⁾(¹⁾東京都立駒込病院, ²⁾東京都臨床医学総合研): [一般講演] 血小板カルパイン活性の高値を伴う家族性巨大血小板症の一家系。第34回日本臨床血液学会総会, 1992.
- 18) 渡辺 淳, 植田高弘, 土居寿子, 金子清志, 前田美穂, 福永慶隆, 山本正生, 榎戸 久¹⁾(¹⁾下館市民病院小児科): [一般講演] 若年性慢性骨髄性白血病 (JCML) に化学療法および IFN- α を使用し寛解を得た 1 男児例。第34回日本臨床血液学会総会, 1992.
- 19) 赤塚順一, 山本正生・他 (関東小児血液 Fluconazole 研究会メンバー): [一般講演] 小児血液疾患に併発した潜在性真菌症に対する Fluconazole の有用性の検討。第34回日本臨床血液学会総会, 1992.
- 20) 木下明俊¹⁾, 森泰二郎¹⁾, 高橋弘剛¹⁾, 岡崎敏子²⁾, 金子 隆³⁾, 土田昌宏⁴⁾, 花田良二⁵⁾, 山本圭子⁴⁾, 渡辺 淳,

山本正生, 犬飼岳史⁵⁾, 中澤眞平⁵⁾(¹⁾慶応大学小児科, ²⁾埼玉中央病院免疫研, ³⁾東京都立清瀬小児病院, ⁴⁾茨城県立こども病院, ⁵⁾山梨医科大学小児科): [一般講演] 小児 ANLL における CD56 の発現. 第34回日本臨床血液学会総会, 1992.

- 21) 五十嵐徹, 伊藤保彦, 福永慶隆, 吉田 豊, 山本正生, 平山恒夫, 若林恒郎¹⁾(¹⁾川口市民病院小児科): [一般講演] 急性心不全で発症した大動脈炎症候群の2例. 第2回小児リウマチ研究会, 1992.
- 22) 渡辺 淳, 鈴木宏和, 五十嵐徹, 村上由加里, 伊藤保彦, 金子清志, 福永慶隆, 山本正生, 宮入 健¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 山田宣孝²⁾(¹⁾外科学第2, ²⁾第一病院病理部): [展示] Askin 腫瘍の1剖検例. 第8回日本小児がん学会, 1992.
- 23) 塚田昌滋, 山本正生・他(東京小児癌治療研究グループ): [一般演題] 乳児神経芽細胞腫(病期IVとIVs)の臨床的検討. 第8回日本小児がん学会, 1992.
- 24) 星 順隆, 山本正生・他(小児がん患児の医療と生活向上に関する調査研究会メンバー): [一般演題] 小児がん患児の医療と生活の問題点. 第8回日本小児がん学会, 1992.
- 25) Migita, M., Fukunaga, Y., Yamamoto, M., Hirai, Y.¹⁾, Shimada, T.¹⁾, Sakuraba, H.²⁾, and Suzuki, Y.²⁾(¹⁾Dpt. of Biochemistry, Nippon Medical School, ²⁾The Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science): [シンポジウム] Enzyme replacement therapy for Gaucher disease; The first case in Japan. The 4th Meeting of Molecular Biology for Genetic Disorders. (Tokyo), 1992.
- 26) 渡辺 淳, 宗像恵美子, 五十嵐徹, 植田高弘, 金子清志, 福永慶隆, 山本正生, 中野一博¹⁾(¹⁾第一病院血液センター): [一般講演] Cyclosporin A 投与後血小板輸血不応状態が改善し一過性腎機能障害を来した重症型再生不良性貧血の1男児例. 第419回日本小児科学会東京都地方会, 1993.
- 27) 右田 真, 渡辺 淳, 金子清志, 伊藤保彦, 五十嵐徹, 植田高弘, 福永慶隆, 山本正生: [一般講演] 脾摘出と一部自己脾移植施行後, 酵素補充療法を行った Gaucher 病の1例. 第6回日本小児脾臓研究会, 1993.

[前年度追加分]

- 1) 岸 恵, 大木由加志, 折茂裕美, 朝倉由美, 角田 守, 山本正生, 世田谷区医師会学校医部肥満検診委員会: [ワークショップ] 世田谷区小中学校における肥満児の, 8年間にわたる経年的変化について. 第12回日本肥満学会, 1991.

[第二病院小児科]

研究業績

論文

- 1) 松岡和彦: [原著] 血清 BUN/Creatinine 比による小児消化管出血部位についての検討. 川崎市小児科医会会誌, 24, 25~31, 1992.

著書

- 1) 松岡和彦, 西沢善樹: [分担] 薬物の血中濃度.”小児の救急医療”(小児内科編集委員会), 東京医学社, 1992.
- 2) 松岡和彦: [分担] 小児救急薬用量.”小児救急クイックガイド”(山本正生, 山本保博編), 医学書院, 1992.
- 3) 松岡和彦: [分担] 下痢.”小児救急クイックガイド”(山本正生, 山本保博編), 医学書院, 1992.

学会発表

- 1) 小松崎英樹, 橋本 清, 川上康彦, 榎戸 久, 古谷正伸, 高石康子, 藤田武久, 釜沼 敏, 藤野 修, 平山恒夫, 品川嘉也¹⁾, 瀬野裕美¹⁾, 小糸秀美¹⁾, 河野貴美子¹⁾(¹⁾生理学第1・基礎医学情報処理室): [一般講演] てんかん脳波のフラクタル次元解析. 第95回日本小児科学会総会, 1992.

- 2) 藤野 修, 橋本 清, 藤田武久, 榎戸 久, 小松崎英樹, 川上康彦, 釜薙 敏, 高石康子, 古谷正伸, 平山恒憲 : [一般講演] 複雑部分発作症例の臨床脳波の検討. 第34回日本小児神経学会総会, 1992.
- 3) 川上康彦, 橋本 清, 藤野 修, 藤田武久, 埜中征也¹⁾, 松岡太郎¹⁾, 作田亮一¹⁾ (¹⁾国立神経研究所) : [展示] ミトコンドリア DNA 点変異 (3243:A → G) をもち10数年間中枢神経症状, 筋力低下の増悪を認めなかったミトコンドリアミオパチーの1例. 第34回日本小児神経学会総会, 1992.
- 4) 林 毅陸, 永井雄一, 西沢善樹, 太田秀穂, 武智信幸, 深沢隆治, 平山恒夫 : [展示] 複雑心血管奇形を伴った7qの一乳児例. 第28回日本小児循環器学会総会, 1992.
- 5) 林 毅陸, 藤田武久, 橋本 清, 太田秀穂, 星野 茂¹⁾, 高橋 弘¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科) : [一般講演] MRI が病状判断に有効であった後頭部腫瘍の1例. 第10回神奈川小児神経懇話会, 1992.
- 6) 西沢善樹, 稲葉八興, 弦間優紀子, 林 毅陸, 永井雄一, 太田耕造, 藤田武久, 松岡和彦, 太田秀穂 : [一般講演] メチシリン耐性ブドウ球菌 (MRSA) に対する未熟児室内ホルマリン消毒の試み. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 7) 張 家昆, 小川俊一, 弓削邦夫, 渡辺政規, 深沢隆治, 上砂光裕, 関 隆志, 平山恒夫, 林 毅陸, 永井雄一, 弦間優紀子, 大久保隆志 : [一般講演] 川崎病における血中エンドテリン I (ET-I) 濃度の変動について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 8) 林 毅陸, 藤田武久, 太田秀穂, 橋本 清, 星野 茂¹⁾, 高橋 弘¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科) : [展示] MRI が病状判断に有効であった後頭部腫瘍の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 9) 千葉 隆, 吉田 豊, 稲葉八興, 高木 亮¹⁾, 本多一義¹⁾, 隈崎達夫¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科) : [展示] 気管支喘息児の副鼻腔画像診断. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 10) 小松崎英樹, 橋本 清, 藤野 修, 釜薙 敏, 藤田武久, 高石康子, 古谷正伸, 榎戸 久, 川上康彦, 平山恒憲, 品川嘉也¹⁾, 河野貴美子¹⁾ (¹⁾生理学第1・基礎医学情報処理室) : [一般講演] フラクタル次元解析によるてんかん児脳波の検討. 第26回日本てんかん学会総会, 1992.
- 11) 稲葉八興, 松岡和彦, 土井寿子, 千葉 隆, 吉田 豊 : [一般講演] 頸部嚢胞状リンパ管腫の2症例. 第25回日本小児呼吸器疾患学会総会, 1992.
- 12) 藤田武久, 橋本 清, 武智信幸, 太田秀穂, 遠藤義忠¹⁾ (¹⁾東急病院小児科) : [一般講演] Pseudotumor cerebri の1例. 第11回神奈川小児神経懇話会, 1993.
- 13) 清水孝徳¹⁾, 松岡和彦, 稲葉八興, 砂川佐和子¹⁾, 日下隼人¹⁾, 岡庭真理子¹⁾ : [一般講演] 潰瘍性大腸炎に原発性硬化性胆管炎および肝硬変を合併した8歳女児例. 第420回日本小児科学会東京地方会講話会, 1993.
- 14) 平山恒憲, 橋本 清, 藤野 修, 高石康子, 藤田武久, 小松崎英樹, 川上康彦, 高橋 弘¹⁾, 足立好司¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科) : [一般講演] 低身長精査で発見された下垂体腺腫の1例. 第20回関東小児神経学研究会, 1993.

[多摩永山病院小児科]

研究業績

論文

- 1) 川上康彦, 橋本 清, 丸山和男, 土屋正己, 飛田正俊, 岡部俊成, 向後俊昭, 田中洋介¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 飯田英次²⁾, 前田昭太郎³⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾同放射線科, ³⁾同病理部) : [報告] 大量出血によるショック症状を呈し, 注腸造影により診断し得た Meckel 憩室の1乳児例, 小児科臨床, 45, 1829~1833, 1992.
- 2) 安保和俊¹⁾, 土屋正己, 山本博章²⁾, 村上睦美¹⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾川崎協同病院) : [総説] 血尿と蛋白尿 : 腎臓検診における血尿・蛋白尿異常者の実態. 小児科 NewMook, 3, 1~11, 1992.
- 3) 村上睦美¹⁾, 安保和俊¹⁾, 土屋正己 (¹⁾付属病院小児科) : [総説] 生涯検尿 : 学校検尿の現状, 腎と透析, 32, 903~908, 1992.

学会発表

- 1) 小松崎英樹¹⁾, 中村洋子¹⁾, 平山恒憲¹⁾, 高石康子¹⁾, 藤野 修¹⁾, 川上康彦, 橋本 清 (¹⁾付属病院小児科): [一般講演] めまい, 眼振, 嘔吐, 意識減損を反復する診断困難な 7 歳の一男児例. 第21回多摩小児神経集談会, 1992.
- 2) 安保和俊¹⁾, 継 仁, 伊藤加壽子, 土屋正己, 宗像恵美子²⁾, 芦田光則³⁾, 山本博章⁴⁾, 村上睦美¹⁾, 平山恒夫¹⁾, 石崎正通⁵⁾, 山中宣昭⁵⁾, 馬杉洋三⁵⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾第一病院小児科, ³⁾勝楽堂病院, ⁴⁾川崎協同病院, ⁵⁾病理第1): [一般講演] 小児期 IgA 腎症における臨床経過の年齢的差異について. 第95回日本小児科学会学術集会, 1992.
- 3) 丸山和男, 竹田幸代, 川上康彦, 伊藤加壽子, 土屋正己, 飛田正俊, 岡部俊成, 向後俊昭, 橋本 清: [一般講演] 全身型若年性関節リュウマチの経過中に DIC (disseminated intravascular coagulation) を発症した 1 例. 第413回日本小児科学会東京地方会, 1992.
- 4) 川上康彦, 橋本 清, 藤野 修¹⁾, 藤田武久²⁾, 埜中征哉³⁾, 松岡太郎³⁾, 作田亮一³⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾第二病院小児科, ³⁾国立精神神経センター): [一般講演] ミトコンドリア DNA 点変異 (3423: A → G) をもち10数年間中枢神経症状, 筋力低下の増悪を認めなかったミトコンドリアミオパチーの 1 例. 第34回日本小児神経学会総会, 1992.
- 5) 小松崎英樹¹⁾, 橋本 清, 藤野 修¹⁾, 釜沼 敏¹⁾, 藤田武久²⁾, 高石康子¹⁾, 古谷正伸¹⁾, 榎戸 久¹⁾, 川上康彦, 平山恒憲¹⁾, 品川嘉也³⁾, 河野貴美子⁴⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾第二病院小児科, ³⁾生理第1, ⁴⁾基礎医学情報処理室): [一般講演] フラクタル次元解析によるてんかん児脳波の検討, 第95回日本小児科学会総会, 1992.
- 6) 藤野 修¹⁾, 橋本 清, 藤田武久²⁾, 榎戸 久¹⁾, 小松崎英樹¹⁾, 川上康彦, 釜沼 敏¹⁾, 高石康子¹⁾, 古谷正伸¹⁾, 平山恒憲¹⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾第二病院小児科): [一般講演] 複雑部分発作症例の臨床的脳波的検討. 第34回日本小児神経学会総会, 1992.
- 7) 土屋正己, 継 仁, 伊藤加壽子, 安保和俊¹⁾, 宗像恵美子²⁾, 村上睦美¹⁾, 平山恒夫¹⁾, 芦田光則³⁾, 山本博章⁴⁾, 岡田義治⁵⁾, 山内邦昭⁵⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾第一病院小児科, ³⁾勝楽堂病院, ⁴⁾川崎協同病院, ⁵⁾東京都予防医学協会): [一般講演] 学校集団検尿三次検診の暫定診断と確定診断との関連について. 第27回日本小児腎臓病学会, 1992.
- 8) 宗像恵美子¹⁾, 継 仁, 伊藤加壽子, 安保和俊²⁾, 土屋正己, 芦田光則³⁾, 山本博章⁴⁾, 村上睦美²⁾, 平山恒夫²⁾, 岡田義治⁵⁾, 山内邦昭⁵⁾ (¹⁾第一病院小児科, ²⁾付属病院小児科, ³⁾勝楽堂病院, ⁴⁾川崎協同病院, ⁵⁾東京都予防医学協会): 腎疾患例および集団検尿での尿中微量アルブミン簡易測定法 (マイクロブミンテスト) の検討. 第27回日本小児腎臓病学会, 1992.
- 9) 安保和俊¹⁾, 桑原健太郎, 継 仁, 土屋正己, 村上睦美¹⁾, 坪井成美²⁾, 西村泰司²⁾, 秋本成太²⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾付属病院泌尿器科): [一般講演] 間歇性水腎症を呈した片腎矮小腎の 1 女児例. 第1回小児泌尿器科学会総会, 1992.
- 10) 林 毅陸¹⁾, 藤田武久¹⁾, 橋本 清, 太田秀穂¹⁾, 星野 茂²⁾, 高橋 弘²⁾ (¹⁾第二病院小児科, ²⁾付属病院脳神経外科): [一般講演] MRI が病状判断に有効であった後頭部腫瘍の 1 例. 第10回神奈川小児神経懇話会, 1992.
- 11) Murakami, M.¹⁾, Tsugu, H., Anbo, K.¹⁾, Tsutiya, M., Munakata, E.²⁾, Ashida, A.³⁾, and Yamamoto, H.⁴⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾第一病院小児科, ³⁾勝楽堂病院, ⁴⁾川崎協同病院): [一般講演] The asymptomatic proteinuria in children (prospective study for 11 year). The 9th International Congress of Pediatric Nephrology (Jerusalem), 1992.
- 12) 岡部俊成, 飛田正俊, 丸山和男, 桑原健太郎, 立麻典子, 渋谷正則¹⁾, 川上康彦, 土屋正己, 向後俊昭, 橋本 清 (¹⁾生化学研究室): [一般講演] テオフィリン徐放製剤による小児気管支喘息児に対する RTC 療法におけるベジアン法の有用性の検討 (第2報). 第60回日本医大医学会総会, 1992.
- 13) 川上康彦, 丸山和男, 伊藤加壽子, 土屋正己, 飛田正俊, 立麻典子, 岡部俊成, 向後俊昭, 橋本 清: [一般講演]

- 演] ミトコンドリア DNA 点変異 (3243 : A-G) を持ち、10年間中枢神経症状・筋力低下の進行を認めなかったミトコンドリア・ミオパチーの1例。第60回日本医大医学会総会、1992。
- 14) 渋谷正則¹⁾、岡部俊成、飛田正俊、丸山和男、向後俊昭、村田正弘²⁾ (¹⁾生化学研究室、²⁾薬剤科) : [一般演題] 小児喘息児に対するテオフィリン徐放製剤での RTC 療法におけるベジアン法の有用性について。第9回 TDM 学会、1992。
 - 15) 小松崎英樹¹⁾、橋本 清、藤野 修¹⁾、釜沼 敏¹⁾、藤田武久²⁾、高石康子¹⁾、古谷正伸¹⁾、榎戸 久¹⁾、川上康彦、平山恒憲¹⁾、品川嘉也³⁾、河野貴美子⁴⁾ (¹⁾付属病院小児科、²⁾第二病院小児科、³⁾生理第1、⁴⁾基礎医学情報処理室) : [一般演題] フラクタル次元解析によるてんかん児脳波の検討。第26回日本てんかん学会、1992。
 - 16) 品川嘉也¹⁾、小松崎英樹²⁾、橋本 清、河野貴美子³⁾ (¹⁾生理第1、²⁾付属病院小児科、³⁾基礎医学情報処理室) : [一般講演] 2種類のフラクタル次元を持つ例とその診断学的意義。第22回日本脳波筋電図学会、1992。
 - 17) 藤田武久¹⁾、橋本 清、武智信幸¹⁾、太田秀穂¹⁾、遠藤義忠²⁾ (¹⁾第二病院小児科、²⁾東急病院) : [一般講演] Pseudotumor cerebri の1例。第11回神奈川小児神経懇話会、1992。
 - 18) 川上康彦、竹田幸代、平山恒憲¹⁾、小松崎英樹¹⁾、藤野 修¹⁾、橋本 清、木暮一成²⁾、清水澄江²⁾、池田幸穂²⁾ (¹⁾付属病院小児科、²⁾同脳神経外科) : [一般講演] 原因不明の左内頸動脈閉塞症 (モヤモヤ病?) による脳梗塞を発症した1女児例。第23回多摩小児神経集談会、1992。
 - 19) 丸山和男、飛田正俊、岡部俊成、向後俊昭、山本正生¹⁾、湯浅陽子²⁾ (¹⁾第一病院小児科、²⁾足立区衛生部) : 東京都足立区におけるアレルギー相談の現状と課題について。第29回日本小児アレルギー学会、1992。
 - 20) 岡部俊成、野呂嘉彦¹⁾、飛田正俊、丸山和男、向後俊昭、坂口雅弘²⁾、井上 栄²⁾、留目優子³⁾、大国寿士³⁾ (¹⁾微生物免疫学教室、²⁾国立公衆衛生院、³⁾老人病研究所) : ブドウ球菌菌体成分の peptidoglycan (PG) がアトピー性皮膚炎児末梢血リンパ球の IgE 産生能におよぼす影響について。第42回日本アレルギー学会総会、1992。
 - 21) 飛田正俊、岡部俊成、丸山和男、向後俊昭、渋谷正則¹⁾、山本正生²⁾ (¹⁾生化学研究室、²⁾第一病院小児科) : テオフィリン持続点滴中止後のテオフィリン徐放製剤の投与計画に関する検討。第42回日本アレルギー学会総会、1992。
 - 22) 村上睦美¹⁾、宗像恵美子²⁾、伊藤加壽子、安保和俊¹⁾、土屋正己、平山恒夫¹⁾、芦田光則³⁾、山本博章⁴⁾、三瓶孝明⁵⁾、岡田義治⁵⁾、山内邦昭⁵⁾ (¹⁾付属病院小児科、²⁾第一病院小児科、³⁾勝楽堂病院、⁴⁾川崎協同病院、⁵⁾東京都予防医学協会) : [一般講演] 集団検尿に於ける尿中微量アルブミン測定意義について。第39回日本小児保健学会、1992。
 - 23) 土屋正己、継 仁、伊藤加壽子、安保和俊¹⁾、宗像恵美子²⁾、村上睦美¹⁾、平山恒夫¹⁾、芦田光則³⁾、山本博章⁴⁾ (¹⁾付属病院小児科、²⁾第一病院小児科、³⁾勝楽堂病院、⁴⁾川崎協同病院) : [一般講演] 膀胱尿管逆流を伴う反復性尿路感染症を認めた3姉妹例；学校検尿法再検討の立場から。第39回日本小児保健学会、1992。
 - 24) 桑原健太郎、土屋正己、立麻典子、川上康彦、丸山和男、伊藤加壽子、飛田正俊、岡部俊成、向後俊昭、橋本 清、山田和彦¹⁾、平岡保紀¹⁾、前田昭太郎²⁾、品川洋一³⁾ (¹⁾多摩永山病院泌尿器科、²⁾同病理部、³⁾相模更正病院) : ネフローゼ症候群と神経節細胞腫を伴った1男児例。第417回日本小児科学会東京地方会、1992。
 - 25) 村上睦美¹⁾、立麻典子、継 仁、安保和俊¹⁾、土屋正己、宗像恵美子²⁾、平山恒夫¹⁾、芦田光則³⁾、守田利貞⁴⁾、山本博章⁵⁾、加藤和夫⁶⁾ (¹⁾付属病院小児科、²⁾第一病院小児科、³⁾勝楽堂病院、⁴⁾国立東静病院、⁵⁾川崎協同病院、⁶⁾横浜南共済病院) : [一般講演] Anaphylactoid 紫斑病における腎合併症の検討；(1) 抗凝固療法の影響について。第35回日本腎臓学会総会、1992。
 - 26) 上砂光裕¹⁾、弦間優紀子²⁾、小川俊一¹⁾、安保和俊¹⁾、土屋正己、村上睦美¹⁾、平山恒夫¹⁾ (¹⁾付属病院小児科、²⁾第二病院小児科) : [一般講演] 溶連菌感染後急性糸球体腎炎 (PSAGN) 急性期における心エコーによる心血行動態の評価。第35回日本腎臓学会総会、1992。

7. 放射線医学講座

[付属病院放射線科]

研究概要

本年の研究に於ける特徴は、診断学が血管造影、CT、MRI、核医学およびその他の画像診断モダリティーなどの多面性を持ち始めたことと、臓器別に多くの検査法を駆使した研究の萌芽が目立ってきたこと、IVRがさらに幅ひろくなってきたことおよび治療学の集積と新しい展開がみえてきたことである。

1) 装置に関しては、核最新の3検出装置、CTのヘリカル搭載、MRIのスーパーバージョン、回転撮影システムの改良開発が各担当セクションにて完成し、それぞれの研究に大きなインパクトをもたらした。2) 急性大動脈解離に関しては、CTとMRI、回転デジタル血管造影を駆使した研究成果が評価された。回転デジタル血管造影法は、大動脈解離や小児先天性心疾患の病態解析に独創的な研究結果をもたらした。造影MRIによる心筋の観察、核医学の手法を駆使した心筋の交感神経分布の研究が軌道に乗り始めた。3) 悪性腫瘍は、ヘリカルCTを中心として肝癌、肺癌の早期診断にみるべき成果を挙げた。胸部悪性腫瘍に対するIVRや、デジタル画像診断の研究も着実な歩みを見せている。4) 救急疾患もサブトラクションCTや3次元血管造影による新しい診断法の開発と、これに基づくTAEの工夫による臨床的有用性が確立されつつある。5) 下肢閉塞性動脈硬化症に対する金属ステント治療は、当初の期待を上回る成果を挙げつつある。RIを駆使した術前後の評価の試みは、新しい評価法として注目される。その他、大動脈や肝静脈・門脈ステント留置術(TIPS)も積極的に行っている。6) 治療部門は頭頸部腫瘍の分野では依然として我が国に於ける指導的研究体制がとられている。また、超音波検査やCTとの組み合わせによる治療計画設定および成績の評価に関する研究がまとまってきた。低線量照射による腫瘍制御の研究や、ケロイドの放射線治療に関する研究も国際学会で高い評価を得た。

研究業績

論文

- 1) 隈崎達夫：〔原著〕末梢動脈のステント（特集：メタリック・ステントの進歩—IVRのトピックス—）。画像診断, 13, 275～282, 1993.
- 2) 隈崎達夫：〔総説〕回転立体デジタルX線撮影；血管3次元画像作成理論と新しいシステムの開発。日医大誌, 59, 441～449, 1993.
- 3) Tajima, H., Murakami, R., and Kumazaki, T.: 〔原著〕Aberrant left gastric vein directly draining into left portal venous system. Acta Radiologica, 33, 462～463, 1992.
- 4) 田島廣之, 隈崎達夫, 村上隆介, 弦間和仁, 恵畑欣一：〔原著〕腹部血管造影におけるIomeprol (E7337) の臨床的有用性；腎機能に及ぼす影響の評価も含めて。Progress in Medicine, 13 (Supple 1), 229～241, 1993.
- 5) 大石卓爾：〔原著〕小児気管支喘息における肺胞上皮透過性；99mTc-DTPA肺吸入シンチグラフィーによる検討。日医大誌, 60, 44～49, 1993.
- 6) 天野康雄, 松本泰二¹⁾, 木村好秀²⁾, 寺田充彦³⁾, 川俣博志¹⁾, 隈崎達夫, 大矢 徹, 山本 彰, 恵畑欣一^(¹⁾三栄病院・放射線科, ²⁾同・産科, ³⁾東京医科歯科大学・病理)：〔原著〕乳癌子宮転移のCT像。臨床放射線, 37, 569～573, 1992.
- 7) 堀内淳一：〔総説〕癌転移と画像診断；治療の立場から。画像診断, 12, 1387, 1992.
- 8) 堀内淳一：〔総説〕結核菌熱抽出物質。現代医療, 24, 480～484, 1992.
- 9) 鎌田力三郎¹⁾, 斎藤 勉¹⁾, 山下 孝²⁾, 渋谷 均³⁾, 堀内淳一, 恵畑欣一^(¹⁾日大・放射線科, ²⁾癌研究会・放射線科, ³⁾東京医科歯科・放射線科)：〔総説〕放射線とフルツロンの併用療法。癌と化学療法, 19, 665～670, 1992.

- 10) 田島廣之, 高木 亮, 山本 彰, 田島なつき, 隈崎達夫, 佐々木建志¹⁾, 五味洸誠¹⁾, 鈴木恒道²⁾ (¹⁾胸部外科, ²⁾病理部): 縦隔原発精上皮腫の1例. 臨床放射線, 37, 839~842, 1992.
- 11) 田島廣之, 隈崎達夫, 堀内淳一, 市川太郎, 渡 潤, 奥山 厚¹⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター): [総説] 癌転移の画像診断. 肝転移. 画像診断, 12, 1415~1424, 1992.
- 12) 田島廣之, 弦間和仁, 隈崎達夫, 田中啓治¹⁾ (¹⁾集中治療室): [総説] CCUにおける画像診断. 3. デジタルサブトラクション血管造影 (DSA). 集中治療, 4, 855~859, 1992.
- 13) 天野康雄, 林 宏光, 赤沼弘勝, 渡 潤, 玉井 仁, 隈崎達夫: [報告] MRIにて腎皮質のヘモデリン沈着を観察した1例. 臨床放射線, 37, 1661~1664, 1992.
- 14) 村上隆介, 田島廣之, 大矢 徹, 弦間和仁, 稲垣禎彦, 隈崎達夫, 谷合信彦¹⁾, 西久保秀紀¹⁾ (¹⁾外科第1): [報告] 経回結腸静脈の塞栓術にて治療しえた十二指腸静脈瘤の1例. 臨床放射線, 37, 949~952, 1992.
- 15) 村上隆介, 田島廣之, 伊藤公一郎, 弦間和仁, 川俣博志, 水村 直, 高橋修司, 隈崎達夫: [報告] 肝内門脈左枝; 傍食道静脈吻合を示した特発性門脈圧亢進症の1例. 臨床放射線, 37, 1529~1532, 1992.
- 16) 市川太郎, 森山紀一¹⁾, 高安賢一¹⁾, 村松幸男¹⁾, 若尾文彦¹⁾, 岩田良子¹⁾, 山田達哉¹⁾ (¹⁾国立がんセンター): [原著] 肝細胞癌の診断における helical scanning CT の有用性. 臨床放射線, 37, 649~654, 1992.
- 17) 市川太郎: [原著] 脾癌の CT 像と病理組織所見との対比; CT による質的診断の試み. 日医大誌, 59, 227~233, 1992.
- 18) 弦間和仁, 田島廣之, 隈崎達夫: [原著] 画像診断と IVR 腎臓(特集: 血管性疾患). 臨床画像, 8, 64~77, 1992.
- 19) 弦間和仁, 隈崎達夫: [原著] 回転立体デジタル血管撮影による大動脈解離の診断; 特に initial tear の同定と解離波及分枝の観察について. 日本脈管学会誌, 32, 297~307, 1992.
- 20) 林 宏光, 高木 亮, 恩田宗彦, 田島廣之, 隈崎達夫, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科第1): [報告] 腸間膜脂肪織炎の1例. 臨床放射線, 37, 1649~1652, 1992.
- 21) 間瀬泰克¹⁾, 林 宏光, 白井康正¹⁾, 渡辺 誠¹⁾, 南 和文¹⁾, 松尾博由²⁾ (¹⁾整形外科, ²⁾松尾医院): [原著] アイスホッケー選手の筋腱損傷について; 特に MRI の有用性に関しての検討. 日整外スポーツ医会誌, 11, 33~37, 1992.
- 22) 林 宏光, 伊藤公一郎, 隈崎達夫, 田中啓治¹⁾ (¹⁾集中治療室): [総説] CCUにおける画像診断 2; CT. 集中治療, 4, 753~756, 1992.
- 23) Kumita, S., and Nishimura, T.¹⁾ (¹⁾National Cardiovascular Center): [原著] Assessment of myocardial perfusion and left ventricular function using 99mTc-labeled radiopharmaceuticals. Medical Review, 42, 41~46, 1992.
- 24) 汲田伸一郎, 水村 直, 隈崎達夫, 田中啓治¹⁾ (¹⁾集中治療室): [総説] CCUにおける RI 検査の有用性. 集中治療, 4, 1069~1073, 1992.
- 25) 松本泰二¹⁾, 天野康雄 (¹⁾三楽病院・放射線科): [原著] CT から見た胆石種類の値的診断. Bibliography in Gastroenterology, 6, 94, 1992.
- 26) 松本泰二¹⁾, 天野康雄, 川俣博志 (¹⁾三楽病院・放射線科): [原著] 脂肪肝に対する大柴胡湯の臨床的有用性の検討. 臨床と研究, 69, 327~332, 1992.
- 27) 真々田裕宏¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 山下精彦¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 鳥羽昌仁¹⁾, 足立幹夫¹⁾, 梅原松臣¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 西久保秀紀¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 隈崎達夫, 大矢 徹, 田島廣之, 弦間和仁 (¹⁾外科第1): [原著] 開存した傍脾静脈閉鎖術が有効であった猪瀬型肝性脳症の3例. 日消外会誌, 26, 899~903, 1993.
- 28) 仁木 登¹⁾, 佐藤 均²⁾, 宇山親雄³⁾, 隈崎達夫 (¹⁾徳島大学工学部, ²⁾東芝医用機器技術研究所, ³⁾国立循環器病センター): [原著] X線のイメージング (回転撮影方式). 日本医用画像工学会誌, 10, 113~118, 1992.
- 29) Kawata, Y.¹⁾, Niki, N.¹⁾, Sato H.¹⁾, and Kumazaki, T. (¹⁾Tokushima University, Department of Engineering): [原著] 3-D Image reconstruction of blood vessels using an X-ray rotational projection system.

Biomedical Engineering, 9, 327~331, 1992.

- 30) 河田佳樹¹⁾, 峯山 徹¹⁾, 仁木 登¹⁾, 佐藤 均²⁾, 隈崎達夫^(¹徳島大学工学部, ²東芝医用機器技術研究所): [原著] X線回転撮影法式による血管3次元再構成. 画像の認識 (MIRU'92), 193~200, 1992.
- 31) 河田佳樹¹⁾, 仁木 登¹⁾, 佐藤 均²⁾, 隈崎達夫^(¹徳島大学工学部, ²東芝医用機器技術研究所): [原著] X線回転撮影法式による血管3次元再構成. OFS92, 75~82, 1992.
- 32) 河田佳樹¹⁾, 仁木 登¹⁾, 佐藤 均²⁾, 隈崎達夫^(¹徳島大学工学部, ²東芝医用機器技術研究所): [原著] 高速X線回転撮影法式による血管3次元再構成. JAMIT'92研報, 7~12, 1993.
- 33) 隈崎達夫, 稲垣禎彦: [原著] 血管造影からの情報利用. 日本医用画像工学会誌, 10, 459~468, 1992.
- 34) 仁木 登¹⁾, 西谷 弘¹⁾, 隈崎達夫^(¹徳島大学工学部・医学部): [原著] 頭部を対象とする3次元画像化法. 画像医学誌, 2, 528~531, 1993.
- 35) 高橋修司, 隈崎達夫, 田島廣之, 大矢 徹, 村上隆介, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 川俣博志: [原著] Strecker vascular stent による閉塞性動脈硬化症の治療. 映像情報, 24, 1383~1386, 1992.
- 36) 隈崎達夫: [総説] CCUにおける画像診断の将来. 集中治療, 5, 303~306, 1992.
- 37) 佐々木建志¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 池下正敏¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 井村 肇¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 高野照夫²⁾, 田中啓司²⁾, 隈崎達夫, 大矢 徹^(¹胸部外科, ²集中治療室): [原著] A型大動脈解離の急性期治療方針; 解離腔血栓閉塞例の治療成績からの検討. 日胸外会誌, 40, 1668~1674, 1992.
- 38) 水村 直, 汲田伸一郎, 大石卓爾, 隈崎達夫: [原著] 123I-IMP 脳血流 SPECT の Modified Bull's Eye 表示による半定量的評価法. 核医学, 29, 283~293, 1992.
- 39) 玉井 仁, 渡 潤, 隈崎達夫, 田中啓治¹⁾ (¹集中治療室): [総説] CCUにおける画像診断4; 核磁気共鳴画像-MRI-. 集中治療, 4, 965~968, 1992.
- 40) 葉 濱濱, 宮下次廣, 堀内淳一, 惠畑欣一, 高橋英彦¹⁾, 荒木 勤¹⁾ (¹産婦人科): [原著] 子宮頸癌放射線治療における子宮体部厚とS状結腸・小腸障害に関する一考察. 日放腫会誌, 4, 197~202, 1992.
- 41) 杉崎健一¹⁾, 宮下次廣, 堀内淳一, 隈崎達夫^(¹多摩永山病院放射線科): [原著] 中・下咽頭癌の超音波像とその有用性. 日医放会誌, 53, 204~209, 1993.
- 42) 山口昂一¹⁾, 隈崎達夫, 惠畑欣一, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 高木 亮, 他^(¹山形大学・放射線科): [原著] DSAにおける非イオン性ヨード造影剤, Iomeprol (E7337) の臨床評価. Progress in Medicine, 12, 1836~1853, 1992.
- 43) 鈴木宗治¹⁾, 隈崎達夫, 惠畑欣一, 田島廣之, 伊藤公一郎, 弦間和仁, 他^(¹東京医科大・放射線科): [原著] 四肢血管造影におけるIomeprol (E7337) の臨床第II相試験. Prog. Med., 12, 1807~1822, 1992.
- 44) 隈崎達夫, 田島廣之, 伊藤公一郎, 弦間和仁, 村上隆介, 惠畑欣一, 他: [原著] 胸部血管造影におけるIomeprol (E7337) の臨床評価. Pro. Med., 12, 1768~1784, 1992.
- 45) 小塚隆弘¹⁾, 惠畑欣一, 隈崎達夫, 田島廣之, 他^(¹大阪大学・放射線科): [原著] 血管心臓撮影における非イオン性ヨード造影剤Iomeprol (E7337) の臨床第II試験. Prog. Med., 12, 1756~1767, 1992.
- 46) 玉井 仁, 隈崎達夫: [総説] なぜ3次元画像なのか. 新医療, 216, 49~51, 1992.
- 47) 鶴井光治¹⁾, 関 俊夫¹⁾, 平原美孝¹⁾, 福永 淳¹⁾, 伊藤公一郎, 片山信仁¹⁾, 北濱博之¹⁾, 奥山 厚¹⁾, 笹川道三¹⁾, 小山靖夫¹⁾ (¹栃木県立がんセンター): [原著] 癌患者における消化管出血の検討. 癌の臨床, 38, 665~668, 1992.
- 48) 関 俊夫¹⁾, 鶴井光治¹⁾, 平原美孝¹⁾, 福永 淳¹⁾, 片山信仁¹⁾, 北濱博之¹⁾, 奥山 厚¹⁾, 笹川道三¹⁾ (¹栃木県立がんセンター): [原著] 胃生検に起因する出血の予防と対策. 消化器内視鏡の進歩, 39, 90~93, 1992.
- 49) 河田佳樹¹⁾, 仁木 登¹⁾, 佐藤 均¹⁾, 隈崎達夫^(¹徳島大学工学部): [原著] 高速X線回転撮影法式による血管3次元再構成. 第7回デジタル信号処理シンポジウム, 244~249, 1992.

著 書

- 1) 堀内淳一：〔分担〕口腔の癌。”今日の治療指針”（日野原重明，阿部正和編），P. 782，医学書院，1992.
- 2) 天野康雄，玉井 仁，隈崎達夫：〔分担〕直腸神経線維腫。”全身のMRI”（多田信平編），P. 236～237，金原出版，1992.
- 3) 隈崎達夫，弦間和仁，沢野誠志¹⁾（¹⁾癌研究会病院）：〔分担〕皮的血管形成術（PTA）.”腎臓学 Key Notes”（長澤俊彦，他編），P. 219～222，東京医学社，1992.
- 4) 隈崎達夫：〔分担〕肺静脈還流異常—単純X線像・CT，血管造影.”心臓病のイメージ診断”（森 博愛，他編）P. 581～583，メディカル葵出版，1992.
- 5) 隈崎達夫：〔分担〕肺動静脈瘻—単純X線像，CT，RI.”心臓病のイメージ診断”（森 博愛，他編）P. 586～587，メディカル葵出版，1992.
- 6) 隈崎達夫：〔分担〕肺動静脈瘻—心血管造影.”心臓病のイメージ診断”（森 博愛，他編）P. 588～590，メディカル葵出版，1992.
- 7) 玉井 仁，山本 彰，佐藤雅史¹⁾（¹⁾第二病院・放射線科）：〔分担〕神経原性腫瘍.”全身のMRI”（多田信平編），P. 16～17，金原出版，1992.
- 8) 玉井 仁，川俣博志，隈崎達夫：〔分担〕大動脈解離.”全身のMRI”（多田信平編），P. 60～62，金原出版，1992.

学会発表

- 1) 弦間和仁，隈崎達夫，田島廣之，伊藤公一郎，村上隆介，川俣博志，大石卓爾，水村 直，惠畑欣一：〔一般講演〕大動脈解離に対する回転デジタル血管撮影の有用性について—第2報—，第51回日本医学放射線学会，1992.
- 2) 川俣博志，弦間和仁，田島廣之，伊藤公一郎，大矢 徹，玉井 仁，林 宏光，村上隆介，隈崎達夫，惠畑欣一：〔一般講演〕大動脈解離における Ulcerlike Projection；特にその形態と経時的変化について—第2報—，第51回日本医学放射線学会，1992.
- 3) 田島廣之：〔シンポジウム〕救急医療における画像診断とIVR. 3. C. 骨盤外傷のIVR. 第51回日本医学放射線学会，1992.
- 4) 高橋修司，隈崎達夫，田島廣之，伊藤公一郎，弦間和仁，川俣博志，大矢 徹，高木 亮，杉崎健一，赤沼弘勝，惠畑欣一：〔一般講演〕Strecker vascular stent による閉塞性動脈硬化症の治療，第51回日本医学放射線学会，1992.
- 5) 伊藤公一郎，田島廣之，隈崎達夫，弦間和仁，村上隆介，川俣博志，渡 潤，高橋修司，天野康雄，玉井 仁，惠畑欣一：〔一般講演〕肺血栓栓症における回転デジタル血管撮影の臨床的評価—DSA との比較—，第51回日本医学放射線学会，1992.
- 6) 市川太郎，惠畑欣一，森山紀之¹⁾，山田達哉¹⁾（¹⁾国立がんセンター）：〔一般講演〕切除腫瘍のCT像と病理組織所見との対比検討，第51回日本医学放射線学会，1992.
- 7) 玉井 仁：〔シンポジウム〕大動脈解離の血流パターンと経時変化；シネMRIを用いて，第51回日本医学放射線学会，1992.
- 8) 高木 亮，林 宏光，市川太郎，赤沼弘勝，本多一義，高橋修司，渡 潤，汲田伸一郎，大石卓爾，片山信仁¹⁾，惠畑欣一（¹⁾栃木県立がんセンター）：〔展示〕大動脈炎症候群の慢性期におけるCTの有用性，第51回日本医学放射線学会，1992.
- 9) 水村 直，汲田伸一郎，大石卓爾，本多一義，高木 亮，斎藤了一，宮下次廣，渡 潤，高橋修司，惠畑欣一：〔展示〕123I-IMPを用いた脳血流シンチにおける新しい表示法（Modified Bull's eye）の試み，第51回日本医学放射線学会，1992.
- 10) 赤沼弘勝，堀内淳一，宮下次廣，玉井 仁，高橋修司，水村 直，本多一義，惠畑欣一：〔一般講演〕子宮MRI；

T2W1における中心部高信号域の加齢性変化と病的状態, 第51回日本医学放射線学会, 1992.

- 11) 村上隆介, 田島廣之, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 川俣博志, 渡 潤, 隈崎達夫, 林 宏光, 恩田宗彦, 惠畑欣一: [展示] 水溶性ヨード造影剤の腎機能に及ぼす影響—第3報: Iomeprol 400を用いた検討. 第51回日本医学放射線学会, 1992.
- 12) 玉井 仁, 林 宏光, 高橋修司, 天野康雄, 宮下次廣, 本多一義, 高木 亮, 川俣博志, 惠畑欣一: [展示] MRIよりの脳表三次元再構成表示: 視線方向の profile を用いた脳表抽出の完全自動化. 第51回日本医学放射線学会, 1992.
- 13) 林 宏光, 隈崎達夫, 山本 彰, 田島廣之, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 村上隆介, 高木 亮, 天野康雄, 水村 直, 惠畑欣一, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理第2): [展示] 水溶性ヨード造影剤静注による肺重量変化とその組織学的検討. 第51回日本医学放射線学会, 1992.
- 14) 宮下次廣, 堀内淳一, 赤沼弘勝, 玉井 仁, 天野康雄, 水村 直, 大石卓爾, 山本 彰, 渡 潤, 惠畑欣一, 荒木 勤¹⁾ (¹⁾産婦人科): [展示] 子宮体部に接する大腸の検討. 第51回日本医学放射線学会, 1992.
- 15) 天野康雄, 玉井 仁, 宮下次廣, 堀内淳一, 本多一義, 赤沼弘勝, 水村 直, 斎藤了一, 惠畑欣一, 荒木 勤¹⁾ (¹⁾産婦人科): [展示] 異常妊娠の MRI. 第51回日本医学放射線学会, 1992.
- 16) 汲田伸一郎, 西村恒彦¹⁾, 植原敏勇¹⁾, 林田孝平¹⁾ (¹⁾国立循環器センター): [展示] 急性心筋梗塞における²⁰¹Tl-Cl, ¹²³I-BMIPP 同時評価. 第51回日本医学放射線学会, 1992.
- 17) 川俣博志: [シンポジウム] 腹部および骨盤外傷の診断と IVR. 第4回関東 IVR 研究会, 1992.
- 18) Kumazaki, T.: [シンポジウム] Rotational stereo digital angiography-development of a new system for 3-D display of heart and great vessels. The 4th International Symposium of Interventional Radiology & New Vascular Imaging (Kumamoto), 1992.
- 19) 小南修史¹⁾, 中沢省三¹⁾, 弦間和仁, 田島廣之, 隈崎達夫 (¹⁾脳外): [一般講演] 回転3次元血管撮影の脳神経外科領域における有用性. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 20) 田島なつき¹⁾, 小林由子¹⁾, 杉崎健一¹⁾, 飯田英次¹⁾, 篠原義智¹⁾, 孫田誠三¹⁾, 山本 鼎¹⁾, 坂本光史, 田島廣之 (¹⁾多摩永山病院放射線科): 胃集団健診における新しい高濃度硫酸バリウム BP-HD の有用性について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 21) 町田 稔, 内山菜智子, 渡 潤, 林 宏光, 弦間和仁, 市川太郎, 伊藤公一郎, 田島廣之, 隈崎達夫: [一般講演] 付属病院における Angio-CT の経験とその有用性について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 22) 高木 亮, 林 宏光, 渡 潤, 市川太郎, 天野康雄, 隈崎達夫, 高橋 弘¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [展示] 頭部領域における dynamic subtraction CT の経験. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 23) 林 宏光, 内山菜智子, 高濱克也, 高木 亮, 渡 潤, 市川太郎, 町田 稔, 木島鉄仁, 隈崎達夫: [展示] 大動脈炎症候群の動脈炎活動期における血管壁の CT, MRI による検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 24) 川俣博志, 林 宏光, 弦間和仁, 田島廣之, 中原 圓, 隈崎達夫: [展示] 大動脈解離における ulcerlike projection-CT 所見とその経時的変化について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 25) 高橋修司, 田島廣之, 弦間和仁, 村上隆介, 大矢 徹, 伊藤公一郎, 恩田宗彦, 隈崎達夫: [展示] 閉塞性血管疾患に対する金属ステントによる治療について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 26) 中原 圓, 田島廣之, 大矢 徹, 伊藤公一郎, 弦間和仁, 川俣博志, 林 宏光, 隈崎達夫, 小坂眞一¹⁾, 宗像一雄²⁾, 真々田裕宏³⁾, 谷合信彦³⁾ (¹⁾胸部外科, ²⁾内科第1, ³⁾外科第1): [展示] 血管内異物の非手術的除去について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 27) 弦間和仁, 中原 圓, 後藤慎介, 高橋修司, 川俣博志, 村上隆介, 伊藤公一郎, 田島廣之, 隈崎達夫: [展示] Bird's nest 下大動脈フィルター留置の経験. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 28) 片桐究代, 大石卓爾, 汲田伸一郎, 水村 直, 後藤慎介, 館野 温, 隈崎達夫: [展示] ⁶⁷Ga シンチグラフィーの前処置におけるラキソペロンの有用性: マグコロールとの比較. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

- 29) 後藤慎介, 田島廣之, 伊藤公一郎, 弦間和仁, 隈崎達夫, 高橋英彦¹⁾, 石川みずえ¹⁾, 荒木 勤¹⁾, 奥山 厚²⁾, 笹川道三²⁾ (¹⁾産婦人科, ²⁾栃木県立がんセンター): [展示] 転移性肝脾腫瘍に対する IVR の応用. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 30) 西久保秀紀¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 鳥羽昌仁¹⁾, 梅原松臣¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 真々裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 小嶋隆行¹⁾, 松崎 栄¹⁾, 山下精彦¹⁾, 田島廣之, 隈崎達夫 (¹⁾外科第1): [展示] 選択的脾動脈塞栓術 (SAE) の効果予測についての検討, 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 31) 谷合信彦¹⁾, 西久保秀紀¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 鳥羽昌仁¹⁾, 梅原松臣¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 隈崎達夫, 田島廣之, 大石卓爾, 汲田伸一郎 (¹⁾外科第1): [展示] Single photon emission computed tomography (SPECT) による TAE 前後の網内系機能分布の推移の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 32) 内山菜智子, 市川太郎, 林 宏光, 渡 潤, 天野康雄, 高木 亮, 木島鉄仁, 隈崎達夫: [展示] CT・MRI にて診断された脾体尾部欠損症の3例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 33) 伊藤公一郎, 田島廣之, 弦間和仁, 村上隆介, 川俣博志, 高橋修司, 後藤慎介, 中原 圓, 隈崎達夫: [展示] CO₂-DSA の経験. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 34) 田島廣之, 村上隆介, 中原 圓, 後藤慎介, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 高橋修司, 川俣博志, 隈崎達夫: [展示] 門脈左枝と直接交通する異常左胃静脈について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 35) 天野康雄, 高濱克也, 片桐究代, 渡 潤, 林 宏光, 玉井 仁, 隈崎達夫, 荒木 勤¹⁾ (¹⁾産婦人科): [展示] 産科領域における MRI の経験. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 36) 宮下次廣, 堀内淳一, 館野 温, 片桐究代, 内山菜智子, 町田 稔: [展示] 高齢者子宮頸癌放射線治療における一工夫. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 37) 千葉 隆¹⁾, 吉田 豊¹⁾, 稲葉八興¹⁾, 高木 亮, 本多一義, 隈崎達夫 (¹⁾小児科): [展示] 気管支喘息児の副鼻腔画像診断. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 38) 水村 直, 汲田伸一郎, 大石卓爾, 玉井 仁, 高木 亮, 山岸嘉彦, 宮下次廣, 隈崎達夫: [展示] ¹²³I-IMP 脳血流 SPECT の Modified Bull's Eye 表示による半定量的評価法. 第32回日本核医学会総会, 1992.
- 39) 高木 亮, 林 宏光, 天野康雄, 渡 潤, 市川太郎, 川俣博志, 玉井 仁, 隈崎達夫, 古川哲也¹⁾, 高橋 弘¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [展示] T2強調像で低信号を呈した転移性脳腫瘍の MRI. 第20回日本磁気共鳴医学会大会, 1992.
- 40) 伊藤公一郎, 後藤慎介, 高橋修司, 弦間和仁, 田島廣之, 隈崎達夫: [一般講演] 肺動脈造影における回転デジタル血管撮影の有用性. 第3回医用デジタル動画像研究会, 1992.
- 41) 天野康雄, 林 宏光, 渡 潤, 高濱克也, 高木 亮, 市川太郎, 宮下次廣, 隈崎達夫, 窪谷 潔¹⁾, 鴨井青龍¹⁾, 荒木 勤¹⁾ (¹⁾産婦人科): [一般講演] 胎盤血腫の1例. 第6回腹部放射線研究会, 1993.
- 42) 市川太郎, 田島廣之, 林 宏光, 渡 潤, 天野康雄, 高木 亮, 隈崎達夫, 田尻 孝¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 浅野伍朗²⁾ (¹⁾外科第1, ²⁾病理第2): [一般講演] 興味ある画像所見を呈した周囲環状に高分化な部分を伴う肝細胞癌の1例. 第5回腹部放射線研究会, 1992.
- 43) 峯山 徹¹⁾, 仁木 登¹⁾, 佐藤 均²⁾, 宇山親雄³⁾, 隈崎達夫 (¹⁾徳島大学工学部, ²⁾東芝医用機器技術研究所, ³⁾国立循環器センター): [シンポジウム] 回転撮影方式による血管3次元再構成法. 第9回医用画像工学シンポジウム, 1991.
- 44) 河田佳樹¹⁾, 峯山 徹¹⁾, 仁木 登¹⁾, 佐藤 均²⁾, 隈崎達夫 (¹⁾徳島大学工学部, ²⁾東芝医用機器技術研究所): [シンポジウム] X線回転撮影方式による血管3次元再構成. 第10回医用画像工学大会, 1992.
- 45) 河田佳樹¹⁾, 仁木 登¹⁾, 佐藤 均²⁾, 隈崎達夫 (¹⁾徳島大学工学部, ²⁾東芝医用機器技術研究所): [シンポジウム] X線回転撮影方式による血管3次元再構成. 情報処理学会第45回後期全国大会, 1992.
- 46) 隈崎達夫: [特別講演] 重症骨盤骨折に対する TAE の役割と問題点. 第3回山口 IVR 研究会, 1992.
- 47) 隈崎達夫: [シンポジウム] 血管造影からの情報利用. 日本医用工学研究会総会, 1992.

- 48) Kumazaki, T.: [シンポジウム] Rotational stereo digitalangiocardiology-development of a new system for 3-D display. 92'Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe-CIRSE. (CIRSE), 1992.
- 49) Saito, R., Ohisi, T., Kumita, S., Mizumura, S., Yamagishi, Y., and Kumazaki, T.: [展示] Basic examination of the absolute (quantitative analysis) between normal and infarcted myocardial mass. The 5th Asia and Oceania Congress of Nuclear Medicine & Biology. (Jakarta-Bali), 1992.
- 50) 隈崎達夫: [特別講演]回転デジタル血管撮影システムの開発と臨床評価と臨床評価; 心臓大血管の新しい診断方法を目指して. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 51) 隈崎達夫: [一般講演]回転デジタル血管造影; 特に心大血管造影に対する評価. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 52) 隈崎達夫: [一般講演]回転デジタル血管撮影第10報; プロトタイプに於ける最終報告と今後の展望. 第36回心臓放射線研究会, 1993.
- 53) Kumazaki, T.: [シンポジウム] Rotational stereo digital angiography-development of a new system for 3-D display of heart and great vessels. 第12回日本画像医学会総会, 1993.
- 54) Oishi, T., Mizumura, S., Kumita, S., Saito, R., Yamagishi, Y., and Kumazaki, T.: [展示] Clinical usefulness of pulmonary perfusion scintigraphy in bronchial foreign body in children. The 5th Asia and Oceania congress of Nuclear Medicine & Biology. (Jakarta-Bali), 1992.
- 55) 大石卓爾, 水村 直, 汲田伸一郎, 後藤慎介, 高橋修司, 斎藤了一, 山岸嘉彦, 隈崎達夫: [展示] 小児気管支喘息における肺胞上皮透過性の検討. 第32回日本核医学学会総会, 1992.
- 56) 羽田達正¹⁾, 奥田 稔¹⁾, 堀内淳一, 宮下次廣^(¹耳鼻咽喉科): [一般講演] 下咽頭癌のルビエール転移に対する予防的全頭部照射の効果. 第16回日本頭頸部腫瘍学会, 1992.
- 57) Oishi, T., Gotoh, S., Mizumura, S., Kumita, S., Yamagishi, Y., Shimizu, H., and Kumazaki, T.: [展示] Diagnosis of lung solitary lesion using TL-201 pulmonary tumor scintigraphy. The 12th Asia Pacific Congress on Disease of the Chest. (Seoul), 1992.
- 58) 玉井 仁, 汲田伸一郎, 隈崎達夫: [一般講演] 核医学検査におけるアニメーション表示の有用性. 第3回医用デジタル画像研究会, 1992.
- 59) 玉井 仁, 隈崎達夫: [ラウンドテーブルディスカッション] 三次元表示臨床応用における問題点; パソコンによる表示経験に基づいて. 第12回画像医学会, 1992.
- 60) 村上隆介, 弦間和仁, 田島廣之, 大矢 徹, 伊藤公一郎, 田島なつき, 川俣博志, 小俣 香, 恩田宗彦, 高橋修司, 水村 直, 隈崎達夫: [一般講演] 血管造影の腎機能に及ぼす影響; 新しい低浸透圧造影剤 Iomeprol を用いた検討. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 61) 林 宏光, 天野康雄, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 田島廣之, 隈崎達夫: [一般講演] 血栓閉鎖型大動脈解離を合併した炎症性腹部大動脈瘤の1例. 第36回心臓放射線研究会, 1993.
- 62) 高木 亮, 林 宏光, 木島鉄仁, 町田 稔, 天野康雄, 田島廣之, 宮下次廣, 堀内淳一, 隈崎達夫: [一般講演] 鈍的肝損傷における高速 CT の初期経験. 第2回救急放射線研究会, 1992.
- 63) 坪井成美¹⁾, 西村泰司¹⁾, 秋元成太¹⁾, 宮下次廣, 菱沢利行²⁾, 間庭裕子²⁾, 加治裕子²⁾(¹泌尿器科, ²藤間病院): [一般講演] 健診で発表された小さな腎血管筋脂肪腫の11例. 第58回日本泌尿器科学会東部総会, 1992.
- 64) 松山 謙¹⁾, 三枝直紀¹⁾, 日置正文²⁾, 家所良夫²⁾, 田中茂夫²⁾, 庄司 佑²⁾, 安武正弘³⁾, 酒井俊太³⁾, 伊藤公一郎(¹保谷厚生病院胸部外科, ²外科第2, ³内科第1): 超高速 CT (イマトロン) による冠状動脈血行再建術後の動脈グラフト灌流領域の評価. 第45回日本胸部外科学会総会, 1992.
- 65) 宮下次廣, 堀内淳一, 館野 温, 木島鉄仁, 隈崎達夫, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾(¹形成外科): [一般講演] ケロイドの放射線治療. 第5回日本放射線腫瘍学会学術大会, 1992.
- 66) 横井香平¹⁾, 森 清志¹⁾, 月岡建雄¹⁾, 片山信二¹⁾, 福永 淳¹⁾, 奥山 厚¹⁾, 北濱博之¹⁾, 笹川道三¹⁾(¹栃木県立が

んセンター)：〔一般講演〕肺癌切除例における局所再発の早期発見；胸部単純 XP と CT を用いた定期的追跡。第51回日本医学放射線学会総会，1992。

- 67) 森 清志¹⁾，山田耕三¹⁾，片山信二¹⁾，奥山 厚¹⁾，江口研二¹⁾，笹川道三¹⁾，森山紀之¹⁾(¹⁾栃木県立がんセンター)：〔一般講演〕転移性肺腫瘍の局在診断におけるヘリカル CT。第51回日本医学放射線学会，1992。
- 68) 片山信二¹⁾，月岡建雄¹⁾，福永 淳¹⁾，奥山 厚¹⁾，北濱博之¹⁾，笹川道三¹⁾(¹⁾栃木県立がんセンター)：〔一般講演〕肺における Helical CT 像。第51回日本医学放射線学会総会，1992。
- 69) 川島健司¹⁾，関 俊夫¹⁾，鶴井光治¹⁾，平原美孝¹⁾，福永 淳¹⁾，奥山 厚¹⁾，北濱博之¹⁾，片山信二¹⁾，笹川道三¹⁾，那須二郎¹⁾，五十嵐誠治¹⁾，井村稔二¹⁾，島村香也子¹⁾，(¹⁾栃木県立がんセンター)：〔一般講演〕胃上皮性腫瘍の術前診断能に関する検討。第43回日本消化器内視鏡学会総会，1992。
- 70) 平原美孝¹⁾，川島健司¹⁾，関 俊夫¹⁾，鶴井光治¹⁾，福永 淳¹⁾，奥山 厚¹⁾，北濱博之¹⁾，片山信二¹⁾，笹川道三¹⁾，(¹⁾栃木県立がんセンター)：〔一般講演〕十二指腸球後部病変の検討。第43回日本消化器内視鏡学会総会，1992。
- 71) 平原美孝¹⁾，関 俊夫¹⁾，鶴井光治¹⁾，高橋秀理¹⁾，月岡健夫¹⁾，片山信二¹⁾，笹川道三¹⁾(¹⁾栃木県立がんセンター)：〔一般講演〕注腸 X 線検査前処置としての PEG 前日投与法の検討。第10回大腸検査法研究会，1992。
- 72) 高橋秀理¹⁾，鶴井光治¹⁾，平原美孝¹⁾，片山信仁¹⁾，福永 淳¹⁾，奥山 厚¹⁾，笹川道三¹⁾(¹⁾栃木県立がんセンター)：〔一般講演〕男性乳癌に大腸癌を合併した 1 例。第221回消化器病学会関東地方会，1992。
- 73) 森 清志¹⁾，片山信仁¹⁾，奥山 厚¹⁾，笹川道三¹⁾，江口健司²⁾，森山紀之²⁾(¹⁾栃木県立がんセンター，²⁾国立がんセンター)：〔一般講演〕Detection of lesions in the lung with helical CT. 78th Scientific Assembly and Annual Meeting. (Chicago), 1992。
- 74) 平原美孝¹⁾，鶴井光治¹⁾，高橋秀理¹⁾，月岡健夫¹⁾，福永 淳¹⁾，奥山 厚¹⁾，片山信仁¹⁾，笹川道三¹⁾(¹⁾栃木県立がんセンター)：〔一般講演〕食道乳頭腫 6 例の検討。第55回日本消化器内視鏡学会関東地方会，1992。
- 75) 片山信仁¹⁾，月岡健夫¹⁾，福永 淳¹⁾，奥山 厚¹⁾，笹川道三¹⁾(¹⁾栃木県立がんセンター)：〔一般講演〕多発性肝腫瘍における Helical CT の応用；Double phase helical CT の有用性について。第12回日本画像医学会，1993。
- 76) 玉井 仁，青山正弘，汲田伸一郎，山岸嘉彦，隈崎達夫：〔展示〕3 検出器型ガンマカメラ GCT9300A/HG の初期経験。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 77) 玉井 仁，隈崎達夫：〔展示〕MRI より脳表三次元表示；脳表抽出の自動化。第20回日本磁気共鳴医学会大会，1992。
- 78) 玉井 仁，渡 潤，隈崎達夫，恵畑欣一：〔一般講演〕カラーを用いた 3D-MR Angiography の表示。第11回日本医用画像工学会，1992。
- 79) 坂田修一¹⁾，百束比古¹⁾，白井洋司¹⁾，大久保正智¹⁾，文入正敏¹⁾，宮下次廣，堀内淳一，(¹⁾形成外科)：〔一般講演〕ケロイドおよび肥厚性瘢痕に対する術後電子線照射の効果についての検討。第35回日本形成外科学会総会，1992。
- 80) 滝沢 康¹⁾，百束比古¹⁾，秋元正宇¹⁾，利根川均¹⁾，野中尚子¹⁾，文入正敏¹⁾，隈崎達夫，弦間和仁(¹⁾形成外科)：〔ビデオ〕回転立体デジタルアンギオグラフィー(C.D.S.A)の形成外科的応用。第35回日本形成外科学会総会，1992。

〔第一病院放射線科〕

研究概要

本年度は基礎的研究並びに臨床的に多種のモダリティを併用した研究が続けられているが，それらについての発表がみられた。例年の如く基礎的研究と臨床的研究に分けて概要を述べる。

1) 基礎的研究：水溶性造影剤の腎に及ぼす病理学的研究は研究を始めてから 3 年以上経過し，高く評価される結果が得られ，その一部を発表した。

2) 臨床的研究：超音波検査法, 乳房撮影法, サーマグラフィを駆使した乳房疾患に関する研究が続けられてきているが, 本年度はそれらの研究の発表が目立った. その他には前年度と同様に前立腺疾患についてハイパーサーミアを含む治療前後の前立腺の変化を超音波を用いた画像評価に関する研究, SXA を用いた骨塩定量に関する研究についての報告と, その成果の一部を論文として発表された.

研究業績

論文

- 1) 青山俊也, 伊藤 正: [原著] SEXA 法と DEXA 法の骨塩定量比較, 新医療, 8月号, 94~96, 1992.
- 2) 伊藤 正, 五十嵐義晃, 池田 正¹⁾, 臼杵尚志²⁾, 久保田光博³⁾, 古河稔啓⁴⁾ (¹⁾慶応大外科, ²⁾岡山大第二外科, ³⁾東海大第二外科, ⁴⁾久留米大第一外科): [綜説]サーモグラフィによる乳房診断の判定基準について. Biomed. Thermol., 13, 166, 1992.
- 3) 池田 正¹⁾, 伊藤 正, 五十嵐義晃, 古河稔啓⁴⁾, 久保田光博³⁾, 臼杵尚志²⁾ (¹⁾慶応大外科, ²⁾岡山大第二外科, ³⁾東海大第二外科, ⁴⁾久留米大第一外科): [綜説]診断基準の設定に向けて; 乳房疾患系. Biomedical Thermol., 13, 168, 1992.
- 4) 藤正 敏¹⁾, 松岡 英²⁾, 蟹江良一³⁾, 伊藤 正, 三木吉治⁴⁾, 山岡宏美²⁾, 浅賀英世⁵⁾, 池田 正⁶⁾, 森 英俊⁷⁾ (¹⁾東大, ²⁾兵庫医大, ³⁾名大, ⁴⁾愛媛大, ⁵⁾高津中病, ⁶⁾慶応大, ⁷⁾筑波技術短大): [綜説]サーモグラフィ診断基準の作成, 検討ワークショップ討論. Biomed. Thermol., 13, 175, 1992.
- 5) 五十嵐義晃: [綜説]乳癌のサーモグラフィ; 乳癌画像診断の一方法としての現況と今後. 新医療, 9月号, 40~43, 1992.

著書

- 1) 伊藤 正: [分担]日本近代外科の原流; 弁明と旅行記(アンブロアズ・バレー没後400年祭記念会編)P. 111~164, メディカル・コア, 1992.
- 2) 五十嵐義晃: [分担]胸部X線診断アトラス6, 主要疾患のX線像3; 2腎疾患における呼吸器疾患(野辺地篤郎編)P. 44~47, 医学書院, 1992.

学会発表

- 1) 青山俊也, 伊藤 正, 加藤富三, 河辺満彦, 原 一男, 赫 彰郎¹⁾, 鈴木隆雄, 柴田 博²⁾ (¹⁾内科第2, ²⁾都老研): [一般講演]SEXAにおける踵骨の骨密度の検討, 第51回日本医学放射線学会, 1992.
- 2) 牛 広明, 伊藤 正, 加藤富三, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理第1): [展示]ヨード造影剤に対する腎臓病理組織変化の実験的検討; 第1報, 第51回日本医学放射線学会, 1992.
- 3) 池田 正¹⁾, 伊藤 正, 五十嵐義晃, 古賀稔啓²⁾, 久保田光博³⁾, 臼杵尚志⁴⁾ (¹⁾慶応大外科, ²⁾久留米大第一外科, ³⁾東海大第二外科, ⁴⁾岡山大第二外科): [ワークショップ]診断基準の設定に向けて; 乳房疾患系. 日本サーモロジイ学会第9回大会, 1992.
- 4) Ito, T., Igarashi, Y., Suzuki, H.: [一般講演]Skin temperature of the extremities in cerebrovascular diseases. International Congress of Thermology Gent, (Belgium), 1992.
- 5) 鴨下 亨, 五十嵐義晃, 伊藤 正, 阿部裕行¹⁾ (¹⁾泌尿器科): [一般講演]前立腺癌の超音波画像に関する研究; 前立腺ハイパーサーミア施行前後. 第60回日本医科大学医学総会, 1992.
- 6) 牛 広明, 伊藤 正, 温 敏, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理第1): (一般講演)低浸透圧, 高浸透圧ヨード造影剤に対する腎臓病理組織変化, 第35回日本腎臓学会, 1992.
- 7) 柳田やよい, 伊藤 正, 五十嵐義晃, 横倉稔明, 赤石 健, 堀田礼子: [一般講演]消化管X線検査による traumatic fat necrosis 1例. 第2回乳癌画像研究会, 1993.

〔第二病院放射線科〕

研究概要

放射線診断学：1) ヒマン性肺疾患に対し，気管支鏡を用いた BAL，肺生検を施行し，画像診断の向上に力を注いでいる。

2) 川崎市民の胸部間接撮影による胸部疾患集団検診業務の中心的役割を果たし，結核，癌のみならず広く胸部疾患を取り上げている。肺癌の早期診断及び早期治療に胸部検診業務の重要性を啓蒙している。

3) 上部消化管の消化性潰瘍の X 線診断学において，単に潰瘍のみの形態的診断に止まらず，潰瘍形成の背景となる攻撃因子(胃分泌機能)および粘膜自体の防御因子等，粘膜のもつ機能を画像に表現する，いわゆる functional radiology に目標をおき，研究を続行中である。

4) 腸管微細粘膜像と生理機能との関係解明を研究中である。

5) 川崎市および東京都大田区からの依頼により，地域住民の胃癌計画検診業務に参画し，より効率良い，より精度の高い集検体系の確立をめざし研究中である。

6) MRI を用いた婦人科，産科学的診断について研究中である。

Interventional radiology：1) 悪性胆道閉塞患者に対し，減黄および QOL 向上を目的とし，ステント挿入および放射線治療を施行している。さらにこの分野での研究にとりくんでいる。

2) 悪性肝臓腫瘍の治療として，経動脈塞栓術，経皮的エタノール注入療法を集学的治療に組み込んでいる。

放射線治療学：肺癌に対して BAL，放射線治療を，集学的治療の一つとして積極的にとり組んでいる。

核医学：1) 骨シンチグラフィーを骨腫瘍に施行し，Ga シンチグラフィーを併用し，良悪の鑑別の可能性を追求している。

2) 骨腫瘍以外の骨疾患，例えば炎症，無腐性骨壊死，代謝性疾患，骨折，特に疲労骨折，正常変異，原因不明の痛みなどにも骨シンチグラフィーを応用し，病態の把握や経過の判定に利用している。

3) 他の付属 3 病院と共同で小児の骨疾患につき骨シンチグラフィーを行い，成人とのちがいや，小児に多い疾患の診断に利用している。

研究業績

著 書

- 1) 松田 潔¹⁾，佐藤雅史，川並汪一²⁾ (¹⁾救急医学教室，²⁾第二病院病理部)：〔原著〕気管支肺胞洗浄法によるびまん性肺疾患における気道系と肺胞系炎症の分析とその意義，日胸疾患会誌，30，827～834，1992。
- 2) 小俣 香，渡部英之，佐藤雅史：〔原著〕ケーススタディ Q&A，呼吸困難を主訴とした48歳，女性，“臨床画像”。メジカルビュー社，8，139～141，1992。
- 3) 佐藤雅史：〔原著〕肺癌と紛らわしい病変，“臨床画像”。メジカルビュー社，9，68～77，1993。
- 4) 高橋政之，渡部英之：〔原著〕ケーススタディ Q&A，胃集団検診にて胃に隆起性病変を指摘された56歳，女性，“臨床画像”。メジカルビュー社，9，79～81，1993。
- 5) 正田史典，渡部英之：〔原著〕ケーススタディ Q&A，背部痛と両下肢しびれ感を主訴に来院した33歳，男性，“臨床画像”。メジカルビュー社，9，107～109，1993。

著 者

- 1) 佐藤雅史：〔分担〕単純 X 線像でここまで読める；II 肺・縦隔，2. 肺癌，“臨床画像 SPECIAL”，P. 44～59，メジカルビュー社，1992。
- 2) 佐藤雅史：〔分担〕鑑別診断リファレンス，主要疾患の X 線像〔1〕7. 肺寄生虫，8. 原虫感染症，“胸部 X 線

診断アトラス 4” (日本放射線科医会編) 教科書. P. 136~147, 医学書院, 1992.

- 3) 佐藤雅史, 玉井 仁¹⁾, 山本 彰^(¹付属病院放射線科): [分担] 症例 8, 神経原性腫瘍, 1. 胸部, 縦隔, “全身の MRI”, 教科書. P. 16~17, 金原出版, 1992.

学会発表

- 1) 片山信仁¹⁾, 月岡健雄¹⁾, 福永 淳¹⁾, 北浜博之¹⁾, 奥山 厚¹⁾, 笹川道三¹⁾, 小俣 香, 渡 潤²⁾ (¹栃木県立がんセンター画像診断部, ²付属病院放射線科): [展示] 肺における HelicalCT 像. 第51回日本医学放射線学会総会, 1992.
- 2) 高橋政之, 渡部英之, 小俣 香, 山本博人, 疋田史典, 佐藤雅史, 山岸嘉彦, 恵畑欣一¹⁾, 吉谷和男²⁾ (¹付属病院放射線科, ²大森日赤病院消化器科): [一般講演] 十二指腸球部粘膜の X 線像. 第51回日本医学放射線学会総会, 1992.
- 3) 山本博人, 高橋政之, 小俣 香, 佐藤雅史, 渡部英之, 山岸嘉彦, 疋田史典: [一般講演] 肺 Plasma cell granuloma の 1 例. 第 7 回胸部放射線研究会東京部会, 1992.
- 4) 山本博人, 渡部英之, 小俣 香, 高橋政之, 山本 彰, 疋田史典, 佐藤雅史, 山岸嘉彦, 吉行俊郎¹⁾, 滝沢隆雄¹⁾, 井出裕雄¹⁾ (¹下谷病院外科): [一般講演] 腸管子宮内膜症. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 5) 久吉隆郎¹⁾, 天野純治¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知己¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 平野義之¹⁾, 佐藤雅史, 原 文男²⁾, 川並汪一³⁾ (¹第二病院外科, ²同内科, ³同病理部): [一般講演] 縦隔腫瘍の外科的治療例の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 6) 小俣 香, 佐藤雅史, 渡部英之, 山岸嘉彦, 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 原 文男²⁾, 原田雄一²⁾, 川並汪一³⁾, 細根勝³⁾ (¹第二病院外科, ²同内科, ³同病理部): [展示] von Recklinghausen 氏病に合併した中縦隔悪性神経鞘腫の 1 例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 7) 荒川 薫¹⁾, 馬越正通¹⁾, 原 一郎¹⁾, 渡部英之, 山本博人, 原 文男²⁾, 伊藤達也²⁾ (¹第二病院消化器病センター, ²同内科): [展示] 悪性疾患による閉塞性黄疸に対する放射線照射および非手術的管腔開存に関する研究. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 8) 小俣 香, 山岸嘉彦, 山本博人, 高橋政之, 疋田史典, 佐藤雅史, 渡部英之: [展示] 骨 normal variant (正常変異) に対するシンチグラフィー. 第32回日本核医学会総会, 1992.
- 9) 持丸 博¹⁾, 高橋卓夫¹⁾, 川並汪一¹⁾, 佐藤雅史, 工藤翔二²⁾, 仁井谷久暢²⁾ (¹第二病院病理部, ²内科学第 4): [一般講演] 夏型過敏性肺臓炎とその診断法について. 日本医科大学医学会第78回例会, 1992.
- 10) 山本博人, 佐藤雅史, 小俣 香, 高橋政之, 疋田史典, 渡部英之, 山岸嘉彦: [一般講演] 急速な増大傾向を示した肺平滑筋肉腫の 1 例. 第 8 回胸部放射線研究会東京部会, 1992.
- 11) 小俣 香, 佐藤雅史, 山本博人, 高橋政之, 疋田史典, 渡部英之, 山岸嘉彦: [一般講演] 縦隔腫瘍の MRI; weak point の検討. 第12回日本画像医学会, 1993.
- 12) 吉田 宏¹⁾, 馬越正通¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 田崎博也¹⁾, 田崎達也¹⁾, 的場康德¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 平野滋之¹⁾, 久吉隆郎²⁾, 松尾健志²⁾, 菊池三郎³⁾, 山本博人, 渡部英之 (¹第二病院消化器病センター, ²同外科, ³同産婦人科): [一般講演] 腸管子宮内膜症に併存した S 字状結腸・子宮重複早期癌の 1 例. 第10回川崎市医師会医学会, 1993.
- 13) 久吉隆郎¹⁾, 天野純治¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知己¹⁾, 赤岩 順²⁾, 大久保哲行²⁾, 吉田 宏²⁾, 佐藤雅史, 渡部英之 (¹第二病院外科, ²同消化器病センター): [一般講演] 高齢者肺癌手術症例の検討. 第10回川崎市医師会医学会, 1993.
- 14) 山本博人, 佐藤雅史, 東永 誠, 小俣 香, 高橋政之, 疋田史典, 渡部英之, 山岸嘉彦, 細根 勝¹⁾ (¹第二病院病理部): [一般講演] 著明な高カルシウム血症を伴い, 興味ある経過を示した肺癌の 1 例. 第106回日本肺癌学会関東部会, 1993.
- 15) 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知己¹⁾, 天野純治¹⁾, 松本茂之²⁾, 佐藤雅史, 山本博人, 川並汪一³⁾, 新井 悟³⁾

(¹)第二病院外科, ²)同内科, ³)同病理部): [一般講演] 特殊な再発様式を呈した肺肉腫の1例, 第106回日本肺癌学会関東部会, 1993.

[多摩永山病院放射線科]

研究概要

1. 高濃度バリウムによる食道, 胃X線診断, 特に集団検診における有用性につき検討を続けている.
2. 川崎市主催の住民検診を利用した肺癌の集団検診に参加し, 肺癌における集検の有用性の確立を目指している.
3. 胸部疾患におけるCTガイド下肺生検の精度の向上と普及に努めている.
4. 細気管支肺胞上皮癌の自然史につきX線診断学的に検討を続けている.
5. 当院, 救命救急センターと共同で救急医療におけるMRIの有用性について研究を続けている.

研究業績

論文

- 1) 篠原義智, 岩波 洋¹⁾, 斎藤 誠¹⁾, 成田久仁夫¹⁾, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 北條 洋¹⁾ (¹)慈山会医研・坪井病院): [症例報告] Pulmonary leiomyomatosis (いわゆる metastasizing leiomyoma) の1例. 日胸, 51, 391~395, 1992.
- 2) 篠原義智, 岩波 洋¹⁾, 成田久仁夫¹⁾, 立花正徳¹⁾, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 北條 洋¹⁾ (¹)慈山会医研・坪井病院): [症例報告] 小結節影を呈した胸膜下肺内リンパ節の2例; 臨床的, 病理学的問題点. 日胸, 51, 519~523, 1992.
- 3) 成田久仁夫¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 池田徳彦¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 立花正徳¹⁾, 渡辺秀一¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾, 北條 洋¹⁾ (¹)慈山会医研・坪井病院): [症例報告] 気管支鏡下 fibrin 糊注入塞栓法にて止血し得た末梢性気道出血の1例. 気管支学誌, 14, 384~389, 1992.
- 4) 成田久仁夫¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾, 前田真作¹⁾, 北條 洋¹⁾ (¹)慈山会医研・坪井病院): [症例報告] 肺内気管支性嚢胞に合併した肺腺癌の1例. 肺癌, 32, 383~388, 1992.
- 5) 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾, 岩波 洋¹⁾: [原著] 肺癌治療の実際; 針生検の実際. 内科, 70, 467~471, 1992.
- 6) 成田久仁夫¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 立花正徳¹⁾, 左近司光明¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾ (¹)慈山会医研・坪井病院): [症例報告] 肝臓部分切除を併施した進行肺癌の1例. 日呼外会誌, 6, 798~803, 1992.
- 7) 成田久仁夫¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 立花正徳¹⁾, 左近司光明¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾ (¹)慈山会医研・坪井病院): [症例報告] 食道穿孔が疑われた急性縦隔炎の1治験例. 日呼外会誌, 7, 192~198, 1992.
- 8) 成田久仁夫¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 立花正徳¹⁾, 左近司光明¹⁾, 小野 靖¹⁾, 渡辺秀一¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾ (¹)慈山会医研・坪井病院): [症例報告] Sleeve 切除にて治癒した肺葉切除後の気管支断端瘻1例. 気管支学, 15, 84~88, 1992.
- 9) 篠原義智, 岩波 洋¹⁾, 野村浩一郎¹⁾, 成田久仁夫¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (¹)慈山会医研・坪井病院): [原著] 肺内気管支嚢胞の4手術例. 臨床放射線, 38, 383~386, 1993.
- 10) 田島なつき, 飯田英次, 孫田誠三, 山本 鼎, 坂本光史¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 村田雄一²⁾ (¹)付属病院放射線科, ²)東京中央放射線診療所): [原著] 高濃度硫酸バリウム・バリコンミールによる胃集団検診; バムスターSとの比較. 消集検, 96, 9~16, 1992.
- 11) 杉崎健一, 宮下次廣¹⁾, 堀内淳一¹⁾, 隈崎達夫¹⁾ (¹)付属病院放射線科): [原著] 中・下咽頭癌の超音波像とその有用性. 日医放学会雑誌, 53, 1993.

学会発表

- 1) 成田久仁夫¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 立花正徳¹⁾, 左近司光明¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院): [一般講演] 人工材料を用いた胸壁再建法の検討. 第3回福島・山形四施設合同肺癌研究会, 1992.
- 2) 飯田英次, 田島なつき, 杉崎健一, 孫田誠三, 山本 鼎, 坂本光史¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 村田雄一²⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾東京中央放射線診療所): [一般講演] 新しい高濃度硫酸バリウム・BP-HD による胃集団検診. 第31回日本消化器集団検診学会春季大会, 1992.
- 3) 小島順一¹⁾, 野崎志津加¹⁾, 池田幸好¹⁾, 田島なつき, 海老根精二²⁾ (¹⁾放射線技師室, ²⁾国立東京第二病院): [一般講演] 高濃度硫酸バリウムの基礎的検討; 第3報. 第48回日本放射線技師学会総会, 1992.
- 4) 篠原義智, 相墨 仁¹⁾, 許田洋子¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 岩波 洋¹⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院): [展示] 孤立生肺結節性病変232手術症例の画像的検討; 非癌症例を中心に. 第51回日本医学放射線学会総会, 1992.
- 5) 飯田英次, 田島なつき, 杉崎健一, 孫田誠三, 山本 鼎, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科): [展示] アミラーゼ産生細気管支肺胞上皮癌の胸部X線像について. 第51回日本医学放射線学会総会, 1992.
- 6) 成田久仁夫¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 立花正徳¹⁾, 左近司光明¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院): [一般講演] 人工材料を用いた胸壁再建法の検討. 第9回日本呼吸器外科学会総会, 1992.
- 7) 岩波 洋¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 成田久仁夫¹⁾, 立花正徳¹⁾, 左近司光明¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院): [一般講演] 播種, 悪性胸水を伴ったT4肺癌切除例の検討. 第9回日本呼吸器外科学会総会, 1992.
- 8) 日吉晴久¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 成田久仁夫¹⁾, 立花正徳¹⁾, 左近司光明¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院): [一般講演] 外科治療を行った気腫性巨大肺嚢胞症例の検討. 第9回日本呼吸器外科学会総会, 1992.
- 9) 成田久仁夫¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 立花正徳¹⁾, 左近司光明¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院): [一般講演] 膿胸に対する外科治療法の検討; 治療に難渋した症例を中心に. 第9回日本呼吸器外科学会総会, 1992.
- 10) 立花正徳¹⁾, 成田久仁夫¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 弦間昭彦¹⁾, 山田浩一¹⁾, 篠原義智, 岩波 洋¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院): [一般講演] 気道出血を呈した肺良性疾患切除例の検討. 第15回日本気管支学会総会, 1992.
- 11) 成田久仁夫¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 立花正徳¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院): [一般講演] 拇指頭大気道・気管支瘻に対する外科治療の2症例の検討. 第15回日本気管支学会総会, 1992.
- 12) 篠原義智, 岩波 洋¹⁾, 成田久仁夫¹⁾, 日吉晴久¹⁾, 立花正徳¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院): [一般講演] 主径1.5cm以下末梢肺癌の各種生検診断法の比較検討. 第15回日本気管支学会総会, 1992.
- 13) 弦間昭彦¹⁾, 安藤真宏¹⁾, 竹中 圭¹⁾, 山田浩一¹⁾, 長谷川浩一¹⁾, 成田久仁夫¹⁾, 立花正徳¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 篠原義智, 坪井栄孝¹⁾, 吉森浩三²⁾, 仁井谷久暢²⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院, ²⁾付属病院内科第四): [一般講演] 粘膜下主体型肺癌の気管支鏡所見の検討. 第15回日本気管支学会総会, 1992.
- 14) 小林由子, 杉崎健一, 飯田英次, 田島なつき, 篠原義智, 山本 鼎: [展示] 多摩永山病院における1.5TMRI装置の使用経験. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 15) 田島なつき, 小林由子, 杉崎健一, 飯田英次, 篠原義智, 孫田誠三, 山本 鼎, 北村誠一¹⁾, 坂本光史²⁾, 田島廣之²⁾, 村田雄一³⁾ (¹⁾放射線技師室, ²⁾付属病院放射線科, ³⁾東京中央放射線診療所): [一般講演] 胃集団検診における新しい高濃度硫酸バリウムBP-HDの有用性について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 16) 杉崎健一, 田島なつき, 飯田英次, 小林由子, 篠原義智, 山本 鼎, 隈崎達夫¹⁾, 前田昭太郎²⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾多摩永山病院病理部): [一般講演] 後腹膜神経節細胞腫の1例; 画像所見を中心に. 第397回日本医学放射線学会関東地方会, 1993.
- 17) 篠原義智, 小林由子, 杉崎健一, 飯田英次, 田島なつき, 山本 鼎, 岩波 洋¹⁾, 成田久仁夫¹⁾, 竹中 圭¹⁾ (¹⁾慈山会医研・坪井病院): [一般講演] 開胸時胸膜播種を認めた肺癌15例の検討. 第397回日本医学放射線学会関東地方会, 1993.
- 18) 小林由子, 飯田英次, 杉崎健一, 田島なつき, 篠原義智, 山本 鼎, 木島一洋¹⁾, 諏訪喜宣¹⁾, 佐々木茂¹⁾, 前田

昭太郎²⁾ (¹⁾多摩永山病院産婦人科, ²⁾同病理部): [一般講演] 子宮脂肪腫の 1 例. 第398回日本医学放射線学会関東地方会, 1993.

19) 飯田英次: [一般講演] 肺動脈塞栓術について. 八王子刑務所看護研究会, 1993.

20) 望月 徹¹⁾, 佐藤秀貴¹⁾, 須崎紳一郎¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 杉崎健一, 篠原義智(¹⁾多摩永山病院救命救急センター): [一般講演] 肝損傷における MRI の有用性について. 第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.

8. 皮膚科学講座

[付属病院皮膚科]

研究概要

- 1) 薬疹, 接触皮膚炎: 貼付搔破試験, 皮内反応, challenge test などによる原因の確認とアレルギーカードの発行.
- 2) 尋常性天疱瘡, 類天疱瘡の診断, 治療および臨床統計.
- 3) 疥癬の診断, 治療および臨床統計.
- 4) 皮膚結核の診断, 治療および臨床統計.
- 5) 梅毒の診断, 治療および統計に関する研究: 分画 TPHA を指標とする治療効果の判定.
- 6) 皮膚腫瘍の臨床診断および病理学的研究: 特に電顕, 酵素抗体法を用いた研究.
- 7) 尋常性乾癬, アトピー性皮膚炎に対する PUVA 療法.

[第一病院皮膚科]

研究概要

- 1) 皮膚腫瘍の発生および診断に関する研究.
- 2) 組織内スピロヘータの証明に関する研究.
- 3) 皮膚疾患に対するサーモグラフィの応用.
- 4) ヒトメラノーマ細胞のアイソトープ up-take による感受性試験に関する研究.
- 5) 薬疹 (β -ラクタム系抗生物質の遅延型過敏反応における交叉反応) および contact hypersensitivity (UVB 照射時の遅延型過敏反応の抑制) についての研究.
- 6) 薬剤耐性菌に対する色素剤の研究.

[第二病院皮膚科]

研究概要

- 1) 皮膚腫瘍の臨床診断, 病理組織学的検索, 電顕, 酵素抗体法, 形成外科の治療.
- 2) モノクローナル抗体などを用いた蛍光抗体法による梅毒の特異的診断, スピロヘータの構造解析, 梅毒の治療と分画 TPHA 推移の相関, 統計.
- 3) 接触皮膚炎, 薬疹: patch scratch test, challenge test による原因物質の検索, アレルギーカードの発行.
- 4) 皮膚細菌感染症, 真菌症の菌分離と同定.

[付属病院皮膚科]

研究業績

論文

- 1) 佐々木りか子: [総説] アトピー性皮膚炎の治療; 外用療法を中心に, 喘息, 5, 99~104, 1992.
- 2) 川並汪一¹⁾, 尾見徳弥^{(1)第二病院病理部}: [原著] マスト細胞の局在とその意義. 臨床免疫, 24, 666~675, 1992.
- 3) 北原東一, 米山英子, 佐々木映子, 本田光芳, 高橋 久¹⁾, 石橋康正²⁾, 久木田淳³⁾, 荒田次郎⁴⁾, 堀 嘉昭⁵⁾

- (¹帝京大学皮膚科, ²東京大学皮膚科, ³帝京大学溝口病院皮膚科, ⁴岡山大学皮膚科, ⁵九州大学皮膚科): [原著] Levofloxacin の皮膚科領域感染症に対する臨床的検討. 日化療会誌, 40 (S-3), 286~305, 1992.
- 4) 本田光芳, 佐々木映子: [原著] こどもの皮膚自傷症; くせによる皮膚病変. 日小皮会誌, 11, 1~6, 1992.
 - 5) 畑三恵子, 佐々木映子, 藤本和久, 田宮由美子, 太田真琴, 中條薫子, 本田光芳: [原著] こどもの接触皮膚炎; 虫さされ. 日小皮会誌, 11, 7~11, 1992.
 - 6) 矢島 純, 青木順子, 新見やよい, 青木見佳子, 佐々木映子, 本田光芳: [原著] 外用剤による接触皮膚炎. 日小皮会誌, 11, 17~22, 1992.
 - 7) 白井洋司¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子, 梅田敏彦¹⁾ (¹形成外科): [報告] 義眼床に発生した有棘細胞癌の1例. Skin Cancer, 7, 94~96, 1992.
 - 8) 矢島 純, 青木見佳子, 本田光芳: [総説] 他科から産婦人科医へのアドバイス; 薬疹. 産科と婦人科, 59 (増刊), 141~145, 1992.
 - 9) 三枝由紀子¹⁾, 伊東文行¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 服部怜美 (¹第二病院皮膚科): [原著] 成人型 Xanthogranuloma. 皮膚臨床, 34, 894~895, 1992.
 - 10) 本田光芳, 田宮由美子: [原著] Epidemiology of occupational dermatoses in Japan. 皮膚, 34 (増刊12), 2~10, 1992.
 - 11) Honda, M., Tamiya, Y., Niimi, Y., Fujimoto, K., Kato, S., and Sasaki, E.: [原著] Occupational hand dermatitis in Tokyo. 皮膚, 34 (増刊12), 25~29, 1992.
 - 12) 江川ゆり¹⁾, 伊東文行¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 三枝由紀子¹⁾, 服部怜美, 佐藤元泰²⁾ (¹第二病院皮膚科, ²東京都): [原著] お灸瘢痕部に発生した有棘細胞癌. 皮膚臨床, 34, 927~930, 1992.
 - 13) 佐々木りか子, 山本一哉¹⁾ (¹国立小児病院皮膚科): [総説] 小児のアトピー性皮膚炎. 治療学, 26, 932~935, 1992.
 - 14) 林 みき, 田宮由美子, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳: [症例報告] 皮膚筋炎の2例. 皮膚臨床, 34, 1069~1073, 1992.
 - 15) 本田光芳: [原著] 丸山千里名誉教授を偲ぶ. 日医大誌, 59, 375~376, 1992.
 - 16) 藤本和久, 本田光芳, 七田俊彦, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純: [原著] アミノ安息香酸エチルによるアレルギー性接触皮膚炎の1例. 皮膚, 34 (増刊13), 207~210, 1992.
 - 17) 服部怜美, 伊東文行¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 三枝由紀子¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 名取礼文 (¹第二病院皮膚科): [原著] バルビタールによる固定薬疹の1例; リン酸コデインによる皮膚試験. 皮膚, 34 (増刊13), 249~252, 1992.
 - 18) 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 尾見徳弥, 川並汪一¹⁾ (¹第二病院病理部): [原著] 皮膚科の『話題』. 日医大誌, 59, 437~437, 1992.
 - 19) 名取礼文, 伊東文行¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 服部怜美, 矢島 純, 本田光芳, 平井真実²⁾ (¹第二病院皮膚科, ²同消化器センター): [原著] 手指爪下外骨腫の1例. 皮膚臨床, 34, 1863~1866, 1992.
 - 20) 青木順子, 田宮由美子, 新見やよい, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 楠万左子¹⁾, 楠 俊雄 (¹清瀬市): [原著] プデソニドによるアレルギー性接触皮膚炎. 皮膚診療, 15, 73~77, 1993.
 - 21) 伊東文行¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 服部怜美, 小西公磨²⁾, 菊池三郎²⁾ (¹第二病院皮膚科, ²同産婦人科): [原著] 右臀部に転移した子宮頸癌の1例. Skin Cancer, 7, 373~375, 1992.
 - 22) 利根川均¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子, 新見やよい, 本田光芳 (¹形成外科): [症例報告] Sutton 現象を生じた悪性黒色腫の1例. 日形会誌, 12, 255~261, 1992.
 - 23) 北原東一, 中條薫子, 田宮由美子, 新見やよい, 青木見佳子, 矢島 純, 本田光芳, 百束比古¹⁾, 森岡 衛²⁾ (¹形成外科, ²東京都): [症例報告] 汗孔角化症から生じたと思われる Bowen 病の1例. Skin Cancer, 8, 51~54, 1993.
 - 24) 秋元正宇¹⁾, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 大久保正智¹⁾, 文入正敏¹⁾, 本田光芳, 青木見佳子, 服部怜美, 伊東文行²⁾

- (¹)形成外科, ²)第二病院皮膚科): [原著] DFSP20例の手術法の検討. *Skin Cancer*, 8, 76~79, 1993.
- 25) 白井洋司¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子, 本田光芳 (¹)形成外科): [症例報告] First web space flap により再建した第三趾間棘細胞癌の1例. *Skin Cancer*, 8, 84~87, 1993.
- 26) 北原東一, 佐々木映子, 矢島 純, 本田光芳: [原著] 最近の梅毒. *現代医療*, 25, 651~656, 1993.
- 27) 佐々木りか子: [総説] 皮膚科領域におけるステロイド外用剤の使用とその方法. *小児内科*, 25, 263~267, 1993.
- 28) 米山英子, 本田光芳: [原著] 白癬. *月刊薬事*, 35, 533~537, 1993.
- 29) 新見やよい, 矢島 純, 本田光芳: [総説] かゆみ(特集: 症状からみた診断と治療). *医学と薬学*, 29, 585~591, 1993.
- 30) 畑三恵子, 藤本和久, 本田光芳, 松村郁夫¹⁾ (¹)薬剤部): [原著] 話題の疾患: 院内感染としての疥癬. 感染・炎症・免疫, 23, 74~77, 1993.

著 書

- 1) 矢島 純, 青木見佳子, 本田光芳: [分担] 皮膚病変を伴うもの; 接触皮膚炎. “図説皮膚疾患講座” (石橋康正, 大河原章, 新村真人, 高久史磨編). 1, P. 8~17, メジカルビュー, 1992.
- 2) 畑三恵子, 本田光芳: [分担] 皮膚病変を伴うもの; 酒皸様皮膚炎. “図説皮膚疾患講座” (石橋康正, 大河原章, 新村真人, 高久史磨編). 1, P. 18~19, メジカルビュー, 1992.
- 3) 藤本和久, 本田光芳: [分担] 汗疱. “図説皮膚疾患講座” (石橋康正, 大河原章, 新村真人, 高久史磨編). 1, P. 64~65, メジカルビュー, 1992.
- 4) 矢島 純, 青木見佳子, 本田光芳: [分担] 湿疹・皮膚炎群; 接触皮膚炎. “図説皮膚疾患講座” (石橋康正, 大河原章, 新村真人, 高久史磨編). 1, P. 194~194, メジカルビュー, 1992.
- 5) 本田光芳: [分担] 主婦(手)湿疹. “皮膚疾患最新の治療'93~'94” (西山茂夫, 島雄周平, 堀 嘉昭編). P. 15~15, 南江堂, 1993.
- 7) 佐々木りか子: [分担] ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群 (SSSS). “皮膚疾患最新の治療'93~'94” (西山茂夫, 島雄周平, 堀 嘉昭編). P. 142~142, 南江堂, 1993.

学会発表

- 1) 太田真琴, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 来馬明規¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹)内科学第1): [一般講演] 心臓病変を伴ったサルコイドーシスの1例. 第91回日本皮膚科学会総会学術大会, 1992.
- 2) 楠 俊雄, 楠万左子¹⁾ (¹)清瀬市): [一般講演] ブデソニドによる接触皮膚炎の8例. 第91回日本皮膚科学会総会学術大会, 1992.
- 3) 江川ゆり¹⁾, 伊東文行¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 服部怜美 (¹)第二病院皮膚科): [一般講演] 急激な体重減少後に発症した色素性痒疹. 第91回日本皮膚科学会総会学術大会, 1992.
- 4) 川並汪一¹⁾, 米山浩英¹⁾, 尾見徳弥, 新井 悟¹⁾, 持丸 博¹⁾ (¹)第二病院病理部): [一般講演] ヒトおよびラットの肺線維症における毛細血管内皮細胞の形態転換. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 5) 細根 勝¹⁾, 尾見徳弥, 赤須東樹¹⁾, 川並汪一¹⁾, 小山美弥²⁾, 大綱 弘³⁾, 野村信夫³⁾, 石崎良太郎³⁾, 浅野伍朗⁴⁾, 山中宣昭⁵⁾ (¹)第二病院病理部, ²)老研病理部門, ³)同分子生物学部門, ⁴)病理学第2, ⁵)病理学第1): [一般講演] 皮膚との境界領域における HPV 感染. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 6) 青木順子, 太田真琴, 新見やよい, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 斉藤 裕¹⁾ (¹)東京都): [一般講演] サルコイドーシスの1例. 日本皮膚科学会第683回東京地方会, 1992.
- 7) 新見やよい, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 大木更一郎¹⁾, 青木 律¹⁾, 百束比古¹⁾ (¹)形成外科): [一般講演] 慢性肉芽腫症の1例. 第16回日本小児皮膚科学会学術大会, 1992.
- 8) 義澤 泉¹⁾, 伊東文行¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 服部怜美, 太田耕造²⁾, 太田秀穂²⁾ (¹)第二病院皮膚科, ²)同小児科): [一

般講演] Eosinophilic Granuloma の 1 例. 第16回日本小児皮膚科学会学術大会, 1992.

- 9) 北原東一, 中條薫子, 田宮由美子, 新見やよい, 青木見佳子, 矢島 純, 本田光芳, 森岡 衛¹⁾(¹⁾東京都): [一般講演] 汗孔角化症から生じたと思われる Bowen 病の 1 例. 第 8 回日本皮膚悪性腫瘍学会総会学術大会, 1992.
- 10) 伊東文行¹⁾, 服部怜美, 義澤 泉¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 小西公磨²⁾, 菊池三郎²⁾(¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾同産婦人科): [展示] 子宮頸癌の皮膚転移の 1 例. 第 8 回日本皮膚悪性腫瘍学会総会学術大会, 1992.
- 11) 秋元正字¹⁾, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 大久保正智¹⁾, 文入正敏¹⁾, 本田光芳, 青木見佳子, 服部怜美, 伊東文行²⁾(¹⁾形成外科, ²⁾第二病院皮膚科): [一般講演] DFSP20例の手術法の検討. 第 8 回日本皮膚悪性腫瘍学会総会学術大会, 1992.
- 12) 白井洋司¹⁾, 簡野晃次¹⁾, 大久保正智¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子, 本田光芳(¹⁾形成外科): [一般講演] First web space flap により再建した第三趾間棘細胞癌の 1 例. 第 8 回日本皮膚悪性腫瘍学会総会学術大会, 1992.
- 13) 中條薫子, 藤本和久, 新見やよい, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳: [一般講演] 塩酸ジブカインによるアレルギー性接触皮膚炎. 日本皮膚科学会第684回東京地方会, 1992.
- 14) 矢島 純, 青木順子, 新見やよい, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 本田光芳: [一般講演] プデソニドによるアレルギー性接触皮膚炎の 2 例. 第22回日本皮膚アレルギー学会, 1992.
- 15) 中條薫子, 藤本和久, 新見やよい, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳: [一般講演] 塩酸ジブカインによるアレルギー性接触皮膚炎. 第22回日本皮膚アレルギー学会, 1992.
- 16) 太田真琴, 新見やよい, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 江川ゆり¹⁾, 尾見徳弥(¹⁾第二病院皮膚科): [一般講演] 硬化性萎縮性苔癬の 1 例. 日本皮膚科学会第685回東京地方会, 1992.
- 17) 有吉雅徳¹⁾, 百束比古¹⁾, 滝沢 康¹⁾, 簡野晃次¹⁾, 文入正敏¹⁾, 新見やよい, 青木見佳子, 本田光芳(¹⁾形成外科): [一般講演] 爪甲下悪性黒色腫の 2 例. 第168回日本形成外科学会東京地方会, 1992.
- 18) 藤本和久, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳: [ワークショップ] ステロイド外用剤で生じた topical corticosteroid withdrawal syndrome の 1 例. 第 7 回日本乾癬学会総会学術大会, 1992.
- 19) 青木 律¹⁾, 百束比古¹⁾, 大久保正智¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子, 山村美和¹⁾, 利根川均¹⁾(¹⁾形成外科): [一般講演] 後頭項頸部に発症した壊疽性筋膜炎の 1 再建例. 第169回日本形成外科学会東京地方会, 1992.
- 20) 井上幸彦¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 新見やよい, 山下精彦²⁾(¹⁾形成外科, ²⁾外科学第 1): [展示] Extended groin flap と大綱弁による腹壁再建を行なった転移性顆粒膜細胞腫の 1 例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 21) 有吉雅徳¹⁾, 百束比古¹⁾, 滝沢 康¹⁾, 簡野晃次¹⁾, 新見やよい, 青木見佳子, 本田光芳(¹⁾形成外科): [展示] 爪甲下悪性黒色腫の 2 例; 稀な爪甲下 amelanotic melanoma の経験. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 22) 太田真琴, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 来馬明規¹⁾, 田中啓治¹⁾, 早川弘一¹⁾, 佐藤要悟²⁾(¹⁾内科学第 1, ²⁾佐藤病院外科): [展示] 心病変を伴ったサルコイドーシスの 1 例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 23) 伊東文行¹⁾, 小林伸子¹⁾, 関 正計¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 小西公磨²⁾, 菊池三郎²⁾, 服部怜美(¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾同産婦人科): [展示] 子宮頸癌の皮膚転移の 1 例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 24) 小林伸子¹⁾, 関 正計¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 伊東文行¹⁾, 服部怜美(¹⁾第二病院皮膚科): [展示] 足底に生じた Angioleiomyoma の 1 例と本邦報告例の統計的観察. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 25) 関 正計¹⁾, 小林伸子¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 伊東文行¹⁾, 服部怜美(¹⁾第二病院皮膚科): [展示] 多発性 glomus tumor の 1 例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 26) 寺澤美知子, 新見やよい, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 服部怜美, 本田光芳: [一般講演] アリルイソプロピルアセチル尿素による固定薬疹 1 例. 日本皮膚科学会第686回東京地方会, 1992.
- 27) 小林伸子¹⁾, 関 正計¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 伊東文行¹⁾, 服部怜美(¹⁾第二病院皮膚科): [一般講演] 足底に生じた Angioleiomyoma の 1 例. 日本皮膚科学会第686回東京地方会, 1992.

- 28) 関 正計¹⁾, 小林伸子¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 伊東文行¹⁾, 服部怜美^(¹第二病院皮膚科): [一般講演] 多発性グロームス腫瘍の1例. 日本皮膚科学会第686回東京地方会, 1992.
- 29) 青木順子, 新見やよい, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 服部怜美, 本田光芳, 百束比古¹⁾, 中原 進²⁾ (¹形成外科, ²関川総合病院): [一般講演] ケラトアカントーマの1例. 日本皮膚科学会第687回東京地方会, 1992.
- 30) 持丸 博¹⁾, 川並汪一¹⁾, 米山浩英¹⁾, 新井 悟¹⁾, 尾見徳弥^(¹第二病院病理部): [一般講演] 実験的珪肺症における肺血管系内皮細胞の免疫病理. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 31) 新井 悟¹⁾, 細根 勝¹⁾, 川並汪一¹⁾, 尾見徳弥, 野村信夫²⁾, 中田朋子²⁾, 久吉隆郎³⁾, 難波 享³⁾ (¹第二病院病理部, ²老研分子生物学部門, ³第二病院外科): [一般講演] 子宮頸部と気道における HPV 感染の免疫病理. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 32) 尾見徳弥, 川並汪一¹⁾, 大綱 弘²⁾, 中田朋子³⁾, 野村信夫³⁾, 松田 潔⁴⁾, 邊見 弘⁴⁾, 本田光芳^(¹第二病院病理部, ²老研病理部門, ³同分子生物学部門, ⁴付属病院救命救急センター): [一般講演] 熱傷後の皮膚移植における表皮の再生と免疫担当細胞. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 33) 赤須東樹¹⁾, 川並汪一¹⁾, 尾見徳弥, 清水一雄²⁾ (¹第二病院病理部, ²外科学第2): [一般講演] 甲状腺疾患におけるマスト細胞の形態的特徴. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 34) 馬淵綾子¹⁾, 松井 聡¹⁾, 金子勝美, 池田正和¹⁾, 横室公三¹⁾ (¹微生物免疫学): [一般講演] 肝内リンパ細胞の性状と機能. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 35) 本田光芳: [セミナー] 医療と香粧品の境界領域: 皮膚科から. 日本香粧品科学会第17回教育セミナー, 1992.
- 36) 本田光芳: [シンポジウム] 生活環境と皮膚 (主題: ヒューマン・ヘルス・サイエンスと皮膚). 資生堂創業120周年記念科学シンポジウム, 1992.
- 37) 土田由起子, 新見やよい, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 服部怜美, 本田光芳: [一般講演] プロピオン酸アルクロメタゾンによるアレルギー性接触皮膚炎の1例. 日本皮膚科学会第688回東京地方会, 1992.
- 38) 金子勝美, 池淵研二¹⁾, 片山佳奈子¹⁾, 浅野茂隆¹⁾, 本田光芳^(¹東京大学医科学研究所付属病院輸血部): [展示] 造血幹細胞の分裂様式へのストロマ細胞の関与. 第22回日本免疫学会総会, 1992.
- 39) 大久保正智¹⁾, 百束比古¹⁾, 青木 律¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子, 利根川均¹⁾, 山村美和¹⁾ (¹形成外科): [一般講演] 後頭項頸部に発症した壊死性筋膜炎の1再建例. 第11回日本頭蓋顎顔面外科学会総会, 1992.
- 40) 北原東一, 佐々木映子, 矢島 純, 本田光芳: [一般講演] 当科における梅毒について. 日本性感染症学会第5回学術大会, 1992.
- 41) 中條薫子, 藤本和久, 新谷真理子, 新見やよい, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 服部怜美, 本田光芳: [一般講演] 塩酸リドカインによるアレルギー性接触皮膚炎の1例. 日本皮膚科学会第690回東京地方会, 1993.
- 42) 楠 俊雄, 楠万左子¹⁾ (¹清瀬市): [一般講演] キンダーベート軟膏による接触皮膚炎. 日本皮膚科学会第56回東京支部学術大会, 1993.
- 43) 栗栖由美子, 新見やよい, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 服部怜美, 本田光芳: [一般講演] ムチン沈着症の1例. 日本皮膚科学会第56回東京支部学術大会, 1993.
- 44) 北原東一, 佐々木映子, 矢島 純, 本田光芳: [一般講演] 梅毒の臨床的, 統計的観察. 日本医科大学医学会第79回例会, 1993.

【第一病院皮膚科】

研究概要

論文

- 1) 齋藤陽子, 相良宗徳, 井上かがね, 恩田周太朗, 伊東文行¹⁾ (¹第二病院皮膚科): [原著] 片側性色素失調症の

- 1 例. 皮膚科の臨床, 34, 743~746, 1992.
- 2) 相良宗徳, 中村進一:〔原著〕脱毛症を伴い多彩な皮疹を呈した顕症梅毒. 皮膚病診療, 14, 725~728, 1992.
- 3) 濱松 優, 中山恵二, 三神 寛, 五十嵐 司, 相良宗徳, 大崎邦子, 中村進一, 南 和文¹⁾, 清水一雄²⁾ (¹⁾第一病院整形外科, ²⁾外科第2):〔原著〕外傷後に生じた malignant melanoma の1例. Skin Cancer, 7, 176~179, 1992.
- 4) 齋藤陽子, 青木雅子, 三神 寛, 山本泰一, 中山恵二, 中村進一, 白井洋司¹⁾, 滝沢 康¹⁾ (¹⁾付属病院形成外科):〔原著〕顔面有茎性悪性黒色腫の1例. Skin Cancer, 7, 281~284, 1992.

学会発表

- 1) 佐治 守¹⁾, 田口桜子¹⁾, 向坂元秀²⁾, 戸早玲子²⁾, 葉山修陽³⁾, 内山喜一郎⁴⁾, 星 健二, 大国寿士⁵⁾ (¹⁾第一病院薬剂科, ²⁾同中央検査室, ³⁾内科第2, ⁴⁾外科第2, ⁵⁾老人病研究所):〔一般講演〕MRSA 感染病巣に対する有機色素剤 gentiana violet (pioktanin blue) の局所治療剤としての検討. 第66回日本感染症学会総会, 1992.
- 2) 濱松 優, 平井眞明¹⁾, 佐藤研之¹⁾, 仲地紀勝¹⁾, 鈴木達也¹⁾, 笹井恵子¹⁾, 春山 勝¹⁾, 中野博司¹⁾, 洲上正章¹⁾, 大庭建三¹⁾, 妻鳥昌平¹⁾, 中村進一 (¹⁾老人科):〔一般講演〕発熱および体重減少を契機に発見された老年者進行性全身性硬化症 (PSS) の1例. 第15回日本老年医学会関東甲信越地方会, 1992.
- 3) 森口聡子, 中山恵二, 青木雅子, 中村進一, 金子清志¹⁾, 大木由加志¹⁾ (¹⁾第一病院小児科):〔一般講演〕家族性 II a 型高脂血症に伴った結節性黄色腫の小児例. 第16回日本小児皮膚科学会, 1992.
- 4) 齋藤陽子, 青木雅子, 三神 寛, 山本泰一, 中山恵二, 中村進一, 白井洋司¹⁾, 滝沢 康¹⁾ (¹⁾付属病院形成外科):〔一般講演〕顔面有茎性黒色腫の1例. 第8回日本皮膚悪性腫瘍学会総会・学術大会, 1992.
- 5) 青木雅子, 五十嵐 司, 三神 寛, 山本泰一, 中山恵二, 中村進一:〔一般講演〕転移性皮膚癌の3例. 第8回日本皮膚悪性腫瘍学会総会および学術大会, 1992.
- 6) Tachihara, R., Kanamori, S., and Nakamura, S.:〔展示〕The effect of combination chemotherapy on cultured malignant melanoma. 18th World Congress of Dermatology, 1992.
- 7) 安原尚昭, 青木雅子, 山本泰一, 三神 寛, 中村進一:〔一般講演〕脂腺母斑上に生じた Trichilemmoma と BCE の合併例. 日本皮膚科学会第684回東京地方会, 1992.
- 8) 松浦良樹¹⁾, 松永玲子¹⁾, 井川宗彦¹⁾, 春山 勝¹⁾, 平井眞明¹⁾, 中野博司¹⁾, 大庭健三¹⁾, 妻鳥昌平¹⁾, 濱松 優, 中村進一 (¹⁾老人科):〔展示〕老年者進行性全身性硬化症 (PSS) の2例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 9) 並松茂樹¹⁾, 中村進一, 中神義三²⁾, 小黒辰夫³⁾, 佐々木喜広³⁾, Ghazizadeh, M.³⁾, 相原 薫³⁾, 矢島権八³⁾, 浅野伍朗⁴⁾ (¹⁾第一病院中央研究室, ²⁾同泌尿器科, ³⁾中央電子顕微鏡研究施設, ⁴⁾病理第2):〔一般演題〕PATSC-GMS 染色法による各種腎臓疾患における電顕の応用. 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会・学術講演会, 1992.
- 10) 相良宗徳, 五十嵐 司, 三神 寛, 山本泰一, 中山恵二, 中村進一:〔一般講演〕Primitive neuroectodermal tumor (PNET) の1例. 第56回日本皮膚科学会東部支部総会・学術大会, 1992.
- 11) 立原利江子, 金森幸男, 中村進一:〔一般講演〕ヒトメラノーマ細胞樹立株における温熱処理の効果. 第56回日本皮膚科学会東部支部総会・学術大会, 1992.
- 12) 金森幸男, 立原利江子, 中村進一:〔一般講演〕ヒトメラノーマ細胞樹立株における温熱処理後の回復について. 第56回日本皮膚科学会東部支部総会・学術大会, 1992.
- 13) 濱松 優, 三神 寛, 山本泰一, 中村進一, 飯田章太郎¹⁾ (¹⁾第一病院内視鏡科):〔一般講演〕Blue rubber-bleb nevus syndrome の1例. 日本皮膚科学会第688回東京地方会, 1992.
- 14) 五十嵐 司, 立原利江子, 中山恵二, 三神 寛, 中村進一:〔一般講演〕Bowen carcinoma の1例. 日本皮膚科学会第688回東京地方会, 1992.
- 15) 森口聡子, 立原利江子, 青木雅子, 三神 寛, 中村進一, 吉野慎一¹⁾, 品川千尋²⁾ (¹⁾第一病院リウマチ科, ²⁾杉並区):〔一般講演〕リウマチ結節の3例. 日本皮膚科学会第688回東京地方会, 1992.

- 16) 豊田かおる, 森口聡子, 青木雅子, 三神 寛, 山本泰一, 中村進一: [一般講演] Sebaceoma の1例. 日本皮膚科学会第690回東京地方会, 1993.
- 17) 立原利江子, 金森幸男, 中村進一: [展示] ヒトメラノーマ細胞の制癌剤感受性試験; Mewo に対する DTIC と VCR の二剤併用の効果. 第56回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 1993.
- 18) 相良宗徳, 中村進一: [一般講演] 顕症梅毒の3例. 日本医科大学医学会第79回例会, 1993.
- 19) 中村進一, 並松茂樹¹⁾ (¹⁾第一病院電顕室): [一般講演] 毛ジラミの形態について; 特に走査電顕所見について. 日本医科大学医学会第79回例会, 1993.

[第二病院皮膚科]

研究業績

論文

- 1) Ito, F., Hunter, E.F.¹⁾, George, R.W.¹⁾, Pore, V.¹⁾, and Larsen, S.A.¹⁾ (¹⁾Division of Sexually Transmitted Diseases Laboratory Research, Centers for Infectious Diseases, Centers for Disease Control, Atlanta, Georgia 30333): [原著] Specific immunofluorescent staining of pathogenic treponemes with a monoclonal antibody. American Society for Microbiology, 30, 831~838, 1992.
- 2) 斎藤陽子¹⁾, 相良宗徳¹⁾, 井上かがね¹⁾, 恩田周太郎¹⁾, 伊東文行 (¹⁾第一病院皮膚科): [原著] 片側性色素失調症の1例. 皮膚科の臨床, 34, 743~746, 1992.
- 3) 三枝由紀子, 伊東文行, 義澤 泉, 服部怜美: [原著] 成人型 Xanthogranuloma. 皮膚科の臨床, 34, 894~895, 1992.
- 4) 江川ゆり, 伊東文行, 義澤 泉, 三枝由紀子, 服部怜美, 佐藤元泰¹⁾ (¹⁾東京都): [原著] お灸瘢痕部に発生した有棘細胞癌. 皮膚科の臨床, 34, 927~930, 1992.
- 5) 服部怜美¹⁾, 伊東文行, 義澤 泉, 三枝由紀子, 江川ゆり, 名取礼文¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科): [原著] パルピタールによる固定薬疹の1例; リン酸コデインによる皮膚試験. 皮膚, 34 (増刊13), 249~252, 1992.
- 6) 伊東文行, 義澤 泉, 江川ゆり, 服部怜美¹⁾, 小西公麿²⁾, 菊池三郎²⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾第二病院産婦人科): [原著] 右臀部に転移した子宮頸癌の1例. Skin Cancer, 7, 3, 1992.
- 7) 名取礼文¹⁾, 伊東文行, 義澤 泉, 江川ゆり, 服部怜美¹⁾, 矢島 純¹⁾, 本田光芳¹⁾, 平井真実²⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾第二病院消化器病センター): [原著] 手指爪下外骨腫の1例. 皮膚科の臨床, 34, 1863~1866, 1992.

学会発表

- 1) 江川ゆり, 伊東文行, 義澤 泉, 服部怜美¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科): [一般講演] 急激な体重減少後に発症した色素性痒疹. 第91回日本皮膚科学会学術大会総会, 1992.
- 2) 佐藤則子, 伊東文行, 義澤 泉, 江川ゆり: [一般講演] Sweet 病の1例. 第91回日本皮膚科学会学術大会総会, 1992.
- 3) 義澤 泉, 伊東文行, 江川ゆり, 服部怜美¹⁾, 太田耕造²⁾, 太田秀穂²⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾第二病院小児科): [一般講演] Eosinophilic Granuloma の1例. 第16回日本小児皮膚科学会, 1992.
- 4) 佐藤則子, 伊東文行, 義澤 泉, 江川ゆり, 岩崎 隆¹⁾, 海野俊雄¹⁾ (¹⁾川崎市): [一般講演] 好酸球性膿胞性毛嚢炎の2例. 第683回日本皮膚科学会東京地方会, 1992.
- 5) 伊東文行, 服部怜美¹⁾, 義澤 泉, 江川ゆり, 小西公麿²⁾, 菊池三郎²⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾第二病院産婦人科): [展示] 子宮頸癌の皮膚転移の1例. 第8回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1992.
- 6) 秋元正宇¹⁾, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 大久保正智¹⁾, 文入正敏¹⁾, 伊東文行¹⁾, 青木見佳子²⁾, 服部怜美²⁾ (¹⁾形成外科, ²⁾付属病院皮膚科): [一般講演] DFSP20例の手術法の検討. 第8回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1992.

- 7) 義澤 泉, 伊東文行, 小林伸子, 関 正計, 江川ゆり: [一般演題] Fox-Fordyce 病の 1 例. 第685回日本皮膚科学会合同臨床東京地方会, 1992.
- 8) 太田真琴, 新見やよい, 佐々木映子, 畑 三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 江川ゆり, 尾見徳弥¹⁾ (1)病理第1): [一般講演] 硬化性萎縮性苔癬の 1 例. 日本皮膚科学会第685回合同臨床東京地方会, 1992.
- 9) 伊東文行, 小林伸子, 関 正計, 義澤 泉, 江川ゆり, 小西公麿¹⁾, 菊池三郎¹⁾, 服部怜美²⁾ (1)第二病院産婦人科, ²⁾付属病院皮膚科): [展示] 子宮頸癌の皮膚転移の 1 例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 10) 義澤 泉, 小林伸子, 関 正計, 江川ゆり, 伊東文行, 太田耕造¹⁾, 太田秀穂¹⁾ (1)第二病院小児科): [展示] Eosinophilic granuloma の 1 例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 11) 江川ゆり, 小林伸子, 関 正計, 義澤 泉, 伊東文行: [展示] 単発性表在性脂肪腫性母斑の 1 例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 12) 小林伸子, 関 正計, 義澤 泉, 江川ゆり, 伊東文行, 服部怜美¹⁾ (1)付属病院皮膚科): [展示] 足底に生じた Angioleiomyoma の 1 例と本邦報告例の統計的観察. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 13) 関 正計, 小林伸子, 義澤 泉, 江川ゆり, 伊東文行, 服部怜美¹⁾ (1)付属病院皮膚科): [展示] 多発性グロームス腫瘍の 1 例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 14) 小林伸子, 関 正計, 義澤 泉, 江川ゆり, 伊東文行, 服部怜美¹⁾ (1)付属病院皮膚科): [一般講演] 足底に生じた Angioleiomyoma の 1 例. 日本皮膚科学会第686回東京地方会, 1992.
- 15) 関 正計, 小林伸子, 義澤 泉, 江川ゆり, 伊東文行, 服部怜美¹⁾ (1)付属病院皮膚科): [一般講演] 多発性グロームス腫瘍の 1 例. 日本皮膚科学会第686回東京地方会, 1992.
- 16) 義澤 泉, 小林伸子, 関 正計, 江川ゆり, 伊東文行: [一般講演] Clear cell hidradenoma の 1 例. 日本皮膚科学会第687回東京地方会, 1992.
- 17) 関 正計, 小林伸子, 義澤 泉, 江川ゆり, 伊東文行, 太田真琴¹⁾, 青木 律, 百束比古²⁾ (1)付属病院皮膚科, ²⁾同形成外科): [一般講演] 頭部に発生した隆起性皮膚線維肉腫の 1 例. 日本皮膚科学会第688回東京地方会, 1992.
- 18) 小西公麿¹⁾, 田口正男¹⁾, 関谷隆夫¹⁾, 松尾健志¹⁾, 石原楷輔¹⁾, 菊池三郎¹⁾, 伊東文行 (1)第二病院産婦人科): [一般講演] 広範な皮膚転移をきたした子宮頸癌の 1 例. 第287回日産婦神奈川地方部会, 第34回神奈川医学会総会産婦人科分科会, 1992.
- 19) 小林伸子, 関 正計, 義澤 泉, 江川ゆり, 伊東文行: [一般講演] 結節性筋膜炎の 1 例. 第56回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 1993.
- 20) 横手薫美¹⁾, 長田博昭¹⁾, 栗栖純穂¹⁾, 山手 昇¹⁾, 平 泰彦¹⁾, 伊東文行 (1)聖マリアンナ医科大学第3外科・同東横病院外科): [一般講演] Expandable metallic stent で治療中の閉塞性肺炎合併 relapsing polychondritis の 1 例. 第64回日本気管支学会関東部会, 1993.
- 21) 平嶋清美¹⁾, 和田千穂里¹⁾, 清水暢夫¹⁾, 伊東文行 (1)第二病院眼科): [一般講演] 周辺部ぶどう膜炎様の所見を呈したベーチェット (不完全型) の 1 症例. 第57回神奈川県眼科集談会, 1993.

9 外科学第一講座

〔付属病院第1外科〕

研究概要

教室では、消化器外科学および関連領域に関する以下のテーマについて臨床的および基礎的研究を進めており、その成果を積極的に学会ならびに論文に発表している。

- 1) イレウス、腹膜炎を中心とする急性腹症の病態の解明およびイレウスの新しい診断法の確立をめざし研究が進められており、特にラジオパックを用いた診断は臨床的その有用性が高く評価されている。
- 2) 胆石症に対する新しい治療法である内視鏡的胆嚢摘出術は軽度な手術侵襲と、早期退院が可能なことより患者のニーズが高く、症例数の増加にともない臨床研究が進んでいる。
- 3) 門脈亢進症に起因する食道静脈瘤に対する集学的治療法を放射線科と共同で開発し、病態に応じた治療法の選択により良好な成績を得ている。
- 4) 進行胃癌、大腸癌に対する手術と抗癌化学療法の組み合わせにより、患者のQOLの向上を計っている。
- 5) 消化性潰瘍の外科治療法と基礎的研究の進歩により、臓器温存手術が可能となってきた。
- 6) 食道癌、肝癌、乳癌、膵臓癌の基礎的および臨床的研究が進められ、手術法の進歩により術後成績の向上が得られつつある。

助教授、講師の指導のもとに、これらの各テーマに若手医局員が配属され、熱心に研究が行われており、月1回の1外セミナーで発表されるとともに、下記のごとく内外の学会誌、専門誌に発表された。

研究業績

論 文

- 1) 恩田昌彦，古川清憲，笹島耕二，石川紀行，丸山 弘，横山滋彦，京野昭二，森山雄吉：〔総説〕エンドトキシン新測定法と抗エンドトキシン療法，外科感染症をめぐるとピックス．外科診療，34，225～233，1992．
- 2) 柴田 泰，上田ひろみ，紺野明子，佐藤寛之，本山三生¹⁾，山下精彦，辺見 弘²⁾，益子邦洋²⁾，安田和弘²⁾，横田裕裕²⁾，大塚敏文²⁾（¹⁾検査部，²⁾救急センター）：〔報告〕外傷患者におけるCKアイソザイムの検討．日外傷研会誌，6，211～217，1992．
- 3) 園部一成，野本剛史¹⁾，山下精彦，（¹⁾検査部）：〔臨床医のために〕C型肝炎の診断と治療 指標の一助．日医大誌，59，475～478，1992．
- 4) 野本剛史¹⁾，山下精彦（¹⁾検査部）：〔総説〕C型肝炎ウイルス（HCV）抗体検出法．検査と技術，20，790～795，1992．
- 5) 古川清憲，恩田昌彦：〔総説〕敗血症・エンドトキシンショック，消化器外科手術後の合併症・後遺症の診断と処置．外科治療，166，938～941，1992．
- 6) 森山雄吉：〔総説〕他科から産婦人科医へのアドバイス・イレウス．産科と産婦人科，59，25～30，1992．
- 7) 森山雄吉：〔総説〕当直救急ガイド，腹膜炎．臨床医，18，230～232，1992．
- 8) 森山雄吉：〔総説〕当直救急ガイド，イレウス．臨床医，18，233～236，1992．
- 9) 森山雄吉，恩田昌彦，田中宣威，京野昭二，横井公良，横山滋彦：〔総説〕どのようなとき非手術的治療を選択するかイレウス．消化器外科，16，199～206，1993．
- 10) 森山雄吉：〔総説〕腸管癒着剝離のコツ．手術，47，319～324，1993．
- 11) 森山雄吉，金 徳栄，京野昭二，松田範子：〔総説〕特集：いまイレウスを診療するイレウスと高圧的治療法．臨床外科，47，746～746，1992．

- 12) 森山雄吉, 京野昭二, 有馬保生, 横山滋彦:〔総説〕特集:いまイレウスを診療する絞扼性イレウス診断の決め手. 臨床外科, 47, 718~721, 1992.
- 13) 相本隆幸, 恩田昌彦, 内田英二, 有馬保生, 飯田信也, 金沢義一, 内藤善哉, 会田邦晴, 山中洋一郎, 小林 匡, 横山 正, 笹島耕二, 田尻 孝, 江上 格, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2):〔原著〕ファーター乳頭部に発生した異所性非機能性膵島腫瘍の1例. 日消外誌, 25, 2412~2416, 1992.
- 14) 相本隆幸, 恩田昌彦, 内田英二, 内藤善哉, 会田邦晴, 山中洋一郎, 小林 匡, 横山 正, 笹島耕二, 田尻 孝, 江上 格, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2):〔原著〕ヒト膵臓癌における neuron-specific enolase および myc 遺伝子産物に関する免疫組織学的検討. 膵臓, 7, 36~42, 1992.
- 15) 相本隆幸, 恩田昌彦, 内田英二, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2):〔原著〕ヒト膵臓癌における Ag-NORs 染色からみた腫瘍細胞増殖能の検討. 日外会誌, 94, 78~85, 1993.
- 16) Aimoto, T., Sasajima, K., Kyono, S., Uchida, E., Watanabe, M., Yamasita, K., Takubo, K., and Onda, M.:〔Case report〕Leiomyosarcoma of the esophagus; Report of a case and preoperative evaluation by CT scan, endoscopic ultrasonography and angiography. Gastroenterol. Jap., 27, 773~779, 1992.
- 17) 井上松応, 恩田昌彦, 森山雄吉, 山下精彦, 田中宣威, 京野昭二, 内田英二, 荒木 勤¹⁾ (¹⁾産婦人科学):〔症例報告〕妊娠中の急性腹症. 腹部救急診療の進歩, 12, 899~901, 1992.
- 18) 内田英二, 恩田昌彦, 山中洋一郎, 小林 匡, 相本隆幸, 横山 正, 田尻 孝, 江上 格:〔総説〕膵癌の myc, c-erbB-2遺伝子産物の発現と悪性度(特集:膵胆道腫瘍の遺伝子・DNA 量分析). 胆と膵, 13, 269~273, 1992.
- 19) 江上 格, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田尻 孝, 伊藤誠二, 金 徳栄, 内田英二, 有馬保生, 岡崎滋樹, 会田邦晴, 山中洋一郎, 小林 匡, 相本隆幸, 横山 正:〔原著〕腫瘍形成性膵炎の臨床像と, 画像診断の意義と限界:膵癌との鑑別点の考察. 胆と膵, 13, 711~717, 1992.
- 20) 江上 格, 恩田昌彦, 森山雄吉, 古川清憲, 京野昭二:〔総説〕イレウスの栄養管理の実際(特集:外科患者の新しい栄養管理. 病態別栄養管理の実際). 一その3ー. 外科診療, 34, 609~614, 1992.
- 21) 江上 格, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田尻 孝, 伊藤誠二, 金 徳栄, 内田英二, 有馬保生, 岡崎滋樹, 会田邦晴, 山中洋一郎, 小林 匡, 相本隆幸, 横山 正:〔症例報告〕腫瘍形成性膵炎の臨床像と画像診断の意義と限界:膵癌との鑑別点の考察. 胆と膵, 13, 711~717, 1992.
- 22) 江上 格, 恩田昌彦, 鶴田宏幸, 田尻 孝, 中島米次郎, 京野昭二, 内田英二, 小林 匡, 相本隆幸, 関山達也, 野村敦宣:〔症例報告〕肝硬変合併・膵性腹水の術後, MOF より心肺停止および膵液瘻合併の1治験例. 胆と膵, 13, 431~435, 1992.
- 23) 奥田武志, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 藤田逸郎, 水谷 崇, 木山輝郎, 西 恵吾, 岡崎滋樹, 京野昭二, 松倉則夫, 山下精彦:〔原著〕UFT 投与後血中 CEA の急激な下降および転移巣の縮小が認められた再発胃癌の1例. 癌と化学療法, 19, 2099~2102, 1992.
- 24) 奥田武志, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 藤田逸郎, 水谷 崇, 木山輝郎, 吉行俊郎, 清水康仁, 西 恵吾, 松倉則夫, 田中宣威, 山下精彦:〔原著〕ヌードマウス移植ヒト胃癌の増殖に対する EGF (Epidermal growth factor) の影響. 消化器癌の発生と進展, 4, 427~430, 1992.
- 25) 大川共一:〔総説〕特集:院内感染の病因と対策. 術後感染防止. 臨床と研究, 68, 3621~3628, 1991.
- 26) 大川共一, 小林寛伊¹⁾, 大久保憲²⁾, 樋口通雄³⁾ (¹⁾東京大, ²⁾刈谷総合病院, ³⁾千葉大):〔原著〕短時間サージカルスクラブの検討. 手術部医学, 13, 458~463, 1992.
- 27) 大川共一, 池野廣幸, 菅原 通:〔総説〕手術野消毒. (特集:滅菌, 消毒)Infection Control, 2, 34~37, 1993.
- 28) 大滝修司, 金子 等, 福岡英祐, 山川達郎:〔原著〕抗癌剤油脂懸濁液の局注療法に関する実験的研究. 癌と化学, 19, 1587~1589, 1992.
- 29) 大滝修司, 山川達郎, 三芳 端, 飯泉成司, 岸いずみ, 稲葉牛朗:〔原著〕急性胆嚢炎に併発した胆汁性仮性嚢胞の3治験例. 日消外会誌, 25, 1100~1104, 1992.

- 30) 恩田昌彦, 松倉則夫:〔講座〕インフォームド・コンセントの問題点, 複部救急診療の進歩, 12, 815~819, 1992.
- 31) 加納宣康, 山川達郎:〔原著〕腹腔鏡下虫垂切除術の基本手技, 外科診療, 34, 567~570, 1992.
- 32) 加納宣康, 山川達郎:〔総説〕腹腔鏡下胆嚢摘出術の動向(特集:胆石の非手術的治療法), 胆と脾, 13, 583~587, 1992.
- 33) 加納宣康, 山川達郎:〔原著〕われわれの腹腔鏡下胆嚢摘出術:手術手技アトラス, 消外, 15, 1875~1883, 1992.
- 34) Kato, S., Shields, P.G.¹⁾, Caporaso, N.E.¹⁾, Hoover, R.N.¹⁾, Trump, B.F.¹⁾, Sugimura, H.²⁾, Weston, A.¹⁾, and Harris, C.C.¹⁾ (¹⁾Lab. Human Carcinogenesis, DCE, NCI, NIH, USA, ²⁾浜松医大第一病理):〔原著〕Cytochrome P450IIE1 genetic polymorphisms, racial variation, and lung cancer risk. Cancer Res., 52, 6712~6715, 1992.
- 35) 木山輝郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 奥田武志, 水谷 崇, 西 恵吾, 鳥羽昌仁, 京野昭二, 松倉則夫, 山下精彦, 野村武夫¹⁾, 浅野伍朗²⁾(¹⁾内科学第3, ²⁾病理学第2), 〔症例報告〕超音波内視鏡で胃平滑筋芽腫が疑われた1例, 日消外会誌, 25, 107~111, 1992.
- 36) Kiyama, T., Onda, M., Tokunaga, A., Fujita, I., Okuda, T., Mizutani, T., Yoshiyuki, T., Shimizu, Y., Nishi, K., Matsukura, N., Tanaka, N., Todome, Y.¹⁾, Ohkuni, H.¹⁾, and Asano, G.²⁾ (¹⁾老人病研究所免疫部門, ²⁾病理学第2):〔原著〕Correlation between epidermal growth factor receptor concentration and the growth of human gastric cancer xenografts in nude mice. Gastroenterol. Jpn., 27, 459~465, 1992.
- 37) 酒井 滋, 山川達郎:〔総説〕II. 検査の実際, 5. 上部消化管内視鏡検査(特集:腹部・消化器外科診断マニュアル), 外科診療, 66, 517~521, 1992.
- 38) 酒井 滋, 山川達郎, 石川泰郎, 加納宣康, 阿部宏之:〔総説〕術中偶発症と術後合併症に対する対策(特集:腹腔鏡下胆嚢摘出術), 手術, 46, 1235~1241, 1992.
- 39) 酒井 滋, 山川達郎:〔総説〕腹腔鏡下胆嚢摘出術(標準術式)(シリーズ:新しい内視鏡治療), 臨外, 47, 1117~1122, 1992.
- 40) 田中宣威, 恩田昌彦, 古川清憲, 瀬谷知子, 横山滋彦:〔総説〕通過障害の処置(特集):消外, 15, 1251~1255, 1992.
- 41) 田中宣威, 恩田昌彦:〔総説〕消化管通過障害(特集:Terminal stageの病態と集学的治療の是非), 臨床消化器内科, 7, 1355~1360, 1992.
- 42) 田尻 孝, 恩田昌彦, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 金 徳栄, 山下精彦:〔原著〕食道胃静脈瘤治療における controversy;特に塞栓術の位置づけについて, 日外会誌, 93, 1150~1152, 1992.
- 43) 田尻 孝:〔総説〕特発性門脈圧亢進による脾機能亢進症, この症例に対する診療方針(特集:脾臓と外科), 外科, 54, 1499~1502, 1992.
- 44) 陳 大志, 恩田昌彦, 森山雄吉, 中島米治郎:〔原著〕虚血腸管壁に神経叢障害に関する免疫組織化学研究, 日消外会誌, 25, 62~72, 1992.
- 45) 徳永 昭, 恩田昌彦, 木山輝郎, 奥田武志, 寺本 忠, 藤田逸郎, 水谷 崇, 松倉則夫, 古川清憲, 田中宣威, 山下精彦:〔症例報告〕消化器癌悪液質の病態評価;臨床研究と動物モデルの応用, 消癌の発生と進展, 4, 497~499, 1992.
- 46) Nagai, T., and Yamakawa, T.:〔原著〕Experimental model with bilioenteric anastomosis in rats: Technique and significance. Hepatogastroenterology, 39, 309~313, 1992.
- 47) 松倉則夫, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 藤田逸郎, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 京野昭二, 山下精彦:〔原著〕慢性胃炎, 胃十二指腸潰瘍および胃癌における血清ペプシノゲン測定の意義, 消癌の発生と進展, 4, 503~507, 1992.
- 48) 松田 健, 羽尾邦彦, 清水康仁, 中川義宏, 恩田昌彦:〔症例報告〕誤嚥魚骨による急性腹症の2例, 救急医学, 16, 1821~1823, 1992.

- 49) 松田 健, 羽尾邦彦, 富松 隆¹⁾, 恩田昌彦 (¹⁾国立横須賀病院整形外科): [症例報告] 後腹膜腔に穿破した高齢者虫垂炎の1例. 外科診療, 35, 477~480, 1993.
- 50) 松田 健, 江上 格, 中島米治郎, 吉岡正智, 恩田昌彦: [総説] 急性虫垂炎手術症例の検討(特集: 急性虫垂炎の治療はかわったか?). 腹救診, 13, 177~182, 1993.
- 51) Matsuda, T., Joyner, W.L.¹⁾, Eccleston, C.A.¹⁾, Rubinstein, I.¹⁾, and Rennard, S.I.¹⁾ (¹⁾University of Nebraska Medical Center): [原著] Morphological study of bovine lung grafted into the hamster cheek pouch. Experimental Lung Research, 18, 145~154, 1992.
- 52) 真々田裕宏, 恩田昌彦, 山下精彦, 田尻 孝, 鳥羽昌仁, 金 徳栄, 足立幹夫, 鄭 淳, 梅原松臣, 吉田 寛, 西久保秀紀, 谷合信彦, 小嶋隆行, 松崎 栄: [原著] 食道静脈瘤に対する予防的硬化療法の意義; 待期例との比較を中心に(特集 I: 予防的食道静脈瘤硬化療法の意義). 消化器内視鏡の進歩, 41, 29~32, 1992.
- 53) 真々田裕宏, 恩田昌彦, 田尻 孝, 山下精彦, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 足立幹夫, 梅原松臣, 吉田 寛, 西久保秀紀, 谷合信彦, 隈崎達夫¹⁾, 大矢 徹¹⁾, 田島廣之¹⁾, 弦間和仁¹⁾ (¹⁾放射線科): [症例報告] 開存した傍臍静脈閉鎖術が有効であった猪瀬型肝性脳症の3例. 日消外会誌, 26, 899~903, 1993.
- 54) 森山雄吉, 京野昭二, 有馬保生, 横山滋彦: [総説] 絞扼性イレウス診断の決め手(特集: いまイレウスを診療する; イレウスの診断). 臨床外科, 47, 718~721, 1992.
- 55) 森山雄吉, 金 徳栄, 京野昭二, 松田範子: [総説] イレウスと高圧酸素療法(特集: いまイレウスを診療する; イレウスの処置と手術). 臨床外科, 47, 743~746, 1992.
- 56) 森山雄吉, 恩田昌彦, 田中宣威, 京野昭二, 横井公良, 横山滋彦: [総説] イレウス(特集: どのようなとき非手術的治療を選択するか). 消化器外科, 16, 194~206, 1993.
- 57) 山川達郎: [総説] 胆道疾患の内視鏡治療 3, 胆道鏡下胆石摘出術. 治療学, 26, 473~476, 1992.
- 58) 山川達郎, 酒井 滋: [総説] I. 展望, 機器, 基本手技, 3. 内視鏡下外科手術のための基本手技(特集: Endoscopic surgery). 外科, 54, 1267~1274, 1992.
- 59) Yamakawa, T., Kano, N., Ishikawa, Y., and Sakai, S.: [原著] Preliminary experience using an ultrasonic aspirator for laparoscopic cholecystectomy. Endoscopy, 24, 721~723, 1992.
- 60) 山下精彦, 恩田昌彦, 田尻 孝, 谷合信彦, 真々田裕宏, 西久保秀紀, 松崎 栄: [総説] 虫垂の痛み(特集: 腹痛の臨床). 現代医療, 24 (増III), 2729~2734, 1992.
- 61) 山下精彦: [総説] 老年者の腹痛とその対策 2. 外科の立場から. 東京医師会誌, 45, 1407~1412, 1993.
- 62) 吉田 寛, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻 孝, 金 徳栄, 古川清憲, 京野昭二, 横井公良, 沖浜裕司, 安東俊明, 瀬谷知子, 横山滋彦, カーンハヤト: [症例報告] 超音波検査にて診断された結腸癌イレウスの1例. 腹救診, 12, 597~599, 1992.
- 63) 吉田 寛, 恩田昌彦, 田尻孝, 梅原松臣, 真々田裕宏, 山下精彦, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 足立幹夫, 西久保秀紀, 谷合信彦, 小嶋隆行, 松崎 栄: [原著] 食道静脈瘤に対する手術と塞栓術の治療成績の比較検討. 日消外会誌, 25, 2470~2474, 1992.
- 64) 吉田 寛, 恩田昌彦, 田尻 孝, 内田英二, 山中洋一郎, 真々田裕宏, 相本隆幸, 横山滋彦, 松崎 栄, 佐々部一, 内田英一: [症例報告] 超音波カラードップラーが診断に有用であった慢性膵炎による hemosuccus pancreaticus の1例. 日消外誌, 26, 141~145, 1993.
- 65) Shields, P.G., Kato, S., Bowman, E.D., Petruzzelli, S., Cooper, D.P., Povey, A.C., and Weston, A.: [原著] Combined micropreparative techniques with synchronous fluorescence spectroscopy or ³²P-postlabeling assay for carcinogen-DNA determination. IARC Monograph (Lyon France), 1992.
- 66) Sprncker, E.¹⁾, Tokunaga, A., Hunt, T.K.²⁾, (¹⁾Californis Pacific Medical Center, (²⁾University of California, San Francisco): [原著] Insulinlike growth factor binding protein-3 is present in the alpha-granules of platelets. Endocrinol., 132, 996~1001, 1993.

- 67) Hamaguchi, M., Sakamoto, H., Tsuruta, H., Sasaki, H., Muto, T., Sugimura, T. and Terada, M.: [原著] Establishment of a highly sensitive and specific exon-trapping system. Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 89, 9779~9783, 1992.

〔前年度追加分〕

論文

- 1) 羽尾邦彦, 松田 健, 宮下正夫, 林 哲弘, 中川義宏, 鈴木英之, 恩田昌彦: [症例報告] 経肛門的異物の3例. 日救急医誌, 2, 718~722, 1991.

著書

- 1) 石川泰郎: [分担] 周術期管理. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 21~27, 診断と治療社, 1992.
- 2) 石川泰郎: [分担] 腹腔鏡下体内・体外結紮法. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 63~77, 診断と治療社, 1992.
- 3) 石川泰郎: [分担] 腹腔鏡下外科手術の合併症. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 79~90, 診断と治療社, 1992.
- 4) 石川泰郎, 山川達郎: [分担] VII. 胆・膵疾患と内視鏡, E. 腹腔鏡下胆嚢摘出術. “外科医のための消化器内視鏡”(渡辺 豊, 山川達郎編), P. 216~226, 中外医学社, 1992.
- 5) 恩田昌彦, 江上 格, 田尻 孝: [分担] 脾損傷, 遅発性脾破裂. “最新消化器外科シリーズ14; 脾・門脈圧亢進症”(阿部令彦, 出月康夫, 小澤和恵, 榊原 宣 編) P. 1~52, 金原出版, 1993.
- 6) 恩田昌彦, 森山雄吉, 京野昭二: [分担] イレウス・腸閉塞・腸重積. “外来診療のすべて”(総監修 高久史麿) P. 344~345. メジカルビュー社, 1992.
- 7) 恩田昌彦, 森山雄吉, 京野昭二: [分担] 急性虫垂炎. “外来診療のすべて(総監修 高久史麿)”, P. 352~353, メジカルビュー社, 1992.
- 8) 恩田昌彦, 内田英二: [分担] 出血. “腹部救急診療の実際”(四方淳一監修) P. 15~26, 医学図書出版, 1993.
- 9) 加納宣康: [分担] 気腹法(針穿刺法, 安全性の確認法). “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 41~44, 診断と治療社, 1992.
- 10) 加納宣康: [分担] トロカールの挿入法. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 47~50, 診断と治療社, 1992.
- 11) 加納宣康: [分担] 腹腔鏡下虫垂切除術. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 105~111, 診断と治療社, 1992.
- 12) 加納宣康: [分担] 緊急腹腔鏡(急性腹症, 腹部外傷). “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 113~117, 診断と治療社, 1992.
- 13) 加納宣康, 山川達郎: [分担] XVII-2. 腹腔鏡による胆嚢摘出術. “消化器内視鏡治療マニュアル”(藤田力也, 比企能樹編), P. 230~237, 南江堂, 1992.
- 14) 酒井 滋: [分担] 腹腔鏡下外科手術に必要な器械と器具. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 7~20, 診断と治療社, 1992.
- 15) 金子 等: [分担] XIII. 腸重積, S状結腸捻転症に対する大腸内視鏡. “外科医のための消化器内視鏡”(渡辺 豊, 山川達郎編), P. 307~311, 中外医学社, 1992.
- 16) 酒井 滋: [分担] 高周波メス, レーザーメス, 超音波メス. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 51~61, 診断と治療社, 1992.
- 17) 酒井 滋: [分担] 腹腔鏡下胆嚢摘出術. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 91~103, 診断と治療社, 1992.
- 18) 酒井 滋, 山川達郎, 石川泰郎, 加納宣康: [分担] 第XIV章. 腹腔鏡下治療処置, 2. 腹腔鏡下胆嚢摘出術. “消化器内視鏡治療の実際”(丹羽寛文編), P. 388~397, 日本メディカルセンター, 1992.
- 19) 酒井 滋: [分担] X. 大腸癌手術と内視鏡, C. 術中内視鏡. “外科医のための消化器内視鏡”(渡辺 豊, 山

- 川達郎編), P. 273~275, 中外医学社, 1992.
- 20) 酒井 滋: [分担] X. 大腸癌手術と内視鏡, C. 術後内視鏡. “外科医のための消化器内視鏡”(渡辺 豊, 山川達郎編), P. 275~277, 中外医学社, 1992.
 - 21) 酒井 滋: [分担] X. 大腸癌手術と内視鏡, C. 内視鏡的治療. “外科医のための消化器内視鏡”(渡辺 豊, 山川達郎編), P. 277~279, 中外医学社, 1992.
 - 22) 酒井 滋: [分担] X. 大腸癌手術と内視鏡, C. 偶発症. “外科医のための消化器内視鏡”(渡辺 豊, 山川達郎編), P. 279, 中外医学社, 1992.
 - 23) 田中宣威, 恩田昌彦: [分担] 治療法をめぐる最近の進歩 消化管の通過障害. 消化器疾患 I. 胃・腸 P. 240~241, 医歯薬出版, 1993.
 - 24) 平井 淳, 山川達郎: [分担] XIV. 経皮経肝内視鏡による治療. “消化器内視鏡治療マニュアル”(藤田力也, 比企能樹編), P. 195~209, 南江堂, 1992.
 - 25) 山川達郎: [編集] 腹腔鏡下外科手術, 診断と治療社, 1992.
 - 26) 山川達郎: [分担] 腹腔鏡下外科手術の歴史. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 3~5, 診断と治療社, 1992.
 - 27) 山川達郎: [分担] その他の腹腔鏡下外科手術. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 119~126, 診断と治療社, 1992.
 - 28) 山川達郎: [分担] 腹腔鏡下外科手術の将来, 展望. “腹腔鏡下外科手術”(山川達郎編), P. 127~128, 診断と治療社, 1992.
 - 29) 山川達郎, 飯泉成司, 三芳 端: [分担] 第XII章. 胆道疾患に対する治療, 6. 術中胆道鏡, 術後胆道鏡による結石除去. “消化器内視鏡治療の実際”(丹羽寛文編), P. 357~366, 日本メディカルセンター, 1992.
 - 30) 山川達郎: [分担] 米国における外科消化器内視鏡医の動向. “外科医のための消化器内視鏡”(渡辺 豊, 山川達郎編), P. 17~18, 中外医学社, 1992.
 - 31) 山川達郎: [分担] VII. 胆・膵疾患と内視鏡, C. 胆道鏡, 2. 胆道鏡の臨床的意義, c) 術中胆道鏡. “外科医のための消化器内視鏡”(渡辺 豊, 山川達郎編), p. 197~200, 中外医学社, 1992.
 - 32) 山川達郎: [分担] VII. 胆・膵疾患と内視鏡, C. 胆道鏡, 2. 胆道鏡の臨床的意義, d) 術後胆道鏡. “外科医のための消化器内視鏡”(渡辺 豊, 山川達郎編), P. 201~207, 中外医学社, 1992.
 - 33) 山下精彦, 恩田昌彦: [分担] 消化器疾患2. 胃炎—急性胃拡張症—. 最新内科学大系41, P. 351-357, 中山書店, 1993.
 - 34) 山下精彦, 恩田昌彦: [分担] 消化器疾患2. 胃炎—胃軸捻転症(井村裕夫, 尾形悦郎, 高久史磨, 新井清一郎編). 最新内科学大系41, P. 359~365, 中山書店, 1993.
 - 35) 山下精彦: [分担] 食道疾患 食道良性狭窄. 新臨床内科学第6版, P. 451, 医学書院, 1993.
 - 36) 山下精彦: [分担] 食道破裂, 穿孔(高久史磨, 尾形悦郎監修). 新臨床内科学第6版, P. 452, 医学書院, 1993.
 - 37) 山下精彦: [分担] 緊急手術患者の周術期管理「腹部手術患者」(小川 龍編), P. 101~109, 克誠堂, 1993.
 - 38) Yamakawa, T.: [分担] Percutaneous cholangioscopy on biliary tract diseases. “Therapeutic gastrointestinal endoscopy”(Shim, C.S. eds), P. 277~295, Korean Medical Publishing Co. (Seoul), 1992.
 - 39) Yamakawa, T.: [分担] Laparoscopic cholecystectomy; Preoperative evaluation, contraindication, complications and its clinical significance. “Update on Gastrointestinal and Hepato-biliary Disorders”(Kurathong, S., Wongpaitoon, V., Akarawong, K., eds), P. 124~129, Bangkok Medical Publisher (Bangkok), 1992.

〔前年度追加分〕

- 1) 古川清憲, 恩田昌彦: [分担] ショックのステロイド療法. 外科診療Q & A第21号, P. 1674~1677, 六法出版, 1991.

- 2) 古川清憲, 恩田昌彦: [分担] 細菌性ショック. 外科診療Q&A第21号, P. 1642~1645, 六法出版, 1991.
- 3) 古川清憲, 恩田昌彦: [分担] イレウス・腹膜炎ショック. 外科診療Q&A第21号, P. 1640~1641, 六法出版, 1991.
- 4) 鈴木英之, 恩田昌彦, 古川清憲, 田中宣威, 石川紀行, 小林丈泰, 金 雅辰, 菊池俊雄, 丸山 弘, 金沢義一: [分担] 消化器外科手術時の腹腔内汚染と術後感染症に関する検討. (日本外科感染症研究会編), 日本外科感染症研究, 3, P. 128~131, 医薬ジャーナル社, 1991.

学会発表

- 1) 秋山 暢, 佐々木博己, 鶴田宏之, 坂本裕美, 瀬戸加大, 上田龍三, 平井久丸, 杉村 隆, 寺田雅昭: [一般講演] リンパ造血器腫瘍細胞における BCL-1領域近傍の4つの遺伝子の発現. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 2) 天野 仁, 酒井 滋, 石川泰郎, 加納宣康, 山川達郎, 大工園則雄: [一般講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術におけるフック型コンタクトレーザーチップの使用経験. 第10回消化器レーザー内視鏡研究会, 1992.
- 3) 天野 仁, 大滝修司, 草間泰夫, 森下慎一郎, 島倉和朗, 館花明彦, 本田 拓, 福岡英祐, 酒井 滋, 石川泰郎, 加納宣康, 山川達郎: [一般講演] 大腸内視鏡検査に対する園芸用ポンプを応用した持続的洗浄ポンプの有用性. 第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 4) 天野 仁, 直江哲郎, 館花明彦, 小長谷一郎, 本田 拓, 酒井 滋, 石川泰郎, 加納宣康, 山川達郎: [一般講演] 胆道ディスクネジにて胆嚢十二指腸吻合後28年での胆石症の1手術例. 第223回日本消化器病学会関東支部例会, 1993.
- 5) 石川紀行, 恩田昌彦, 古川清憲, 田中宣威, 小林丈泰, 金 雅辰, 菊池俊雄, 丸山 弘: [一般講演] エンドトキシンショック時の肝細胞障害発生機序に関する実験的研究 ; とくに多核白血球の関与について. 第7回日本 Shock 学会総会, 1992.
- 6) 石川泰郎, 酒井 滋, 加納宣康, 山川達郎, 永井孝三, 賀古 真: [一般講演] PTGBDに腹腔鏡下胆嚢摘出術を行った急性胆嚢炎の3例. 第4回内視鏡下外科手術研究会, 1992.
- 7) 石川泰郎, 酒井 滋, 加納宣康, 山川達郎, 宮本康二: [要演課題] 上腹部手術歴のある症例に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術 (主題: 腹腔鏡を用いた新しい診断治療手技). 第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 8) 石川泰郎, 酒井 滋, 加納宣康, 山川達郎: [示説] 総肝管熱損傷に起因する術後胆汁瘻の1例. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 9) 石川泰郎, 酒井 滋, 加納宣康, 山川達郎: [パネルディスカッション] 腹腔鏡下胆嚢摘出術の術中偶発症及びその対処法 (主題: 術中重篤合併症とその処置; 特に胆道損傷と肝動脈損傷について). 第3回腹腔鏡的胆嚢摘出術研究会, 1992.
- 10) 石川泰郎, 山川達郎, 本田 拓, 小長谷一郎, 館花明彦, 御江慎一郎, 直江哲郎, 酒井 滋, 加納宣康: [一般講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術の基本手技に関する検討. 第55回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 11) 石川泰郎, 本田 拓, 酒井 滋, 加納宣康, 山川達郎: [一般講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術における術前 ERCP の意義. 第5回内視鏡下外科手術研究会, 1993.
- 12) 飯田信也, 恩田昌彦, 服部 豊¹⁾, 坂本裕美¹⁾, 広橋説雄²⁾, 寺田雅昭¹⁾ (1)国立がんセンター研究所分子腫瘍学部, ²⁾同病理部): [シンポジウム] ヒト胃癌, 食道癌における線維芽細胞増殖因子群の発現の解析 (主題: 消化器癌の発生, 進展に関する分子生物学的アプローチ). 第4回日本消化器癌発生研究会, 1992.
- 13) 飯田信也, 木内博之, 宮下正夫, 高崎秀明, 美濃部かおり, 内藤委伸¹⁾ (1)北村山公立病院外科): [一般講演] 早期胃癌に対する内視鏡的エタノール注入療法. 第144回日本消化器病学会東北支部例会, 1992.
- 14) 池野廣幸¹⁾, 菅原 通¹⁾, 野本恵子¹⁾, 原 文男¹⁾, 大川共一 (1)第二病院中検): [一般講演] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考案 (第一報) - 試作品について. 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 15) 池野廣幸¹⁾, 菅原 通¹⁾, 原 文男¹⁾, 大川共一 (1)第二病院中検): [一般講演] 環境調査のための簡易細菌検出

用フィルム培地の検討（第三報）；付着菌の評価，第8回日本環境感染学会総会，1993.

- 16) 市川太郎¹⁾，田島廣之¹⁾，林 宏光¹⁾，渡 潤¹⁾，天野康雄¹⁾，高木 亮¹⁾，隈崎達夫¹⁾（¹⁾放射線科），田尻 孝，金 徳栄，浅野伍朗²⁾（²⁾病理第2）：〔一般講演〕興味ある画像所見を呈した周囲環状に高分化な部分を伴う肝細胞癌の1例，第5回腹部放射線研究会，1992.
- 17) Ishikawa, Y., Yamakawa, T., Sakai, S., and Kano, N. : 〔ビデオフォーラム〕Laparoscopic cholecystectomy using ultrasonic aspiration system. 3rd World Congress of Endoscopic Surgery (Bordeaux), 1992.
- 18) 井上幸彦¹⁾，百来比古¹⁾，文入正敏¹⁾，親見やよい²⁾，山下精彦¹⁾（形成外科，²⁾皮膚科）：〔一般講演〕Extend groin flap と大網弁による腹壁再建を行った転移性顆粒膜細胞腫の1例，第60回日本医科大学医学会総会，1992.
- 19) 井上幸彦¹⁾，百来比古¹⁾，秋元正字¹⁾，滝沢 康¹⁾，有吉雅徳¹⁾，文入正敏¹⁾，青木見佳子²⁾，親見やよい²⁾，山下精彦¹⁾（形成外科，²⁾皮膚科）：〔一般講演〕Extended groin Flap により腹壁再建を行った転移性顆粒膜細胞腫の1例，第167回日本形成外科学会東京地方会，1992.
- 20) Igaki, H., Tsuruta, H., Ochiai, A., Sakamoto, H., Hirohashi, S., Watanabe, H., Kato, J., Tachimori, Y., and Terada, M. : 〔一般講演〕The genes on amplification unit at human chromosome 11q13 in esophageal cancer. The Eighth Congress of the Japanese Section of the International Society for Diseases of the Esophagus (Sendai), 1992.
- 21) 内田英二，恩田昌彦，山中洋一郎，小林 匡，相本隆幸，横山 正，田尻 孝，江上 格：〔シンポジウム〕膵臓癌の生物学的悪性度の指標；特に増殖能について（腫瘍性膵疾患における組織学的ならびに生物学的悪性度の指標），第23回日本膵臓学会大会，1992.
- 22) 梅森真理，森山雄吉，恩田昌彦：〔一般講演〕多目的血液回路 MU-1 の開発，医工学治療研究会第5回学術大会，1993.
- 23) 小栗 剛，恩田昌彦，徳永 昭，寺本 忠，藤田逸郎，奥田武志，水谷 崇，木山輝郎，西 恵吾，岡崎滋樹，松倉則夫，山下精彦：〔展示〕若年者胃癌における癌背景粘膜の病理組織化学的検索，第41回日本消化器外科学会総会，1993.
- 24) 大滝修司，金子 等，山川達郎：〔一般講演〕制癌剤油脂懸濁液の局注療法に関する実験的検討，第14回癌局所療法研究会，1992.
- 25) 大滝修司，金子 等，島倉和朗，森下慎一郎，館花明彦，石山純司，草間泰夫，加納宣康，山川達郎：〔一般講演〕制癌剤油脂（nimustine-lipiodol）懸濁液の局注療法に関する実験および臨床的研究，第40回日本消化器外科学会総会，1992.
- 26) 奥田武志，恩田昌彦，徳永 昭，藤田逸郎，水谷 崇，木山輝郎，吉行俊郎，清水康仁，西 恵吾，松倉則夫，田中宣威，山下精彦：〔一般講演〕体重減少を呈するヒト胃癌移植ヌードマウスによる癌悪液質の研究，第78回日本消化器病学会総会，1992.
- 27) 奥田武志，恩田昌彦，徳永 昭，寺本 忠，藤田逸郎，水谷 崇，木山輝郎，吉行俊郎，清水康仁，西 恵吾，松倉則夫，田中宣威，山下精彦：〔一般講演〕ヌードマウス移植ヒト胃癌の増殖に対するEGF（Epidermal growth factor）の影響，第4回日本消化器癌発生研究会，1992.
- 28) 奥田武志，恩田昌彦，徳永 昭，寺本 忠，小栗 剛，藤田逸郎，水谷 崇，木山輝郎，吉行俊郎，清水康仁，西 恵吾，松倉則夫，田中宣威，山下精彦，杉崎祐一¹⁾，山中宣昭¹⁾（¹⁾病理第1）：〔展示〕ヌードマウス移植ヒト胃癌の増殖に対するEGF（Epidermal growth factor）及び抗EGFR抗体の影響，第60回日本医科大学医学会総会，1992.
- 29) 奥田武志，恩田昌彦，徳永 昭，寺本 忠，小栗 剛，藤田逸郎，水谷 崇，木山輝郎，吉行俊郎，清水康仁，西 恵吾，松倉則夫，田中宣威，山下精彦，杉崎祐一¹⁾，山中宣昭¹⁾（¹⁾病理第1）：〔展示〕ヌードマウス移植ヒト胃癌の増殖に対するEGF（Epidermal growth factor）の効果，第51回日本癌学会総会，1992.
- 30) 小長谷一郎，加納宣康，石川泰郎，酒井 滋，福岡英祐，本田 拓，春日井尚，西田昌道，天野 仁，館花明彦，

- 直江哲郎, 山川達郎：〔一般講演〕腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術。第5回内視鏡下外科手術研究会, 1992.
- 31) 春日井尚, 加納宣康, 石川泰郎, 酒井 滋, 福間英祐, 本田 拓, 西田昌道, 小長谷一郎, 天野 仁, 館花明彦, 山川達郎：〔一般講演〕腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の経験。第747回外科集談会, 1992.
 - 32) 春日井尚, 加納宣康, 石川泰郎, 酒井 滋, 福間英祐, 本田 拓, 西田昌道, 小長谷一郎, 天野 仁, 館花明彦, 山川達郎：〔一般講演〕胆石症に併存した肝嚢胞に腹腔鏡下嚢胞開窓術及び胆嚢摘出術を施行した1例。第5回内視鏡下外科手術研究会, 1993.
 - 33) 加納宣康, 山川達郎：〔提言ビデオ〕腹腔鏡下手術の現況と将来展望。第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
 - 34) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 本田 拓, 大滝修司, 永井孝三, 賀古 真：〔パネルディスカッション〕腹腔鏡下胆嚢摘出術の将来（主題：腹腔鏡下胆嚢摘出術の perspective）。第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
 - 35) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 本田 拓, 福間英祐, 大滝修司, 草間泰夫, 天野 仁, 館花明彦, 森下慎一郎, 島倉和朗：〔シンポジウム〕内視鏡下手術の適応拡大（主題：胆石症に対する対応と拡大）。第4回内視鏡下外科手術研究会, 1992.
 - 36) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 本田 拓, 大滝修司, 天野 仁, 館花明彦, 森下慎一郎, 島倉和朗：〔一般講演〕腹腔鏡下胆嚢摘出術および総胆管切開と術後胆道鏡による総胆管結石症の1治験例。第34回日本消化器病学会大会, 1992.
 - 37) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 本田 拓, 大滝修司, 草間泰夫, 天野 仁, 館花明彦, 森下慎一郎：〔シンポジウム〕最近の虫垂炎治療の変化：腹腔鏡下虫垂切除術の導入（主題：急性虫垂炎の治療は変わったか?）。第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
 - 38) 加納宣康, 山川達郎：〔ビデオシンポジウム〕術前確定診断が困難な虫垂炎例に対する緊急腹腔鏡および腹腔鏡下虫垂切除術の基本手技（主題：内視鏡診断と治療の基本手技）。第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
 - 39) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 本田 拓, 大滝修司, 館花明彦, 天野 仁, 草間泰夫：〔要望演題〕確定診断が困難な虫垂炎疑診例に対する緊急腹腔鏡および腹腔鏡下虫垂切除術の有用性（主題：腹腔鏡を用いた新しい診断治療手技）。第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
 - 40) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 本田 拓, 大滝修司, 草間泰夫, 館花明彦, 森下慎一郎：〔シネ・ビデオクリニック〕腹腔鏡下虫垂切除術の基本手技。第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
 - 41) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 福間英祐, 本田 拓, 春日井尚, 小長谷一郎, 館花明彦, 御江慎一郎, 直江哲郎：〔一般講演〕腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行し胆嚢癌と判明した5例。第41回日本消化器外科学会総会, 1993.
 - 42) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 福間英祐, 本田 拓, 春日井尚, 小長谷一郎, 館花明彦, 御江慎一郎, 直江哲郎, 水口國雄：〔示説〕腹腔鏡下胆嚢摘出術の手技が胆嚢の病理組織学的検査に与える影響。第41回日本消化器外科学会総会, 1993.
 - 43) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 福間英祐, 本田 拓, 春日井尚, 小長谷一郎, 西田昌道, 館花明彦：〔パネルディスカッション〕腹腔鏡下胆嚢摘出術における術中偶発症とその対処法（主題：Endoscopic surgery of the pitfall：腹腔鏡下胆嚢摘術）。第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.
 - 44) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 福間英祐, 本田 拓, 春日井尚, 西田昌道, 天野 仁, 小長谷一郎, 館花明彦, 直江哲郎：〔主題関連演題〕特異なイレウス：Ogilvie 症候群（acute colonic pseudo-obstruction）の臨床（主題：特殊なイレウス）。第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.
 - 45) 加納宣康, 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 福間英祐, 本田 拓, 春日井尚, 西田昌道, 小長谷一郎, 天野 仁, 館花明彦：〔一般講演〕肝内結石症術後長期経過観察中に発生した膵体部癌の1例。第79回日本消化器病学会総会, 1993.
 - 46) Kano, N.：〔シンポジウム〕Laparoscopic hernia repair.German-Japan Round Table Discussion for the

Minimal Invasive Surgery (Tokyo), 1993.

- 47) Kano, N., Yamakawa, T., Ishikawa, Y., Sakai, S., Honda, H., and Tachibana, A.: [シンポジウム] The present of laparoscopic surgery and the perspective to the future (Thema: Endoscopic surgery 2). 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 48) Kano, N., Yamakawa, T., Sakai, S., Ishikawa, Y., Honda, H., Otaki, S., Tachibana, A., Ohmura, A., and Sha, M.: [一般講演] Application of ultrasonic aspirator for laparoscopic cholecystectomy. 4th World Congress of Hepato-Pancreatico-Biliary Surgery (Hong Kong), 1992.
- 49) Kano, N., Yamakawa, T., Ishikawa, Y., Sakai, S., Honda, H., Tachibana, A., Ohmura, A., Sha, M., and Nakamura, T.: [一般講演] Experience with laparoscopic surgery. 4th World Congress of Hepato-Pancreatico-Biliary Surgery (Hong Kong), 1992.
- 50) Kano, N., Yamakawa, T., Ishikawa, Y., Sakai, S., Otaki, S., and Honda, H.: [一般講演] Usefulness of hook scalpel in laparoscopic cholecystectomy. 13th World Congress of Collegium International Chirurgiae Digestivae (Athenes), 1992.
- 51) Kano, N., Yamakawa, T., Ishikawa, Y., Sakai, S., Honda, H., and Otaki, S.: [一般講演] Laparoscopic cholecystectomy: Clinical trial and preliminary result in 250 initial patients. 13th World Congress of Collegium International Chirurgiae Digestivae (Athenes), 1992.
- 52) Kato, S., Petruzzelli, S., Bowman, E.D., Weston, A., and Shields, P.G.: [ポスター] Combined high performance liquid chromatography (HPLC) 32P-postlabeling assay for the detection of alkyldeoxyguanosine adducts. 83rd Annual Meeting of the American Association for Cancer Research, 1992.
- 53) 金沢義一, 恩田昌彦, 田中宣威, 古川清憲, 横井公良, 瀬谷知子, 横山滋彦, カーン・ハヤト, 佐々部一: [展示] 肛門癌を伴った乳房外 Paget 病の 1 例. 第47回大腸肛門病学会総会, 1992.
- 54) 京野昭二, 恩田昌彦, 陳 大志, 森山雄吉, 中島米治郎, 古川清憲, 浅野伍朗¹⁾ (1)病理第2): [ワークショップ] 阻血による腸管癒着の発生機序ならびにウロキナーゼの予防効果に関する実験的研究 (ワークショップ 1 癒着のメカニズムと対策). 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 55) 京野昭二, 恩田昌彦, 森山雄吉, 陳 大志, 古川清憲, 中島米治郎, 相本隆幸, 横山滋彦: [主題関連演題] 虚血に由来すると考えられた特殊なイレウスの 1 例 (主題: 特殊なイレウス). 第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.
- 56) 木村美保, 飯田信也, 斎藤忠生, 木内博之¹⁾ (1)北村山公立病院外科): [一般講演] 過去 5 年間に経験した上部消化管穿孔27例の検討. 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 57) 木山輝郎: [奨励賞記念講演] Correlation between epidermal growth factor receptor concentration and the growth of human gastric cancer xenografts in nude mice. 第79回日本消化器病学会総会, 1993.
- 58) 金 雅辰, 恩田昌彦, 古川清憲, 田中宣威, 石川紀行, 小林丈泰, 菊池俊雄, 丸山 弘: [一般講演] エンドトキシンショック時の肝細胞障害の機序; 特に, Kupffer 細胞とアラキドン酸代謝産物の関与について. 第7回日本 Shock 学会総会, 1992.
- 59) 金 雅辰¹⁾, 羽尾邦彦¹⁾, 林久太佳¹⁾, 恩田昌彦 (1)国立横須賀病院): [展示] 胸筋温存乳房切断術を施行した両側乳癌の 1 症例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 60) 草間泰夫, 森下慎一郎, 島倉和朗, 大滝修司, 酒井 滋, 本田 拓, 石川泰郎, 加納宣康, 山川達郎: [ビデオセッション] 腹腔鏡下虫垂切除術の手術手技 (主題: Laparoscopic surgery). 第54回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 61) Kusama, Y., Kano, N., Yamakawa, T., Ishikawa, Y., Sakai, S., Honda, H., Otaki, S., and Amano, H.: [示説] Experience with laparoscopic appendectomy. 9th Asian-Pacific Congress of Gastroenterology & 6th Asian-Pacific Congress of Digestive Endoscopy (Bangkok), 1992.

- 62) 小嶋隆行, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 西久保秀紀, 松崎 栄, 山下精彦, 増森興治, 隈崎達夫¹⁾, 田島廣之¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 特発性門脈圧亢進症の治療法としての脾動脈塞栓術の検討. 第79回日本消化器病学会総会, 1993.
- 63) 小河原美代子, 軽部みなど, 高橋 通, 水野三子, 菊池三郎, 原 文男, 大川共一: [一般講演] エイズに対する医療従事者の意識に関する調査. 第13回神奈川病院学会, 1992.
- 64) 小林 匡, 山中宣昭¹⁾, 田村浩一²⁾, 恩田昌彦 (¹⁾病理第1, ²⁾病理部): [展示] ハムスター膀胱癌過程および同種継代移植における血型関連物質と細胞増殖との関連性. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 65) 紺野明子¹⁾, 上田ひろみ¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦, 森山雄吉, 松田範子, 金 徳栄 (¹⁾付属病院中検): [一般講演] 高ビリルビン血症における OHP の有用性について. 医工学治療研究会第5回学術大会, 1993.
- 66) 斎藤忠生¹⁾, 木内博之¹⁾, 飯田信也¹⁾, 木村美保¹⁾, 玉井 仁²⁾, 田寺 長³⁾ (¹⁾北村山公立病院外科, ²⁾同放射線科, ³⁾同内科): [一般講演] 術前血管造影検査にて診断し得た外傷性腸間膜断裂の1例. 第145回日本消化器病学会東北支部例会, 1992.
- 67) 酒井 滋, 山川達郎, 加納宣康, 石川泰郎: [要望演題] 総胆管結石を合併した胆嚢結石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の応用 (主題: 腹腔鏡を用いた新しい診断治療手技). 第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 68) 酒井 滋, 山川達郎: [一般講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術の適応と成績. 第1回腹腔鏡下胆嚢摘出術研究会, 1992.
- 69) 酒井 滋, 山川達郎: [シンポジウム] 腹腔鏡下胆嚢摘出術の課題と将来展望 (主題: 外科と内科の接点; 腹腔鏡手術の現在と未来). 第55回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 70) 酒井 滋, 山川達郎, 加納宣康, 石川泰郎: [シンポジウム] 総胆管結石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の経験; 特に術前 EST の有用性について (主題: 総胆管結石に対する治療). 第5回内視鏡下外科手術研究会, 1993.
- 71) 佐々木博己, 秋山 暢, 鶴田宏之, 坂本裕美, 浴 俊彦, 村上康文, 横山一成, 添田栄一, 杉村 隆, 大石道夫, 寺田雅昭: [一般講演] IGCR (In gel competitive reassociation) 法によって示された食道がんの複数 DNA 増幅領域. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 72) 佐々木博己, 秋山 暢, 鶴田宏之, 坂本裕美, 浴 俊彦, 村上康文, 横山一成, 添田栄一, 杉村 隆, 大石道夫, 寺田雅昭: I [一般講演] GCR (In gel competitive reassociation) 法によって示された食道がんの複数 DNA 増幅領域. 第15回日本分子生物学会年会, 1992.
- 73) Sakamoto, H., Sasaki, H., Tsuruta, H., Akiyama, N., Ohmura, Y., Yoshida, T., Sugimura, T., and Terada, M.: [一般講演] Characterization of the genes on amplification unit at human chromosome 11q13 in esophageal cancer. Eighth Annual Meeting on Congress (Maryland USA), 1992.
- 74) Sasaki, H., Akiyama, N., Tanaka, M., Tsuruta, H., Sakamoto, H., Sugimura, T., Oishi, M., and Terada, M.: [一般講演] Presence of multiple amplified sequences in human cancer revealed by a genomic subtraction method. Eighth Annual Meeting on Congress, (Maryland, USA), 1992.
- 75) 柴田泰史¹⁾, 上田ひろみ¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦, 辺見 弘²⁾, 益子邦洋²⁾, 木村昭夫²⁾, 大塚敏文²⁾ (¹⁾検査部, ²⁾救急医学): [一般講演] 気管支挿管・人工呼吸器使用中の患者における気管内からの細菌検出状況. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 76) 菅原 通¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 野本恵子¹⁾, 原 文男¹⁾, 大川共一 (¹⁾第二病院中検): [一般講演] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考察 (第2報); 付着菌の検討. 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 77) 菅原 通¹⁾, 池野廣幸¹⁾, 原 文男¹⁾, 大川共一 (¹⁾第二病院中検): [一般講演] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の検討 (第4報); 手術野における消毒効果の評価. 第8回日本環境感染学会総会, 1993.
- 78) 瀬川純子¹⁾, 山下精彦, 皆川 彰²⁾, 小川博康³⁾, 八木 寛³⁾, 進純 郎³⁾ (¹⁾検査部, ²⁾内科第4, ³⁾産婦人科): [一般講演] 妊娠糖尿病における血中遊離アミノ酸測定の意義についての検討-第4報-. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 79) 瀬谷知子, 恩田昌彦, 田中宣威, 古川清憲, 横井公良, 横山滋彦, カーン・ハヤト, 金沢義一, 下村隆保: [展

示〕教室で経験した多発性大腸腺腫の3例。第37回大腸癌研究会, 1992.

- 80) 瀬谷知子, 恩田昌彦, 田中宣威, 森山雄吉, 徳永 昭, 古川清憲, 横井公良, 横山滋彦, カーン・ハヤト, 金沢義一, 下村隆保, 佐々部一, 浅野伍朗¹⁾ (1)病理第2): 〔展示〕ヌードマウス可移植大腸癌原発巣および肝転移巣における組織内 CEA 量と免疫組織学的検討。第47回日本大腸肛門病学会総会, 1992.
- 81) Seya, T., Tanaka, N., Onda, M., Furukawa, K., Yokoi, K., Khan, H., Yokoyama, S., Yana, M., Asano, G.¹⁾, Naitoh, Z.¹⁾, Aida, K.¹⁾, and Kawahara, K.¹⁾: 〔一般講演〕Immunohistochemical and electronmicroscopic studies on colo rectal adenocarcinoids and carcinoids. The 13th World Congress of Collegium Internationale Chirurgiae Digestivae (Athens), 1992.
- 82) 園部一成¹⁾, 太田 綾¹⁾, 橋本政子¹⁾, 野本剛史¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦 (1)検査部): 〔一般講演〕HCV 関連抗体測定系別比較検討。第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 83) Terada, M., Hamaguchi, M., Tsuruta, H., Sakamoto, H., Akiyama, N., and Sasaki, H.: 〔一般講演〕Biological significance of amplified DNA sequences in esophageal cancer. The Sixth International Symposium of the Foundation for Promotion of Cancer Research (Tokyo), 1993.
- 84) 高木 豊¹⁾, 田中久美¹⁾, 佐藤寛之¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦, 山田和彦²⁾ (1)検査部, 2)泌尿器科): 〔一般講演〕モノクローナル抗体を用いた FPIA 法による全血中シクロスポリン濃度の有用性について。第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 85) 高岡雅子, 矢嶋浩三, 嶋本和子, 大川共一: 〔一般講演〕快適な術衣についての考案。第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 86) 田尻 孝, 恩田昌彦: 〔シンポジウム〕食道胃静脈瘤硬化療法における塞栓療法併施の有用性; 食道胃静脈瘤硬化療法の現況と今後の展望。第78回日本消化器病学会総会, 1992.
- 87) Tajiri, T., Onda, M., Itoh, S., Arima, Y., Yokoyama, S., Yamashita, K., Moriyama, Y., Egami, K., Kim, D. Y., Aoki, N., Yokomuro, S., Kuroda, H.¹⁾, and Kobayashi, M.¹⁾ (1)内科第3): 〔一般講演〕Investigation of postsurgical intestinal motility after laparoscopic cholecystectomy. Third World Congress of Endoscopic Surgery (Bordeaux, France), 1992.
- 88) 田中久美¹⁾, 高木 豊¹⁾, 佐藤寛之¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦 (1)検査部): 〔一般講演〕TD×FL×を用いた血中薬物濃度の測定の基礎的検討。第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 89) 館花明彦, 石川泰郎, 加納宣康, 本田 拓, 大滝修司, 福岡英祐, 草間泰夫, 酒井 滋, 島倉和朗, 森下慎一郎, 天野 仁, 山川達郎, 水口國雄: 〔一般講演〕虫垂子宮内膜症の1例。第219回日本消化器病学会関東支部例会, 1992.
- 90) 館花明彦, 福岡英祐, 宇井義典, 加納宣康, 山川達郎, 水口國雄: 〔一般講演〕分泌乳癌(若年性乳癌)の2手術例。第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 91) 館花明彦, 福岡英祐, 直江哲郎, 天野 仁, 小長谷一郎, 春日井尚, 宇井義典, 本田 拓, 酒井 滋, 石川泰郎, 加納宣康, 山川達郎, 水口國雄: 〔一般講演〕早期胃癌に合併した両側多発乳癌の手術例。第748回外科集談会, 1993.
- 92) 谷合信彦, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 吉田 寛, 真々田裕宏, 西久保秀紀: 〔一般講演〕Single photon emission computed tomography (SPECT) による TAE 前後の Kupffer 細胞機能の検討。第78回日本消化器病学会総会, 1992.
- 93) 谷合信彦, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 吉田 寛, 真々田裕宏, 西久保秀紀, 山下精彦, 松倉則夫, 内藤委伸¹⁾, 木内博之¹⁾, 高崎秀明¹⁾ (1)北村山公立病院): 〔一般講演〕血管塞栓術により著効を得た十二指腸静脈瘤の1例。第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 94) 谷合信彦, 恩田昌彦, 田尻 孝, 鳥羽昌仁, 金 徳栄, 山下精彦, 梅原松臣, 吉田 寛, 増森興治, 真々田裕宏, 西久保秀紀, 小嶋隆行, 松崎 栄: 〔一般講演〕静脈瘤造影の分類と硬化療法の効果について。第15回食道静脈

瘤硬化療法研究会, 1993.

- 95) 谷合信彦, 恩田昌彦, 田中宣威, 田尻 孝, 金 徳栄, 古川清憲, 横井公良, 高崎秀明, 瀬谷知子, 真々田裕宏, 横山滋彦, 西久保秀紀, 菅 隼人, 金沢義一, 佐々部一: [一般講演] 大腸癌肝転移症例に対する動注療法の検討. 第38回大腸癌研究会, 1993.
- 96) Taniai, N., Onda, M., Tajiri, T., Toba, M., Yoshida, H., Mamada, Y., Nishikubo, H., Kim, D.Y., Umehara, M., Adachi, M., and Yamashita, K.: [一般講演] The prophylactic sclerotherapy for esophagogastric varices. Third World Congress of Endoscopic Surgery (Bordeaux, France), 1992.
- 97) 鶴田宏之, 佐々木博己, 秋山 暢, 坂本裕美, 大村宜久, 恩田昌彦, 杉村 隆, 寺田雅昭: [一般講演] 食道がんで高率に増幅している染色体11q13領域上の遺伝子 EXP1の解析. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 98) 鶴田宏之, 佐々木博己, 大村宜久, 坂本裕美, 秋山 暢, 恩田昌彦, 杉村 隆, 寺田雅昭: [一般講演] 食道がんにおける染色体11q13領域の増幅ユニットに存在する遺伝子 EXP1の解析. 第15回日本分子生物学会年会, 1992.
- 99) 寺本 忠, 恩田昌彦, 田中宣威, 田尻 孝, 古川清憲, 内田英二, 相本隆幸, 谷合信彦, 井上松応, 田島廣之¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 小腸悪性神経線維腫より大量出血を来した von Recklinghausen 病の1例. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 100) 徳永 昭, 恩田昌彦, 西 恵吾, 藤田逸郎, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 吉行俊郎, 清水康仁, 松倉則夫, 田中宣威, 山下精彦: [展示] 胃癌におけるエストロゲン結合物質または受容体の存在とその意義; スキルス胃癌に対する内分泌治療の試み. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 101) 徳永 昭: [シンポジウム] 組織障害; 修復の臨床的問題点 (主題: 組織障害と修復). 日本医科大学医学会第2回公開シンポジウム, 1992.
- 102) 徳永 昭, 恩田昌彦, 藤田逸郎, 奥田武志, 寺本 忠, 水谷 崇, 木山輝郎, 松倉則夫, Hunt T.K.¹⁾ (¹⁾Univ. of California, San Francisco): [展示] 手術侵襲後の創液中および血中サイトカイン, 成長因子の動態. 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 103) 徳永 昭, 恩田昌彦, 木山輝郎, 奥田武志, 寺本 忠, 藤田逸郎, 水谷 崇, 松倉則夫, 古川清憲, 田中宣威, 山下精彦: [一般講演] 消化器癌悪液質の病態評価; 臨床研究と動物モデルの応用. 第4回日本消化器癌発生研究会, 1992.
- 104) 徳永 昭, 恩田昌彦, 西 恵吾, 水谷 崇, 奥田武志, 小栗 剛, 寺本 忠, 藤田逸郎, 木山輝郎, 松倉則夫, 浅野伍朗: [展示] スキルス胃癌において発現する乳癌関連抗原 (ER, c-erbB-2, PS-2) の定義. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 105) 徳永 昭, 恩田昌彦, 寺本 忠, 小栗 剛, 藤田逸郎, 奥田武志, 飯田信也, 水谷 崇, 木山輝郎, 西 恵吾, 松倉則夫, 田中宣威, 山下精彦, 河村 堯¹⁾ (¹⁾産婦人科): [展示] Cancer family syndrome の一家系; 五重複癌患者の娘2人に認められた三重複癌. 第30回日本癌治療学会総会, 1992.
- 106) Tokunaga, A., Onda, M., Okuda, T., Teramoto, T., Oguri, T., Fujita, I., Mizutani, T., Kiyama, T., Shimizu, Y., Yoshiyuki, T., Nishi, K., and Matsukura, N.: [Poster] Prevention of growth of a human gastric cancer xenograft in nude mice with anti-EGF receptor antibody. UICC Kyoto International Symposium on Recent Advances in Management of Digestive Cancers (Kyoto), 1993.
- 107) Tokunaga, A., Onda, M., Fujita, I., Okuda, T., Mizutani, T., Kiyama, T., and Matsukura, N.: [Poster] Sequential changes in cell mediators of human wound fluids. Second Annual Scientific Meeting The Wound Healing Society (Richmond), 1992.
- 108) 鳥羽昌仁, 恩田昌彦, 田尻 孝, 山下精彦, 金 徳栄, 足立幹夫, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 西久保秀紀, 松崎 栄, 小嶋隆行, 隈崎達夫¹⁾, 大矢 徹¹⁾, 田島廣之¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 食道静脈瘤治療困難例の病態と対策. 第25回日本門脈圧亢進症研究会, 第14回食道静脈瘤硬化療法研究会合同研究会, 1992.

- 109) 鳥羽昌仁, 恩田昌彦, 田尻 孝, 山下精彦, 金 徳栄, 梅原松臣, 吉田 寛, 増森興治, 真々田裕宏, 西久保秀紀, 谷合信彦, 小嶋隆行, 松崎 栄: [一般講演] 食道胃静脈瘤に対する予防的硬化療法の問題点と対策. 第15回食道静脈瘤硬化療法研究会, 1993.
- 110) 友田尚子¹⁾, 福田高久¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦^{(1)検査部}: [一般講演] ラウリル硫酸ナトリウムによる Hb 濃度測定法の基礎的検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 111) 直江哲郎, 館花明彦, 天野 仁, 本田 拓, 酒井 滋, 石川泰郎, 加納宣康, 山川達郎: [一般講演] 緊急血管造影が有効であった小腸の出血性平滑筋腫の1治験例. 第222回日本消化器病学会関東支部例会, 1992.
- 112) 長澤重直, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 徳永 昭, 古川清憲, 長谷川博一, 堀場光二, 松本智司: [一般講演] 急性リンパ性白血病の経過中に白血病細胞の浸潤により急性虫垂炎様症状を呈した1例. 第749回外科集談会, 1992.
- 113) 中村祐三¹⁾, 福田高久¹⁾, 山本信也¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦^{(1)検査部}: [一般講演] モノクロナール抗体を用いた染色法の基礎的検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 114) 西久保秀紀, 恩田昌彦, 田尻 孝, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 山下精彦, 金 徳栄, 足立幹夫, 岡崎滋彦, 寺本 忠: [一般講演] 術前血管塞栓術が有用であった肝硬変性食道静脈瘤合併早期胃癌の1例. 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 115) 西久保秀紀, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 小嶋隆行: [一般講演] 門脈血に占める脾静脈血の割合 (SV%) と脾体積からみた選択的脾動脈塞栓術の効果予測. 第28回日本肝臓学会総会, 1992.
- 116) 西久保秀紀, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 小嶋隆行: [一般講演] 選択的脾動脈塞栓術 (SAE) における門脈血に占める脾静脈血の割合 (SV%) と脾体積からみた有用性. 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 117) 西久保秀紀, 恩田昌彦, 田尻 孝, 山下精彦, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 足立幹夫, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 小嶋隆行, 松崎 栄, 隈崎達夫¹⁾, 大矢 徹¹⁾, 田島廣之¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 猪瀬型肝炎脳症に対する治療: 開存した傍臍静脈閉鎖術の3症例. 第25回日本門脈圧亢進症研究会, 第14回食道静脈瘤硬化療法研究会合同研究会, 1992.
- 118) 西久保秀紀, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 小嶋隆行, 松崎 栄, 山下精彦, 田島廣之¹⁾, 隈崎達夫¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 選択的脾動脈塞栓術 (SAE) の効果予測についての検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 119) 西久保秀紀, 恩田昌彦, 田尻 孝, 鳥羽昌仁, 金 徳栄, 山下精彦, 梅原松臣, 吉田 寛, 増森興治, 真々田裕宏, 谷合信彦, 小嶋隆行, 松崎 栄: [一般ビデオ] 食道胃静脈瘤における系統的血管塞栓術の有用性について. 第15回食道静脈瘤硬化療法研究会, 1993.
- 120) Nishikubo, H., Onda, M., Tajiri, T., Toba, M., Umehara, M., Yoshida, H., Mamada, Y., Taniai, T., Yamashita, K., Sasajima, K., Kim, D.Y., Adachi, M., Kojima, T., and Matsuzaki, S.: [一般講演] Angiographic blood flow pattern in ineffective endoscopic sclerotherapy. 13th World Congress of Collegium Internationale Chirurgiae Digestivae (Athens Greece), 1992.
- 121) 浜口正章, 坂本裕美, 鶴田宏之, 佐々木博己, 杉村 隆, 寺田雅昭: [一般講演] Establishment of highly sensitive and specific exon-trapping system. 日本におけるヒトゲノム研究会, 1992.
- 122) 浜口正章, 鶴田宏之, 佐々木博己, 武藤徹一郎, 坂本裕美, 寺田雅昭: [一般講演] Exon trapping system の確立と11q13増幅ユニット上に存在する遺伝子同定への応用. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 123) 浜口正章, 鶴田宏之, 坂本裕美, 秋山 暢, 佐々木博己, 武藤徹一郎, 杉村 隆, 寺田雅昭: [一般講演] 高感度エクソントラッピング法 (SETS) の確立. 第15回日本分子生物学会年会, 1992.
- 124) Hamaguchi, M., Sakamoto, H., Tsuruta, H., Sasaki, H., Muto, T., Sugimura, T., and Terada, M.: [一般

- 講演] Exon-Trap mediated gene detection. The Human Genome Project International Conference (Nice, France), 1992.
- 125) Hamaguchi, M., Sakamoto, H., Tsuruta, H., Sasaki, H., Muto, T., Sugimura, T., and Terada, M.: [一般講演] Establishment of a highly sensitive exon-trapping system Analisi del DNA, Firenze, Italy, Analisi del DNA: P8, 1993.
- 126) 羽尾邦彦¹⁾, 小泉信一郎¹⁾, 木山輝郎¹⁾ (¹⁾国立横須賀病院): [一般講演] 術前診断が困難であった比較的稀なイレウスの2症例. 第47回国立病院療養所総合医学会, 1992.
- 127) 畑 典武¹⁾, 宮川秀郎¹⁾, 庄司 敏¹⁾, 木村良峰¹⁾, 羽尾邦彦²⁾, 国見聡宏³⁾, 岸田 浩³⁾, 早川弘一³⁾ (¹⁾国立横須賀病院循環器科, ²⁾国立横須賀病院外科, ³⁾日本医大内科第1): [一般講演] 開腹手術後の心電図所見悪化と過齢との関係. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 128) 長谷川栄子¹⁾, 瀬川純子¹⁾, 吉住正和¹⁾, 山本信也¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦 (¹⁾検査部): [一般講演] LPIA-200を用いた血中 FDP, 尿中 FDP の測定. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 129) 福間英祐, 宇井義典, 館花明彦, 石山純司, 加納宣康, 山川達郎: [一般講演] 乳癌術前化学療法における効果判定. 第1回日本癌病態治療研究会, 1992.
- 130) 福間英祐, 宇井義典, 館花明彦, 森下慎一郎, 加納宣康, 山川達郎: [一般講演] NAT を用いた乳癌の縮小手術の試み; QOL の改善をめざして. 第4回日本内分泌外科学会総会, 1992.
- 131) 福間英祐, 宇井義典, 大滝修司, 金子 等, 館花明彦, 加納宣康, 山川達郎: [一般講演] 局注全身化療の至適投与時期の検討; FCM による移植固形腫瘍の細胞回転解析. 第14回癌局所療法研究会, 1992.
- 132) 福間英祐, 宇井義典, 飯泉成司, 鈴木 卓, 御江慎一郎, 館花明彦, 加納宣康, 山川達郎: [一般講演] 乳房生検後マンモグラフィーの検討; Baseline Mammogram の意義. 第2回日本乳癌検診学会, 1992.
- 133) 福間英祐, 宇井義典, 館花明彦, 加納宣康, 森下慎一郎, 山川達郎, 水口國雄: [一般講演] NAT による乳癌縮小手術の試み. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 134) 福間英祐, 宇井義典, 春日井尚, 館花明彦, 加納宣康, 山川達郎: [一般講演] 乳房温存術後の Thermography について; Baseline Thermogram の試み. 第12回日本画像医学会, 1993.
- 135) Fukuma, E., Ui, Y., Tachibana, A., Kano, N., and Yamakawa, T.: [一般講演] Conservative surgery after preoperative chemotherapy in breast cancer; A pathological & clinical study. 38th Annual Congress Japanese Section of International College of Surgeons (Tokyo), 1992.
- 136) 藤田逸郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 小栗 剛, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 西 恵吾, 京野昭二, 松倉則夫, 山下精彦: [誌上発表] 再発および再発高危険胃癌に対するシスプラチン併用多剤化学療法の試み. 第59回胃癌研究会, 1992.
- 137) 藤田逸郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 小栗 剛, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 西 恵吾, 京野昭二, 松倉則夫, 山下精彦: [示説] 胃癌腹膜播種診断における腹腔洗浄細胞診および血清シアリル Tn 抗原測定の意義. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 138) 藤田逸郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 小栗 剛, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 西 恵吾, 京野昭二, 松倉則夫, 山下精彦: [示説] 消化器癌腹膜播種診断におけるシアリル Tn 抗原測定の意義. 第30回日本癌治療学会総会, 1992.
- 139) 藤田逸郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 小栗 剛, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 松倉則夫, 山下精彦: [示説] 手術侵襲後の創液中および血中サイトカインの動態. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 140) 藤田逸郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 小栗 剛, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 松倉則夫, 山下精彦: [一般講演] 開腹手術後の腹腔浸出液および血中サイトカイン, 成長因子の動態. 第22回創傷治癒研究会, 1992.
- 141) 古川清憲, 恩田昌彦, 田中宣威, 石川紀行, 金 雅辰, 丸山 弘: [一般講演] エンドトキシンショック時の肝細胞障害発生機序に関する Kupffer 細胞と多核白血球の関与とその相互作用について. 第5回エンドトキシン

シンポジウム, 1992.

- 142) 堀場光二, 福田 悠¹⁾, 山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1): [一般講演] 気管損傷治癒過程とフィブロンectinレセプター. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 143) 本田 拓, 山川達郎, 加納宣康, 石山純司, 館花明彦: [一般講演] 切除不能悪性胆道狭窄に対する極超短波による経皮経肝的局所温熱療法の臨床的研究. 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 144) 本田 拓, 山川達郎, 加納宣康, 石山純司, 館花明彦: [一般講演] 経皮経肝的局所温熱療法が有効であったと考えられる悪性胆管閉塞の1例. 第14回癌局所療法研究会, 1992.
- 145) 本田 拓, 山川達郎: [ワークショップ] 切除不能悪性胆管狭窄に対する経皮経肝的局所温熱療法の研究(主題: 胆道疾患と先端技術). 第28回日本胆道学会総会, 1992.
- 146) 本田 拓, 山川達郎: [一般講演] 極超短波による経皮経肝的局所温熱療法の研究(第2報). 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 147) 本田 拓, 山川達郎, 加納宣康, 石川泰郎, 酒井 滋, 大滝修司, 草間泰夫, 天野 仁, 館花明彦: [ワークショップ] 急性胆道疾患における EUS の有用性(主題: 治療方針決定のための画像診断). 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 148) 本田 拓, 山川達郎, 加納宣康, 天野 仁: [一般講演] 切除不能悪性胆管狭窄に対する経皮経肝的局所温熱療法の実験的・臨床的研究. 第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 149) 本田 拓, 山川達郎, 加納宣康: [一般講演] 悪性胆管狭窄に対する経皮経肝的局所温熱療法の研究. 第41回日本消化器外科学会総会, 1993.
- 150) 本田 拓, 山川達郎, 天野 仁: [一般講演] 切除不能悪性胆管狭窄に対する極超短波による経皮経肝的局所温熱療法の実験的研究. 第79回日本消化器病学会総会, 1993.
- 151) 増森興治, 恩田昌彦, 田尻 孝, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 西久保秀紀, 谷合信彦, 小嶋隆行, 松崎 栄, 金 徳栄, 山下精彦: [シンポジウム] 食道胃静脈瘤出血に対する保存的治療の検討.(消化管出血における治療法の選択) 第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.
- 152) 松倉則夫, 恩田昌彦, 徳永 昭, 山下精彦, 京野昭二, 寺本 忠: [パネルディスカッション] 消化性潰瘍緊急手術の H2-ブロッカー導入による変遷と血清ペプシノゲンの外科治療への応用. 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 153) 松倉則夫, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 小栗 剛, 藤田逸郎, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 山下精彦: [展示] 慢性胃炎, 胃癌における血清ペプシノゲン及び *Helicobacter pylori* 測定の意義. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 154) 松倉則夫, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 小栗 剛, 藤田逸郎, 奥田武志, 水谷 崇, 京野昭二, 山下精彦: [展示] 日本人における10代からの血清 *Helicobacter pylori* 抗体価陽性の意義. 第34回日本消化器病学会大会, 1992.
- 155) 松倉則夫, 恩田昌彦, 徳永 昭, 京野昭二, 山下精彦: [一般講演] 血清ペプシノゲン値及び *Helicobacter pylori* 抗体価より見た老年者消化性潰瘍の特徴. 第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 156) 松倉則夫, 恩田昌彦, 徳永 昭, 寺本 忠, 藤田逸郎, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 京野昭二, 山下精彦: [ミニシンポジウム] 慢性胃炎, 胃十二指腸潰瘍および胃癌における血清ペプシノゲン測定の意義. 第4回日本消化器癌発生研究会, 1992.
- 157) 松倉則夫, 恩田昌彦, 徳永 昭, 山下精彦, 田中宣威, 有馬保生, 木山輝郎, 水谷 崇, 奥田武志, 藤田逸郎, 寺本 忠, 小栗 剛, 杉崎祐一¹⁾(¹⁾病理第1): [一般講演] 進行, 再発胃癌に対する5-FU, CDDP 併用療法の効果(第2報). 第30回日本癌治療学会総会, 1992.
- 158) Matsukura, N., Onda, M., Tokunaga, A., Fujita, I., Okuda, T., Mizutani, T., Kiyama, T., Kyono, S., and Yamashita, K.: (Poster) Significance of serum markers pepsinogen I and II for chronic atrophic gastritis,

gastroduodenal ulcer and gastric cancer. The 4th Taisho International Symposium on Gastroenterology (Hakone), 1992.

- 159) 真々田裕宏, 恩田昌彦: [シンポジウム] 食道静脈瘤に対する予防的食道静脈瘤硬化療法の意義; 待期例との比較を中心に (特集 I: 予防的食道静脈瘤硬化療法の意義), 第54回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 160) 真々田裕宏, 恩田昌彦, 田尻 孝, 鳥羽昌仁, 金 徳栄, 足立幹夫, 梅原松臣, 吉田 寛, 西久保秀紀, 谷谷信彦, 山下精彦, 小嶋隆行, 松崎 栄, 隈崎達夫¹⁾, 大矢 徹¹⁾, 田島廣之¹⁾ (¹⁾放射線科): [シンポジウム] 胃静脈瘤の病態と治療; 食道静脈瘤併存例を中心に, 第25回日本門脈圧亢進症研究会・第14回食道静脈瘤硬化療法研究会合同研究会, 1992.
- 161) 真々田裕宏, 松崎 栄: [シンポジウム] 教室における高齢者緊急手術例の検討, 第18回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 162) 間宮一夫¹⁾, 友田尚子¹⁾, 福田高久¹⁾, 森本 進¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦 (¹⁾検査部): [一般講演] HbF 染色の基礎的検討, 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 163) 丸山 弘, 恩田昌彦, 古川清憲, 田中宣威, 田尻 孝, 石川紀行, 小林丈泰, 金 雅辰: [一般講演] 実験的エンドトキシンショックの肝細胞障害に対する Coenzyme Q10の有用性について; 多核白血球の関与を中心に, 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 164) 丸山 弘, 恩田昌彦, 古川清憲, 田中宣威, 石川紀行, 金 雅辰, 小林丈泰, 菊池俊雄: [一般講演] エンドトキシンショック時の肝細胞障害; 特に多核白血球の関与と Coenzyme Q10の有用性について, 第7回日本 Shock 学会総会, 1992.
- 165) 丸山 弘, 恩田昌彦, 古川清憲, 田中宣威, 横井公良, 高崎英明, 鈴木英之, 金沢義一, 横山滋彦, 山下精彦: [一般講演] 教室における結腸・直腸疾患の術後感染症について; 術中腹腔内汚染菌の検索を中心に, 第5回日本外科感染症研究会, 1992.
- 166) 宮下正夫¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 高崎秀明¹⁾, 飯田信也¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 山下精彦, 内藤善哉¹⁾, 木内博之²⁾, 内藤委仲²⁾ (²⁾病理第2, ²⁾北村山公立病院外科): [一般講演] 早期胃癌に対する内視鏡的エタノール注入療法の試み, 第60回胃癌研究会, 1992.
- 167) 宮本昌之, 坂本俊樹¹⁾, 河路秀巳¹⁾, 恩田昌彦, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物学・免疫学): [一般講演] 肝再生の過程で起こる胸腺細胞の臓器集積性の変動; PNA 陽性胸腺細胞静注後の肝, 脾への集積性とその経時的変化, 第22回日本免疫学会総会, 1992.
- 168) 宮本昌之, 恩田昌彦, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物学・免疫学): [シンポジウム] リンパ球の homing と肝類洞細胞; PNA 陽性細胞の肝へ集積性とその肝再生過程に於ける変動, 第6回肝類洞壁研究会, 1992.
- 169) 森 正陽, 田村浩一¹⁾, 山中宣昭²⁾ (¹⁾病理第1, ²⁾病理部): [一般講演] ラット肝部分切除術後の再生過程における小葉の構造変化の検討, 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 170) 森下慎一郎, 草間泰夫, 酒井 滋, 本田 拓, 石川泰郎, 加納宣康, 山川達郎, 水口國雄: [示説] 腹腔鏡下に切除した腹膜偽粘液腫を伴った虫垂粘液性嚢胞腺腫の1例, 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 171) 森下慎一郎, 福岡英祐, 宇井義典, 館花明彦, 石山純司, 加納宣康, 山川達郎, 水口國雄: [一般講演] 豊胸術後に発生し, 術前診断が困難であった両側乳癌の1例, 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 172) 森山雄吉, 松田範子, 京野昭二, 金 徳栄, 滝沢隆雄, 徳永 昭, 田中宣威, 恩田昌彦, 益子邦洋, 辺見 弘: [一般講演] ガス壊疽に対する高気圧酸素療法, 第27回日本高気圧環境医学会総会, 1992.
- 173) 山川達郎: [特別講演] 胆道外科と内視鏡, 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 174) 山川達郎: [パネルディスカッション] 腹腔鏡下胆嚢摘出術 (主題: 胆嚢結石の治療法の選択), 第28回日本胆道学会総会, 1992.
- 175) Yamakawa, T.: [パネルディスカッション] Endoscopic management of intrahepatic lithiasis (Thema: Common Bile Duct and Intrahepatic Lithiasis), 3rd World Congress of Endoscopic Surgery (Bordeaux),

1992.

- 176) Yamakawa, T., Kano, N., Sakai, S., Ishikawa, Y., Ohmura, A., and Sha, M. : [一般講演] Usefulness of an ultrasonic aspirator for laparoscopic surgery. 3rd World Congress of Endoscopic Surgery (Bordeaux), 1992.
- 177) Yamakawa, T., Kano, N., and Honda, H. : [一般講演] Experimental and clinical study of percutaneous transhepatic local hyperthermia in the case with unresectable malignant biliary obstruction. 3rd World Congress of Endoscopic Surgery (Bordeaux), 1992.
- 178) Yamakawa, T. : [特別講演] The clinical application of cholangioscopy and biliary tract disease. 32th Korian Society of Gastrointestinal Endoscopy (Nuju), 1992.
- 179) Yamakawa, T. : [一般講演] Percutaneous biliary drainage and endoscopy of the biliary tree in patients with intrahepatic stones. 3rd International Gastro-Surgical Club Joint Meeting of Surgeons and Gastroenterologists (Padua), 1992.
- 180) Yamakawa, T. : [ワークショップ] Laparoscopic cholecystectomy and cholangiography (Thema : Advanced Laparoscopic GI Surgery). 26th Singapore Malaysia Congress of Medicine (Singapore), 1992.
- 181) Yamakawa, T. : [シンポジウム] Experience with laparoscopic cholecystectomy in consecutive 300 cases (Thema : Frontiers in Laparoscopic GI Surgery). 26th Singapore Malaysia Congress of Medicine (Singapore), 1992.
- 182) Yamakawa, T. : [一般講演] Laparoscopic cholecystectomy ; Preoperative evaluation, contraindications, complications and its clinical significance. 9th Asian-Pacific Congress of Gastroenterology & 6th Asian-Pacific Congress of Digestive Endoscopy (Bangkok), 1992.
- 183) Yamakawa, T., Suzuki, T., Otaki, S., Honda, H., Amano, H., Uno, K., Kusama, Y., and Kano, N. : [一般講演] Fistloscopy for the management of postoperative intraabdominal abscesses. 9th Asian-Pacific Congress of Gastroenterology & 6th Asian-Pacific Congress of Digestive Endoscopy (Bangkok), 1992.
- 184) Yamakawa, T., Kusama, Y., and Honda, H. : [一般講演] Percutaneous cholangioscopy and biliary tract diseases. 9th Asian-Pacific Congress of Gastroenterology & 6th Asian-Pacific Congress of Digestive Endoscopy (Bangkok), 1992.
- 185) Yamakawa, T. : [示説] Laparoscopic cholecystectomy ; Preoperative evaluations, contra-indications, complications and its significance. 9th Asian-Pacific Congress of Gastroenterology & 6th Asian-Pacific Congress of Digestive Endoscopy (Bangkok), 1992.
- 186) Yamakawa, T. : [特別講演] Advanced laparoscopic surgery. 52nd Annual Conference of Association of Surgeons of India (Calcutta), 1992.
- 187) 山下精彦, 恩田昌彦, 笹島耕二, 田尻 孝, 徳永 昭, 京野昭二, 松倉則夫, 有馬保生, 鳥羽昌仁, 足立幹夫, 内田英二, 下村隆保, 飯田信也, 小嶋隆行 : [一般講演] 食道気管支瘻食道癌に対する内視鏡的食道ブジー挿管術の検討. 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 188) 山下精彦, 恩田昌彦, 笹島耕二, 田尻 孝, 徳永 昭, 京野昭二, 松倉則夫, 有馬保生, 内田英二, 横井公良, 鳥羽昌仁, 宮下正夫, 増森興治, 樋口勝美, 高崎秀明, 谷口善郎 : [一般講演] 食道気管支瘻食道癌に対する内視鏡的食道ブジー挿入術の工夫. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 189) 山下精彦, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻 孝, 徳永 昭, 笹島耕二, 金 徳栄, 古川清憲, 京野昭二, 松倉則夫, 横井公良, 有馬保生, 内田英二, 谷合信彦, 西久保秀紀, 真々田裕宏, 松崎 栄 : [シンポジウム] 教室における高齢者緊急手術の検討 ; 高齢者 (80歳以上) の腹部救急疾患の治療をめぐる. 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 190) 山下精彦, 恩田昌彦, 笹島耕二, 田尻 孝, 徳永 昭, 京野昭二, 松倉則夫, 有馬保生, 鳥羽昌仁, 足立幹夫,

- 内田英二, 下村隆保, 飯田信也, 小島隆行: [一般講演] 食道気管支瘻食道癌に対する内視鏡的食道ブジー挿管術の検討. 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 191) 山本秀和, 石川泰郎, 酒井 滋, 加納宣康, 山川達郎: [一般講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術における癒着症例の検討. 第3回腹腔鏡的胆嚢摘出術研究会, 1992.
- 192) 横山滋彦, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 江上 格, 田尻 孝, 伊藤誠二, 金 徳栄, 有馬保生, 中島米治郎, 小林正文¹⁾, 黒田 肇¹⁾, 多田教彦¹⁾, 山田益弘¹⁾ (内科第3): [一般講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術における術後の腸管運動の検討. 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 193) 横山滋彦, 恩田昌彦, 山下精彦, 江上 格, 田尻 孝, 伊藤誠二, 有馬保生, 内田英二, 吉田 寛: [一般講演] 超音波カラードップラーが診断に有用であった慢性膵炎による hemosuccus pancreatitis の1例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第1回学術講演会, 1992.
- 194) 横山滋彦, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 古川清憲, 京野昭二, 横井公良, 内田英二, 瀬谷知子, カーン・ハヤト: [一般講演], イレウスの治療方針の決定における radiopaque marker の意義. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 195) 横山滋彦, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 江上 格, 田尻 孝, 伊藤誠二, 金 徳栄, 有馬保生, 中島米治郎, 小林正文, 黒田 肇, 多田教彦, 山田益弘: [一般講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術における術後の腸管運動の検討. 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 196) 横山滋彦, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 古川清憲, 京野昭二, 横井公良, 瀬谷知子, カーン・ハヤト, 佐々部一, 金沢義一, 中村慶春: [ワークショップ] イレウスにたいする新しい治療法の試み, 癒着性イレウスの治療方針の決定における Radiopaque marker の意義. 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 197) 横山滋彦, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 古川清憲, 横井公良, 瀬谷知子, カーン・ハヤト, 佐々部一, 金沢義一: [一般講演] 大腸癌手術における術後腸管麻痺の回復過程について; 術式による相違の検討. 第47回大腸肛門病学会総会, 1992.
- 198) Yokoyama, S., Onda, M., Yamashita, K., Moriyama, Y., Tanaka, N., Egami, K., Tajiri, T., Itoh, S., Kim, D. Y., Arima, Y., Nakajima, Y., Furukawa, K., Yokoi, K., Seya, T., and Kan, H.: [一般講演] Estimation of gastrointestinal motility following laparoscopic cholecystectomy by use of radiopaque markers. 13th World Congress of Collegium Internationale Chirurgiae Digestivae (Athens Greece), 1992.
- 199) 横山 正, 恩田昌彦, 内田英二, 内藤善哉, 会田邦晴, 山中洋一郎, 小林 匡, 相本隆幸, 笹島耕二, 田尻 孝, 江上 格: [一般講演] ハムスター膵癌を用いた同種膵内移植モデルの作成とその経時的検討. 第23回日本膵臓学会大会, 1992.
- 200) 横山 正, 恩田昌彦, 内田英二, 内藤善哉, 会田邦晴, 山中洋一郎, 小林 匡, 相本隆幸, 井上松応, 笹島耕二, 田尻 孝, 江上 格: [一般講演] ハムスター膵癌樹立細胞株 (PGHAM-1) を用いた同種膵内移植実験および病理学的検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 201) 横山 正, 恩田昌彦, 内田英二, 内藤善哉, 会田邦晴, 山中洋一郎, 小林 匡, 相本隆幸, 井上松応, 笹島耕二, 田尻 孝, 江上 格: [展示] ハムスター膵癌細胞株 (PGHAM-1) を用いた同種膵内移植モデルの作成とその病理学的検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 202) 吉松和彦, 高橋 通, 菊池三郎, 原 文男, 大川共一: [一般講演] エイズに対する医療従事者の意識に関する調査. 日本医科大学医学会第79回例会, 1993.
- 203) 蛭止勝麿, 永井哲志: [一般講演] 総胆管腸管吻合モデルの長期生存例における総胆管上皮の病理形態. 第78回日本消化器病学会総会, 1992.
- 204) Chen, D.Z., Onda, M.H., Moriyama, Y.K., Nakajima, Y.J.R., Kyohno, S.J., Han, M.¹⁾, and Asano, G.¹⁾ (¹⁾Second Dept. of Pathology): [一般講演] Immunohistochemical studies damages of intestinal nerve plexuses in ischemic state. XX VIII World Congress of The International College of Surgeons (Cairo.

Egypt), 1992.

- 205) Chen, D.Z., Onda, M.H., Moriyama, Y.K., Nakajima, Y.J.R., Kyohno, S.J., Han, M.¹⁾, and Asano, G.¹⁾ (¹Second Dept. of Pathology): [一般講演] Changes in the vasoactive intestinal peptide (VIP) content in dog intestines resulting from hypoxic blood perfusion especially its relations with prostaglandin E1 (PGE1). XX VIII World Congress of The International College of Surgeons (Cairo, Egypt), 1992.
- 206) Shields, P.G., Povey, A.C., Cooper, D.P., Bowman, E.D., Kato, S., Petruzzelli, S., and Weston, A.: [一般講演] Chemically specific assays for the detection of DNA adducts; Immunoaffinity/HPLC and 32P-postlabeling assay. International Agency for Research on Cancer (IARC) International Meeting on Postlabeling Methods for the Detection of DNA Adducts, 1992.

〔前年度追加分〕

- 1) 瀬谷知子, 田中宣威, 恩田昌彦, 古川清憲, 横井公良, 横山滋彦, カーン・ハヤト, 内藤善哉¹⁾, 会田邦晴¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹病理第2): [展示] ヒト大腸癌における細胞外基質と Integrin Family の発現. 第51回日本癌学会総会, 1991.

〔多摩永山病院外科〕

研究概要

おもに消化器外科領域で臨床的研究を中心にして, 治療成績の向上をめざしている. また, 多摩地区の学会や研究会において, 地域の基幹病院としての役割を果たしている.

- 1) 従来より中心的研究課題である肝, 胆道, 膵疾患に対する研究が続けられている. 悪性疾患に対しては外科的治療のみならず最先端の集学的治療をおこない, 治療成績の向上をめざしている.
- 2) 消化器科と共同で, 腹腔鏡下胆嚢摘出術を主とした内視鏡的手術を広く実施しており, 症例数は年々増加している.
- 3) 虚血性腸管病変やイレウスの研究を付属病院と共同で進めている.
- 4) 潰瘍性大腸炎の薬物療法についての臨床的研究を消化器科および薬剤科と共同で進めている.
- 5) 昭和61年より乳癌の臨床病理学的研究を病理部と共同で継続している.
- 6) 小児外科領域については外傷, 消化管異物などの臨床的研究が進められている.

研究業績

論文

- 1) 江上 格, 恩田昌彦¹⁾, 鶴田宏幸¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 中島米治郎, 京野昭二¹⁾, 内田英二¹⁾, 小林 匡¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 関山達也²⁾, 野村敦宣²⁾ (¹⁾外科学第1, ²⁾内科学第1): [症例報告] 肝硬変合併・膵性腹水の術後, MOF より心肺停止および膵液瘻合併の1治療例. 胆と膵, 13, 431~435, 1992.
- 2) 江上 格, 恩田昌彦¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 古川清憲¹⁾, 京野昭二¹⁾ (¹⁾外科学第1): [総説] イレウスの栄養管理の実践. 外科診療, 33, 609~614, 1992.
- 3) 江上 格, 恩田昌彦¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 伊藤誠二¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 内田英二¹⁾, 有馬保生¹⁾, 岡崎滋樹¹⁾, 会田邦晴¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 小林 匡¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 横山 正¹⁾ (¹⁾外科学第1): [原著] 腫瘍形成性膵炎の臨床像と画像診断の意義と限界: 膵癌との鑑別点の考察. 胆と膵, 13, 711~717, 1992.
- 4) 谷口善郎, 吉岡正智, 中島米治郎, 和田雅世, 小川芳雄, 長谷川博一, 前田昭太郎¹⁾, 中川敬夫¹⁾, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾外科学第1): [原著] 乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診の有用性. 日本乳癌検診学会誌, 6, 187, 1992.

- 5) 川上康彦¹⁾, 橋本 清¹⁾, 丸山和男¹⁾, 土屋正己¹⁾, 飛田正俊¹⁾, 岡部俊成¹⁾, 向後俊昭¹⁾, 田中洋介, 吉岡正智, 飯田英次²⁾, 前田昭太郎³⁾ (¹⁾多摩永山病院小児科, ²⁾同放射線科, ³⁾同病理部): [症例報告] 大量出血によるショック症状を呈し, 注腸造影により診断し得た Meckel 憩室の1乳児例. 小児臨床, 45, 1829~1833, 1992.
- 6) 陳 大志¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 中島米治郎 (¹⁾外科学第1): [原著] 虚血腸管壁に神経叢傷害に関する免疫組織化学的検討. 日消外会誌, 25, 2732~2742, 1992.
- 7) 江上 格, 松田 健, 吉村和泰, 和田雅世, 吉岡正智, 恩田昌彦¹⁾, 辺見 弘²⁾, 大塚敏文²⁾ (¹⁾外科学第1, ²⁾救急医学): [総説] 小児多発外傷例の腹部損傷の診断と初期治療; 緊急時に役立つ実用的知識. 小児外科, 25, 57~65, 1993.

学会発表

- 1) 前田昭太郎¹⁾, 中川敬夫¹⁾, 加藤圭子¹⁾, 百田光弘¹⁾, 東 敬子¹⁾, 吉岡正智, 中島米治郎, 谷口善郎, 横山宗伯²⁾, 北川泰之²⁾ (¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾病理学第2): [一般講演] 乳腺の外來迅速穿刺細胞診; 第2報. 日本臨床細胞学会総会, 1992.
- 2) 加藤圭子¹⁾, 前田昭太郎¹⁾, 中川敬夫¹⁾, 百田光弘¹⁾, 東 敬子¹⁾, 吉岡正智, 中島米治郎, 谷口善郎, 横山宗伯²⁾, 北川泰之²⁾ (¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾病理学第2): [展示] 乳癌穿刺吸引細胞診の誤判定例の検討. 日本臨床細胞学会総会, 1992.
- 3) 谷口善郎, 吉岡正智, 中島米治郎, 和田雅世, 小川芳雄, 長谷川博一, 前田昭太郎¹⁾, 中川敬夫¹⁾, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾外科学第1): [展示] 乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診; 誤判定例の検討. 第56回乳癌研究会, 1992.
- 4) 吉村和泰, 江上 格, 中島米治郎, 和田雅世, 小川芳雄, 長谷川博一, 石川紀行, 渡辺 学, 美濃部かおり, 丹羽直樹, 吉岡正智: [一般講演] 最近経験した絞扼性イレウスの2症例. 城西外科研究会, 1992.
- 5) 和田雅世, 吉岡正智, 江上 格, 中島米治郎, 谷口善郎, 小川芳雄, 長谷川博一, 吉村和泰, 渡辺 学, 石川紀行, 美濃部かおり, 田中洋介¹⁾, 沖浜裕司¹⁾, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院消化器科, ²⁾外科学第1): [一般講演] Minilaparotomy による胆嚢摘出術症例の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 6) 中島米治郎, 江上 格, 吉岡正智, 和田雅世, 小川芳雄, 長谷川博一, 吉村和泰, 渡辺 学, 石川紀行, 美濃部かおり, 田中洋介¹⁾, 沖浜裕司¹⁾, 菊池敏雄¹⁾, 谷口善郎²⁾, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院消化器科, ²⁾外科学第1): [展示] 付属多摩永山病院における小児上部消化管内視鏡的異物摘出術の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 7) 柴田明佳¹⁾, 佐藤知枝¹⁾, 飯野幸永¹⁾, 畝本陽男²⁾, 村田正弘²⁾, 北村誠一²⁾, 石川富雄²⁾, 本間妙子²⁾, 福岡イツ子²⁾, 野口 素²⁾, 政次富美子²⁾, 鈴木 健²⁾, 田中洋介²⁾, 吉岡正智 (¹⁾多摩永山病院中央検査室, ²⁾同衛生委員会): [一般講演] 当院における院内環境調査; 手術室について (第2報). 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 8) 松田 健, 江上 格, 中島米治郎, 谷口善郎, 和田雅世, 小川芳雄, 長谷川博一, 木村美保, 松本智司, 吉岡正智, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [シンポジウム] 急性虫垂炎手術症例の検討; 当科における最近10年間の手術例を中心として. 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 9) 中島米治郎, 吉岡正智, 谷口善郎, 和田雅世, 小川芳雄, 長谷川博一, 松田 健, 松本智司, 木村美保, 田中洋介¹⁾, 沖浜裕司¹⁾, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院消化器科, ²⁾外科学第1), : [一般講演] 小児上部消化管異物に対する内視鏡的摘出術の検討. 第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 10) 中島米治郎, 江上 格, 和田雅世, 小川芳雄, 長谷川博一, 吉村和泰, 石川紀行, 渡辺 学, 美濃部かおり, 丹羽直樹, 吉岡正智: [一般講演] Toxic megacolon を呈し緊急手術を要した潰瘍性大腸炎の1例. 第5回多摩大腸疾患懇話会, 1992.
- 11) 和田雅世, 吉岡正智, 江上 格, 中島米治郎, 谷口善郎, 小川芳雄, 長谷川博一, 松田 健, 松本智司, 木村美保, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [一般講演] 消化管悪性腫瘍の術後 MRSA 感染症; 治療困難例を中心に. 第54

回日本臨床外科医学会総会, 1992.

- 12) Wada, M., Egami, K., Niwa, N., Minobe, K., Watanabe, M., Ishikawa, N., Yoshimura, K., Hasegawa, H., Ogawa, Y., Nakazima, Y., Yoshioka, M., Okihama, Y., and Tanaka, Y.: [パネルディスカッション] A comparative study of cholecystectomy with 3 different approaches, laparoscopy, mini-laparotomy and conventional laparotomy. The 9th Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter (Guam), 1992.
- 13) 丹羽直樹, 江上 格, 中島米治郎, 和田雅世, 小川芳雄, 吉村和泰, 長谷川博一, 石川紀行, 渡辺 学, 美濃部 かおり, 吉岡正智: [一般講演] 膀胱炎症状にて発症したS字状結腸癌の1例. 第747回外科集談会, 1992.
- 14) 和田雅世, 江上 格, 丹羽直樹, 美濃部かおり, 渡辺 学, 石川紀行, 吉村和泰, 長谷川博一, 小川芳雄, 中島米治郎, 吉岡正智, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [シンポジウム] 転移性肝腫瘍の臨床的検討. 第12多摩消化器シンポジウム, 1993.
- 15) 中島米治郎, 江上 格, 和田雅世, 松本智司, 小川芳雄, 長谷川博一, 吉村和泰, 石川紀行, 渡辺 学, 美濃部 かおり, 丹羽直樹, 吉岡正智, 大川共一, 恩田昌彦¹⁾, 山下精彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [一般講演] 急性虫垂炎術後に発症し, ステロイド併用5-ASA 注腸療法が奏効した若年者潰瘍性大腸炎の1例. 第223回日本消化器病学会関東支部例会, 1993.
- 16) 吉村和泰, 江上 格, 中島米治郎, 和田雅世, 吉田 寛, 石川紀行, 渡辺 学, 野村 務, 水谷 崇, 美濃部 かおり, 丹羽直樹, 吉岡正智: [シンポジウム] 最近経験した腹部腫瘍を主訴とした大腸癌症例の検討. 第6回多摩臨床シンポジウム, 1993.
- 17) 渡辺 学, 江上 格, 中島米治郎, 和田雅世, 吉村和泰, 石川紀行, 吉田 寛, 野村 務, 水谷 崇, 美濃部 かおり, 丹羽直樹, 吉岡正智: [一般講演] 特異な臨床像を呈した胆嚢癌の1例. 第46回城西外科研究会, 1993.
- 18) 和田雅世, 江上 格, 中島米治郎, 小川芳雄, 吉村和泰, 長谷川博一, 石川紀行, 渡辺 学, 美濃部かおり, 丹羽直樹, 吉岡正智, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [一般講演] 大腸癌緊急手術例, とくに穿孔例の臨床的検討. 第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.

[多摩永山病院消化器科]

研究概要

当教室は1990年10月に発足したばかりで, その基盤を整えつつあるところである. 現在の主要な研究テーマは5-Aminosalicylic acid (5-ASA) による注腸療法である. これは10年程前に田中洋介助教授らが当院外科学教室にて着手した潰瘍性大腸炎の治療法の一つであり, 当教室では目下当院薬剤科と協力して研究を続けている. 今後は内視鏡の治療や, 画像診断の分野へも研究領域を広げるべく, 準備を進めている.

研究業績

論文

- 1) 川上康彦¹⁾, 橋本 清¹⁾, 丸山和男¹⁾, 土屋正己¹⁾, 飛田正俊¹⁾, 岡部俊成¹⁾, 向後俊昭¹⁾, 田中洋介, 吉岡正智²⁾, 飯田英次³⁾, 前田昭太郎⁴⁾ (¹⁾多摩永山病院小児科, ²⁾同外科, ³⁾同放射線科, ⁴⁾同病理): [症例報告] 大量出血によるショック症状を呈し, 注腸造影により診断し得た Meckel 憩室の1乳児例. 小児臨床, 45, 1829~1833, 1992.
- 2) 吉田 寛¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 田中宣威¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 古川清憲¹⁾, 京野昭二¹⁾, 横井公良¹⁾, 沖浜裕司, 安東俊明¹⁾, 瀬谷知子¹⁾, 横山滋彦¹⁾, カーン・ハヤト¹⁾, (¹⁾外科第1): [症例報告] 超音波検査にて診断された結腸癌イレウスの1例. 腹部救急診療の進歩, 12, 597~599, 1992.

学会発表

- 1) 松田 健¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 中島米治郎¹⁾, 谷口善郎¹⁾, 和田雅世¹⁾, 小川芳雄¹⁾, 長谷川博一¹⁾, 渡辺 学¹⁾, 木村美

- 保¹⁾, 松本智司¹⁾, 田中洋介, 沖浜裕司, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾外科第1): [シンポジウム] 診断に困難をきたした急性虫垂炎 (主題: 診断に困難をきたした腹痛症例). 第4回多摩臨床シンポジウム, 1992.
- 2) 松田 健¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 中島米治郎¹⁾, 谷口善郎¹⁾, 和田雅世¹⁾, 小川芳雄¹⁾, 長谷川博一¹⁾, 木村美保¹⁾, 松本智司¹⁾, 田中洋介, 沖浜裕司, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾外科第1): [一般講演] 診断に難渋した急性虫垂炎の1例; 最近10年間の手術例を中心として. 第18回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 3) 和田雅世¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 江上 格¹⁾, 中島米治郎¹⁾, 谷口善郎¹⁾, 小川芳雄¹⁾, 長谷川博一¹⁾, 吉村和泰¹⁾, 渡辺 学¹⁾, 石川紀行¹⁾, 美濃部かおり¹⁾, 田中洋介, 沖浜裕司, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾外科第1): [一般講演] Minilaparotomy による胆嚢摘出術症例の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 4) 中島米治郎¹⁾, 江上 格¹⁾, 和田雅世¹⁾, 小川芳雄¹⁾, 長谷川博一¹⁾, 吉村和泰¹⁾, 渡辺 学¹⁾, 石川紀行¹⁾, 美濃部かおり¹⁾, 田中洋介, 沖浜裕司, 谷口善郎²⁾, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾外科第1): [一般講演] 付属多摩永山病院における小児上部消化管内視鏡的異物摘出術の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 5) 柴田明佳¹⁾, 佐藤知枝¹⁾, 飯野幸永¹⁾, 畝本賜男²⁾, 村田正弘²⁾, 北村誠一²⁾, 石川富雄²⁾, 本間妙子²⁾, 福岡イツ子²⁾, 野口 素²⁾, 政次富美子²⁾, 鈴木 健²⁾, 田中洋介, 吉岡正智²⁾ (¹⁾同中央検査室, ²⁾同衛生委員会): [一般講演] 当院における院内環境調査; 手術室について (第2報). 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 6) 中島米治郎¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 谷口善郎¹⁾, 和田雅世¹⁾, 小川芳雄¹⁾, 長谷川博一¹⁾, 松田 健¹⁾, 松本智司¹⁾, 木村美保¹⁾, 田中洋介, 沖浜裕司, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾外科第1): [一般講演] 小児上部消化管異物に対する内視鏡的摘出術の検討. 第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 7) Wada, M.¹⁾, Egami, K.¹⁾, Niwa, N.¹⁾, Minobe, K.¹⁾, Watanabe, M.¹⁾, Ishikawa, N.¹⁾, Yoshimura, Y.¹⁾, Hasegawa, H.¹⁾, Ogawa, Y.¹⁾, Nakajima, Y.¹⁾, Yoshioka, M.¹⁾, Okihama, Y., and Tanaka, Y. (¹⁾Divisions of Surgery, Tama-Nagayama Hospital): [パネルディスカッション] A comparative study of cholecystectomy with 3 different approaches, laparoscopy, mini-laparotomy and conventional laparotomy (Theme: Laparoscopy). Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter 9th Congress (Guam), 1992.

10. 外科学第二講座

〔第一病院外科・付属病院胸部外科〕

研究概要

外科学第二講座は第一病院においてはすべての外科疾患を取扱い、付属病院では主に胸部心臓血管疾患を診療の対象とし、以下に述べる項目を重点的に研究している。なお、第二病院外科と内視鏡科も本講座に含まれるが、これらの業績は別に記載される。

平成4年度の研究概要としては：

- 1) 心臓外科では虚血性心疾患に関する研究が多く、特に自家動脈利用のバイパスの成績がよい所からその利用法について検策が行われている。また、不整脈の外科治療に関する研究は教室の特に力を注ぐ所であり、徐脈、頻脈の治療に関する発表が多い。
- 2) 大動脈瘤に対する手術も近年増加しており、補助循環法の研究が主に行われている。
- 3) 呼吸器疾患としては肺癌症例の増加は著しく、手術を中心としての集学的治療の研究が続けられている。
- 4) 胸腺・乳腺に対する臨床、研究も積極的に行っている。
- 5) 消化器疾患の研究では大腸癌、肝癌の研究が主であり、低位前方切除の適応、肝切除に関する耐術スコアの研究が主である。
- 6) 内分泌外科の業績は年と共に増加し、特に甲状腺、副腎の疾患で受診する者が多いので、それらに関する研究が目立つ。
- 7) 移植外科については海外留学より帰国した研究者も加え、研究グループも多人数となり、実験的には肝臓、臨床的には同種生体腎移植などの研究がすすめられている。肝臓移植に関しては基礎的研究は継続的に行われている。臨床的にはABO型不適合の間の移植もすすめられている。
- 8) 乳癌外科は他学との共同研究に加わり、手術＋化学療法またはホルモン療法の成績を検討している。
- 9) 小児外科は珍しい症例の報告が今の所主である。

研究業績

論文

- 1) 笹井 巧, 森岡晴記, 庄司 佑, 田中茂夫：〔報告〕解離性大動脈瘤を合併した肺癌の1切除例。日臨外会誌, 53, 1121～1124, 1992.
- 2) 落 雅美, 山内仁紫, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司 佑, 田村浩一¹⁾：〔報告〕鈍的外傷により断裂した axillo-femoral bypass 術後8年の knitted dacron velour graft. 日心外会誌, 21, 287～291, 1992.
- 3) 松島伸治, 井出道也, 家所良夫, 山本英希, 岩瀬和泉, 渡辺秀裕, 木村俊仁, 陳 光永, 酒井欣男, 笹井 巧, 若林武雄, 富士崎隆, 日置正文, 池下正敏, 渋谷哲男, 田中茂夫, 庄司 佑：〔原著〕自然気胸へのNd:YAGレーザーによる胸腔鏡下外科治療の臨床的検討。日呼外会誌, 6, 580～585, 1992.
- 4) Nitta, T., Ikeshita, M., Asano, T., Tanaka, S., Shoji, T., Ohkawa, S., Sugiura, M.: 〔原著〕Surgical laser ablation of a pediatric idiopathic ventricular tachycardia. Ann Thorac Surg, 53, 692～693, 1992.
- 5) 森岡晴記, 二宮淳一, 庄司 佑：〔原著〕流量補助を加味した大動脈バルーンポンピング法の実験的研究。日胸外会誌, 40, 1046～1054, 1992.
- 6) 池下正敏, 田中茂夫, 浅野哲雄, 寺田功一, 山内仁紫, 杉本忠彦, 井村 肇, 庄司 佑：〔報告〕植込み型除細動機器(ICD)植込み症例における適応の再検討。人工臓器, 21, 1109～1201, 1992.
- 7) 新田 隆, 田中茂夫, 井村 肇, 寺田功一, 池下正敏, 庄司 佑：〔報告〕Cryoablationと植込み型除細動器に

よる治療を行った特発性心室頻拍，心室細動の1例．日胸外会誌，40，1279～1284，1992．

- 8) 池下正敏，庄司 佑：〔総説〕植込み型除細動器療法の現状と将来．集中治療，4，939～946，1992．
- 9) 庄司 佑，池下正敏：〔総説〕心臓外科領域における不整脈治療の動向と展望．臨床胸部外科，12，113～121，1992．
- 10) 富士崎隆，五味洵誠，庄司 佑：〔原著〕肺切除による運動時左心機能の変化について；核聴診器による検討．日胸外会誌，40，1685～1692，1992．
- 11) 佐々木建志，田中茂夫，小泉 潔，塩田晶彦，福島孝男，庄司 佑，岩切勝彦¹⁾，野村武夫¹⁾，川本雅司²⁾，田村浩一²⁾（¹⁾付属病院第3内科，²⁾病理第1）：〔報告〕食道と交通を有する傍食道型気管支性嚢腫の1治験例．胸部外科，45，813～816，1992．
- 12) 山内仁紫，田中茂夫，二宮淳一，小泉 潔，落 雅美，寺田功一，原口秀司，本田二郎，杉本忠彦，庄司 佑：〔原著〕乳児期に発症した心内膜線維弾性症と心内膜心筋線維症の手術治験例と長期予後．日心外会誌，614～618，1992．
- 13) 佐々木建志，田中茂夫，池下正敏，杉本忠彦，井村 肇，庄司 佑，高野照夫¹⁾，田中啓治¹⁾，隈崎達夫²⁾，大矢徹²⁾（¹⁾付属病院集中治療室，²⁾同放射線科）：〔原著〕A型大動脈解離の急性期治療方針；解離腔血栓閉塞例の治療成績からの検討．日胸外会誌，40，1668～1674，1992．
- 14) 二宮淳一，庄司 佑，田中茂夫，落 雅美，寺田功一，山内仁紫，田村浩一，林 晃一，本田二郎，山田研一，野一色泰晴¹⁾（¹⁾横浜市立大学外科）：〔原著〕Laser collagenを併用したvascular welding．脈管学，32，1125～1127，1992．
- 15) 小坂真一，田中茂夫，井村 肇，山田研一，秋山博彦，佐々木建志，池下正敏，小泉 潔，庄司 佑：〔原著〕開心術におけるエリスロポエチン少量投与による自己血輸血法．自己血輸血，4，172～175，1992．
- 16) 小坂真一，田中茂夫，高野照夫¹⁾，田中啓治¹⁾，高山守正¹⁾，中込明裕¹⁾，富田喜文¹⁾，今泉孝敬¹⁾，宗像一雄²⁾，安武正弘²⁾，落 雅美，庄司 佑（¹⁾付属病院集中治療室，²⁾同内科第1）：〔原著〕PTCA後のCABGとcoronary intervention中のIABP/PCPS．Coronary 別冊，9，141～146，1992．
- 17) 小坂真一：〔原著〕有茎右胃大網動脈による冠狀動脈バイパス術；各冠狀動脈に対する吻合法の実例．心臓外科の手術手技，1，68～76，1992．
- 18) 小泉 潔，田中茂夫，池下正敏，小坂真一，塩田晶彦，原口秀司，庄司 佑，川本雅司¹⁾（¹⁾病理第1）：〔原著〕体外循環併用による左肺全摘除術；大動脈・肺動脈部分合併切除術．肺癌手技会誌，5，300～314，1992．
- 19) 五味洵誠，真崎義隆，森岡晴記，田中茂夫，庄司 佑，山本光伸¹⁾（¹⁾埼玉県立がんセンター）：〔原著〕肺保存における気管支灌流の有効性について．移植，27，759～763，1992．
- 20) Kuruma, A.¹⁾, Saitoh, H.¹⁾, Ino, T.¹⁾, Atarashi, H.¹⁾, Katoh, T.¹⁾, Hayakawa, H.¹⁾, Ikeshita, M., and Tanaka, S.（¹⁾付属病院第1内科）：〔報告〕A case of cardiac foreign bodies associated with four types of tachycardias．PACE, 15, 1215～1224, 1992．
- 21) 池下正敏，田中茂夫，浅野哲雄，寺田功一，山内仁紫，杉本忠彦，井村 肇，庄司 佑：〔報告〕植込み型除細動器（ICD）植込み症例における適応の再検討．人工臓器，21，1199～1201，1992．
- 22) 田中茂夫，池下正敏，落 雅美，小坂真一，矢島俊巳，師田哲郎，林 晃一，大久保直子，庄司 佑：〔原著〕ペースメーカー植込み後10年以上経過例の遠隔成績．臨床胸部外科，12，245～249，1992．
- 23) 田中茂夫：〔報告〕植込み型除細動器（ICD）．カレントセラピー，10，2113～2117，1992．
- 24) 田中茂夫：〔原著〕非薬物治療の適応と選択．集中治療，4，877～886，1992．
- 25) 田中茂夫：〔報告〕植え込み型除細動器（ICD）の臨床成績．medicina, 29, 1918～1920, 1992．
- 26) 田中茂夫：〔原著〕植込み型除細動器の適応と将来．循環科学，12，672～678，1992．
- 27) 田中茂夫：〔報告〕植込み型除細動器（ICD）．検査と技術，20，612～613，1992．
- 28) 田中茂夫，保坂浩希，朽方規喜，井村 肇，杉本忠彦，矢島俊巳，池下正敏，庄司 佑：〔原著〕生理的ベージ

- ングは非生理的ペースング, レート応答型ペースングに優るか? ; 生命予後, 仕事効率を中心に, 心臓ペースング, 8, 509~516, 1992.
- 29) 田中茂夫, 林 晃一, 師田哲郎, 浅野哲雄, 池下正敏, 庄司 佑: [原著] 突然死を防ぐには, 薬物療法か, 非薬物療法か? ; 植込み型除細動器療法. 心臓ペースング, 8, 641~645, 1992.
 - 30) 田中茂夫, 庄司 佑: [総説] 植込み型除細動器 (ICD) の現況と将来の展望. 心臓ペースング, 8, 294~305, 1992.
 - 31) 今井 茂, 須田浩充, 渋谷哲男, 渋谷純一: [症例] 胃平滑筋肉腫根治術後に発生した難治性肝リンパ漏の1治療例. 日臨外医学会誌, 53, 1182~1186, 1992.
 - 32) 渋谷哲男: [総説] 人工肛門. 産科と婦人科, 59, 283~287, 1992.
 - 33) 秋丸琥甫, 上田義夫, 庄司 佑: [報告] 破傷風; 重症高齢者治療例と文献の考察. 日医大誌, 59, 258~261, 1992.
 - 34) 高橋英毅, 日置正文: [原著] 開心術後横隔神経麻痺の検討. 日臨外医学会誌, 53, 1528~1534, 1992.
 - 35) 日置正文, 家所良夫, 山内茂夫, 浅野哲雄, 松島伸治, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司 佑: [原著] 僧帽弁膜症に対する新しいアプローチ法; 高位左房切開+心房中隔切開法の組み合わせ. 胸部外科, 45, 1167~1170, 1992.
 - 36) 渡辺秀裕, 山本英希, 清水一雄, 酒井欣男, 北浜秀男, 陳 光永, 北村 裕, 長浜充二, 松井 聡, 江連 司, 大場英巳, 庄司 佑: [原著] 短期間内に多中心性に悪性化再発を来した乳腺葉状腫瘍の1例. 日臨外医学会誌, 53, 1591~1596, 1992.
 - 37) 坂本俊樹, 庄司 佑, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物・免疫): [総説] 肝再生と肝類洞壁細胞. 肝胆臓, 24, 959~969, 1992.
 - 38) 清水一雄, 北村 裕, 長浜充二, 庄司 佑: [報告] 永続的甲状腺機能低下症に対する甲状腺移植の基礎的研究 (第1報); 凍結保存甲状腺の自家移植について. 日外会誌, 92, 1728~1728, 1992.
 - 39) 清水一雄, 吉川 晃, 内山喜一郎, 井出道也, 岩瀬和泉, 渋谷哲男, 庄司 佑: [原著] 正中頸嚢胞 (甲状舌管嚢胞); 偏平上皮癌1例を含めた23例の臨床的検討. 日臨外医学会誌, 53, 504~509, 1992.
 - 40) Shimizu, K., Nagahama, M., Kitamura, Y., Chin, K., Watnabe, H., Ide, M., and Shoji, T.: [原著] Abundant thyroid produced by human thyroid cells in culture. J. Nippon Med. Sch., 59, 355~356, 1992.
 - 41) 清水一雄, 酒井欣男, 長浜充二, 北村 裕, 井出道也, 豊島宏二, 渡辺秀裕, 庄司 裕: [報告] 左腎原発の転移性甲状腺腫瘍の1例. 内分泌外科, 9, 145~151, 1992.
 - 42) 森越栄太¹⁾, 佐藤薫隆¹⁾, 向井佐志彦¹⁾, 斎藤 節, 為我井芳郎¹⁾ (¹⁾佼成病院外科): [原著] 術後 MRSA 感染症の臨床的検討; 特に発生要因とその対策について. 日臨外医学会誌, 53, 1507~1515, 1992.
 - 43) Ozaki, O., Ito, K., and Toshima, K.: [原著] Solid cell nests of the thyroid gland; Precursor of mucoepidermoid carcinoma? . World J. Surg., 16, 685~689, 1992.
 - 44) 今井 茂, 宮入 健, 渋谷哲男, 秋丸琥甫, 内山喜一郎, 高橋英毅, 山本英希, 山本正生¹⁾, 渡辺 淳¹⁾ (¹⁾小児科): [報告] 幼児に発生した Askin tumor の1症例. 日臨外医学会誌, 53, 2676~2681, 1992.
 - 45) 秋丸琥甫, 庄司 佑: [原著] 移植肝の病理. 日医大誌, 59, 428~432, 1992.
 - 46) 秀嶋 周, 須田雍夫¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター胸部外科): [原著] 消化器に三重複癌の発生をみた日本住血吸虫症の1例. 癌の臨床, 38, 7, 805~809, 1992.
 - 47) 秀嶋 周, 須田雍夫¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター胸部外科): [原著] 日本住血吸虫卵を認めた直腸癌の2例. 埼玉医会誌, 27, 3, 115~119, 1992.
 - 48) 小松信男¹⁾, 森 秀樹, 前田隆志, 高橋 望, 小林明彦¹⁾, 日下部輝夫¹⁾, 長尾孝一²⁾ (¹⁾日下部病院, ²⁾帝京大学病院), [報告] 食道原発悪性リンパ腫の1例. 日臨外医学会誌, 53, 2412~2416, 1992.
 - 49) Akimaru, K., Ide, M., Saitoh, M., Iwase, I., Suzuki, S., Uchiyama, K., Ohba, H., Shibuya, T., and Shoji, T.: [原著] Subcutaneous wire traction technique without CO2 insufflation for laparoscopic cholecystectomy.

J. Laparoscopic Surg., 3, 59~62, 1992.

- 50) 小金沢滋：〔原著〕赤外線凝固；痔核の新しい外来治療法。日本大腸肛門病会誌，45，444~455，1992.
- 51) 前田昭太郎¹⁾，秋丸琥甫，有田 淳，佐藤春明¹⁾，山田宣孝¹⁾（¹⁾第一病院病理部）：〔報告〕穿刺吸引細胞診で診断した直径0.25cmのT₀微小乳癌（非浸潤性肝癌）の1例；穿刺吸引細胞診による診断上の問題点，病理と臨床，10（別冊），8，1992.
- 52) 渡辺秀裕，山本英希，清水一雄，酒井欣男，北浜秀男，陳 光永，北村 裕，長浜充二，松井 聡，江連 司，大場英巳，庄司 佑：〔報告〕短期期間内に多中心性に悪性化再発を来した乳腺葉状腫瘍の1例。日臨外医会誌，53，1591~1596，1992.
- 53) 辻 順行：〔原著〕痔瘻術前診断における指針と経肛門の超音波検査との比較検討。日本大腸肛門病会誌，45，1033~1038，1992.
- 54) 浜松 優，中山恵二，三神 寛，五十嵐司，相良宗徳，大崎邦子，中村進一，南 和文，清水一雄：〔報告〕外傷後に生じた malignant melanoma の1例。Skin Cancer，7，176~179，1992.
- 55) 大塚俊司，中原昌子，山田宣孝，清水一雄，山本格士，石川喜美男：〔総説〕甲状腺の肉眼像と病理組織，細胞像〔I〕正常像，パセドウ病，橋本病。医学検査，41，1992.
- 56) 大塚俊司，佐藤春明，村瀬幸宏，中原昌子，早沢久美，石川喜美男，清水一雄，山田宣孝：〔総説〕甲状腺の肉眼像と病理組織，細胞像〔II〕腺腫様甲状腺腫，ろ胞腺腫。医学検査，41，1992.
- 57) 平野文也¹⁾，坂本俊樹，三樹 勝²⁾，横室公三¹⁾（¹⁾微生物免疫，²⁾第二病院消化病センター）：〔原著〕肝再生におけるマウスリンパ球 subject の変動；Flow cytometry を用いた解析。日医大誌，59，38~47，1992.
- 58) Tsukui, T.¹⁾, Kikuchi, K.¹⁾, Mabuchi, A.¹⁾, Sudo, T.²⁾, Sakamoto, T., Sato, N.¹⁾, Tsuneoka, K.³⁾, Shikita, M.³⁾, Aida, T.⁴⁾, Asano, G.⁴⁾, Watari, E.¹⁾, and Yokomuro, K.¹⁾（¹⁾微生物免疫，²⁾バイオマテリアル研究所，³⁾放射線医学総合研究所，⁴⁾病理第2）：〔原著〕Production of macrophage colony-stimulating factor by adult murine parenchymal liver cells (hepato cytes). J. Leukocyte Biol., 52, 383~389, 1992.
- 59) 広本雅之¹⁾，日下部輝夫，森 秀樹，前田隆志，津島秀史¹⁾，久米誠人¹⁾，伊達 淳¹⁾（¹⁾日下部病院）：〔報告〕後腹膜に発生した腸性嚢胞の1例。日臨外医会誌，53，2516~2521，1992.
- 60) 内山正一，高橋真佐司，矢野正雄，庄司 佑：〔報告〕術前MRI検査が有用であった膵のSolid and cystic tumorの1例。日消外会誌，25，2838~2842，1992.
- 61) 渡辺秀裕：〔原著〕肝と胃壁内の薬物代謝酵素P450に関する研究。日癌治，27，619~628，1992.
- 62) Ozaki, O., Kawano, M., Iwabuchi, H., Kitamura, Y., Sugino, K., Mimura, T., and Ito, K.: 〔原著〕Metastasis of thyroid carcinoma to the prelaryngeal lymph nodes. 内分泌外科，9，251，1992.
- 63) 杉野公則，伊藤國彦，三村 孝，尾崎修武，山下共行，北村 裕，岩渕 裕，〔原著〕甲状腺分化癌非根治手術例における予後因子の検討。日外会誌，9，251，1992.
- 64) 五味渕誠，田中茂夫，山内仁紫，真崎義隆，林 晃一，大久保直子，庄司 佑：〔報告〕低肺機能を伴った肺原発同時三重癌の1例。日呼外会誌，7，199~204，1993.
- 65) 落 雅美，田中茂夫，池下正敏，小坂真一，新田 隆，寺田功一，山内仁紫，庄司 佑：〔報告〕僧帽弁および三尖弁のIonescu-Shiley弁機能不全に対し緊急2弁置換を行った1例。胸部外科，46，178~181，1993.
- 66) 松山 謙，田中茂夫，池下正敏，浅野哲雄，宇都宮英敏，新田 隆，川本雅司，庄司 佑，玉井 仁¹⁾，伊藤公一郎¹⁾（¹⁾付属病院放射線科）：〔報告〕膝窩動脈捕捉症候群の1治療例；MRI診断上有用であった1例。日臨外会誌，54，209~216，1993.
- 67) Hioki, M., Ikeshita, M., Iedokoro, Y., Nitta, T., Harada, A., Asano, T., Tanaka, S., and Shoji, T.: 〔原著〕Successful combined operation for mitral stenosis and atrial fibrillation. Ann Thorac Surg., 55, 776~778, 1993.
- 68) 五味渕誠，富士崎隆，田中茂夫，笹井 巧，山内仁紫，林 晃一，師田哲郎，別所竜蔵，三上 敏，庄司 佑：

- 〔原著〕運動負荷試験からみた低肺機能症例の肺切除術後合併症予測と特性. 日胸外会誌, 41, 403~408, 1993.
- 69) 秋丸琥甫, 庄司 佑: 〔総説〕線維層状型肝細胞癌. 日医大誌, 60, 64~66, 1993.
- 70) 矢野正雄, 内山正一, 高橋真佐司, 渋谷哲男, 庄司 佑: 〔報告〕術前 CT にて診断し得たヘルニアの 1 例. 日臨外医会誌, 54, 200~204, 1993.
- 71) 矢野正雄, 秋丸琥甫, 庄司 佑, 中川 仁¹⁾, 山田宣孝¹⁾ (¹⁾第一病院病理部): 〔報告〕Sohnitzler 転移を吸引穿刺細胞診にて診断し得た胃悪性カルチノイド腫瘍の 1 例. 日臨細胞会誌, 32, 95~96, 1993.
- 72) 大塚俊司¹⁾, 佐藤春明¹⁾, 村瀬幸宏¹⁾, 仲原昌子¹⁾, 早澤久美¹⁾, 石川喜美男²⁾, 清水一雄, 山田宣孝¹⁾ (¹⁾第一病院病理部, ²⁾聖マリアンナ医科大学病理学教室): 〔総説〕甲状腺の肉眼像と組織像・細胞像〔IV〕甲状腺悪腫瘍. 医学検査, 1993.
- 73) 秋丸琥甫, 内山喜一郎, 岩瀬和泉, 今井 茂, 田中昌彦, 後藤学, 庄司 佑: 〔報告〕左葉切除後 7 年で再発した肝巨大血管腫に対して前区域切除術を行った 1 症例. 日消外会誌, 26, 884~888, 1993.
- 74) Akimaru, K., Koguma, M., Hideshima, A., Gotoh, M., Shibuya, T., and Shoji, T.: 〔報告〕Esophage-jejuno-duodenal anastomoses with ultra-short duodenum, surgery today. The Japanese Journal of Surgery, 23, 1035~1037, 1993.
- 75) Akimaru, K., Shouji, T., and Masugi, Y.: 〔報告〕A case report of post-thymectomy myasthenia gravis with residual thymoma. J. Nippon Med. Sch., 60, 241~244, 1993.
- 76) 清水一雄: 〔報告〕Invited Commentary, 大脳症状を初発とした腎原発の 1 例; 穿刺液中のサイログロブリン値より転移を疑った症例. 内分泌科, 10, 45~46, 1993.
- 77) 矢野正雄, 秋丸琥甫, 庄司 佑, 中川 仁¹⁾, 山田宣孝¹⁾ (¹⁾第一病院病理部): 〔報告〕Schnitzler 転移を吸引穿刺細胞診にて診断し得た胃悪性カルチノイド腫瘍 (内分泌細胞癌) の 1 例. 日臨細胞会誌, 1993.
- 78) Sugino, K., Mimura, T., Toshima, K., Iwabuchi, H., Kitamura, Y., Kawano, M., Ozaki, O., and Ito, K.: 〔原著〕Follow-up evaluation of patients with graves disease treated by subtotal thyroidectomy and risk factor analysis for postoperative thyroid dysfunction. J. Endocrinol. Invest, 16, 195, 1993.
- 79) 小平祐造, 清水一雄, 松島伸治, 井出道也, 酒井欣男, 陳 光永, 長浜充二, 北村裕, 豊島宏治, 渋谷哲男, 庄司 佑: 〔報告〕上皮小体癌の肺転移の 1 例; 上皮小体腫瘍画像診断の有効性と限界. 日臨外医会誌, 54, 927~930, 1993.
- 80) 広本雅之¹⁾, 日下部輝夫, 森 秀樹, 前田隆志 (¹⁾日下部病院): 〔報告〕陥入爪手術103例の経験. 日臨外医会誌, 53, 547~550, 1993.
- 81) Matsushima, S., Montefusco, C.M., Shoji, T., and Veith, F.J.: 〔原著〕Successful 24-hour preservation of canine lungs for allotransplantation using verapamil. Transplantation Proceedings, 25, 2119~2123, 1993.
- 82) Sugino, K., Mimura, T., Toshima, K., Iwabuchi, H., Kitamura, Y., Kawano, M., Ozaki, O., and Ito, K.: 〔原著〕Follow-up evaluation of patients with graves disease treated by subtotal thyroidectomy and risk factor analysis for postoperative thyroid dysfunction. J. Endocrinol Invest, 16, 195, 1993.

〔前年度追加分〕

- 1) 田中茂夫: 〔報告〕植込み型除細動器の現況. 内科, 68, 126~128, 1991.
- 2) 田中茂夫: 〔原著〕植込み型除細動器の症例選択; 進歩する心臓研究. Tokyo Heart Journal, 11, 41~49, 1991.
- 3) 田中茂夫: 〔原著〕AICD による急死の予防. ハートナーシング, 4, 1007~1012, 1991.
- 4) 田中茂夫: 〔原著〕植込み型除細動器. 循環器科, 29, 600~605, 1991.
- 5) 小泉 潔, 田中茂夫, 松島伸治, 五味潤誠, 笹井 巧, 塩田晶彦, 原口秀司, 真崎義隆, 師田哲郎, 庄司 佑, 川本雅司¹⁾ (¹⁾病理第 1): 〔原著〕T4 肺癌の心・大血管・食道に対する拡大合併切除の評価と反省. 日胸外会誌, 39, 619~621, 1991.

- 6) 内山正一, 高橋真佐司, 矢野正雄, 塩谷 猛, 庄司 佑: [報告] 上行結腸癌に合併した Lemmel 症候群の 1 例. 厚生年金病院年報, 18, 77~82, 1991.

著 書

- 1) 田中茂夫: [訳書] 胸部外科ハンドブック (Cardiothoracic handbook, Brown, A.H., Guzman M.), 総合医学社, 1992.
- 2) 田中茂夫: [分担] 植込み型除細動器. “循環器疾患; 最新の治療'92-'93”. (安田寿一, 杉本恒明編), P. 376~378, 南江堂, 1992.
- 3) 田中茂夫: [分担] 植込み型除細動器. “不整脈学, ペースメーカー”. (杉本恒明編), P. 620~622, 南江堂, 1992.
- 4) 田中茂夫: [分担] 植込み型除細動器の適応と有用性は? “心臓病の臨床; 今日の論点” (木全一心編), 中外医学社, 1992.
- 5) 田中茂夫: [編集] 心臓ペースメーカー; 目でみる循環器病シリーズ. メジカルビュー社, 1992.
- 6) 田中茂夫: [分担] レート応答型ペースメーカー. “心臓ペースメーカー; 目でみる循環器病シリーズ” (田中茂夫編), P. 80~91, メジカルビュー社, 1992.
- 7) 田中茂夫: [分担] 生命予後・生活予後. “心臓ペースメーカー; 目でみる循環器病シリーズ” (田中茂夫編), P. 154~165, メジカルビュー社, 1992.
- 8) Ninomiya, J., Tanaka, S., Matsuyama, Y., Yamauchi, S., Sasaki, K., Kaji, M., Bessho, R., Shoji, T., Takano, T., and Nose, Y.: [共著] Experimental and clinical studies of right heart assists; Artificial Heart. P. 302~306, W.B. Saunders, 1992.
- 9) 小泉 潔: [分担] 第86回医師国家試験解説. 医学評論社, 1992.
- 10) 落 雅美: [分担] 合併症とその対策. “心臓ペースメーカー; 目でみる循環器病シリーズ” (田中茂夫編), P. 120~129, メジカルビュー社, 1992.
- 11) 小坂真一: [分担] ペースメーカー植込み後の手術手技. “心臓ペースメーカー; 目でみる循環器病シリーズ” (田中茂夫編), P. 92~105, メジカルビュー社, 1992.
- 12) 坂本俊樹, 西澤高士¹⁾, 平野文也¹⁾, 馬淵綾子¹⁾, 宮本昌之¹⁾, 庄司 佑, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物免疫): [分担] 肝再生における肝内 hematology cell population の変動; 全身特に脾臓と比較して, 肝類洞壁細胞の進歩, 5, P. 165~168, 国際図書出版, 1992.
- 13) 馬淵綾子¹⁾, 坂本俊樹, 津久井拓¹⁾, 平野文也¹⁾, 渡理英二¹⁾, 野呂頼嘉彦¹⁾, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物免疫): [分担] 肝非実質細胞およびその培養上清によって誘導される脾細胞の増殖と分化, 肝類洞壁細胞の進歩, 5, P. 160~164, 国際図書出版, 1992.
- 14) 平野文也¹⁾, 坂本俊樹, 馬淵綾子¹⁾, 横室公三 (¹⁾微生物免疫学): [分担] 肝再生におけるマウスリンパ球 subset の変動; Flow cytometry を用いた解析, 肝類洞壁細胞の進歩, 5, P. 152~155, 国際図書出版, 1992.
- 15) 池下正敏, 庄司 佑: [分担] 不整脈治療; 手術かカテーテル治療か? Annual Review 循環器1993, 中外医学社, 1993.

[前年度追加分]

- 1) 小泉 潔: [分担] 第85回医師国家試験解説. 医学評論社, 1991.

学会発表

- 1) 田中茂夫, 池下正敏, 落 雅美, 小坂真一, 矢島俊巳, 寺田功一, 山内仁紫, 井村 肇, 秋山博彦, 庄司 佑: [指定演題] 重症 A-C バイパス術症例に対する体外循環離脱時の IABP による補助循環の有用性. 第22回日本心臓血管外科学会学術総会, 1992.

- 2) 池下正敏, 田中茂夫, 浅野哲雄, 小坂真一, 落 雅美, 矢島俊巳, 山内仁紫, 師田哲郎, 杉本忠彦, 庄司 佑, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾ (1)集中治療室): [一般講演] 急性心筋梗塞に伴う心室自由破裂例と外科治療の検討. 第22回日本心臓血管外科学会学術総会, 1992.
- 3) 日置正文, 池下正敏, 五十嵐健人, 阿部 豊, 家所良夫, 原田 厚, 浅野哲雄, 松島伸治, 田中茂夫, 庄司 佑: [ビデオセッション] 心房細動を合併した僧帽弁狭窄症に対する一期的手術 (弁置換術+心房切開術), 第22回日本心臓血管外科学会学術総会, 1992.
- 4) 二宮淳一, 田中茂夫, 小坂真一, 山内仁紫, 林 晃一, 井村 肇, 大久保直子, 庄司 佑: [ビデオセッション] 心筋梗塞後左室瘤及び心室中隔瘤に対するパッチ修復術と laser myocardial recanalization. 第22回日本心臓血管外科学会学術総会, 1992.
- 5) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 小坂真一, 矢島俊巳, 寺田功一, 山内仁紫, 庄司 佑, 山手 昇¹⁾ (1)聖マリアンナ医大第3外科): [指定演題] 冠血行再建術の遠隔成績: 大伏在静脈 (SVC) を用いた多枝バイパス症例の長期遠隔成績; 冠動脈病変 score を用いての検討. 第22回日本心臓血管外科学会学術総会, 1992.
- 6) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 小坂真一, 矢島俊巳, 寺田功一, 山内仁紫, 杉本忠彦, 師田哲郎, 庄司 佑: [指定演題] 腹部大動脈以下血管病変を合併する不安定狭心症の治療方針と予後. 第22回日本心臓血管外科学会学術総会, 1992.
- 7) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 落 雅美, 師田哲郎, 藤松利浩, 庄司 佑: [一般講演] CABG における順行性/逆行性併用による cardioplegia の有効性について. 第22回日本心臓血管外科学会学術総会, 1992.
- 8) 菅野重人, 小坂真一, 庄司 佑, 田村浩一¹⁾ (病理第1): [一般講演] 長期開存性が期待される動脈グラフトの病理組織学的評価. 第22回日本心臓血管外科学会学術総会, 1992.
- 9) 五味洸誠, 田中茂夫, 秋山博彦, 杉本忠彦, 本田二郎, 寺田功一, 山内仁紫, 小泉 潔, 庄司 佑: [ビデオ演題] 巨大悪性奇形腫に対する上大静脈再建・右全肺合併切除術. 第9回日本呼吸器外科学会総会, 1992.
- 10) 五味洸誠, 田中茂夫, 富士崎隆, 笹井 巧, 若林武雄, 森岡晴記, 原口秀司, 真崎義隆, 林 晃一, 別所竜蔵, 秋山博彦, 三上 敏, 庄司 佑: [展示] 運動時心肺機能からみた低肺機能症例の特性と切除限界. 第9回日本呼吸器外科学会総会, 1992.
- 11) 小泉 潔, 田中茂夫, 松島伸治, 五味洸誠, 笹井 巧, 若林武雄, 塩田晶彦, 原口秀司, 師田哲郎, 真崎義隆, 川本雅司¹⁾, 庄司 佑 (1)病理第1): [ラウンドテーブル] 低肺機能患者に対する肺癌外科治療の検討. 第9回日本呼吸器外科学会総会, 1992.
- 12) 五味洸誠, 小泉 潔: [一般講演] 肺機能検査との比較からみた術前運動負荷試験の有用性について. 第32回日本胸部疾患学会総会, 1992.
- 13) 小泉 潔, 田中茂夫, 塩田晶彦, 原口秀司, 師田哲郎, 真崎義隆, 福島孝男, 井村 肇, 秋山博彦, 三上 敏, 大沢 肇, 庄司 佑, 川本雅司¹⁾ (1)病理第1): [一般講演] 肺癌手術後右心後負荷の評価と治療. 第32回日本胸部疾患学会総会, 1992.
- 14) 矢島俊巳: [シンポジウム] 生命予後および生活予後; 高性能ペースメーカーの功罪, Quality of life からみた功罪. 第7回日本心臓ペースング学会学術大会, 1992.
- 15) 池下正敏: [シンポジウム] 本邦における ICD 臨床試験の現況. 第5回植込み型除細動機器 (ICD) 公開シンポジウム, 1992.
- 16) 池下正敏, 田中茂夫, 日置正文, 浅野哲雄, 家所良夫, 原田 厚, 山内茂生, 新田 隆, 杉本忠彦, 井村 肇, 庄司 佑: [一般講演] 心房粗細動の外科的治療の検討. 第7回日本心臓ペースング学会学術大会, 1992.
- 17) 師田哲郎, 田中茂夫, 林 晃一, 本田二郎, 井村 肇, 大久保直子, 三上 敏, 大沢 肇, 池下正敏, 庄司 佑: [一般講演] ペースメーカーリード断線症例の検討. 第7回日本心臓ペースング学会学術大会, 1992.
- 18) 林 晃一, 田中茂夫, 矢島俊巳, 山内仁紫, 杉本忠彦, 師田哲郎, 本田二郎, 大久保直子, 三上 敏, 大沢 肇, 庄司 佑: [一般講演] ペースメーカー-植込み術後, 10年以上経過した患者の予後および成績. 第7回日本心臓ペ

-シング学会学術大会, 1992.

- 19) 大久保直子, 田中茂夫, 師田哲郎, 寺田功一, 矢島俊巳, 小坂真一, 落 雅美, 池下正敏, 庄司 佑:〔一般講演〕心房 screw-in 型リードの急性期における閾値の経時的推移についての検討. 第7回日本心臓ペースング学会学術大会, 1992.
- 20) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 落 雅美, 寺田功一, 大沢 肇, 三上 敏, 庄司 佑:〔一般講演〕開心術前, 自己血貯血におけるエリスロポエチン皮下投与の効果. 第5回自己血輸血研究会, 1992.
- 21) 山内仁紫, 田中茂夫, 二宮淳一, 矢島俊巳, 寺田功一, 杉本忠彦, 本田二郎, 師田哲郎, 林 晃一, 庄司 佑, 渡辺正規¹⁾, 小川俊一¹⁾, 平山恒夫¹⁾, 田島廣之²⁾, 隈崎達夫²⁾, 恵畑欣一²⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾放射線科):〔一般講演〕回転デジタル血管造影法による小児心血管病変の術前診断の有用性について. 第29回日本小児外科学会総会, 1992.
- 22) 本田二郎, 常本 実¹⁾, 太田喜義¹⁾, 島田宗洋¹⁾, 石澤 瞭¹⁾, 小池一行¹⁾ (¹⁾国立小児病院心臓血管外科):〔一般講演〕Blalock-Taussing 短絡術後, 遠隔期の肺動脈発育について. 第29回日本小児外科学会総会, 1992.
- 23) 家所良夫, 日置正文, 阿部 豊, 小林雅人, 長江 康, 長井一泰, 松島伸治, 渋谷哲男, 庄司 佑:〔一般講演〕Superior trans-septal approach 法による弁置換術 4 例の経験. 第82回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 24) 日置正文, 家所良夫, 五十嵐健人, 阿部 豊, 原田 厚, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司 佑:〔一般講演〕MS+ Af に対する弁置換術+modified-MAZE 手術の経験. 第82回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 25) 三上 敏, 田中茂夫, 二宮淳一, 落 雅美, 寺田功一, 山内仁紫, 杉本忠彦, 本田二郎, 庄司 佑:〔一般講演〕活動期 IE にて TR を呈した小児に対する 1 手術治験例. 第82回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 26) 真崎義隆, 山本光伸¹⁾, 西村仁志¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター胸部外科):〔一般講演〕試験開胸症例に対する腫瘍内エタノール注入の経験. 第82回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 27) 保坂浩希, 常本 実¹⁾, 島田宗洋¹⁾, 太田喜義¹⁾, 川島 亨¹⁾, 石澤 瞭¹⁾, 小池一行¹⁾, 磯田貴義¹⁾, 先崎秀明¹⁾, 立澤 幸¹⁾, 永田正人¹⁾ (¹⁾国立小児病院心臓血管外科):〔一般講演〕感染源の心外導管を置換した 1 例. 第82回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 28) 島田宗洋¹⁾, 常本 実¹⁾, 太田喜義¹⁾, 保坂浩希, 川島 亨¹⁾, 石澤 瞭¹⁾, 小池一行, 磯田貴義¹⁾, 先崎秀明¹⁾ (¹⁾国立小児病院心臓血管外科):〔一般講演〕Adjustable ASD 法を試みた純型肺動脈閉鎖症 2 期的手術の 1 例. 第82回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 29) 田中啓治¹⁾, 杉本忠彦, 小島 潤¹⁾, 高山守正¹⁾, 高野照夫¹⁾, 二宮淳一(¹⁾付属病院集中治療室):〔シンポジウム〕激しい心原性ショックに対する経皮的肺補助法(PCPS)に伴う多臓器不全(MOF)の頻度と重症度(ショックと臓器不全). 第33回日本救急医学会関東甲信越地方会, 1992.
- 30) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 小坂真一, 矢島俊巳, 寺田功一, 山内仁紫, 林 晃一, 師田哲郎, 本田二郎, 庄司 佑:〔一般講演〕虚血性心疾患治療上の血管外科医の役割と手術方針について. 第20回日本血管外科学会総会, 1992.
- 31) Osaka, S., Tanaka, S., Ikeshita, M., Ninomiya, J., Kanno, S., Fujimatsu, T., Ochi, M., and Shoji, T.:〔一般講演〕Coronary artery bypass graft using the internal thoracic, the right gastroepiploic and the inferior epigastric artery. 5th Annual Meeting International Society of Cardio-Thoracic Surgeons (Kumamoto), 1992.
- 32) 本田二郎, 田中茂夫, 塩田晶彦, 小泉 潔, 五味潤誠, 原口秀司, 師田哲郎, 真崎義隆, 中島祐史, 庄司 佑:〔一般講演〕前胸壁に発生した Castleman's lymphoma の 1 例. 第83回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 33) 朽方規喜, 維田隆夫, 万納寺栄一¹⁾, 加瀬川均¹⁾, 平田 理¹⁾, 小林信之¹⁾, 袖長安積¹⁾, 川瀬光彦¹⁾ (¹⁾榊原記念病院外科):〔一般講演〕冠血行再建手術後の急性期ショックに対し, 再冠血行再建を要した 2 例. 第83回日本胸

部外科学会関東甲信越地方会, 1992.

- 34) 保坂浩希, 島田宗洋¹⁾, 関口昭彦¹⁾, 宮地 鑑¹⁾, 西村晃一¹⁾, 石澤 瞭²⁾, 磯田貴義²⁾, 先崎秀明²⁾, 菱谷 隆²⁾
(¹⁾国立小児病院心臓血管外科, ²⁾国立小児病院循環器科): [一般講演] AR を放置して心内修復を行った VSD, PA の 1 治験例. 第83回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 35) 岩城秀行, 田中茂夫, 本田二郎, 塩田晶彦, 五味潤誠, 小泉 潔, 原口秀司, 真崎義隆, 林 晃一, 庄司 佑:
[一般講演] 縦隔に原発した Adenocarcinoma の 1 症例. 第83回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 36) 宇都宮英敏: [海外留学学者講演] Perfusion Contrast Echo 法による冠動脈バイパス術後の局所心筋血流の評価.
第60回日本医大医学会総会, 1992.
- 37) 原口秀司, 福田 悠¹⁾, 山中宣昭¹⁾, 庄司 佑 (¹⁾病理第1): [一般講演] 肺ブラ・ブレブの弾性線維障害. 第60
回日本医大医学会総会, 1992.
- 38) 池下正敏, 田中茂夫, 日置正文, 家所良夫, 浅野哲雄, 原田 厚, 山内茂生, 新田 隆, 杉本忠彦, 庄司 佑:
[一般講演] 心房細動の外科治療; とくに合併心疾患との一期的外科治療. 第45回日本胸部外科学会総会, 1992.
- 39) 五味潤誠, 菅野重人, 田中茂夫, 原口秀司, 真崎義隆, 庄司 佑, 田村浩一¹⁾, 山本光伸²⁾, 出雲俊之³⁾ (¹⁾病理第
1, ²⁾埼玉県立がんセンター胸部外科, ³⁾同病理): [展示] AgNOR と Fibronectin からみた I 期症例の予後につ
いて. 第45回日本胸部外科学会総会, 1992.
- 40) 小泉 潔, 田中茂夫, 三上 敏, 大沢 肇, 山田研一, 秋山博彦, 別所竜蔵, 山内仁紫, 原口秀司, 塩田晶彦,
川本雅司¹⁾, 竹田晋浩²⁾, 庄司 佑: [一般講演] 肺癌に対する気管支形成術例での右心機能の検討. 第45回日本
胸部外科学会総会, 1992.
- 41) 松山 謙, 三枝直紀, 日置正文, 家所良夫, 田中茂夫, 庄司 佑, 安武正弘¹⁾, 酒井俊太¹⁾, 伊藤公一郎²⁾ (¹⁾付属
病院第1内科, ²⁾同放射線科): [一般講演] 超高速 CT (イマトロン) による冠状動脈血行再建術後の動脈グ
ラフト灌流領域の評価. 第45回日本胸部外科学会総会, 1992.
- 42) 朽方規喜, 川瀬光彦¹⁾, 加瀬川均¹⁾, 万納寺栄一¹⁾, 維田隆夫¹⁾, 榊原高之¹⁾ (¹⁾榊原記念病院外科): [展示] 弁膜
症再開心術における外科治療; 手術手技, 補助手段の工夫とその成績. 第45回日本胸部外科学会総会, 1992.
- 43) 田中啓治¹⁾, 杉本忠彦, 三上 敏, 家所哲夫¹⁾, 高山守正¹⁾, 高野照夫¹⁾, 師田哲郎, 矢島俊巳, 二宮淳一 (¹⁾集中
治療室): [要望演題] IABP 無効の心原ショックに対する経皮的心肺補助法 (PCPS) の併用. 第13回 IABP 研
究会, 1992.
- 44) 池下正敏, 佐々木建志, 落 雅美, 小坂真一, 宇都宮英敏, 杉本忠彦, 師田哲郎, 田中茂夫, 庄司 佑, 高野照
夫¹⁾, 田中啓治¹⁾ (¹⁾付属病院集中治療室): [一般講演] B 型大動脈解離の治療成績; とくに手術適応の再検討.
第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 45) 日置正文, 家所良夫, 鈴木成治, 吉川 晃, 小平祐造, 庄司 佑: [一般講演] 左側腹膜外到達法による腹部大
動脈瘤の手術. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 46) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 小坂真一, 矢島俊巳, 寺田功一, 山内仁紫, 杉本忠彦, 師田哲郎,
庄司 佑, 高野照夫¹⁾ (¹⁾付属病院集中治療室): [一般講演] 急性心筋虚血と腹部大動脈以下の血管病変の合併
例に対する治療方針. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 47) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 藤松利浩, 落 雅美, 寺田功一, 庄司 佑, 藤岡幹雄¹⁾, 栗原広孝¹⁾, 洪 芳樹¹⁾,
杉本雄治¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 長沢紘一¹⁾ (¹⁾多摩永山病院内科): [一般講演] 内膜摘除併用による胃大網動脈・左内
胸動脈, 大伏在静脈グラフトによる多枝 CABG. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 48) 杉本忠彦, 田中茂夫, 池下正敏, 佐々木建志, 庄司 佑, 高野照夫¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高山守正¹⁾, 隈崎達夫²⁾, 大矢
徹²⁾ (¹⁾付属病院集中治療室, ²⁾同放射線科): [一般講演] B 型急性大動脈解離における非手術例の遠隔予後と残
存解離腔の運命の検討. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 49) 小泉 潔, 田中茂夫, 大沢 肇, 三上 敏, 井村 肇, 大久保直子, 真崎義隆, 師田哲郎, 原口秀司, 塩田晶彦,
川本雅司¹⁾, 庄司 佑: [展示] 胸壁合併切除例の臨床的検討; 予測術後肺機能から. 第33回日本肺癌学会総会,

1992.

- 50) 五味洵誠, 富士崎隆, 田中茂夫, 笹井 巧, 真崎義隆, 林 晃一, 師田哲郎, 井村 肇, 秋山博彦, 庄司 佑: [一般講演] 肺癌術後の運動時心肺機能の変化について. 第33回日本肺癌学会総会, 1992.
- 51) 松島伸治, 笹井 巧, 鈴木成治, 小泉 潔, 五味洵誠, 原口秀司, 小平祐造, 家所良夫, 吉川 晃, 清水一雄, 日置正文, 秋丸琥甫, 池下正敏, 渋谷哲男, 田中茂夫, 庄司 佑: [展示] 転移性肺腫瘍に対する外科治療の臨床的検討. 第33回日本肺癌学会総会, 1992.
- 52) 真崎義隆, 山本光伸¹⁾, 西村仁志¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター胸部外科): [展示] 肺腫瘍に対するエタノール注入療法の経験. 第33回日本肺癌学会総会, 1992.
- 53) 古田知行¹⁾, 弦間昭彦¹⁾, 吉村明修¹⁾, 吉森浩三¹⁾, 林原賢治¹⁾, 谷口泰之¹⁾, 植松和嗣¹⁾, 臼杵二郎²⁾, 原口秀司, 山中宣昭²⁾, 小泉 潔, 五味洵誠, 田中茂夫, 仁井谷久暢¹⁾ (¹⁾付属病院第4内科, ²⁾病理第1): [一般講演] 術前化学療法施行非小細胞肺癌における臨床病理学的検討. 第33回日本肺癌学会総会, 1992.
- 54) 来馬明規¹⁾, 井野 威¹⁾, 小林義典¹⁾, 小野寺威夫¹⁾, 黒木伸一¹⁾, 斉藤寛和¹⁾, 八島正明¹⁾, 新 博次¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 池下正敏, 田中茂夫 (¹⁾付属病院第1内科): [一般講演] Adams-Stokes 症状を伴う薬剤抵抗性 AVNRT に対し, AV nodal modification が奏功した1例. 第4回カテーテルアブレーション公開研究会, 1992.
- 55) Cyonin, C.S.¹⁾, Nitta, T., Mitusno, M.¹⁾, Tsobe, F.¹⁾, Boineau, J.P.¹⁾, and Cox, J.L.¹⁾ (¹⁾Washington Univ.): [一般講演] Surgical ablation of atrial flutter after the mustard procedure. AHA 65th Scientific Session, 1992.
- 56) 笹井 巧, 榊原重泰, 原田 厚, 佐々木建志, 松島伸治, 五味洵誠, 日置正文, 田中茂夫, 庄司 佑: [一般講演] 心大血管病変を合併した胸部悪性腫瘍治療の問題点. 日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 57) 鈴木成治, 松島伸治, 有田 淳, 山本英希, 小熊将之, 家所良夫, 日置正文, 二宮淳一, 渋谷哲男, 田中茂夫, 庄司 佑: [一般講演] 僧帽弁置換術後の食道類基底細胞癌の1手術例. 第84回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 58) Koizumi, K., Tanaka, S., Shioda, M., Haraguchi, S., Kawamoto, M., and Shoji, T.: [一般講演] Simplified prediction of postoperative lung function by plain chest roentgenogram in patients with primary lung cancer. 12th Asia Pacific Congress on Disease of the Chest, 1992.
- 59) 小泉 潔, 原口秀司, 塩田晶彦, 本田二郎, 田中茂夫, 庄司 佑: [ビデオセッション] 上大静脈症候群を呈した右肺管状切除. 第6回肺癌手術手技研究会, 1992.
- 60) 小平祐造, 松島伸治, 清水一雄, 有田 淳, 五十嵐健人, 豊島宏二, 家所良夫, 渋谷哲男, 庄司 佑: [一般講演] 内因性 TSH 分泌抑制で縮小した甲状腺乳頭癌肺転移の1手術例. 第105回日本肺癌学会関東支部会, 1992.
- 61) 渋谷哲男, 大場英巳, 内山喜一郎, 天神敏弘, 今井 茂, 鈴木章一, 北浜秀男, 猪口正孝, 渋谷純一, 庄司 佑: [一般講演] 瘻瘻切除例の予後に及ぼす因子について. 第54回日臨外総会, 1992.
- 62) 北村 裕, 清水一雄, 長浜充二, 伊藤國彦¹⁾, 庄司 佑 (¹⁾伊藤病院): [展示] 細胞生存率よりみた甲状腺組織の凍結保存方法の検討. 第4回日本内分泌外科学会総会, 1992.
- 63) 長浜充二, 清水一雄, 北村 裕, 庄司 佑: [一般講演] 甲状腺移植の基礎的研究; 特に筋肉内移植片の生着状態とその機能について. 第4回日本内分泌外科学会総会, 1992.
- 64) 渡辺秀裕, 清水一雄, 山本英希, 松井 聡, 大場英巳, 庄司 佑: [展示] 乳腺葉状腫瘍例の検討; 特に悪性例を中心として. 第4回日本内分泌外科学会総会, 1992.
- 65) 豊島宏二, 久保敦司¹⁾, 清水一雄, 尾崎修武, 伊藤國彦²⁾, 庄司 佑 (¹⁾慶応大学放射線科, ²⁾伊藤病院): [展示] 再発甲状腺髄様癌の局在診断; 131I-MIBG の有用生について. 第4回日本内分泌外科学会総会, 1992.
- 66) 清水一雄, 渡辺秀裕, 井出道也, 陳 光永, 長浜充二, 北村 裕, 庄司 佑: [一般講演] 副腎腫瘍31例の臨床的およびモノクローナル抗体 HISL-19 による組織化学的検討. 第4回日本内分泌外科学会総会, 1992.
- 67) 長浜充二, 清水一雄, 北村 裕, 庄司 佑: [一般講演] 甲状腺奇形腫の1例. 第25回甲状腺外科検討会, 1992.

- 68) 長浜充二, 清水一雄, 井出道也, 北村 裕, 庄司 佑:〔展示〕ラット凍結保存甲状腺組織の自家移植と甲状腺機能の変動についての検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 69) 平井恭二, 松島伸治, 鈴木成治, 江連 司, 家所良夫, 日置正文, 庄司 佑:〔一般講演〕食道・胃に発生した同時性早期重複癌の1手術例. 第82回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 70) 大場英巳, 岩瀬和泉, 前田隆志, 木村俊仁, 渋谷哲男, 庄司 佑:〔一般講演〕右側大動脈弓を伴った非特異性食道潰瘍の1症例. 第46回食道疾患研究会, 1992.
- 71) 斎藤 節, 秋丸琥甫, 増田 栄, 大阪信太郎, 内山喜一郎, 岩瀬和泉, 今井 茂, 秀嶋 周, 庄司 佑, 茂古沼吉宗¹⁾ (¹第一病院放射線科):〔一般講演〕経脾動脈的門脈内注入療法(脾動脈門柱)の試み. 第10回リザーバー研究会, 1992.
- 72) 佐藤薫隆¹⁾, 向井佐志彦¹⁾, 斎藤 節¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 森越栄太¹⁾, 鈴木章一, 増田 栄, 中山弘道, 吉川 晃 (¹佼成病院):〔一般講演〕Linitis plantica 型胃癌から大腸にびまん浸潤壁内転移を示した症例の検討. 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 73) 大阪信太郎, 秋丸琥甫, 斎藤 節, 内山喜一郎, 岩瀬和泉, 今井 茂, 渋谷哲男, 庄司 佑:〔一般講演〕抗癌剤感受性試験の局所化学療法に応用. 第10回リザーバー研究会, 1992.
- 74) 天神敏博¹⁾, 須田浩充, 北浜秀男, 陳 光永, 小熊蔭之, 渡辺秀裕, 井出道也, 岩瀬和泉, 内山喜一郎, 松島伸治, 渋谷哲男, 庄司 佑 (¹中島病院):〔パネルディスカッション〕DNA probe に対し FISH (fluorescence in situ hybridization) 法を用いた走査型レーザ顕微鏡による観察. 第2回日本サイトメトリー学会総会, 1992.
- 75) 山本英希, 加藤秀和, 田中昌彦, 渋谷哲男, 庄司 佑, 山田宣孝¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹病理第2):〔展示〕PCNA の発現からみた大腸腺腫と大腸癌増殖能の検討. 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 76) 井出道也, 秋丸琥甫, 大場英巳, 清水一雄, 渋谷哲男, 岩瀬和泉, 庄司 佑, 荒巻長門¹⁾, 松久威史¹⁾, 角田誠之¹⁾, 出光豊明¹⁾, 大島 博¹⁾ (¹内視鏡科):〔一般講演〕当院における腹腔鏡下胆嚢摘出術の合併症. 第28回日本胆道学会総会, 1992.
- 77) 清水一雄, 渡辺秀裕, 井出道也, 陳 光永, 長浜充二, 北村 裕, 渋谷哲男, 庄司 佑, 若林一二¹⁾, 山田宣孝²⁾, 大塚俊司²⁾ (¹付属病院内分泌内科, ²第一病院病理部):〔展示〕モノクローナル抗体 HISI-19 による神経内分泌腫瘍の組織化学的検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 78) 織井恒安, 岩瀬和泉, 大場英巳, 須田浩充, 矢野正雄, 前田隆志, 渡辺秀裕, 小山寿雄, 秋丸琥甫, 山田宣孝¹⁾, 渋谷哲男, 庄司 佑 (¹第一病院病理部):〔展示〕同時両側発生乳癌の1例. 第746回外科集談会, 1992.
- 79) 北村 裕, 清水一雄, 長浜充二, 陳 光永, 井出道也, 渋谷哲男, 庄司 佑, 伊藤國彦¹⁾ (¹伊藤病院):〔展示〕甲状腺組織片の至適凍結条件の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 80) 栗原 怜¹⁾, 竹内正至¹⁾, 桜井祐成¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 松信精一²⁾, 大藺英一²⁾, 葉山修陽²⁾, 飯野靖彦²⁾, 清水一雄 (¹春日部秀和病院腎内科, ²内科第2):〔一般講演〕二次性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺全摘, 一部自家移植術の長期的効果. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 81) 秋丸琥甫, 内山喜一郎, 岩瀬和泉, 今井 茂, 斎藤 節, 渋谷哲男, 庄司 佑:〔展示〕当院における肝細胞癌の治療について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 82) 内山明美¹⁾, 中野一博¹⁾, 家所良夫, 秋丸琥甫, 新宅孝征²⁾, 永積 惇³⁾ (¹第一病院血液センター, ²同中央検査室, ³内科第2):〔一般講演〕大量輸血を必要としたA×B型の1症例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 83) 白木康夫, 清水一雄, 渡辺秀裕, 長浜充二, 井出道也, 北村 裕, 田中宏治, 渋谷哲男, 庄司 佑:〔展示〕橋本病に対する外科的治療の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 84) 内山喜一郎, Douglas, W.H.¹⁾ (¹Division of Transplantation, Department of Surgery, Washington University, School of Medicine):〔海外留学者講演〕マウスにおける抗 $\alpha\beta$ -Tcell リセプターモノクローナル抗体の拒絶反応抑制効果に関する研究. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 85) 渋谷哲男, 大場英巳, 秋丸琥甫, 内山喜一郎, 井出道也, 今井 茂, 鈴木章一, 陳 光永, 庄司 佑:〔一般講

- 演〕直腸癌手術例の検討。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 86) 山本英希¹⁾，矢野正雄¹⁾，須田浩充¹⁾，大塚俊司¹⁾，山田宣孝¹⁾，角田誠之²⁾，伊藤正秀²⁾，大島 博²⁾，渋谷哲男，庄司 佑，加藤秀和³⁾，浅野伍朗³⁾ (¹⁾第一病院病理部，²⁾内視鏡科，³⁾病理第2)：〔一般講演〕大腸生検グループ分類診断基準の提唱；核 DNA 量，PCNA，p53の発現からみて。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
 - 87) 矢野正雄¹⁾，山本英希¹⁾，須田浩充¹⁾，村瀬幸弘¹⁾，大塚俊司¹⁾，佐藤春明¹⁾，仲原昌子¹⁾，早沢久美¹⁾，山田宣孝¹⁾，浅野伍朗²⁾，秋丸琥甫 (¹⁾第一病院病理部，²⁾病理第2)：〔展示〕乳癌穿刺細胞診像からみた乳癌組織分類の再検討。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
 - 88) 須田浩充¹⁾，山本英希¹⁾，矢野正雄¹⁾，山田宣孝¹⁾，岩瀬和泉，秋丸琥甫，庄司 佑，浅野伍朗²⁾ (¹⁾第一病院病理部，²⁾病理第2)：〔展示〕同時性両側乳癌の1例。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
 - 89) 佐治 守¹⁾，田口桜子¹⁾，堀田孝駿¹⁾，内山喜一郎，鈴木章一，今井 茂，井出道也，渋谷哲男，庄司 佑 (¹⁾第一病院薬剤科)：〔一般講演〕Geutiana violet の MRSA 感染病巣に対する局所治療剤としての有用性の検討。第34回日本消化器病学会大会，1992。
 - 90) 秀嶋 周，関根 毅¹⁾，須田雅夫¹⁾，武内 脩¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター)：〔展示〕大腸原発悪性リンパ腫手術例の検討。第30回日本癌治療学会総会，1992。
 - 91) 北浜秀男，渡辺秀裕，天神敏博，陳 光永，長浜充二，酒井欣男，北 俊典，渋谷哲男：〔展示〕胃癌細胞の CEA 産性について。第51回日本癌学会総会，1992。
 - 92) 須田雅夫¹⁾，内田健二¹⁾，秀嶋 周，柿沼臣一¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター)：〔一般講演〕胃癌切除後の UFT 投与例における Uravil 追加投与時の血中5FU 濃度。第30回日本癌治療学会総会，1992。
 - 93) 猪口正孝¹⁾，猪口孝一¹⁾，渋谷哲男，天神敏博，浅野伍朗¹⁾，庄司 佑 (¹⁾病理第2)：〔展示〕肝疾患における癌抑制蛋白 P53異常発現の免疫組織化学的検討。第51回日本癌学会総会，1992。
 - 94) 内田健二¹⁾，須田雅夫¹⁾，関根 毅¹⁾，秀嶋 周 (¹⁾埼玉県立がんセンター)：〔展示〕遠隔成績からみた Stage III 胃癌の術後補助化学療法の検討。第30回日本癌治療学会総会，1992。
 - 95) 山本英希，山田宣孝¹⁾，大塚俊司¹⁾，浅野伍朗²⁾，庄司 佑 (¹⁾第一病院病理部，²⁾病理第2)：〔一般講演〕大腸腺腫と核 DNA 量；特に良悪性境界病変において。第10回癌 DNA 研究会，1992。
 - 96) 山本英希，山田宣孝¹⁾，浅野伍朗²⁾，庄司 佑 (¹⁾第一病院病理部，²⁾病理第2)：〔展示〕大腸腫瘍における癌抑制遺伝子 P53の発現と PCNA 票賦率。第51回日本癌学会総会，1992。
 - 97) 内山喜一郎，秋丸琥甫，長井一泰，庄司 佑，仲原昌子¹⁾，村瀬幸宏¹⁾，佐藤春明¹⁾，松本光司¹⁾，山田宣孝¹⁾，前田昭太郎¹⁾ (¹⁾第一病院病理部)：〔展示〕乳腺の転移性悪性リンパ腫の1例。第33回日本臨床細胞学会総会，1992。
 - 98) 内山喜一郎，鈴木章一，今井 茂，井出道也，渋谷哲男，庄司 佑，佐治 守¹⁾ (¹⁾第一病院薬剤科)：〔一般講演〕MRSA 感染病巣に対するゲンチアナ・バイオレットの局所治療剤としての有用性の検討。第54回日本臨床外科学会総会，1992。
 - 99) 渡辺秀裕，清水一雄，山本英希，松井 聡，大場英巳，庄司 佑：〔展示〕乳腺葉状腫瘍例の検討；特に悪性例を中心として。第4回日本内分泌外科学会総会，1992。
 - 100) 陳 光永，森 秀樹，酒井欣男，山本基子，北 俊典，長浜充二，北浜秀男，天神敏博，渡辺秀裕，清水一雄，渋谷哲男，庄司 佑：〔展示〕アルギン酸マイクロカプセルを用いた新しい SDI 法の検討。第51回日本癌学会総会，1992。
 - 101) 白石 敦，間 武雄¹⁾，浅野伍朗，庄司 佑 (¹⁾病理第2)：〔展示〕ヒト大腸癌における basic FGF，および basic FGF m RNA の局在。第51回日本癌学会総会，1992。
 - 102) 天神敏博，長浜充二，猪口正孝，北浜秀男，陳 光永，渡辺秀裕，松島伸治，庄司 佑：〔展示〕Fluorescence in situ hybridization を用いた DNA probe の走査型レーザー顕微鏡による観察。第51回日本癌学会総会，1992。
 - 103) 宮本昌之¹⁾，坂本俊樹，河路秀巳¹⁾，恩田昌彦²⁾，横室公三¹⁾ (¹⁾微生物免疫，²⁾外科第1)：〔一般講演〕肝再生の過程で起こる胸腺細胞の臓器集積性の変動；PNA 陽性胸腺細胞静注後の肝，脾への集積性とその経時的変化。

第22回日本免疫学会学術集会, 1992.

- 104) 馬淵綾子¹⁾, 津久井拓, 坂本俊樹, 菊池京子¹⁾, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物学免疫): [一般講演] 初代培養肝実質細胞が産生するサトカインの検索. 第6回肝類洞壁細胞研究会, 1992.
- 105) 岩村太郎, 坂本俊樹, 笠井源吾¹⁾, 渋谷哲男, 庄司 佑 (¹⁾波崎済生会病院内科): [一般講演] ハンドル外傷による脾完全断裂の1例. 第16回茨城県救急医学会, 1992.
- 106) 岩村太郎, 坂本俊樹, 笠井源吾¹⁾, 渋谷哲男, 庄司 佑 (¹⁾波崎済生会病院内科): [一般講演] シートベルト外傷による小腸穿孔の1例. 第16回茨城県救急医学会, 1992.
- 107) 鈴木成治, 岩村太郎, 坂本俊樹, 谷本光保¹⁾, 寺田秀人¹⁾, 笠井源吾¹⁾ (¹⁾波崎済生会病院内科): [一般講演] 有機燐中毒症の1救命例. 第16回茨城県救急医学会, 1992.
- 108) 秀嶋 周, 関根 毅¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター胸部外科): [展示] 日本住血吸虫卵を認めた直腸癌の2例. 第37回大腸癌研究会, 1992.
- 109) 秀嶋 周, 関根 毅¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター胸部外科): [一般講演] びまん浸潤型大腸癌の臨床病理学的検討. 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 110) 秀嶋 周, 須田雍夫¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター胸部外科): [ワークショップ] 消化管原発悪性リンパ腫切除例の検討. 第34回日本消化器病学会大会, 1992.
- 111) 秀嶋 周, 関根 毅¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター胸部外科): [一般講演] 右側結腸癌の臨床病理学的検討. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 112) 陳 光永, 森 秀樹, 酒井欣男, 山本基子, 北 俊典, 長浜充二, 北浜秀男, 天神敏弘, 渡辺秀裕, 清水一雄, 渋谷哲男, 庄司 佑: [一般講演] アルギン酸マイクロカプセルを用いた新しいSDI法の検討; in vivo 制癌剤感受性試験への応用. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 113) 日置正文, 家所良夫, 鈴木成治, 吉川 晃, 小平裕造, 渋谷哲男, 田中茂夫, 庄司 佑: [一般講演] 外科的疾患を合併した腹部大動脈瘤手術の検討. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 114) 岩瀬和泉, 秋丸琥甫, 今井 茂, 内山喜一郎, 井出道也, 山本英希, 渋谷哲男, 庄司 佑: [一般講演] 巨大肝海綿状血管腫の3手術例. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 115) 江連 司, 清水一雄, 渡辺秀裕, 長浜充二, 酒井欣男, 平井恭二, 星野有哉, 有田 淳, 渋谷哲男, 庄司 佑, 大場建三: [報告] 甲状腺原発の扁平上皮癌の1例. 第17回日本外科系連合学会学術集会, 1992.
- 116) 岩瀬和泉, 鈴木成治, 阿部 豊, 織井弘安, 木村俊仁, 家所良夫, 井出道也, 日置正文, 秋丸琥甫, 大場英己, 渋谷哲男, 庄司 佑: [報告] 脾炎に伴う脾動脈瘤の2例. 第746回外科集団会, 1992.
- 117) 中山弘路, 佐藤薫隆¹⁾, 向井佐志彦¹⁾, 斎藤 節¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 鈴木章一¹⁾, 森越栄太¹⁾, 増田 栄¹⁾, 吉川 晃¹⁾ (¹⁾佼成病院): [報告] 食道静脈瘤と胃癌を合併した2例. 日本食化器病学会関東地方会, 1992.
- 118) 内山正一, 高橋真佐司, 矢野正雄, 渋谷哲男, 庄司 佑: [報告] 成因不明の総胆管内膜状物質により閉塞性黄疸を表した1例. 第21回日本消化器病学会関東地方会, 1992.
- 119) 秋丸琥甫, 今井 茂, 岩瀬和泉, 内山喜一郎, 北川 亘, 長瀬 康, 木村俊仁, 庄司 佑: [一般講演] 肝切除後の脾機能亢進症. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 120) 北村 裕, 河野通一, 岩淵 裕, 杉野公則, 尾崎修武, 三村 孝, 伊藤國彦¹⁾ (¹⁾伊藤病院): [一般講演] 甲状腺癌死亡症例の検討. 第25回甲状腺外科検討会, 1992.
- 121) 北村 裕, 石川直文, 河野通一, 岩淵 裕, 杉野公則, 尾崎修武, 三村 孝, 伊藤國彦¹⁾ (¹⁾伊藤病院): [展示] PHIRpによる高Ca血症を伴った甲状腺分の1例. 第54回日本臨床外科検討会, 1992.
- 122) 有田 淳, 内山正一, 鈴木敏克, 富士崎隆, 渋谷哲男, 庄司 佑: [一般講演] 後腹膜原発の粘液嚢胞腺癌の1例. 第748回関東外科集談会, 1993.
- 123) 内山正一, 鈴木敏克, 有田 淳, 渋谷哲男, 庄司 佑: [一般講演] 職域大腸癌検診における二次検診の検討. 第47回日本大腸肛門病学会総会, 1992.

- 124) 馬淵綾子, 松井 聡, 金子勝美, 池田正和, 横室公三¹⁾ (微生物・免疫): [一般講演] 肝内リンパ細胞の性状と機能. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 125) 馬淵綾子¹⁾, 松井 聡, 野呂瀬嘉彦¹⁾, 北島真澄, 西澤光義¹⁾, 横室公三¹⁾ (微生物免疫): [一般講演] 肝臓の hematolymphoid system T細胞の増殖と分化に及ぼす肝実質細胞の影響(II). 第22回日本免疫学会総会, 1992.
- 126) 江連 司, 佐藤薫隆¹⁾, 向井佐志彦¹⁾ (佼成病院): [一般講演] 若年者乳腺巨大線維腺腫の1例. 第747回外科集談会, 1992.
- 127) 江連 司, 佐藤薫隆¹⁾, 斎藤 節¹⁾, 向井佐志彦¹⁾ (佼成病院): [一般講演] 約4年の経過観察中に大腸多発腺腫と多発早期癌と診断した1例. 第55回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 128) 清水一雄, 渡辺秀裕, 井出道也, 陳 光永, 長浜充二, 北村 裕, 庄司 佑: [一般講演] 副腎腫瘍31例の臨床的およびモノクローナル効体 HISL-19による組織科学的検討. 第4回日本内分泌外科学会総会, 1992.
- 129) 清水一雄, 渡辺秀裕, 井出道也, 陳 光永, 長浜充二, 北村 裕, 渋谷哲男, 庄司 佑, 若林一二¹⁾, 山田宣孝²⁾, 大塚俊司 (1)付属病院第3内科, 2)第一病院病理部): [展示] モノクローナル効体 HISL-19による神経内分泌腫瘍の組織科学検討. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 130) 清水一雄, 栗原 怜¹⁾, 長浜充二, 天神敏弘, 井出道也, 北村 裕, 陳 光永, 渋谷哲男, 庄司 佑¹⁾ (春日部秀和病院腎内科): [一般講演] 二次性上皮小体機能について. 第25回甲状腺外科検討会, 1992.
- 131) 清水一雄, 山本修美, 前田隆志, 家所良夫, 内山喜一郎, 長浜充二, 渡辺秀裕, 渋谷哲男, 庄司 佑: [一般講演] 頸部広範囲手術欠損創にたいする大胸筋皮弁有茎移植. 第54回日本臨床外科学会総会, 1992.
- 132) 豊島宏二, 久保敦司, 清水一雄, 尾崎修武¹⁾, 伊藤國彦¹⁾, 庄司 佑 (伊藤病院): [一般講演] 再発甲状腺髄様癌の局在診断; 131I-MIBGの有用性について. 第4回日本内分泌外科学会総会, 1992.
- 133) 松尾千恵美¹⁾, 横山和子¹⁾, 清水一雄, 有田 淳 (第一病院麻酔科): [一般講演] 周期性四肢麻酔経験. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 134) Shimizu, K., Watanabe, H., Ide, M., Nagahama, M., Toshima, K., Chin, K., Shubuya, T., Ito, K., and Shoji, T.: [シンポジウム] Immunohistochemical study on medullary carcinoma of the thyroid using monoclonal antibody HISL-19. The 4th Korea-Japan Thyroid Symposium, 1992.
- 135) 尾崎修武¹⁾, 河野通一¹⁾, 岩淵 裕¹⁾, 北村 裕¹⁾, 杉野公則¹⁾, 三村 孝¹⁾, 伊藤國彦¹⁾ (伊藤病院): [一般講演] 甲状腺片葉欠損症を伴ったパセドウ病について. 第4回日本内分泌外科学会, 1992.
- 136) 杉野公則¹⁾, 北村 裕¹⁾, 岩淵 裕¹⁾, 河野通一¹⁾, 尾崎修武¹⁾, 三村 孝¹⁾, 伊藤國彦¹⁾ (伊藤病院): [一般講演] 非進行性甲状腺乳頭癌における局所再発の検討. 第4回日本内分泌外科学会, 1992.
- 137) 北村 裕¹⁾, 伊藤國彦¹⁾, 清水一雄, 長浜充二, 庄司 佑 (伊藤病院): [一般講演] 細胞生存率よりみた甲状腺組織の凍結保存方法の検討. 第4回日本内分泌外科学会, 1992.
- 138) 杉野公則¹⁾, 三村 孝¹⁾, 豊島宏治¹⁾, 岩淵 裕¹⁾, 北村 裕¹⁾, 河野通一¹⁾, 尾崎修武¹⁾, 伊藤國彦¹⁾ (伊藤病院): [一般講演] パセドウ病術後遠隔成績からみた抗 TSH 受容体抗体値の意義について. 第25回甲状腺外科検討会, 1992.
- 139) 尾崎修武¹⁾, 河野通一¹⁾, 岩淵 裕¹⁾, 北村 裕¹⁾, 杉野公則¹⁾, 三村 孝¹⁾, 伊藤國彦¹⁾ (伊藤病院): [一般講演] パセドウ病 RI 治療後の甲状腺癌について. 第25回甲状腺外科検討会, 1992.
- 140) 岩淵 裕¹⁾, 伊藤國彦¹⁾, 三村 孝¹⁾, 尾崎修武¹⁾, 杉野公則¹⁾, 北村 裕¹⁾, 河野通一¹⁾, 鳥屋城男²⁾, 玉井誠一³⁾ (1)伊藤病院, 2)都立大塚病院, 3)防衛医大病理): [一般講演] 腫瘍摘出術後経過を追った甲状腺癌36例の検討. 第25回甲状腺外科検討会, 1992.
- 141) 北村 裕¹⁾, 河野通一¹⁾, 岩淵 裕¹⁾, 杉野公則¹⁾, 尾崎修武¹⁾, 三村 孝¹⁾, 伊藤國彦¹⁾ (伊藤病院): [一般講演] 甲状腺癌死亡症例の検討. 第25回甲状腺外科検討会, 1992.
- 142) 河野通一¹⁾, 岩淵 裕¹⁾, 北村 裕¹⁾, 杉野公則¹⁾, 尾崎修武¹⁾, 三村 孝¹⁾, 伊藤國彦¹⁾, 浜名元一²⁾, 古寺研一³⁾, 日下部きよ子⁴⁾ (1)伊藤病院, 2)済生会中央病院外科, 3)同放射線科, 4)東京女子医大放射線科): [展示] 抗癌剤の

- 肝動注療法が有効であった進行性甲状腺髄様癌の1例. 第25回甲状腺外科検討会, 1992.
- 143) 三倉亮平, 河野通一¹⁾, 岩渕 裕¹⁾, 北村 裕¹⁾, 杉野公則¹⁾, 尾崎修武¹⁾, 吉村 弘, 石川直文, 百溪尚子, 三村孝¹⁾, 伊藤國彦¹⁾ (¹⁾伊藤病院): [展示] 甲状腺癌術後患者の妊娠中の1-T4投与量について. 第25回甲状腺外科検討会, 1992.
 - 144) 北村 裕, 石川直文, 河野通一, 岩渕 裕, 杉野公則, 尾崎修武, 三村 孝, 伊藤國彦: [展示] PTHPによる高カルシウム血症を伴った甲状腺未分化癌の1例. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
 - 145) Iwabuchi, H.¹⁾, Torita, K.²⁾, Tamai, S.³⁾, Mimura, T.¹⁾, Sugino, K.¹⁾, Kitamura, Y.¹⁾, Kawano, M.¹⁾, Ozaki, O.¹⁾, and Ito, K.¹⁾ (¹⁾Ito Hospital, ²⁾Otsuka Metropolitan Hospital, ³⁾National Deference Med College): [一般講演] A case of metastatic thyroid tumor from the breast suggested by fine needle aspiration cytology. 6th Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1992.
 - 146) Kitamura, Y., Mimura, T., Yamashita, T., Ozaki, O., Iwabuchi, H. and Kawano, M.: [一般講演] A case of thyroid hemangioma. 6th Meeting of Asia and Pacific Endocrine Conference, 1992.
 - 147) Kodaira, Y., Shimizu, K., Ezure, T., Hirai, K., Toshima, K., Watanabe, H., Chin, K., Nagahama, M., Kitamura, H., Shibuya, T., and Shoji, T.: [一般講演] Islet cell tumors and monoclonal antibody HISL-19: 4 cases report and immunohistochemical study for these tumors. 6th Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1993.
 - 148) 武井 裕¹⁾, 遠藤慎一¹⁾, 小山照幸¹⁾, 稗方富蔵¹⁾, 鎌田 聡²⁾, 宮本成基²⁾, 山手 昇²⁾, 池下正敏, 原田 厚, 庄司 佑 (¹⁾聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院心臓血管外科, ²⁾聖マリアンナ医大第3外科): [一般講演] オンライン・マッピング・システムを用いたWPW 症候群の外科治療. 第1回クリニカルビデオフォーラム, 1993.
 - 149) 窪倉浩俊, 田中茂夫, 福島光浩, 大久保直子, 朽方規喜, 本田二郎, 山内仁紫, 小坂真一, 落 雅美, 池下正敏: [一般講演] 特異な内胸動脈造影所見を認めた冠動脈と末梢動脈同時血行再建の3例. 日本循環器学会第147回関東甲信越地方会, 1993.
 - 150) 田中茂夫: [特別講演] 植込み型除細動器の現況と将来に関する展望. 第9回神奈川心臓ペースング研究会, 1993.
 - 151) 宇都宮英敏, 田中茂夫, 池下正敏, 松山 謙, 庄司 佑: [一般講演] Alburnex®を用いた perfusion contrast echo 法による冠動脈血行再建術の評価. 第12回日本画像医学会, 1993.
 - 152) 松山 謙, 三枝直紀, 寺田功一, 日置正文, 家所良夫, 田中茂夫, 庄司 佑, 安武正弘¹⁾, 伊藤公一郎²⁾: [ラウンドテーブルディスカッション] 超高速CT (イマトロン) による冠状動脈血行再建術後の動脈グラフト灌流領域の評価. 第12回日本画像医学会, 1993.
 - 153) 小野卓哉¹⁾, 杉本忠彦, 田島秀則¹⁾, 内田拓美¹⁾, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 本間 博²⁾, 斉藤寛和²⁾, 早川弘一²⁾, 朽方規喜, 矢島俊巳, 田中茂夫 (¹⁾付属病院集中治療室, ²⁾同第1内科): [一般講演] 経胸壁の超音波断層法にて診断が困難であった巨大左房粘液腫の1例. 日本循環器学会第147回関東甲信越地方会, 1993.
 - 154) 寺田功一, 二宮淳一, 山内仁紫, 本田二郎, 岩城秀行, 田中茂夫, 庄司 佑, 小川俊一¹⁾, 上砂光裕¹⁾, 藤松真理子¹⁾, 平山恒夫¹⁾ (¹⁾付属病院小児科): [一般講演] 10歳小児の左冠動脈肺動脈異常起始症の1治験例. 第85回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1993.
 - 155) 岩城秀行, 田中茂夫, 池下正敏, 小泉 潔, 塩田晶彦, 松沢 勲: [一般講演] 右胸鎖関節脱臼骨折の整復に用いたK-wire 切損による縦隔内異物の1例. 第748回外科集談会, 1993.
 - 156) 高本真一¹⁾, 半田宣弘¹⁾, 師田哲郎: (¹⁾公立昭和病院心臓血管外科): [一般講演] 逆行性脳循環法における近赤外線脳内酸素モニター. 第3回逆行性臓器灌流研究会, 1993.
 - 157) Ninomiya, J.: [パネルディスカッション] Our policy of bridge use of artificial heart: Bridge of artificial heart-VAD or TAH, pulsatile or nonpulsatile?. 第13回日本大学国際シンポジウム (東京), 1993.
 - 158) Ninomiya, J., Tanaka, S., Ikeshita, M., Ochi, M., Osaka, S., Yajima, T., Terada, K., Yamauchi, H., Honda, J., Sugimoto, T., and Shoji, T.: [一般講演] A study of heart surgery in elderly patients. 1st Annual Meeting

Asian Society for Cardiovascular Surgery (福岡), 1993.

- 159) 日置正文, 家所良夫, 松島伸治, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司 佑:〔展示〕消化器外科疾患を合併した腹部大動脈瘤の外科治療. 第23回日本心臓血管外科学会学術総会, 1993.
- 160) 二宮淳一, 田中茂夫, 小坂真一, 落 雅美, 寺田功一, 山内仁紫, 本田二郎, 野一色泰晴¹⁾, 庄司 佑(¹⁾横浜市立大学外科):〔一般講演〕Laser 血管吻合法の有用性について. 第23回日本心臓血管外科学会学術総会, 1993.
- 161) 浅野哲雄, 田中茂夫, 池下正敏, 日置正文, 家所良夫, 山内茂生, 原田 厚, 新田 隆, 矢島俊巳, 庄司 佑:〔会長推薦演題〕心房細動の外科治療:両心房切開法の経験. 第23回日本心臓血管外科学会学術総会, 1993.
- 162) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 小坂真一, 矢島俊巳, 寺田功一, 山内仁紫, 杉本忠彦, 三上 敏, 庄司 佑, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾(¹⁾付属病院集中治療室):〔展示〕PTCA 施行不能な重症不安定狭心症に対する外科治療成績と問題点. 第23回日本心臓血管外科学会学術総会, 1993.
- 163) 宇都宮英敏, 田中茂夫, 池下正敏, 庄司 佑:〔一般講演〕Perfusion contrast echo 法による冠動脈バイパス術の術中心筋血流評価に関する研究. 第23回日本心臓血管外科学会学術総会, 1993.
- 164) 池下正敏, 田中茂夫, 庄司 佑:〔展示〕重症心室性不整脈の外科治療:その選択と限界. 第57回日本循環器学会学術集会, 1993.
- 165) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 小坂真一, 矢島俊巳, 庄司 佑, 高山守正¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾(¹⁾付属病院集中治療室):〔展示〕PTCA が施行困難とされた重症不安定狭心症(UA)に対する外科治療の検討. 第57回日本循環器学会学術集会, 1993.
- 166) 宇都宮英敏, 田中茂夫, 池下正敏, 庄司 佑:〔一般講演〕Albunex®を用いた Perfusion contrast echo 法(PCE)による心筋血流の定量化への試み. 第57回日本循環器学会学術集会, 1993.
- 167) Watanabe, H., Shimizu, K., Matsushima, S., Tenjin, T., Kitahama, H., Chin, K., Nagahama, M., Kitamura, Y., Ezure, T., and Shoji, T.:〔一般講演〕A clinica pathological study for phyllodes tumor especually in malignant cases, with a review of the literature in Japan. 6th Asia and Pacific Endocrine Conference, 1993.
- 168) Ezure, T., Shimizu, K., Watanabe, H., and Nagahama, M.:〔一般講演〕Primary squamous cell carcinoma of the thyroid. 第6回アジア太平洋内分泌学会, 1993.
- 169) 秋丸琥甫, 増田 栄, 内山喜一郎, 大阪信太郎, 今井 茂, 岩瀬和泉, 渋谷哲男, 庄司 佑:〔一般講演〕Stage III, IVのHCCに対するTAEと局所化学療法による治療成績の比較検討. リザーバー研究会旭川セミナー, 1993.
- 170) 秋丸琥甫, 増田 栄, 内山喜一郎, 岩瀬和泉, 今井 茂, 大阪信太郎, 渋谷哲男, 庄司 佑, 茂古沼吉宗¹⁾(¹⁾第一病院放射線科):〔一般講演〕非開腹による門注療法:脾動脈門注について. 第11回リバーサー研究会, 1993.
- 171) 秋丸琥甫, 田中宏治, 宮入 健, 北 俊典, 今井 茂, 内山喜一郎, 岩瀬和泉, 渋谷哲男, 庄司 佑:〔一般講演〕肺転移巣が破裂した切除不能肝細胞癌の1例. 第7回肝癌症例検討会, 1993.
- 172) 秋丸琥甫, 庄司 佑, 渡辺一彦, 本田治彦, 福生吉裕, 赫 彰郎:〔一般講演〕ウサギの胸腺全摘術. 第40回日本実験動物学会総会, 1993.
- 173) Akimaru, K., Uchiyama, K., Imai, S., Iwase, I., and Shouji, T.:〔一般講演〕Anterior segmentectomy for the recurrence of giant cavernous hemangioma in the liver. Ibaraki Video Saion on Liver Surgery, 1993.
- 174) Igarashi, T., Simizu, K., Nagahama, M., Ide, M., Kitamura, Y., Yamamoto, H., Yano, M., Uchiyama, K., Watanabe, H., Chin, K., Kitahama, H., and Shoji, T.:〔一般講演〕Teratoma of the thyroid in a dult. 6th Asia and Pasific Endocrine Conference, 1993.
- 175) Kodaira, Y., Shimizu, K., Ezure, T., Hirai, K., Tohima, K., Watanabe, H., Chin, K., Nagahama, M., Kitahama, H., Shibuya, T., and Shouji, T.:〔一般講演〕Islet cell tumors and monoclonal ant ibody hisl-19:4 case reports and immunohistochemical study for these. 6th Asia and Pacific Endocrine Conference,

1993.

- 176) Kitamura, Y., Yamashita, T., Ozaki, O., Iwabuchi, H., Kawano, M., and Ito, K.: [一般講演] A case of thyroid hemangioma. 6th Asia and Pacific Endocrine Conference, 1993.
- 177) 為我井芳郎¹⁾, 佐藤薫隆¹⁾ (¹⁾佼成病院): [展示] 大腸早期癌の治療, 外科手術と内視鏡的手術の接点. 第41回日本消化器外科学会総会, 1993.
- 178) 陳 光永, 森 秀樹¹⁾, 酒井欣男, 山本基子²⁾, 名取讓治, 北村 裕, 長浜充二, 北浜秀男, 天神敏博, 渡辺秀裕, 清水一雄, 渋谷哲男, 庄司 佑 (¹⁾日下部病院, ²⁾中央研究室): [一般演題] アルギン酸マイクロカプセルを用いた新しいSDI法の検討. 第41回日本消化器外科学会, 1993.
- 179) 森 秀樹¹⁾, 酒井欣男, 山本基子, 名取讓治, 北村 裕, 長浜充二, 北浜秀男, 天神敏弘, 渡辺秀裕, 高橋真司, 井出道也, 清水一雄, 渋谷哲男, 庄司 佑: (¹⁾日下部病院): [一般講演] アルギン酸マイクロカプセルを用いた新しsdi法の検討 (in vivo 制癌剤感受性試験への応用). 第41回日本消化器外科学会総会, 1993.
- 180) 猪口正孝¹⁾, 渋谷哲男, 天神敏博, 山田宣孝¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 庄司 佑 (¹⁾病理第2): [展示] 肝細胞癌と肝硬変症における癌抑制蛋白 P53異常発現の免疫組織化学的検討. 第41回日本消化器外科学会総会, 1993.
- 181) 秋丸琥甫, 今井 茂, 岩瀬和泉, 内山喜一郎, 長江 康, 北川 亘, 庄司 佑: [一般講演] 肝切除術の脾増大と脾機能亢進. 第41回日本消化器外科学会, 1993.
- 182) Matsuo, C., Yokoyama, K., Shimizu, K., and Arita, A.: [一般講演] Experience of anesthesia for periodic paralysis. 6th Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1993.
- 183) Hayashi, Y., Nakai, A., Yokota, A., Yoshimitsu, K., Koshino, T., Arai, T., Shimizu, K., and Shibuya, T.: [展示] Neonatal hyperthyroidism delivered from the patient with graves' diseases remaining high TSH antibody. 6th Meeting of Asia and Pacific Endocrine Conference, 1993.

〔前年度追加分〕

- 1) Koizumi, K., Tanaka, S., Osaka, S., Shioda, M., Haraguchi, S., and Shoji, T.: [展示] Studies on right ventricular performance in surgical treatment for primary lung cancer; Especially in changes of right ventricular ejection fraction in acute phase. 6th World Congress on Lung Cancer, 1991.
- 2) 小泉 潔, 田中茂夫, 小坂真一, 池下正敏, 塩田晶彦, 原口秀司, 本田二郎, 庄司 佑: [ビデオセッション] 体外循環を併用した左肺全摘除術; 大動脈・肺動脈部分合併切除術. 第5回肺癌手術手技研究会, 1991.
- 3) 吉川 晃, 松島伸治, 小熊将之, 平井恭二, 星野有哉, 家所良夫, 日置正文, 庄司 佑, 中村兼一¹⁾ (¹⁾耳鼻咽喉科): [症例報告] 肺癌術に口蓋扁桃に転移を来した1症例. 第32回日本肺癌学会総会, 1991.

〔第一病院内視鏡科〕

研究概要

当科の平成4年度の研究業績は内視鏡を用いた消化管の機能と形態に関するものを中心に、以下に示すような各種の基礎的ならびに臨床的研究を、前年度からさらに継続、発展させた。いずれの研究も消化管内視鏡学の広範な領域における臨床的意義の大きいものである。これまでの研究業績が認められ、平成4年10月には、大島教授を会長として第44回日本消化器内視鏡学会総会を運営した程である。

1) 逆流胆汁酸の胃粘膜に及ぼす影響に関する研究: 高速液体クロマトグラフィーによる胃液内胆汁酸濃度測定を行い、胃潰瘍、萎縮性胃炎、びらん、胃腺管腔の嚢胞状拡張、腸上皮化生との関係を、伊藤助教授らの病理組織学的所見の数量化 (Grade 分類) により詳細に検討した。

2) 幽門機能と形態に関する研究: 胃・十二指腸潰瘍における幽門形態と胆汁酸逆流頻度ならびに逆流胆汁酸濃度、アセトアミノフェン法を用いた胃排出能との関連性について検討した。

3) 電子内視鏡画像処理による消化管粘膜血流測定：本年度より、電子内視鏡による最新の方法である画像解析法を用い、下部消化管粘膜の組織ヘモグロビン濃度の画像化に関する研究をはじめた。それを組織所見と対比し報告した。

4) 消化器集団検診に関する研究：職域大腸集検に関しては、さらに症例を重ね、今までの成績を総合的に検討評価した。職域集検を全国規模に拡大した経験を基に職域特有の問題点についても報告した。

5) 老年者消化性潰瘍に関する研究：当科として永年続けられている研究の一つであるが、本年度は医局全体で取り組んでいる逆流胆汁酸との関連性について検討し、老年者胃潰瘍では胆汁酸逆流頻度は少ないものの、胆汁酸量は高値を示すことを明らかにした。

研究業績

論文

- 1) 伊藤正秀, 山口和彦, 出光豊明, 飯田章太郎, 児玉朱音, 角田誠之, 花牟礼康生, 松久威史, 大島 博：〔原著〕4年間の職域大腸集検の経験から得た職域特有の問題点. Ther. Res., 13(Suppl). (2), 110~113, 1992.
- 2) 角田誠之, 児玉朱音, 伊藤正秀, 大島 博, 馬越正通¹⁾, 山田宣孝²⁾(¹⁾第二病院消化器病センター, ²⁾第一病院病理部)：〔原著〕家族性大腸ポリポージスの母娘3症例. Ther. Res., 13(Suppl). (2), 212~217, 1992.
- 3) 倉 禎二¹⁾, 上里 勝¹⁾, 熊木敏郎¹⁾, 花牟礼康生, 山口和彦, 出光豊明, 飯田章太郎, 大島 博(¹⁾社会保険葛飾健診センター)：〔原著〕当健診センターにおける初年度大腸検診の結果. Ther. Res., 13(Suppl). (2), 357~358, 1992.
- 4) 松久威史, 山口和彦, 伊藤正秀, 大島 博：〔原著〕幽門機能と逆流胆汁酸. 日平滑筋会誌, 28, 197~201, 1992.

学会発表

- 1) 伊藤正秀, 山口和彦, 松久威史, 大島 博：〔一般講演〕逆流胆汁酸と胃潰瘍の背景胃粘膜について. 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 2) 松久威史, 伊藤正秀：〔シンポジウム〕幽門機能の内視鏡的検討；生検組織との関連も含めて（主題：消化管機能と内視鏡）. 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 3) 松久威史, 山口和彦, 伊藤正秀, 大島 博：〔一般講演〕消化性潰瘍における内視鏡的幽門形態；対照群との比較も含めて. 第54回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 4) 伊藤正秀, 山口和彦, 松久威史, 大島 博：〔一般講演〕逆流胆汁酸との関連からみた胃粘膜変化の検討. 第54回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1992.
- 5) 松久威史, 山口和彦, 伊藤正秀, 大島 博：〔シンポジウム〕幽門機能と逆流胆汁酸（主題：消化管運動検査の臨床的意義と問題点）. 第34回日本平滑筋学会総会, 1992.
- 6) 伊藤正秀, 山口和彦, 松久威史, 大島 博：〔一般講演〕胃粘膜変化と逆流胆汁酸；慢性胃炎, 異型上皮を中心にして. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 7) 松久威史, 山口和彦, 大島 博：〔展示〕胃・十二指腸潰瘍における内視鏡的幽門形態；胃排出能との関連性を含めて. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 8) 倉 禎二¹⁾, 熊木敏郎¹⁾, 児玉朱音, 山口和彦, 出光豊明, 飯田章太郎, 大島 博(¹⁾社会保険葛飾健診センター)：〔展示〕当健診施設における1990年度の胃内視鏡精検成績. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 9) 角田誠之, 伊藤正秀, 大島 博：〔展示〕電子内視鏡画像による消化管粘膜血流測定（第1報）. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 10) 飯田章太郎, 伊藤正秀, 大島 博, 杉木祐子¹⁾ (¹⁾内科学第2)：〔展示〕胃生検が診断上有効であった原発性アミロイドーシスの1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 11) 松久威史, 伊藤正秀, 大島 博：〔展示〕胆汁酸の逆流からみた胃・十二指腸潰瘍；内視鏡的幽門形態との関連も含めて. 第34回日本消化器病学会大会, 1992.

- 12) 松久威史, 伊藤正秀, 大島 博: [一般講演] 逆流胆汁酸からみた老年者胃潰瘍. 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 13) 大島 博: [会長講演] ヨーロッパにおける早期胃癌の内視鏡診断. 第44回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 14) 伊藤正秀: [特別講演] 大腸疾患の早期発見と内視鏡. 第24回臨床内視鏡研究会, 1992.
- 15) 伊藤正秀, 山口和彦, 飯田章太郎, 出光豊明, 児玉朱音, 角田誠之, 松久威史, 大島 博: [一般講演] 大腸集検における内視鏡検査の有用性; 職域での成績の検討. 第10回大腸検査法研究総会, 1992.
- 16) 角田誠之, 伊藤正秀, 大島 博: [一般講演] 電子内視鏡画像処理による下部消化管粘膜血流測定を試み. 第10回大腸検査法研究総会, 1992.
- 17) 角田誠之, 伊藤正秀, 大島 博: [一般講演] 下部消化管電子内視鏡画像処理による粘膜ヘモグロビン指数の測定. 第12回日本画像医学会, 1993.
- 18) 角田誠之, 伊藤正秀, 児玉朱音, 草間 泉, 大島 博: [展示] 家族性大腸ポリポージス症例におけるオルニチン脱炭酸酵素活性値と組織学的異型度との関連. 第79回日本消化器病学会総会, 1993.
- 19) 井出道也¹⁾, 秋丸琥甫¹⁾, 大場英己¹⁾, 清水一雄¹⁾, 渋谷哲男¹⁾, 岩瀬和泉¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 荒牧長門, 松久威史, 角田誠之, 出光豊明, 大島 博 (¹⁾外科学第2): [一般講演] 当院における腹腔鏡下胆嚢摘出術の合併症と対策. 第28回日本胆道学会総会, 1992.

[第二病院外科]

研究概要

第二病院外科は、臨床病院であるので、研究内容は臨床に重点が置かれている。すなわち、胸部、乳房、甲状腺、血管、消化器疾患などである。

臨床的研究：胸部疾患では肺癌を中心とした集学的療法、これに関連して転移性胸壁疾患に対する大胸壁欠損に対する胸壁再建術の研究、乳房では、縮小手術の傾向に伴う、皮膚層の血流支配に関する研究と治療方針など独自の探索をしている。消化器疾患では、血流支配の臨床に及ぼす研究が中心で、基礎的には、消化管の局所循環血流動態、臨床的には、残胃の血流動態、小腸では絞扼性イレウスの臨床像を血流支配より研究し、特に血流障害の画像診断に対する関連を研究している。ヘルニア、特に内ヘルニアでは、全国統計を中心として、研究中である。

基礎的研究：レザードブラー血流計による絞扼腸管の欠乏性障害と臨床像、乳癌時の皮膚層循環血流量などを行っている。

研究業績

論文

- 1) 平野文也¹⁾, 坂本俊樹¹⁾, 三樹 勝²⁾, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物免疫学, ²⁾外科学第1): [原著] 肝再生におけるマウスリンパ球 subset の変動, 日医大誌, 59, 166~175, 1992.
- 2) 久吉隆郎, 井出 研¹⁾, 林 康史²⁾, 堀米 寛³⁾, 池 英之⁴⁾, 門倉光隆⁵⁾, 加瀬昌夫⁶⁾, 城戸泰洋⁷⁾, 諸星隆夫⁸⁾, 長井孝夫⁹⁾, 小川純一¹⁰⁾, 長田博昭¹¹⁾, 鈴木 隆¹²⁾, 谷口志郎¹³⁾, 友安 浩¹⁴⁾, 和田源司¹⁵⁾, 山口孝治¹⁶⁾, 吉村博邦¹⁷⁾ (¹⁾済生会横浜南部病院, ²⁾神奈川県立循環器呼吸病センター, ³⁾川崎市立井田病院, ⁴⁾横浜市民病院, ⁵⁾昭和大学病院, ⁶⁾横浜市立大学病院, ⁷⁾藤沢市民病院, ⁸⁾神奈川県立がんセンター, ⁹⁾関東労災病院, ¹⁰⁾東海大学病院, ¹¹⁾聖マリアンナ医科大学病院, ¹²⁾昭和大学藤ヶ丘病院, ¹³⁾横須賀共済病院, ¹⁴⁾国立南横浜病院, ¹⁵⁾虎の門病院, ¹⁶⁾淵野辺病院, ¹⁷⁾北里病院): [原著] アンケート調査による胸腔ドレーンの結果報告. 肺癌手術手技, 5, 85~95, 1992.
- 3) 久吉隆郎, 天野純治, 難波 亨, 平田知己: [報告] 盲腸窩ヘルニアの1例. 腹部救急診療の進歩, 12, 575~577, 1992.

- 4) 久吉隆郎, 村上正洋, 木本洋一郎, 平田知己, 難波 亨, 天野純治, 赤岩 順¹⁾(¹第二病院消化器病センター): [総説] 最近の重複癌の動向と問題点. 川崎市医師会医学会雑誌, 9 (別冊), 123~128, 1992.
- 5) 馬越正通¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 原 一郎¹⁾, 田崎博也¹⁾, 田崎達也¹⁾, 山口裕史¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 平野文也¹⁾, 内藤英二¹⁾, 荒川 薫¹⁾, 的場康德¹⁾(¹第二病院消化器病センター): [総説] イレウス (特集: 急性腹症). 外科治療, 67, 45~49, 1992.
- 6) 馬越正通¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 原 一郎¹⁾, 田崎博也¹⁾, 田崎達也¹⁾, 山口裕史¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 平野文也¹⁾, 内藤英二¹⁾, 荒川 薫¹⁾, 的場康德¹⁾(¹第二病院消化器病センター): [総説] イレウスの処置と手術; イレウス管を進める. 臨床外科, 47, 737~740, 1992.
- 7) Prathnadi, P.¹⁾, Miki, M.²⁾, Suprasert, S.¹⁾, Matubayashi, H.²⁾, Tazaki, T.²⁾, Arakawa, K.²⁾, Matoba Y.²⁾, Hirata, T.²⁾, Naitoh, E.²⁾, Aoki, R.²⁾, Hirano, S.²⁾, Tanaka, M.²⁾, Matuda, M.³⁾, Sundu, T.¹⁾, Narco, S.¹⁾, and Srisukho, S.¹⁾ (¹Faculty of Medicine, Chiangmai University, Chiang Mai, Thailand, ²Second Hospital of Nippon Medical School, ³Shin-Yokohama Hospital, Japan): [原著] Incidence of cholelithiasis in the northern part of Thailand. 第25次日本医科大学タイ国医学調査団報告書, 59~68, 1992.
- 8) 的場康德¹⁾, 三樹 勝²⁾, Prathnadi, P.³⁾, Srisukho, S.³⁾, Suprasert, S.⁴⁾ (¹第二病院消化器病センター, ²大仁病院, ³Department of Surgery, Faculty of Medicine Chiang Mai University, ⁴Department of Family Medicine, Faculty of Chiang Mai University): [原著] 第25次日本医科大学タイ国医学調査団報告書, 69~72, 1993.
- 9) 内藤英二¹⁾, 馬越正通¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 原 一郎¹⁾, 山口裕史¹⁾, 田崎達也¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 的場康德¹⁾(¹第二病院消化器病センター): [原著] 術後重篤に陥った MRSA 腸炎の検討. 川崎市医師会医学会誌, 9, 168~173, 1992.
- 10) 天野純治, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知己, 木本洋一郎, 的場康德: [総説] 癒着性イレウスといわゆる Polysurgery. 臨床外科, 47, 761~766, 1992.

学会発表

- 1) 的場康德¹⁾, 原 一郎¹⁾, 平井真実¹⁾, 平田知己¹⁾, 馬越正通¹⁾(¹第二病院消化器病センター): [一般講演] 穿孔性十二指腸潰瘍に対する大網移植術の内視鏡的検討. 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 2) 山口裕史¹⁾, 原 一郎¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾(¹第二病院消化器病センター): [一般講演] 腹部外傷を契機として発見された小児成人型肝癌の1症例. 第21回神奈川消化器外科研究会, 1992.
- 3) 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知己, 大久保哲行, 木本洋一郎, 平野滋之, 天野純治: [一般講演] 臍部子宮内膜症1例. 第745回外科集談会, 1992.
- 4) 平野滋之, 天野純治, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知己, 木本洋一郎, 平野文也, 内藤英二: [一般講演] イレウス症状を反復し診断困難であった回腸塊形成の1例. 第745回外科集談会, 1992.
- 5) 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 内藤英二¹⁾, 大久保哲行¹⁾(¹第二病院消化器病センター): [一般講演] 若年者および高齢者の大腸癌について. 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 6) 原 一郎¹⁾, 的場康德¹⁾, 馬越正通¹⁾(¹第二病院消化器病センター): [一般講演] 腹部悪性リンパ腫の1例. 日本超音波医学会第2回関東甲信越地方会, 1992.
- 7) Miki, M.¹⁾, Matoba, Y., Tasaki, T., Naitoh, E.¹⁾, (¹Gastrointestinal Disease Center of 2nd Hospital of Nippon Medical School): [シンポジウム] Non-cholesterol Sterol in Gallstone. 2nd Joint Symposium between CMU and NMS. (Chiang Mai, Thailand), 1992.
- 8) 難波 亨, 久吉隆郎, 平田知己, 天野純治, 原田雄一¹⁾(¹第二病院内科): [一般講演] Recklinghausen 病に合併した迷走神経発生の悪性神経鞘腫の1手術例. 第83回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 9) 原田雄一¹⁾, 松原貴規¹⁾, 村澤恒男¹⁾, 羽入田陽一郎¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原 文男¹⁾, 難波 亨, 久吉隆郎(¹第二病院内科): [一般講演] 縦隔腫瘍摘出により自覚症状の著しい改善を認めた Recklinghausen 病の1例. 第412回日

本内科学会関東地方会, 1992.

- 10) 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 内藤英二¹⁾, 平田知己¹⁾, 平野滋之¹⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター): [一般講演] 当科における高齢者腹部緊急手術例の検討. 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 11) 天野純治, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知己, 木本洋一郎, 平野滋之, 平野文也: [一般講演] 高齢者イレウス手術後の小腸吻合部脱落による汎発性腹膜炎, 腹壁開に対する救命救急処置としての一時的腸瘻と一期的閉腹の経験. 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 12) 久吉隆郎, 天野純治, 難波 亨, 的場康德, 平田知己, 渡辺昌則, 馬越正通¹⁾, 赤岩 順¹⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター): [一般講演] 胃軸捻転症を合併した外傷性横隔膜ヘルニアの1例. 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 13) 天野純治, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知己, 木本洋一郎: [パネルディスカッション] 表在性大腸腫瘍としての Villous Adenoma. 第47回日本大腸肛門病学会総会, 1992.
- 14) 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾, 平田知己¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 荒川 薫¹⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター): [一般講演] 下行結腸粘液癌・回腸早期癌, 同時性重複の1例. 第47回日本大腸肛門病学会総会, 1992.
- 15) 久吉隆郎, 天野純治, 難波 亨, 平田知己, 平野滋之, 大久保哲行, 木本洋一郎, 赤岩 順¹⁾, 山口裕史¹⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター): [一般講演] 横行結腸憩室穿孔の1例. 第47回日本大腸肛門病学会総会, 1992.
- 16) 原 一郎¹⁾, 的場康德¹⁾, 馬越正通¹⁾, 難波 亨, 久吉隆郎 (¹⁾第二病院消化器病センター): [一般講演] 成人の後腹膜横紋筋肉腫の1例. 第61回日本超音波医学会, 1992.
- 17) 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 荒川 薫¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 内藤英二¹⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター): [一般講演] 大腸低分化型癌, 当科経験例について. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 18) Akaiwa, J.¹⁾, and Okubo, T. (¹⁾Institute of Gastroenterology, Second Hospital of Nippon Medical School): [一般演題] Clinical report of colorectal non-Hodgkin lymphoma in Japan. Collegium Internationale Chirurgiae Digestivae 13th World Congress in Athens (Athens), 1992.
- 19) 平野滋之, 馬越正通¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 的場康德¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 川並汪一²⁾, 太田吉男²⁾, 斎藤良明²⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター, ²⁾同病理部): [一般講演] 輸血後, 風疹感染を伴った全身紅皮症の1例. 第747回外科集談会, 1992.
- 20) 平田知己, 天野純治, 難波 亨, 久吉隆郎, 木本洋一郎, 吉田 宏¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 川並汪一³⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター, ²⁾同放射線科, ³⁾同病理部): [一般講演] Marfan 症候群にみられた縦隔腫瘍の1例. 第747回外科集談会, 1992.
- 21) 久吉隆郎, 難波 亨, 平野滋之, 天野純治, 佐藤雅史¹⁾, 川並汪一²⁾ (¹⁾第二病院放射線科, ²⁾同病理部): [一般講演] 肺 Plasma cell granuloma の1例. 第105回日本肺癌学会関東部会, 1992.
- 22) 的場康德¹⁾, 原 一郎¹⁾, 平田知己, 馬越正通¹⁾, 田崎達也¹⁾, 田崎博也¹⁾, 久吉隆郎 (¹⁾第二病院消化器病センター): [一般講演] 慢性骨髄性白血病治療中に合併した十二指腸潰瘍穿孔の1例. 第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.
- 23) 馬越正通¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 原 一郎¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 内藤英二¹⁾, 荒川 薫¹⁾, 的場康德¹⁾, 平野文也¹⁾, 平田知己¹⁾, 平野滋之¹⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター): [パネルディスカッション] 特殊なイレウス. 第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.
- 24) 久吉隆郎, 天野純治, 難波 亨, 平田知己, 木本洋一郎, 平野滋之, 桐村一成: [一般講演] メッケル憩室による絞扼性イレウス. 第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.
- 25) 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知己, 天野純治, 松本茂之¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 山本 彰²⁾, 川並汪一³⁾, 新井 悟³⁾ (¹⁾第二病院内科, ²⁾同放射線科, ³⁾同病理部): [一般講演] 特殊な再発様式を呈した肺肉腫の1例. 第106回日本肺癌学会関東部会, 1993.
- 26) 吉田 宏¹⁾, 馬越正通¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 田崎博也¹⁾, 田崎達也¹⁾, 的場康德¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 平野滋之¹⁾, 久吉隆郎, 松尾健志²⁾, 菊池三郎²⁾, 山本博人³⁾, 渡部英之³⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター, ²⁾同産婦人科, ³⁾同放射線科):

- 〔一般講演〕腸管子宮内膜症に併存した，S字状結腸・子宮重複早期癌の1例．第10回川崎市医師会医学会，1993.
- 27) 的場康德¹⁾，原 一郎¹⁾，渡辺昌則¹⁾，平野文也¹⁾，平田知己¹⁾，馬越正通¹⁾，田崎達也¹⁾，吉田 宏¹⁾(¹⁾第二病院消化器病センター)：〔一般講演〕十二指腸潰瘍穿孔に対する大網移植術の検討．第10回川崎市医師会医学会，1993.
- 28) 久吉隆郎，天野純治，難波 亨，平田知己，赤岩 順¹⁾，大久保哲行¹⁾，吉田 宏¹⁾，佐藤雅史²⁾，渡部英之²⁾(¹⁾第二病院消化器病センター，²⁾同放射線科)：〔一般講演〕高齢者肺癌手術症例の検討．第10回川崎市医師会医学会，1993.

11. 脳神経外科学講座

〔付属病院脳神経外科〕

研究概要

既に10数年来、下記の主要テーマにそって研究が続けられてきており、年毎にその実を結びつつある。

1) 悪性脳腫瘍に対する新治療法の研究

制癌剤の局所注入療法の臨床データが悪性グリオーマのみならず、転移性脳腫瘍においても集計された。また、モノクローナル抗体による免疫療法、モノクローナル抗体にアドリマイシンを結合させるミサイル療法の基礎的研究が大きな進展を示し、1部は臨床への応用にまで進んできている。また、米国ウィスター研究所、ヒューストンのアンダーソン癌研究所、およびエール大学脳神経外科学教室との悪性脳腫瘍に対する共同研究が実を結びつつある。

2) 重症頭部外傷の病態と治療法の研究

当教室のメインテーマで、本邦における指導の立場にある diffuse axonal injury の研究はさらに進展を示し、MRI による診断の有用性、予後の推定、治療法の可能性等が追求され多くの業績をあげてきている。また、fluid percussion 法による頭部外傷の研究が積極的に行われており、特にグルコース代謝を利用した脳組織の生化学的研究が行われ、新しい治療法の開拓へ向け研究が進められている。

3) 脳血管障害の基礎的および臨床的研究

中大脳動脈閉塞モデル動物による脳梗塞、脳浮腫の研究、特にその中の要因と目される free radicals の研究がその後も続けられている。また、トランスクリニアルドブラー法による脳血流の測定、サーモグラフィー、SSEP、ABR 等を駆使した各種臨床病態の解明等も積極的に行われている。最近、脳血管内手術症例が急増の一途を辿っており、積極的に治療医学として取り入れられ、手術や症例報告が相次いだ。

研究業績

論文

- 1) 小林士郎, 中沢省三, Tsai, F.Y.¹⁾ (1)ミズーリ大学カンザスシティ校放射線科): [総説] 脳神経外科領域における Interventional Neuroradiology の進歩(1); Interventional Neurology とは, 中外医薬, 45, 17~20, 1992.
- 2) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三: [総説] 医学生が知っておきたい頭部X線 CT 読影のポイント. Medical Student, 4, 2~16, 1992.
- 3) 小林士郎, 中沢省三, Tsai, F.Y.¹⁾ (1)ミズーリ大学カンザスシティ校放射線科): [総説] 脳神経外科領域における Interventional Neuroradiology の進歩(2); Subclavian steal syndrome に対する PTA. 中外医薬, 45, 89~94, 1992.
- 4) 小林士郎, 中沢省三, Tsai, F.Y.¹⁾ (1)ミズーリ大学カンザスシティ校放射線科): [総説] 脳神経外科領域における Interventional Neuroradiology の進歩(3); 急性期外傷性頭頸部血管障害の塞栓術. 中外医薬, 45, 145~149, 1992.
- 5) 志村俊郎, 中沢省三: [総説] 脳挫傷. Clinical Neuroscience, 10, 372~373, 1992.
- 6) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三: [総説] 頭部 MRI のみかた-Part 1-. Medical Student, 5, 63~69, 1992.
- 7) 中沢省三, 横田裕行, 石郷岡聡: [原著]重症脳障害における頭蓋内圧と脳循環動態. 神経進歩, 36, 271~281, 1992.
- 8) 吉田大蔵, 池田幸穂, 中沢省三: [原著] ヒト脳腫瘍組織における銅及び亜鉛濃度の生物学的意義. 医学のあゆみ, 161, 269~270, 1992.
- 9) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三: [総説] 頭部 MRI のみかた-Part 2-. Medical Student, 5, 35~47, 1992.

- 10) 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕破裂脳動脈瘤によるクモ膜下出血. 月刊消防, 14, 144~148, 1992.
- 11) 野手洋治, 中沢省三, 足立好司¹⁾(¹⁾栃木県南総合病院):〔報告〕両側交代顔面神経麻痺の1例. ペインクリニック, 13, 437~438, 1992.
- 12) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕意識障害. 臨床看護, 18, 832~839, 1992.
- 13) 野手洋治¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 栗屋 栄¹⁾, 中沢省三(¹⁾多摩永山病院脳神経外科):〔報告〕後大脳動脈(P1部)窓形成の1例. 臨床放射線, 37, 697~699, 1992.
- 14) 山下陽一¹⁾, 松本正博¹⁾, 中沢省三(¹⁾目白第3病院脳神経外科):〔報告〕同時期に発症した多発性高血圧性脳内血腫の2例. 脳卒中, 14, 307~311, 1992.
- 15) 清水澄江:〔原著〕クモ膜下出血における急性相反応蛋白の経時的変動. 脳卒中, 14, 262~271, 1992.
- 16) 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕不随意運動(パーキンソン病を含む). Expert Nurse, 8, 80~85, 1992.
- 17) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕失神. 臨床看護, 18, 1217~1220, 1992.
- 18) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕痙攣. 臨床看護, 18, 1374~1381, 1992.
- 19) 小林士郎, 中沢省三, Tsai, F.Y.¹⁾(¹⁾ミズーリ大学カンザスシティ校放射線科):〔総説〕脳神経外科領域における Interventional Neuroradiology の進歩(6); 横静脈; S 状静脈洞部硬膜動静脈奇形に対する人工塞栓術. 中外医薬, 45, 407~411, 1992.
- 20) 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕外傷性脳内血腫. 救急医学, 16, 1129~1134, 1992.
- 21) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕頭蓋内圧亢進. 臨床看護, 18, 1506~1514, 1992.
- 22) 小林士郎, 中沢省三, 横田裕行:〔原著〕日本における頭部外傷リハビリの現状. Journal of Clinical Rehabilitation, 1, 498~504, 1992.
- 23) 小南修史:〔原著〕回転3次元血管撮影装置の脳神経外科領域における臨床応用. 日医大誌, 59, 384~392, 1992.
- 24) 小林士郎, 岡田卓郎, 中沢省三:〔総説〕破裂脳動脈瘤によるクモ膜下出血-III. 月刊消防, 14, 62~68, 1992.
- 25) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕頭痛. 臨床看護, 18, 1642~1648, 1992.
- 26) 志村俊郎, 中沢省三, 池田幸穂, 野手洋治:〔報告〕悪性脳腫瘍の治療経過中に囊腫形成をみた2症例の臨床病理学的検討. 脳神経外科, 20, 1179~1183, 1992.
- 27) 小林士郎, 岡田卓郎, 中沢省三:〔総説〕脳動静脈奇形. 月刊消防, 14, 17~23, 1992.
- 28) 小林士郎, 中沢省三, Tsai, F.Y.¹⁾(¹⁾ミズーリ大学カンザスシティ校放射線科):〔総説〕脳神経外科領域における Interventional Neuroradiology の進歩(7); 頸髄動静脈奇形の塞栓術. 中外医薬, 45, 527~531, 1992.
- 29) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕運動障害. 臨床看護, 18, 1800~1805, 1992.
- 30) 高橋 弘, 足立好司, 中沢省三, Bender, H.¹⁾, Herlyn, D.¹⁾(¹⁾Wistar Institute):〔原著〕悪性グリオーマに対するモノクローナル抗体を用いたミサイル療法の試み. 神経免疫研究, 5, 241~244, 1992.
- 31) 山下陽一, 池田幸穂, 田島秀則, 岡田憲明¹⁾, 中沢省三(¹⁾内科第3):〔報告〕興味あるMRI所見を呈した Neuro-Behçet Disease の1例. 脳神経外科, 20, 1295~1299, 1992.
- 32) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕歩行障害. 臨床看護, 18, 1961~1965, 1992.
- 33) 小林士郎, 岡田卓郎, 中沢省三:〔総説〕高血圧性視床出血. 月刊消防, 14, 32~39, 1992.
- 34) 小林士郎, 水成隆之, 中沢省三:〔総説〕医学生に必須な脳神経外科疾患の重要症候; 鑑別診断のポイント. Medical Student, 5, 2~16, 1992.
- 35) Ross, A.M.¹⁾, Pitts, L.H.²⁾, and Kobayashi, S.⁽¹⁾Ann Arbor, Michigan, ⁽²⁾Department of Neurological Surgery, University of California, San Francisco):〔原著〕Prognosticators of outcome after major head injury in the elderly. Journal of the American Association of Neuroscience Nurses, 24, 88~93, 1992.
- 36) 諫山和男, 小林士郎, 池田幸穂, 水成隆之, 岡田卓郎, 栗屋 栄, 横田裕行, 中沢省三:〔原著〕最重症クモ膜下出血の検討: DOA, near DOA 症例に関して. 脳卒中, 14, 757~761, 1992.
- 37) 横田裕行, 布施 明, 石橋 励¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 栗屋 栄, 小林士郎, 中沢省三(¹⁾救急

- 医学)：〔原著〕Diffuse brain injury の neuroimaging；CT と MRI の比較検討から。神経外傷，15，27-32，1992。
- 38) 栗屋 栄，小林士郎，中沢省三，横田裕行¹⁾，加藤一良¹⁾，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾ (¹⁾救急医学)：〔原著〕重症頭部外傷における脳表温度測定の意義。神経外傷，15，139-144，1992。
- 39) 山下陽一，高橋 弘，中沢省三：〔原著〕悪性神経膠腫髄腔内播種に対するモノクローナル抗体を用いた免疫療法の基礎的研究。脳と神経，45，63-70，1992。
- 40) Yoshida, D., Ikeda, Y., Takahashi, H., Shimura, T., and Nakazawa, S.：〔報告〕Intracranial fibromyxoma in a four-year-old-child. Surg. Neurol., 39, 191-195, 1993。
- 41) 小林士郎，岡田卓郎，中沢省三：〔総説〕高血圧性小脳出血。月刊消防，15，10-13，1993。
- 42) 栗屋 栄：〔原著〕重症頭部外傷における脳表測定。日医大誌，60，37-43，1993。
- 43) 田島秀則，池田幸穂，安久津彦彦，山下陽一，水成隆之，中沢省三：〔原著〕後頭骨 monostotic fibrous dysplasia の1例。脳神経外科，21，153-156，1993。
- 44) 小林士郎，岡田卓郎，中沢省三：〔総説〕高血圧性被殻出血。月刊消防，15，10-19，1993。
- 45) 諫山和男，小林士郎，中沢省三：〔総説〕感覚障害。臨床看護，19，241-247，1993。
- 46) 横田裕行¹⁾，中林基明¹⁾，布施 明¹⁾，益子邦洋¹⁾，山本保博¹⁾，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾，栗屋 栄，小林士郎，中沢省三 (¹⁾救急医学)：〔原著〕頭部外傷における Mannitol 持続少量総頸動脈投与療法。脳神経外科，21，205-211，1993。
- 47) 諫山和男，小林士郎，中沢省三：〔総説〕尿失禁。臨床看護，19，406-410，1993。
- 48) 矢嶋浩三，青木 亘：〔総説〕脳波検査；内科疾患を中心に。日医大誌，60，117-122，1993。
- 49) 岡田卓郎，小林士郎，中沢省三：〔総説〕一過性脳虚血発作。月刊消防，15，(3)，125-132，1993。
- 50) 草彌博昭，小林士郎，戸田茂樹，中沢省三：〔原著〕開頭術後における塩酸ピレンゼピン注射剤の臨床評価。救急医学，17，347-351，1993。

著 書

- 1) 小林士郎，中沢省三：〔分担〕めまい。救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高，小林国男，山本保博編) P. 82-83，文光堂，1992。
- 2) 小林士郎，中沢省三：〔分担〕高血圧性脳症。救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高，小林国男，山本保博編)。P. 130-131，文光堂，1992。
- 3) 小林士郎，中沢省三：〔分担〕意識障害。小児救急クリニック (山本保博，山本正生編)。P. 40-47，医学書院，1992。
- 4) 小林士郎，中沢省三：〔分担〕頭蓋内圧亢進。小児救急クリニック (山本保博，山本正生編)。P. 48-51，医学書院，1992。
- 5) 小林士郎，白石一也，小井戸雄一¹⁾，益子邦洋¹⁾ (¹⁾救急医学)：〔訳書〕イラスト救急処置マニュアル (大塚敏文監訳)。南江堂，1992。
- 6) 小林士郎，中沢省三：〔分担〕外傷性脳内血腫。緊急手術アトラス (加来信雄編集)。P. 17-22，へるす出版，1992。
- 7) Ikeda, Y., Yoshida, D., Nakazawa, S., and Yamada, M.¹⁾ (¹⁾ESR Application Laboratory JEOL Ltd)：〔分担〕Biological significance of superoxide in oxygen radicals in experimental malignant brain tumors. P. 413-416, Elsevier Science Publishers, 1992。
- 8) Ikeda, Y., Nakazawa, S., and Long, D.M.¹⁾ (¹⁾Department of Neurological Surgery, Johns Hopkins University)：〔分担〕Iron chelation for prevention of brain edema. P. 417-420, Elsevier Science Publishers, 1992。

- 9) Ikeda, Y., Nakazawa, S., and Yamada, M.¹⁾ (¹⁾ESR Application Laboratory JEOLLtd) : [分担] Sequential changes of superoxide scavenging activity in the rat cryogenic injured brain. P. 417~420, Elsevier Science Publishers, 1992.
- 10) 小林士郎, 中沢省三 : [分担] 器質的な変化による意識障害のとりえ方 (黒沢 尚, 市橋秀夫, 皆川邦直編). P. 21~44, 星和書店, 1992.

学会発表

- 1) 高橋 弘, 中沢省三 : [一般講演] 悪性神経膠腫に対する単クローン抗体を用いたミサイル療法. 第3回ニューロ・オンコロジーの会, 1992.
- 2) 栗屋 栄, 小林士郎, 中沢省三, 横田裕行¹⁾, 加藤一良¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救急医学) : [シンポジウム] 重症頭部外傷における脳表温度測定の意義. 第15回日本神経外傷研究会, 1992.
- 3) 横田裕行¹⁾, 布施 明¹⁾, 石橋 励¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 栗屋 栄, 小林士郎, 中沢省三(¹⁾救急医学) : [シンポジウム] Diffuse Brain Injury の Neuroimaging : CT と MRI の比較検討から. 第15回日本神経外傷研究会, 1992.
- 4) 王 運杰, 小林士郎, 朝倉隆之, 佐々木光由, 白石一也, 諫山和男, 横田裕行, 志村俊郎, 中沢省三 : [展示] ラット重症頭部外傷モデルの検討. 第15回日本神経外傷研究会, 1992.
- 5) 小林士郎 : [シンポジウム] 重症頭部外傷 : 最近の進歩と話題, 臨床上の問題点. 第12回日本脳神経外科コンgres, 1992.
- 6) 志村俊郎, 王 運杰, 小林士郎, 中沢省三, 相原 薫¹⁾(¹⁾中央電顕施設) : [一般講演] ラット重症脳損傷における病理組織学的研究 : 光学顕微鏡所見を中心に. 第33回日本神経病理学会総会学術研究会, 1992.
- 7) 野手洋治, 石郷岡聡, 猪鹿倉恭子, 志村俊郎, 中沢省三 : [一般講演] 破裂脳動脈瘤患者における大脳誘発電位および経頭蓋ドプラー測定の臨床的検討. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 8) 池田幸穂, 中沢省三 : [一般講演] 脳腫瘍および腫瘍性脳浮腫に対する dexamethasone 直接投与法の有効性. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 9) 石郷岡聡, 川本俊樹, 野手洋治, 辻 之英¹⁾, 中沢省三(¹⁾目白第2病院脳神経外科) : [一般講演] TCD による植物状態患者の脳血流動態に関する検討. 第11回日本脳・神経超音波研究会, 1992.
- 10) 野手洋治, 志村俊郎, 石郷岡聡, 猪鹿倉恭子, 中沢省三 : [一般講演] 脳動脈瘤破裂後の脳血管攣縮における経頭蓋ドプラー測定と大脳誘発電位の臨床的検討. 第11回日本脳・神経超音波研究会, 1992.
- 11) Ikeda, Y., and Nakazawa, S. : [一般講演] Oxygen free radicals in traumatic brain injury and brain edema. First IUBMB Conference, 1992.
- 12) Node, Y., Nakazawa, S., and Uematsu, S.¹⁾ (¹⁾Department of Neurosurgery Johns Hopkins University) : [一般講演] Graded risk levels somatosensory evoked potentials during scoliosis surgery. Fifth International Symposium on Spinal Cord Monitoring (London), 1992.
- 13) 池田幸穂, 戸田茂樹, 吉田大蔵, 王 慕一, 中沢省三, 草井真砂子¹⁾(¹⁾日本電子 ESR 応用研究所) : [一般講演] 凍結損傷脳および実験脳腫瘍組織における superoxide 消去能. 第15回脳浮腫研究会, 1992.
- 14) 田島秀則, 池田幸穂, 山下陽一, 水成隆之, 中沢省三 : [一般講演] 後頭蓋 monostotic fibrous dysplasia の1例. 第46回日本脳神経外科学会関東地方会, 1992.
- 15) 玉置智規, 志村俊郎, 野手洋治, 川本俊樹, 中沢省三 : [一般講演] 小児 venous angioma の1例. 第46回日本脳神経外科学会関東地方会, 1992.
- 16) 川本俊樹, 志村俊郎, 野手洋治, 玉置智規, 中沢省三 : [一般講演] 両側同時性顔面神経麻痺の1例. 第121回日本脳神経外科学会関東地方会, 1992.
- 17) 小林士郎, 横田裕行, 志村俊郎, 中沢省三 : [一般講演] Diffuse axonal injury の診断. 第22回新潟脳神経外科

懇話会, 1992.

- 18) 志村俊郎, 王 運杰, 小林士郎, 白石一也, 佐々木光由, 中沢省三: [一般講演] Diffuse axonal injury の病理; 部検例と動物実験の対比. 第22回新潟脳神経外科懇話会, 1992.
- 19) 横田裕行¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 山本保博¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 小林士郎, 中沢省三 (¹⁾救急医学): [一般講演] 瀰漫性脳損傷における意識障害; Magnetic Resonance Imaging (MRI) 所見による検討. 第1回意識障害の治療研究会, 1992.
- 20) 高橋 弘, 足立好司, 中沢省三, Bender, H.¹⁾, Herlyn, D.¹⁾ (¹⁾Wistar Institute): [一般講演] 悪性グリオーマに対するモノクローナル抗体を用いたミサイル療法. 第5回「脳と免疫」研究会, 1992.
- 21) 星野 茂, 高橋 弘, 杉山 誠, 中沢省三: [一般講演] 稀な発生を示した乳児 PNET の1例. 第47回日本脳神経外科学会関東地方会, 1992.
- 22) 野手洋治, 志村俊郎, 玉置智規, 川本俊樹, 中沢省三: [一般講演] 頸部脊髄動静脈奇形の2例. 第47回日本脳神経外科学会関東地方会, 1992.
- 23) 小南修史, 中沢省三, 弦間和仁¹⁾, 田島広之¹⁾, 隈崎達夫¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 回転3次元血管撮影の脳神経外科領域における有用性. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 24) 玉置智規¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 野手洋治¹⁾, 林 伸吉¹⁾, 中沢省三 (¹⁾多摩永山病院脳神経外科): [一般講演] 多摩永山病院脳神経外科における若年者虚性脳血管障害の臨床的検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 25) 草薨博昭, 小林士郎, 中沢省三: [一般講演] 老年者に認められた皮質動脈破綻による硬膜下血腫. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 26) 杉山 誠, 高橋 弘, 星野 茂, 中沢省三: [一般講演] 乳児 melanotic neuroectodermal tumor の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 27) 古川哲也, 金谷幸一, 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] 直腸癌の脳転移症例における画像所見の特徴. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 28) 清水健司, 小南修史, 小林士郎, 中沢省三: [一般講演] Superselective embolization による spinal AVM の治療. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 29) 徳永建路, 佐々木光由, 小林士郎, 中沢省三: [一般講演] 転移性脳腫瘍と識別困難であった meningo-encephalovascularitis の1症例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 30) 木暮一成, 山田昌興, 小林士郎, 中沢省三: [一般講演] 聴神経腫瘍を伴う neurofibromatosis の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 31) 太組一朗, 高橋 弘, 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三: [一般講演] 老年者のクモ膜囊腫に硬膜下血腫を伴った1症例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 32) 王 慕一, 池田幸穂, 朝倉隆之, 中沢省三, 平川慶子¹⁾, 植草協子¹⁾ (¹⁾法医学教室): [一般講演] Proton magnetic resonance spectroscopy (H-MRS) による脳凍結損傷の代謝分析. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 33) 野手洋治¹⁾, 草薨博昭¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 玉置智規¹⁾, 中沢省三, 黒川 顕²⁾ (¹⁾多摩永山病院脳神経外科, ²⁾救急医学): [一般講演] 頭部外傷に合併した頸椎・頸髄損傷例の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 34) 林 伸吉¹⁾, 野手洋治¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 玉置智規¹⁾, 中沢省三 (¹⁾多摩永山病院脳神経外科): [一般講演] 比較的稀な脳内出血にて発症した中大脳動脈末梢部動脈瘤の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 35) 玉置智規¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 野手洋治¹⁾, 川本俊樹¹⁾, 中沢省三 (¹⁾多摩永山病院脳神経外科): [一般講演] 小児脳静脈性血管腫の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 36) 川本俊樹, 野手洋治, 志村俊郎, 玉置智規, 中沢省三: [一般講演] 両側同時性顔面神経麻痺の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 37) 池田幸穂¹⁾, 饒波正博¹⁾, 田島秀則¹⁾, 土屋喜哉¹⁾, 松岡洋一²⁾, 中沢省三, 三代貴康³⁾ (¹⁾東戸塚記念病院脳神経外科, ²⁾同高気圧酸素治療室, ³⁾昭和大学藤ヶ丘病院脳神経外科): [一般講演] 脳血管障害および頭部外傷に対す

る高気圧酸素療法の再評価. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

- 38) 饒波正博¹⁾, 池田幸穂¹⁾, 土屋喜哉¹⁾, 中沢省三 (¹⁾東戸塚記念病院脳神経外科): [一般講演] 慢性期人工透析患者に合併した脳内出血. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 39) 高橋 弘, 中沢省三, 高木 亮¹⁾, 林 宏光¹⁾, 渡 潤¹⁾, 市川太郎¹⁾, 天野康雄¹⁾, 隈崎達夫¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科): [一般講演] 頭部領域における dynamic subtraction CT の経験. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 40) 星野 茂, 高橋 弘, 林 毅陸¹⁾, 藤田武久¹⁾, 橋本 清²⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾第二病院小児科): [一般講演] MRI が病状判断に有効であった後頭部腫瘍の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 41) Sasaki, M., Shiraishi, K., Asakura, T., Kobayashi, S., and Nakazawa, S.: [一般講演] Transient hypotension induces remote neuronal damage from the primary contusion in the rat-a model for remote lesion in brain injury. International Conference on Recent Advance in Neurotraumatology (Karuizawa), 1992.
- 42) Kobayashi, S., Yokota, H., and Nakazawa, S.: [一般講演] ICP monitoring of head injury in the elderly. International Conference on Recent Advance in Neurotraumatology (Karuizawa), 1992.
- 43) Kobayashi, S., Nakazawa, S., Yokota, H.¹⁾, Yamamoto, Y.¹⁾, and Otsuka, T.¹⁾ (¹⁾Department of Critical Care Medicine): [シンポジウム] Significance of magnetic resonance imaging (MRI) in diffuse axonal injury. International Conference on Recent Advance in Neurotraumatology (Karuizawa), 1992.
- 44) Shimura, T., Takahashi, H., Kobayashi, S., Node, Y., Yokota, H., and Nakazawa, S.: [一般講演] Clinicopathological studies in patients with battered child syndrome. International Conference on Recent Advance in Neurotraumatology (Karuizawa), 1992.
- 45) Takahashi, H., Yokota, H., and Nakazawa, S.: [一般講演] Assessment of cerebral contusion of acute subdural hematoma in children by MRI. International Conference on Recent Advance in Neurotraumatology (Karuizawa), 1992.
- 46) Takahashi, H., and Nakazawa, S.: [一般講演] Chronic subdural hematoma in adults as compared with aged group. International Conference on Recent Advance in Neurotraumatology (Karuizawa), 1992.
- 47) Shimura, T., Kobayashi, S., Wang, Y.J., Nakazawa, S., and Aihara, K.¹⁾ (¹⁾Department of Electron Microscopic Research): [一般講演] Histopathological studies of experimental severe brain injury in rats. International Conference on Recent Advance in Neurotraumatology (Karuizawa), 1992.
- 48) 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] ヒト悪性グリオーマに対するヒト型モノクローナル抗体による免疫療法の有用性. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 49) 野手洋治, 中沢省三, Uematsu, S.¹⁾ (¹⁾Johns Hopkins University): [一般講演] Spinal surgery の術中および術後に体性感覚誘発電位の異常波形を呈した症例の検討. 第22回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1992.
- 50) 小林士郎, 中沢省三, Tsai, F.Y.¹⁾ (¹⁾ミズーリ大学カンザスシティ校放射線科): [シンポジウム] 血管形成術による stroke の治療法. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 51) 中沢省三: [パネルディスカッション] これからの日本の脳神経外科; 神経外傷学の最近の進歩. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 52) 小林士郎, 中沢省三: [一般講演] A new dural elevator for the pterional approach. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 53) 小林士郎, 岡田卓郎, 中沢省三: [一般講演] 破裂性末梢性前大脳動脈瘤の臨床的検討. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 54) 志村俊郎, 高橋 弘, 小林士郎, 中沢省三, 向井敏二¹⁾, 高津光洋²⁾, 鈴木裕子³⁾ (¹⁾琉球大学, ²⁾慈恵会医科大学, ³⁾東京大学): [一般講演] Battered child syndrome の臨床病理学的研究. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 55) 池田幸穂, 戸田茂樹, 王 慕一, 中沢省三: [一般講演] Early changes of blood brain barrier and superoxide scavenging activity in rat cryogenic brain injury. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.

- 56) 石郷岡聡, 足立好司, 川本俊樹, 野手洋治, 中沢省三, 辻 之英¹⁾ (¹⁾目白第2病院脳神経外科): [一般講演] Transcranial Doppler による植物状態患者のにおける脳血流動態の検討. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 57) 諫山和男, 小林士郎, 池田幸穂, 水成隆之, 岡田卓郎, 栗屋 栄, 中沢省三, 横田裕行¹⁾ (¹⁾救急医学): [一般講演] 最重症クモ膜下出血の検討第一報; DOA, near DOA 症例に関して. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 58) 山下陽一, 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] ヒト悪性神経膠腫髄腔内播種に対するモノクローナル抗体を用いた免疫療法の基礎的研究. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 59) 高橋 弘, 足立好司, 朱 剣虹, 中沢省三, Herlyn, D.¹⁾ (¹⁾Wistar Institute): [一般講演] モノクローナル抗体を用いた悪性グリオーマのミサイル療法. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 60) 志村俊郎, 中沢省三: [一般講演] ラット実験脳腫瘍における抗癌剤持続局所注入療法の実験動物用 MRI による検討. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 61) 池田幸穂, 中沢省三, Carson, B.S.¹⁾, Long, D.M.¹⁾ (¹⁾Department of Neurosurgery, Johns Hopkins University): [一般講演] Prolonged survival by topical dexamethasone in a rabbit brain tumor model. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 62) 高橋 弘, 朱 剣虹, 山下陽一, 中沢省三: [一般講演] 悪性グリオーマのターゲッティング療法としての抗癌剤結合モノクローナル抗体の効果増強に関する研究. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 63) 池田幸穂, 吉田大蔵, 中沢省三: [一般講演] Biological significance of free radicals and trace elements in brain tumors and therapeutic implication. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 64) 高橋 弘, 金谷幸一, 中沢省三, 重森 稔¹⁾ (¹⁾久留米大学脳神経外科): [一般講演] 悪性脳腫瘍の治療効果測定における Dual-isotope SPECT (²⁰¹Tl, ^{99m}Tc-HMPAO) の有用性. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 65) 小林士郎, 中沢省三, Andrews, B.T.¹⁾, Pitts, L.H.¹⁾ (¹⁾Department of Neurosurgery, University of California, San Francisco): [一般講演] Should exploratory burr-hole be reconsidered in the management of severe head injury?. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 66) 野手洋治, 中沢省三, Uematsu, S.¹⁾ (¹⁾Johns Hopkins University): [一般講演] 脊椎および脊髄外科手術における体性感覚誘発電位(SEP); 術中および術後に SEP 異常を呈した症例の検討. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 67) 栗屋 栄, 小林士郎, 中沢省三, 横田裕行¹⁾, 加藤一良¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾救急医学): [一般講演] 重症頭部外傷における脳表温度測定. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 68) 野手洋治, 志村俊郎, 石郷岡聡, 猪鹿倉恭子, 草薨博昭, 中沢省三: [ポスター] 破裂脳動脈瘤患者における神経生理学的検査と経頭蓋ドプラー測定との比較. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 69) 横田裕行¹⁾, 布施 明¹⁾, 佐藤秀貴¹⁾, 本間正人¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 山本保博¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 栗屋 栄, 小林士郎, 中沢省三 (¹⁾救急医学): [一般講演] 重症頭部外傷における各種モニタリングの意義. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 70) 横田裕行¹⁾, 布施 明¹⁾, 佐藤秀貴¹⁾, 本間正人¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 栗屋 栄, 小林士郎, 中沢省三 (¹⁾救急医学): [一般講演] 脳神経外科疾患急性期における enhanced magnetic resonance imaging の有用性. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 71) 小林士郎, 中沢省三, 横田裕行¹⁾ (¹⁾救急医学): [ポスター] Diffuse cerebral swelling に対する barbiturates 療法. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 72) 佐々木光由, 小林士郎, 朝倉隆之, 白石一也, 中沢省三: [ポスター] 実験頭部外傷における一過性低血圧の影響. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 73) 諫山和男, 田島秀則, 小林士郎, 池田幸穂, 小南修史, 中沢省三, 横田裕行¹⁾, 黒川 顕¹⁾ (¹⁾救急医学): [一般

講演] 急性硬膜外血腫後に発生した外傷性頸動脈海綿静脈洞瘻。第20回日本救急医学会総会, 1992.

- 74) 小林士郎, 横田裕行, 諫山和男, 中沢省三, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾救急医学): [一般講演] 老年者頭部外傷の問題点。第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 75) Takahashi, H., Nakazawa, S., and Zhu, J.: [一般講演] A new therapeutic strategy with human monoclonal antibody-drug conjugates for treatment of malignant gliomas. Congress of Neurological Surgeons, 42nd Annual Meeting (Washington), 1992.
- 76) Yoshida, D., Ikeda, Y., and Nakazawa, S.: [一般講演] Tissue concentrations of copper and zinc, and tissue Cu/Zn relation correlative with malignancy in selected human brain tumors. Congress of Neurological Surgeons, 42nd Annual Meeting (Washington), 1992.
- 77) Ikeda, Y., Yoshida, D., and Nakazawa, S.: [一般講演] Biological significance of oxygen free radicals in experimental brain tumors. Congress of Neurological Surgeons, 42nd Annual Meeting (Washington), 1992.
- 78) Ikeda, Y., Nakazawa, S. Carson, B.S.¹⁾, and Long, D.M.¹⁾ (¹⁾Department of Neurosurgery, Johns Hopkins University): [一般講演] Prolonged survival by topical dexamethasone in a rabbit brain tumor model. Congress of Neurological Surgeons, 42nd Annual Meeting (Washington), 1992.
- 79) Ikeda, Y., Toda, S., Wang, M., and Nakazawa, S.: [一般講演] Early changes of blood brain barrier and superoxide scavenging activity in rat cryogenic brain injury. Congress of Neurological Surgeons, 42nd Annual Meeting (Washington), 1992.
- 80) Shimizu, S., Ikeda, Y., and Nakazawa, S.: [一般講演] Acute phase reactant proteins in subarachnoid hemorrhages. Congress of Neurological Surgeons, 42nd Annual Meeting (Washington), 1992.
- 81) 高橋 弘, 金谷幸一, 中沢省三, 重森 稔¹⁾ (¹⁾久留米大学脳神経外科): [一般講演] 悪性脳腫瘍の診断と治療に果たす Dual-isotope SPECT (²⁰¹Tl, ^{99m}Tc-HMPAO) の役割。第4回日本脳循環代謝学会総会, 1992.
- 82) 池田幸穂, 中沢省三: [一般講演] Dexamethasone 脳腫瘍内直接持続投与法に関する実験的研究。第4回日本脳循環代謝学会総会, 1992.
- 83) 小林士郎, 石郷岡聡, 小南修史, 中沢省三: [一般講演] Acrogeria に認められた特発性頸動脈海綿静脈洞瘻。第8回日本脳神経血管内手術研究会, 1992.
- 84) 小南修史, 小林士郎, 石郷岡聡, 佐々木光由, 中沢省三: [一般講演] 術前 embolization が有用であった小脳 Hemangioblastoma の2症例。第8回日本脳神経血管内手術研究会, 1992.
- 85) 小林士郎, 伊藤 靖¹⁾, 小池哲雄¹⁾, 竹内茂和¹⁾, 阿部博史¹⁾, 相場豊隆¹⁾, 藤井幸彦¹⁾, 田中隆一¹⁾ (¹⁾新潟大学脳研究所脳神経外科): [一般講演] GRAGG infusion wire による intramedullary spinal AVM 塞栓術。第8回日本脳神経血管内手術研究会, 1992.
- 86) 佐々木光由, 白石一也, 小林士郎, 朝倉隆之, 中沢省三: [一般講演] 実験頭部外傷急性期における局所脳グルコース利用率の変化について。第4回神経損傷の基礎シンポジウム, 1992.
- 87) 高橋 弘, 大上千鶴子, 間下祥江, 中沢省三: [一般講演] ヒト悪性グリオーマに対する十全大補湯の抗腫瘍効果と作用機序。第5回 JBRM 学会学術集会総会, 1992.
- 88) 古川哲也, 金谷幸一, 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] MRI が特徴的であった直腸癌脳転移症例の検討。第16回日本脳神経 CI 研究会, 1993.
- 89) 林 伸吉, 小林士郎, 玉置智規, 志村俊郎, 中沢省三, 安久津靖彦¹⁾ (¹⁾第一病院眼科): [一般講演] 髄腔播種により Garcin 症候群をきたした巨細胞性神経膠芽腫の1例。第16回日本脳神経 CI 研究会, 1993.
- 90) 足立好司, 中沢省三, 辻 之英¹⁾ (¹⁾目白第2病院脳神経外科): [一般講演] 外傷性滑車神経核障害の MRI 像。第16回日本脳神経 CI 研究会, 1993.
- 91) 玉置智規, 志村俊郎, 野手洋治, 戸田茂樹, 中沢省三: [一般講演] MR アンギオグラフィーにて興味ある所見

- を得た小児脳静脈性血管腫の1例。第16回日本脳神経 CI 研究会, 1993.
- 92) 草彌博昭, 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] Choroid plexus papilloma と choroid plexus carcinoma の MRI 所見。第16回日本脳神経 CI 研究会, 1993.
 - 93) 星野 茂, 高橋 弘, 杉山 誠, 志村俊郎, 中沢省三: [一般講演] 興味ある MRI 所見を呈した melanotic neuroectodermal tumor of infancy (MNTI) の1例。第16回日本脳神経 CI 研究会, 1993.
 - 94) 戸田茂樹, 松本正博, 池田幸穂, 中沢省三: [一般講演] CT scan にて悪性脳腫瘍が強く疑われた被膜形成を伴う脳内血腫の2症例。第16回日本脳神経 CI 研究会, 1993.
 - 95) 星野 茂, 小林士郎, 佐々木光由, 朝倉隆之, 白石一也, 中沢省三: [一般講演] Solcoseryl の実験頭部外傷における外傷後急性期局所脳グルコース摂取率に及ぼす影響について。第11回 Cytoprotection 研究会, 1993.
 - 96) 野手洋治, 中沢省三, Uematsu, S.¹⁾ (¹⁾Johns Hopkins University): [一般講演] 脊椎および脊髄外科手術において体性感覚誘発電位に異常を呈した症例の検討。第5回医工学治療研究会, 1993.
 - 97) 栗屋 栄, 小林士郎, 中沢省三, 横田裕行¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾救急医学): [一般講演] 重症頭部外傷における脳表温度測定。第5回医工学治療研究会, 1993.
 - 98) 川本俊樹, 岡田卓郎, 小林士郎, 中沢省三: [一般講演] Azygous anterior cerebral artery に合併した破裂末梢性前大脳動脈瘤。第34回日本救急医学会関東地方会, 1993.
 - 99) 清水健司, 小南修史, 佐々木光由, 小林士郎, 中沢省三: [一般講演] マイクロカテーテルにより塞栓術を施行した頸髄 AVM の2症例。第34回日本救急医学会関東地方会, 1993.
 - 100) 太組一朗, 小林士郎, 中沢省三, 布施 明¹⁾ (¹⁾救急医学): [一般講演] 中頭蓋窩くも膜嚢胞に慢性硬膜下血腫を合併した小児例。第34回日本救急医学会関東地方会, 1993.
 - 101) 岡田卓郎¹⁾, 高原 明²⁾, 栗屋 栄, 小林士郎, 中沢省三 (¹⁾保谷厚生病院脳神経外科, ²⁾同内科): [一般講演] 悪性症候群の3例。第34回日本救急医学会関東地方会, 1993.
 - 102) 布施 明¹⁾, 横田裕行¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 小林士郎, 中沢省三 (¹⁾救急医学): [一般講演] 高齢者頭部外傷手術症例の検討。第6回老年脳神経外科研究会, 1993.
 - 103) 足立好司, 高橋 弘, 中沢省三, 辻 之英¹⁾ (¹⁾目白第2病院脳神経外科): [一般講演] MRI で診断した外傷性滑車神経核障害の1例。日本脳神経外科学会関東地方会, 1993.
 - 104) 浜田 浩, 志村俊郎, 野手洋治, 饒波正博, 中沢省三: [一般講演] 中大脳動脈末梢部動脈瘤の2例。日本脳神経外科学会関東地方会, 1993.
 - 105) 佐々木光由, 白石一也, 朝倉隆之, 小林士郎, 中沢省三: [一般講演] 実験頭部外傷急性期の脳代謝: 局所脳グルコース利用率の経時的観察。第16回日本神経外傷研究会, 1993.
 - 106) 小林士郎, 佐々木光由, 栗屋 栄, 星野 茂, 水成隆之, 岡田卓郎, 喜多村孝幸, 諫山和男, 志村俊郎, 中沢省三: [シンポジウム] ビマン性脳損傷における diffuse axonal injury の位置付け。第16回日本神経外傷研究会, 1993.
 - 107) 志村俊郎, 高橋 弘, 小林士郎, 中沢省三, 鈴木裕子¹⁾, 向井敏二²⁾ (¹⁾東京大学法医学, ²⁾琉球大学法医学): [一般講演] Battered child syndrome を呈した8部検例の神経病理学的研究。第16回日本神経外傷研究会, 1993.
 - 108) 横田裕行¹⁾, 中林基明¹⁾, 佐藤秀貴¹⁾, 布施 明¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 栗屋 栄, 岡田卓郎, 喜多村孝幸, 諫山和男, 野手洋治, 池田幸穂, 小林士郎, 高橋 弘, 志村俊郎, 矢嶋浩三, 中沢省三 (¹⁾救急医学): [シンポジウム] 救命救急センターにおける頭部外傷治療経験と問題点。第16回日本神経外傷研究会, 1993.
 - 109) 浜田 浩¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 野手洋治¹⁾, 饒波正博, 中沢省三 (¹⁾多摩永山病院脳神経外科): [ポスター] 頭部外傷後急速に増大した挫傷性出血の2例。第16回日本神経外傷研究会, 1993.
 - 110) 布施 明¹⁾, 横田裕行¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 小林士郎, 戸田茂樹, 中沢省三 (¹⁾救急医学): [ポスター] 急性期頭部外傷手術症例の長期予後: 高齢者と青壮年の比較。第16回日本神経外傷研究会, 1993.
 - 111) 楊 国瑞¹⁾, 王 運杰¹⁾, 高橋 弘 (¹⁾中国医科大学): [ポスター] 血腫穿刺洗浄術のみの慢性硬膜下血腫治療法

の検討。第16回日本神経外傷研究会，1993。

- 112) 中林基明¹⁾，横田裕行¹⁾，布施 明¹⁾，佐藤英貴¹⁾，黒川 顕¹⁾，山本保博¹⁾，大塚敏文¹⁾，小林士郎，中沢省三^(¹救急医学)：〔ポスター〕重症頭部外傷における持続内頸静脈酸度酸素飽和度測定の意味。第16回日本神経外傷研究会，1993。
- 113) 戸田茂樹，池田幸穂，野手洋治，小林士郎，中沢省三，横田裕行¹⁾，本間裕行¹⁾，黒川 顕¹⁾，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾ (¹救急医学)：〔ポスター〕頭部銃創症例の検討。第16回日本神経外傷研究会，1993。
- 114) 布施 明¹⁾，横田裕行¹⁾，黒川 顕¹⁾，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾，小林士郎，戸田茂樹，中沢省三^(¹救急医学)：〔ポスター〕頭部杖創の4症例。第16回日本神経外傷研究会，1993。
- 115) 志村俊郎，星野 茂，小林士郎，中沢省三：〔ポスター〕ラット重症脳損傷モデルにおける実験病理学的研究：電子顕微鏡および免疫組織学的所見を中心に。第16回日本神経外傷研究会，1993。
- 116) 栗屋 栄，小林士郎，中沢省三，横田裕行¹⁾，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾ (¹救急医学)：〔ポスター〕頭部外傷重症症例における脳表温度。第16回日本神経外傷研究会，1993。
- 117) 王 慕一，池田幸穂，中沢省三：〔ポスター〕脳凍結損傷における脳血流関門障害の経時的変動。第16回日本神経外傷研究会，1993。
- 118) 猪鹿倉恭子¹⁾，足立好司¹⁾，清水澄江¹⁾，中沢省三 (¹栃木県南総合病院脳神経外科)：〔ポスター〕家庭用椅子型電動マッサージ機による幼児の頭蓋骨陥没骨折の1例。第16回日本神経外傷研究会，1993。
- 119) 高橋 弘，中沢省三：〔一般講演〕ヒト型モノクローナル抗体を用いた脳幹部グリオーマの新しいターゲッティング療法。第21回日本小児神経外科学研究会，1993。
- 120) 星野 茂，高橋 弘，杉山 誠，志村俊郎，中沢省三：〔一般講演〕まれな発生を示した頭蓋原発性 melanotic neuroectodermal tumor of infancy (MNTI) の1例。第21回日本小児神経外科学研究会，1993。

〔前年度追加分〕

- 1) 中沢省三：〔セミナー〕リーダークラスのための脳神経外科看護；頭部外傷治療における役割。第19回脳神経外科セミナー，1992。
- 2) 中沢省三：〔特別講演〕悪性脳腫瘍の治療をめぐる。香川脳神経外科談話会，1992。

〔多摩永山病院脳神経外科〕

研究概要

多摩永山病院脳神経外科は，日本脳神経外科学会専門医訓練施設として，診療，教育，研究を付属病院脳神経外科学教室の指導の下に行っている。

当科の第1の研究テーマは，外傷性瀰漫性脳損傷の研究であり，持続頭蓋内圧測定(光センサー硬膜下法)，脳血流測定(超音波ドップラー法)，電気生理学的検査(聴性脳幹反応，体性感覚誘発電位)，MRIなどの多くの諸検査により脳損傷の経時的な病態解明を行っている。

第2のテーマは原発および転移性脳腫瘍，さらにこれら腫瘍の頭蓋内播種の治療において，主としてオンマヤチューブとInfuse-A-portおよびAlzet ミニ浸透圧ポンプ使用による間歇的持続局所化学療法を行うことにより，その副作用の検討と実験および臨床病理学的研究である。

研究業績

論文

- 1) 志村俊郎，中沢省三¹⁾，池田幸穂¹⁾，野手洋治 (¹付属病院脳神経外科)：「症例報告」悪性脳腫瘍の治療経過中に囊腫形成をみた2症例の臨床病理学的検討，脳神経外科，20，1179～1183，1992。

- 2) 野手洋治, 中沢省三¹⁾, 辻 之英²⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科, ²⁾目白第2病院): 「症例報告」 Persistent carotid-vertebral anastomosis の1例, 日救急医誌, 3, 26~29, 1992.
- 3) 野手洋治, 志村俊郎, 栗屋 栄¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科: 「症例報告」後大脳動脈 (P1部) 窓形成の1例, 臨放, 39, 697~699, 1992.
- 4) 野手洋治, 中沢省三¹⁾, 足立好司²⁾, (¹⁾付属病院脳神経外科, ²⁾栃木県南病院脳神経外科): 「症例報告」両側交代性顔面神経麻痺の1例. ペインクリニック, 13, 437~438, 1992.
- 5) Yoshida. D., Ikeda. Y., Takahashi. H., Shimura. T., and Nakazawa, S.: 「症例報告」 Intracranial fibromyxoma in a four-year-old child. Surg Neurol., 39, 191~195, 1993.

学会発表

- 1) Node, Y., Nakazawa, S., and Uematsu, S. (ジョンスホプキンス大学): 「一般講演」 Risk levels of somatosensory evoked potentials during scoliosis surgery. The 21st Congress of Pan Pacific Surgical Association (Hawaii, USA), 1992.
- 2) Node, Y., Nakazawa, Y., and Uematsu, S. (ジョンスホプキンス大学): 「一般講演」 Graded risk levels of somatosensory evoked potentials during scoliosis surgery. Fifth International Symposium on Spinal Cord Monitoring, (London, UK) 1992.
- 3) Shimura, T., Nakazawa, S., Takahashi, H., Kobayashi, S., Node, Y., and Yokota, H. : 「一般講演」 Clinicopathological studies with battered child syndrome. International Conference on Recent Advances in Neurotraumatology (ICRAN-1992) (Karuizawa), 1992.
- 4) Shimura, T., Nakazawa, S., Kobayashi, S., Wang, Y. J., and Aihara, K. : 「展示」 Histopathological studies of experimental severe brain injury in rats. International Conference on Recent Advances in Neurotraumatology (ICRAN-1992) (Karuizawa), 1992.
- 5) Shimura, T., Nakazawa, S., Kobayashi, S., Wang, Y. J., Shiraishi, K., Sasaki, M., and Hoshino, M. : 「一般講演」 Pathological studies of severe brain injury model using rat. The 9th Congress of the Japan Chapter of the Pan-Pacific Surgical Association (Guam, USA), 1992.
- 6) 野手洋治, 中沢省三¹⁾, Uematsu, S. ²⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科, ²⁾ジョンスホプキンス大学): 「一般講演」 Spinal surgery の術中および術後に体性感覚誘発電位の異常波形をきたした症例の検討. 第22回日本脳波筋電図学会学術集会, 1992.
- 7) 志村俊郎, 王 運杰¹⁾, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾, 相原 薫²⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科, ²⁾中央電子顕微鏡施設): 「一般講演」 ラット重症脳損傷における病理組織学的研究; 光学顕微鏡所見を中心に. 第33回日本神経病理学会総会学術研究会, 1992.
- 8) 野手洋治, 中沢省三¹⁾, 志村俊郎, 石郷岡聡¹⁾, 猪鹿倉恭子¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科): 「一般講演」 脳動脈瘤破裂後の脳血管攣縮における経頭蓋ドプラー測定と大脳誘発電位の臨床的検討. 第11回日本脳神経超音波研究会, 1992.
- 9) 川本俊樹, 志村俊郎, 野手洋治, 玉置智規, 中沢省三¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科): 「一般講演」 両側同時性顔面神経麻痺の1例. 第121回日本神経学会関東地方会, 1992.
- 10) 野手洋治, 石郷岡聡¹⁾, 猪鹿倉恭子¹⁾, 志村俊郎, 中沢省三¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科): 「一般講演」 破裂脳動脈瘤患者における大脳誘発電位および経頭蓋ドプラー測定の臨床的意義. 第33回日本神経学会総会, 1992.
- 11) 志村俊郎, 王 運杰¹⁾, 小林士郎¹⁾, 白石一也¹⁾, 佐々木光由¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科): 「一般講演」 Diffuse axonal injury の病理剖検例と動物実験例の対比. 第22回新潟脳神経外科懇話会, 1992.
- 12) 小林士郎¹⁾, 横田裕行¹⁾, 志村俊郎, 中沢省三¹⁾, (¹⁾付属病院脳神経外科): 「一般講演」重症 diffuse axonal injury の診断. 第22回新潟脳神経外科懇話会, 1992.
- 13) 戸田茂樹, 志村俊郎, 野手洋治, 草彌博昭, 中沢省三¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科): 「一般講演」中大脳動脈水平

部動脈瘤の1例。第45回日本脳神経外科学会関東地方会，1992。

- 14) 玉置智規，志村俊郎，野手洋治，川本俊樹，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔一般講演〕小児 venous angioma の1例。第46回日本脳神経外科学会関東地方会，1992。
- 15) 野手洋治，志村俊郎，玉置智規，川本俊樹，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔一般講演〕頸部脊髄動静脈奇形の2例。第47回日本脳神経外科学会関東地方会，1992。
- 16) 野手洋治，志村俊郎，玉置智規，林 伸吉，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔一般講演〕術後聴力に改善がみられた聴神経腫瘍の1例。第48回日本脳神経外科学会関東地方会，1992。
- 17) 玉置智規，志村俊郎，野手洋治，林 伸吉，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔一般講演〕多摩永山病院脳神経外科における若年者虚血性脳血管障害の臨床的検討。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 18) 野手洋治，草薨博昭，志村俊郎，中沢省三¹⁾，黒川 顕²⁾(¹⁾付属病院脳神経外科，²⁾救命救急センター)：〔展示〕頭部外傷に合併した頸椎，頸髄損傷例の検討。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 19) 玉置智規，志村俊郎，野手洋治，川本俊樹，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔展示〕小児脳静脈性血管腫の1例。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 20) 川本俊樹，野手洋治，志村俊郎，玉置智規，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)〔展示〕両側同時性顔面神経麻痺の1例。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 21) 林 伸吉，野手洋治，志村俊郎，玉置智規，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔展示〕比較的稀な脳内出血にて発症した中大脳動脈末梢部動脈瘤の1例。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 22) 志村俊郎，中沢省三¹⁾，高橋 弘¹⁾，小林士郎¹⁾，高津光洋²⁾，鈴木裕子³⁾，向井敏二⁴⁾，木村壽子⁵⁾(¹⁾付属病院脳神経外科，²⁾慈恵医科大学，³⁾東京大学，⁴⁾琉球大学，⁵⁾東京都監察医務院)：〔一般講演〕Battered child syndrome の臨床病理学的研究。第51回日本脳神経外科学会総会，1992。
- 23) 志村俊郎，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔展示〕ラット実験脳腫瘍における抗癌剤持続局所注入療法の実験動物用 MRI による検討。第51回日本脳神経外科学会総会，1992。
- 24) 野手洋治，中沢省三¹⁾，志村俊郎，石郷岡聡¹⁾，猪鹿倉恭子¹⁾，草薨博昭(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔一般講演〕破裂脳動脈瘤患者における神経生理学的検討と経頭蓋ドプラー測定との比較検討。第51回日本脳神経外科学会総会，1992。
- 25) 野手洋治，中沢省三¹⁾，Uematsu, S²⁾。(¹⁾付属病院脳神経外科，²⁾ジョンスホプキンス大学)：〔一般講演〕脊椎および脊髄外科手術における体性感覚誘発電位(SEP)；術中および術後に SEP 異常を呈した症例の検討。第51回日本脳神経外科学会総会，1992。
- 26) 濱田 浩，志村俊郎，野手洋治，饒波正博，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔一般講演〕中大脳動脈末梢部動脈瘤の2例。第49回日本脳神経外科学会関東地方会，1993。
- 27) 玉置智規，志村俊郎，野手洋治，戸田茂樹，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔展示〕MR アンギオグラフィーにて興味ある所見を得た小児脳静脈性血管腫の1例。第16回脳神経 CI 研究会，1993。
- 28) 林 伸吉¹⁾，小林士郎¹⁾，玉置智規¹⁾，志村俊郎，中沢省三¹⁾，阿久津靖彦²⁾(¹⁾付属病院脳神経外科，²⁾第一病院眼科)：〔展示〕髄腔播種により Garcin 症候群をきたした巨細胞性神経膠芽腫の1例。第16回 CI 研究会，1993。
- 29) 志村俊郎，中沢省三¹⁾，高橋 弘¹⁾，小林士郎¹⁾，鈴木裕子²⁾，向井敏二³⁾，(¹⁾付属病院脳神経外科，²⁾東京大学，³⁾琉球大学)：〔一般講演〕Battered child syndrome を呈した8剖検例の神経病理学的研究。第16回日本神経外傷研究会，1993。
- 30) 志村俊郎，星野 茂¹⁾，小林士郎¹⁾，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔展示〕ラット重症脳損傷モデルにおける実験病理学的研究；電子顕微鏡および免疫組織学的所見を中心に。第16回日本神経外傷研究会，1993。
- 31) 小林士郎¹⁾，横田裕行¹⁾，佐々木光由¹⁾，栗屋 栄¹⁾，星野 茂¹⁾，水成隆之¹⁾，岡田卓郎¹⁾，喜多村孝幸¹⁾，諫山和男¹⁾，志村俊郎，中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科)：〔シンポジウム〕ビマン性脳損傷における diffuse axonal injury の位置付け。第16回日本神経外傷研究会，1992。

12. 整形外科科学講座

[付属病院整形外科・第一病院整形外科・第二病院整形外科・多摩永山病院整形外科]

研究概要

現代の整形外科の研究範囲は膨大な範囲に涉っているので、その全てを網羅する事は到底不可能であるが、出来るだけ広範囲にしかも深く研究するのが教室の使命であると考えている。

研究項目は：1) 電気生理学；脊髄電位，神経電位，交感神経電位，筋電図，電気刺激および電磁場刺激による骨・軟骨・神経の再生。

2) Biomechanics；脊椎，膝関節，股関節，仙腸関節，肩関節などの Biomechanics。

3) 軟骨再生と移植；将来には骨銀行のみではなく軟骨銀行を目指している。

4) 人工関節，人工靱帯，人工骨の開発実験。

5) 脊椎管内血管の解剖学。

6) 脊髄馬尾の解剖学。

7) 手の手根骨の動態。

8) 臨床的研究；伝統的に脊椎・脊髄疾患に対する手術的治療例が圧倒的に多く，その手術法の開発と術後の予後の検索を行っている。また，現代の流れで，交通事故の外傷，老人の人工関節置換術や，骨粗鬆症，若者のスポーツ医学や近年急増している骨・軟部悪性腫瘍等に関して先進的かつ独自の治療法を試みている。

研究業績

論文

- 1) 松沢 勲，白井康正，南野光彦，今野俊介，深井靖雄：〔原著〕頸椎牽引による頸肩腕部痛の鎮痛効果について。日本理学診療医学会誌，3，16～20，1992。
- 2) 白井康正：〔総説〕ぎっくり腰の原因。きょうの健康，4，20～23，1992。
- 3) 白井康正：〔原著〕馬尾の血行動態と神経；硬膜外静脈循環を中心に。骨・関節・靱帯，5，1467～1474，1992。
- 4) 白井康正，宮本雅史：〔総説〕肘関節周辺および前腕骨折の保存的治療。骨・関節・靱帯，5，159～166，1992。
- 5) 宮本雅史，白井康正，成田哲也，橋田雅美，橋口 宏：〔原著〕大腿骨骨幹部骨折に対する Brooker-Wills Nail を用いた治療成績について。骨折，14，71～75，1992。
- 6) 宮本雅史，白井康正：〔原著〕大腿骨骨幹部骨折に対する Brooker-Wills Nail を用いた治療成績について。Orthopaedics，15，67～74，1992。
- 7) 伊藤博元：〔総説〕骨折手術後のマイクロ温熱療法。日本医事新報，3551，133，1992。
- 8) 伊藤博元，白井康正，横内正直，柴崎 徹，高山景範，橋田雅美，橋口 宏，高他俊也，深井靖雄：〔原著〕反復性肩関節脱臼・亜脱臼に対する Boytchev 変法の治療。関東整災誌，23，258～262，1992。
- 9) 伊藤博元，白井康正：〔総説〕四肢の開放性骨折。緊急手術アトラス（救急医学），16，1410～1415，1992。
- 10) 伊藤博元，白井康正，横内正直，柴崎 徹，高山景範，藤井信人，橋口 宏，井出勝彦：〔原著〕反復性肩関節脱臼・亜脱臼症例における Postero-lateral notch の検索。整形外科，43，1505～1509，1992。
- 11) 伊藤博元，柴崎 徹，高山景範，橋口 宏：〔原著〕Rotator interval 縫縮を伴った Boytchev 変法術。骨・関節・靱帯，5，1271～1275，1992。
- 12) 中山義人，白井康正，宮本雅史：〔総説〕腰部脊柱管狭窄症の画像診断。骨・関節・靱帯，5，1491～1499，1992。
- 13) 中山義人，白井康正，成田哲也，森 淳，橋田雅美，小林 薫：〔原著〕Augmentation 法による前十字靱帯

再建術の臨床成績. 整形外科, 22(別冊), 73~77, 1992.

- 14) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 森 淳, 橋田雅美, 小林 薫, 八百板仁志: [原著] 再発性膝蓋骨脱臼・亜脱臼に対する動的制動術. 関節の外科, 19, 163~166, 1992.
- 15) 北川泰之, 前田昭太郎¹⁾, 今泉孝敏²⁾, 稲福睦美²⁾, 小口直彦³⁾, 浅野伍朗³⁾ (¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾同内科, ³⁾病理学第2): [報告] 5重復癌の1例. 癌の臨床, 38, 825~832, 1992.
- 16) 北川泰之, 白井康正, 小黒辰夫¹⁾, 佐々木喜広¹⁾, 山田宣孝²⁾, 村瀬幸弘²⁾, 前田昭太郎³⁾, 角田 隆³⁾, 東 敬子³⁾, 浅野伍朗⁴⁾ (¹⁾中央電子顕微鏡研究施設, ²⁾第一病院病理部, ³⁾多摩永山病院病理部, ⁴⁾病理学第2): [原著] Ultrastructural study of peripheral primitive neuroectodermal tumor. J. Clinical Electron Microscopy. 25, 500~501, 1992.
- 17) 森 淳: [原著] Polyester を用いた augmentation 法によるウサギ膝関節前十字靱帯再建実験の組織学的検討. 日医大誌, 59, 176~185, 1992.
- 18) 橋口 宏, 白井康正, 中山義人, 成田哲也, 森 淳, 清水要吉, 松井琴恵, 飯澤典茂: [報告] 高 IgE 症候群に発症した大腿骨骨髓炎の1例. 関節の外科, 19, 35~38, 1992.
- 19) 橋口 宏, 白井康正, 伊藤博元, 高山景範, 橋田雅美, 立石哲也¹⁾, 白崎芳夫¹⁾ (¹⁾工業技術院機械技術研究所): [原著] 肩鎖関節面の生体力学的特性. 整形外科バイオメカニクス, 13, 295~297, 1992.
- 20) 今野俊介, 白井康正, 肥留川道雄, 西川英樹, 黒川胤臣, 浦田伸一, 北川泰之: [報告] 上肢に発症した軟部好酸球性肉芽腫の1例. 東日本臨整外学誌, 4, 239~243, 1992.
- 21) 間瀬泰克, 白井康正, 渡辺 誠, 南 和文, 林 宏光¹⁾, 松尾博由²⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾松尾医院整形外科): [原著] アイスホッケー選手の筋腱損傷について; 特に MRI の有用性についての検討. 日本整形外科スポーツ医学学会誌, 11, 33~37, 1992.
- 22) 間瀬泰克, 白井康正, 渡辺 誠, 横内正直, 高山裕史, 小川ひろみ, 池田 亮, 小池竜哉, 吉原 潔, 上坂真司, 林 英俊, 松尾博由¹⁾, 山田幸正²⁾, 平田雅晴³⁾ (¹⁾松尾医院整形外科, ²⁾大脇病院放射線科): [原著] 膝前十字靱帯再建術後の筋萎縮について; MRI による計測. 神奈川整形災害外科医会雑誌, 5, 115~117, 1992.
- 23) 間瀬泰克, 白井康正, 渡辺 誠, 南 和文, 横内正直, 高山裕史, 福田憲昭, 松尾博由¹⁾, 木村恒雄²⁾ (¹⁾松尾医院整形外科, ²⁾日本ヨット協会医科学委員会): [原著] ヨットにおけるスポーツ障害について. 臨床スポーツ医学, 9, 218~220, 1992.
- 24) 横内正直, 白井康正, 渡辺 誠, 伊藤博元, 柴崎 徹, 高山景範, 藤井信人, 青木孝文, 浦田伸一: [報告] 繰り返す肩関節血腫を伴った腱板断裂の1例. 神奈川整形災害外科医会雑誌, 5, 62~65, 1992.
- 25) 小池竜哉, 渡辺 誠, 横内正直, 高山裕史, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 池田 亮, 吉原 潔, 林 英俊, 上坂真司, 白井康正: [報告] 外傷性両側同時股関節脱臼骨折の1症例. 神奈川関節外科研究会誌, 7, 148~152, 1992.
- 26) 上坂真司, 渡辺 誠, 横内正直, 高山裕史, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 池田 亮, 小池竜哉, 吉原 潔, 林 英俊: [報告] Charnley 型全人工股関節置換術後の反復性脱臼に対し Wroplowski acetabular stabilizing wedge を使用した1例. 神奈川関節外科研究会誌, 8, 63~67, 1992.
- 27) 高山裕史: [原著] 腰椎疾患患者における尿水力学的異常の検討. 日医大誌, 59, 400~408, 1992.
- 28) 青木孝文, 白井康正, 松沢 勲, 宮本雅史, 森 淳: [報告] 片側性肥大症に合併した外反母趾の1治療例. 日本足の外科学会雑誌, 13, 217~220, 1992.
- 29) 伊藤博元, 柴崎 徹, 高山景範: [原著] 外傷性肩関節脱臼に対する外転挙上整復法. 整形外科, 23(別冊), 2~7, 1993.
- 30) 森 淳, 白井康正, 中山義人, 成田哲也, 橋田雅美, 小林 薫: [原著] Augmentation 法による後十字靱帯再建術; 術式を中心として. 東京膝関節学会誌, 13, 132~135, 1993.
- 31) 伊藤博元, 白井康正: [総説] いわゆる五十肩の診断. X線診断・関節造影. 骨・関節・靱帯, 6, 43~47, 1993.
- 32) 間瀬泰克, 白井康正, 渡辺 誠, 南 和文, 松尾博由¹⁾ (¹⁾松尾医院整形外科): [原著] アイスホッケー選手の

腰部障害について. 臨床スポーツ医学, 10, 300~304, 1993.

- 33) 中山義人:〔総説〕前十字靱帯再建術について, 東日本臨整外学誌, 5, 164~172, 1993.
- 34) 森田欣司, 白井康正, 石原正博, 平沼尚和, 高他俊哉, 水江史樹, 石田 晋:〔報告〕50年を経過した股関節不良肢位強直例の治療経験, 骨・関節・靱帯, 6, 211~215, 1993.
- 35) 井上惣一郎, 白井康正, 肥留川道雄, 松沢 勲, 武内俊次, 宮本雅史, 城 武俊:〔原著〕創外固定法による粉碎型橈骨遠位端骨折の治療経験. 日本創外固定研究会誌, 4, 17~22, 1993.
- 36) 白井康正:〔総説〕社会保険診療点数について. 東日本臨整外学誌, 5, 1, 1993.
- 37) 白井康正, 伊藤博元:〔原著〕電磁波刺激による遷延治療骨折の電気治療. 総合臨床, 41, 140~146, 1993.
- 38) 橋田雅美:〔原著〕Augmentation 法によるウサギ膝前十字靱帯再建術の実験的研究;再建前十字靱帯の力学的研究. 日医大誌, 60, 95~104, 1993.
- 39) 南 和文, 白井康正, 中山義人, 福田憲昭, 加藤和義, 中川 俊:〔報告〕膝靱帯再建術後に発症した MRSA による toxic shock syndrome の 1 例. 日本骨・関節感染症研究会記録誌, 6, 127~129, 1992.
- 40) 南 和文, 白井康正, 間瀬泰克, 中川 俊:〔原著〕スポーツ選手の陥入爪の治療経験. 日本足の外科学会雑誌, 13, 122~126, 1992.
- 41) 大村文敏, 中川 俊, 白井康正:〔原著〕馬尾の血行動態と神経;硬膜外静脈循環を中心として. 骨・関節・靱帯, 5, 1467~1474, 1992.
- 42) 濱松 優¹⁾, 中山恵二²⁾, 三神 寛¹⁾, 五十嵐司¹⁾, 相良宗徳¹⁾, 大崎邦子¹⁾, 中村進一¹⁾, 南 和文, 清水一雄²⁾ (¹⁾皮膚科学, ²⁾外科学第 2):〔報告〕外傷後に生じた malignant melanoma の 1 例. Skin Cancer, 7, 176~179, 1992.
- 43) 福田憲昭, 白井康正, 南 和文, 中川 俊, 加藤和義, 間瀬泰克, 小林明雄:〔報告〕モーターボート走行中に腰椎圧迫骨折を来した 2 例. 臨床スポーツ医学, 9 (別冊), 281~282, 1992.

著 書

- 1) 白井康正, 松沢 勲:〔共著〕骨系統疾患シリーズ33; Nail patella syndrome. 整形外科, P. 1384~1385, 南江堂, 1992.
- 2) 間瀬泰克:〔分担〕NMR のスポーツ医・科学への応用 (筋挫傷の MRI). Japanese J. sports sciences, P. 104~109, ソニー企業, 1993.
- 3) 伊藤博元, 白井康正:〔分担〕PEMFs 療法-Bassett 法. 電気刺激による骨軟骨組織修復の促進, P. 105~117, 文光堂, 1993.
- 4) 白井康正:〔分担〕脊椎・骨盤の手術合併症と対策;骨盤骨・脱臼の手術療法の合併症と対策. OS NOW, Orthopaedic Surgery, No. 7, P. 196~201, メディカルトリビューン, 1992.
- 5) 白井康正:〔分担〕腰背痛. 今日の診断指針(第 3 版). P. 224~228, 医学書院, 1992.
- 6) 白井康正:〔翻訳〕ベッドサイドの筋電図ハンドブック, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1993.
- 8) 南 和文:〔分担〕II. スポーツ別主要なスポーツ障害のメカニズムと予防 ⑰ 相撲. 図解スポーツ障害のメカニズムと予防のポイント (武藤芳照編), P. 195~205, 文光堂, 1992.

学会発表

- 1) 白井康正:〔研修講演〕スポーツ選手の腰痛. 北海道大学医学部教育研修講演, 1992.
- 2) 白井康正:〔研修講演〕学生相撲選手の仙腸関節. 第10回弘前大学整形外科学会, 1992.
- 3) 宮本雅史, 白井康正, 今野俊介, 井上眞治, 赤石文洋:〔一般講演〕腰椎椎間板ヘルニアにおける馬尾の配列異常について;CTM の検討を中心として. 第65回日本整形外科学会総会, 1992.
- 4) 成田哲也, 白井康正, 中山義人, 武内俊次, 森 淳:〔一般講演〕膝蓋骨脱臼, 亜脱臼に対する半腱様筋による

動的制動の成績と筋電図学的検討。第65回日本整形外科学会学術集会, 1992.

- 5) 赤石文洋, 白井康正, 南 和文, 宮本雅史: [一般講演] 仙腸関節の形態; 学生相撲選手を対象として, 第18回日本整形外科スポーツ医学会, 1992.
- 6) 北川泰之, 前田昭太郎¹⁾, 浅野伍朗²⁾, 白井康正^(1)多摩永山病院病理部, 2)病理部第2): [一般講演] 末梢性 PNET の病理組織学的検討; 第2報ユーイング肉腫と神経芽細胞腫の鑑別上の問題点, 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 7) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 森 淳, 橋田雅美, 小林 薫, 八百板仁志: [一般講演] Augmentation 法による膝前十字靱帯再建術, 第5回膝関節フォーラム, 1992.
- 8) 森田欣司, 白井康正, 石原正博, 平沼尚和, 高他俊哉, 水江史樹, 石田 晋: [一般講演] 50年を経過した股関節不良肢位強直例の治療経験, 第542回整形外科集談会東京地方会, 1992.
- 9) 今野俊介, 白井康正, 宮本雅史, 橋田雅美, 北川泰之, 角田 隆: [一般講演] 中学生, 高校生の飛び込み事故に対する意識調査, 第18回日本整形外科スポーツ医学会, 1992.
- 10) 間瀬泰克, 白井康正, 渡辺 誠, 南 和文, 松尾博由¹⁾ (1)松尾医院整形外科): [ポスター] 膝前十字靱帯再建術後の筋萎縮について, 第18回日本整形外科スポーツ医学会, 1992.
- 11) 玉井健介, 白井康正, 中山義人, 黒川胤臣, 中嶋隆夫, 井上眞治: [一般講演] 骨欠損に対する β -Tricalcium Phosphate (β -TCP) の使用経験, 第24回関東整形災害外科学会, 1992.
- 12) 高山景範, 白井康正, 伊藤博元, 沢泉卓哉, 深井靖雄: [一般講演] スポーツによる鎖骨近位骨端離開の1例, 第24回関東整形災害外科学会, 1992.
- 13) 南野光彦, 白井康正, 松沢 勲, 今野俊介, 深井靖雄, 大野達朗: [一般講演] 頸部痛に対する頸椎間歇的介達牽引前後の変化; 頸部組織血流と筋電図学的検索, 第4回日本理学診療医学会, 1992.
- 14) 井上惣一郎, 白井康正, 肥留川道雄, 松沢 勲, 武内俊次, 宮本雅史, 城 武俊: [主題] 創外固定法による粉碎型橈骨遠位端骨折の治療経験, 第5回日本創外固定研究会, 1992.
- 15) 北川泰之, 白井康正, 前田昭太郎¹⁾, 浅野伍朗²⁾ (1)多摩永山病院病理部, 2)病理部第2): [一般講演] 末梢性 PNET (Primitive neuroectodermal tumor) の病理学的検討; 第3報ユーイング肉腫と神経芽細胞腫の鑑別上の問題点, 第25回日本整形外科学会, 骨・軟部腫瘍学術集会, 1992.
- 16) 伊藤博元, 白井康正, 宮本雅史: [パネルディスカッション] 骨盤骨折分類, 第18回日本骨折治療学会, 1992.
- 17) 栗山直之, 白井康正, 肥留川道雄, 松沢 勲, 井上惣一郎, 浦田伸一, 橋田雅美, 宇佐美文章¹⁾ (1)宇佐美整形外科医院): [一般講演] 足部 Dupuytren 拘縮の1例, 第17回日本足の外科学会, 1992.
- 18) 吉原 潔, 渡辺 誠, 横内正直, 高山裕史, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 池田 亮, 小池竜哉, 林 英俊, 上坂真司: [一般講演] 観血的治療を要した痛風結節の1例, 第85回神奈川整形災害外科医会, 1992.
- 19) 白井康正: [研修講演] 学生相撲選手の仙腸関節, 福井医大教育研修講演, 1992.
- 20) 中山義人, 白井康正, 武内俊次, 成田哲也, 森 淳, 橋田雅美, 小林 薫, 八百板仁志: [一般講演] 膝蓋骨脱臼・亜脱臼症候群に対する動的制動術, 第21回東日本リウマチの外科研究会, 1992.
- 21) 橋口 宏, 白井康正, 中山義人, 成田哲也, 森 淳, 清水要吉, 松井琴恵, 飯澤典茂: [一般講演] 高 IgE 症候群に発症した大腿骨骨髓炎の1例, 第21回東日本リウマチの外科研究会, 1992.
- 22) 北川泰之, 白井康正, 小黒辰夫¹⁾, 佐々木喜広¹⁾, 山田宣孝²⁾, 村瀬幸広²⁾, 前田昭太郎³⁾, 角田 隆, 東 敬子³⁾, 浅野伍朗⁴⁾ (1)中央電子顕微鏡研究施設, 2)第一病院病理部, 3)多摩永山病院病理部, 4)病理学第2): [一般講演] いわゆる広義の末梢性 primitive neuroectodermal tumor (PNET) の病理学的検討; 第4報電顕的観察, 第24回日本臨床電顕学会, 1992.
- 23) 玉井健介, 白井康正, 渡辺 誠, 武内俊次, 宮本雅史: [パネルディスカッション] Compression hip screw による大腿骨転子部骨折の術後成績, 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 24) 南野光彦, 白井康正, 松沢 勲, 今野俊介, 深井靖雄, 大野達朗: [一般講演] 頸椎間歇的介達牽引の適応と限界, 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.

- 25) 成田哲也, 白井康正, 中山義人, 森 淳, 橋田雅美, 小林 薫, 井出勝彦, 進藤久夫, 八百板仁志: [パネルディスカッション] ACL 再建における術中 isometricity の検討. 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 26) 宮本雅史, 白井康正, 今野俊介, 清水要吉, 金田和容: [シンポジウム] 腰椎椎間板ヘルニアの多数回手術例の検討. 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 27) 中嶋隆夫, 白井康正, 玉井健介, 武内俊次, 皆川 敦: [一般講演] 骨粗鬆症に対する各種治療法と腰椎骨密度の変化について. 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 28) 北川泰之, 白井康正, 今野俊介, 角田 隆, 前田昭太郎¹⁾(¹⁾多摩永山病院病理部): [一般講演] Spinal primitive neuroectodermal tumor の1例. 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 29) 伊藤博元, 白井康正, 柴崎 徹, 高山景範, 橋口 宏, 井出勝彦, 水江史樹: [パネルディスカッション] Weaver-Dann 法による肩鎖関節脱臼の治療成績. 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 30) 中山義人: [教育講演] 膝靱帯再建術. 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 31) 今野俊介, 白井康正, 宮本雅史, 清水要吉, 赤石文洋: [パネルディスカッション] 第3/4 頸椎椎間板ヘルニアの臨床的検討. 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 32) 武内俊次, 白井康正, 玉井健介, 中嶋隆夫, 皆川 敦: [一般講演] 大腿骨頸部骨折とそのリスク・ファクター. 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 33) Ito, H.: [シンポジウム] The application of pulsing electromagnetic fields (PEMFs) for ununited fracture. 第2回 Sino-Japanese Orthopaedic Symposium, 1992.
- 34) 北川泰之, 白井康正, 前田昭太郎¹⁾, 角田 隆, 須田 暁²⁾(¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾須田整形外科医院): [ポスター] 上腕骨に発生した骨内脂肪腫の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 35) 上坂真司, 渡辺 誠, 横内正直, 高山裕史, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 池田 亮, 小池竜哉, 吉原 潔, 林 英俊: [一般講演] Charnley 型全人工股関節置換術後の反復性脱臼に対し Wroblewski acetabular stabilizing wedge を使用した1例. 第15回神奈川関節外科研究会, 1992.
- 36) 白井康正: [研修講演] 整形外科と社会保険: 理学療法の取り扱い. 城南骨関節フォーラム, 1992.
- 37) 白井康正: [研修講演] 骨粗鬆症と腰痛. 城南骨関節フォーラム, 1992.
- 38) 橋田雅美, 白井康正, 中山義人, 成田哲也, 森 淳, 小林 薫, 八百板仁志: [ポスター] Augmentation 法によるウサギ膝前十字靱帯再建術の実験的研究. 第7回日本整形外科学会基礎学術集会, 1992.
- 39) 橋口 宏, 白井康正, 伊藤博元, 柴崎 徹, 高山景範, 井出勝彦, 立石哲也¹⁾, 小崎芳夫¹⁾(¹⁾工業技術院機械技術研究所): [ポスター] 肩鎖関節の生体力学的特性. 第19回日本肩関節学会, 1992.
- 40) 深井靖雄, 白井康正, 宮本雅史, 今野俊介: [一般講演] 人工血管置換症例に発症した化膿性脊椎炎の1例. 第545回整形外科集談会東京地方会, 1992.
- 41) 南野光彦, 白井康正, 松沢 勲, 今野俊介, 深井靖雄, 大野達朗: [一般講演] 頸部痛に対する頸椎間歇的牽引前後の変化: 表面筋電図周波数スペクトル解析. 第22回日本脳波筋電図学会, 1992.
- 42) 今野俊介, 白井康正, 松沢 勲, 南野光彦, 深井靖雄, 大野達朗: [ポスター] ネコ脊髄電気刺激による下肢筋誘発電位の実験的検討. 第22回日本脳波筋電図学会, 1992.
- 43) 武内俊次, 白井康正, ウイルソン C, ヘイズ¹⁾, アウグスタス A, ホワイト III¹⁾(¹⁾ハーバード大学整形外科): [一般講演] ヒト変性腰椎椎間板の核磁気共鳴緩和時間とバイオメカニクス特性. 第19回整形外科バイオメカニクス研究会, 1992.
- 44) 間瀬泰克, 白井康正, 渡辺 誠, 南 和文, 松尾博由¹⁾(¹⁾松尾医院整形外科): [一般講演] アイスホッケー選手の腰部障害について. 第3回日本臨床スポーツ医学会総会, 1992.
- 45) 白井康正: [研修講演] 職業性腰痛. 昭和大学教育研修講演, 1992.
- 46) 玉井健介, 白井康正, 渡辺 誠, 武内俊次, 平沼尚和, 加藤和義, 小池竜哉, 皆川 敦: [一般講演] 大腿骨頭すべり症の検討. 第19回日本股関節学会, 1992.
- 47) 高山景範, 白井康正, 伊藤博元, 柴崎 徹, 藤井信人, 橋口 宏: [一般講演] 肩甲下筋腱単独断裂の2例. 第

25回関東整形災害外科学会, 1992.

- 48) 白井康正：〔研修講演〕スポーツ選手の仙腸関節（学生相撲選手を中心に），東邦大学教育研修講演，1992.
- 49) 白井康正：〔研修講演〕スポーツ選手の腰痛（学生相撲選手を中心に），広島大学教育研修講演，1992.
- 50) 宮本雅史，白井康正，今野俊介，清水要吉，金田和容：〔一般講演〕若年者腰椎椎間板ヘルニアの治療成績，第3回日本小児整形外科学会，1992.
- 51) Matsuzawa, I., Shirai, Y., Hirukawa, M., Kawaji, H.: 〔一般講演〕Dupuytren's contracture of the foot. Case report. The 9th Pan Pacific Surgical Association. Japan Chapter, 1992.
- 52) 白井康正：〔研修講演〕重傷骨盤骨折について，北海道大学教育研修講演，1993.
- 53) 池田 亮，沢泉卓哉，家田俊也：〔一般講演〕靱帯，腱の骨への縫着におけるステイタックの使用経験，第33回山形整形外科学研究会，1993.
- 54) 成田哲也，白井康正，中山義人，玉井健介，森 淳，橋田雅美，小林 薫，八百板仁志：〔主題〕 β -Tricalcium Phosphate を併用した脛骨顆部骨折の治療，第14回東京膝関節学会，1993.
- 55) 中山義人，白井康正，成田哲也，森 淳，橋田雅美，小林 薫，八百板仁志：〔一般講演〕膝前十字靱帯断裂に対する補強修復術，第14回東京膝関節学会，1993.
- 56) 間瀬泰克，白井康正，渡辺 誠，南 和文，小池竜哉，林 英俊，松尾博由¹⁾（¹⁾松尾医院整形外科）：〔一般講演〕膝前十字靱帯再建術後の大腿部筋萎縮について；MRI による計測，第14回東京膝関節学会，1993.
- 57) Mase, Y., Shirai, Y., Watanabe, M.: 〔ポスター〕MRI manifestation of muscle contusion at contact sports. 第2回日米整形外科スポーツ医学国際会議（Maui, Hawaii），1993.
- 58) 清水要吉，白井康正，宮本雅史，今野俊介，赤石文洋，金田和容：〔一般講演〕頸椎手術前後における姿勢変化について，日本医科大学医学会第77回例会，1993.
- 59) 中山義人，白井康正，成田哲也，森 淳，橋田雅美，小林 薫，八百板仁志：〔シンポジウム〕若年女子の慢性膝蓋大腿関節痛，第22回日本慢性疼痛学会，1993.
- 60) 渋谷正人，渡辺 誠，横内正直，高山裕史，小川ひろみ，吉原 潔，小池竜哉，林 英俊，内山真紀，柏木俊治：〔一般講演〕関節内骨折に対する Herbert screw の使用経験，第16回神奈川関節外科研究会，1993.
- 61) 渡辺 誠，横内正直，高山裕史，小川ひろみ，吉原 潔，小池竜哉，林 英俊，上坂真司，渋谷正人，内山真紀，柏木俊治：〔一般講演〕大腿骨転子部骨折に対する compression hip screw 法の治療成績，第16回神奈川関節外科研究会，1993.
- 62) 森田欣司，白井康正，肥留川道雄，井上惣一郎，藤井信人，栗山直之，内山真紀：〔一般講演〕母指 CM 関節脱臼の2例，第549回整形外科集談会東京地方会，1993.
- 63) 千葉由雄，白井康正，松沢 勲，宮本雅史，柴崎 徹：〔一般講演〕小児大腿骨骨折に対する創外固定法の検討，第6回日本創外固定研究会，1993.
- 64) 柏木俊治，渡辺 誠，横内正直，高山裕史，小川ひろみ，吉原 潔，小池竜哉，林 英俊，上坂真司，渋谷正人，内山真紀，平沼尚和，川並汪一¹⁾，新井 悟¹⁾（¹⁾第二病院病理部）：〔一般講演〕肩甲部に発生したいわゆるLennert's Lymphoma を疑う1例，第87回神奈川整形災害外科医会，1993.
- 65) Ohmura, F., Nakagawa, T., Kato, K., Minami, K., and Shirai, Y.: 〔一般講演〕Diagnostic value of MRI for lumbar spinal canal stenosis. 19th Annual Meeting of the International Society of the Study of the Lumbar Spine (Chicago), 1992.
- 66) 大村文敏，中川 俊，南 和文，加藤和義，白井康正：〔一般講演〕腰部脊柱管狭窄症の病態について；硬膜外静脈循環障害に対する Lipo PGE₁ の効果，第21回日本脊椎外科学会，1992.
- 67) 南 和文，中川 俊，大村文敏，福田憲昭，加藤和義，小林明雄，菅野重人¹⁾（¹⁾外科学第2）：〔ポスター〕創外固定を使用したスポーツ選手の骨折治療の経験，第60回日本医科大学医学会総会，1992.
- 68) 福田憲昭，中川 俊，南 和文，大村文敏，加藤和義，小林明雄：〔一般講演〕Microgeodic disease の2例，日本医科大学医学会第78回例会，1992.

13. 産婦人科学講座

〔付属病院産婦人科〕

研究概要

主な研究テーマは①周産期：胎児病に関する基礎研究と臨床研究、②不妊症：受精・着床に関する基礎研究と臨床研究、③婦人科：癌化学療法に関する基礎研究、女性排尿障害に関する臨床研究で、多方面にわたる活発な研究活動を行っている。

①周産期に関する基礎研究としては妊娠ヤギを用いた生理的実験モデルを作成し、胎児の発育、循環、感染機構に関して成果を上げている。また、子宮内感染、特に絨毛膜羊膜炎における抗生物質の卵膜移行に関する研究では新しい治療の方向を示した。一絨毛膜性双児一児死亡例での生存児に発生する脳障害に関して膨大なデータでの解析を行った。超音波断層法による単胎、双胎の血流波形曲線を作成し IUGR の評価を検討した。②不妊症では腹腔鏡下超音波断層法による単胎、双胎の血流波形曲線を行った。③婦人科では癌化学療法に関する研究のうち、薬剤感受性に関する研究成果がまとめられつつある。また、中・高年の尿失禁に関する臨床研究が重ねられ成果をあげている。

研究業績

論文

- 1) 明楽重夫, 荒木 勤：〔原著〕産科領域におけるホルモン療法。産婦治療, 64, 845～849, 1992.
- 2) 荒木 勤：〔原著〕高年初産の定義の変更とその理由。日本助産婦会誌, 46, 5～8, 1992.
- 3) 兼子和彦, 米山剛一：〔原著〕母体救急。産婦の実際, 41, 15～19, 1992.
- 4) 進 純郎, 荒木 勤：〔原著〕胎児外科的診療の現状と将来。産婦の実際, 41, 759～766, 1992.
- 5) 窪谷 潔, 松下径広, 三田俊二, 木島一洋, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤：〔原著〕骨盤異形成症候群, 再生不良性貧血合併妊娠の2例。日産婦・新生児血液学会誌, 2, 86～87, 1992.
- 6) 鴨井青龍, 荒木 勤, 鈴木俊治, 兼子和彦：〔原著〕双胎と胎児発育。産婦人科治療, 65, 32～37, 1992.
- 7) 大坪保雄, 窪谷 潔, 三田俊二, 高田秀一, 木島一洋, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤：〔原著〕再発乳癌合併妊娠の1例。日産婦東京会誌, 41, 182～185, 1992.
- 8) 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤：〔原著〕会陰切開の痛みの対策。産婦の実際, 41, 1575～1582, 1992.
- 9) 米山剛一, 荒木 勤：〔原著〕ハイリスク妊娠・分娩と妊産婦死亡—羊水塞栓症—。産婦人科の実際, 41, 2075～2080, 1992.
- 10) 河村 堯, 荒木 勤：〔原著〕Q & A 妊産婦の病気と栄養指導—専門家に聞く—, 1. 肥満。臨牀, 81, 400～407, 1992.
- 11) 河村 堯, 荒木 勤：〔原著〕妊娠時の栄養代謝と消化器・肺・腎機能。周産期医, 22, 66～72, 1992.
- 12) 鴨井青龍, 荒木 勤：〔原著〕経膈操作法による子宮外妊娠の超音波診断のコツ。産婦の実際, 41, 453～458, 1992.
- 13) 可世木久幸, 渡辺美千明, 荒木 勤：〔原著〕腹腔鏡下レーザー治療—子宮内膜症—。産と婦, 59, 533～540, 1992.
- 14) 可世木久幸, 鴨井青龍, 西中健二, 大坪保雄, 木島一洋, 荒木 勤：〔原著〕腹腔鏡用超音波深触子の有用性(産婦人科領域)。Japanese Journal of Medical Ultrasonics, 19 (Suppl II), 317, 1992.
- 15) 可世木久幸：〔原著〕子宮頸管ポリープ。産婦治療, 65, 688～690, 1992.
- 16) Takahashi, H., Cheng, K.M., Araki, T.：〔原著〕The effect of antenatal administration of solcoseryl on hepatic glycogen synthesis in rat fetuses with intrauterine growth retardation. Asia-Oceania Journal of

Obstetrics and Gynaecology. 192, 205~212, 1992.

- 17) 高橋英彦, 窪谷 潔, 松下径広, 三田俊二, 小西英喜, 飯田 啓, 河村 亮, 荒木 勤: 骨髄異形成症候群合併妊娠の1例. 日産婦東京会誌, 41, 1, 1992.
- 18) 角田 隆, 荒木 勤: [総説] 多価不飽和脂肪酸 (polyunsaturated fatty acid: PUFA) 代謝系との関連; 特にエイコサペンタエン酸 (EPA), アラキドン酸 (AA) について (特集: 妊娠中毒症病態論の新しいトレンド). 産婦の世界, 44, (臨時増刊特集22号), 1519~1522, 1992.
- 19) 朝倉啓文, 大屋敦子, 中井章人, 越野立夫, 荒木 勤: [総説] 産科; 妊娠中のレイウスと便秘; その鑑別と対策 (特集: 産婦人科における痛み—鑑別と対策—). 産婦人科の実際, 41(臨時増刊特集22号), 1555~1560, 1992.
- 20) 朝倉啓文, 北川 優, 越野立夫, 荒木 勤: [総説] 臍帯と Variable deceleration (特集: 臍帯). 産婦の実際, 41, 1815~1821, 1992.
- 21) 横田明重, 角田 隆, 荒木 勤: [総説] 喫煙, アルコール, 嗜好品と母乳 (特集: IV 母乳指導をめぐる家族との関わり). NICU (1992年冬季増刊), 142~146, 1992.
- 22) 田中 彰, 磯崎太一, 荒木 勤: [原著] 妊婦の体重についてどう指導するか. 周産期医, 22, 29~33, 1992.

著 書

- 1) 荒木 勤: [分担]前置胎盤. 今日の診断指針(亀山正邦, 亀田治男, 高久史磨, 阿部令彦総集編). P. 1481~1483, 医学書院, 1992.

学会発表

- 1) 小西英喜, 小川秀臣, 飯田 啓, 天神尚子, 高橋英彦, 荒木 勤: [一般講演] MTT 改良法を用いた卵巢癌患者の至適制癌剤の選択. 第44回日本産科婦人科学会総会, 1992.
- 2) 小川博康, 進 純郎, 石川みずえ, 大坪保雄, 窪谷 潔, 河村 亮, 荒木 勤: [一般講演] 絨毛膜羊膜炎および胎児感染予防に対する抗生物質の選択: Desacetyl cefotaxime の卵膜移行の実証とその有効性. 第44回日本産科婦人科学会総会, 1992.
- 3) 角田 隆, 朝倉啓文, 梅沢勝弘, 竹内久美, 林 康子, 横田明重, 越野立夫, 荒木 勤, 小川隆吉¹⁾, 若麻績佳樹²⁾ (¹⁾都立築地産院, ²⁾都立母子保健院): [一般講演] 妊娠中毒症におけるアラキドン酸およびエイコサペンタエン酸の PGI₂, TXA₂産生に与える影響. 第44回日本産科婦人科学会学術講演会, 1992.
- 4) 朝倉啓文, 澤倫太郎, 大屋敦子, 河村 亮, 越野立夫, 荒木 勤, Power, G.G.¹⁾ (¹⁾Loma Linda 大): [一般講演] 酸素供給減少に対する胎児の代謝適応能; ヒツジ胎仔酸素消費量による検討. 第44回日本産科婦人科学会学術講演会, 1992.
- 5) 澤倫太郎, 河村 亮, 朝倉啓文, 田中幸太郎, 木島一洋, Power, G.G.¹⁾, 荒木 勤 (¹⁾Loma Linda 大): [一般講演] 胎仔熱産生制御における胎仔血漿アデノシンの役割; ヒツジ胎仔の birth simulation のモデルを用いて. 第44回日本産科婦人科学会総会, 1992.
- 6) 明楽重夫, 可世木久幸, 荒木 勤, Lin, Y.C.: [一般講演] 過排卵処理による妊孕性低下のメカニズム; E2/ptt の上昇. 第44回日本産科婦人科学会総会, 1992.
- 7) 西島重光, 朝倉啓文, 中井章人, 北川 優¹⁾, 松本二朗¹⁾, 佐々木毅¹⁾, 石原指輔, 越野立夫, 荒木 勤 (¹⁾埼玉・山王クリニック): [ポスター] 経陰超音波断層法による子宮頸管長計測の切迫流産予知に対する有用性の検討. 第44回日本産科婦人科学会総会, 1992.
- 8) 石川みずえ, 進 純郎, 天神尚子, 小川秀臣, 河村 亮, 荒木 勤: [一般講演] 混合型尿失禁に対する塩酸オキシブチニンの有効性に関する検討. 第2回産婦人科排尿障害研究会, 1992.
- 9) 大坪保雄, 木島一洋, 高田秀一, 加藤礼子, 進 純郎, 河村 亮, 荒木 勤: [一般講演] 乳癌術後合併妊娠で肺および脳転移をきたした1例. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.

- 10) 窪谷 潔, 木島一洋, 小西英喜, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕骨髓異形成症候群, 再生不良性貧血合併妊娠の2例. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 11) 中井章人, 朝倉啓文, 大屋敦子, 神戸 仁, 臼井文男, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 山口 静¹⁾(¹⁾山口病院):〔一般講演〕超音波断層法による胎児大腿部組織発育評価の試み. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 12) 臼井文男, 横田明重, 中井章人, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤:〔一般講演〕一児に著明な腹水を認めた双胎; 体内治療が奏効した1例. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 13) 竹内久美, 角田 隆, 梅沢勝弘, 林 康子, 横田明重, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 若麻績佳樹¹⁾(¹⁾都立母子保健院):〔一般講演〕脂質代謝よりみた妊娠悪阻の管理. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 14) 木島一洋, 三田俊二, 外山和秀, 石川みずえ, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕子宮内膜間質肉腫の1例. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 15) 松下径広, 高田秀一, 小川秀臣, 田中幸太郎, 高橋英彦, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕術前に診断しえた子宮平滑筋肉腫の1例. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 16) 石川みずえ, 窪谷 潔, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕腹圧性尿失禁に対する pelvic exercise の有効性の検討. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 17) 山口 暁¹⁾, 朝倉啓文, 三科 潤¹⁾, 小川隆吉¹⁾, 柳田昌彦¹⁾, 織田利光, 越野立夫, 荒木 勤(¹⁾都立築地産院):〔一般講演〕早産未熟児の皮膚温度分布について. 第13回臨床体温研究会, 1992.
- 18) Kaseki, H., Ishikawa, H., Igarashi, I., Toyama, K., Watanabe, M., Ienaga, S., Akira, S., and Araki, T.:〔ポスター〕Intravaginal administration of danazol for endometriosis. 3rd World Congress on Endometriosis (Brussee), 1992.
- 19) 窪谷 潔, 松下径広, 三田俊二, 木島一洋, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕骨髓異形成症候群, 再生不良性貧血合併妊娠の2例. 第2回日本産婦人科・新生児血液学会, 1992.
- 20) 可世木久幸, 大坪保雄, 渡辺美千明, 明楽重夫, 荒木 勤:〔一般講演〕家兎卵管内分泌物の卵管内流速; その理論的解析. 第10回日本受精着床学会, 1992.
- 21) 鈴木俊治¹⁾, 許田マチ子¹⁾, 篠原継男¹⁾, 栗田口康一¹⁾, 竹石芳光¹⁾, 兼子和彦¹⁾, 北澤重孝²⁾, 稲葉 孝³⁾, 唐澤 誠³⁾(¹⁾葛飾赤十字産院産婦人科, ²⁾同小児科, ³⁾同調査部):〔一般講演〕B群溶連菌妊婦スクリーニングからみた母子児相関. 第10回東京母性衛生学会学術集会, 1992.
- 22) 小川博康, 進 純郎, 石川みずえ, 大坪保雄, 窪谷 潔, 河村 堯, 山田 隆, 荒木 勤:〔一般講演〕絨毛膜羊膜炎の予防と治療に対する抗生物質の選択. 第10回日本産婦人科感染症研究会, 1992.
- 23) 窪谷 潔, 木島一洋, 加藤礼子, 田中幸太郎, 天神尚子, 鴨井青龍, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕骨髓異形成症候群, 再生不良性貧血の合併妊娠例. 第28回日本新生児学会総会, 1992.
- 24) 澤倫太郎, 河村 堯, 朝倉啓文, Power, G.G., 荒木 勤:〔一般講演〕ヒッジ胎仔の熱産生制御に関する胎仔血漿アデノシンの役割. 第28回日本新生児学会総会, 1992.
- 25) 小川秀臣, 高田秀一, 三田俊二, 石川みずえ, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤, 兼子和彦, 北澤重孝:〔一般講演〕一絨毛膜双胎一児死亡4例の検討. 第28回日本新生児学会総会, 1992.
- 26) 松下径広, 大坪保雄, 鈴木俊治, 澤倫太郎, 西中健二, 佐々木毅, 進 純郎, 河村 堯, 兼子和彦, 荒木 勤:〔一般講演〕Feto-maternal transfusion syndrome の3症例. 第28回日本新生児学会総会, 1992.
- 27) 朝倉啓文, 織田利光, 山口 暁, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 佐々木毅¹⁾, 松本二郎¹⁾, 北川 優¹⁾(¹⁾山王クリニック):〔一般講演〕娩出直後新生児のサーモグラフィによる観察; 褐色細胞による Nonshivering Thermogenesis 発現過程の検討. 第28回日本新生児学会総会, 1992.
- 28) 山口 暁, 朝倉啓文, 鶴見節子¹⁾, 大森意索¹⁾, 深山紀子¹⁾, 川瀬泰浩¹⁾, 渡辺とよ子¹⁾, 三科 潤¹⁾, 小川隆吉¹⁾,

- 梅沢勝弘, 織田利光¹⁾, 越野立夫, 荒木 勤⁽¹⁾都立築地産院): [一般講演] 早産未熟児の皮膚温度分布の特徴 (第2報). 第28回日本新生児学会総会, 1992.
- 29) 鈴木俊治¹⁾, 許田マチ子¹⁾, 篠原継男¹⁾, 栗田口康一¹⁾, 山田恵三¹⁾, 竹石芳光¹⁾, 北澤重孝²⁾, 保科 清³⁾(¹⁾葛飾赤十字産院産婦人科, ²⁾同小児科, ³⁾東京通信病院): [一般講演] GBS 妊婦スクリーニングからみた母児相関. 第28回日本新生児学会総会, 1992.
- 30) 可世木久幸, 木島一洋, 西中健二, 小川秀臣, 鴨井青龍, 荒木 勤: [一般講演] 腹腔鏡下超音波検査法; その開発, 改良と応用. 第32回日本産婦人科内視鏡学会, 1992.
- 31) 澤倫太郎, 三田俊二, 松下径広, 窪谷 潔, 進 純郎, 河村 亮, 荒木 勤: [ポスター] 常位胎盤早期剥離40症例における臨床的検討. 第13回日本妊娠中毒症研究会, 1992.
- 32) 家永 聡, 荒木 勤, 神田佳和, 島田 隆: [一般講演] 妊娠末期ラット胎仔肝 glycogen 生成に於ける glycerol からの糖新生の関与. 第16回日本産科婦人科栄養・代謝研究会, 1992.
- 33) 朝倉啓文, 澤倫太郎, 織田利光, 山口 暁, 河村 亮, 越野立夫, 荒木 勤, Power, G.G.¹⁾ (¹⁾Loma Linda 大学): [一般講演] 出生直後新生児の非震性熱産生発現に対する adenosine の影響. 第16回日本産科婦人科栄養・代謝研究会, 1992.
- 34) 竹内久美, 角田 隆, 神戸 仁, 市川真仁, 梅沢勝弘, 林 康子, 露木佳子, 横田明重, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 小川隆吉¹⁾ (¹⁾都立築地産院): [一般講演] 脂質代謝よりみた妊娠悪阻の管理. 第16回日本産科婦人科栄養・代謝研究会, 1992.
- 35) 鈴木俊治¹⁾, 許田マチ子¹⁾, 篠原継男¹⁾, 栗田口康一¹⁾, 山田恵三¹⁾, 竹石芳光¹⁾, 北澤重孝²⁾, 兼子和彦¹⁾(¹⁾葛飾赤十字産院産婦人科, ²⁾同小児科, ³⁾東京通信病院): [一般講演] GBS 保菌の母児相関. 第27回日本赤十字社医学会総会, 1992.
- 36) 荒木 勤: [特別講演] 母体死亡の症例から学ぶ. 日本産科婦人科学会岡山地方部会第333回例会, 1992.
- 37) Araki, T.: [特別講演] Antepartum management of IUGR in twin gestation. International Conference on Recent Advances in Perinatology (Indonesia), 1992.
- 38) 荒木 勤: [特別講演] 女性の尿失禁. 平成4年度岐阜県医師会優性保護法指定医研修会, 1992.
- 39) 米山剛一: [海外留学者講演] In situ hybridization 法によるヒト気管支上皮におけるインターロイキン8 遺伝子発現の局在に関する検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 40) 荒木 勤: [特別講演] The twin; 今, 何が問題か. 第6回周産期問題研究会, 1992.
- 41) 高田秀一, 松下径広, 木島一洋, 窪谷 潔, 田中幸太郎, 澤倫太郎, 河村 亮, 荒木 勤, 朝倉啓文: [一般講演] 胎児仮死における血中エンドセリンの動態; 生理的実験モデルを用いて. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 42) 武内 務, 窪谷 潔, 田中幸太郎, 天神尚子, 鴨井青龍, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 亮, 荒木 勤: [ポスター] 骨髄異形成症候群の合併妊娠例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 43) 松下径広, 大坪保雄, 鈴木俊治, 澤倫太郎, 進 純郎, 河村 亮, 荒木 勤, 兼子和彦, 佐々木毅: [ポスター] Fetomaternal transfusion syndrome の出生前診断; 自験例を中心に. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 44) 瑪依努爾, 進 純郎, 高橋英彦, 岩崎卓爾, 鴨井青龍, 河村 亮, 荒木 勤: [ポスター] 羊水指数 (amniotic fluid index) の妊娠週数に伴う変化とその臨床上的有用性. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 45) 萩谷奈津子, 小川秀臣, 高田秀一, 三田俊二, 石川みづえ, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 亮, 荒木 勤, 兼子和彦: [ポスター] 一絨毛膜双胎一児死亡の取り扱い方. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 46) 窪谷 潔, 萩谷奈津子, 外山和秀, 鴨井青龍, 進 純郎, 河村 亮, 荒木 勤: [一般講演] 胎盤胎児面に巨大嚢胞を形成した胎盤血腫の1例. 第283回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1992.
- 47) 三田俊二, 萩谷奈津子, 小川秀臣, 松下径広, 高橋英彦, 河村 亮, 荒木 勤: 術前組織検査にて診断しえた子宮平滑筋肉腫. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 48) 都甲明子, 木島一洋, 三田俊二, 外山和秀, 石川みづえ, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 亮, 荒木 勤: [ポスター]

最近経験した子宮内膜間質肉腫の症例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

- 49) 石川みずえ, 武内 努, 都甲明子, 窪谷 潔, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔ポスター〕腹圧性尿失禁に対する pelvic floor exercise (骨盤底筋訓練法)の有用性. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 50) 五十嵐俊夫, 荒木 勤:〔ワークショップ〕ラット子宮内膜の発情周期に伴う超微形態. 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.
- 51) 外山和秀, ミランガ・ムワナタンブエ, 荒木 勤, 土居大祐, 会田邦晴, 中澤南堂, 浅野伍朗:〔一般講演〕新規樹立のヒト子宮中分化内膜型腺癌細胞の性状と細胞外基質との相互作用. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 52) 太田雄治郎, 安東春美¹⁾, 菊地慶司¹⁾, 岡島弘幸²⁾, 安本 茂¹⁾(¹⁾神奈川がんセンター婦人科, ²⁾同研, 分子腫瘍):〔示説〕ヒト子宮頸部非癌部上皮細胞からの不死化細胞株の樹立. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 53) Nishijima, S., Nakai, A., Koshino, T., Asakura, H., Matsumoto, J.¹⁾, Sasaki, T.¹⁾, Ishihara, K., Koshino, T., and Araki, T. (¹⁾Sannou Clinic, Saitama):〔ポスター〕Using transvaginal ultrasonographic measurement of the cervical to estimate prognosis of premature labor and preterm delivery. The 3rd Congress of Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology (Korea, Seoul), 1992.
- 54) Nakai, A., Nishijima, S., Asakura, H., Ohya, A., Kobe, H., Usui, F., Koshino, T., Araki, T., and Yamaguchi, S.¹⁾ (¹⁾Yamaguchi Hospital Chiba):〔ポスター〕Evaluation of fetal growth by measurement of fetal thigh. The 3rd Congress of Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology (Korea, Seoul), 1992.
- 55) 鈴木俊治¹⁾, 許田マチ子¹⁾, 篠原継男¹⁾, 栗田口康一¹⁾, 竹石芳光¹⁾, 兼子和彦¹⁾, 鴨井青龍, 進 純郎, 荒木 勤(¹⁾葛飾赤十字産院):〔一般講演〕双胎児臍帯動脈血流波形の検討. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 56) 窪谷 潔, 萩谷奈津子, 小川秀臣, 三田俊二, 鴨井青龍, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕Epilepsy 合併妊婦の管理:自験例を中心に. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 57) 三田俊二, 都甲明子, 小川秀臣, 小西英喜, 天神尚子, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕当科における BOAI 法による治療の試み. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 58) 荒木 勤:〔シンポジウム〕胎児治療の現況と未来. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 59) 小川秀臣, 高田秀一, 石川みずえ, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤, 兼子和彦, 北澤重孝:〔一般講演〕一絨毛膜双胎一児死亡5例の検討. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 60) 高田秀一, 松下径広, 木島一洋, 窪谷 潔, 田中幸太郎, 澤倫太郎, 朝倉啓文, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕実験的急性胎児仮死モデルにおける血中エンドセリンの動態. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 61) 田中幸太郎, 武内 努, 石川みずえ, 林 瑞成, 岩崎卓爾, 鴨井青龍, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕Potter 症候群;その出生前診断. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 62) 織田利光, 朝倉啓文, 大屋敦子, 林 康子, 臼井文男, 山口 稔, 市川真仁, 横田明重, 越野立夫, 荒木 勤:〔一般講演〕経陰超音波報による卵巣腫瘍スコアリング・システムの検討. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 63) 中井章人, 朝倉啓文, 大屋敦子, 神戸 仁, 横田明重, 林 康子, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 山口 静¹⁾ (¹⁾山口病院):〔ポスター〕妊婦エアロビクスによる母体, 胎児の血行動態変化に関する検討(第2報);運動後の経時的変化を中心に. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 64) 林 康子, 中井章人, 臼井文男, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤:〔ポスター〕胎児腎腫瘍に起因した羊水過多症の1例. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 65) 西島重光, 朝倉啓文, 中井章人, 織田利光, 北川 優¹⁾, 松本二郎¹⁾, 佐々木毅¹⁾, 石原楷輔, 越野立夫, 荒木 勤(¹⁾山王クリニック):〔ポスター〕経陰超音波断層法にて計測した子宮頸管長による切迫早産の予後判定. 第84

回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.

- 66) 楊 玉英, 佐々木茂, 石川博臣, 田中純也, 田中 彰, 木島一洋, 家永 聡, 磯崎太一, 諏訪喜宣, 荒木 勤: [一般講演] カラードップラー法を用いたハイリスク妊娠の胎児腎血流動態の一考察. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 67) 木島一洋, 佐々木茂, 磯崎太一, 田中 彰, 田中純也, 家永 聡, 楊 玉英, 諏訪喜宣, 荒木 勤: [一般講演] 二分脊椎症婦人の妊娠及び分娩の1症例. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 68) 田中純也, 佐々木茂, 石川博臣, 林 端成, 田中 彰, 木島一洋, 楊 玉英, 磯崎太一, 諏訪喜宣, 荒木 勤: [一般講演] 母体の心停止後に生児を得た羊水塞栓症の1例. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 69) 磯崎太一, 佐々木茂, 諏訪喜宣, 田中純也, 家永 聡, 木島一洋, 楊 玉英, 田中 彰, 荒木 勤: [一般講演] 羊水穿刺にて妊娠早期による子宮内感染を診断し, 生児を得た1症例. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 70) 窪谷 潔, 木島一洋, 松下径広, 三田俊二, 鴨井青龍, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 妊婦血および胎児血 Co-Hb 濃度と胎児発育; 喫煙妊婦および非喫煙妊婦において. 第33回日本母性衛生学会総会, 1992.
- 71) 竹内久美, 角田 隆, 梅沢勝弘, 林 康子, 露木佳子, 横田明重, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 小川隆吉¹⁾ (都立築地産院): [一般講演] 妊娠悪阻と脂質代謝. 第33回日本母性衛生学会総会, 1992.
- 72) 神戸 仁, 織田利光, 横田明重, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤: [一般講演] 筋緊張性ジストロフィー合併妊娠の1例. 第33回日本母性衛生学会総会, 1992.
- 73) 吉満恵一, 笠原孝之, 竹下俊行, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤: [一般講演] 典型的な経過を辿った HELLP 症候群の1例. 第33回日本母性衛生学会総会, 1992.
- 74) Tanaka, T., Kijima, K., Matsushita, M., Kamoi, S., Shin, S., Kawamura, T., and Araki, T.: [ポスター] Cuntental diagnosis of potter's syndrome. VII Congress of The Federation of Asia-Oceania Perinatal Societies (Bangkok), 1992.
- 75) Araki, T.: [シンポジウム] Nutritional effect in perinatal health: Fetal response to glucose and maltose loading. VII Congress of The Federation of Asia-Oceania Perinatal Societies (Bangkok), 1992.
- 76) Kijima, K., Matsushita, M., Takada, H., Kubonoya, K., Tanaka, K., Sawa, R., Asakura, H., Satoh, K., Kawamura, T., and Araki, T.: [一般講演] Changes of endotheline during fetal hypoxia. VII Congress of The Federation of Asia-Oceania Perinatal Societies (Bangkok), 1992.
- 77) Nishijima, S., Tsunoda, Y., Nakai, A., Asakura, H., Oda, T., Ishihara, K., Koshino, T., and Araki, T.: [ポスター] Transvaginal ultrasonographic measurement of cervical length to predict deliverly. VII Congress of The Federation of Asia-Oceania Perinatal Societies (Bangkok), 1992.
- 78) Araki, T.: [招請講演] The twin pregnancy; Recent advances in its management. The 3rd Korean-Japanese Joint Conference of Obstetrics and Gynecology (Seoul), 1992.
- 79) 荒木 勤: [シンポジウム] 産婦人科医師と医療のあり方; 病診連携. 第19回日母大会, 1992.
- 80) 小川秀臣, 可世木久幸, 大坪保雄, 石川みずえ, 高橋英彦, 荒木 勤: [一般講演] 原発性無月経に対する腹腔鏡下超音波検査の意義. 第37回日本不妊学会, 1992.
- 81) 五十嵐俊夫, 可世木久幸, 荒木 勤, 佐藤 茂, 相原 薫: [一般講演] ラット子宮内膜の再生と巨大ライソゾームとの関係. 第37回日本不妊学会, 1992.
- 82) 可世木久幸, 荒木 勤: [一般講演] 子宮内膜症に対するダナゾール腔内投与療法第3報. 第37回日本不妊学会, 1992.
- 83) 可世木久幸, 鴨井青龍, 西中健二, 大坪保雄, 木島一洋, 荒木 勤: [一般講演] 腹腔鏡用超音波深触子の有用性 (婦人科領域). 日本超音波医学会第61回研究発表会, 1992.

- 84) 竹内久美, 角田 隆, 横田明重, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤: [一般講演] 妊娠悪阻の代謝における病態像について. 第14回日本臨床栄養学会総会, 1992.
- 85) 三田俊二, 天神尚子, 高田秀一, 鴨井青龍, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 亮, 荒木 勤: [一般講演] 外傷性外陰血腫2症例の検討. 第284回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1992.
- 86) Hayashi, Y., Nakai, A., Yokota, A., Yoshimitsu, K., Koshino, T., Araki, T., and Shimizu, K.¹⁾ (¹⁾Nippon Medical School, Department of Surgery): [ポスター] Neonatal hyperthyroidism delivered from the patient with graves' disease remaining high TSH receptor antibody. 6th Asia-Pacific Endocrine Conference (Honolulu, Hawaii), 1993.
- 87) 松下径広, 進 純郎, 河村 亮, 荒木 勤: [一般講演] 会陰正中切開の安全な方法に関する検討; 会陰正中三段切開法の利点. 第15回日本産婦人科手術学会, 1993.
- 88) 河村 亮: [教育講演] 子宮内膜症. 葛飾区産婦人科医会・江戸川区産婦人科医会集談会, 1993.

[第一病院産婦人科]

研究概要

当教室では周産期の基礎的, 臨床的研究を中心に研究, 学会報告を行った.

動物実験による基礎的研究としては, 1) 妊娠中毒症ラットの胎仔血清, 肝, 脳, 血小板などにおける多価不飽和脂肪酸(PUFA)の動態に関する研究.

2) 羊慢性生理的実験モデルを作製し, それによる胎児熱産生に関する研究を中心に行い, 学会でも注目を集める発表をした.

周産期における臨床的研究面では, 1) 妊娠とスポーツ, 特に妊婦水泳, 妊婦のエアロビクス(マタニティービクス)の母体および胎児に対する安全性に関する研究. 母体の運動による胎児の受けるストレスの評価(超音波ドップラーを用いた血行動態面からの検討).

2) 経腔超音波断層法による子宮頸管長の測定に基づく切迫早産, 早産の予知に関する研究.

3) 妊娠中毒症例における腎機能の評価などが主なものである.

周産期以外では, 脂質代謝から見た重症妊娠悪阻の管理法に関する研究, また, 腹腔鏡による卵巢悪性腫瘍に対する化学療法の効果判定や, 不妊・不育症に対する新しい治療法の臨床応用(子宮鏡下卵管内人工受精法, 免疫療法)に関する研究など, 高度先進医療の導入に関する研究も積極的に行った.

その他当科で経験した珍しい症例に関しては十分検討の上, 文献的考察を加え学会, 研究会で発表した.

研究業績

論文

- 1) 横田明重, 臼井文男, 林 康子, 織田利光, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫: [原著] 子宮筋腫合併妊娠における妊娠中絶後の難治性感染. 日産婦東京地方会誌, 41, 221~224, 1992.
- 2) 仲沢経夫¹⁾, 竹内理恵¹⁾, 太田雄治郎¹⁾, 加藤久盛¹⁾, 斉藤千草¹⁾, 中山裕樹¹⁾, 岡島弘幸¹⁾ (¹⁾神奈川県立がんセンター): [原著] 高度老人性萎縮のため診断が難しかった頸癌と体癌の2例. 日産婦神奈川地方会誌, 29, 82~85, 1992.
- 3) 中山裕樹¹⁾, 太田雄治郎¹⁾, 仲沢経夫¹⁾, 加藤久盛¹⁾, 斉藤千草¹⁾, 岡島弘幸¹⁾ (¹⁾神奈川県立がんセンター): [原著] 子宮頸部初期病変に対するレーザー蒸散法の臨床的検討. 日産婦神奈川地方会誌, 29, 107~111, 1992.
- 4) 角田 隆, 荒木 勤: [総説] 多価不飽和脂肪酸(polyunsaturated fatty acid: PUFA)代謝系との関連: 特にエイコサペンタエン酸(EPA), アラキドン酸(AA)について(特集: 妊娠中毒症病態論の新しいトレンド). 産婦の世界, 44, 663~669, 1992.

- 5) 竹内久美¹⁾, 若麻績佳樹¹⁾ (¹⁾都立母子保健院産婦人科): [総説] 産科; 妊娠中にみられる静脈瘤 (特集: 産婦人科における痛み—鑑別と対策—). 産婦の実際, 41(臨時増刊特集22号), 1519~1522, 1992.
- 6) 朝倉啓文, 大屋敦子, 中井章人, 越野立夫, 荒木 勤: [総説] 産科; 妊娠中のイレウスと便秘; その鑑別と対策 (特集: 産婦人科における痛み—鑑別と対策—). 産婦の実際, 41(臨時増刊特集22号), 1555~1560, 1992.
- 7) 小川隆吉¹⁾, 山口 暁¹⁾ (¹⁾都立築地産院): [総説] 産科; 帝王切開後の疼痛対策 (特集: 産婦人科における痛み—鑑別と対策—). 産婦の実際, 41(臨時増刊特集22号), 1583~1586, 1992.
- 8) 大屋敦子, 朝倉啓文, 林 康子, 山口 稔, 市川真仁, 臼井文男, 横田明重, 中井章人, 西島重光, 角田隆, 越野立夫: [原著] 卵巣腫瘍の超音波診断におけるスコアリングの意義. 日産婦東京地方会誌, 41, 320~324, 1992.
- 9) 臼井文男¹⁾, 亀山信彦¹⁾, 濱野尚和¹⁾, 池田照子¹⁾ (¹⁾下館市民病院): [原著] 死胎児症候群の1例. 茨城県母性衛生学会誌, 12号, 20~22, 1992.
- 10) 朝倉啓文, 北川 優, 越野立夫, 荒木 勤: [総説] 臍帯と Variable deceleration (特集: 臍帯). 産婦の実際, 41, 1815~1821, 1992.
- 11) 越野立夫: [総説] 妊婦水泳教室における問題点 (特集: 妊婦とスポーツ). 臨床スポーツ医学, 9, 1342~1345, 1992.
- 12) 横田明重, 角田 隆, 荒木 勤: [総説] 喫煙, アルコール, 嗜好品と母乳 (特集: IV母乳指導をめぐる家族との関わり). NICU, 1992年冬季増刊, 142~146, 1992.
- 13) 神戸 仁, 織田利光, 横田明重, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫, 山口 暁¹⁾, 三科 潤¹⁾ (¹⁾都立築地産院小児科): [原著] 妊娠中に肺炎を発症し, 筋緊張性ジストロフィーと診断された1例. 日産婦東京地方会誌, 41, 452~455, 1992.
- 14) 横田明重: [原著] ラット胎仔および新生仔の脳における多価不飽和脂肪酸組成と学習能力との関係. 日産婦誌, 45, 15~22, 1993.
- 15) 小川隆吉¹⁾, 山口 暁¹⁾ (¹⁾都立築地産院産婦人科): [総説] 肩甲上肢解出法 (特集: Breech presentation (骨盤位)). 産婦の実際, 42, 393~397, 1993.
- 16) 竹内久美, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫: [原著] 妊娠の悪阻の病態とその管理. 日産婦東京地方会誌, 42, 21~25, 1993.

学会発表

- 1) 角田 隆, 朝倉啓文, 梅沢勝弘, 竹内久美, 林 康子, 横田明重, 越野立夫, 荒木 勤, 小川隆吉¹⁾, 若麻績佳樹²⁾ (¹⁾都立築地産院, ²⁾都立母子保健院): [一般講演] 妊娠中毒症におけるアラキドン酸およびエイコサペンタエン酸の PGI₂, TXA₂ 産生に与える影響. 第44回日本産科婦人科学会学術講演会, 1992.
- 2) 朝倉啓文, 澤倫太郎, 大屋敦子, 河村 亮, 越野立夫, 荒木 勤, Power, G.G.¹⁾ (¹⁾Loma Linda 大): [一般講演] 酸素供給減少に対する胎児の代謝的適応能; ヒッジ胎仔酸素消費量による検討. 第44回日本産科婦人科学会学術講演会, 1992.
- 3) 澤倫太郎, 河村 亮, 朝倉啓文, 田中幸太郎, 木島一洋, Power, G.G.¹⁾, 荒木 勤 (¹⁾Loma Linda 大): [一般講演] 胎仔熱産生制御における胎仔血漿アデノシンの役割; ヒッジ胎仔の birth simulation モデルを用いて. 第44回日本産科婦人科学会学術講演会, 1992.
- 4) 西島重光, 朝倉啓文, 中井章人, 北川 優¹⁾, 松本二郎¹⁾, 佐々木毅¹⁾, 石原指輔, 越野立夫, 荒木 勤 (¹⁾埼玉・山王クリニック): [ポスター] 経腔超音波断層法による子宮頸管長計測の切迫流早産予知に対する有用性の検討. 第44回日本産科婦人科学会学術講演会, 1992.
- 5) 大屋敦子, 山口 稔, 林 康子, 市川真仁, 臼井文男, 横田明重, 中井章人, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫: [一般講演] 卵巣腫瘍の超音波診断における scoring の意義. 第282回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1992.

- 6) 臼井文男¹⁾, 亀山信彦¹⁾, 濱野尚和¹⁾, 池田照子¹⁾ (¹⁾下館市民病院): [一般講演] 死胎児症候群の1例. 第12回茨城県母性衛生学会総会, 1992.
- 7) 中井章人, 朝倉啓文, 大屋敦子, 神戸 仁, 臼井文男, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 山口 静¹⁾ (¹⁾山口病院): [一般講演] 超音波断層法による胎児大腿部軟部組織発育評価の試み. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 8) 臼井文男, 横田明重, 中井章人, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤: [一般講演] 一児に著明な腹水を認めた双胎; 体内治療が奏効した1例. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 9) 竹内久美, 角田 隆, 梅沢勝弘, 林 康子, 横田明重, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 若麻績佳樹¹⁾ (¹⁾都立母子保健院): [一般講演] 脂質代謝よりみた妊娠悪阻の管理. 第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 10) 中野 博¹⁾, 内山明美¹⁾, 秋丸琥甫¹⁾, 中井章人²⁾, 新宅孝征³⁾, 永積 惇³⁾ (¹⁾第一病院血液センター, ²⁾同産婦人科, ³⁾同中央検査室): [一般講演] 低力価抗D抗体によって引き起こした重症 RhO (D) 不適合妊娠の1症例. 第40回日本輸液学会, 1992.
- 11) 山口 暁¹⁾, 朝倉啓文, 三科 潤¹⁾, 小川隆吉¹⁾, 柳田昌彦¹⁾, 織田利光, 越野立夫, 荒木 勤 (¹⁾都立築地産院): [一般講演] 早産未熟児の皮膚温分布について. 第13回臨床体温研究会, 1992.
- 12) 朝倉啓文, 織田利光, 山口 暁, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 佐々木毅¹⁾, 松本二郎¹⁾, 北川 優¹⁾ (双鵬会山王クリニック): [一般講演] 娩出直後新生児のサーモグラフィーによる観察; 褐色脂肪による Nonshivering Thermogenesis 発現過程の検討. 第28回日本新生児学会総会, 1992.
- 13) 山口 暁¹⁾, 朝倉啓文, 鶴見節子¹⁾, 大森意索¹⁾, 深山紀子¹⁾, 川瀬泰浩¹⁾, 渡辺とよ子¹⁾, 三科 潤¹⁾, 小川隆吉¹⁾, 梅沢勝弘, 織田利光, 越野立夫, 荒木 勤 (¹⁾都立築地産院): [一般講演] 早産未熟児の皮膚温度分布の特徴 (第2報). 第28回日本新生児学会総会, 1992.
- 14) 福田 功¹⁾, 市川真仁¹⁾, 大塚 茂¹⁾ (¹⁾北村山公立病院): [一般講演] 前置胎盤に対する自己輸血の試み. 第36回山形県産婦人科集談会, 1992.
- 15) 角田 隆: [シンポジウム] 妊娠と多価不飽和脂肪酸の関連について (妊娠と脂質代謝). 第16回日本産科婦人科栄養・代謝研究会, 1992.
- 16) 朝倉啓文, 澤倫太郎, 織田利光, 山口 暁, 河村 堯, 越野立夫, 荒木 勤, Power, G.G.¹⁾ (¹⁾Loma Linda 大): [一般講演] 出生直後新生児の非震性熱産生発現に対する adenosine の影響. 第16回日本産科婦人科栄養・代謝研究会, 1992.
- 17) 竹内久美, 角田 隆, 神戸 仁, 市川真仁, 梅沢勝弘, 林 康子, 露木佳子, 横田明重, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 小川隆吉¹⁾ (¹⁾都立築地産院): [一般講演] 脂質代謝よりみた妊娠悪阻の管理. 第16回日本産科婦人科栄養・代謝研究会, 1992.
- 18) 加藤久盛¹⁾, 太田雄治郎¹⁾, 西中健二¹⁾, 仲沢経夫¹⁾, 齊藤千草¹⁾, 中山裕樹¹⁾, 岡島弘幸¹⁾, 岩撫成子¹⁾, 中村満美子¹⁾, 吉田 力¹⁾, 亀田陽一¹⁾, 飯田萬一¹⁾ (¹⁾神奈川県立がんセンター): [一般講演] 子宮体部原発の神経分泌顆粒陽性腫瘍の1例. 第11回日本臨床細胞学会神奈川県支部地方会学術集会, 1992.
- 19) 神戸 仁, 織田利光, 横田明重, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫: [一般講演] 妊娠35週に急性膵炎を発症し, 筋緊張性ジストロフィーと診断された1例. 第283回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1992.
- 20) 林 康子, 角田 隆, 神戸 仁, 横田明重, 露木佳子, 越野立夫: [一般講演] 妊娠週数に伴う多価不飽和脂肪酸変化について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 21) 横田明重, 山口 稔, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫: [ポスター] 当科における laparoscopy による悪性卵巣腫瘍の術後 follow-up. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 22) 竹下俊行, 角田 隆, 横田明重, 朝倉啓文, 田野俊平, 越野立夫: [ポスター] 子宮鏡下卵管内人工授精法 (HIT) による妊娠例の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

- 23) 中井章人, 林 康子, 吉満恵一, 西島重光, 朝倉啓文, 越野立夫:〔ポスター〕インドメタシン療法が有用であった胎児腎腫瘍に起因した羊水過多の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 24) 高田秀一¹⁾, 松下径広¹⁾, 木島一洋¹⁾, 窪谷 潔¹⁾, 田中幸太郎¹⁾, 澤倫太郎¹⁾, 河村 堯¹⁾, 荒木 勤, 朝倉啓文¹⁾ (付属病院産婦人科):〔一般講演〕胎児仮死における血中エンドセリンの動態;生理的実験モデルを用いて. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 25) 佐藤春明¹⁾, 早澤久美¹⁾, 仲原昌子¹⁾, 村瀬幸宏¹⁾, 大塚俊司¹⁾, 山田宣孝¹⁾, 河合尚基, 越野立夫¹⁾ (第一病院病理部):〔ポスター〕子宮頸部境界病変の細胞学的診断について(第2報);組織診断におけるHPV感染とdysplasiaの検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 26) 山口 稔¹⁾, 小池敏正¹⁾, 宮内裕光¹⁾, 石川博臣¹⁾ (¹⁾下都賀総合病院):〔一般講演〕診断に苦慮した不全子宮内反症の1例. 第36回日本産科婦人科学会栃木地方部会, 1992.
- 27) Nishijima, S., Nakai, A., Asakura, H., Matsumoto, J.¹⁾, Sasaki, T.¹⁾, Ishihara, K., Koshino, T., and Araki, T. (¹⁾Sannou Clinic, Saitama):〔ポスター〕Using transvaginal ultrasonographic measurement of the cervical to estimate prognosis of premature labor and preterm delivery. The 3rd Congress of Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology (Korea, Seoul), 1992.
- 28) Nakai, A., Nishijima, S., Asakura, H., Ohya, A., Kobe, H., Usui, F., Koshino, T., Araki, T., and Yamaguchi, S.¹⁾ (¹⁾Yamaguchi Hospital Chiba):〔ポスター〕Evaluation of fetal growth by measurement of fetal thigh. The 3rd Congress of Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology (Korea, Seoul), 1992.
- 29) 織田利光, 朝倉啓文, 大屋敦子, 林 康子, 臼井文男, 山口 稔, 市川真仁, 横田明重, 越野立夫, 荒木 勤:〔一般講演〕経腔超音波法による卵巣腫瘍スコアリング・システムの検討. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 30) 高田秀一, 松下径広, 木島一洋, 窪谷 潔, 田中幸太郎, 澤倫太郎, 朝倉啓文, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕実験的急性胎児死亡モデルにおける血中エンドセリンの動態. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 31) 中井章人, 朝倉啓文, 大屋敦子, 神戸 仁, 横田明重, 林 康子, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 山口 静¹⁾ (¹⁾山口病院):〔ポスター〕妊婦エアロビクスによる母体, 胎児の血行動態変化に関する検討(第2報);運動後の経時的変化を中心に. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 32) 林 康子, 中井章人, 臼井文男, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤:〔ポスター〕胎児腎腫瘍に起因した羊水過多症の1例. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 33) 西島重光, 朝倉啓文, 中井章人, 織田利光, 北川 優¹⁾, 松本二郎¹⁾, 佐々木毅¹⁾, 石原楷輔, 越野立夫, 荒木 勤 (¹⁾山王クリニック):〔ポスター〕経腔超音波断層法にて計測した子宮頸管長による切迫早産の予後判定. 第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1992.
- 34) 竹内久美, 角田 隆, 梅沢勝弘, 林 康子, 露木佳子, 横田明重, 西島重光, 越野立夫, 荒木 勤, 小川隆吉¹⁾ (¹⁾都立築地産院):〔一般講演〕妊娠悪阻と脂質代謝. 第33回日本母性衛生学会総会, 1992.
- 35) 神戸 仁, 織田利光, 横田明重, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤:〔一般講演〕筋緊張性ジストロフィー合併妊娠の1例. 第33回日本母性衛生学会総会, 1992.
- 36) 吉満恵一, 笠原孝之, 竹下俊行, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤:〔一般講演〕典型的な経過を辿ったHELLP症候群の1例. 第33回日本母性衛生学会総会, 1992.
- 37) Nishijima, S., Tsunoda, Y., Nakai, A., Asakura, H., Oda, T., Ishihara, K., Koshino, T., and Araki, T.:〔ポスター〕Transvaginal ultrasonographic measurement of cervical length to predict delivery. 7th Congress of the Federation of the Asia-Oceania Perinatal Societies (Bangkok) 1992.
- 38) 竹下俊行, 高橋秀実¹⁾, 越野立夫, Kozlowsky, S.²⁾, Margulies, D.H.²⁾, Berzofsky, J.A.²⁾ (¹⁾微生物・免疫, ²⁾

米国国立衛生研)：〔一般講演〕外因性 β_2 microglobulin の添加によって促進されるペプチドと class I MHC 分子との結合。第22回日本免疫学会，1992。

- 39) 竹内久美，角田 隆，横田明重，朝倉啓文，越野立夫，荒木 勤：〔一般講演〕妊娠悪阻の代謝における病態像について。第14回日本臨床栄養学会総会，1992。
- 40) 中山裕樹¹⁾，仲沢経夫¹⁾，西中健二¹⁾，加藤久盛¹⁾，岡島弘幸¹⁾，中村満美子¹⁾，岩撫成子¹⁾，吉田 力¹⁾(¹⁾神奈川県立がんセンター)：〔ポスター〕内膜細胞診器具挿入が困難な症例に対するディキヤスの使用経験。第31回日本臨床細胞学会秋期大会学術集会，1992。
- 41) 竹内久美，角田 隆，林 康子，露木佳子，横田明重，西島重光，朝倉啓文，越野立夫：〔一般講演〕妊娠悪阻の治療と脂質代謝について。第284回日本産科婦人科学会東京地方部会例会，1992。
- 42) Hayashi, Y., Nakai, A., Yokota, A., Yoshimitsu, K., Koshino, T., Araki, T., Shimizu, K.¹⁾, and Shibuya, T.¹⁾ (¹⁾Department of Surgery)：〔ポスター〕Neonatal hyperthyroidism delivered from the patient with graves' disease remaining high TSH receptor antibody. 6th Asia-Pacific Endocrine Conference (Honolulu, Hawaii), 1993。
- 43) 中井章人，横田明重，露木佳子，織田利光，河合尚基，越野立夫，益田律子¹⁾，横山和子¹⁾(¹⁾麻酔科)：〔一般講演〕婦人科領域の術後管理における硬膜外持続注入法の有用性。第6回東母・日産婦東京地方部会合同研修会並びに第285回日本産科婦人科学会東京地方部会例会，1993。
- 44) 神戸 仁，露木佳子，竹下俊行，朝倉啓文，越野立夫，山口 静¹⁾(¹⁾山口病院)：〔一般講演〕妊娠後期における抗クラミジア抗体価の測定。日本医科大学医学会第79回例会，1993。
- 45) 山口 稔，中井章人，朝倉啓文，越野立夫：〔一般講演〕妊婦エアロビクスの妊娠・分娩に対する影響について。第97回日本体力医学会関東地方会・第7回女性スポーツ医学研究会，1993。
- 46) 中井章人，朝倉啓文，山口 稔，越野立夫：〔一般講演〕妊婦スポーツにおける胎児ストレスの評価；母児の血行動態の検討から。第97回日本体力医学会関東地方会・第7回女性スポーツ医学研究会，1993。
- 47) 亀山信彦：〔一般講演〕婦人科におけるクラミジア感染症について。第11回下館市民病院臨床研究会，1993。

〔第二病院産婦人科〕

研究概要

本年度の業績は主として，経腔超音波診断，子宮峡部と頸管に関する問題，子宮収縮や母体の骨盤も含めて妊娠や分娩に関するもの，悪性腫瘍，その他に5大別することが可能である。経腔超音波法を使用して，早期胎嚢の検出場所とその時期の臨床的意義を明確にした。また，非侵襲的である本法を応用することにより，子宮の内膜由来の不妊症患者の抽出法と治療法を確立した。また，従来ごく一部の例外的症例を除いては子宮を全摘出する以外に方法のなかった頸管妊娠の治療を，エタノール胎嚢内注入とメソトレキセートの併用により，非手術的に処理することに成功したのは画期的なことであった。近年社会的に老人人口の増加に伴って骨粗鬆症が注目されているが，女性にとっては妊娠の問題があり，妊娠中のカルシウムの摂取量と母体の骨量の関係については不明であったが，妊娠中にカルシウムの摂取を十分に行うならば，母体の骨量は減少することはないことを今回証明したが，妊娠中にメチオニンを過剰に摂取することは，カルシウムの代謝に悪影響を及ぼすことが判明した。分娩の3要素の1つである骨産道の問題については，従来の人口面法と側面法の2枚の骨盤撮影法に代って人口面だけの撮影で，X線爆射量を減少させる方法を確立した。AIDSの問題に関しては現在では人権問題と密接に関連しているために医療従事者としては医療面以外にもその取り扱いに困難を感じることが多い。今年度，我々はこの問題について医療従事者を対象として，その意識調査を行い本第二病院の医療従事者としては，どのような意識を有しており，今後どのように対応すべきであるかの問題点を明らかにしたが，この問題は今後経年的に追及して行く必要がある。

研究業績

論文

- 1) 石原楷輔, 江川正弥, 小西公麿, 木下叶一, 田口正男, 菊池三郎, 石川清博¹⁾ (¹⁾石川病院): [原著] 胎嚢内エタノール注入法が有効であった頸管妊娠の1例. 日産婦誌, 44, 1579~1582, 1992.
- 2) 石原楷輔: [原著] 骨盤位の原因と頻度. 産婦人科の実際, 42, 319~322, 1993.
- 3) 石原楷輔, 江川正弥, 田口正男, 菊池三郎, 石川清博¹⁾ (¹⁾石川病院): [原著] 頸管妊娠の早期診断と保存的治療における超音波診断. 産婦人科治療, 66, 105~109, 1993.
- 4) 高橋 通, 飯田晋也, 田中穂積¹⁾, 菊池三郎 (¹⁾住友生命医務部): [原著] 現代日本女性の骨盤形態. 日本助産婦会誌, 46, 18~22, 1992.
- 5) 菊池三郎, 雨宮 章, 浜田 宏, 水口弘司, 藤井明和, 西島正博, 鈴木忠雄, 鈴木健治, 天野 完, 長田久文, 鈴木直行: [原著] 産婦人科領域の創傷治療に関する血液凝固第 XIII 因子製剤の有効性について. 産婦の世界, 43, 639~646, 1992.
- 6) 松本譲二, 木下叶一, 石田明彦, 菊池三郎: [原著] Sex cord tumor with annular tubules, mucinous cystadenoma, adenoma, malignum を合併した Peutz-Jeghers 症候群の1例. 日産婦関東連合部会誌, 55, 5~8, 1992.
- 7) 関谷隆夫, 菊池三郎: [原著] 機能性不妊と子宮内膜の超音波断層像との関連についての検討. 日産婦会誌, 44, 867~874, 1992.

学会発表

- 1) 高木 清, 小西公麿, 飯田晋也, 木下叶一, 関谷隆夫, 松尾健志, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] McDonald 法と Shirodkar 法の有効性の比較; 頸管無力症スコアリングシステムによるアプローチ. 第44回日本産婦人科学会学術講演会, 1992.
- 2) 木下叶一, 飯田晋也, 高木 清, 松尾健志, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 子宮早期胎嚢像の検出時期と臨床的意義. 第58回日本超音波医学会学術講演会, 1992.
- 3) 小林三平, 江川正弥, 根本芳広, 松本譲二, 菊池三郎: [一般講演] 急性腹症としての卵管留水腫の2例. 第284回日本産婦人科学会神奈川地方部会, 1992.
- 4) 松本譲二, 根本芳広, 小林三平, 江川正弥, 木下叶一, 高橋 通, 菊池三郎: [一般講演] 急性腹症としての子宮内膜症. 第83回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1992.
- 5) 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 当科における過去10年間の高齢入院患者の臨床的検討. 第83回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1992.
- 6) 関谷隆夫, 木下叶一, 高木 清, 松尾健志, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 機能性不妊治療における子宮内膜掻爬術の有効性. 第83回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1992.
- 7) 小林三平, 平田昌二, 根本芳広, 石田明彦, 木下叶一, 松本譲二, 菊池三郎: [一般講演] 子宮筋腫の外来 follow 中のリスク. 第83回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1992.
- 8) 木下叶一, 飯田晋也, 高木 清, 松尾健志, 田口正男, 関谷隆夫, 小畑清一郎, 石原楷輔, 菊池三郎, 岩崎孝一¹⁾, 久保田繁¹⁾ (¹⁾久保田病院): 最早期 GS 像の出現時期および着床部位とその臨床的意義. 第83回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1992.
- 9) Kikuchi, S., Takahashi, T.: [展示] The attitudes of women toward cancer detection test. 10th International Congress on Psychosomatic Obstetrics and Gynecology, 1992.
- 10) 江川正弥, 木下叶一, 小西公麿, 松尾健志, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] エタノール胎嚢内注入とメトトレキサートの併用が成功した頸管妊娠の1例. 第285回日本産婦人科学会神奈川地方部会, 1992.
- 11) Konishi, K., Kinoshita, K., Takagi, K., Ishihara, K., Ogata, E.¹⁾, and Kikuchi, S. (¹⁾尾形産婦人科クリニック

- ク)：〔展示〕Two cases of placentia previa suggesting primary and secondary implantation. Observation with ultrasonography. The 3rd Congress of Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology (Afsumb), 1992.
- 12) Sekiya, T., Takagi, K., Ishihara, K., and Kikuchi, S.：〔展示〕Assessment of endometrial function for fertility by transvaginal ultrasound. The 3rd Congress of Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology (Afsumb), 1992.
 - 13) Takagi, K., Matuo, K., Sekiya, T., Kinoshita, K., Ishihara, K., and Kikuchi, S.：〔展示〕Which is more effective as cerclage, Macdonald's method or Shirodker's? Comparison of two methods by cervical incompetencescore. The 3rd Congress of Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology (Afsumb), 1992.
 - 14) 木下叶一, 石原楷輔, 菊池三郎：〔一般講演〕子宮下位着床妊卵の臨床的意義. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
 - 15) 吉松和彦, 高木 清, 石原楷輔, 菊池三郎：〔展示〕生児を得た閉塞性肥大型心筋症合併妊娠の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
 - 16) 戸嶋恵子¹⁾, 中島信治¹⁾, 松本譲二, 菊池三郎⁽¹⁾老人病研究所)：〔展示〕ラット妊娠期におけるカルシウム摂取量の母仔骨塩含量に及ぼす影響. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
 - 17) 関谷隆夫, 石原楷輔, 菊池三郎：〔パネルディスカッション〕多胎と超音波診断. 第286回日本産婦人科学会神奈川地方部会, 1992.
 - 18) 木下叶一, 飯田晋也, 高木 清, 関谷隆夫, 松尾健志, 田口正男, 岩崎孝一¹⁾, 久保田繁¹⁾, 石原楷輔, 菊池三郎⁽¹⁾久保田病院)：〔一般講演〕子宮下位で検出された早期GS像の超音波断層法による経時的観察. 第84回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1992.
 - 19) 吉松和彦, 根本芳広, 木下叶一, 高木 清, 松尾健志, 石原楷輔, 菊池三郎：〔一般講演〕閉塞性肥大型心筋症合併妊娠の1例. 第84回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1992.
 - 20) 江川正弥, 小西公麿, 木下叶一, 高木 清, 松尾健志, 関谷隆夫, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎：〔一般講演〕胎嚢内エタノール注入とMTX投与の併用で保存的療法に成功した頸管妊娠の1例. 第84回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1992.
 - 21) 田口正男, 木下叶一, 飯田晋也, 松尾健志, 関谷隆夫, 松本譲二, 高橋 通, 石原楷輔, 菊池三郎：〔展示〕当院における子宮体部肉腫6例の臨床病理学的検討. 第84回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1992.
 - 22) 高木 清, 木下叶一, 小西公麿, 松尾健志, 田口正男, 関谷隆夫, 石原楷輔, 菊池三郎：〔一般講演〕縫縮術術式の有効性に関する検討. 84回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1992.
 - 23) 小西公麿, 川並汪一¹⁾, 菊池三郎, 名加富紫生²⁾(¹⁾第二病院病理部, ²⁾日本臓器製薬生物活性科学研究所生化学)：〔一般講演〕子宮内膜, 筋層におけるヒスタミンとマスト細胞. 第84回日本アレルギー学会, 1992.
 - 24) 小西公麿, 田口正男, 関谷隆夫, 松尾健志, 石原楷輔, 菊池三郎, 伊藤文行¹⁾(¹⁾第二病院皮膚科)：〔一般講演〕広範な皮膚転移をきたした子宮頸癌の1例. 第287回日本産婦人科学会神奈川地方部会, 1992.
 - 25) 木下叶一, 高木 清, 飯田晋也, 松尾健志, 田口正男, 関谷隆夫, 石原楷輔, 菊池三郎：〔展示〕最早期GS像の子宮内検出部位と産科異常発生の関連性について；特に流産および胎盤位置異常について. 第61回日本超音波医学会, 1992.
 - 26) 江川正弥, 小西公麿, 木下叶一, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎：〔展示〕頸管妊娠の早期診断と保存的薬物療法における超音波断層法の有効性；胎嚢内エタノール注入法の有効性. 第61回日本超音波医学会, 1992.
 - 27) 村上 清, 江川正弥, 飯田晋也, 田中穂積¹⁾, 高橋 通, 菊池三郎⁽¹⁾住友生命医務部)：〔一般講演〕現代日本人女性の骨盤人口面の特徴. 第289回日本産婦人科学会神奈川地方部会, 1993.
 - 28) 根本芳広, 小西公麿, 田口正男, 関谷隆夫, 石原楷輔, 菊池三郎：〔一般講演〕急性腹症としての出血性卵巣嚢

腫の7症例, 第290回日本産婦人科学会神奈川地方部会, 1993.

- 29) 小河原美代子, 軽部みなと, 高橋 通, 水野三子, 菊池三郎, 原 文男, 大川共一: [一般講演] エイズに対する医療従事者の意識に関する調査(第1報), 第9回神奈川県病院学会, 1993.
- 30) 小河原美代子, 軽部みなと, 高橋 通, 水野三子, 菊池三郎, 原 文男, 大川共一: [一般講演] エイズに対する医療従事者の意識に関する調査(第2報), 第6回神奈川母性衛生学会, 1993.
- 31) Takahashi, T., Ebisu, S., and Kikuchi, S., Fulukawa, K.: [一般講演] How climate effects onset of labor. Four Trimesters International Meeting for High-Risk Pregnancy (Israel), 1993.
- 32) 吉松和彦, 高橋 通, 菊池三郎, 原 文男¹⁾, 大川共一²⁾ (¹⁾第二病院内科, ²⁾同院長): [一般講演] エイズに対する医療従事者の意識に関する調査(第3報), 日本医科大学医学会第79回例会, 1993.
- 33) 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] ヒト胎盤 LH/hCG レセプターの精製, 第107回日本不妊学会関東地方部会, 1993.
- 34) 恵比須享, 江川正弥, 高橋 通, 菊池三郎: [一般講演] 新生児体重が分娩後の母体耐糖能に及ぼす影響について, 第300回日本産婦人科学会神奈川地方部会, 1993.

[多摩永山病院産婦人科]

研究概要

本年度の主な研究活動は大別して3つの項目に分けられる。第1は超音波カラードップラー装置を用いた胎児腎動脈血流動態の測定による胎児 well being の判定についての研究である。山梨医科大学産婦人科助教授, 楊先生も留学2年目となり, この仕事を遂に完成させ, 日産婦東京地方部会, および関東連合地方部会へ発表することができた。第2は, Harvard 大学産婦人科学教室の Research associate である Dr. Vilmos Fulop (ハンガリーブタペスト大学産婦人科講師)との共同研究で, 我々の研究室にて, 絨毛癌細胞の LAK 活性を測定し, さらに r-interferon の発現を RT-PCR 法を用いて確認できた仕事である。これは引き続き現在も他の細胞株において検討している。第3は羊水穿刺・絨毛生検による遺伝相談の症例が増したことである。日本人類遺伝学会の臨床遺伝学研修施設としてよく機能していることは我々の誇りとするところである。来年度はさらに研究の幅を広げたいと考えている。

研究業績

論文

- 1) 田中 彰, 田中純也, 石川博臣, 磯崎太一, 佐藤純子, 諏訪喜宣, 佐々木茂: [原著] First trimester に一過性の胎児水腫を呈した18-trisomy の1例, 日産婦東京会誌, 41, 234~237, 1992.
- 2) 田中 彰, 磯崎太一, 荒木 勤: [原著] 妊婦の体重についてどう指導するか, 周産期医学, 22, 29~33, 1992.
- 3) 佐々木茂: [原著] 併用投与方法-MTX と5FU, cell cycle を含めて, 臨床婦人科産科, 46, 1203~1205, 1992.
- 4) 磯崎太一, 林 端成, 石川博臣, 田中純也, 家永 聡, 楊 玉英, 諏訪喜宣, 田中 彰, 佐々木茂: [原著] 二分脊椎症の既往患者による妊娠及び分娩の1症例, 日産婦東京会誌, 41, 336~339, 1992.
- 5) 家永 聡, 田中 彰, 諏訪喜宣, 田中純也, 磯崎太一, 木島一洋, 林 端成, 楊 玉英, 佐々木茂, 柴田穰一¹⁾ (¹⁾柴田産婦人科医院): [原著] 全前脳胞症の1症例, 日産婦東京会誌, 41, 465~467, 1992.

学会発表

- 1) 磯崎太一, 林 端成, 石川博臣, 田中純也, 家永 聡, 諏訪喜宣, 田中 彰, 佐々木茂: [一般講演] 二分脊椎症の既往患者による妊娠及び分娩の1症例, 第282回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1992.
- 2) 佐々木茂: [Video] 我々の行なう広汎性子宮全摘出手術における基靱帯の処理について, 第7回産婦人科臨床懇話会, 1992.

- 3) 諏訪喜宣：〔Video〕我々の行なう腹式帝王切開術。第7回産婦人科臨床懇話会，1992.
- 4) 木島一洋，三田俊二，外山和秀，石川みずえ，高橋英彦，進 純郎，河村 堯，荒木 勤：〔一般講演〕子宮内
膜間質肉腫の1例。第83回日本産科婦人科学会関東連合地方部会例会，1992.
- 5) 田中 彰，田中純也，石川博臣，磯崎太一，佐藤純子，諏訪喜宣，佐々木茂：〔一般講演〕First trimester に一
過性の胎児水腫を呈した18-trisomy の1例。第32回日本先天異常学会，1992.
- 6) 家永 聡，荒木 勤，神田佳和，島田 隆：〔一般講演〕妊娠末期ラット胎仔肝 glycogen 生成に於ける glycerol
からの糖新生への関与。第16回日産婦栄養代謝研究会，1992.
- 7) 家永 聡，田中 彰，諏訪喜宣，田中純也，磯崎太一，木島一洋，林 端成，楊 玉 英，佐々木茂，柴田穰
一¹⁾ (¹⁾柴田産婦人科医院)：〔一般講演〕全前脳胞症の1症例。第283回日本産科婦人科学会東京地方部会例会，
1992.
- 8) 佐々木茂：〔教育講演〕尿失禁の予防と対策。町田市健康福祉館，1992.
- 9) 楊 玉英，佐々木茂，石川博臣，田中純也，田中 彰，木島一洋，家永 聡，磯崎太一，諏訪喜宣，荒木 勤：
〔一般講演〕カラードップラー法を用いたハイリスク妊娠の胎児腎血流動態の一考察。第84回日本産科婦人科学
会関東連合地方部会総会，1992.
- 10) 木島一洋，佐々木茂，磯崎太一，田中 彰，田中純也，家永 聡，楊 玉英，諏訪喜宣，荒木 勤：〔一般講演〕
二分脊椎症婦人の妊娠及び分娩の1症例。第84回日本産科婦人科学会連合地方部会総会，1992.
- 11) 田中純也，佐々木茂，石川博臣，林 端成，田中 彰，木島一洋，楊 玉英，磯崎太一，諏訪喜宣，荒木 勤：
〔一般講演〕母体の心停止後に生児を得た羊水塞栓症の1例。第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会，
1992.
- 12) 三田俊二，都甲明子，小川秀臣，小西英喜，天神尚子，高橋英彦，進 純郎，河村 堯，荒木 勤：〔一般講演〕
当科における BOAI 法による治療の試み。第84回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会，1992.
- 13) 磯崎太一，佐々木茂，諏訪喜宣，田中純也，家永 聡，木島一洋，楊 玉英，田中 彰，荒木 勤：〔一般講演〕
羊水穿刺にて妊娠早期による子宮内感染を診断し，生児を得た1症例。第84回日本産科婦人科学会関東連合地方
部会総会，1992.
- 14) 佐々木茂：〔教育講演〕胞状奇胎；その悪性化の機序。高座産婦人科医会，1992.
- 15) 諏訪喜宣，佐々木茂，田中 彰，磯崎太一，家永 聡，田中純也，木島一洋，前田昭太郎，中川敬夫，清水英樹，
加藤圭子：〔一般講演〕子宮頸部 glassy cell carcinoma 症例の免疫組織学的検討による一考察；その診断上の
問題点。第284回日本産科婦人科学会東京地方部会例会，1992.
- 16) 楊 玉英，田中 彰，磯崎太一，三田俊二，田中純也，家永 聡，諏訪喜宣，佐々木茂：〔一般講演〕胎児腎動
脈血流測定による胎児・新生児の予後判定の一考察。第285回東京地方部会例会，1993.
- 17) 小林由子¹⁾，飯田英次¹⁾，杉崎健一¹⁾，田島なつき¹⁾，篠原義智¹⁾，山本 鼎¹⁾，木島一洋，諏訪喜宣，佐々木茂，
前田昭太郎²⁾ (¹⁾多摩永山病院放射線科，²⁾同病理部)：〔一般講演〕子宮脂肪腫の1例。第398回日本医学放射線
学会関東地方会 1993.

14. 耳鼻咽喉科学講座

[付属病院耳鼻咽喉科]

研究概要

教室の主研究テーマである、耳科学、神経耳科学、免疫、アレルギーに関する業績が例年に引き続いて報告された。

耳科学関係では、鼓室形成術や耳硬化症手術など聴力改善手術の成績や、突発性難聴や耳鳴に対する治療に関する報告がなされた。神経耳科学に関しては、当教室で開発した眼球運動三成分解析装置を用いた研究が進展し、温度眼振、良性発作性頭位眼振、圧迫眼振など内耳由来の眼振の解析が進められた。また、身体平衡の維持、ことに前庭の代償に対する頸部深部知覚の役割に関する研究もさらに発展した。一方、メニエール病をはじめとした内耳障害の原因の1つとして考えられている内耳免疫機構に関する研究がさらに進歩し、その研究結果は国内はもちろん外国でも高い評価を受けるようになっていく。

アレルギー関係では、アレルギー発症のメカニズムに関する基礎的研究が一層進んだ。また、鼻アレルギーに関する各種サイトカインの関与の解明が、人の鼻粘膜を用いた基礎的研究で次々に明らかになってきている。

研究業績

論文

- 1) 富山俊一：〔総説〕メニエール病と内耳免疫（特集：メニエール病の診断と治療）。耳喉頭頸，64，891～895，1992。
- 2) 富山俊一，八木聡明：〔原著〕内リンパ局所免疫反応；反応初期における蝸牛組織障害。日耳鼻，93，394～402，1992。
- 3) 黒崎貞行：〔原著〕コンピューター画像認識による温度眼振の三成分解析。日耳鼻，95，510～516，1992。
- 4) 池園哲郎，富山俊一：〔原著〕内リンパ嚢局所免疫動物の蝸電図。日耳鼻，95，809～816，1992。
- 5) 後藤裕一，富山俊一：〔原著〕内リンパ嚢局所免疫反応による内耳障害。日耳鼻，95，963～968，1992。
- 6) 関はるみ，大塚博邦，Pawankar, R.：〔原著〕鼻茸マスト細胞の機能に関する研究。日耳鼻，95，1012～1021，1992。
- 7) 富山俊一，八木聡明：〔原著〕内リンパ嚢局所免疫反応による内リンパ水腫—長期観察—。日耳鼻，95，1906～1913，1992。
- 8) Tomiyama, S.：〔原著〕Development of endolymphatic hydrops following immune response in the endolymphatic sac of the guinea pig. Acta Otolaryngol. (Stockh), 112, 470～478, 1992。
- 9) Yamanobe, S., and Harris, J.P.¹⁾ (¹⁾UCSD)：Spontaneous remission in experimental autoimmune labyrinthitis. Ann Otol Rhinol Laryngol., 101, 1007～1014, 1992。
- 10) Tomiyama, S.：〔原著〕Endolymphatic hydrops induced by immune response of the endolymphatic sac；Relation to perilymph antibody levels. Ann Otol Rhinol Laryngol., 101(Suppl.), 157, 48～53, 1992。
- 11) Nonaka, M., Tomiyama, S., Gotoh, Y., Ikezono, T., and Yagi, T.：〔原著〕Vestibular disorders following immune response of the endolymphatic sac in the guinea pig. Ann Otol Rhinol Laryngol., 101(Suppl.), 157, 54～57, 1992。
- 12) 奥田 稔，大西正樹，他78名：〔原著〕Fluticasone propionate エアゾール剤の臨床的検討（第2報）；通年性鼻アレルギーに対する至適用量の検討。耳鼻，38(補1)，310～332，1992。
- 13) 奥田 稔，富山俊一，目澤朗憲¹⁾，大西正樹，池田雅一，矢島 洋²⁾他（¹⁾博慈会記念，²⁾静岡済生会）：〔原著〕Fluticasone propionate エアゾール剤の臨床的検討（第3報）；血管性鼻アレルギーに関する試験。耳鼻，38，

補 1, 333~348, 1992.

- 14) 奥田 稔, 富山俊一, 目沢朗憲¹⁾, 大西正樹, 池田雅一, 矢島 洋²⁾他 (¹⁾博慈会記念, ²⁾静岡済生会): [原著] Fluticasone propionate エアゾール剤の臨床的検討 (第4報); 通年性鼻アレルギーに対する長期投与試験. 耳鼻, 38(補1), 349~366, 1992.
- 15) 奥田 稔, 富山俊一, 目沢朗憲¹⁾, 大西正樹, 矢島 洋²⁾他 (¹⁾博慈会記念, ²⁾静岡済生会): [原著] Fluticasone propionate エアロゾール剤の臨床的検討 (第6報); 通年性アレルギーに対する Beclomethasone dipropionate との二重盲検比較試験. 耳鼻, 38(補1), 384~403, 1992.
- 16) 奥田 稔, 富山俊一, 目沢朗憲¹⁾, 大西正樹, 矢島 洋²⁾他 (¹⁾博慈会記念, ²⁾静岡済生会): [原著] Fluticasone propionate 点鼻液の臨床的検討 (第2報); 通年性鼻アレルギーに対する至適用法, 用量の検討, 耳鼻, 38(補1), 431~457, 1992.
- 17) 森園徹志, 八木聰明, 山口 潤, 青木秀治, 山野辺滋晴: [原著] パーソナルコンピュータを用いた入院患者データベースシステム. 耳喉頭頸, 64, 458~462, 1992.
- 18) 八木聰明: [原著] 鼓室形成術後の鼓膜穿孔について. 耳喉頭頸, 64, 663~666, 1992.
- 19) 大山義雄, 滝沢竜太, 山口 潤, 馬場俊吉, 八木聰明: [原著] 直達外力による外リンパ瘻症例. 耳喉頭頸, 64, 795~798, 1992.
- 20) 八木聰明: [原著] めまいを起こす疾患(めまいのみかた). 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 MOOK, 21, 18~23, 1992.
- 21) 馬場俊吉, 大河原大次, 八木聰明, 青木秀治, 波多野吟哉: [原著] 突発性難聴予後の検討. 耳喉頭頸, 64, 277~281, 1992.
- 22) 八木聰明: [原著] バンドノイズ・マスカーによる耳鳴の治療. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 MOOK, 22, 159~161, 1992.
- 23) 渡辺秀行, 藤倉輝道, 後藤裕一, 八木聰明: [原著] Van der Hoeve 症候群; 母娘の二手術症例. Otol. Jpn., 2, 251~254, 1992.
- 24) 山口 潤, 八木聰明, 馬場俊吉, 井上英輝, 青木秀治: [原著] 急性中耳炎にみられた内耳障害. Otol. Jpn., 2, 259~263, 1992.
- 25) 八木聰明: [総説] 乗りもの酔い. 小児科, 33, 761~766, 1992.
- 26) 山野辺滋晴, 八木聰明: [原著] メニエール病患者および突発性難聴患者血清中の内耳自己抗体. Equilibrium Res. 8 (Suppl.), 38~40, 1992.
- 27) 波多野吟哉, 森園徹志, 八木聰明: [原著] 前庭代償過程における頸部深部知覚の役割. Equilibrium Res. 8 (Suppl.), 104~106, 1992.
- 28) 馬場俊吉: [原著] 聴性脳幹反応の臨床応用. 日医大誌, 59, 370, 1992.
- 29) 八木聰明: [総説] めまいの診断; 眼球運動の記録・解析法. 日医大誌, 59, 377~383, 1992.
- 30) 八木聰明: [総説] 救急患者のプライマリ・ケアにおける薬物療法; めまい. 臨床外科, 11(増刊号), 47, 28~29, 1992.
- 31) Yagi, T., Kurosaki, S., Yamanobe, S., and Morizono, T.: [原著] Three-component analysis of caloric nystagmus in humans. Arch Otolaryngol Head Neck Surg., 118, 1077~1080, 1992.
- 32) 八木聰明, 馬場俊吉: [原著] 耳硬化症50耳の術後聴力; 周波数ごとの検討. 耳鼻臨床, 85, 545~549, 1992.
- 33) 八木聰明: [原著] 外耳の外傷. JOHNS, 8, 847~849, 1992.
- 34) Okuda, M., and Pawankar, R.: [原著] Flow cytometric analysis of intraepithelial lymphocytes of the human nasal mucosa; Allergy, Munksgaard, (Copenhagen), 47, 255~259, 1992.
- 35) 馬場俊吉, 大河原大次, 山野辺滋晴, 八木聰明, 町井一史: [原著] マスカーによる耳鳴治療. Audiol Jpn., 35, 519~520, 1992.
- 36) 馬場俊吉, 八木聰明: [原著] 耳鼻マスカー療法. JOHNS., 9, 97~100, 1993.

- 37) 八木聰明：〔原著〕めまいの診断；眼球運動の3成分解析法。東京医師会誌，45，1399～1401，1993。
- 38) 大久保公裕，Kaliner, M.A.¹⁾，Baraniuk, J.M.¹⁾，奥田 稔 (¹NIH)：〔原著〕気道粘膜，ニュートラルエンドペプチデースの局在；Immunoreactivity and mRNA。呼吸，12，78～85，1993。
- 39) 大久保公裕，奥田 稔，Kaliner, M.A.¹⁾ (¹NIH)：〔原著〕ヒト鼻粘膜ニュートラルエンドペプチデース：活性，局在，遊離。日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会誌，11，27～37，1993。
- 40) 大西正樹，横島一彦，肖水 芳：〔原著〕鼻 Inverted papilloma 細胞培養上清中の好塩基性細胞，好酸球分化増殖因子。アレルギー，42，94～100，1993。
- 41) 大西正樹，肖水 芳，大久保公裕，池田雅一，横島一彦，奥田 稔：〔原著〕Fluticasone propionate 局所投与がスギ花粉症患者鼻粘膜粘液上皮層内浸潤細胞に与える影響。アレルギー，42，228～235，1993。
- 42) 大久保公裕，Kaliner, M.A.¹⁾，Baraniuk, J.N.¹⁾，大西正樹，奥田 稔 (¹NIH)：〔原著〕鼻粘膜ニュートラルエンドペプチデース。気道病態シンポジウム誌，4，41～47，1993。
- 43) Yamanobe, S., Harris, J.P.¹⁾ (¹UCSD)：〔原著〕Inner ear specific autoantibodies. Laryngoscope., 103，319～325，1993。
- 44) 奥田 稔，富山俊一，目沢朗憲¹⁾，大西正樹，池田雅一，矢島 洋²⁾他 (¹博慈会記念，²⁾静岡済生会)：〔原著〕Fluticasone propionate 点鼻液の臨床的検討(第3報)；血管運動性鼻炎に関する試験。耳鼻，39，49～65，1993。
- 45) 奥田 稔，富山俊一，目沢朗憲¹⁾，大西正樹，池田雅一，矢島 洋²⁾他 (¹博慈会記念，²⁾静岡済生会)：〔原著〕Fluticasone propionate 点鼻液の臨床的検討(第4報)；通年性鼻アレルギーに対する長期投与試験。耳鼻，39，66～85，1993。
- 46) 奥田 稔，大西正樹，他74名：〔原著〕Fluticasone propionate 点鼻液の臨床的検討(第5報)；通年性鼻アレルギーに対する Fluticasone propionate エアゾール剤との比較試験。耳鼻，39，86～106，1993。
- 47) 奥田 稔，富山俊一，矢島 洋¹⁾他(¹静岡済生会)：〔原著〕Fluticasone propionate 点鼻液の臨床的検討(第6報)；通年性鼻アレルギーに対するクロモグリク酸ナトリウム点鼻液との比較試験。耳鼻，39，107～127，1993。
- 48) 奥田 稔，大西正樹，他51名：〔原著〕Fluticasone propionate エアゾール剤の臨床的検討(第7報)；スギ花粉症に関する試験。耳鼻，38，404～419，1992。
- 49) Yamanobe, S., and Harris, J.P.¹⁾ (¹UCSD)：〔原著〕Extraction of inner ear autoimmunity. Ann Otol Rhinol Larygol., 102，22～27，1993。
- 50) Mullol, J.C.¹⁾，Chowdhury, B.¹⁾，White, M.¹⁾，Ohkubo, K., Rieves, D.¹⁾，Baraniuk, J.¹⁾，Havsfeld, J.¹⁾，Shelhamer, J.¹⁾，and Kaliner, M.¹⁾ (¹NIH)：〔原著〕Endothelin in human nasal mucosa. Am. J. Respir. Cell Mol. Biol., 8，393～402，1993。
- 51) 富山俊一，池園哲郎，渡辺秀行，八木聰明：〔原著〕内リンパ嚢局所免疫反応；反応初期における組織障害。日耳鼻，96，394～402，1993。

著 書

- 1) Tomiyama, S., Nonaka, M., Yagi, T., Gotoh, Y., Ikezono, T., and Harris, J.P.¹⁾ (¹UCSD)：〔原著〕Inner ear damage by local immune response of the endolymphatic sac in the guinea pig. "Immunobiology in Otolology, Rhinology and Laryngology" (McCabe, B.F. Veldman, J.E. and Mogi, G. eds), p. 39～44, Kugler (Amsterdam), 1992。
- 2) Okuda, M., Yen, C.H., Ohkubo, K., Foonant, S., and Pawankar, R.：〔原著〕Cellular elements in the nasal epithelium, especially intraepithelial lymphocytes. Immunobiology in Otolology, Rhinology and Laryngology, (McCabe, B.F. Veldman, J.E. and Mogi, G. eds), P. 185～193, Kugler (Amsterdam), 1992。
- 3) 八木聰明：〔分担〕今日の耳鼻咽喉科頭頸部外科治療指針；意識障害のある患者には。(中井義明，鳥山 稔，形浦昭克，斎藤 等，編)。P. 522～523，金原出版，1992。

- 4) 池田雅一：〔分担〕花粉症の抗ヒスタミン剤治療。花粉症の治療に関する文献調査報告書(奥田 稔編), P. 1~6, 東京都衛生局, 1992.
- 5) 大久保公裕：〔分担〕花粉症に対する抗アレルギー剤治療。花粉症の治療に関する文献調査報告書(奥田 稔編), P. 7~15, 東京都衛生局, 1992.
- 6) 大西正樹：〔分担〕花粉症のステロイド治療。花粉症の治療に関する文献調査報告書(奥田 稔編), P. 16~26, 東京都衛生局, 1992.
- 7) 大久保公裕：〔分担〕花粉症の減感作療法。花粉症の治療に関する文献調査報告書(奥田 稔編), P. 27~32, 東京都衛生局, 1992.
- 8) 山野辺滋晴：〔分担〕花粉症の眼症状に対する治療法。花粉症の治療に関する文献調査報告書(奥田 稔編), P. 32~35, 東京都衛生局, 1992.
- 9) Okuda, M., Tanimoto, H., Watase, T., Ohnishi, M., Pawankar, R., and Xiao, S.F. : 〔分担〕 Nasal congestion a symptom of nasal allergy. Progress in allergy and clinical Immunology, (ed Okuda, M. and Miyamoto, T.), P. 271~273, Hogrefe and Huber, Toronto, 1992.
- 10) 八木聰明：〔単著〕めまい・難聴・耳鳴(改訂第2版), P. 1~230, 金原出版, 1993.
- 11) 八木聰明：〔分担〕今日の治療指針. Vol. 35, メニエール病, P. 774, 金原出版, 1993.

学会発表

- 1) Sakagami, M.¹⁾, Tomiyama, S., Fukazawa, K.¹⁾, and Matsunaga, T.¹⁾ (¹⁾大阪大学) : 〔一般講演〕 Vascular permeability of the stria vascularis in experimental endolymphatic hydrops ; Endolymphatic sac obliteration model vs immunologically induced model. The 17th Barany Society Meeting (Budapest), 1992.
- 2) 大西正樹, 肖 水芳, 大久保公裕, 池田雅一, 横島一彦, 奥田 稔 : 〔一般講演〕フルチカゾン局所スプレーのスギ花粉症患者鼻腔粘膜粘液上皮内浸潤細胞に与える影響. 日本アレルギー学会第4回日本アレルギー学会春季臨床集会, 1992.
- 3) 大久保公裕, 奥田 稔, Kaliner, M.A.¹⁾ (¹⁾NIH) : 〔一般講演〕鼻汁中のニューロペプチド分解酵素. 第93回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1992.
- 4) Peden, D.¹⁾, Mannix, M.¹⁾, Ohkubo, K., and Kaliner, M.A.¹⁾ (¹⁾NIH) : 〔一般講演〕 Nasal airway peroxydase activity is induced by cholinergic and histamine nasal mucosal challenge. Annual Meeting of American Thoracic Society and American Lung Association (Miami), 1992.
- 5) 山野辺滋晴, 富山俊一, Haris, J.P.¹⁾ (¹⁾UCSD) : 〔一般講演〕内耳特異的自己抗体と自己免疫性感音難聴. 第93回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1992.
- 6) 池園哲朗, 野中 学, 後藤裕一, 富山俊一, 八木聰明 : 〔一般講演〕内耳免疫動物の蝸電図. 第93回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1992.
- 7) 羽田達正, 奥田 稔, 堀内淳一¹⁾, 宮下次廣¹⁾ (¹⁾放射線科) : 〔一般講演〕下咽頭癌のルビエール転移に対する予防的全頭部照射の効果. 第16回日本頭頸部腫瘍学会, 1992.
- 8) 横島一彦, 町井一史, 坂口喜清, 青木秀治, 後藤裕一, 池園哲朗, 馬場俊吉, 八木聰明 : 〔一般講演〕当科における鼓室形成術284耳の検討. 第41回日本耳鼻咽喉科学会群馬県地方部会, 1992.
- 9) Tomiyama, S., Nonaka, M., Gotoh, Y., Ikezono, T., and Yagi, T. : 〔一般講演〕 Immunological approach to Meniere's disease : Experimental animal model study. The 29th Inner ear Biology Workshop (Engelberg), 1992.
- 10) Takahashi, M.¹⁾, Hokunan, K.¹⁾, and Tomiyama, S. (¹⁾旭川医大) : 〔一般講演〕 Localization of type IV collagen and laminin in the guinea pig inner ear. The 29th Inner Ear Biology Workshop (Engelberg), 1992.

- 11) Ikezono, T., Tomiyama, S., Yagi, T., Goto, Y., and Nonaka, T.: [一般講演] Effect of the inner ear immune response on the electeocochlegram in guinea pigs. The XXI International Congress of Audiology (Morioka), 1992.
- 12) Goto, Y., Tomiyama, S., Yagi, T., Ikezono, T., and Nonaka, T.: [一般講演] The immuno-iujury the inner auditory system following secondary endolymphatic sac immune response. The XXI International Congress of Audiology (Morioka), 1992.
- 13) Yamanobe, S., Harris, J.P.¹⁾ (¹⁾UCSD): [一般講演] Inner ear specific autoantibodies. The XXI Internatinonal Congress of Audiology (Morioka), 1992.
- 14) 馬場俊吉, 大河原大次, 山野辺滋晴, 八木聰明, 町井一史: [一般講演] マスカーによる耳鳴治療. 第37回日本聴覚医学会, 1992.
- 15) 八木聰明: [特別講演] めまいの診断. 第53回日本耳鼻咽喉科学会栃木県地方部会, 1992.
- 16) 八木聰明: [特別講演] 神経耳科学. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 17) 大久保公裕: [シンポジウム] 気道粘膜ニューtralエンドペプチデース. 第28回気道過敏性研究会, 1992.
- 18) 大久保公裕: [海外留学者講演] 気道粘膜ニュートラエンドペプチデース. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 19) 秋元利香, 後藤 稔, 青木秀治, 八木聰明: [一般講演] 日本医大付属病院における13年間の外来受診動態. 第92回日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会, 1992.
- 20) 横島一彦, 大西正樹, 大久保公裕, 池田雅一, 奥田 稔: [一般講演] 鼻 inverted papilloma 組織中の肥満細胞, 好酸球の分布について. 第31回日本鼻科学会, 1992.
- 21) 大西正樹, 大久保公裕, 池田雅一, 横島一彦, 奥田 稔: [一般講演] 鼻粘膜上皮細胞培養上清中の GM-CSF, IL-2, IL-4, IL-6. 第31回日本鼻科学会, 1992.
- 22) 大久保公裕, 奥田 稔, Kaliner, M.A., Mullol, J.¹⁾ (¹⁾NIH): [一般講演] ヒト鼻粘膜エンドセリン. 第31回日本鼻科学会, 1992.
- 23) 矢島 洋¹⁾, 長島泰行¹⁾, 平良晋一 (¹⁾静岡済生会): [一般講演] 温熱療法 (スカイナースチーム) の効果. 第31回日本鼻科学会, 1992.
- 24) Ohkubo, K., Okuda, M., and Kaliner, A.: [一般講演] Immunological localization of neuropeptidasae degrading enzyme in the nasal mucosa. XI Internatinal Symposium on Infection and Allergy of the Nose (Roma), 1992.
- 25) 後藤 稔, 秋元利香, 馬場俊吉, 八木聰明: [一般講演] 日本医大付属病院における過去13年間の入院患者動態. 第93回日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会, 1992.
- 26) Ohnishi, M.: [シンポジウム] New trends in the therapy of allelgic and non allergic rhinopathy. XI Internatinal Symposium on Infection and Allergy of the Nose (Roma), 1992.
- 27) 八木聰明: [パネルディスカッション] Afternystagmus をめぐる問題. 第51回日本平衡神経科学会, 1992.
- 28) 相原康孝¹⁾, 神尾友和¹⁾, 八木聰明 (¹⁾神尾記念): [一般講演] 線条刺激とタンダムドット刺激による OKN, OKAN. 第51回日本平衡神経科学会, 1992.
- 29) 潮建司朗, 山野辺滋晴, 黒崎貞行, 平良晋一, 森園徹志, 八木聰明: [一般講演] コンピューター画像認識における良性発作性頭位眩暈の解析. 第51回日本平衡神経科学会, 1992.
- 30) 黒崎貞行, 山野辺滋晴, 平良晋一, 八木聰明: [一般講演] 圧迫眼振の三成分解析. 第51回日本平衡神経科学会, 1992.
- 31) 横島一彦, 大西正樹, 大久保公裕, 池田雅一, 滝沢竜太, 奥田 稔, 八木聰明: [一般講演] 平成3年の当科における鼻アレルギー患者動態. 日本医科大学医学会第78回例会, 1992.
- 32) 大西正樹, 大久保公裕, 横島一彦: [一般講演] 鼻 inverted papilloma 細胞培養上清中のサイトカイン. 第30回臨床アレルギー研究会, 1992.

- 33) Ohkubo, K.: [シンポジウム] Preventive effect of allergy control solution, an acaricide, on house dust mite. 4th Japan-Korea Joint Meeting of Otolaryngology Head and Neck Surgery (Kagoshima), 1992.
- 34) 馬場俊吉, 大河原大次, 山野辺滋晴, 町井一史, 八木聰明: [一般講演] 耳鳴マスカー治療の客観的評価. 第2回日本耳科学会臨床学会, 1992.
- 35) 八木聰明: [一般講演] 鼓室形成術後の鼓膜再穿孔について. 第2回日本耳科学会臨床学会, 1992.
- 36) 渡邊健一, 千葉 隆¹⁾, 波多野吟哉, 富山俊一, 八木聰明 (¹⁾付属病院小児科): [一般講演] OK-432局所注入による小児リンパ管腫治療の経験. 第94回日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会, 1992.
- 37) 大西正樹, 滝沢竜太, 大久保公裕, 横島一彦: [シンポジウム] 鼻粘膜上皮細胞のサイトカインの産生. 第5回気道病態シンポジウム, 1993.
- 38) 阪上雅史¹⁾, 深沢啓二郎¹⁾, 梅本国則¹⁾, 松永 亨¹⁾, 富山俊一 (¹⁾大阪大): [一般講演] 実験的内リンパ水腫における血管条毛細血管の透過性 (第2報). 第2回日本耳科学会基礎学会, 1993.
- 39) 北南和彦¹⁾, 高橋光明¹⁾, 富山俊一 (¹⁾旭川医大): [一般講演] モルモット内リンパ嚢局所免疫反応における基底膜構成成分の変化. 第2回日本耳科学会基礎学会, 1993.
- 40) Pawankar, R., Okuda, M.: [一般講演] Characteristics of intraepithelial and lamina propria lymphocytes of the human nasal mucosa in perennial allergic rhinitis and chronic hypertrophic rhinitis. 50th American Academy of Allergy and Immunology (Chicago), 1993.
- 41) 富山俊一, 野中 学, 八木聰明: [一般講演] 内リンパ嚢免疫反応による前庭機能異常-外リンパ抗体価と自発眼振出現, 温度眼振反応との関係. 第11回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 1993.
- 42) 高橋光明¹⁾, 北南和彦¹⁾, 富山俊一 (¹⁾旭川医大): [一般講演] 内リンパ嚢における増殖性細胞の存在の検討. 第11回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 1993.
- 43) 大久保公裕, 大西正樹, 滝沢竜太, 横島一彦, 奥田 稔, 八木聰明: [指定演題] 鼻粘膜上皮細胞培養上清のエンドセリン. 第11回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 1993.
- 44) 大西正樹, 横島一彦, 大久保公裕, 滝沢竜太, 奥田 稔, 八木聰明: [一般講演] 鼻 inverted papilloma 培養上清中のコロニー刺激活性の抑制. 第11回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 1993.
- 45) 横島一彦, 大西正樹, 大久保公裕, 奥田 稔, 八木聰明: [一般講演] 鼻 inverted papilloma 組織中肥満細胞の電子顕微鏡観察. 第11回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 1993.
- 46) 滝沢竜太, 大西正樹, 大久保公裕, 横島一彦, 奥田 稔, 八木聰明: [一般講演] 鼻粘膜上皮細胞培養上清中のGM-CSF (培養条件及び fluticasone による影響). 第11回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 1993.
- 47) 小坂和己, 山野辺滋晴, 八木聰明: [一般講演] 感音性難聴患者における内耳自己抗体陽性率. 第11回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 1993.
- 48) 陣内 賢, 秋元利香, 長谷川修¹⁾, 大西正樹, 八木聰明 (¹⁾内科第3): [一般講演] 血小板減少症を伴った副鼻腔内悪性リンパ腫の1症例. 第95回日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会, 1993.

[第一病院耳鼻咽喉科]

研究概要

臨床的研究: 1) 鼻・副鼻腔乳頭腫の肉眼的所見の重要性および手術法の選択について検討している。

2) 耳鳴と自律神経失調症, 神経症や状態との関連性について, 診療内科的に研究している。

基礎的研究: 1) Immoyile cilia syndrome を中心に各種気道疾患の鼻腔線毛を電顕的に観察し, 線毛の異常構造の検索を行っている. (i) 実験的に一水道水注入による鼻粘膜の変化; i) ボタン型アルカリ電池による鼻粘膜の変化, ii) vitamin A 欠乏による鼻粘膜他気道粘膜の変化. iii) 気道粘膜損傷の際の血管系の再生。

2) 実験的高脂血症動物の蝸牛管内微細構造変化. また, 聴器に分布する末梢神経系を解剖学的手法を用いて研究し

ている。

研究業績

論文

- 1) Hattori, Y., Tsurukubo, K., Nakamura, K., and Ferrans, V.J.: [原著] Electron microscopic study of vascular regeneration in rat tracheal mucosa following physiscal curettage. *Auris Nasus Larynx* (Tokyo), 19, 251~269, 1992.
- 2) 奥田 稔¹⁾, 服部康夫, 他65名 (¹⁾付属病院耳鼻咽喉科): [原著] Wal 801 cl (epinastine) 錠の通年性鼻アレルギーに対する臨床後期第II相試験; 至適用量検討試験. *耳鼻展望*, 35, 269~288, 1992.
- 3) 奥田 稔¹⁾, 服部康夫, 他65名 (¹⁾付属病院耳鼻咽喉科): [原著] Wal 801 cl (epinastine) 錠の通年性鼻アレルギーに対する臨床評価: Azelastine Hydrochloride 対照薬とした二重盲検比較試験. *耳鼻咽喉科展望*, 35, 289~312, 1992.
- 4) Izumi, K., Yuge, K., Hattori, Y., Yan Qiao., and Asano, G.: [原著] Ultrastructural changes in the hypercholesterolemia. *日臨電顕会*, 25, 773, 1992.
- 5) 山本 薫, 鈴木 勲, 中村兼一, 弓削庫太¹⁾ (¹⁾鹿島白十字病院): [原著] 中耳カルチノイドの1例. *耳鼻と臨床*, 38, 768~772, 1992.
- 6) 中村兼一, 服部康夫, 上野則之, 弓削庫太¹⁾ (¹⁾鹿島白十字病院): [原著] 成人の咽後膿瘍の1例. *日本口腔咽頭科学会*, 5, 273~279, 1993.
- 7) 鈴木重剛, 大橋晋吾, 柏戸 泉, 中村兼一, 服部康夫: [原著] 菌原性口腔底蜂窩織炎の4症例. *日本口腔咽頭科学会*, 5, 119~125, 1993.

学会発表

- 1) 中村兼一, 服部康夫, 鈴木重剛, 山本 薫: [展示] 中耳原発カルチノイド腫瘍2例の電子顕微鏡所見. 第93回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1992.
- 2) 上野則之, 須藤 光, 服部康夫, 弓削庫太, 宮木孝昌¹⁾, 伊藤博信¹⁾ (¹⁾解剖第2): [展示] 外耳に分布する神経 (第2報); ヒト, スンクス, モグラについて. 第93回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1992.
- 3) 大橋晋吾, 服部康夫, 柏戸 泉, 鶴窪一行¹⁾ (¹⁾第二病院耳鼻咽喉科): [一般講演] ボタン型アルカリ電池鼻腔内異物の1症例及び局所傷害に関する実験的研究. 第93回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1992.
- 4) 鈴木重剛, 大橋晋吾, 柏戸 泉, 中村兼一, 服部康夫: [一般講演] 菌原性口腔底蜂窩織炎の4症例. 第5回日本口腔咽頭科学会, 1992.
- 5) 柏戸 泉, 鈴木栄一, 中村兼一, 弓削庫太, 服部康夫, 喬 炎¹⁾, 平野敏一¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理第2): [一般講演] 高脂血症モルモットの内耳蝸牛の微細構造変化. 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.

[第二病院耳鼻咽喉科]

研究概要

前年からの研究を引継いで行っている。大塚部長以下日夜研究に没頭し、それなりの成果が挙げられている。臨床分野については、難治性疾患の一つである小児滲出性中耳炎の本態を明らかにするため、患者背景として生活環境因子、上気道炎、アレルギーとの関係について調べている。また、急性低音障害型感音難聴の本態を明らかにするため、症例を集め突発性難聴やメニエール病との相似について調べている。アレルギー部門に関しては、減感作療法のメカニズムについて報告をした。次いで鼻アレルギー発症に重要なマスト細胞の機能に関する研究を行い、鼻茸内マスト細胞の機能との違いについて検討した。また、鼻アレルギー粘膜上皮内マスト細胞を用いて、抗アレルギー剤の効果に

ついて基礎的研究で成果を挙げた。また、マスト細胞のもつ Heterogeneity について、機能面の他、免疫組織的手法を用いての研究を行い同様の成果を挙げた。

形態学の研究ではラットの気道、喉頭、気管の上皮や血管の創傷治癒過程を電顕的手法を用いて解明した。

この他、鼻上皮層から産生される炎症に関する種々の因子について、また人のマスト細胞の増殖機構について研究を行ない現在進行中である。

研究業績

論文

- 1) 大塚博邦：〔総説〕対症療法で効果のない鼻アレルギーは減感作療法を試みる。暮しと健康, 47, 24～26, 1992.
- 2) 大塚博邦：〔総説〕スギ花粉症；中学教室。教室の窓, 361, 1, 1992.
- 3) 大塚博邦：〔総説〕アレルギー検査の意義。日耳鼻専門医通信, 31, 8～9, 1992.
- 4) 山口 潤, 八木聰明, 馬場俊吉, 井上英輝, 青木秀治：〔原著〕急性中耳炎にみられた内耳障害。Otol. Jpn., 2, 259～263, 1992.
- 5) 森園徹志, 八木聰明, 山口 潤, 青木秀治, 山野辺滋晴：〔原著〕パーソナルコンピュータを用いた入院患者データベースシステム。耳喉頭頸, 64, 458～462, 1992.
- 6) 大塚博邦：〔総説〕アレルギー性鼻炎診療におけるインフォームドコンセント。耳鼻と臨床, 38, 550～551, 1992.
- 7) 関はるみ, 大塚博邦, Ruby Pawankar：〔原著〕鼻茸マスト細胞の機能に関する研究。日耳鼻, 95, 1012～1021, 1992.
- 8) 大塚博邦, 藤倉輝道, 國友万由美, 長岐すみこ, 河島敏男：〔原著〕鼻アレルギー鼻粘膜上皮擦過片からの抗原によるヒスタミンおよびロイコトリエン遊離に対する抗アレルギー剤 TBX の抑制効果。薬理と治療, 20, 219～225, 1992.
- 9) 鶴窪一行, 大塚博邦, 服部康夫：〔原著〕ラット搔爬気管粘膜の血管系の再生。Prog. Med., 12, 2831～2832, 1992.
- 10) 大山義雄, 滝沢竜太, 山口 潤, 馬場俊吉, 八木聰明：〔原著〕直達外力による外リンパ瘻症例。耳喉頭頸, 64, 795～798, 1992.
- 11) 大塚博邦：〔総説〕アレルギー性鼻炎。Vita, 10, 26～28, 1993.
- 12) 奥田 稔他：〔原著〕Furuticasone propionate 点鼻液の臨床的検討（第3報）；血管運動性鼻炎に関する試験。耳鼻と臨床, 39, 49～65, 1993.
- 13) 奥田 稔他：〔原著〕Furuticasone propionate 点鼻液の臨床的検討（第4報）；通年性鼻アレルギーに対する長期投与試験。耳鼻と臨床, 39, 66～85, 1993.
- 14) 奥田 稔他：〔原著〕Furuticasone propionate 点鼻液の臨床的検討（第6報）；通年性鼻アレルギーに対するクロモグリク酸ナトリウム点鼻液との比較検討。耳鼻と臨床, 39, 107～127, 1993.
- 15) 藤倉輝道, 大塚博邦, 山口 潤, 鶴窪一行, 稲葉 真, 國友万由美：〔原著〕Mota's basic lead acetate 固定による下甲介粘膜中マスト細胞の標本作成過程における染色性の変化。日鼻誌, 31, 259～263, 1993.
- 16) 谷本秀司, 奥田稔, 石田祐子, 池田雅一, 藤倉輝道, 他：〔原著〕鼻アレルギーに対する OS-oil の影響。耳鼻と臨床, 39, 35～41, 1993.
- 17) 大塚博邦：〔原著〕抗原別にみた診断法（花粉）。アレルギーの臨床, 159, 16～18, 1993.
- 18) 大塚博邦, 山口 潤, 鶴窪一行, 藤倉輝道, 國友万由美, 稲葉 真：〔原著〕減感作施行群と非施行群における鼻粘膜上皮擦過片のヒスタミン遊離能とヒスタミン含有量の違い。耳鼻免疫アレルギー, 11, 38～43, 1993.
- 19) 谷本秀司, 奥田 稔, 石田祐子, 池田雅一, 藤倉輝道, 他：〔原著〕ノイロトロピンのメサコリン過敏性における抑制効果；OS-oil 処置鼻粘膜過敏性モデルモルモット。耳鼻と臨床, 39, 139～142, 1993.
- 20) 大塚博邦：〔総説〕花粉症とアレルギー性鼻炎。からだの化学, 170, 58～61, 1993.
- 21) 大塚博邦：〔総説〕薬剤の作用機序。日鼻誌, 31, 137～138, 1993.

著 書

- 1) 大塚博邦：〔分担〕アレルギー性鼻炎，“薬物治療の指針”（久保 明編），P. 598～600，診断と治療社，1992.
- 2) 大塚博邦：〔分担〕耳鼻咽喉科からみた花粉症，“歯科医の知っておきたい医学常識”（佐々木次郎，増田正樹，鳥居正雄，吉田清幸編），P. 210～211，デンタルダイヤモンド社，1992.

学会発表

- 1) 大塚博邦：〔シンポジウム〕アレルギー性鼻炎（アレルギー性疾患の試験管内評価），第4回日本アレルギー学会春期臨床集会，1992.
- 2) 國友万由美，大塚博邦，稲葉 真，鶴窪一行，山口 潤，藤倉輝道：〔一般講演〕口蓋扁桃の Lymphangiectatic fibrous polyp の1症例，第80回日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会，1992.
- 3) 藤倉輝道，鶴窪一行，山口 潤，稲葉 真，國友万由美，大塚博邦：〔一般講演〕鼻茸組織中の好酸球数の検討，第29回臨床アレルギー研究会，1992.
- 4) 大塚博邦：〔一般講演〕ダニによる鼻アレルギーの臨床，第2回 ACI セミナー，1992.
- 5) 大塚博邦：〔一般講演〕アレルギー性鼻炎における CAP RAST の臨床的意義，第21回関東アレルギー研究会，1992.
- 6) 大塚博邦：〔シンポジウム〕薬剤の作用機序（鼻アレルギーの治療－UP-TO-DATE－），第31回日本鼻科学会総会，1992.
- 7) 國友万由美，藤倉輝道，大塚博邦：〔一般講演〕鼻アレルギー粘膜上皮マスト細胞からのヒスタミン遊離能と血清 IgE 抗体の関係，第31回日本鼻科学会総会，1992.
- 8) 大塚博邦，藤倉輝道，國友万由美：〔一般講演〕鼻アレルギー鼻粘膜上皮擦過片からの抗原によるヒスタミン遊離およびロイコトリエン産生に対する TBX の抑制効果，第42回日本アレルギー学会総会，1992.
- 9) 國友万由美，大塚博邦，鶴窪一行，山口 潤，藤倉輝道：〔一般講演〕鼻アレルギー粘膜上皮マスト細胞からのヒスタミン遊離能と CAP-RAST SCORE の関係，第30回臨床アレルギー研究会，1992.
- 10) 藤倉輝道，大塚博邦，山口 潤，鶴窪一行，國友万由美：〔一般講演〕鼻アレルギーにおけるファディアトープの臨床的意義，第30回臨床アレルギー研究会，1992.
- 11) 大塚博邦：〔パネルディスカッション〕鼻粘膜過敏性の立場から（鼻アレルギーの病態生理と最近の治療），耳鼻咽喉科教育パネルシリーズ第18回，1993.

〔多摩永山病院耳鼻咽喉科〕

研究概要

頭頸部腫瘍の発生と性質につき，特に免疫組織学的手法を用いての検索。

研究業績

論 文

- 1) 頼 徳成，添野眞一，星 慎一，鈴木 勲，山田光輝，島田早苗：〔報告〕舌根扁桃より発生したと思われる形質細胞腫の1症例，日本扁桃研究会会誌，32，85～89，1993.

学会発表

- 1) 頼 徳成，添野眞一，星 慎一，鈴木 勲，島田早苗，中川敬夫¹⁾，清水秀樹¹⁾，加藤圭子¹⁾，前田昭太郎¹⁾（¹⁾多摩永山病院病理部）：〔一般講演〕迅速診断上細胞診が有用であった嗅神経芽細胞腫の1例，第95回日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会学術講演会，1993.

15. 泌尿器科学講座

〔付属病院泌尿器科〕

研究概要

付属4病院における研究分野は、泌尿生殖器腫瘍の診断と治療、尿路結石の治療、泌尿器内視鏡、経尿道的前立腺剝離術、泌尿器科領域における超微形態学、前立腺炎とマクロファージ、インポテンスの治療、腎移植における免疫抑制剤進歩の意義、など多岐にわたる。

付属病院における研究内容は次の通りである。

- 1) 泌尿生殖器悪性腫瘍：a) 新しいプラチナ誘導体の臨床応用と臨床効果，b) 尿禁制型尿路変更とQOL，c) 前立腺癌骨転移におけるCTの有用性，d) 腹腔鏡手術による膀胱周囲組織生検法の進歩，e) 癌化学療法における耐性機構とメタロチオネインとの関連，f) メタロチオネインと腎機能保護，g) 腎細胞癌浸潤リンパ球クローンの細胞障害性とサイトカイン産生能，h) 進行性腎細胞癌に対するIFN- α ，IL-2，LAK cellを用いた3者併用免疫療法。
- 2) 尿路結石の治療：a) アレキサンドライトレーザーによる尿路結石の治療，b) 新しいESWL(改良型 Tripter X-1)による尿路結石の治療，c) ESWL治療後の再発，d) 尿管ステント長期使用経験。
- 3) 泌尿器内視鏡：a) 軟性尿管鏡，とくに極細尿管鏡の意義，b) 腹腔鏡の膀胱および膀胱周囲生検，c) 腹腔鏡の精索静脈結紮術，d) 腹腔鏡的リンパ節郭清術。
- 4) 超微形態学：腎細胞癌の組織型と腫瘍血管構築との関連。
- 5) 腎移植：a) 新しい免疫抑制剤の登場と臨床応用，b) FK506による腎機能障害の形態学的検討。
- 6) インポテンシス：a) 陰茎プロステースの適応と手術手技，b) 陰茎硬度・周径連続測定臨床応用。
- 7) 前立腺炎：非細菌性前立腺炎の前立腺液中のマクロファージの生存率。
- 8) その他：a) 尿失禁手術におけるGittes法とRaz法の比較，b) 80歳以上前立腺肥大症手術例の検討。

研究業績

論文

- 1) Akaza, H., Togashi, M., Nishio, Y., Miki, T., Kotake, T., Matsumura, Y., Yoshida, O., Aso, Y., Koyanagi, T., Orikasa, S., Shimazaki, J., Tazaki, H., Akimoto, M., Machida, T., Kawai, T., Hisazumi, H., Ohtaguro, K., Sonoda, T., Okuyama, A., Kamidono, S., Ohmori, H., and Usui, T.: [原著] Phase II study of cis-diammine (glycolato) platinum, 254S, in patients with advanced germ-cell testicular cancer, prostatic cancer and transitional cell carcinoma. *Cancer Chemotherapy and Pharmacology*, 31, 187~192, 1992.
- 2) 長谷川潤，秋元成太：[原著] 陰茎プロステース挿入。看護技術，38，79~82，1992。
- 3) 堀 夏樹，小川秀彌：[原著] 精管切断術。看護技術，38，75~78，1992。
- 4) Yamada, K., Sugisaki, Y.¹⁾, Akimoto, M., and Yamanaka, N.¹⁾ (¹⁾病理学第1)：[原著] New morphological changes induced by FK506 in a short period in the kidney and the effect of superoxide dismutase and OKY-046 on them. *Transplantation International*, 5, 564~567, 1992.
- 5) Nishimura, T., Terashima, Y., Hattori, T., Satoh, M., Watanabe, J., Amagai, K., Yoshida, K., and Akimoto, M.: [原著] The survival rate of macrophages in prostatic fluid from nonbacterial prostatitis patients. *J. Nippon Med. Sch.*, 59, 274~275, 1992.
- 6) 坪井成美，西村泰司：[原著] アレキサンドライト・レーザー。日レーザー医学会誌，13，35~38，1992。
- 7) 平岡保紀，原 眞，木村 剛，林 昭棟，根本 総，小川秀彌：[原著] Semi-radical TURP 施行時に誘発される前立腺被膜の反射性収縮；閉鎖神経ブロックによる反射性収縮の予防効果。西日泌尿，54，1022~1024，

1992.

- 8) 早坂勇太郎, 高橋公太, 八木沢隆, 有賀悦子, 山田和彦, 中沢速和, 寺岡 慧, 東間 紘, 阿岸鉄三, 太田和夫 :
〔原著〕メチルプレドニゾロン誘導体, U-67, 590A の免疫抑制効果に関する基礎的検討. 今日の移植, 5,
397~402, 1992.
- 9) 杉澤 裕, 堀内和孝, 長谷川潤, 原 眞, 坪井成美, 吉田和弘, 平岡保紀, 西村泰司, 秋元成太, 川村直樹 :
〔原著〕Kock 回腸膀胱および Indiana pouch の臨床的検討. 泌尿紀要, 38, 775~781, 1992.
- 10) 丸茂 健, 田崎 寛, 金子茂男, 岡本重禮, 蓑和田滋, 北原 研, 長谷川潤, 荒井陽一, 板谷宏彬, 吉田 隆 :
〔原著〕器質的インポテンスに対する硬直機構内蔵式ノン・インフレータブル陰茎プロステーシス挿入手術の治療成績. 日泌尿会誌, 83, 1071~1077, 1992.
- 11) 沖 守, 西村泰司, 広瀬始之, 本田 了, 大沢秀一, 秋元成太 : 〔原著〕改良型 TRIPTER X-1 による上部尿路結石の治療経験. 泌尿器外科, 5, 645~651, 1992.
- 12) Yamada, K., Sugisaki, Y.¹⁾, Akimoto, M., and Yamanaka, N.¹⁾ (¹⁾病理学第1) : 〔原著〕FK506 induced juxtaglomerular apparatus hyperplasia and tubular damage in rat kidney. Transplantation Proceedings, 24, 1396~1398, 1992.
- 13) 沖 守, 広瀬始之, 西村泰司, 吉田和弘, 坪井成美, 長谷川潤, 本田 了, 大沢秀一, 秋元成太 : 〔原著〕腹腔鏡手術による経腹的膀胱および膀胱周囲組織生検法 ; メチレンブルーを利用した新しい膀胱癌浸潤度判定のこころみ. 西日泌尿, 54, 1300~1304, 1992.
- 14) 坪井成美 : 〔総説〕上部尿路閉塞性疾患の診断と治療. 腎と透析, 33, 237~241, 1992.
- 15) 山田和彦, 高木 豊¹⁾, 飯野靖彦²⁾, 杉澤 裕, 天谷健二, 松信精一²⁾, 平岡保紀, 山下精彦¹⁾, 秋元成太 (¹⁾付属病院中央検査室, ²⁾内科第2) : m-FPIA 法によるシクロスポリン血中濃度測定 ; 測定過程の注意点と HPLC 法, m-RIA 法との比較. 今日の移植, 5, 499~503, 1992.
- 16) 西村泰司 : 〔総説〕救急疾患とエコー. 臨泌, 46増刊, 115~126, 1992.
- 17) 原 眞, 平岡保紀, 木村 剛, 佐藤三洋, 天谷健二, 山本史郎, 鈴木 央, 杉澤 裕, 長谷川潤 : 〔原著〕女子腹圧性尿失禁に対する手術 ; Raz 法と Gittes 法の比較. 泌尿紀要, 38, 1117~1121, 1992.
- 18) 沖 守, 広瀬始之, 矢島勇臣, 近藤幸尋, 西村泰司, 秋元成太, 久島英二¹⁾, 佐藤正広¹⁾ (¹⁾付属病院人工透析室) : 〔原著〕日本医科大学付属病院人工透析室における5年間の急性腎不全の臨床的検討. 腎と透析, 33, 115~118, 1992.
- 19) 清水宏之, 大原正雄, 山田和彦, 長谷川潤, 吉田和弘, 秋元成太 : 〔報告〕前立腺癌に合併した前立腺嚢腫. 臨泌, 47, 56~58, 1993.
- 20) Nishimura, T., Terashima, Y., Kondo, Y., Ohba, S., Yoshida, K., and Akimoto, M. : 〔原著〕Long-term indwelling bilateral ureteral stents for bilateral hydronephrosis of unknown etiology. J. Urol., 149, 96~99, 1993.
- 21) 本田 了, 沖 守, 秋元成太 : 〔原著〕80歳以上の高齢者における前立腺肥大症手術療法の検討. 日老医誌, 30, 112~115, 1993.
- 22) 沖 守, 本田 了, 西村泰司, 坪井成美, 長谷川潤, 広瀬始之, 天谷健二, 清水宏之, 秋元成太 : 〔原著〕ESWL 後の結石再発. 西日泌尿, 55, 209~212, 1993.
- 23) 西村泰司, 坪井成美, 吉田和弘, 秋元成太, 間庭裕子¹⁾, 藤間弘行¹⁾, 水町重範²⁾ (¹⁾藤間病院, ²⁾水町クリニック) : 〔原著〕顕微鏡的血尿症例の尿路腫瘍スクリーニング. 日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌, 1, 34~35, 1993.
- 24) 矢島勇臣, 堀 夏樹, 小川秀彌, 西村 宏, 山口和克, 秋元成太 : 〔報告〕膀胱にみられた腎性腺腫(Nephrogenic adenoma) の3例. 臨泌, 47, 237~240, 1993.
- 25) 堀内和孝, 西村泰司 : 〔総説〕前立腺肥大症薬. 臨泌, 47, 170~171, 1993.

著 書

- 1) 吉田和弘：〔共著〕上部尿路腫瘍，出血の内視鏡的診断，治療（B）軟性尿管鏡。”Endourology, ESWL 治療法マニュアル”（阿曾佳郎編），P. 76～78，南山堂，1992.
- 2) Yoshida, K., and Akimoto, M.：〔共著〕Computed tomographic evaluation on bone metastases in prostatic cancer patients.”Prostate cancer and bone metastasis”（Karr, J.P. and Yamanaka, H. eds），P. 197～204，Plenum Press（USA），1992.
- 3) 沖 守：〔分担〕泌尿器科の治療134. 腹腔鏡：腹腔鏡による腎摘術.”腎臓学 Key Notes”（長澤俊彦編），P. 232～233，東京医学社，1992.
- 4) 秋元成太：〔分担〕血尿をおこす泌尿器科疾患をどう診るか.”泌尿器科 Mook 4. 血尿の診かた治しかた”（小磯謙吉編），P. 54～64，金原出版，1992.
- 5) 西村泰司，沖 守：〔分担〕ダイレックス・トリプターX-1.”Endourology, ESWL 治療法マニュアル”（東原英二，田島 惇編），P. 156～158，南山堂，1992.
- 6) 小川秀彌：〔分担〕泌尿器科の三大疾患.”日比谷同友会会報”（大津常五郎編），P. 10，電友会本社地方本部日比谷同友会，1992.
- 7) 西村泰司，坪井成美：〔分担〕経皮的腎嚢造設術.”図説泌尿器科手術書”（吉田 修，三宅弘治，小柳知彦編），P. 42～43，メジカルビュー社，1992.
- 8) 坪井成美，秋元成太：〔分担〕ダブルビッグテイルカテーテル.”泌尿器科診療 Q&A”（町田豊平，今村一男，小川秋実，坂本公孝，園田孝夫編），P. 469～471，六法出版社，1992.
- 9) 坪井成美：〔分担〕内視鏡的腎盂形成術.”腎臓学 Key Notes”（長澤俊彦編），P. 230～231，東京医学社，1992.
- 10) 小川秀彌：〔分担〕前立腺肥大症と前立腺癌.”日常診療のためのワンポイントアドバイス500”（和田 攻，大久保昭行，永田直一，矢崎義雄編），P. 119，文光堂，1993.
- 11) 小川秀彌：〔分担〕女子入院患者の検尿・尿培養.”日常診療のためのワンポイントアドバイス500”（和田 攻，大久保昭行，永田直一，矢崎義雄編），P. 111，文光堂，1993.
- 12) 小川秀彌：〔分担〕尿管結石痙攣発作対策.”日常診療のためのワンポイントアドバイス500”（和田 攻，大久保昭行，永田直一，矢崎義雄編），P. 121，文光堂，1993.
- 13) 小川秀彌：〔分担〕体外式衝撃波結石破碎術の適応と限界.”日常診療のためのワンポイントアドバイス500”（和田 攻，大久保昭行，永田直一，矢崎義雄編），P. 121，文光堂，1993.
- 14) 西村泰司：〔分担〕膀胱鏡施行時の仙骨硬膜外麻酔.”モダンクリニカルポイント泌尿器科”（吉田 修，奥山明彦編），P. 24～25，金原出版，1993.
- 15) 秋元成太：〔分担〕泌尿器外科の動向.”今日の治療指針”（日野原重明，阿部正和監修），P. 441，医学書院，1993.
- 16) 秋元成太，沖 守：〔分担〕内視鏡検査と生検.”泌尿器科 Mook 5. 膀胱腫瘍治療の新しい展開”（吉田 修編），P. 66～77，金原出版，1993.

学会発表

- 1) Terashima, Y., Schoof, D.D.¹⁾, Eberlein, T.J.¹⁾, and Richie, J.P.¹⁾ (¹⁾Brigham and Women's Hospital)：〔一般講演〕Cytotoxic T-cell distribution and function against autologous tumors : evaluation by cloned tumor infiltrating lymphocytes (TIL) from renal cell carcinoma. 81th Annual Meeting of American Urological Association (Washington D.C.), 1992.
- 2) Terashima, Y., Peoples, G.E.¹⁾, Schoof, D.D.¹⁾, and Richie, J.P.¹⁾, Eberlein, T.J.¹⁾ (¹⁾Brigham and Women's Hospital)：〔展示〕Cytokine production and function by T-lymphocytes clones from renal cell carcinoma. 83th Annual Meeting of American Association of Cancer Research (San Diego), 1992.
- 3) 矢島勇臣，堀 夏樹，小川秀彌，西村 宏¹⁾，山口和克¹⁾ (¹⁾関東通信病院病理検査室)：〔一般講演〕膀胱異所性

前立腺組織の1例。第43回通信医学協会総会，1992。

- 4) 堀 夏樹，矢島勇臣，久保田正充¹⁾，小川秀彌，秋元成太（¹⁾関東通信病院泌尿器科）：〔一般講演〕腎細胞癌の経動脈化学療法；High stage 長期生存例の検討。第43回通信医学協会総会，1992。
- 5) 小川秀彌，矢島勇臣，堀 夏樹，久保田正充¹⁾，秋元成太（¹⁾関東通信病院泌尿器科）：〔一般講演〕膀胱腫瘍に対する抗腫瘍剤の膀胱腔内注入療法；第8報本法施行例の予後。第43回通信医学協会総会，1992。
- 6) 山形健治，近藤幸尋，北澤秀人¹⁾，井村伸正¹⁾，秋元成太（¹⁾北里大学薬学部）：〔一般演題〕尿路性器悪性腫瘍におけるCDDPの効果と耐性因子の検討。第80回日本泌尿器科学会総会，1992。
- 7) 堀内和孝，山田和彦，秋元成太：〔展示〕精巣腫瘍の臨床的検討。第80回日本泌尿器科学会総会，1992。
- 8) 小川秀彌，矢島勇臣，堀 夏樹，久保田正充¹⁾，平岡保紀，秋元成太（¹⁾関東通信病院泌尿器科）：〔展示〕腎良性疾患に対する経動脈的塞栓術の試み。第80回日本泌尿器科学会総会，1992。
- 9) 堀 夏樹，矢島勇臣，久保田正充¹⁾，小川秀彌，本田 了，川村直樹，秋元成太（¹⁾関東通信病院泌尿器科）：〔展示〕腎細胞癌（T1-T2）術前経動脈化学療法・化学塞栓の効果。第80回日本泌尿器科学会総会，1992。
- 10) 平岡保紀，原 眞，林 昭棟，木村 剛，根本 聡，陳 泮水¹⁾，小川秀彌，秋元成太（¹⁾右田病院）：〔ビデオ〕小さな前立腺肥大症に対するsemi-radical TURP。第80回日本泌尿器科学会総会，1992。
- 11) 山形健治，近藤幸尋，北澤秀人¹⁾，井村伸正¹⁾，秋元成太（¹⁾北里大薬学部）：〔一般講演〕各尿路性器悪性腫瘍におけるCDDPの効果と耐性因子の検討。第80回日本泌尿器科学会総会，1992。
- 12) 寺島保典，Schoof, D.D.¹⁾，Eberlein, T.J.¹⁾，Richie, J.P.¹⁾（¹⁾Brigham and Women's Hospital）：〔一般講演〕Antibody redirected lysisによる細胞障害性T細胞クローンの機能と自己腎腫瘍障害活性についての検討。第80回日本泌尿器科学会総会，1992。
- 13) 山田和彦，杉崎祐一¹⁾，秋元成太，山中宣昭¹⁾（¹⁾病理第1）：〔一般講演〕FK506による腎障害；投与中止後の変化について。第22回日本腎臓学会東部部会，1992。
- 14) 秋元成太：〔特別講演〕癌化学療法とメタロチオネイン。第82回静岡県泌尿器科医会，1992。
- 15) 千賀康弘，大場修司，小山明宏¹⁾（¹⁾国立東静岡病院放射線科）：〔一般講演〕術前化学療法が奏功した膀胱腫瘍の1例。第82回静岡県泌尿器科医会，1992。
- 16) 秋元成太：〔特別講演〕癌化学療法におけるメタロチオネイン変動の意義。第1回日本泌尿器科学会埼玉地方会，1992。
- 17) 千賀康弘，大場修司，広瀬始之，大原正雄，沖 守，長谷川 潤，坪井成美，矢島勇臣，秋元成太：〔一般講演〕急速な腎機能低下がみられた1例を含むIgA腎症25例の臨床病理学的検討。第484回日本泌尿器科学会東京地方会，1992。
- 18) 清水宏之，大原正雄，山田和彦，長谷川潤，吉田和弘，秋元成太：〔一般講演〕前立腺癌に合併した前立腺嚢腫。第485回日本泌尿器科学会東京地方会，1992。
- 19) 山田和彦，高木 豊¹⁾，飯野靖彦²⁾，天谷健二，杉澤 裕，平岡保紀，秋元成太，松信精一²⁾，山下精彦¹⁾（¹⁾付属病院中央検査室，²⁾内科第2）：〔一般講演〕m-FPIA法によるシクロスポリン血中濃度測定；測定過程の注意点及びm-RIA，HPLC法との測定値の比較。第7回シクロスポリン血中濃度研究会，1992。
- 20) 山田和彦：〔特別講演〕FPIA法及びRIA法の測定法の要点。第7回シクロスポリン血中濃度研究会，1992。
- 21) 西村泰司，坪井成美，吉田和弘，秋元成太，間庭裕子¹⁾，藤間弘行¹⁾，水町重範²⁾（¹⁾藤間病院，²⁾水町クリニック）：〔一般講演〕顕微鏡的血尿症例の尿路腫瘍スクリーニング。第1回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会，1992。
- 22) 寺島保典，Richie, J.P.¹⁾，Eberlein, T.J.¹⁾（¹⁾Brigham and Women's Hospital）：〔一般講演〕腎細胞癌に対するT細胞応答についての検討。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 23) 広瀬始之，原 眞，秋元成太：〔一般講演〕尿失禁のアンケート調査。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 24) 藤井克彦，久島英二，杉澤 裕，吉田和弘，秋元成太，富田 勝，佐藤正広¹⁾（¹⁾北村山公立病院人工透析室）：〔一般講演〕当院における血液浄化療法の現状。第60回日本医科大学医学会総会，1992。

- 25) 吉田和弘, 近藤幸尋, 坪井成美, 杉澤 裕, 秋元成太, 久島英二, 藤井克彦: [展示] 慢性透析患者にみられた悪性腫瘍. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 26) 鈴木 央, 堀内和孝, 沖 守, 杉澤 裕, 長谷川 潤, 坪井成美, 西村泰司, 秋元成太: [展示] 自然排尿管路変向術(膀胱置換術)の経験. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 27) 高木 豊¹⁾, 山田和彦, 田中久美¹⁾, 佐藤寛之¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦¹⁾ (¹⁾中央検査部): [展示] モノクローナル抗体を用いた FPIA 法による全血中シクロスポリン濃度測定の有用性について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 28) 渡辺 潤, 服部智任, 天谷健二, 佐藤三洋, 寺島保典, 川村直樹, 秋元成太: [一般講演] 進行性腎細胞癌患者に対する Interferon- α , Interleukin-2及び Lymphokine Activated Killer-cell を用いた併用免疫療法の試み. 第30回日本癌治療学会総会, 1992.
- 29) 寺島保典, Schoof, D.D.¹⁾, Eberlein, T.J.¹⁾, Richie, J.P.¹⁾, 秋元成太 (¹⁾Brigham and Women's Hospital): [展示] 腎細胞癌より分離した T cell clone の免疫生物学的検討; Antibody redirected lysis による細胞障害能及び cytokine 産生能について. 第30回日本癌治療学会総会, 1992.
- 30) 寺島保典, Schoof, D.D.¹⁾, Eberlein, T.J.¹⁾, Richie, J.P.¹⁾, 秋元成太 (¹⁾Brigham and Women's Hospital): [一般講演] 腎癌腫瘍浸潤リンパ球クローンの細胞障害活性及び cytokine 産生能についての検討. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 31) 渡辺 潤, 服部智任, 天谷健二, 佐藤三洋, 寺島保典, 川村直樹, 秋元成太: [展示] 進行性腎細胞癌患者に対する IFN- α , IL-2及び LAK cell を用いた併用免疫療法と患者末梢血リンパ球の NK 活性の変化. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 32) 西村泰司: [特別講演] 腎腫瘍と免疫. 第57回日本泌尿器科学会東部総会, 1992.
- 33) 吉田和弘: [卒後生涯教育プログラム] 内視鏡的腎盂・尿管生検(主題: 生検法の基礎と臨床) 第57回日本泌尿器科学会東部総会, 1992.
- 34) 沖 守, 本田 了: [パネルディスカッション] 上部尿路結石治療後の再発に関する検討. 第57回日本泌尿器科学会東部総会, 1992.
- 35) 坪井成美: [ワークショップ] アレキサンドライト・レーザーによる尿路結石の破碎成績. 第57回日本泌尿器科学会東部総会, 1992.
- 36) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理第1): [一般講演] FK506による腎障害一投与中止後の血中・臓器内濃度および形態学的検討一. 第28回日本移植学会総会, 1992.
- 37) 山田和彦, 平岡保紀, 高橋公太¹⁾ (¹⁾東京女子医大泌尿器科): [一般講演] 右後腹膜腫瘍摘出後2週間を経過した腎動脈狭窄に対し, 右自家腎移植を施行した1例. 第8回腎移植血管外科研究会, 1992.
- 38) 千賀康弘, 大場修司, 廣瀬始之, 大原正雄, 秋元成太: [一般講演] 経皮的腎瘻造設術を施行した患者の臨床的検討. 第42回日本泌尿器科学会中部総会, 1992.
- 39) 沖 守, 廣瀬始之: [シンポジウム] 腹腔鏡を用いた膀胱及び膀胱周囲組織生検法; メチレンブルーを利用した新しい膀胱癌浸潤度判定法. 第6回日本 E&E 学会総会, 1992.
- 40) 坪井成美, 沖 守, 本田 了, 清水宏之, 廣瀬始之, 堀内和孝, 杉澤 裕, 長谷川 潤, 西村泰司, 秋元成太: [展示] 経皮的尿管結石摘出術の長期予後. 第6回日本 E&E 学会総会, 1992.
- 41) 小川秀彌, 矢島勇臣, 堀 夏樹, 久保田正充¹⁾, 石井洋二, 堀内和孝, 廣瀬始之, 秋元成太 (¹⁾関東通信病院泌尿器科): [展示] 膀胱および尿道結石に対する Electrohydraulic lithotripsy. 第6回日本 E&E 学会総会, 1992.
- 42) 渡辺 潤, 寺島保典, 天谷健二, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] *In Vitro* Sensitization (IVS) 及び H-CSF を用いた自己腎細胞癌に対する Cytotoxic Lymphocytes (CTL) の誘導. 第22回日本免疫学会, 1992.
- 43) 小川秀彌, 矢島勇臣, 堀 夏樹, 久保田正充¹⁾, 石井洋二, 沖 守, 富田 勝, 秋元成太 (¹⁾関東通信病院泌尿器科): [一般講演] 高度機能障害腎に対する純エタノール使用の動脈塞栓術. 第44回日本泌尿器科学会西日本総

会, 1992.

- 44) 吉田和弘：〔招請講演〕エイズについて；泌尿器科の立場からその感染と予防法を中心に，第2回区民のための健康教室，1992.
- 45) 濱崎 務，本田 了，坪井成美，秋元成太：〔一般講演〕精巣類上皮嚢胞，第486回日本泌尿器科学会東京地方会，1992.
- 46) 千賀康弘，大場修司，秋元成太：〔一般講演〕多房性嚢胞状腎細胞癌の1例，第487回日本泌尿器科学会東京地方会，1992.
- 47) 大沢秀一，清水宏之，坪井成美，沖 守，秋元成太：〔一般講演〕成人に発生した原発性膀胱横紋筋肉腫の1例，第487回日本泌尿器科学会東京地方会，1992.
- 48) 山田和彦，杉崎祐一¹⁾，秋元成太，山中宣昭¹⁾（¹⁾病理第1）：〔展示〕腎輸入細動脈および糸球体におけるJG細胞化-FK506投与ラットにおける検討，第35回日本腎臓学会総会，1992.
- 49) Akimoto, M.：〔シンポジウム〕Clinical use of a bismuth compound as an adjunct in chemotherapy with cis-DDP against human urogenital tumors. 3rd International Meeting on Metallothionein, 1992.
- 50) 沖 守，廣瀬始之，長谷川潤，坪井成美，秋元成太：〔一般講演〕腹腔鏡による膀胱及び膀胱周囲組織生検法；メチレンブルーを用いた新しい膀胱癌浸潤と測定法，第2回泌尿器科腹腔鏡下手術研究会，1992.
- 51) 清水宏之，本田 了，沖 守，長谷川 潤，坪井成美，秋元成太：〔一般講演〕外陰部硬化性脂肪肉芽腫の2例，第488回日本泌尿器科学会東京地方会，1993.
- 52) 大場修司，千賀康弘：〔一般講演〕腎盂腫瘍に対する経尿道的尿管引き抜き術の検討，第83回静岡県泌尿器科医学会，1993.
- 53) 寺島保典，Schoof, D.D.¹⁾，Eberlein, T.J.¹⁾，Richie, J.P.¹⁾，秋元成太（¹⁾Brigham and Women's Hospital）：〔一般講演〕腎細胞癌に対するT細胞応答について，第2回泌尿器科細胞解析研究会，1993.
- 54) 山本史郎，寺島保典，秋元成太：〔一般講演〕ヒト前立腺癌に対する血管新生阻害剤AGM1470の抗腫瘍効果，第489回日本泌尿器科学会東京地方会，1993.
- 55) 吉田和弘：〔一般講演〕最近の急性尿道炎に対する治療現況，日本医科大学医学会第79回例会，1993.
- 56) 清水宏之，長谷川 潤，沖 守，秋元成太：〔一般講演〕陰茎弯曲症；陰茎海綿体内 Prostaglandin E1投与を利用して手術した1例，第3回日本インポテンス学会東部地方会，1993.
- 57) 山田和彦，藤岡良彰¹⁾，桐山 功¹⁾，海老原善朗²⁾，秋元成太，鈴木 央（¹⁾河北総合病院泌尿器科，²⁾同病理部）：〔一般講演〕AFP産生膀胱腫瘍の1例，第490回日本泌尿器科学会東京地方会，1993.

〔第一病院泌尿器科〕

研究概要

第一病院泌尿器科の研究は，泌尿生殖器系の癌，特に前立腺癌の基礎的実験と，臨床的研究に重点を置いたものに大別される。

本年度は，泌尿生殖器癌に対する免疫療法の評価や，膀胱内 BCG 注入療法後に発生した肉芽腫性前立腺炎，慢性前立腺炎の診断治療，膀胱癌の再発防止対策，腎癌の画像診断などの研究結果を報告した。

また，“日常医療のためのワンポイントアドバイス500”や“動物培養細胞マニュアル”などに分担著書を発行した。学会発表は，ヒト前立腺癌細胞株における oncogene に関する研究，および前立腺癌の骨転移について血清オステオカルチンの測定の意義や，前立腺癌モデルに対する造血系サイトカインと免疫賦活剤の併用効果などについて研究発表を行った。

さらに最近の泌尿器科外来で扱った STD の傾向と意義について報告した。

これらの研究はさらに来年度へと展開し，第一病院泌尿器科の研究テーマとして継続していこうと考えている次第

である。

研究業績

論文

- 1) 中神義三：〔原著〕非特異的免疫賦活剤（OK432, PSK）の泌尿生殖器癌に対する評価（特集：泌尿生殖器がん免疫療法の評価）。泌尿器外科，5，209～214，1992。
- 2) 池田一則，阿部裕行，中神義三，原 眞¹⁾，平岡保紀¹⁾，木村 剛¹⁾，佐藤三洋²⁾，天谷健二²⁾，山本史郎²⁾，鈴木 央²⁾，杉澤 裕²⁾，長谷川潤²⁾，秋元成太²⁾（¹⁾多摩永山病院泌尿器科，²⁾付属病院泌尿器科）：〔原著〕女子腹圧性尿失禁に対する手術：Raz 法と Gittes 法の比較。泌尿紀要，38，1117～1121，1992。
- 3) 岡 史篤，丹羽直樹，池田一則，伊藤 博，阿部裕行，中神義三：〔報告〕膀胱内 BCG 注入療法後に発生した肉芽腫性前立腺炎の 1 例。西日本泌尿器科，54，887～889，1992。
- 4) 中神義三：〔原著〕慢性前立腺炎の診断と治療。日医大誌，59，471～474，1992。
- 5) 中神義三，阿部裕行，伊藤 博，岸本 孝¹⁾，岡田清己¹⁾，垣添忠生²⁾，滝本至得³⁾，野垣譲二³⁾，三木 誠⁴⁾，松本哲夫⁴⁾，東間 紘⁵⁾，中沢速和⁵⁾，今村一男⁶⁾，吉田英機⁶⁾，松垣昌夫⁶⁾，斉藤 功⁷⁾，小島弘敬⁸⁾，町田豊平⁹⁾，赤阪雄一郎⁹⁾，北川龍一¹⁰⁾，藤目 真¹⁰⁾，川口安夫¹¹⁾，藤田公生¹²⁾，穂坂正彦¹³⁾，窪田吉信¹³⁾，松本恵一¹⁴⁾，甲斐祥生¹⁴⁾，小野寺恭忠¹⁴⁾，福島修司¹⁵⁾，長山忠雄¹⁶⁾，丸岡正幸¹⁶⁾，山中英寿¹⁷⁾，今井強一¹⁷⁾，猿木和久¹⁸⁾，佐藤 仁¹⁹⁾，熊坂文成¹⁹⁾，清水俊寛¹⁹⁾，坂田安之輔²⁰⁾，渡辺 学²⁰⁾，瀬川昭夫²¹⁾，本多靖明²¹⁾，河田幸道²²⁾，栗山 学²²⁾，土田正義²³⁾，原田 忠²³⁾，鈴木駿一²⁴⁾，沼沢和夫²⁵⁾，中島聰總²⁶⁾（¹⁾日大板橋病院，²⁾国立がんセンター，³⁾日大駿河台病院，⁴⁾東京医大，⁵⁾東京女子医大，⁶⁾昭和大，⁷⁾東京共済病院，⁸⁾日赤医療センター，⁹⁾東京慈恵医大，¹⁰⁾順天堂大，¹¹⁾佼成病院，¹²⁾国立病院医療センター，¹³⁾横浜市立大，¹⁴⁾昭和大学藤が丘病院，¹⁵⁾横浜市立市民病院，¹⁶⁾千葉県がんセンター，¹⁷⁾群馬大，¹⁸⁾日高病院，¹⁹⁾群馬県立がんセンター東毛病院，²⁰⁾県立がんセンター新潟病院，²¹⁾愛知医科大，²²⁾岐阜大，²³⁾秋田大，²⁴⁾仙台社会保険病院，²⁵⁾三鷹北口病院，²⁶⁾癌研付属病院消化器外科）：〔原著〕表在性膀胱癌の術後再発防止に対する BRM 製剤（OK-432）の検討。西日本泌尿器科，54，1276～1283，1992。
- 6) 中神義三：〔総説〕前立腺炎の序論。東京医師会誌，45，10～15，1992。
- 7) 阿部裕行，中神義三，伊藤 博，池田一則，岡 史篤：〔総説〕腎腫瘍。癌治療。今日と明日，14，42～44，1992。

著書

- 1) 中神義三：〔分担〕男性患者におけるバルンカテーテル挿入の注意点，“日常医療のためのワンポイントアドバイス500”（Medical Practice 編集委員会編），P. 113，文光堂，1993。
- 2) 阿部裕行：〔分担〕採尿方法によって尿所見はかわる，“日常医療のためのワンポイントアドバイス500”（Medical Practice 編集委員会編），P. 110，文光堂，1993。
- 3) 中神義三，林 昭棟¹⁾，石崎良太郎²⁾（¹⁾多摩永山病院泌尿器科，²⁾日獣大分子腫瘍研）：〔分担〕前立腺癌 PC-3，“研究テーマ別動物培養細胞マニュアル”（瀬野悍二，小山英機，黒木登志夫編著），P. 175～176，共立出版，1993。

学会発表

- 1) 岡 史篤，中神義三，阿部裕行，伊藤 博，池田一則，丹羽直樹：〔展示〕ヒト前立腺癌細胞株における oncogene に関する研究（第 1 報）。第 80 回日本泌尿器科学会総会，1992。
- 2) 丹羽直樹，中神義三，阿部裕行，伊藤 博，池田一則，岡 史篤：〔一般講演〕尿路性器癌に対する抗癌化学療法時の副作用防止対策としての G-CSF の効果に関する検討（第 2 報）。第 80 回日本泌尿器科学会総会，1992。
- 3) 伊藤 博，中神義三，池田一則，岡 史篤，阿部裕行：〔一般講演〕進行性前立腺癌に対する治療法の検討。日本外科系連合学会第 17 回学術集会，1992。
- 4) 中神義三，阿部裕行，伊藤 博，池田一則，岡 史篤：〔一般講演〕膀胱癌に対する機能温存手術（TURBt）

後の再発防止方法の検討。日本外科系連合学会第17回学術集会，1992。

- 5) Abe, H., Nakagami, Y.J., Ito, H., Ikeda, K., and Oka, F.: [一般講演] Clinical evaluation on serum osteocalcin in advanced prostate cancer patients, 中華民国泌尿器科医国際交流会, 1992.
- 6) 阿部裕行, 中神義三, 伊藤 博, 池田一則, 岡 史篤: [展示] ヒト前立腺癌由来細胞株を用いた温熱・化学療法に関する検討。第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 7) 岡 史篤, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 池田一則, 石崎良太郎¹⁾ (¹⁾日獣大分子腫瘍研): [展示] ヒト前立腺癌細胞株における oncogene に関する研究。第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 8) 池田一則, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 岡 史篤: [一般講演] 前立腺癌モデルに対する造血系サイトカインと免疫賦活剤の併用について。第30回日本癌治療学会総会, 1992.
- 9) 中神義三, 並松茂樹¹⁾, 中村進一¹⁾, 小黒辰夫²⁾, 佐佐木喜広²⁾, Ghazizadeh, M.²⁾, 相原 薫²⁾, 矢島権八²⁾, 浅野伍朗³⁾ (¹⁾第一病院中央研, ²⁾中央電子顕微鏡研, ³⁾病理学第2): [一般講演] PATSC-GMS 染色法による各種腎臓疾患における電顕的応用。第24回臨床電子顕微鏡学会, 1992.
- 10) 阿部裕行, 中神義三, 伊藤 博, 池田一則, 岡 史篤: [展示] ヒト前立腺癌由来細胞株を用いた温熱・化学療法に関する検討。第51回日本癌学会総会, 1992.
- 11) 岡 史篤, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 池田一則, 石崎良太郎¹⁾ (¹⁾日獣大分子腫瘍研): [展示] ヒト前立腺癌細胞株における oncogene に関する研究 (第2報)。第51回日本癌学会総会, 1992.
- 12) 伊藤 博, 池田一則, 岡 史篤, 阿部裕行, 中神義三: [一般講演] 最近泌尿器科外来で扱った STD の傾向と意義。日本医科大学医学会第79回例会, 1993.

[第二病院泌尿器科]

研究概要

- ① 尿路生殖器腫瘍の腫瘍マーカー、特に血清 BFP (Basic fetoprotein) の臨床的研究。
- ② 尿路上皮腫瘍における尿中 BFP および尿細胞診との相関についての研究。
- ③ 尿路感染症の臨床的研究。

研究業績

論文

- 1) 町田豊平¹⁾, 秋元成太²⁾, 富田 勝, 引間規夫 (¹⁾東京慈恵医大泌尿器科, ²⁾付属病院泌尿器科): [原著] 複雑性尿路感染症に対する lomefloxacin の至適投与量の検討。化学療法の領域, 8, 148~161, 1992.

学会発表

- 1) 佐藤三洋, 渡辺 潤¹⁾, 服部智任, 天谷健二¹⁾, 西村泰司¹⁾, 秋元成太¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科): [一般講演] 転移性腎細胞癌に対する IFN- α , IL-2, LAK を用いた併用免疫療法。第80回日本泌尿器科学会総会, 1992.
- 2) 引間規夫, 服部智任, 山田晋介, 富田 勝: [展示] 尿中 BFP の臨床的検討。第80回日本泌尿器科学会総会, 1992.
- 3) 佐藤三洋, 大原正雄, 引間規夫: [展示] 女子傍尿道腫瘍の1例。第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

[多摩永山病院泌尿器科]

研究概要

当科は開設して4年になるが研究業績の主なものは次のようなものである。

前立腺肥大症：前立腺肥大症に対する平岡式経尿道的前立腺剝離切除術は1984年に開始して以来1,000例を超えている。本術式は安全に肥大腺腫を完全切除ができる唯一の内視鏡手術である。原著3，著書2，招請講演1，学会発表4（平岡，林）

前立腺癌：平岡式経尿道的前立腺剝離切除術は内腺と外腺とを確実に区別して組織が得られるという特徴がある。この特徴を生かして、内腺を完全切除したあと、外腺を生検切除する平岡式 Semi-radical TURP 法を開発した。これにより、前立腺偶発癌の見落としが一番少ない方法であり、外腺域内の癌の残存の有無までも知ることができるという新しい道を開いている。原著2，学会発表3（平岡，林）

膀胱癌：進行性膀胱癌の微小転移の存在と、その転移経路としては組織間隙性転移の発見を我々が行っている。最近、治療としては組織間隙内抗癌剤投与という新しい治療法の開発を行っている。（平岡）

腎移植：免疫抑制剤 FK506 の腎障害の研究，シクロスポリン血中濃度測定方法の改良，原著3，学会発表6（山田）

腎癌：腎癌に対する免疫療法の試みについて，癌学会などでの発表がある。（渡辺）

研究業績

論文

- 1) Yamada, K., Sugisaki, Y.¹⁾, Akimoto, M., and Yamanaka, N.¹⁾ (¹⁾病理第1)：〔原著〕 New morphological changes induced by FK506 in a short period in the rat kidney and the effect of superoxide dismutase and OKY-046 on them. Transplantation International., 5, 564~567, 1992.
- 2) 早坂勇太郎¹⁾, 高橋公太¹⁾, 八木沢隆¹⁾, 有賀悦子¹⁾, 山田和彦, 中沢速和¹⁾, 寺岡 慧¹⁾, 東間 紘¹⁾, 阿岸鉄三¹⁾, 太田和夫¹⁾ (¹⁾東京女子医科大学腎臓病総合医療センター)：〔原著〕メチルブレドニゾロン誘導体，U-67, 590A の免疫抑制効果に関する基礎的検討。今日の移植，5, 397~402, 1992.
- 3) 杉澤 裕，堀内和孝，長谷川潤，原 眞，坪井成美，吉田和弘，平岡保紀，西村泰司，秋元成太，川村直樹：〔原著〕Kock 回腸膀胱および Indiana pouch の臨床的検討。泌尿紀要，38, 775~781, 1992.
- 4) 平岡保紀，原 眞，木村 剛，林 昭棟，根本 総，小川秀弥：〔原著〕Semi-radical TURP 施行時に誘発される前立腺被膜の反射性収縮；閉鎖神経ブロックによる反射性収縮の予防効果。西日泌尿，54, 1022~1024, 1992.
- 5) 平岡保紀，原 眞，林 昭棟，根本 総，陳 泮水：〔原著〕経尿道的前立腺剝離切除術および Semi-radical TURP 施行時に誘発される前立腺被膜の反射性収縮；頻度と発現部位。西日泌尿，54, 1000~1002, 1992.
- 6) Yamada, K., Sugisaki, Y.¹⁾, Akimoto, M., and Yamanaka, N.¹⁾ (¹⁾病理第1)：〔原著〕FK506-Induced juxtaglomerular apparatus hyperplasia and tubular damage in rat kidney (morphologic and biologic analysis). Transplantation Proceedings, 24, 1396~1398, 1992.
- 7) 町田豊平，平岡保紀，他：〔原著〕複雑性尿路感染症に対する lomefloxacin の至適投与量の検討；400mg（分2）/日と600mg（分3）/日との比較。化学療法の領域，8, 148~161, 1992.
- 8) 山田和彦，高木 豊¹⁾，飯野靖彦²⁾，杉澤 裕，天谷健二，松信精一²⁾，平岡保紀，山下精彦¹⁾，秋元成太¹⁾（付属病院中央検査室，²⁾内科第2）：〔原著〕m-FPIA 法によるシクロスポリン血中濃度測定；測定過程の注意点と HPLC 法，m-PIA 法との比較。今日の移植，5, 499~503, 1992.
- 9) 平岡保紀：〔原著〕前立腺肥大症に対する新しい治療法。日本医事新報，3583, 15~19, 1992.
- 10) 清水宏之，大原正雄，山田和彦，長谷川潤，吉田和弘，秋元成太：〔報告〕前立腺癌に合併した前立腺嚢腫。臨泌，47, 56~58, 1993.

著書

- 1) 平岡保紀，秋元成太：〔分担〕前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺剝離切除術と前立腺バルーン拡張術。P. 50~59, 医業ジャーナル，1992.

- 2) 平岡保紀, 土田正義, 小柴 健, 小磯謙吉, 岡田清己, 秋元成太: [分担] 前立腺肥大症のトピック, P. 71~97, 医薬ジャーナル, 1992.

学会発表

- 1) 林 昭棟, 平岡保紀, 木村 剛, 原 眞, 秋元成太, 陳 泮水: [一般講演] 平岡式 Semi-radical TURP 法による前立腺偶発癌の検討, 第80回日本泌尿器科学会総会, 1992.
- 2) 平岡保紀, 原 眞, 林 昭棟, 木村 剛, 根本 総, 陳 泮水, 小川秀弥, 秋元成太: [ビデオ] 小さい前立腺肥大症に対する Semi-radical TURP, 第80回日本泌尿器科学会総会, 1992.
- 3) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理第1): [一般講演] FK506による腎障害; 投与中止後の変化について, 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 4) 山田和彦, 高木 豊¹⁾, 飯野靖彦²⁾, 天谷健二, 杉澤 裕, 平岡保紀, 秋元成太, 松信精一²⁾, 山下精彦¹⁾ (¹⁾付属病院中央検査室, ²⁾内科第2): [一般講演] m-FPIA 法によるシンクロポリン血中濃度測定; 測定過程の注意点及び m-RIA, HPLC 法との測定値の比較, 第7回シンクロポリン血中濃度研究会, 1992.
- 5) 清水宏之, 大原正雄, 山田和彦, 長谷川潤, 吉田和弘, 秋元成太: [一般講演] 前立腺癌に合併した前立腺嚢腫, 第485回日本泌尿器科学会東京地方会, 1992.
- 6) 山田和彦: [特別講演] FPIA 法及び RIA 法の測定法の要点, 第7回シンクロポリン血中濃度研究会, 1992.
- 7) 林 昭棟, 平岡保紀, 渡辺 潤, 沼沢和夫, 根本 総, 山田和彦: [一般講演] Semi-radical TURP 法で発見された前立腺偶発癌, 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 8) Hayashi, A., Hiraoka, Y., Yamada, K., Nemoto, S., Numazawa, K., and Akimoto, M.: [一般講演] Contractile reflex of the prostate capsule induced during semi-radical transurethral prostatotomy (Thema: prevention of the reflex with obturator nerve), 9th Japan-Korea Urological Congress (Tokyo), 1992.
- 9) 渡辺 潤, 服部智任, 天谷健二, 佐藤三洋, 寺島保典, 川村直樹, 秋元成太: [展示] 進行性腎細胞癌患者に対する IFN- α , IL-2 及び LAK cell を用いた併用免疫療法と患者末梢血リンパ球の NK 活性の変化, 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 10) 渡辺 潤, 服部智任, 天谷健二, 佐藤三洋, 寺島保典, 川村直樹, 秋元成太: [一般講演] 進行性腎細胞癌患者に対する Interferon- α , Interleukin-2 及び Lymphokine Activated Killer-cell を用いた併用免疫療法の試み, 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 11) 高木 豊¹⁾, 山田和彦, 田中久美¹⁾, 佐藤寛之¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦¹⁾ (¹⁾付属病院中央検査室): モノクローナル抗体を用いた FPIA 法による全血中シクロスポリン濃度測定の有用性について, 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 12) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理第1): [一般講演] FK506による腎障害; 投与中止後の血中・腎臓内濃度および形態学的検討, 第28回日本移植学会総会, 1992.
- 13) 渡辺 潤, 寺島保典, 天谷健二, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] *In Vitro* sensitization (IVS) 及び M-CSF を用いた自己腎細胞癌に対する cytotoxic T lymphocytes (CTL) の誘導, 第22回日本免疫学会, 1992.
- 14) 平岡保紀: [招請講演] TUR-P の手術の工夫, 第5回横浜泌尿器科セミナー, 1992.
- 15) 山田和彦, 平岡保紀, 高橋公太¹⁾ (¹⁾東京女子医科大学泌尿器科): [一般講演] 右後腹膜腫瘍摘出後2週間を経過した腎動脈狭窄に対し, 右自家腎移植を施行した1例, 第8回腎移植血管外科研究会, 1992.
- 16) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 山中宣昭¹⁾, 秋元成太 (¹⁾病理第1): [展示] 腎輸入細動脈および糸球体における JG 細胞化; FK506投与ラットにおける検討, 第35回日本腎臓学会総会, 1992.
- 17) 丹羽直樹¹⁾, 江上 格¹⁾, 中島米治郎¹⁾, 和田雅世¹⁾, 小川芳雄¹⁾, 長谷川博一¹⁾, 吉村和泰¹⁾, 石川紀行¹⁾, 渡辺 学¹⁾, 美濃部かおり¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 平岡保紀, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾外科第1): [一般講演] 膀胱炎症状にて発症した S 字結腸癌の1例, 第747回外科集談会, 1992.

- 18) 平岡保紀, 林 昭棟, 渡辺 潤, 根本 総, 沼沢和夫: [一般講演] 膀胱腫瘍の転移経路, 特に組織間隙性転移経路について. 第9回多摩地区泌尿生殖器悪性腫瘍症例検討会, 1993.
- 19) 山田和彦, 藤岡良彰¹⁾, 桐山 功¹⁾, 海老原善朗²⁾, 秋元成太, 鈴木 央(¹⁾河北総合病院泌尿器科, ²⁾同病理部): [一般講演] AFP 産生膀胱腫瘍の1例. 第490回日本泌尿器科学会東京地方会, 1993.

16. 眼科学講座

[付属病院眼科・第一病院眼科・第二病院眼科・多摩永山病院眼科]

研究概要

教室の研究成果は、結膜についてはアレルギー性結膜炎患者の動向、特に増加と環境因子に関して居住地域、住宅構造の違いを検討した。市街地、田舎ではその発症に差は認められなかったが、コンクリート住宅、木造住宅ではコンクリート住宅居住者に発症の増加傾向が認められた。また、スギ花粉症に伴う結膜炎において、スギ花粉成分の結膜上皮への侵入を動物モデル、スギ花粉症患者で電顕的に観察し、いわゆる結膜上皮の非特異的障害の存在を認めた。

白内障については、光感受性物質である pheophorbide-a や hematoporphrin による白内障の発生に成功し、病理、生化学的に検討された。低カルシウム白内障では Ca-ATPase について、エンドトキシン白内障では LPS により水晶体の透過性や局在が検討された。

網膜については、電気生理学的研究が行われ、網膜静脈分枝閉塞症には網膜静止電位 (EOG) と網膜律動様小波 (OPs) に異常を示したため、網膜内層の機能が選択的に侵されていることが明らかとなった。EOG は網膜内層の虚血状態に強く影響される検査法であることが判明した。

コンタクトレンズ (CL) について、ガス透過係数 (Dk) の測定、防腐剤の CL への影響、CL のデザインについて報告が行われた。含水ソフトレンズは水分を含むため、Dk 値を測定することは難しいが、試料をガス透過性ハードレンズ材料の平板で挟むことで加圧式容積法で測定法が開発された。点眼剤や CL 保存液に含まれる防腐剤、特に塩化ベンザルコニウムは CL に取り込みがみられた。角膜障害の原因となる。また、ガス透過性レンズのデザインも角膜障害の原因となることが判明した。

研究業績

論文

- 1) 原 彰, 三浦雅博, 長友万里子: [原著] 網膜静脈分枝閉塞症にみられる律動様小波の低下. 臨眼, 47, 472~473, 1993.
- 2) 三浦雅博, 福與貴秀¹⁾, 菅田安男¹⁾, 原 彰, 清水由規 (¹⁾東京都立駒込病院眼科): [原著] 白内障手術に用いた 10-0 ナイロン糸の変化. 眼紀, 44, 137~141, 1993.
- 3) 鈴木さや佳, 良田夕里子, 安久津靖彦, 原 彰: [原著] 間歇性眼球突出を示した 1 例. 眼科, 35, 381~384, 1993.
- 4) 佐藤佳治, 良田夕里子, 原 彰: [原著] 網膜剥離手術後離床の早期化について. 眼臨, 87, 481~485, 1993.
- 5) 保津治道, 良田夕里子, 中込 豊, 原 彰: [原著] 骨形成不全に巨大裂孔を認めた 1 例. 眼臨, 87, 589~593, 1993.
- 6) 平岡美紀, 三浦雅博, 富川節子, 白井由佳子, 中山滋章, 原 彰: [原著] 色素性静脈周囲網脈絡膜萎縮の 3 例. 眼紀, 44, 99~104, 1993.
- 7) 三浦雅博, 清水由規: [原著] 270度の範囲にわたり出血した Hemi-Central Retinal Vein Occlusion の 1 例. 眼紀, 44, 83~86, 1993.
- 8) 佐藤和義, 白井由佳子, 南野麻美, 朝岡 守, 中山滋章: [原著] 球状水晶体による続発緑内障の 1 例. あたらしい眼科, 9, 1379~1383, 1992.
- 9) 水谷由紀夫: [原著] 加圧式容積法によるソフトコンタクトレンズ材料の Dk 値の測定. 日コレ誌, 34, 283~288, 1992.

- 10) 水谷 聡, 水谷由紀夫, 他:〔原著〕コンタクトレンズと防腐剤の影響について(第1報);取り込みと放出. 日コレ誌, 34, 267~276, 1992.
- 11) 河野素子, 水谷由紀夫, 他:〔原著〕コンタクトレンズと防腐剤の影響について(第2報);RGPCL 素材における BAK の研究. 日コレ誌, 34, 277~282, 1992.
- 12) 熊川美代子, 岩沢博俊, 小林博和, 禰津直久, 中山滋章, 山口 潤¹⁾, 大塚博邦¹⁾(¹⁾耳鼻咽喉科学):〔原著〕釘頭部が上眼窩裂に嵌頓した1例. 眼臨, 86, 1992.
- 13) 白井由佳子, 尾崎憲子, 熊川美代子, 中山滋章, 清水由規:〔原著〕片眼の円錐角膜に白内障を合併し水晶体の形態異常が疑われた1例. 眼臨, 87, 786~790, 1992.
- 14) 松葉眞理子, 高橋 浩, 雑賀寿和, 清水由規, 小林士郎:〔原著〕塞栓術施行後に, 網膜中心静脈閉塞症を合併した硬膜動脈海綿静脈洞瘻. 眼臨, 87, 652~656, 1992.
- 15) 三国郁夫¹⁾, 清水由規, 雑賀寿和, 木暮文雄²⁾, 湯浅武之助³⁾, 小川陽也⁴⁾(¹⁾東海大学医学部眼科学教室, ²⁾独協医科大学眼科学教室, ³⁾大阪大学医学部眼科学教室, ⁴⁾愛媛大学医学部薬理学教室):〔原著〕アレルギー性結膜炎および春季カタルに対するトラニラスト点眼液の臨床評価. 臨床医薬, 9, 669~683, 1993.
- 16) 後藤伸彰, 大木 薫, 宮里和明, 川辺幹男, 小柴良博, 清水由規:〔原著〕Amiodarone keratopathy の2例および実験的アミオダロン角膜症の電顕的検索. 眼科, 11, 1389~1393, 1992.
- 17) 堀田一樹, 中村 健, 雑賀寿和, 清水由規:〔原著〕アトピー性角結膜炎患者の涙液クリアランス. 臨眼, 47, 392~393, 1992.
- 18) 池田桐子, 清水暢夫, 斉藤正人¹⁾, 原 文男¹⁾(¹⁾第二病院内科):〔原著〕原発性胆汁性肝硬変に合併した眼球突出の1例. 臨眼, 47, 321~324, 1993.
- 19) 雑賀寿和:〔原著〕アトピー性角結膜炎の薬物治療. Pharma Medica, 10, 153~155, 1992.
- 20) 雑賀寿和:〔総説〕コンタクトレンズとアレルギー性結膜炎. あたらしい眼科, 9, 1845~1851, 1992.
- 21) 雑賀寿和:〔総説〕アトピー性角結膜炎;アトピー性皮膚炎に伴う眼病変について. Allergy Update, 4, 1~4, 1992.
- 22) 雑賀寿和, 清水由規:〔総説〕好酸球の機能と臨床. 日本臨床, 51, 270~273, 1993.
- 23) 雑賀寿和, 清水由規:〔総説〕特集アレルギー性結膜炎. Nano Ophthalmology, 3, 6~8, 1993.
- 24) 高橋 浩, 清水由規:〔総説〕放射線技師のための眼科学(1). 日放線技師会誌, 39, 1415~1419, 1992.
- 25) 高橋 浩, 清水由規:〔総説〕放射線技師のための眼科学(2). 日放線技師会誌, 39, 1493~1496, 1992.
- 26) 高橋 浩, 清水由規:〔総説〕放射線技師のための眼科学(3). 日放線技師会誌, 40, 177~182, 1993.

著 書

- 1) 清水由規:〔分担〕眼科薬物療法ハンドブック. 1. 薬物療法の実際, 白内障(東 郁郎編). p. 50~56, ミクス, 1992.
- 2) 富川節子:〔総説〕眼科医が書いたメガネ・コンタクトレンズの本. 大泉書店, 1992.

学会発表

- 1) 清水由規, 小林茂樹, Than Win, 大網 弘¹⁾, 鈴木善博²⁾(¹⁾老人病研究所, ²⁾研究棟):〔一般講演〕Pheophorbide a による白内障. 第96回日本眼科学会総会, 1992.
- 2) 小林茂樹, Than Win, 阿部靖子¹⁾, 岡崎太郎¹⁾, 清水由規(¹⁾生化学第1):〔一般講演〕フェオフォルバイド a による実験的白内障. 第31回日本白内障学会, 1992.
- 3) 魚谷史子, 清水由規:〔展示〕エンドトキシン白内障における LPS の局在. 第96回日本眼科学会総会, 1992.
- 4) 佐藤和義, 白井由佳子, 南野麻美, 朝岡 守, 中山滋章:〔一般講演〕球状水晶体による続発緑内障の1例. 第2回日本緑内障学会, 1992.

- 5) 平岡美紀, 三浦雅博, 富川節子, 白井由佳子, 中山滋章, 原 彰〔一般講演〕色素性静脈周囲網脈絡膜萎縮の3例. 第30回北日本眼科学会, 1992.
- 6) 三浦雅博, 長友万里子, 原 彰:〔一般講演〕網膜静脈分枝閉塞症にみられる律動様小波の低下. 第46回日本臨床眼科学会, 1992.
- 7) 三浦雅博, 清水由規:〔一般講演〕270度の範囲にわたり出血した Hemi-Central Retinal Vein Occlusion の1例. 第62回九州眼科学会, 1992.
- 8) 三浦雅博, 福與貴秀¹⁾, 菅田安男¹⁾, 原 彰, 清水由規 (¹⁾東京都立駒込病院眼科):〔一般講演〕白内障手術に用いた10-0 ナイロン糸の変化. 第58回中部眼科学会, 1992.
- 9) 鈴木さや佳, 良田夕里子, 安久津靖彦, 原 彰:〔一般講演〕間歇性眼球突出を示した1例. 東京眼科集談会, 1992.
- 10) 水谷 聡, 水谷由紀夫, 他:〔一般講演〕コンタクトレンズと防腐剤の影響について(第3報);取り込みと放出について. 日本コンタクトレンズ学会, 1992.
- 11) 河野素子, 水谷由紀夫, 他:〔一般講演〕コンタクトレンズと防腐剤の影響について(第3報); RGPCL 素材における BAK の研究. 日本コンタクトレンズ学会, 1992.
- 12) 南野麻美, 長友万里子, 池端なほみ, 原 彰:〔一般講演〕色素異常を伴った小口病の同胞例. 第46回日本臨床眼科学会, 1992.
- 13) 原 彰, 三浦雅博:〔一般講演〕二段階網膜剝離手術法. 第16回日本手術学会, 1993.
- 14) 保津治道, 多田知子, 原 彰:〔一般講演〕梅毒による角膜炎と網膜症を認めた症例. 日本医科大学医学会第79回例会, 1993.
- 15) 三浦雅博:〔一般講演〕周辺部出血性網膜色素上皮剝離の1例. 第6回横浜北部眼科症例検討会, 1992.
- 16) 保津治道, 良田夕里子, 中込 豊, 原 彰:〔一般講演〕骨形成不全に巨大裂孔を認めた1例. 第9回関東眼科学会, 1992.
- 17) 清水洋一:〔一般講演〕閉塞隅角緑内障の眼内レンズ挿入術症例の検討. 第20回東京緑内障談話会, 1992.
- 18) 白井由佳子, 尾碓憲子, 熊川美代子, 中山滋章, 清水由規:〔一般講演〕片眼の円錐角膜に白内障を合併し水晶体の形態異常が疑われた1例. 第9回関東眼科学会, 1992.
- 19) 松葉眞理子, 高橋 浩, 雑賀寿和, 清水由規, 小林士郎:〔一般講演〕塞栓術施行後に, 網膜中心静脈閉塞症を合併した硬膜動脈海綿静脈洞瘻. 第9回関東眼科学会, 1992.
- 20) 高橋 浩, 阿部靖子¹⁾, 村田順造²⁾, 清水由規 (¹⁾生化学第1, ²⁾病理学第2):〔展示〕低カルシウム血症白内障の初期像. 第96回日本眼科学会総会, 1992.
- 21) 富川節子, 目澤美佳子¹⁾, 良田夕里子, 雑賀寿和, 清水由規 (¹⁾博慈会記念病院):〔展示〕Lp(a)と網膜細動脈の動脈硬化性変化との関連に付いて. 第96回日本眼科学会総会, 1992.
- 22) 富川節子, 西邑信男¹⁾, 目澤美佳子¹⁾, 良田夕里子 (¹⁾博慈会記念病院):〔一般講演〕Lp(a)と網膜細動脈の動脈硬化性変化との関連について. 第15回日本老年医学会関東甲信越地方会, 1992.
- 23) 朝岡 守, 北村 篤, 清水由規:〔展示〕Hematoporphyrin による白内障. 第46回日本臨床眼科学会, 1992.
- 24) 清水洋一, 宇多重員¹⁾ (¹⁾二本松眼科病院):〔展示〕血管新生緑内障を合併した Uveal effusion. 第46回日本臨床眼科学会, 1992.
- 25) 原 彰:〔一般講演〕Structure at human retina inner limiting membrane. 4th Meeting of the Schepens International Society (Hongkong), 1993.
- 26) 西端慎一¹⁾, 井上 栄²⁾, 佐橋紀男³⁾ (¹⁾北里大学医学部耳鼻咽喉科学教室, ²⁾国立公衆衛生院, ³⁾東邦大学):〔一般講演〕東京都の平成3年春のスギ花粉症患者調査から;スギ花粉飛散数と花粉症発症について. 第4回日本アレルギー学会春季臨床集会, 1992.
- 27) Ausayakhun. S.¹⁾, Win,T, Shimizu, Y. (¹⁾チェンマイ大学医学部眼科学教室):〔一般講演〕Gelatinous drop-like

corneadystrophy. A from of pri mary familial amyloidosis of the cornea. The 1st Thailand-Japan Joint Meeting of Ophthalmology (Bangkok, Thailand), 1993.

- 28) 堀田一樹, 雑賀寿和, 清水由規: [展示] アトピー性角結膜炎患者の涙 液停滞率, 第46回日本臨床眼科学会総会, 1992.
- 29) 水谷由起夫, 他: [一般講演] ガス透過性ハードレンズのデザインの研究 (その1); レンズエッジ部, 日本コンタクトレンズ学会, 1992.
- 30) 坂田美紀, 水谷由起夫, 他: [一般講演] ガス透過性ハードコンタクトレンズ装用による角膜曲率半径の変化, 日本コンタクトレンズ学会, 1992.
- 31) 水谷由起夫, 清水由規, 他: [一般講演] コンタクトレンズ研究へのコンピューターの画像の応用, 第46回日本臨床眼科学会総会, 1992.
- 32) Mizutani, Y, et al: [一般講演] The designs of RGP contact lenses. Contact Lens Associasion of Ophthalmologists Annual Meating, 1993.
- 33) 清水洋一: [一般講演] 閉塞隅角緑内障の眼内レンズ挿入術; 術後成績および術後経過, 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 34) 中込 豊, 安久津靖彦, 原 彰: [一般講演] Glycosaminoglycans in subretinal fluid. AFRO-ASIA 眼科学会 (ジャカルタ), 1992.
- 35) 宇多重員¹⁾, 富岡義明¹⁾, 赤見泰成¹⁾, 清水洋一^{(1)二本松眼科病院}: [一般講演] 1 ピースシリコンレンズ挿入時にハプティクスに破損を来した2症例, 第7回眼内レンズ学会, 1992.
- 36) 原 彰: [一般講演] SEM study of human vitreoretinal junction after enzyme removal of ILM. The Association for Research in Vision and Ophthalmology (Sarasota), 1992.
- 37) 原 彰: [一般講演] Decrease of EOG L/D ratio in BRVO. ヨーロッパ眼科学会 (ブリュセル), 1992.
- 38) 原 彰: [一般講演] The analysis of human vitreoretinal junction and enzyme removal of the ILM. ヨーロッパ眼科学会 (ブリュセル), 1992.
- 39) 和田千穂里, 清水暢夫: [一般講演] 中心性輪紋状脈絡膜ジストロフィーの1症例, 第9回関東眼科学会, 1992.
- 40) 池田桐子, 清水暢夫, 斉藤正人¹⁾, 原 文男¹⁾(^{1)第二病院内科}): [一般講演] 原発性胆汁性肝硬変に合併した眼球突出の1例, 第46回日本臨床眼科学会, 1992.
- 41) 池田桐子, 清水暢夫: [一般講演] 黄斑部病変を合併した網膜色素線条症, 第54回神奈川県眼科集談会, 1992.
- 42) 高橋 琢, 清水暢夫, 久吉隆郎¹⁾(^{1)第二病院外科}): [一般講演] 縦隔リンパ節結核に併発した Eales 病の1症例, 第55回神奈川県眼科集談会, 1992.
- 43) 齋藤仁子, 清水暢夫: [一般講演] 自己測定眼圧計の緑内障の診断並びに治療への応用, 第3回緑内障学会, 1992.
- 44) 平嶋清美, 和田千穂里, 清水暢夫, 伊東文行¹⁾(^{1)第二病院皮膚科}): [一般講演] 周辺部ぶどう膜炎様の所見を呈したベーチェット (不完全型) の1症例, 第57回神奈川県眼科集談会, 1993.
- 45) Saiga, T., Shimizu, Y., Sato, S.¹⁾, and Ueno, N.²⁾ (^{1)Nippon Medical School Electron Microscopy Unit,} ^{2)Harvard Medical School}): [展示] Interaction between pollen and the conjunctiva upon conjunctival provacation test (CPT). The Association for Research in Vision and Ophthalmology, 1992.
- 46) 雑賀寿和: [シンポジウム] アレルギー疾患の増加と環境因子; アレルギー性結膜炎, 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.

[前年度分追加]

- 1) 土田 寛, 清水暢夫, 辻沢キヨ¹⁾(^{1)辻沢眼科医院}): [一般講演] Eales 病の1症例, 第51回神奈川県眼科集談会, 1991.
- 2) 和田千穂里, 河合史子, 清水暢夫: [一般講演] Chlamydia trachomatis による新生児封入体結膜炎の1例, 第

51回神奈川県眼科集談会，1991.

- 3) 齋藤仁子，清水暢夫：〔一般講演〕1才小児にみられたアcantアメーバ角膜炎を強く疑われた症例，第59回日本医科大学医学会総会，1991.
- 4) 中村 健，清水暢夫：〔一般講演〕10年間経過観察している格子状角膜変性症の1例，第53回神奈川県眼科集談会，1992.
- 5) 齋藤仁子，清水暢夫：〔一般講演〕Optic pit に低眼圧緑内障を合併した症例，第53回神奈川県眼科集談会，1992.

17. 麻酔科学講座

[付属病院麻酔科]

研究概要

麻酔とは、単に「患者の苦痛を取り除き、外科医に良好な術視野を提供すること」に留まらず、麻酔それ自身および種々の外科的刺激により引き起こされる患者への侵襲反応を調整・抑止することが今や重要な課題になりつつある。この目的に向けた麻酔管理方法を模索することが現在、教室全体としての研究命題である。種々の侵襲により攪乱される生体環境は呼吸・循環系はもちろん、神経系、代謝系、体液・免疫系など広範に及ぶが、本年度もこれら生体反応の把握、対応すべき処置、またこれらの Titration を行うモニタリング法(とくに非侵襲的なもの)の模索を中心に実験的・臨床的に活発な研究活動が展開された。以下に主な各研究項目をあげる。

生体反応やその対応・処置に関する研究：種々のショックとフリーラジカルの動態と抗酸化薬の効果。カテコラミン受容体のダウンレギュレーションに対するステロイドの効果。硬膜外麻酔による低酸素性肺血管収縮機構や右室循環動態への影響。麻酔薬・補助薬による圧受容体反射や自律神経活動、肝血行動態への影響。ストレスによる免疫系・内分泌系の反応、蘇生時の輸液。

モニタリングや臨床手技に関する研究：心機図の応用(左室収縮期時相)。呼吸ガスモニタリング(低換気の新しい察知法、自発呼吸時における応用法、蘇生時における使用意義)。局所麻酔時の脳波変動、肝血流量の簡易測定法、自己血輸血法。持続注入器を用いた硬膜外ブロックによる術後疼痛管理法。マスク CPAP の効用。脳外科手術での小アイデア、などである。

研究業績

論文

- 1) 福田 功：〔原著〕術前血液希釈による輸血節減：循環動態と酸素供給への影響。麻酔，41，578～585，1992。
- 2) 坂本篤裕，小川 龍：〔原著〕脳虚血再還流障害時の酸素遊離基の測定と抗酸化薬の効果。麻酔，41，595～602，1992。
- 3) Nishimura, T.¹⁾, and Ogawa, R. (¹⁾泌尿器科)：〔原著〕Trial of day surgery for transurethral resection of the prostate. Jpn. J. Endourol. ESWL, 5, 120～121, 1992。
- 4) Saito, T.¹⁾, Yamada, K.¹⁾, Kitamura, A.¹⁾, Ishihara, K.¹⁾, Amamoto, H.¹⁾, and Ogawa, R. (¹⁾多摩永山病院麻酔科)：〔臨床報告〕Corticosteroid effect on down regulation in beta adrenergic receptors. J. Anesth., 6, 226～228, 1992。
- 5) 斎藤敏之¹⁾, 山田光輝¹⁾, 小川 龍(¹⁾多摩永山病院麻酔科)：〔原著〕 β アドレナリン受容体のダウンレギュレーションに対するステロイドの効果。医学のあゆみ, 161, 157～158, 1992。
- 6) 小川 龍：〔総説〕副腎皮質ステロイドの循環系への影響。循環制御, 13, 1～2, 1992。
- 7) 井上哲夫：〔紹介〕セレクトアテック気化器のパーキングカートの試作。麻酔, 41, 864～866, 1992。
- 8) 小川 龍：〔総説〕感染症と副腎皮質ステロイドの併用；敗血症ショック。化学療法の領域, 8, 1279～1285, 1992。
- 9) Bitoh, H.：〔原著〕Recombinant human-type SOD attenuates circulatory disorders after reperfusion of splanchnic organs in rats. J. Anesth., 6, 247～254, 1992。
- 10) Sakamoto, A., Ohnishi, S.T.¹⁾, Ohnishi, T.²⁾, and Ogawa, R. (¹⁾Philadelphia Biomedical Research Institute, ²⁾Dep. of Biochemistry and Biophysics, Univ. of Pennsylvania.)：〔原著〕Free radical formations during splanchnic artery occlusion shock. J. Anesth., 6, 414～425, 1992。

- 11) 小川 龍：〔総説〕新しい麻酔薬の特徴と使い方。日本医事新報，3566，21～26，1992.
- 12) 小川 龍：〔総説〕処方計画法；ショック。総合臨床，41（増刊号），1427～1430，1992.
- 13) 梶本陽司¹⁾，竹田晋浩，阿部聖孝，小川 龍（¹⁾都職青山病院麻酔科）：〔症例〕硬膜外麻酔の右室循環動態および右室駆出率に及ぼす影響。臨床麻酔，16，1263～1264，1992.
- 14) 小川 龍：〔総説〕麻酔・手術後の頭痛。産婦人科の実際，41，1707～1709，1992.
- 15) 小川 龍：〔総説〕手術侵襲と臓器血流；オーバービュー。現代医療，24，3499～3502，1992.
- 16) 光畑裕正¹⁾，長谷川淳一¹⁾，松元 茂¹⁾，小川 龍（¹⁾平鹿総合病院麻酔科）：〔紹介〕周術期における薬物による即時型過敏反応の疫学および臨床像；麻酔指導病院へのアンケート調査。麻酔，41，1825～1831，1992.
- 17) 山村秀夫¹⁾，玉熊正悦²⁾，小川 龍，中島光好³⁾（¹⁾東大名誉教授，²⁾防衛医大第一外科，³⁾浜松医大薬理学）：〔原著〕感染性ショックに対するコハク酸メチルブレドニゾロンナトリウムの効果；二重盲検比較試験。医学のあゆみ，163，857～871，1992.
- 18) 金 徹，小倉 明，福田 功，江上洋子¹⁾，井上哲夫，小川 龍（¹⁾神尾病院麻酔科）：〔原著〕劇症悪性高熱症の麻酔経験。麻酔と蘇生，28，55～59，1992.
- 19) 竹田晋浩：〔原著〕片肺低酸素負荷時におけるプロスタグランジンの変化に対する硬膜外麻酔の影響。麻酔，41，1749～1757，1992.
- 20) 斎藤敏之¹⁾，布施 明²⁾，山田光輝¹⁾，小川 龍（¹⁾多摩永山病院麻酔科，²⁾同救命救急センター）：〔症例〕カテコラミン受容体ダウンレギュレーションの時期に対する副腎皮質ステロイドの効果。臨床麻酔，16，1549～1550，1992.
- 21) 武藤 徹：〔原著〕左室収縮期時相による心機能の把握；揮発性麻酔薬の比較。麻酔，42，83～90，1993.
- 22) Wajima, Z., Inoue, T., and Ogawa, R.: 〔原著〕The effects of an intravenous nicardipine injection on baroreflex control of heart rate in man. J. Anesth., 7，40～47，1993.
- 23) 小川 龍：〔総説〕ショックとフリーラジカル。集中治療，5，251～259，1993.
- 24) 小川 龍：〔総説〕悪性高熱症。nanoGIGA，12，205～211，1993.
- 25) Saito, T., Saito, I., Ohnishi, T.¹⁾, and Ogawa, R.（¹⁾Philadelphia Biomedical Research Institute）：〔原著〕Protective effects of a prostaglandin oligomer on rats exposed to hypoxia. Am. J. Emerg. Med., 11，4～6，1993.
- 26) 小川 龍：〔総説〕麻酔薬の知識。臨床泌尿器科，47，49～55，1993.

著 書

- 1) 小川 龍：〔分担〕ショック。“今日の診断指針”（亀山正邦，亀田治男，高久史麿，阿部令彦編集），P. 12～14，医学書院，1992.
- 2) 小川 龍：〔分担〕好中球のライソゾーム酵素。“好中球エラスターゼ”（小川道雄編集），P. 13～23，ヘルス出版，1992.
- 3) 輪嶋善一郎，金 徹，井上哲夫，小川 龍：〔分担〕麻酔・集中治療業務における電子手帳の有用性；表計算ICカードを用いた循環作動薬液作成ワークシート。“麻酔・集中治療とテクノロジー”（盛生倫夫，風間富栄，池田和之，尾山 力編），P. 32～33，克誠堂出版，1992.

学会発表

- 1) 蔵持和也，輪嶋善一郎，井上哲夫，小川 龍：〔一般講演〕吸入麻酔薬による麻酔導入時の自律神経活動。第39回日本麻酔学会総会，1992.
- 2) 今永和幸，菅原真哉¹⁾，阿部聖孝¹⁾，池崎弘之¹⁾，小川 龍（¹⁾横須賀共済病院麻酔科）：〔一般講演〕腹腔鏡下胆嚢摘出術において術中に気胸を生じた1例及び20例における麻酔法の検討。第39回日本麻酔学会総会，1992.

- 3) 輪嶋善一郎, 井上哲夫, 小川 龍: [一般講演] ブトルファノールの圧受容体反射に及ぼす影響; 昇圧試験を用いて. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 4) 武藤 徹, 井上哲夫, 小川 龍: [一般講演] 麻酔中モニターとしての心機図. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 5) 坂本篤裕¹⁾, 佐藤哲雄¹⁾, 小川 龍, Ohnishi, S.T.²⁾ (¹⁾防衛医大麻酔科, ²⁾Philadelphia Biomedical Research Institute): [一般講演] 腸管虚血/再還流モデルにおける酸素遊離基の検討. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 6) Inoue, T., Hoshino, T., and Ogawa, R.: [一般講演 (英語セッション)] Endotracheal intubation in patients with extensive burns in the posthealing period. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 7) 園田清次郎¹⁾, 梶本陽司¹⁾, 小川 龍 (¹⁾都職青山病院麻酔科): [展示] 麻酔中の換気量減少に伴う I-EtO₂ の変化 (EtCO₂, PaCO₂, SpO₂, SaO₂ との比較). 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 8) 福田 功, 井上哲夫, 小川 龍: [展示] 術前血液希釈による輸血節減; 循環系, 免疫系に及ぼす影響. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 9) 本郷 卓, 井上哲夫, 小川 龍: [一般講演] 新しい吸入麻酔薬のヒト肝血行動態への影響. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 10) 竹田晋浩, 井上哲夫, 小川 龍: [一般講演] 片肺低酸素負荷時におけるプロスタグランジンの変化に硬膜外麻酔が与える影響. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 11) 西川光一¹⁾, 福田 功, 城越英夫¹⁾, 遠藤正宏¹⁾, 野本幸子¹⁾ (¹⁾関東労災病院麻酔科): [展示] 挿管時の循環動態の変動に対するフェンタニール, 塩酸モルヒネの効果. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 12) 結城禎一, 加藤一実, 本郷 卓, 小川 龍: [一般講演] 救急麻酔の現状; 麻酔科医の業務環境と負担度. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 13) 吉河達祐, 輪嶋善一郎, 井上哲夫, 小川 龍: [展示] 局所麻酔薬の聴性誘発電位 (ABR) に及ぼす影響. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 14) 小倉 明, 輪嶋善一郎, 井上哲夫, 小川 龍: [展示] 下腹部手術における血中エンドセリン及び心房性ナトリウム利尿ペプチド濃度の変動. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 15) 山口真人, 尾藤博保, 青木繁政, 小川 龍: [展示] 手術麻酔がリンパ球サブセット及びストレス反応に与える影響. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 16) 本郷 卓, 井上哲夫, 小川 龍: [一般講演] 肝血流量の簡易測定. 第13回日本循環制御医学会総会, 1992.
- 17) 小川 龍: [教育講演] 薬剤の判定に用いられる統計学的手法. 第14回日本麻酔・薬理学会総会, 1992.
- 18) 小川 龍: [ワークショップ] 複合臓器不全; ライソゾーム酵素と臓器障害. 第19回日本毒科学学会学術年会, 1992.
- 19) Kajimoto, Y., Sonoda, S., and Ogawa, R.: [一般講演] Inspiratory end-tidal oxygen content difference (I-EtO₂) change according to hypoventilation during anesthesia. 10th World Congress of Anaesthesiologists (Hague), 1992.
- 20) Ogawa, R., and Fukuda, I.: [一般講演] Preoperative hemodilution to reduce homologous blood transfusion; Effects on hemodynamics and oxygen flux. 10th World Congress of Anaesthesiologists (Hague), 1992.
- 21) Yoshikawa, T., Wajima, Z., Ogura, A., Inoue, T., and Ogawa, R.: [一般講演] The effects of local anesthetic on auditory brainstem response. 10th World Congress of Anaesthesiologists (Hague), 1992.
- 22) Ogura, A., Aoki, S., Fukuda, I., Yoshikawa, T., Wajima, Z., Nakata, H., Inoue, T., and Ogawa, R.: [展示] Changes in plasma endothelin and HAMP in patients undergoing lower abdominal surgery. 10th World Congress of Anaesthesiologists (Hague), 1992.
- 23) Ogawa, R.: [展示] Glucocorticoids reverse desensitization of adrenoceptors induced by long term infusion of catecholamines. 10th World Congress of Anaesthesiologists (Hague), 1992.

- 24) Sugahara, S., Aoki, S., Kim, T., and Ogawa, R.: [展示] Neuromuscular blocking effect of sevoflurane on patients with Duchenne's progressive muscular dystrophy and other neuromuscular diseases; A case report. 10th World Congress of Anaesthesiologists (Hague), 1992.
- 25) 梶本陽司¹⁾, 園田清次郎, 金 徹, 小倉 明, 小川 龍 (¹都職青山病院麻酔科): [一般講演] 麻酔中の換気量低下に伴う I-EtCO₂ の変動 (EtCO₂, PaCO₂, PaO₂, SaO₂, SpO₂ との比較). 第14回日本人工呼吸学会総会, 1992.
- 26) 角谷仁司, 有山 淳, 仲田治夫, 井上哲夫, 小川 龍: [一般講演] 治療に難渋したペンタゾシン依存症の1症例. 第26回日本ペインクリニック学会総会, 1992.
- 27) 輪嶋善一郎¹⁾, 福田 功¹⁾, 池田健次²⁾, 大井良之³⁾, 中島祐史, 尾藤博保, 井上哲夫, 小川 龍 (¹北村山公立病院麻酔科, ²横須賀共済病院麻酔科, ³都職青山病院麻酔科): [展示] 糖尿病性末梢神経障害に対し単回硬膜外ブロック施行後に硬膜外膿瘍を生じた1症例. 第26回日本ペインクリニック学会総会, 1992.
- 28) 角田 健, 尾藤博保, 小倉 明, 井上哲夫, 小川 龍: [展示] シェアーフューザーを用いた持続硬膜外ブロックによる術後疼痛管理. 第26回日本ペインクリニック学会総会, 1992.
- 29) 菅原真哉, 池田健次¹⁾, 阿部聖孝, 池崎弘之, 吉河達祐¹⁾, 中西一浩¹⁾, 小川 龍 (¹横須賀共済病院麻酔科): [一般講演] 若年性ヒアリン線維腫症患者の麻酔経験. 第32回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1992.
- 30) 篁 武郎, 小倉 明, 結城禎一, 井上哲夫, 小川 龍: [一般講演] 硬膜外麻酔導入直後に出現した両下肢静脈瘤の1症例. 第32回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1992.
- 31) 中島祐史, 井上哲夫, 小川 龍: [一般講演] びまん性肺脈管筋腫症患者の卵巣摘出術において硬膜外麻酔中に出現した血尿. 第32回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1992.
- 32) 角田 健, 井上哲夫, 小川 龍: [一般講演] 携帯用持続注入器を用いた持続硬膜外ブロックによる術後疼痛管理. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 33) 井上哲夫: [一般講演] 気化器パーキングカートの有用性. 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 34) 輪嶋善一郎¹⁾, 結城禎一, 角田 健, 金 徹, 福田 功, 井上哲夫, 小川 龍 (¹北村山公立病院麻酔科): [展示] 硬膜外カテーテルの固定法; ドライタイプドレッシングの有用性. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 35) 足立 仁, 小林正雄, 仲田治夫, 井上哲夫, 小川 龍: [展示] メイフィールド頭蓋クランプ装着部位への局所麻酔薬使用の有用性. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 36) 加藤一実, 小川 龍: [展示] 抗アルドステロン薬カンレノ酸カリウムの周術期体液代謝にあたえる影響. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 37) 吉河達祐¹⁾, 中西一浩¹⁾, 丸山晃一¹⁾, 池田健次¹⁾, 青木繁政, 井上哲夫, 小川 龍 (¹横須賀共済病院麻酔科): [展示] 多発性硬化症2例の麻酔経験. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 38) 金 徹, 河合 建¹⁾, 岡本由美¹⁾, 金子武彦¹⁾, 大脇 明¹⁾, 小川 龍, 鈴木玄一¹⁾ (¹都立清瀬小児病院麻酔科): [展示] 小児心臓カテーテル検査におけるフェンタニールを用いた仙骨麻酔について. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 39) 武藤 徹, 井上哲夫, 小川 龍: [展示] 各種吸入麻酔薬の心機能に与える影響; 左室収縮期時相による解析. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 40) 結城禎一, 小川 龍, 辺見 弘¹⁾ (¹救急医学): [一般講演] 救急手術の現状; 救急手術を効率よく行うためには?. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 41) 小川 龍, 大井良之, 尾藤博保, 足立 仁: [一般講演] 蘇生輸液の効率; 循環動態と肝臓血流量. 第11回日本蘇生学会総会, 1992.
- 42) 山口真人, 竹田晋浩, 横山広行¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 小川 龍 (¹集中治療室): [一般講演] 重症患者に対する補助的体外循環の効果と問題点. 第1回日本集中治療医学会関東甲信越地方会, 1993.

- 43) 竹田晋浩, 本郷 卓, 山口真人, 高山守正¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 小川 龍 (¹⁾集中治療室): [一般講演] 経鼻カニューラによる呼吸終末炭酸ガス濃度測定の有用性. 第1回日本集中治療医学会関東甲信越地方会, 1993.
- 44) 小川 龍: [教育講演] 泌尿器科医に必要な麻酔の知識; 事故を避けるコツ. 第48回日本泌尿器科学会東京地方会, 1993.
- 45) 武藤 徹, 井上哲夫, 小川 龍: [一般講演] 心肺蘇生時における心拍再開の指標; 呼吸終末炭酸ガス濃度による評価. 第5回医工学治療研究会, 1993.
- 46) Ogawa, R.: [一般講演] Hyponatremia in patients who received emergency operations. 7th Congress of Western Pacific Association of Critical Care Medicine (Hong Kong), 1993.
- 47) Takeda, S., Yamaguchi, M., Inoue, T., Takayama, M.¹⁾, Tanaka, K.¹⁾, Takano, T.¹⁾, and Ogawa, R. (¹⁾集中治療室): [一般講演] Continuous positive airway pressure decreased plasma endothelin concentrations in patients with congestive heart failure. 7th Congress of Western Pacific Association of Critical Care Medicine (Hong Kong), 1993.

[第一病院麻酔科]

研究業績

当教室は、多岐にわたる研究内容を持っている。特に脊椎麻酔は従来より主たる研究テーマとしており、著書「脊椎麻酔」を執筆している。本年も、新しい脊椎麻酔針であるスプロット・ニードルの有用性を始め、高位脊椎麻酔の呼吸・循環系に及ぼす影響に関する研究、脊椎麻酔中の低酸素血症の発生頻度と、その原因に関する研究、ヤコビー線の再検討、麻酔高と穿刺部位との関係など関連領域での研究が盛んである。

全身麻酔については、新しい気道確保の方法として注目を集めているラリングル・マスクに関する研究や新しい吸入麻酔薬セボフルレンに関する研究などのほか、数多くの症例報告を行っている。特に以前から継続研究している麻酔中の不整脈に関する報告が多いのが特徴である。

ペインクリニックおよび術後疼痛については、最近のトピックスである PCA ポンプに関する研究や胸部交感神経節ブロックを CT ガイド下に行う新しい方法などのほか、硬膜外麻酔に関する研究も盛んである。

研究業績

論文

- 1) 横山和子: [原著] 局所麻酔薬の皮内テストの必要性. 日本医事新報, 3558, 138, 1992.
- 2) 益田律子, 横山和子, 田村高子: [原著] 内視鏡的肺嚢胞縫縮術における麻酔管理. 手術部医学, 13, 304~306, 1992.
- 3) 横山和子, 森 秀樹¹⁾, 日下部輝夫¹⁾ (¹⁾日下部病院外科): [報告] イソフルレン麻酔下に完全房室ブロックを来した1症例. 日臨外医会誌, 53, 106~109, 1992.
- 4) 横山和子, 大屋敦子¹⁾ (¹⁾第一病院産婦人科): [報告] 脊椎麻酔下に肺梗塞が疑われた1症例. 麻酔, 41, 1331~1335, 1992.
- 5) 半田亜紀子, 横山和子: [報告] 硬膜外穿刺時に生じた一過性のII度房室ブロック. 麻酔, 41, 1327~1330, 1992.
- 6) 横山和子: [綜説] 脊椎麻酔の up to date. 日臨麻会誌, 12, 308~319, 1992.
- 7) 横山和子: [綜説] Malignant Hyperthermia: 悪性高熱症. Medical News, 322, 5~6, 1991.
- 8) 益田律子, 横山和子: [原著] 高比重脊椎麻酔薬に伴う高位脊椎麻酔における換気動態について. 麻酔, 41, 1565~1574, 1992.
- 9) 小林毅之, 横山和子, 吉川秀康¹⁾ (¹⁾虎の門病院麻酔科): [報告] ベクロニウムが原因と考えられた冠動脈スバズムの1症例. 臨床麻酔, 17, 2, 1992.

- 10) 益田律子, 横山和子, 後藤真弓:〔原著〕脊椎麻酔におけるミダゾラム静脈内投与の呼吸におよぼす影響. 日本麻酔・薬理学会誌, 5, 59, 1992.
- 11) 横山和子:〔原著〕成人における仙骨麻酔の広がりについて. 日本麻酔・薬理学会誌, 5, 89~91, 1992.
- 12) 横山和子:〔綜説〕局所麻酔基本手技(2); 脊椎麻酔, 硬膜外麻酔. 臨床外科, 48, 313~320, 1993.
- 13) 小林毅之, 横山和子:〔報告〕人工股関節全置換術中にみられた高度徐脈の1症例. 臨床麻酔, 17, 391~392, 1993.
- 14) 横山和子:〔綜説〕脊椎麻酔の現状. 日医大誌, 60, 24~28, 1993.
- 15) 佐藤英記, 島井信子, 横山和子:〔原著〕新しい吸入麻酔薬 Sevoflurane による導入と覚醒. 日臨外医会誌, 54, 361~364, 1993.

学会発表

- 1) 横山和子, 後藤真弓:〔一般講演〕Pencil Point 脊椎麻酔針による麻酔の広がりについて. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 2) 益田律子, 横山和子:〔一般講演〕脊椎麻酔における換気動態について; 鎮静薬ミダゾラムの影響. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 3) 中村京子, 横山和子:〔一般講演〕抗甲状腺剤を中止せざるを得なかったパセドウ病の麻酔経験. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 4) 松尾千恵美, 後藤真弓, 横山和子:〔一般講演〕Jacoby 線の再検討. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 5) 後藤真弓, 横山和子:〔一般講演〕腰部硬膜外カテーテル (PERIFIX-SOFT) の走行の検討. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 6) Yokoyama, K.:〔一般講演〕Influence of the spinal needle type on the spread of hyperbaric 0.67% tetracaine. The Xth World Congress of Anaesthesiologists (The Hague), 1992.
- 7) Yokoyama, K.:〔一般講演〕Epidural anaesthesia for thoracic surgery. The Xth World Congress of Anaesthesiologists (The Hague), 1992.
- 8) Masuda, R.:〔一般講演〕The ventilatory effect of hypnotic dose of Midazolam under Midthoracic spinal anesthesia. The Xth World Congress of Anaesthesiologists. (The Hague), 1992.
- 9) 横山和子:〔一般講演〕イソフルレン麻酔下に完全房室ブロックを来した1症例. 第13回日本循環制御医学会総会, 1992.
- 10) 横山和子:〔一般講演〕等比重0.5%bupivacaine spinal anesthesia における術中の体位の影響. 第36回日本リウマチ学会総会, 1992.
- 11) 益田律子, 横山和子, 後藤真弓:〔一般講演〕脊椎麻酔におけるミダゾラム静脈内投与の呼吸におよぼす影響. 第14回日本麻酔・薬理学会総会, 1992.
- 12) 横山和子:〔一般講演〕成人における仙骨麻酔の広がりについて. 第14回日本麻酔・薬理学会総会, 1992.
- 13) 益田律子, 横山和子:〔一般講演〕CT ガイドによる胸部交感神経節ブロック造影所見の検討. 第26回日本ペインクリニック学会総会, 1992.
- 14) 後藤真弓, 益田律子, 横山和子:〔一般講演〕麻酔導入時サクシニールコリンによりIII°A-V ブロックが出現した1症例. 第32回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1992.
- 15) 佐藤英記, 後藤真弓, 半田あきこ, 横山和子:〔一般講演〕脊椎麻酔中に睡眠時無呼吸を疑われ確定診断に到った1症例. 第32回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1992.
- 16) 松尾千恵美, 益田律子, 佐藤英記, 横山和子:〔一般講演〕術中不整脈に難渋したパセドウ病の麻酔経験. 第32回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1992.
- 17) 中村京子, 横山和子:〔一般講演〕虫垂切除術の脊椎麻酔. 第32回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1992.

- 18) 益田律子, 横山和子: [一般講演] 胸部交感神経節ブロック施行中に硬膜外腔への薬液流入を認めた2症例. 第32回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1992.
- 19) 半田あきこ, 横山和子: [一般講演] 多発性嚢胞腎と狭心症と合併した食道癌根治術の麻酔経験. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 20) 松尾千恵美, 横山和子, 清水一雄¹⁾, 有田 淳¹⁾ (第1病院外科): [一般講演] 周期性四肢麻痺の麻酔経験. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 21) 中村京子, 横山和子, 後藤真弓: [一般講演] 両側 TKR の麻酔管理. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 22) 小林毅之, 横山和子: [一般講演] 脊椎麻酔中のパルスオキシメーターの有用性. 第5回日本局所麻酔研究会, 1992.
- 23) 佐藤英記, 横山和子: [一般講演] 硬膜外麻酔中に完全房室ブロックを生じた1症例. 第5回日本局所麻酔研究会, 1992.
- 24) 益田律子, 横山和子: [一般講演] 帝王切開50症例における高比重テトラカイン注入量と麻酔域. 第5回日本局所麻酔研究会, 1992.
- 25) 佐藤英記, 横山和子: [一般講演] ラリングルマスク挿入時の循環動態の変動. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 26) Matsuo, C., Yokoyama, K., Shimizu, K.¹⁾, and Arita, J.¹⁾ (第1病院外科): [一般講演] Experience of anesthesia for periodic paralysis. The VIth Asian Pacific Endocrine Conference (Honolulu), 1992.
- 27) Masuda, R., Yokoyama, K., Kajiwar, K.¹⁾, and Tsubota, K.²⁾ (Massachusetts Eye and Ear Infirmary, ²⁾ Dept. of Ophthalmology, Tokyo Dental College Ichikawa Hospital): [一般講演] The effect of stellate ganglion block on conjunctival oxygen tension and intra ocular pressure in retinal vein occlusion. 第4回中国疼痛学会 (Taichu City.), 1992.
- 28) 後藤真弓, 横山和子: [一般講演] 術中大量出血をきたした腹腔鏡下胆嚢摘出術の麻酔経験. 第20回日本救急医学会, 1992.
- 29) Goto, M., and Yokoyama, K.: [一般講演] A case of laparoscopic cholecystectomy with massive bleeding. Oral Abstract-Criticalcare'93 (Hong Kong), 1992.
- 30) 益田律子, 横山和子, 古谷政一¹⁾ (下館市民病院外科): [一般講演] 超高齢者における鏡視下胆嚢摘出術の麻酔経験. 第5回老人麻酔研究会, 1993.
- 31) 中井直人¹⁾, 横田明重¹⁾, 露木桂子¹⁾, 織田利光¹⁾, 河合尚基¹⁾, 越野立夫¹⁾, 益田律子, 横山和子 (第1病院産婦人科): [一般講演] 婦人科領域の術後管理における硬膜外持続注入法の有用性. 第285回産婦東京地方部会例会, 1993.

[第二病院麻酔科]

研究概要

当医局の中心的研究は、硬膜外麻酔に於ける生体の種々な変化、特に帝王切開術時の妊婦の呼吸機能に与える影響を系統して研究して来たが、今年度は手術疾患を特定せず、硬膜外麻酔の拡がりに影響を及ぼす因子について研究した。一般臨床に於いて、初回硬膜外局所麻酔薬量は、麻酔法や術式、また術前患者リスクに加え年齢・身長・体重・性別などが考慮されるが、比較的曖昧に経験的に決定されることがほとんどである。

身体的影響因子の中では、年齢が最も大きな要因であることは従来の報告と変わらないが、身長・体重などに関してはあまり報告されていなく、これらも前者程ではないが明らかに関与することを発表した。邦人の一分節当たり必要量の統計的報告はほとんどなく、我々は retrospective に穿刺部位別の麻酔の拡がりから統計的比較検討を行った。また、造影剤添加局所麻酔薬を使用し、連続高速撮影により、薬液の注入初期に於ける拡がりを見たが、今後も症例

を加え研究の継続を図っている。

麻酔管理上の問題として、タニケットペインは患者にとって非常な苦痛であるが、その発現メカニズムは未だ不明である。我々は対策としての硬膜外モルヒネの有効性を引き続き研究報告し、神経線維の感受性の違いや麻酔強度が作用しているのではないかと考えている。

研究業績

学会発表

- 1) 島田洋一, 浮谷勝郎, 紙谷裕昭, 丸茂穂積, 木下隆央, 杉本季久造, 小川 龍¹⁾ (1) 付属病院麻酔科): [シンポジウム] 臨床における穿刺部位と広がり. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 2) 鈴木万三, 赤羽日出男, 丸茂穂積, 浮谷勝郎, 杉本季久造, 島田洋一: [一般講演] 脊髄髄膜瘤手術後の二分脊椎患者の麻酔経験. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 3) 菊池 淳, 大島正行, 菊谷健彦, 浮谷勝郎, 内木亮介, 島田洋一: [展示] 麻酔導入直前に刺激伝導系障害を生じた2症例. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 4) 赤羽日出男, 大島正行, 木下隆央, 福代泰彰, 内木亮介, 島田洋一: [展示] ARを有する高齢者の緊急後頭蓋窩開頭術の麻酔経験. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 5) 大島正行, 菊谷健彦, 木下隆央, 丸茂穂積, 紙谷裕昭, 島田洋一: [一般講演] 肥大型閉塞性心筋症を合併する帝王切開術の硬膜外麻酔経験. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.
- 6) 杉本季久造, 赤羽日出男, 菊池 淳, 鈴木万三, 山本英明, 福代泰彰: [展示] タニケットペインに対する硬膜外モルヒネの効果. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.

[多摩永山病院麻酔科]

研究概要

疼痛管理に関してはヘルペス後神経痛や小児の術後痛について検討している。特に三叉神経領域や上肢のヘルペス後神経痛は体幹部に比して疼痛の管理が困難であるが、これらの痛みにも有効で運動神経などに最も影響の少ない方法として、ブロック療法のみならず経口鎮痛剤や外用薬の併用について症例を積み重ねている。小児下腹部小手術の術後痛については、簡便で反復して投与でき、尿閉などの合併症の少ない非麻薬性鎮痛薬座剤の有効性について検討している。

重傷患者管理の分野では、カテコラミンの長期使用による効果減弱に対するステロイド製剤の臨床的有効性についてすでに報告した。現在は動物モデルによる基礎的実験を行っており、 β アドレナリン受容体のダウンレギュレーションの機構について研究している。

臨床麻酔に関しては、低血圧麻酔が主要臓器の代謝機能に及ぼす影響として主に肝臓で代謝されるベクロニウムの作用時間の検討を行った。この結果、血圧降下剤の種類による作用時間の差異が認められ、プロスタグランジンの肝機能温存効果が推測された。ガス麻酔では挿管チューブのカフへの笑気拡散が問題となるが、ガスを拡散しない新しいカフ素材について検討を行った。また、手術中のモニターとして広く用いられているCVPに変わる指標として末梢静脈圧(CORRP)を報告したが、術中に出血や水分吸収のため大きな循環変動が予想される経尿道的前立腺切除術時に測定を行った。CORRPは、CVPに比し上昇、下降時とも大きな変化を示し、その臨床的有用性が示唆された。

研究業績

論文

- 1) 斎藤敏之, 山田光輝, 小川 龍: [報告] β アドレナリン受容体のダウンレギュレーションに対するステロイドの効果. 医学のあゆみ, 161, 157~158, 1992.

- 2) Saito, T., Yamada, K., Kitamura, A., Ishihara, Y., Amamoto, H., and Ogawa, R.: [原著] Corticosteroid effect on down rgulation in beta adrenergic receptors. J. Anesth. 6, 226~228, 1992.
- 3) 斎藤敏之, 山田光輝, 小川 龍: [原著] カテコラミン受容体ダウンレギュレーションの時期に対する副腎皮質ステロイドの効果. 臨床麻酔, 16, 1549~1550, 1992.

学会発表

- 1) 加藤信也, 山田光輝, 石原之法, 天本治夫, 北村 晶: [一般講演] 低血圧麻酔がベクロニウムの筋弛緩作用持続時間に与える影響. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 2) Yamada, K., Kitamura, A., and Ogawa, R.: [展示] The intracuff pressure changes in N₂O gas-barrier cuff with special material. 10th World Congress of Anaesthesiologist. (Haag, Netherlands), 1992.
- 3) 石原之法, 天本治夫, 山田光輝: [展示] ニカルジピンを投与した悪性高熱の1症例. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 4) 頼 徳成¹⁾, 添野眞一¹⁾, 星 慎一¹⁾, 鈴木 勲¹⁾, 山田光輝 (¹⁾多摩永山病院耳鼻咽喉科): [一般講演] 舌根扁桃より発生したと思われる形質細胞腫の1症例. 第32回日本扁桃研究会総会, 1992.
- 5) 天本治夫, 石原之法, 北村 晶, 加藤信也, 山田光輝: [展示] TUR-P時の末梢静脈圧測定の有用性. 第12回日本臨床麻酔学会総会, 1992.

18. 救急医学講座

[付属病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター]

研究概要

救急医学には2つの柱がある。1つはあらゆる救急患者に迅速に対応して行う救急医療 (emergency medicine) であり、他の1つは重症患者に対して最先端の医療概念と医療技術によって行われる集中治療 (critical care あるいは intensive care) である。

日常診療において遭遇する機会が多いにもかかわらず、従来の“縦割式”専門分科型の学問体系や診療体系の中では扱い切れない緊急の病態や急性疾患は数多く、救急医学が対象とする疾患と病態は多岐に渡っている。

多発外傷をはじめ、広範囲熱傷、急性中毒、急性重要臓器不全の病態と最新の診断法・治療法についての発表に加え、DOA(来院時心肺停止)、ショック、脳死などの特殊な病態についての研究発表が行われている。重症脳血管障害、高リスクを持った急性腹症・血管緊急症、自殺企図者やICUにおける精神症状に対するリエゾン (liaison) 精神医学なども診療・研究の対象であり、疾患の多様性から脳神経外科、胸部・心臓・血管外科、腹部外科、整形外科、さらには精神科・放射線科領域などとオーバーラップする多方向性を持った研究が行われている。

当施設は地域社会(東京都)における救急災害システムの中核的役割(診療と教育)を担う施設として位置付けられており、国際的な救急災害医療にも積極的に参加しているため、社会的側面を強く持った研究発表も数多い。災害医学・戦傷医学は現在の我が国の学問体系の中では決して扱うことのない分野であろう。

研究業績

論文

- 1) Kurosawa, H., Iwasaki, Y., Watanabe, N., Hasegawa, A., Kishi, Y., and Nakamura, K.: [総説] What's in the term 'ICU syndorome'? The relationship between ICU, post-operative, and other mental disorders. *Clinical Intensive Care*, 3, 122~126, 1992.
- 2) 横田裕行, 益子邦洋, 辺見 弘, 大塚敏文: [総説] 頭部外傷急性期における画像診断(救急NOW—頭部外傷②). *Emergency Nursing*, 5, 180~187, 1992.
- 3) 勝見 敦, 辺見 弘, 山本保博, 川井 真, 小井土雄一, 久志本成樹, 大塚敏文: [総説] 頸髄損傷の呼吸管理(救急NOW: 脊髄損傷②). *Emergency Nursing*, 5, 751~757, 1992.
- 4) 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾, 横田裕行(¹⁾脳神経外科): [総説] 頭部外傷のリハビリテーション; 日本における頭部外傷リハビリの現状. *Journal of Clinical Rehabilitation*, 1, 498~504, 1992.
- 5) 辺見 弘, 小関一英, 柴田泰史¹⁾(¹⁾中央検査部): [総説] 緊急輸血の実際と問題点の対処法. *Medical Practice*, 9, 176~181, 1992.
- 6) 横田裕行, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 大塚敏文, 小林士郎¹⁾, 矢嶋浩三¹⁾, 中沢省三¹⁾(¹⁾脳神経外科): [総説] Diffuse axonal injury における頭蓋内圧, 聴性脳幹反応測定の意義. *Neurological Surgery*, 20, 217~221, 1992.
- 7) 横田裕行, 安田和弘, 益子邦洋, 辺見 弘, 大塚敏文, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾(¹⁾脳神経外科): [総説] Magnetic resonance imaging (MRI) による慢性脳損傷の考察. *Neurological Surgery*, 20, 15~20, 1992.
- 8) 岩崎康孝: [総説] 臓器移植の現場における CLP の役割; 米国では移植前の精神医学的評価は不可欠. *Physicians Journal*, 10, 18~19, 1992.
- 9) Yokota, H., Kurosawa, A., Otsuka, T., Kobayasi, S., Nakazawa, S.: [原著] Significance of magnetic resonance imaging in acute head injury. *Year Book of Emergency Medicine*. • Year Book, Inc. St. Louis, 55,

1992.

- 10) 吉田竜介：〔総説〕呼吸不全の救急蘇生. エキスパートナース, 8, 140~145, 1992.
- 11) 渡辺信夫, 鈴木克昌, 朝倉智行, 小関一英, 辺見 弘, 大塚敏文：〔原著〕劇症肝炎に合併する DIC 対策. パイオメディカル, 2, 43~49, 1992.
- 12) 川前金幸, 大友康裕：〔原著〕ドクターカー運用におけるドッキング方式. 医学のあゆみ, 163, 885, 1992.
- 13) 久志本成樹, 辺見 弘：〔原著〕広範囲熱傷治療における allograft. 医学のあゆみ, 162, 932, 1992.
- 14) 勝見 敦, 山本保博：〔原著〕古くて新しい輸液路；骨髄内輸液－緊急輸液路確保法としての骨髄内輸液のすすめ. 医学のあゆみ, 163, 689, 1992.
- 15) 益子邦洋, 小関一英, 加藤一良, 大塚敏文：〔総説〕最近の胸部外傷. 外科, 54, 117~126, 1992.
- 16) 木村昭夫, 五十嵐英夫¹⁾, 潮田 弘²⁾, 奥住捷子²⁾, 小林寛伊³⁾, 大塚敏文 (¹都立衛生研究所微生物部, ²東京大学医学部附属病院中央検査部, ³東京大学医学部)：〔原著〕全国国立大学病院より分離された黄色ブドウ球菌のコアグラゼ型別及びエンテロトキシン並びに toxic shock syndrome toxin 1 産生性に関する疫学的研究. 感染症誌, 66, 1543~1549, 1992.
- 17) 辺見 弘：〔総説〕十二指腸破裂. 救急医学, 16, 1263~1269, 1992.
- 18) 横田裕行：〔総説〕緊急画像診断；読影のポイント. 救急医学, 16, 577~579, 1992.
- 19) 横田裕行, 大塚敏文：〔総説〕脳死患者の家族への対応. 救急医学, 16, 1525~1528, 1992.
- 20) 横田裕行：〔総説〕緊急画像診断；読影のポイント. 救急医学, 16, 101~104, 1992.
- 21) 横田裕行, 小関一英, 益子邦洋, 黒川 顕, 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文：〔総説〕頭蓋内圧・脳血流. 救急医学, 16, 697~702, 1992.
- 22) 横田裕行：〔総説〕緊急画像診断；読影のポイント. 救急医学, 16: 221~223, 1992.
- 23) 横田裕行：〔総説〕緊急画像診断；読影のポイント. 救急医学, 16, 717~719, 1992.
- 24) 横田裕行：〔総説〕緊急画像診断；読影のポイント. 救急医学, 16, 838~841, 1992.
- 25) 横田裕行, 辺見 弘, 西沢健司¹⁾, 加藤一良, 安田和弘, 大塚敏文(¹薬剤部)：〔総説〕Ceftriaxone sodium (CTRX) の髄液内移行について. 救急医学, 16, 359~362, 1992.
- 26) 横田裕行：〔総説〕緊急画像診断；読影のポイント. 救急医学, 16, 353~355, 1992.
- 27) 黒沢 尚, 岩崎康孝, 渡辺信夫, 中村加枝¹⁾, 岸 泰宏¹⁾ (¹精神科)：〔総説〕ICU syndrome 再考. 救急医学, 16, 583~587, 1992.
- 28) 加藤一良, 辺見 弘, 山本保博, 大塚敏文：〔総説〕ポテンシャルドナーに対する治療方針 (特集：臓器移植と集中治療). 集中治療, 4, 1105~1113, 1992.
- 29) 久志本成樹, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 小関一英, 加藤一良, 大塚敏文：〔原著〕劇症肝炎治療における血漿交換の意義. 集中治療, 4, 383~384, 1992.
- 30) 中沢省三¹⁾, 横田裕行, 石郷岡聡¹⁾ (¹脳神経外科)：〔総説〕重症脳障害における頭蓋内圧と脳循環動態. 神経研究の進歩, 36, 271~281, 1992.
- 31) 益子邦洋, 大友康裕：〔総説〕腎不全・心不全のマネージメント (特集：〔体液・電解質エッセンス〕体液・電解質マネージメントのチェックポイント). 診断と治療, 80, 89~93, 1992.
- 32) 岩崎康孝, 黒沢 尚, 渡辺信夫：〔原著〕第三次救急施設におけるせん妄について；発症率, 年齢, 在院日数, 生命予後, 外傷患者のせん妄. 総合病院精神医学, 4, 39~45, 1992.
- 33) 山本保博, 渡辺日章¹⁾, 浅野伍朗²⁾ (¹法医学教室, ²病理学第2教室)：〔原著〕カメルーンニオス湖ガス噴出事故における有毒ガスの本態；被災患者の病態を通した臨床学的見地から. 中毒研究, 5, 145~148, 1992.
- 34) 岩崎康孝, 黒沢 尚：〔総説〕自殺再企図の予防策. 中毒研究, 5, 343~348, 1992.
- 35) 川井 真：〔原著〕脊髄血行障害およびアシドーシスによる脊髄誘発電位の変化. 日医大誌, 59, 17~26, 1992.
- 36) 松田 潔, 佐藤雅史¹⁾, 川並汪一¹⁾ (¹第二病院病理部)：〔原著〕間質性肺疾患における BAL と TBLB の診断

学的評価. 日医大誌, 59, 57~67, 1992.

- 37) 大友康裕, 神田佳和¹⁾, 吉野芳夫¹⁾, 大塚敏文^(¹生化学第2教室): [原著] ラット Kupffer 細胞及び hepatocyte の刺激の相違によるロイコトリエン産生能の変化. 日外会誌, 94, 234, 1992.
- 38) 小関一英, 益子邦洋, 小井土雄一, 横田裕行, 久志本成樹, 勝見 敦, 廣田幸次郎, Suarez, G., 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文: [原著] 出血性ショックを伴う多発外傷後の急性呼吸不全の成因; 体液循環動態および心機能との関連. 日救医会関東誌, 13, 28~35, 1992.
- 39) 大友康裕, 大塚敏文, 益子邦洋, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 星源之助¹⁾(⁽¹⁾総合会津中央病院救命救急センター): [原著] 穿通性腹部外傷診断における local wound DPL の有用性. 日救医会関東誌, 13, 513~517, 1992.
- 40) 久志本成樹, 辺見 弘, 安田和弘, 加藤一良, 川井 真, 本間正人, 重盛千香, 田辺和子, 大塚敏文: [原著] 広範囲深在熱傷における allograft の有用性. 日救医会関東誌, 13, 230~233, 1992.
- 41) 辻井厚子, 石原 哲¹⁾(⁽¹⁾白鬚橋病院救急部): [症例報告] CT にて確認し得た魚骨による小腸穿孔の1例. 日救医会関東誌, 13, 294~295, 1992.
- 42) 長谷川雄二, 辺見 弘, 小関一英, 加藤一良, 吉田竜介, 松田 潔, 中林基明, Suarez, G., 田辺和子, 松園幸雄, 大塚敏文: [症例報告] 術前 IABP にて救命した敗血症性ショックの1例. 日救医会関東誌, 13, 372~373, 1992.
- 43) 平間久雄, 大友康裕, 清水 博, 添田良知, 牧野俊郎: [原著] 軽度肝損傷における腹部 CT の検討. 日救医会関東誌, 13, 78~81, 1992.
- 44) 本間正人, 辺見 弘, 横田裕行, 二宮宣文, 栗屋 栄¹⁾, 小川理郎, 布施 明, 中林基明, 志賀尚子, 宮内雅人, 大塚敏文 (⁽¹⁾脳神経外科): [原著] 頭部銃創の検討. 日救医会関東誌, 13, 662~663, 1992.
- 45) 小川理郎, 木村昭夫, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 西沢健司¹⁾, 大塚敏文 (⁽¹⁾薬剤部): [原著] 救命救急センターにおける緑膿菌感染症の実態. 日救医会関東誌, 13, 366~367, 1992.
- 46) 相星淳一, 須原 誠¹⁾, 吉田竜介, 武士昭彦¹⁾(⁽¹⁾亀田総合病院外科): [症例報告] 外傷性気管支断裂の2手術例. 日救医会関東誌, 13, 58~61, 1992.
- 47) 中林基明, 辺見 弘, 益子邦洋, 川井 真, 久志本成樹, 辻井厚子, 大泉 旭, 山下照代, 篠田光隆, 朝倉智行, 大塚敏文: [症例報告] 骨盤骨折を伴わない後腹膜巨大血腫の1例. 日救医会関東誌, 13, 142~143, 1992.
- 48) 朝倉智行, 辺見 弘, 小関一英, 安田和弘, 二宮宣文, 木村昭夫, 松田 潔, 大塚哲夫, 松園幸雄, 大塚敏文: [症例報告] DOA にて搬送された ectopic pheochromocytoma の1例. 日救医会関東誌, 13, 392~393, 1992.
- 49) 志賀尚子, 辺見 弘, 横田裕行, 二宮宣文, 栗屋 栄, 石橋 励, 佐藤秀貴, 大泉 旭, 加藤 宏, 大塚敏文: [症例報告] 器質化慢性硬膜下血腫の1例. 日救医会関東誌, 13, 264~263, 1992.
- 50) 直江康孝, 辺見 弘, 益子邦洋, 加藤一良, 川井 真, 長谷川雄二, 大泉 旭, 大塚敏文: [症例報告] Limb Salvage 可能であった上肢ガス壊疽の1例. 日救医会関東誌, 13, 192~193, 1992.
- 51) 宮内雅人, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 横田裕行, 川井 真, 松田 潔, 勝見 敦: [症例報告] Kaneda Device により胸椎前方固定を行った3症例. 日救医会関東誌, 13, 172~175, 1992.
- 52) 坂本哲也¹⁾, 谷口俊恭¹⁾, 弥富俊太郎, 清田和也¹⁾, 繁田正毅¹⁾, 三宅康史¹⁾, 有賀 徹¹⁾, 水谷 徹¹⁾, 田中 洋¹⁾(⁽¹⁾公立昭和病院救急医療センター, ⁽²⁾同脳神経外科): [原著] 非侵襲的 cerebral oximeter の使用経験. 日救医会関東誌, 13, 168~169, 1992.
- 53) 弥富俊太郎, 西野 猛¹⁾, 池田尚人¹⁾, 水谷 徹¹⁾, 田中 洋¹⁾, 清田和也²⁾, 三宅康史²⁾, 坂本哲也²⁾, 有賀 徹²⁾(⁽¹⁾公立昭和病院脳外科, ⁽²⁾同救急医療センター): [症例報告] 重症結核性髄膜炎の2症例. 日救医会関東誌, 13, 182~185, 1992.
- 54) 伊藤敦雄¹⁾, 辺見 弘, 益子邦洋, 勝見 敦, 百瀬文教, 松田一成, 大塚敏文, 黒沢 尚, 西沢健司²⁾, 柴田泰史¹⁾(⁽¹⁾中央検査部, ⁽²⁾薬剤部): [症例報告] 破傷風様症状を呈した向精神薬による副作用の1症例. 日救医会関東誌, 13, 346~347, 1992.

- 55) 長崎文江, 渡辺信夫, 中村加枝¹⁾, 岸 泰宏¹⁾, 黒沢 尚, 益子邦洋, 辺見 弘, 大塚敏文 (¹⁾精神科): [原著] 交通事故による障害者の実態 (第1報) 収容機転と重症度との関係. 日救医会関東誌, 13, 248~249, 1992.
- 56) 渡嘉敷史郎, 長崎文江, 久志本成樹, 益子邦洋, 大塚敏文, 岸 泰宏¹⁾, 黒沢 尚 (¹⁾精神科): [原著] 交通事故による障害者の実態-第2報-背景因子について. 日救医会関東誌, 1992.
- 57) 木村昭夫: [原著] 鈍的腹部外傷の開腹適応決定における超音波検査腹腔内出血所見の意義. 日外会誌, 11, 1378~1383, 1992.
- 58) 辺見 弘, 前川和彦, 茂木正壽, 安田和弘, 葛西 猛, 坂本照夫: [原著] 脾損傷. 日外傷研会誌, 6, 195~210, 1992.
- 59) 広瀬保夫, 三井田努¹⁾, 本多 拓¹⁾, 西村喜宏¹⁾, 丸山正則¹⁾, 木村秀樹¹⁾, 吉田和清¹⁾ (¹⁾新潟市民病院): [症例報告] グルシホーネ中毒の1例. 日救急医学会誌, 3, 88~91, 1992.
- 60) 加藤一良, 辺見 弘, 山本保博, 益子邦洋, 木村昭夫, 久志本成樹, 大塚敏文: [原著] 鈍的外傷による心膜損傷の検討. 日救急医学会誌, 3, 163~172, 1992.
- 61) 加藤一良, 木村昭夫, 小井土雄一, 大塚敏文: [原著] 脳死患者の心肺停止機能の評価: Swan Ganz Catheter を用いての検討. 日胸外会誌, 40, 152~153, 1992.
- 62) 松田 潔, 佐藤雅史¹⁾, 川並汪一¹⁾ (¹⁾第二病院病理部): [原著] 気管支肺胞洗浄法によるびまん性肺疾患における気道系と肺胞系炎症の分析とその意義. 日胸疾患会誌, 30, 827~834, 1992.
- 63) 勝見 敦, 岩間 裕¹⁾, 山本保博, 辺見 弘, 川前金幸¹⁾, 大友康裕, 大塚敏文 (¹⁾総合会津中央病院): [原著] 緊急時の骨髄内輸液の施行について. 腹部救急医療の進歩, 12, 652~653, 1992.
- 64) 大友康裕, 益子邦洋, 平間久雄, 小井土雄一, 山本保博, 大塚敏文: [原著] 診断的腹腔洗浄法 (DPL) のカテーテル挿入法について. 腹部救急診療の進歩, 12, 502~503, 1992.
- 65) 吉田竜介: [総説] 熱中症. 臨床医, 18, 466~471, 1992.
- 66) 小関一英, 大塚敏文: [総説] 老年者のショックと輸液 (特集: 老年者と輸液). 老化と疾患, 5, 887~892, 1992.
- 67) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [総説] 老年期のリエゾン精神医学と救急医療 (特集: 総合病院におけるリエゾン精神医学). 老年精医誌, 3, 1355~1360, 1992.
- 68) 鈴木克昌, 小井土雄一, 加藤 宏, 山下照代, 渡辺保夫, 須崎紳一郎, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博: [症例報告] CT と FES が診断上有用であった Boerhaave syndrome の1例. 日救医会関東誌, 13, 122~124, 1992.
- 69) 松園幸雅, 大友康裕, 平間久雄, 清水 博, 篠田光孝, 新井正徳: [症例報告] 腎部分切除を施行した右腎破裂の1例. 日救医会関東誌, 13, 138~140, 1992.
- 70) 松田 潔: [総説] 救急領域での専門用語. Emergency Nursing, 5, 508~533, 1992.
- 71) 松田 潔, 益子邦洋: [総説] 救急外来処置の実際: 胸腔穿刺・胸腔ドレナージ. 救急医学, 16, 524~525, 1992.
- 72) 松田 潔, 益子邦洋: [総説] 胸腔穿刺, 胸腔ドレナージ. 救急医学, 16, 524~525, 1992.
- 73) 益子邦洋, 大友康裕, 大塚敏文: [総説] 周術期栄養管理の実際: 腹部外傷手術. 消化器外科, 15, 605~612, 1992.
- 74) 益子邦洋, 小関一英, 横田裕行, 加藤一良: [総説] 心損傷の循環管理: 心筋挫傷, 心破裂を中心に (特集: 胸部外傷と集中治療). 集中治療, 4, 695~705, 1992.
- 75) 益子邦洋, 木村昭夫, 上田ひろみ¹⁾, 柴田泰史¹⁾ (¹⁾中央検査部): [総説] 挿管・人工呼吸器使用中の患者の感染症 (特集: 集中治療における感染症対策). 集中治療, 4, 417~425, 1992.
- 76) 新井正徳, 大友康裕, 平間久雄, 清水 博, 松園幸雄, 篠田光孝: [原著] 当院に搬送される外傷患者の AIS, ISS による評価の検討. 日救医会関東誌, 16, 290~291, 1992.
- 77) 本間正人, 辺見 弘, 横田裕行, 二宮宣文, 栗屋 栄, 小川理郎, 布施 明, 中林基明, 志賀尚子, 宮内雅人, 大塚敏文: [原著] 頭部銃創の検討. 日救急医学会関東誌, 13, 162~163, 1992.
- 78) 益子邦洋, 加藤一良: [総説] 胸部外傷の基礎知識 (特集: 胸・腹部外傷の画像診断). 臨床画像, 8, 6~16,

- 1992.
- 79) 柴田泰史¹⁾, 上田ひろみ¹⁾, 紺野明子¹⁾, 佐藤寛之¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦¹⁾, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 横田裕行, 大塚敏文(¹⁾中央検査部):〔総説〕外傷患者における CK アイソザムの検討. 日外研究誌, 6, 211~217, 1992.
 - 80) 吉田竜介, 益子邦洋:〔総説〕新鮮血輸血, 自己血輸血の適応と問題点. 救急医学, 16, 897~899, 1992.
 - 81) 益子邦洋, 大塚敏文:〔総説〕救急医学教育を救急医療の中でいかに行うべきか; 救急専門医の養成を考えつつ. 新医療, 19, 48~51, 1992.
 - 82) 柴田泰史¹⁾, 上田ひろみ¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦¹⁾, 辺見 弘, 安田和弘, 小関一英, 大塚敏文(¹⁾中央検査部):〔原著〕当救命救急センターにおける全自動血液ガス電解質測定装置 Stat profile 5の検討. 日救急医学会関東誌, 13, 228~239, 1992.
 - 83) 益子邦洋:〔総説〕心損傷. 救急医学, 16(臨時増刊号), 1163~1170, 1992.
 - 84) 益子邦洋:〔総説〕ショックパンツ(特集:救急看護の基礎知識第37回). Emergency Nursing, 5, 80~82, 1992.
 - 85) 益子邦洋:〔総説〕気道の確保(図解 診察基本手技第2集救急手技-救急蘇生法). Mrdicina, 29, 322~326, 1992.
 - 86) 二宮宣文:〔総説〕第2回アジア太平洋大災害医療学会. Emergency Nursing, 5, 1992.
 - 87) 辻井厚子, 川井 真, 辺見 弘:〔総説〕熱傷(小児の救急医療). 小児内科, 24, 670~675, 1992.
 - 88) 益子邦洋, 横田裕行, 廣田幸次郎, 大塚敏文:〔総説〕救急医療とICU(特集:救急医療と集中治療). ICUとCCU, 16, 1151~1158, 1992.
 - 89) 二宮宣文:〔総説〕救急用二輪車の有効性(あゆみ-動き出したドクターズカー③). 医学のあゆみ, 163, 881~884, 1992.
 - 90) 国保昌紀, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 久志本成樹, 松田 潔, 本間正人, Suarez, G., 加藤 宏, 西 芳徳, 直江康孝, 大塚敏文:〔症例報告〕Extended distal pancreatectomyを行った外傷性脾損傷の1例. 日救急医学会関東誌, 13, 128~130, 1992.
 - 91) 横田裕行, 加藤一良, 小関一英, 益子邦洋, 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文:〔総説〕脳死判定. Emergency Nursing, 6, 230~234, 1993.
 - 92) 岩崎康孝, 黒沢 尚:〔総説〕急性中毒患者のメンタルケア. Emergency Nursing, 増刊号, 79~85, 1993.
 - 93) 益子邦洋:〔総説〕緊急を要する体腔液貯留の診断とその対応-心タンポナーデ, 血胸, 腹腔内出血, JIM, 3, 306~308, 1993.
 - 94) 岩崎康孝, 黒沢 尚:〔総説〕けいれん. Medical Practice, 136~138, 1993.
 - 95) 横田裕行, 大塚敏文:〔総説〕救急医にとっての臓器移植法立法化の意義. Physicians Journal, 別冊, 16~20, 1993.
 - 96) Yokota, H., Yamamoto, Y., Otuka, T., Kobayasi, S. and Nakazawa, S.:〔原著〕Significance of magnetic resonance imaging (MRI) in diffuse axonal injury., Recent Advances in Traumatology., 別冊, 171~174, 1993.
 - 97) 岩崎康孝, 渡辺信夫:〔総説〕入院中逸脱行為の頻発した高所からの飛び降りによる自殺未遂症例. 救急医学, 17, 240~241, 1993.
 - 98) 岩崎康孝, 岸 泰宏¹⁾(¹⁾付属病院精神科):〔総説〕診断・治療の判断が重要であった老年期うつ病の1症例. 救急医学, 17, 88~89, 1993.
 - 99) 横田裕行, 小関一英, 益子邦洋, 黒川 顕, 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文:〔総説〕脳循環の変化と対策. 集中治療, 5, 401~412, 1993.
 - 100) 島田二郎¹⁾, 川前金幸¹⁾, 岩間 裕¹⁾, 勝見 敦, 赤間洋一²⁾, 田勢長一郎²⁾, 奥秋辰一²⁾(¹⁾総合会津中央病院救命救急センター, ²⁾福島医科大学麻酔科学教室):〔総説〕18G注射針による骨髄内輸液の検討. 蘇生, 11, 54, 1993.

- 101) 大塚敏文, 川井 真, 益子邦洋:〔原著〕救命救急センターにおける整形外科の現状と展望. 東日本臨整会誌, 5, 158~163, 1993.
- 102) 横田裕行, 中林基明, 布施 明, 益子邦洋, 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文, 栗屋 栄¹⁾, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾ (脳神経外科):〔原著〕頭部外傷における Mannitol 持続少量総頸動脈投与療法. 脳神経外科, 21, 205~211, 1993.
- 103) 島 健¹⁾, 岡田芳和¹⁾, 西田正隆¹⁾, 山根冠児¹⁾, 沖田進司¹⁾, 佐藤秀貴, 直江康隆¹⁾ (中国労災病院脳神経外科):〔原著〕椎骨脳底動脈閉塞性病変に対する外科的治療. 脳卒中の外科, 21, 5~9, 1993.
- 104) 横田裕行:〔総説〕内科医が診る機会の多い救急疾患. 麻痺, 81, 247~252, 1993.
- 105) 大友康裕, 益子邦洋:〔総説〕緊急開胸術 (特集:緊急手術の展開). OPE Nursing, 8, 38~43, 1993.
- 106) 辻井厚子, 安田和弘, 川井 真, 辺見 弘:〔総説〕重症熱傷患者の治療限界とその対応 (特集:治療の限界とその対応). ICU と CCU, 17, 147~155, 1993.
- 107) 益子邦洋, 大友康裕, 木間正人:〔総説〕横隔膜損傷と合併臓器損傷 (特集:腹部外傷—最新の診断・治療—). 外科診療, 35, 141~146, 1993.
- 108) 木村昭夫:〔原著〕重症救急患者におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の研究;メチシリン耐性黄色ブドウ球菌とその感染症例の解析. 日救医学会誌, 4, 7~16, 1993.
- 109) 高橋 聡, 山本保博:〔総説〕急性中毒の疫学. エマージェンシーナースング春季増刊号, 90~93, 1993.
- 110) 益子邦洋, 大塚敏文:〔総説〕救急医療と医科器械. 医器学, 63, 134~139, 1993.
- 111) 木村昭夫, 五十嵐英夫¹⁾, 潮田 弘¹⁾, 奥住捷子²⁾, 小林寛伊³⁾, 大塚敏文 (¹⁾都立衛生研究所微生物部, ²⁾東大附属病院中央検査部, ³⁾同手術部):〔原著〕全国国立大学病院より分離された黄色ブドウ球菌におけるコアグラセ型別および毒素産生性と薬剤感受性の関連性に関する研究. 感染症誌, 67, 223~230, 1993.
- 112) 大塚敏文, 木村昭夫:〔総説〕重症救急患者における MRSA および緑膿菌院内感染症の現状と対策. 感染防止, 9, 10~16, 1993.
- 113) 川井 真, 辺見 弘, 大塚敏文:〔総説〕創周囲に血管・神経・骨損傷などがある場合の処置のポイント. 救急医学, 17, 321~323, 1993.
- 114) 益子邦洋:〔総説〕救急薬剤の使用法. 診断と治療, 81, 107~112, 1993.
- 115) 益子邦洋, 大塚敏文:〔総説〕救急医療における薬剤師の役割に期待する—医師の立場から— (特集:救急医療における薬剤師の役割). 薬事, 35, 23~30, 1993.

著 書

- 1) 青野 允¹⁾, 上原鳴夫²⁾, 鵜飼 卓³⁾, 甲斐達郎³⁾, 黒川 顕, 小井土雄一, 須崎紳一郎, 富岡譲二, 二宮宣文, 山本保博, 横田裕行 (¹⁾金沢医科大学麻酔科, ²⁾国立病院医療センター, ³⁾大阪府立千里救命救急センター):〔翻訳〕災害医学用語事典 (by S.W.A. Gunn). (青野 允・鵜飼 卓・山本保博編). へるす出版, 1992.
- 2) 山本保博, 黒川 顕, 須崎紳一郎, 牧野俊郎:〔編集〕第1回救急救命士国家試験問題解答・解説集. へるす出版, 1992.
- 3) 山本保博, 黒川 顕, 須崎紳一郎, 牧野俊郎:〔編集〕第2回救急救命士国家試験問題解答・解説集. へるす出版, 1992.
- 4) 岩崎康孝, 黒沢 尚:〔分担〕3. 自殺・危機介入. 医学のための行動科学1992. (鈴木二郎編) P. 226~230, 金芝堂, 1992.
- 5) 山本保博, 山本正生¹⁾ (¹⁾小児科):〔編集〕小児クイックガイド. P. 2~5, 医学書院, 1992.
- 6) 山本保博:〔分担〕急性アルコール中毒に対する救急処置. 飲酒問題対応マニュアル・厚生省保健医療局精神保健課, 1992.
- 7) 山本保博:〔分担〕3. 心マッサージ (1. 手技). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・

- 山本保博 編). P. 6～7, 文光堂, 1992.
- 8) 山本保博: [分担] 87. ガス中毒 (4. 疾患). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 216～217, 文光堂, 1992.
- 9) 山本保博: [分担] 81. 多発外傷 (4. 疾患). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博 編). P. 204～205, 文光堂, 1992.
- 10) 山本保博: [分担] 93. 溺水 (4. 溺水). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博 編). P. 230～231, 文光堂, 1992.
- 11) 山本保博: [分担] 90. 急性アルコール中毒 (4. 疾患). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 222～223, 文光堂, 1992.
- 12) 山本保博: [分担] 6. 静脈路の確保 (1. 手技). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 12～13, 文光堂, 1992.
- 13) 山本保博: [分担] 78. 骨盤外傷 (4. 疾患). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 198～199, 文光堂, 1992.
- 14) 山本保博: [分担] 60. 食道静脈瘤破裂 (4. 疾患). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 156～157, 文光堂, 1992.
- 15) 山本保博: [分担] 12. 止血法 (1. 手技). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 12～13, 文光堂, 1992.
- 16) 山本保博: [分担] 54. 喘息発作 (4. 疾患). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 144～145, 文光堂, 1992.
- 17) 山本保博: [分担] 15. 局所麻酔 (1. 手技). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 32～33, 文光堂, 1992.
- 18) 山本保博: [分担] 51. 急性心筋梗塞 (4. 疾患). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 138～139, 文光堂, 1992.
- 19) 山本保博: [分担] 42. 発熱 (3. 徴候). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 110～111, 文光堂, 1992.
- 20) 山本保博: [分担] 39. 急性乳児下痢 (3. 徴候). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 104～105, 文光堂, 1992.
- 21) 山本保博: [分担] 36. 悪心・嘔吐 (3. 徴候). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 96～97, 1992.
- 22) 山本保博: [分担] 18. S-B チューブ挿入 (1. 手技). 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林国男・山本保博編). P. 40～41, 文光堂, 1992.
- 23) 山本保博: [分担] 98. DOA (dead on arrival): 来院時心肺停止. 救急イラストレイテッドマニュアル (芦川和高・小林和高・山本保博 編). P. 244～245, 文光堂, 1992.
- 24) 松田 潔: [分担] 溺水. 小児救急クイックガイド (山本保博, 山本正生編). P. 84～87, 1992.
- 25) 山本保博: [分担] 2. 気道確保・酸素療法 (III基手技編). 小児救急クイックガイド (山本保博・山本正生編). P. 358～360, 医学書院, 1992.
- 26) 山本保博: [分担] 1. 心肺停止 (I救命編). 小児救急クイックガイド (山本保博・山本正生編). P. 2～5, 医学書院, 1992.
- 27) 山本保博, 大塚敏文: [分担] 7. 救急医療 (薬物中毒を含む) に応用される血液浄化 (第II章血液浄化). 人工臓器1992 (阿岸鉄三責任編集). P. 84～92, 中川書店, 1992.
- 28) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [分担] 不安発作. 図解救急処置ガイド (Medical Practice 編集委員会編). P. 144～147, 文光堂, 1992.

- 29) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [分担] けいれん. 図解救急処置ガイド (Medical Practice 編集委員会編). P. 136~138, 文光堂, 1992.
- 30) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [分担] 精神科救急. 精神医学事典. P.177, 弘文堂, 1992.
- 31) 山本保博: [編集] 21世紀のプレホスピタルケア; 救命救急士への期待と課題. 全国加除法令出版, 1992.
- 32) 芦川和高¹⁾, 小林国男²⁾, 山本保博(¹⁾聖マリアンナ医科大学救命救急センター, ²⁾帝京大学医学部附属病院救命救急センター): [編集] 救急イラストレイテッドマニュアル. 文光堂, 1992.
- 33) 鶴飼 卓¹⁾, 山本保博, 山下 衛²⁾ (¹⁾大阪府立千里救命救急センター, ²⁾筑波大): [分担] 急性中毒. 今日の治療指針1992. (日野原重明・阿部正和監修). P. 809~823, 医学書院, 1992.
- 34) 山本保博: [分担] 酸・アルカリ中毒. 今日の診断指針第3版 (亀山正邦・亀田治男・高久史磨・阿部令彦総編集). P. 1197~1199, 医学書院, 1992.
- 35) 大友康裕, 益子邦洋: [分担] 腹腔穿刺と腹腔洗浄法. 図解救急処置ガイド (Medical practice 編集委員会編). P. 80~85, 文光堂, 1992.
- 36) 益子邦洋: [分担] 血液からのモニタリング. 患者情報収集マニュアル (中木高夫他編). P. 144~148, 小学館, 1992.
- 37) 大塚敏文, 小井土雄一, 小林士郎¹⁾, 白石一也¹⁾, 益子邦洋 (¹⁾脳神経外科): [分担] イラスト救急処置マニュアル. 南江堂, 1992.
- 38) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [分担] 再自殺の危険性の判断. 救急スタッフのための精神科マニュアル (日本救急医学会精神保健問題委員会), P. 58~59, 1992.
- 39) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [分担] 自殺と保健診療. 救急スタッフのための精神科マニュアル (日本救急医学会精神保健問題委員会), P. 140~142, 1992.
- 40) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [分担] 確信的自殺者への接し方. 救急スタッフのための精神科マニュアル (日本救急医学会精神保健問題委員会), P. 60~61, 1992.
- 41) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [分担] 自殺未遂者の初期対応. 救急スタッフのための精神科マニュアル (日本救急医学会精神保健問題委員会), P. 54~55, 1992.
- 42) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [分担] 自殺患者の家族への接し方. 救急スタッフのための精神科マニュアル (日本救急医学会精神保健問題委員会), P. 56~57, 1992.
- 43) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [分担] 救急と自殺. 救急スタッフのための精神科マニュアル (日本救急医学会精神保健問題委員会), P. 114~117, 1992.
- 44) 岩崎康孝, 黒沢 尚: [翻訳] うつ病と自殺; 予防は可能か? ランセット日本語版, 3, P. 28~29, 1993.
- 45) 益子邦洋: [分担] 血気胸. 今日の治療指針1993年版 (日野原重明・阿部正和監修). P. 20, 医学書院, 1993.
- 46) 益子邦洋, 大塚敏文: [分担] 胸部外傷とその初療. 外科研修医のための基本手術の要点 (森岡恭彦・宇田川英一・松本昭彦編). P. 42~54, 金原出版, 1993.
- 47) 二宮宣文: [分担] 顔面・口腔外傷. 今日の治療指針1993年 (日野原重明・阿部正和監修). P. 18, 医学書院, 1993.

学会発表

- 1) 大塚敏文: [一般講演] 救急医療のファーストエイド. 第1回青森県救急医学会, 1992.
- 2) 加藤一良, 大塚敏文: [シンポジウム] 臓器移植ネットワークのあるべき姿. 第26回日本腎移植臨床研究会, 1992.
- 3) 大塚敏文: [シンポジウム] 臓器提供. 多臓器提供への展開; 救急医の立場から. 第28回日本移植学会, 1992.
- 4) 大塚敏文: [一般講演] 救命救急センターにおける整形外科的疾患の現状と展望. 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 5) 大塚敏文: [一般講演] 救急医療の現状と将来. 第55回東京警察病院シンポジウム, 1992.

- 6) Iwasaki, Y., Strain, J., and Hammer, J.: [ポスター] Counselling patients at risk for suicidal ideation of attempts with acute/chronic medical illness. Counseling the Chronically Ill: Concept and Controversies, 1992.
- 7) 栗屋 栄, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾, 横田裕行, 加藤一良, 辺見 弘, 大塚敏文(¹脳神経外科): [シンポジウム] 重症頭部外傷における脳表温度測定の意義. 第15回日本神経外傷研究会, 1992.
- 8) 横田裕行, 栗屋 栄, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾, 布施 明, 石橋 励, 辺見 弘, 大塚敏文(¹脳神経外科): [シンポジウム] Diffuse brain injury の neuroimaging ; CT と MRI の比較検討から. 第15回日本神経外傷研究会, 1992.
- 9) 辺見 弘: [シンポジウム] 救急隊指導医からみた救急救命士のコントロール. 第19回日本集中治療学会, 1992.
- 10) 吉田竜介, 益子邦洋, 川井 真, 辺見 弘, 亀田信介¹⁾, 大塚敏文(¹亀田総合病院): [一般講演] 重症出血性ショックを伴った大腿部 non cavitory hemorrhage の臨床. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 11) 川井 真, 辺見 弘, 辻井厚子, 久志本成樹, 松田 潔, 大塚敏文: [一般講演] 凍結同種植皮の適応. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 12) 川前金幸¹⁾, 大友康裕, 牧野俊郎, 岩間 裕¹⁾, 星源之助¹⁾(¹総合会津中央病院救命救急センター): [一般講演] 広域会津地区救急隊員の昨日, 今日, 明日; アンケート調査をもとに. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 13) 大友康裕: [一般講演] 腸管損傷を目的とした診断的腹腔洗浄法 (DPL) 判断基準の再評価. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 14) 後藤真弓, 横山和子¹⁾ (¹第一病院麻酔科): [一般講演] 術中大量出血をきたした腹腔鏡下胆嚢摘出術の麻酔経験. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 15) 後藤真弓, 横山和子¹⁾ (¹第一病院麻酔科): [一般講演] 腰部硬膜外カテーテルの走行の検討. 第39回日本麻酔学会総会, 1992.
- 16) 大塚敏文: [教育講演] 腹部外傷; 診断. 第40回日本消化器外科学会, 1992.
- 17) 吉田竜介, 光島 徹¹⁾, 永谷京平¹⁾, 斎藤主治¹⁾, 南原好和¹⁾, 今西幸市¹⁾, 野崎益司¹⁾, 森山剛栄(¹亀田総合病院外科): [一般講演] 救命救急センターにおける緊急内視鏡検査の現況. 第43回日本消化器内視鏡学会, 1992.
- 18) 木村昭夫, 五十嵐英夫³⁾, 生方公子¹⁾, 中上 智²⁾, 山根明男²⁾, 紺野昌俊¹⁾, 大塚敏文(¹帝京大学医学部臨床病理部, ²湧永製薬, ³都立衛生研究所微生物部): [ポスター] Endymatic detection polymerase chain reaction 法による黄色ブドウ球菌 enterotoxin 並びに toxic shock syndrome toxin-1 産生性の検出ー逆受身ラテックス凝集法と比較して. 第66回日本感染症学会総会, 1992.
- 19) Iwasaki, Y., Stain, J., and Hammer, J.: [ポスター] Predictors of suicide in the consultation population. The American Psychiatric Association Psychiatrists ; 145th. Annual Meeting, 1992.
- 20) Iwasaki, Y., Kurosawa, H., and Watanabe, N.: [ポスター] The delirium of trauma patients incidence, outcome, length of stay. The American Psychiatric Association Psychiatrists ; 145th. Annual Meeting, 1992.
- 21) Yamamoto, Y.: [一般講演] Il servizio medico per le emergenze di Tokyo. World Conference on Health Emergencies In Technological Disasters Rome, 1992.
- 22) 川井 真, 辺見 弘, 松田 潔, 久志本成樹, 辻井厚子, 大塚敏文: [一般講演] 凍結同種植皮の臨床. 第18回日本熱傷学会, 1992.
- 23) 辻井厚子, 辺見 弘, 安田和弘, 川井 真, 久志本成樹, 松田 潔, 呉志 宏, 西沢健司¹⁾, 柴田泰史²⁾, 大塚敏文(¹薬剤部, ²中央検査部): [一般講演] Skin Bank の設立についての検討. 第18回日本熱傷学会, 1992.
- 24) 益子邦洋: [特別講演] 最近の肝外傷. 第21回神奈川県消化器外科研究会, 1992.
- 25) 後藤真弓, 横山和子¹⁾, 益田律子¹⁾ (¹第一病院麻酔科): [一般講演] 麻酔導入時サクシニールコリンにより III' A-V ブロックが出現した 1 症例. 第32回日本麻酔学会関東地方会, 1992.

- 26) 新井正徳, 大友康裕, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 平間久雄, 清水 博, 添田良和, 篠田光孝, 星源之助¹⁾(¹⁾総合会津中央病院救命救急センター): [一般講演] 当院に搬送される外傷患者の AIS, ISS による評価の検討. 第6回東北救急医学会総会, 1992.
- 27) 篠田光孝, 大友康裕, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 平間久雄, 清水 博, 添田良知, 新井正徳, 松園幸雅, 星源之助¹⁾(¹⁾総合会津中央病院): [一般講演] 右横隔膜損傷の鑑別診断. 第6回東北救急医学会総会, 1992.
- 28) 篠田光孝, 大友康裕, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 平間久雄, 清水 博, 添田良知, 新井正徳, 松園幸雅, 星源之助¹⁾(¹⁾総合会津中央病院救命救急センター): [一般講演] 右横隔膜損傷の鑑別診断. 第6回東北救急医学会総会, 1992.
- 29) 栗屋 栄, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾, 横田裕行, 加藤一良, 辺見 弘, 大塚敏文(¹⁾脳神経外科): [一般講演] 重症頭部外傷における脳表温度測定の意義. 第6回日本外傷研究会, 1992.
- 30) 吉田竜介, 相星淳一, 須原 誠¹⁾, 清水久和¹⁾, 武士昭彦, 安田和弘, 辺見 弘(¹⁾亀田総合病院): [シンポジウム] 損傷形態から見た脾損傷の治療方針に関する検討. 第6回日本外傷研究会, 1992.
- 31) 加藤一良, 辺見 弘, 益子邦洋, 木村昭夫, 小井土雄一, 久志本成樹, 大塚敏文: [一般講演] 非穿通性心膜損傷の検討. 第6回日本外傷研究会, 1992.
- 32) 大友康裕, 川前金幸¹⁾, 平間久雄, 清水 博, 添田良知, 牧野俊郎(¹⁾総合会津中央病院救命救急センター): [一般講演] DPL にて腸管損傷を否定し, TAE を施行した鈍的腹部外傷の1例. 第6回日本外傷研究会, 1992.
- 33) 久志本成樹, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 小関一英, 加藤一良, 木村昭夫, 大塚敏文: [一般講演] 腹部血管外傷の検討. 第6回日本外傷研究会, 1992.
- 34) 松田 潔, 辺見 弘, 益子邦洋, 横田裕行, 川井 真, 宮内雅人, 大塚敏文: [一般講演] Anterior spinal instrumentation による胸椎損傷治療経験. 第6回日本外傷研究会, 1992.
- 35) 勝見 敦, 辺見 弘, 大塚敏文, 益子邦洋, 小関一英, 加藤一良, 松田 潔, 百瀬文教, 重盛千香, 横山広行¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾(¹⁾集中治療室): [一般講演] 鈍的外傷に起因する若年者の下壁心筋梗塞の1例. 第6回日本外傷研究会, 1992.
- 36) 辻井厚子, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 加藤一良, 木村昭夫, 久志本成樹, 勝見 敦, 本間正人, 大塚敏文: [一般講演] 鈍的腹部外傷の開腹適応決定方法に関する検討. 第6回日本外傷研究会, 1992.
- 37) 本間正人, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 安田和弘, 加藤一良, 木村昭夫, 大塚敏文: [一般講演] 脾損傷54例の検討. 第6回日本外傷研究会, 1992.
- 38) 辺見 弘: [シンポジウム] 広範囲熱傷のチーム医療. 第18回日本熱傷学会, 1992.
- 39) 布施理美¹⁾, 岩崎 栄¹⁾, 岩崎康孝(¹⁾医療管理学教室): [一般講演] 救命救急センターにおける自殺企図患者に対する consultation liaison psychiatry 活動の業務量. 第19回日本集中治療学会総会, 1992.
- 40) 小関一英, 益子邦洋, 小井土雄一, 横田裕行, 久志本成樹, 勝見 敦, 廣田幸次郎, Suarez, G., 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文: [シンポジウム] 出血性ショックを伴う多発外傷後の急性呼吸不全の成因. 第33回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 41) 本間正人, 辺見 弘, 横田裕行, 二宮宣文, 栗屋 栄, 小川理郎, 布施 明, 中林基明, 志賀尚子, 宮内雅人, 大塚敏文: [一般講演] 頭部銃創の検討. 第33回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 42) 野池勝利, 辺見 弘, 益子邦洋, 山本保博, 加藤一良, 久志本成樹, 川井 真, 大泉 旭, 大塚敏文: [症例報告] 骨傷, 血管損傷を伴った大腿コンパートメント症候群の4例. 第33回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 43) 久志本成樹, 辺見 弘, 黒川 顕, 横田裕行, 加藤一良, 二宮宣文, 栗屋 栄, 本間正人, 小川理郎, 中林基明, 大塚敏文: [一般講演] 高度意識障害患者における内頸静脈酸素飽和度測定の意義. 第5回脳死・脳蘇生研究会, 1992.
- 44) 吉田 哲¹⁾, 直江康孝, 島 健¹⁾(¹⁾中国労災病院脳神経外科): [一般講演] 超電動 MRI による頭部外傷急性期の病態評価. 第8回中国救急医学会, 1992.

- 45) 益子邦洋：〔特別講演〕腹部外傷の診断と治療。山梨外科医会，1992。
- 46) 岩崎康孝，黒沢 尚，渡辺信夫：〔一般講演〕第三次救急施設に搬入される服毒自殺未遂者について第6報；自殺企図前行動について。第14回日本中毒研究会，1992。
- 47) 横田裕行，黒川 颯，山本保博，辺見 弘，大塚敏文，小林士郎¹⁾，中沢省三¹⁾（¹⁾脳神経外科）：〔一般講演〕び慢性脳損傷における意識障害；Magnetic resonance imaging（MRI）所見による検討。第1回意識障害の治療研究会，1992。
- 48) 中林基明，名見耶満徳，久志本成樹，粟屋 栄¹⁾，加藤一良，横田裕行，辺見 弘，大塚敏文（¹⁾脳神経外科）：〔一般講演〕頸静脈酸素飽和度測定の手技。第1回頸静脈酸素飽和度研究会，1992。
- 49) Yokota, H., Ninomiya, N., Yamamoto, Y., Henmi, H., and Otsuka, T.：〔ポスタ〕Magnetic resonance imaging of in severe head injury. Second Asian Pacific Conference on Disaster Medicine., 1992.
- 50) Koseki, K., Mashiko, K., Yokota, H., Ninomiya, N., Henmi, H., and Otsuka, T.：〔ポスター〕Role of emergency room thoracotomy for moribund trauma victims；Experience in Tokyo metroporitan aria. Second Asian Pacific Conference on Disaster Medicine., 1992.
- 51) Ninomiya, N., Yokota, H., Koseki, K., Yasuda, K., Mashiko, K., Kurokawa, A., Henmi, H., Yamamoto, Y., and Otsuka, T.：〔ポスター〕The activities of ECCM center in Nippon Medical School. Second Asian Pacific Conference on Disaster Medicine., 1992.
- 52) 加藤一良，辺見 弘，山本保博，益子邦洋，木村昭夫，大塚敏文：〔一般講演〕Blunt traumatic pericardial rupture. Second Asian Pacific Conference on Disaster Medicine., 1992.
- 53) Katsumi, A., Yamamoto, Y., Henmi, H., Ninomiya, N., Otomo Y., and Otsuka, T.：〔一般講演〕Emergency use of a new intraosseous infusion techique：Clavicular intraosseous infusion. Second Asian Pacific Conference on Disaster Medicine., 1992.
- 54) 益子邦洋：〔招待講演〕外傷患者の全身観察と判断。会津若松市救急業務研究会，1992。
- 55) 益子邦洋：〔招待講演〕救急患者の応急処置。柔道整復師城北ブロック学術研究会，1992。
- 56) 山本保博：〔特別講演〕来院時心肺停止（DOA）患者をいかに救命するか；現状とその対策。第11回日本救急医学会山陰地方会，1992。
- 57) 柴田泰史¹⁾，上田ひろみ¹⁾，本山三生¹⁾，山下精彦¹⁾，辺見 弘，益子邦洋，木村昭夫，大塚敏文（¹⁾中央検査部）：〔ポスター〕気管内挿管，人工呼吸器使用中の患者における気道内からの最近検出状況。第60回日本医科大学医学学会総会，1992。
- 58) 辻井厚子，辺見 弘，安田和弘，川井 真，犬塚 祥，勝見 敦，本間正人，大塚敏文：〔一般講演〕Frozen allograft の臨床応用と skin banking についての検討。第60回日本医科大学総会，1992。
- 59) 長谷川雄二：〔一般講演〕日本救急医療システムの比較。第60回日本医科大学総会，1992。
- 60) 辻井厚子，辺見 弘，川井 真，久志本成樹，大塚敏文：〔ワークショップ〕Skin banking と frozen allgraft の臨床応用。第6回日本熱傷学会信州地方会，1992。
- 61) 二宮宣文，広瀬美知子，金田正樹¹⁾，山口孝治²⁾，甲斐達朗³⁾，鵜飼 卓³⁾，山本保博，大塚敏文（¹⁾聖マリアンナ医科大学附属東横病院整形外科，²⁾横須賀共済病院外科，³⁾大阪府千里救命救急センター）：〔一般講演〕国際災害援助医療協力に対する評価。第7回日本国際保健医療学会，1992。
- 62) 二宮宣文，広瀬美知子，金田正樹¹⁾，山口孝治²⁾，甲斐達朗³⁾，鵜飼 卓³⁾，山本保博，大塚敏文（¹⁾聖マリアンナ医科大学附属東横病院整形外科，²⁾横須賀共済病院外科，³⁾大阪府千里救命救急センター）：〔ワークショップ〕緊急医療協力の評価の試み；フィリピン被災地視察。第7回日本国際保健医療学会，1992。
- 63) 山本保博：〔ワークショップ〕緊急医療協力について。第7回日本国際保健医療学会総会，1992。
- 64) Kimura, A., Igarashi, H.¹⁾，Ubukata, K.¹⁾，Nakagami, S.²⁾，Yamane, A.²⁾，and Konno, M.¹⁾（¹⁾帝京大学医学部臨床病理部，²⁾湧永製薬）：〔ポスター〕Genotgpic identification of staply lococeal enterotoxins and toxic

shock syndrome Toxin-1 by the ED-PCR. 32nd Interscience Conference on Antimicrobial Agents and Chemotherapy, 1992.

- 65) 辻井厚子, 辺見 弘, 益子邦洋, 吉田竜介, 加藤一良, 木村昭夫, 勝見 敦, 本間正人, 大塚敏文:〔一般講演〕鈍的小腸損傷の検討. 第19回腹部救急医学会総会, 1992.
- 66) 吉田竜介, 安田和弘, 七野 謙¹⁾, 山本保博, 大塚敏文 (¹救命救急東京研修所):〔シンポジウム〕救急救命中央研修所における研修生の意識調査に基づく検討. 第20回日本救急医学会, 1992.
- 67) 益子邦洋, 大塚敏文, 小川和久¹⁾, 長山康久¹⁾ (¹総務庁交通安全対策室):〔一般講演〕我が国における外傷救急医療体制の現状と問題点:総務庁, 交通事故の総合的調査の分析から. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 68) 横田裕行:〔教育講演〕在宅医療の応急処置. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 69) 横田裕行, 益子邦洋, 大塚敏文, 星 秀逸¹⁾, 野口照義²⁾, 小林国男³⁾, 鈴木 忠⁴⁾, 上嶋権兵衛⁵⁾, 田中孝也⁶⁾, 太田宗夫⁷⁾, 小濱啓次⁹⁾, 加来信夫¹⁰⁾ (¹岩手医科大学, ²千葉県救急医療センター, ³帝京大学, ⁴東京女子医大, ⁵東邦大学, ⁶関西医科大学, ⁷大阪府千里救命救急センター, ⁸川崎医科大学, ⁹久留米大学):〔ワークショップ〕卒前卒後の救急医学会のあり方. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 70) 牧野俊郎, 大友康裕, 川前金幸¹⁾, 平間久雄, 清水 博, 添田良知, 篠田光孝, 新井正徳, 星源之助, 須崎紳一郎, 山本保博, 大塚敏文 (¹総合会津中央病院救命救急センター):〔一般講演〕飲酒後の予後に及ぼす影響についての検討. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 71) 二宮宣文, 山本保博, 鶴飼 卓¹⁾, 上原鳴夫²⁾, 金田正樹³⁾, 本多憲児³⁾, 大塚敏文 (¹大阪府千里救命救急センター, ²国立病院医療センター, ³本多記念東北循環器科病院):〔ワークショップ〕JMTDR の国際災害への備え. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 72) 二宮宣文, 三井香児¹⁾, 岸本晃男²⁾, 辺見 弘, 山本保博, 大塚敏文 (¹東京大学医学部附属病院救急部, ²白鬚橋病院):〔パネルディスカス〕救急バイクの有効性についての検討. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 73) 小井土雄一, 大友康裕, 川前金幸¹⁾, 平間久雄, 清水 博, 我那覇文清, 添田良知, 牧野俊郎, 星源之助¹⁾ (¹総合会津中央病院救命救急センター):〔一般講演〕穿通性腹部外傷診断における local wound DPL の有用性. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 74) 阿久津功¹⁾, 白石克則¹⁾, 長谷川ひとみ¹⁾, 二瓶律子¹⁾, 星野近衛¹⁾, 川前金幸¹⁾, 大友康裕, 牧野俊郎, 星源之助¹⁾ (¹総合会津中央病院救命救急センター):〔一般講演〕会津地区広域医療圏のプレホスピタルケアにおける看護婦の役割. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 75) 佐々木恵¹⁾, 渡部真紀子¹⁾, 荒明喜代子¹⁾, 阿久津功¹⁾, 二瓶律子¹⁾, 川前金幸¹⁾, 大友康裕, 牧野俊郎, 星源之助¹⁾ (¹総合会津中央病院救命救急センター):〔一般講演〕PSV モードからの Weaning の検討:On and off 法を導入して. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 76) 斎藤延人¹⁾, 黒木敏徳¹⁾, 臼井雅昭¹⁾, 篠原一彰²⁾, 添田良知, 清水 博, 平間久雄, 大友康裕, 星源之助²⁾ (¹総合会津中央病院脳神経外科, ²同 救命救急センター):〔一般講演〕外傷性椎骨動脈閉塞の1例. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 77) 篠原一彰¹⁾, 白石克則¹⁾, 大越麻里子¹⁾, 島田二郎¹⁾, 川前金幸¹⁾, 大友康裕, 赤間洋一²⁾, 田勢長一郎²⁾ (¹総合会津中央病院救命救急センター, ²福島医大麻酔科):〔一般講演〕骨髓輸液の検討:各種薬剤による骨髓への影響. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 78) 川前金幸¹⁾, 岩間 裕²⁾, 島田二郎²⁾, 大友康裕, 牧野俊郎, 星源之助¹⁾, 赤間洋一²⁾, 田勢長一郎²⁾, 藤井真行²⁾, 奥秋晟一²⁾ (¹総合会津中央病院救命救急センター, ²福島医大麻酔科):〔一般講演〕山間広域医療圏におけるバイタルサインの伝送について:無線電話回線による試み. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 79) 大越麻里子¹⁾, 川前金幸¹⁾, 岩間 裕¹⁾, 我那覇文清, 重盛千香, 大友康裕, 牧野俊郎, 赤間洋一²⁾, 田勢長一郎²⁾ (¹総合会津中央病院救命救急センター, ²福島医大麻酔科):〔一般講演〕ピンクリスチンによる SIADH, シスプラチンによる腎障害を併発した1症例. 第20回日本救急医学会総会, 1992.

- 80) 大友康裕, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 平間久雄, 清水 博, 添田良知, 篠田光孝, 新井正徳, 星源之助¹⁾ (¹⁾総合会津中央病院救命救急センター): [一般講演] TAE を施行する際, 腸管損傷合併を DPL にて否定した腹腔内出血の 7 例. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 81) 大友康裕, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 平間久雄, 添田良知, 篠田光孝, 新井正徳, 星源之助¹⁾ (¹⁾総合会津中央病院救命救急センター): [一般講演] 腎部分切除を施行した右腎破裂の 1 例. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 82) 添田良知, 牧野俊郎, 大友康裕, 川前金幸¹⁾, 平間久雄, 清水 博, 篠田光孝, 新井正徳, 星源之助¹⁾ (¹⁾総合会津中央病院救命救急センター): [一般講演] 鈍的鎖骨下動脈損傷 3 例についての検討. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 83) 藤井文夫¹⁾, 清水 博, 平間久雄, 大友康裕, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 山村美和²⁾, 青木 律²⁾, 梅田敏彦²⁾, 星源之助¹⁾ (¹⁾総合会津中央病院救命救急センター, ²⁾形成外科): [一般講演] 項部壊死性筋膜炎の 1 例. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 84) 白石克則¹⁾, 川前金幸¹⁾, 大友康裕, 牧野俊郎, 赤間洋一²⁾, 田勢長一郎²⁾, 藤井真行²⁾, 星源之助¹⁾, 奥秋晟一²⁾ (¹⁾総合会津中央病院救命救急センター, ²⁾福島医大麻酔科): [一般講演] 救急車搬送時の呼吸循環の変動. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 85) 犬塚 祥, 辺見 弘, 益子邦洋, 小川理郎, 宮内雅人, 大塚敏文, 森岡 享¹⁾, 杉山悟郎¹⁾, 今 義夫¹⁾ (¹⁾熊本大学麻酔科): [一般講演] 携帯式心マッサージ器の使用経験. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 86) 木村昭夫, 五十嵐英夫¹⁾, 三和敬史²⁾, 柴田泰史³⁾, 大塚敏文 (¹⁾都立衛生研究所微生物部, ²⁾東レメディカルセンター, ³⁾中央検査部): [一般講演] メチシリン耐性黄色ブドウ球菌分離検出患者における抗 toxic shock syndrome Toxin-1 抗体価の検討. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 87) 久志本成樹, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 川井 真, 加藤一良, 木村昭夫, 国保昌紀, 大塚敏文: [一般講演] 四肢血管損傷症例の検討; 救命と患肢温存の立場から見た comprehensive approach の意義. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 88) 勝見 敦, 益子邦洋, 辺見 弘, 小関一英, 加藤一良, 松田 潔, 大塚敏文: [一般講演] 当施設における心筋挫傷71例の検討; 予後因子としての I.S.S. の検討. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 89) 辻井厚子, 辺見 弘, 安田和弘, 川井 真, 松田 潔, 西 芳徳, 山下照代, 大塚敏文, 川並汪一¹⁾, 尾見徳弥¹⁾ (¹⁾第二病院病理部): [一般講演] Frozen allograft の病理組織学的検討. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 90) 長谷川雄二, 益子邦洋, 小関一英, 大塚敏文, 能登谷元保¹⁾, 小久保文正¹⁾ (¹⁾東京消防庁): [一般講演] 食道閉鎖式エアウェイ (EGTA) の改良型試作とその臨床経験. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 91) 平間久雄, 大友康裕, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 新井正徳, 清水 博, 添田良知, 篠田光孝, 星源之助¹⁾ (¹⁾総合会津中央病院): [一般講演] 会津地域救命救急センターに搬送される外傷患者の AIS・ISS による評価の検討. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 92) 平間久雄, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 大友康裕, 清水 博, 添田良知, 篠田光孝, 新井正徳, 星源之助¹⁾ (¹⁾総合会津中央病院): [一般講演] 軽度肝損傷に於ける腹部 CT の検討. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 93) 岩崎康孝, 黒沢 尚, 渡辺信夫: [一般講演] 第三次救急施設におけるリエゾンサービス第 8 報; 第三次救急施設における四肢・体幹抑制とせん妄との関係について. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 94) 本間正人, 辺見 弘, 山本保博, 益子邦洋, 小関一英, 加藤一良, 松田 潔, 大塚敏文: [一般講演] 急性膵炎の重症度, 予後判定因子の検討; Pancreatitis prognostic index の有用性. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 95) 渡辺信夫, 岩崎康孝, 黒沢 尚: [一般講演] 第三次救急施設におけるリエゾンサービス第 7 報; 腹部刺創による自殺未遂患者. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 96) 吉田 哲¹⁾, 直江康孝, 島 健¹⁾, 岡田芳和¹⁾, 中川五男¹⁾, 城山和久¹⁾, 馬場宏重¹⁾ (¹⁾中国労災病院脳神経外科): [一般講演] 脳動脈瘤破裂急性期症例に対する気管内挿管・調節呼吸下の積極的術前全身管理. 第20回日本救急医学会総会, 1992.

- 97) 我那覇文清, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 大友康裕, 平間久雄, 清水 博, 篠田光孝, 新井正徳, 星源之助¹⁾ (¹⁾総合
会津中央病院救命救急センター): [一般講演] 長期人工呼吸器管理中に併発した気管支食道瘻の2症例. 第20
回日本救急医学会総会, 1992.
- 98) 金 抗, 辺見 弘, 呉 志宏, 益子邦洋, 小関一英, 大塚敏文: [一般講演] 気管支喘息による呼吸障害の実
態と重症度評価: 来院時状態と血液ガス分析を中心に. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 99) 呉 志宏, 辺見 弘, 横田裕行, 益子邦洋, 小関一英, 本間正人, 大塚敏文: [一般講演] 頭部外傷及び脳血管
障害患者について energy 代謝の研究. 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 100) 二宮宣文, 広瀬美知子, 山本保博, 鶴飼 卓¹⁾, 上原鳴夫²⁾, 大塚敏文(¹⁾大阪府千里救命救急センター, ²⁾国立病
院医療センター): [ワークショップ] 国際緊急援助隊医療チームの能力, 資格, トレーニングについての検討.
第20回日本救急医療学会総会, 1992.
- 101) Gotoh, K.¹⁾, Ukai, T.²⁾, Kusakawa, S.²⁾, Shintani, S.¹⁾, Yamamoto, Y., and Yoshida, T. (¹⁾Japan Poison
Information Center, Tokyo & Osaka, ²⁾Osaka Prefectural Senri Critical Care Medical Center, Osaka): [一
般講演] The role of the Japan Poison Information Center in the event of chemical disaster. 第2回アジア
太平洋大災害医療学会, 1992.
- 102) Yamamoto, Y., Ninomiya, N., Yokota, H., Makino, T., and Otsuka, T.: [シンポジウム] A role of Japan
Medical Team for disaster relief (JMTDR) and the self-defense force of Japan in medical disaster relief
activities. 第2回アジア太平洋大災害医療学会, 1992.
- 103) 川井 真, 辺見 弘, 益子邦洋, 大泉 旭, 勝見 敦, 山本保博, 大塚敏文: [一般講演] 多発外傷における骨
折の治療. 第40回日本災害医学会, 1992.
- 104) 岡田芳和¹⁾, 島 健¹⁾, 西田正博¹⁾, 山根冠児¹⁾, 沖田進司¹⁾, 直江康孝, 花栗勝郎¹⁾ (¹⁾中国労災病院脳神経外科):
[一般講演] DAI の MRI 所見による病態及び予後の検討. 第40回日本災害医学会, 1992.
- 105) 吉田 哲¹⁾, 島 健¹⁾, 岡田芳和¹⁾, 西田正博¹⁾, 山根冠児¹⁾, 直江康隆 (¹⁾中国労災病院脳神経外科): [一般講
演] 重症頭部外傷におけるバルビタール療法の効果と問題点. 第40回日本災害医学会, 1992.
- 106) 益子邦洋, 辺見 弘, 小関一英, 安田和弘, 加藤一良, 二宮宣文, 大友康裕, 木村昭夫, 大塚敏文: [一般講演]
Flail Chest に対する外科的固定術の効果と限界. 第45回日本胸部外科学会総会, 1992.
- 107) 横田裕行, 布施 明, 佐藤秀貴, 黒川 顕, 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文, 栗屋 栄¹⁾, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾
(¹⁾脳神経外科): [一般講演] 脳神経外科疾患急性期における enhanced magnetic resonance imaging の有用
性. 第51回日本脳神経外科学会総会, 1992.
- 108) 横田裕行, 布施 明, 佐藤秀貴, 黒川 顕, 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文, 栗屋 栄¹⁾, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾
(¹⁾脳神経外科): [一般講演] 重症頭部外傷における各種モニタリングの意義. 第51回日本脳神経外科学会総会,
1992.
- 109) Kimura, A., Mashiko, K., Inuzuka, S., Tujii, A., Hara, Y., and Otsuka, T.: [一般講演] Endoscopic
intrathoracic surgery for traumatic pneumatocele. 38th Japanese Sections of International College of
Scergeons., 1992.
- 110) 本間正人, 辺見 弘, 益子邦洋, 大友康裕, 大塚敏文: [一般講演] Recent trends in the diagnosis and treatment
of diaphragmatic injury. International College of Surgeons in Cairo, Egypt., 1992.
- 111) Honma, M., Henmi, H., Mashiko, K., Ohtomo, Y., and Ohtsuka, T.: [一般講演] Recent trend in the diagnosis
and treatment of diaphragmatic injury. XX VIII World Congress of the International College of Surgeons.,
1992.
- 112) Mashiko, K., Henmi, H., Ohtomo, Y., Honma, M., Suarez, G., and Otuka T.: [一般講演] The effectiveness
and limitation of surgical fixation for flail chest injuries, XXVIII World Congress of the International
College of Surgeons, 1992.

- 113) Yamamoto, Y., Kanda K.¹⁾, Mashiko, K., Hoshi, G.²⁾, and Otsuka, T. (¹⁾The Second Dep. of Biochemistry, ²⁾Aizu Central Hospital): [一般講演] Production of leukotrienes in rat kupffer cells and hepatocytes by various inducers. XX VIII World Congress of the International College of Surgeons., 1992.
- 114) Ohtomo, Y., Kanda, Y.¹⁾, Mashiko, K., Hoshi, G., and Ohtsuka, T. (¹⁾The Second Dep. of Biochemistry): [一般講演] Production of leukotrienes in rat kupffer cells and hepatocytes by various inducers. XX VIII World Congress of the International College of Surgeons., 1992.
- 115) Suarez, G., Honma, M., Henmi, H., Mashiko, K., Kato, K., Ohtomo, Y., and Otsuka, T.: [一般講演] New prognosis index in the early phase of the acute pancreatitis. XX VIII World Congress of the International College of Surgeons., 1992.
- 116) 山本保博: [シンポジウム] 先進医療における Co-medical staff 業務の現状と将来展望; 救命救急医療における医師の立場から. 第30回日本人工臓器学会大会, 1992.
- 117) 長谷川雄二, 小関一英, 川井 真, 上田ひろみ¹⁾, 紺野明子¹⁾, 柴田泰史¹⁾, 辺見 弘 (¹⁾中央検査部): [シンポジウム] 大量輸血を要した胸腹部外傷における血液凝固線溶系の変動. 第3回バイオメディカルフォーラム, 1992.
- 118) 木村昭夫, 西沢健司¹⁾, 柴田泰史²⁾, 青砥泰二²⁾, 大塚敏文 (¹⁾薬剤部, ²⁾中央検査部): [一般講演] 当院における臨床検体より分離された緑膿菌に対する Arbekacin の抗菌力の検討. 第41回日本感染症学会東日本地方会総会, 1992.
- 119) 木村昭夫, 辺見 弘, 益子邦洋, 西沢健司, 加藤一良, 大塚敏文: [一般講演] メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症に関する研究; メチシリン耐性黄色ブドウ球菌の性状とその感染症例の解析. 第54回日本臨床外科医学会, 1992.
- 120) 辺見 弘, 益子邦洋, 加藤一良, 辻井厚子, 木村昭夫, 犬塚 祥, 久志本成樹, 大塚敏文: [シンポジウム] 鈍的外傷における肝損傷の開腹例の検討. 第54回日本臨床外科学会, 1992.
- 121) 川井 真, 辺見 弘, 加藤一良, 松田 潔, 久志本成樹, 辻井厚子, 山本保博, 大塚敏文: [ワークショップ] 凍結同種植皮の臨床. 第54回臨床外科医学会, 1992.
- 122) 加地正人, 木村昭夫, 益子邦洋, 辺見 弘, 大塚敏文: [一般講演] 当科における最近1年間の MRSA の推移. 第5回日本外科感染症研究会, 1992.
- 123) 岸 泰宏¹⁾, 岩崎康孝, 黒沢 尚, 遠藤俊吉¹⁾ (¹⁾精神科): [一般講演] 日本医科大学附属病院身体科入院例の自殺念慮・自殺企図について. 第5回日本総合病院精神医学会総会, 1992.
- 124) 岩崎康孝, Strain J., Hammer J.: [一般講演] 総合病院入院中の自殺念慮・自殺企図について. 第5回日本総合病院精神医学会総会, 1992.
- 125) 岩崎康孝, 黒沢 尚, 渡辺信夫: [一般講演] 第三次救急施設に搬入される自殺未遂患者について第2報; 自殺企図前行動について. 第5回日本総合病院精神医学会総会, 1992.
- 126) 辺見 弘: [招待講演] 日本医科大学救命救急センターにおける熱傷の治療. 平成4年度日本熱傷協会愛知医師会熱傷講習会, 1992.
- 127) 山本保博: [特別講演] 総合的な空港災害救援. 大阪府空港災害に関するシンポジウム, 1993.
- 128) 佐藤秀貴, 布施 明, 草薙博昭, 黒川 顕, 横田裕行, 山本保博, 大塚敏文: [ポスター] 重症頭部外傷後の経時的 MRI にて両側大脳基底核病変を描出した1例. 第16回日本脳神経 CI 研究会, 1993.
- 129) 辻井厚子, 辺見 弘, 益子邦洋, 加藤一良, 木村昭夫, 犬塚 祥, 原 義明, 大塚敏文: [一般講演] 胸腔鏡下手術を施行した胸部外傷の2例. 第5回内視鏡下手術研究会, 1993.
- 130) 栗屋 栄¹⁾, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾, 横田裕行, 辺見 弘, 大塚敏文 (¹⁾脳神経外科): [一般講演] 重症頭部外傷における脳表温度測定. 医工学治療研究会第5回学術大会, 1993.
- 131) 加地正人, 辺見 弘, 益子邦洋, 二宮宣文, 木村昭夫, 大塚敏文, 柴田泰史¹⁾ (¹⁾中央検査部): [一般講演] 外

傷外科における術中自己血輸血の意義：簡易ディスポーザブル貯血槽(Solotrans)の使用経験。医工学治療研究会第5回学術大会，1993。

- 132) 本間正人，呉 志宏，横田裕行，益子邦洋，山本保博，辺見 弘，大塚敏文：〔一般講演〕重症頭部外傷急性期におけるエネルギー消費量測定。医工学治療研究会第5回学術大会，1993。
- 133) 後藤真弓，広田幸次郎，武藤 徹，益子邦洋，辺見 弘，大塚敏文：〔一般講演〕動脈ガスモニタリングシステム(PB-3300)の使用経験。医工学治療研究会第5回学術大会，1993。
- 134) 柴田泰史¹⁾，上田ひろみ¹⁾，紺野明子¹⁾，本山三生¹⁾，本間ひろみ¹⁾，山下精彦¹⁾，辺見 弘，横田裕行，大塚敏文(¹⁾中央検査部)：〔一般講演〕救急室における緊急検査およびその monitoring の現状について。医工学治療研究会第5回学術大会，1993。
- 135) 能登谷元保¹⁾，鈴木 孝¹⁾，横田裕行，小関一英，益子邦洋，辺見 弘，大塚敏文(¹⁾東京消防庁)：〔一般講演〕救命救急士の実施する食道閉鎖式エアウェイの現行型と改良型の有用性について。医工学治療研究会第5回学術大会，1993。
- 136) 横田裕行，山本保博，辺見 弘，大塚敏文：〔ワークショップ〕救急医療における画像診断；頭部外傷・脊髄外傷における magnetic resonance imaging の有用性。第12回日本画像医学会，1993。
- 137) 吉田竜介：〔一般講演〕救急救命士について。第21回救急隊員学術研究会，1993。
- 138) 小井土雄一，勝見 敦，長谷川雄二，山下照代，飯田良直¹⁾，上杉英之¹⁾，大塚吾郎¹⁾，土屋幸治¹⁾(¹⁾山梨県立中央病院心臓外科)：〔一般講演〕右房破裂により心タンポナーデを呈した1救命例。第34回日本救急医学会関東地方会，1993。
- 139) 加地正人，木村昭夫，益子邦洋，山本保博，辺見 弘，大塚敏文，柴田泰史¹⁾，西沢健司²⁾(¹⁾中央検査部，²⁾薬剤部)：〔一般講演〕当科における最近の MRSA の推移。第34回日本救急医学会関東地方会，1993。
- 140) 後藤真弓，広田幸次郎，武藤 徹，益子邦洋，辺見 弘，大塚敏文：〔一般講演〕気管内チューブ交換用オブチュレーターの使用経験。第34回日本救急医学会関東地方会，1993。
- 141) 田辺和子，勝見 敦，小井土雄一，久志本成樹，飯田良直：〔一般講演〕水頭症を来した Oculito-atlantal dislocation の1症例。第34回日本救急医学会関東地方会，1993。
- 142) 中 朗，横田裕行，辺見 弘，益子邦洋，木村昭夫，中林基明，廣田幸次郎，山本保博，大塚敏文：〔一般講演〕胸腹部外傷後に脳室内出血を来した2症例。第34回日本救急医学会関東地方会，1993。
- 143) 柴田泰史¹⁾，上田ひろみ¹⁾，紺野明子¹⁾，本山三生¹⁾，山下精彦¹⁾，益子邦洋，木村昭夫，加地正人，大塚敏文，西沢健司²⁾(¹⁾中央検査部，²⁾薬剤部)：〔一般講演〕気管内挿管，人工呼吸器使用中の患者における気道内からの検出菌および肺炎症例の検討。第34回日本救急医学会関東地方会，1993。
- 144) 加藤 宏，須崎紳一郎，松田 潔，望月 徹，高橋 聡，佐藤秀貴，宮内雅人，弥富俊太郎，黒川 顕：〔一般講演〕脊髄損傷に subarachnoid-pleural を合併した稀な1例。第34回日本救急医学会関東地方会，1993。
- 145) 布施 明，横田裕行，黒川 顕，辺見 弘，大塚敏文，小林士郎¹⁾，戸田茂樹¹⁾，中沢省三¹⁾(¹⁾脳神経外科)：〔一般講演〕高齢者頭部外傷手術症例の検討。第6回老年脳神経外科研究会，1993。
- 146) 木村昭夫，益子邦洋，小関一英，辻井厚子，辺見 弘，大塚敏文：〔一般講演〕胸腔鏡下に修復しえた遅発性外傷性横隔膜ヘルニアの1治験例。第85回日本胸部外科学会関東甲信越地方会，1993。
- 147) 益子邦洋：〔教育講演〕緊急検査データの評価。日本救急医学会救急医学領域医師研修会，1993。
- 148) 後藤真弓，横山和子¹⁾(¹⁾第一病院麻酔科)：〔一般講演〕A case of laproscopic cholecystectomy with massine bleeding. 7th Congress Western Pacific Association of Critical Care Medicine，1993。
- 149) 益子邦洋：〔招待講演〕救急医療の将来展望。大田区救急業務研究会，1993。
- 150) 山本保博：〔特別講演〕プレホスピタルケアの現状と将来。第11回愛知県救急医療研究会，1993。
- 151) 吉田 哲¹⁾，岡田芳和¹⁾，島 健¹⁾，西田正博¹⁾，山根冠児¹⁾，畠山尚志¹⁾，沖田進司¹⁾，直江康孝，志賀尚子(¹⁾中国労災病院脳神経外科)：〔一般講演〕リドカイン静注による気管内吸入時の頭蓋内圧上昇予防。第15回頭

蓋内庄研究会, 1993.

- 152) 横田裕行, 中林基明, 佐藤秀貴, 布施 明, 黒川 顕, 山本保博, 大塚敏文, 粟屋 栄¹⁾, 岡田卓郎¹⁾, 喜多村孝幸¹⁾, 諫山和男¹⁾, 野手洋治¹⁾, 池田幸穂¹⁾, 小林士郎¹⁾, 高橋 弘¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 矢嶋浩三¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [シンポジウム]救命救急センターにおける頭部外傷治療経験と問題点. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 153) 戸田茂樹¹⁾, 横田裕行, 池田幸穂¹⁾, 野手洋治¹⁾, 本間正人, 布施 明, 中林基明, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [ポスター] 頭部銃創症例の検討. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 154) 小林士郎¹⁾, 横田裕行, 佐々木光由¹⁾, 粟屋 栄, 星野 茂¹⁾, 水成隆之¹⁾, 岡田卓郎¹⁾, 喜多村孝幸¹⁾, 諫山和男¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [シンポジウム] びまん性脳損傷における diffuse axonal injury の位置付け. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 155) 小林士郎¹⁾, 戸田茂樹¹⁾, 中沢省三¹⁾, 横田裕行, 辺見 弘, 大塚敏文: [ポスター] 頭部外傷最重症例における脳表温度測定. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 156) 布施 明, 横田裕行, 黒川 顕, 辺見 弘, 大塚敏文, 小林士郎¹⁾, 戸田茂樹¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [ポスター] 急性期頭部外傷手術例の長期予後; 高齢者と青年年の比較. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 157) 布施 明, 横田裕行, 黒川 顕, 辺見 弘, 大塚敏文, 小林士郎¹⁾, 戸田茂樹¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [ポスター] 頭部銃創の4症例. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 158) 中林基明, 横田裕行, 布施 明, 佐藤秀貴, 黒川 顕, 山本保博, 大塚敏文, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [ポスター] 重症頭部外傷における持続内頸静脈酸素飽和度測定の意義. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 159) 岡田芳和¹⁾, 島 健¹⁾, 西田正博¹⁾, 山根冠児¹⁾, 沖田進司¹⁾, 畠山尚志¹⁾, 直江康孝, 志賀尚子, 吉田 哲¹⁾ (¹⁾中国労災病院脳神経外科): [一般講演] Diffuse Axonal Injury 31症例の臨床; 放射線学的所見と予後の検討. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 160) 加藤 宏, 須崎紳一郎, 松田 潔, 望月 徹, 高橋 聡, 佐藤秀貴, 梶原浩嗣, 黒川 顕: [ポスター] 保存的治療にて治癒し得た traumatic subarachnoid-pieural fistula の1例. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 161) 呉志 宏, 横田裕行, 本間正人, 粟屋 栄, 辺見 弘, 山本保博, 益子邦洋, 小関一英, 大塚敏文: [ポスター] 頭部外傷におけるエネルギー消費量の検討; 脳血管障害と比較して. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 162) 呉志 宏, 辺見 弘, 横田裕行, 益子邦洋, 小関一英, 本間正人, 大塚敏文: [ポスター] 頭部外傷における energy 代謝の研究; 脳血管障害と比較して. 第16回日本神経外傷研究会, 1993.
- 163) 小井土雄一, 勝見 敦, 久志本成樹, 松田 潔, 長谷川雄二, 田辺和子, 山下照代, 飯田良直¹⁾ (¹⁾山梨県立中央病院心臓外科): [一般講演] 山梨県立中央病院救命救急センター活動状況. 第19回山梨総合医学会, 1993.
- 164) 山下照代, 小井土雄一, 勝見 敦, 長谷川雄二, 飯田良直¹⁾, 上杉英之¹⁾, 大塚吾郎¹⁾, 土屋事治¹⁾ (¹⁾山梨県立中央病院心臓外科): [一般講演] 右房破裂により心タンポナーデ呈した1救命例. 第19回山梨総合医学会, 1993.
- 165) 大塚 祥, 吉田竜介: [ポスター] 広範囲腸管壊死を合併した急性膵炎の1例. 第20回日本腹部救急医学会, 1993.
- 166) 辻井厚子, 辺見 弘, 益子邦洋, 加藤一良, 久志本成樹, 国保昌紀, 長谷川雄二, 加地正人, 大塚敏文: [一般講演] 最近経験した稀な小腸穿孔の2例. 第20回腹部救急医学会, 1993.

[多摩永山病院救命救急センター]

研究業績

論文

- 1) 黒川 顕: [原著] DOA; 主要症候に対する救急処置と看護上のポイント. 臨床看護, 18, 959~962, 1992.
- 2) 黒川 顕: [原著] 血液ガスの臨床; ショックにおける血液ガス. 臨床医, 8, 2101~2102, 1992.

- 3) 太田宗夫¹⁾, 寺田浩明¹⁾, 金子正光²⁾, 黒川 顕, 小林国男³⁾, 野崎幹弘⁴⁾, 島崎修次⁵⁾(¹⁾大阪府立千里救命救急センター, ²⁾札幌医科大学救急集中治療部, ³⁾帝京大学救命救急センター, ⁴⁾東京女子医大形成外科, ⁵⁾杏林大学救急医学):〔原著〕重症熱傷に伴う溶血と急性期腎機能低下の防止に対するハプトグロビンの有用性の検討;封筒法による多施設比較試験. 救急医学, 16, 1813~1819, 1992.
- 4) 黒川 顕:〔原著〕三環系抗うつ剤中毒. 救急医学, 17, 33~35, 1993.
- 5) 須崎紳一郎, 渡辺信夫, 二宮宣文, 井上潤一, 山本保博, 林田眞喜子¹⁾, 仁平 信¹⁾, 畝本賜男²⁾, 西沢健二²⁾, 村田正弘²⁾(¹⁾法医学科, ²⁾薬剤科):〔総説〕薬毒物分析の現状と将来への展望. 中毒研究, 6, 19~48, 1993.
- 6) 黒川 顕:〔原著〕アルコール中毒;内科医が診る機会の多い救急疾患. 診断と治療, 81, 515~518, 1993.
- 7) 須崎紳一郎:〔総説〕胸腔ドレナージ(救急処置基本手技). 救急医学, 17, 229~233, 1993.
- 8) 小井土雄一, 益子邦洋¹⁾(¹⁾救急医学):〔総説〕肺塞栓. 診断と治療, 81, 395~399, 1993.
- 9) 黒川 顕:〔総説〕シンナー;中毒患者の処置と看護. エマージェンシーナースィング, (春季増刊号), 150~152, 1993.
- 10) 高橋 聡, 山本保博:〔総説〕急性中毒の疫学. エマージェンシーナースィング, (春季増刊号), 90~93, 1993.
- 11) 島 健¹⁾, 岡田芳和¹⁾, 西田正博¹⁾, 山田 徹¹⁾, 山根冠児¹⁾, 沖田進司¹⁾, 佐藤秀貴, 直江康孝²⁾(¹⁾中国労災病院脳神経外科, ²⁾中国労災病院救急部):〔原著〕椎骨・脳底動脈閉塞性病変に対する外科的治療. 脳卒中の外科, 21, 5~9, 1993.
- 12) 岡田芳和¹⁾, 島 健¹⁾, 西田正博¹⁾, 山田 徹¹⁾, 山根冠児¹⁾, 沖田進司¹⁾, 吉田 哲²⁾, 佐藤秀貴(¹⁾中国労災病院脳神経外科, ²⁾中国労災病院救急部):〔原著〕多発性頭蓋外脳動脈狭窄病変に対する外科的治療;右頸動脈血栓内膜摘除術と左総頸動脈-鎖骨下動脈バイパス術. 脳卒中の外科, 21, 63~67, 1993.

著 書

- 1) 黒川 顕, 山本保博, 牧野俊郎, 須崎紳一郎:〔分担〕第一回救急救命士国家試験問題解答解説集. p. 19~36, へるす出版, 1992.
- 2) 牧野俊郎, 山本保博, 黒川 顕, 須崎紳一郎:〔分担〕第一回救急救命士国家試験問題解答解説集. p. 39~55, へるす出版, 1992.
- 3) 須崎紳一郎, 山本保博, 黒川 顕, 牧野俊郎:〔分担〕第一回救急救命士国家試験問題解答解説集. p. 55~78, へるす出版, 1992.
- 4) 黒川 顕:〔分担〕救急医療・ICU."保健・医療・福祉の総合年鑑 WIBA 92"(日本医療企画編), p. 220~221, 日本医療企画, 1992.
- 5) 黒川 顕:〔分担〕農薬中毒. 今日の診断指針(第3版)(亀山正邦, 亀田治男, 高久史麿, 阿部令彦編), p. 1201~1203, 医学書院, 1992.
- 6) 黒川 顕:〔分担〕DOA の治療と看護."救命救急看護研修スクール", (8), p. 1~41, テクノコミュニケーションズ, 1992.
- 7) 須崎紳一郎:〔分担〕災害医学用語辞典(青野 允, 鶴飼 卓, 山本保博監訳). へるす出版, 1992.
- 8) 小井土雄一:〔分担〕災害医学用語辞典(青野 允, 鶴飼 卓, 山本保博監訳). へるす出版, 1992.
- 9) 富岡譲二:〔分担〕災害医学用語辞典(青野 允, 鶴飼 卓, 山本保博監訳). へるす出版, 1992.
- 10) 小井土雄一:〔分担〕イラスト救急処置マニュアル(大塚敏文監訳). 南江堂, 1992.
- 11) 黒川 顕, 山本保博, 牧野俊郎, 須崎紳一郎:〔分担〕第二回救急救命士国家試験問題解答解説集. p. 19~35, へるす出版, 1992.
- 12) 牧野俊郎, 山本保博, 黒川 顕, 須崎紳一郎:〔分担〕第二回救急救命士国家試験問題解答解説集. p. 39~55, へるす出版, 1992.
- 13) 須崎紳一郎, 山本保博, 黒川 顕, 牧野俊郎:〔分担〕第二回救急救命士国家試験問題解答解説集. p. 55~77,

へるす出版, 1992.

- 14) 高橋 聡, 山本保博: [分担] 胸腔ドレナージ.” 小児の救急医療” (「小児内科」「小児外科」編集委員会編) 増刊号. p. 47~49, 東京医学社, 1992.
- 15) 黒川 顕: [分担] 脊髄損傷. 今日の治療指針1993 (日野原重明, 阿部正和監修), p. 19, 医学書院, 1993.
- 16) 須崎紳一郎: [分担] 不整脈. 今日の治療指針1993 (日野原重明, 阿部正和監修), p. 10~11, 医学書院, 1993.
- 17) 須崎紳一郎: [分担] 家庭用殺虫剤中毒. 今日の治療指針1993 (日野原重明, 阿部正和監修), p. 113~114, 医学書院, 1993.
- 18) 黒川 顕: [分担] 毒物の排除法: 拮抗剤, 解毒剤, 特異的拮抗剤の使用法. 中毒救急ハンドブック, p. 89~100, 医薬ジャーナル社, 1993.
- 19) 黒川 顕, 大塚敏文: [分担] 治療総論 DOA.” 腹部救急診療の実際”, p. 159~166, 医学図書出版, 1993.

学会発表

- 1) 須崎紳一郎, 小井土雄一, 高橋 聡, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博: [一般講演] 心筋挫傷の診断における CK-MB と心筋ミオシン軽鎖 I の測定意義. 第 5 回日本外傷研究会, 1992.
- 2) 鈴木克昌, 小井土雄一, 井上潤一, 加藤 宏, 山下照代, 中村幸伸, 高橋幸道, 渡辺信夫, 須崎紳一郎, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博: [一般講演] CT と FES が診断上有用であった Boerhaave syndrome の 1 例. 第 33 回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 3) 西 芳徳, 小井土雄一, 志賀尚子, 佐藤秀貴, 草薨博昭, 高橋 聡, 望月 徹, 松田 潔, 須崎紳一郎, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博: [一般講演] 術後 MRSA 腸炎を合併し治療に難渋した 1 例. 第 33 回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 4) 須崎紳一郎, 渡辺信夫, 井上潤一, 二宮宣文, 山本保博, 林田眞喜子¹⁾, 仁平 信¹⁾, 畝本賜男²⁾, 西沢健司²⁾, 村田正弘²⁾ (¹⁾法医学, ²⁾薬剤部): [シンポジウム] 救命救急センターから (薬毒物分析の現状と将来の展望). 第 14 回日本中毒学会, 1992.
- 5) 畝本賜男¹⁾, 宿前貴子¹⁾, 村田正弘¹⁾, 松園幸雅, 布施 明, 富岡譲二, 須崎紳一郎, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博 (¹⁾薬剤科): [一般講演] ポンタール® (メフェナム酸) 中毒患者における血中濃度の検討. 第 14 回日本中毒学会, 1992.
- 6) 須崎紳一郎, 富岡譲二, 大泉 旭, 布施 明, 山本保博: [一般講演] International repatriation (国際患者搬送帰還) の問題点. 第 7 回日本国際保健医療学会, 1992.
- 7) 黒川 顕, 牧野俊郎, 須崎紳一郎, 望月 徹, 佐藤秀貴, 中村幸伸, 志賀尚子, 井上潤一, 山本保博: [一般講演] 頭部外傷後に抗てんかん予防薬の投与は必要か. 第 20 回日本救急医学会総会, 1992.
- 8) 須崎紳一郎, 小井土雄一, 加藤 宏, 西 芳徳, 高橋 聡, 望月 徹, 井上潤一, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博: [一般講演] 心筋挫傷の血清学的診断の検討: CPK・MB および心筋ミオシン軽鎖について. 第 20 回日本救急医学会総会, 1992.
- 9) 須崎紳一郎, 小井土雄一, 富岡譲二, 大泉 旭, 布施 明, 直江康孝, 志賀尚子, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博: [一般講演] International repatriation (国際患者搬送帰還) の実態と問題点. 第 20 回日本救急医学会総会, 1992.
- 10) 小井土雄一, 高橋幸道, 松田 潔, 山下照代, 鈴木克昌, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博, 勝見 敦¹⁾, 辺見 弘¹⁾ (¹⁾救急医学): [一般講演] 特発性食道破裂 5 例の検討. 第 20 回日本救急医学会総会, 1992.
- 11) 中村友彦¹⁾, 須崎紳一郎, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博 (¹⁾東京消防庁): [一般講演] ラリングアルマスクのエアリーク等の検討について. 第 20 回日本救急医学会総会救急隊員部会, 1992.
- 12) 小井土雄一, 山本保博: [一般講演] Activities of an Emergency Center in TOKYO. International Conference on Pre-hospital Emergency Care (Gold Coast), 1992.

- 13) 高橋 聡, 佐藤秀貴, 加藤 宏, 下川千可志, 小島由光, 弥富俊太郎, 梶原浩嗣, 田辺和子, 渡辺信夫, 望月 徹, 松田 潔, 須崎紳一郎, 牧野俊郎, 黒川 顕: [一般講演] 四肢骨折で入院中十二指腸潰瘍穿孔, 急性腎不全などを合併した超高齢の1例. 第10回過大侵襲研究会, 1992.
- 14) 加藤 宏, 須崎紳一郎, 松田 潔, 望月 徹, 高橋 聡, 佐藤秀貴, 梶原浩嗣, 黒川 顕: [一般講演] 保存的治療にて治癒した traumatic subarachnoid-pleural fistula の1例. 第16回日本外傷神経研究会, 1992.
- 15) Tomioka, G.: [一般講演] Hypercalcaemia in intensive care unit. Anzics NSW branch Educational Meeting (Sydney), 1992.
- 16) 須崎紳一郎, 布施 明, 黒川 顕, 山本保博: [一般講演] 国際線機内で発生し40分間の CPR により蘇生された心肺停止救命例; 救急医による bystander CPR. 第7回救命救急医療研究会, 1992.
- 17) 黒川 顕: [一般講演] Metabolic measurement (Sensor Medics) の使用経験; FiO₂の変化に対する VO₂等の変化 (Swan-Ganz カテーテルデータとの比較). 第5回多摩臨床栄養研究会, 1993.
- 18) 高橋 聡, 下川千可志, 渡辺信夫, 望月 徹, 松田 潔, 猪鹿倉恭子, 須崎紳一郎, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾救急医学): [一般講演] ポリミキシン結合ガーゼ (PMX[®]) の臨床使用経験. 第1回日本熱傷学会関東地方会, 1993.
- 19) 佐藤秀貴, 猪鹿倉恭子, 黒川 顕, 横田裕行¹⁾, 布施 明, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾救急医学): [展示] 重症頭部外傷後の経時的 MRI にて両側大脳基底核病変を描出した1例. 第16回 CI 研究会 (Computed Imaging), 1993.
- 20) 小井土雄一, 勝見 敦¹⁾, 長谷川雄二¹⁾, 山下照代¹⁾, 飯田良直¹⁾ (¹⁾山梨県立中央病院救命救急センター): [一般講演] 右房破裂により心タンポナーデを呈した1救命例. 第34回日本救急医学会関東地方会, 1993.
- 21) 相星淳一, 須原 誠¹⁾, 武士昭彦¹⁾ (¹⁾亀田総合病院外科): [一般講演] 全臓胸で手術を施行した特発性食道破裂の1例. 第34回日本救急医学会関東地方会, 1993.
- 22) 加藤 宏, 須崎紳一郎, 松田 潔, 望月 徹, 高橋 聡, 佐藤秀貴, 宮内雅人, 弥富俊太郎, 黒川 顕: [一般講演] 脊椎損傷に subarachnoid-pleural fistula を合併した1例. 第34回日本救急医学会関東地方会, 1993.
- 23) 梶原浩嗣, 須崎紳一郎, 松田 潔, 望月 徹, 猪鹿倉恭子, 渡辺信夫, 倉田 潔, 鈴木克昌, 黒川 顕: [一般講演] 熱中症回復期における段階的運動負荷の有用性. 第34回日本救急医学会関東地方会, 1993.
- 24) 畝本賜男¹⁾, 村田正弘¹⁾, 井上 淳²⁾, 飯野幸永²⁾, 坂本幸廣³⁾, 緋田雅美³⁾, 須崎紳一郎, 黒川 顕 (¹⁾薬剤科, ²⁾中央検査室, ³⁾看護部): [一般講演] 救命救急センターの室内消毒における噴霧式消毒法の検討. 医工学治療研究会第5回学術大会, 1993.
- 25) 中村友彦¹⁾, 松田 潔, 須崎紳一郎, 黒川 顕 (¹⁾東京消防庁): [一般講演] ラリングアルマスクのエアリーク対策について. 医工学治療研究会第5回学術大会, 1993.
- 26) 小井土雄一, 勝見 敦¹⁾, 久志本成樹¹⁾, 松田 潔¹⁾, 長谷川雄二¹⁾, 田辺和子¹⁾, 山下照代¹⁾, 飯田良直¹⁾ (¹⁾山梨県立中央病院救命救急センター): [一般講演] 山梨県立中央病院救命救急センターの活動状況. 第19回山梨総合医学会, 1993.
- 27) 望月 徹, 佐藤秀貴, 宮内雅人, 須崎紳一郎, 黒川 顕, 杉崎健一¹⁾, 篠原義智¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 肝損傷における MRI の有用性について. 第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.

19. 形成外科学講座

[付属病院形成外科]

研究概要

形成外科学では、新しい皮弁の開発・埋入異物分析・ケロイド治療の研究を中心に幅広い活動を行ってきた。

臨床部門では、超薄皮弁の臨床応用を進展させ Occipito Cervico Flap, narrow pedicled Inetercostal Perfolator Flap を開発した。下腹壁動静脈を用いた種々の応用を行った。Cervico Scapular Flap と下腿における島状筋膜皮弁の解剖学的解析と臨床応用等の研究が進展した。また、放射線科との共同研究によるケロイドの術後電子線治療の研究が続けられた。

基礎部門では、遠隔皮弁の血行動態に関する研究、NMR による皮弁エネルギー代謝の研究、埋入異物分析法の研究、生着機序の未だ解明されていない超薄皮弁の血行動態の研究、有限要素法を用いたコンピュータ解析による simulation surgery の研究と新しい局所皮弁法の開発、アルガトロパンを用いた皮弁生着領域拡大の研究等が進展した。

研究業績

論文

- 1) 利根川均, 百束比古, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾, 新見やよい¹⁾, 本田光芳¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科): [報告] Sutton 現象を生じた悪性黒色腫の 1 例. 日形会誌, 12, 255~261, 1992.
- 2) Hyakusoku, H., Takizawa, M., Murakami, M., Gao, J.H., Takekoshi, A., and Fumiiri, M.: [原著] Versatility of the free or pedicled superficial cervical artery skin flaps in head and neck burns. Burns, 19, 168~173, 1992.
- 3) Okubo, M., Hyakusoku, H., Kanno, K., and Fumiiri, M.: [原著] Complications after injection mammaplasty. Aesthetic Plastic Surgery, 16, 181~187, 1992.
- 4) Hyakusoku, H., Gao, J.H., and Fumiiri, M.: [原著] Development of superficial cervical artery flap. Chinese Journal of Microsurgery, 15, 198~199, 1992.
- 5) Kanno, K., and Hirakawa, K.¹⁾ (¹⁾法医学): [原著] Chronological observation on the energy metabolism of skin flaps by ³¹P-MRS: A novel approach to evaluate the state of a flap. Plastic and Reconstive Surgery, 91, 322~328, 1992.
- 6) 吉田秀也: [原著] Superficial cervical artery skin flap; 特に Cervicoscapular flap の解剖学的研究. 日形会誌, 12, 525~534, 1992.
- 7) 白井洋司, 百束比古, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾, 梅田敏彦²⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾総会津中央病院形成外科): [報告] 義眼床に発生した有棘細胞癌の 1 例. Skin Cancer, 7, 94~96, 1992.
- 8) 斎藤陽子¹⁾, 青木雅子¹⁾, 三上 寛¹⁾, 山本泰一¹⁾, 中山恵二¹⁾, 中村進一¹⁾, 白井洋司, 滝沢 康 (¹⁾第一病院皮膚科): [報告] 顔面に莖性悪性黒色腫の 1 例. Skin Cancer, 7, 281~284, 1992.
- 9) 百束比古: [総説] 広範囲熱傷患者の社会復帰と QOL: 新しい形成手術による対応を含めて. 医学のあゆみ, 162, 244~246, 1992.
- 10) 大久保正智: [総説] 遊離皮膚移植のポイント. 形成外科, 35, 1293~1296, 1992.
- 11) 平井 隆: [原著] ラット遠隔皮弁の血行動態に関する実験的研究. 日形会誌, 12, 713~722, 1992.
- 12) 高建 華, 百束比古, 秋元正宇, 山村美和, 文入正敏, 羅 錦輝¹⁾, 羅 力生¹⁾ (¹⁾中国第 1 軍医大学南方医院形成外科): [原著] 超薄皮弁の経験. 形成外科, 35, 1097~1103, 1992.
- 13) Hyakusoku, H.: [原著] Secondary vascularised hair-bearing island flaps for eyebrow reconstruction.

British Journal of Plastic Surgery, 46, 45~47, 1993.

- 14) 秋元正宇：〔総説〕局所皮弁のコンピュータ解析；有限要素法による菱形皮膚欠損被覆法の解析。医学のあゆみ，164, 896~896, 1993.

〔前年度追加分〕

- 1) 山村美和，平川慶子¹⁾，百束比古，山本 達，文入正敏，仁平 信¹⁾，渡辺日章¹⁾（法医学）：〔原著〕13C・固体MRSを用いた埋入異物の分析法；第1報；標準物質に関する報告。形成外科，34, 909~913, 1991.

著 書

- 1) 百束比古：〔編集〕ステッドマン医学大事典第3版（高久史磨総監修），メジカルビュー社，1992.
- 2) Akimoto, M., Hyakusoku, H., and Fumiiri, M.：〔分担〕Computer analysis of rhomboid flaps using finite element method. "Plastic Surgery 1992 volume II" (Hinderer, U.T. eds). P. 101~102, Excerpta Medica (Amsterdam), 1992.
- 3) Yamamoto, T., and Hyakusoku, H.：〔分担〕The propeller flap method. "Plastic Surgery 1992 volume II" (Hinderer, U.T. eds). P. 103~104, Excerpta Medica (Amsterdam), 1992.
- 4) Kanno, K., Hyakusoku, H., Fumiiri, M., Hirakawa, K.¹⁾, and Watanabe, T.¹⁾（¹⁾法医学）：〔分担〕Chronological observation of the energy metabolism of skin flaps by the 31P-MRS surface coil method. "Plastic Surgery 1992 volume II" (Hinderer, U.T. eds). P. 117~118, Excerpta Medica (Amsterdam), 1992.
- 5) Hyakusoku, H., and Fumiiri, M.：〔分担〕Secondary vascularized flaps made by free inferior epigastric vascular bundle transfer. "Plastic Surgery 1992 volume II" (Hinderer, U.T. eds). P. 133~134, Excerpta Medica (Amsterdam), 1992.
- 6) Okubo, M., and Hyakusoku, H.：〔分担〕Use of superficial cervical artery skin flaps in the reconstruction of cervical scar contractures. "Plastic Surgery 1992 volume II" (Hinderer, U.T. eds). P. 369~370, Excerpta Medica (Amsterdam), 1992.
- 7) Tonegawa, H., Hyakusoku, H., Kanno, K., and Fumiiri, M.：〔分担〕Reconstruction of the calcaneal area using distally based sural fasciocutaneous island flaps. "Plastic Surgery 1992 volume II" (Hinderer, U.T. eds). P. 835~836, Excerpta Medica (Amsterdam), 1992.

学会発表

- 1) 百束比古：〔シンポジウム〕広範囲熱傷患者におけるQOL (Quality of Life) の形成外科。第35回日本形成外科学会総会，1992.
- 2) 秋元正宇：〔パネルディスカッション〕菱形皮膚欠損に対する局所皮弁のコンピュータ解析；有限要素法を用いて（局所皮弁の新知見）。第35回日本形成外科学会総会，1992.
- 3) 利根川均，百束比古，秋元正宇，滝沢 康，山本 達，野中尚子，文入正敏，田沼久美子¹⁾，伊藤博信¹⁾（¹⁾解剖学第2）：〔一般講演〕下腿の島状筋膜皮弁に関する解剖学的ならびに臨床的考察。第35回日本形成外科学会総会，1992.
- 4) 坂田修一，百束比古，白井洋司，大久保正智，文入正敏，宮下次広¹⁾，堀内淳一¹⁾（¹⁾付属病院放射線科）：〔一般講演〕ケロイドおよび肥厚性瘢痕に対する術後電子線照射の効果についての検討。第35回日本形成外科学会総会，1992.
- 5) 山村美和¹⁾，百束比古，文入正敏，平川慶子²⁾（¹⁾総合会津中央病院形成外科，²⁾法医学）：〔一般講演〕核磁気共鳴を用いた体内埋入異物患者の臨床医学的研究。第35回日本形成外科学会総会，1992.

- 6) 秋元正字, 百束比古: [展示] ワイアフレーム埋入法における新しい工夫; リングテクニック (手術における創意と工夫). 第35回日本形成外科学会総会, 1992.
- 7) 百束比古, 滝沢 康, 村上正洋, 大久保正智, 文入正敏, 吉田秀也¹⁾, 平井 隆²⁾ (¹⁾横浜旭中央病院形成外科, ²⁾東戸塚記念病院形成外科): [展示] Free or pedicled superficial cervical artery (SCA) flap による各種再建術. 第35回日本形成外科学会総会, 1992.
- 8) 滝沢 康, 百束比古, 秋元正字, 利根川均, 野中尚子, 文入正敏, 隈崎達夫¹⁾, 弦間和仁¹⁾ (付属病院放射線科): [ビデオ] 回転立体デジタルアンギオグラフィー (C.D.S.A.) の形成外科的応用. 第35回日本形成外科学会総会, 1992.
- 9) 井上幸彦, 百束比古, 秋元正字, 滝沢 康, 有吉雅徳, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾, 新見やよい¹⁾, 山下精彦²⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾外科第1): [一般講演] Extended groin flap により腹壁再建を行った転移性顆粒膜細胞腫の1例. 第167回日本形成外科学会東京地方会, 1992.
- 10) 百束比古: [シンポジウム] 広範熱傷再建外科; 特殊な皮弁の開発と適用中心に (熱傷再建時における治療方法の選択). 第18回日本熱傷学会総会, 1992.
- 11) 山本 達, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] ファンヒーターによる乳児熱傷の1例. 第18回日本熱傷学会総会, 1992.
- 12) 青木 律¹⁾, 梅田敏彦¹⁾, 大木更一郎¹⁾, 百束比古, 有吉雅徳, 文入正敏 (¹⁾総合会津中央病院形成外科): [一般講演] 低周波治療器による傷害の2例. 第18回日本熱傷学会総会, 1992.
- 13) 浮 文宏¹⁾, 浅田 薫¹⁾, 黒沢 尚¹⁾, 遠藤俊吉¹⁾, 百束比古, 秋元正字, 滝沢 康, 文入正敏 (¹⁾付属病院精神科): [シンポジウム] 重傷熱傷における Consultation Liaison Psychiatry 活動往診型 (チームアプローチとしての熱傷治療). 第18回日本熱傷学会総会, 1992.
- 14) 秋元正字, 百束比古, 坂田修一, 文入正敏, 山村美和¹⁾ (¹⁾総合会津中央病院形成外科): [一般講演] ワイアフレーム内固定法の検討と工夫. 第18回日本熱傷学会総会, 1992.
- 15) 野中尚子, 百束比古, 大久保正智, 秋元正字, 滝沢 康, 利根川均, 坂田修一, 山本 達, 村上正洋, 文入正敏: [一般講演] 下口唇下顎部の深達性熱傷後の再建; 特に皮弁の適用と選択. 第18回日本熱傷学会総会, 1992.
- 16) 高 建華, 百束比古, 山村美和, 文入正敏, 羅 錦輝¹⁾, 羅 力生¹⁾ (¹⁾中国第1軍医大学南方医院): [一般講演] 超薄皮弁有茎移植術の臨床応用. 第18回日本熱傷学会総会, 1992.
- 17) 斎藤陽子¹⁾, 青木雅子¹⁾, 三上 寛¹⁾, 山本泰一¹⁾, 中山恵二¹⁾, 中村進一¹⁾, 白井洋司, 滝沢 康 (¹⁾第一病院皮膚科): [一般講演] 顔面有茎性悪性黒色腫の1例. 第8回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1992.
- 18) 秋元正字, 百束比古, 白井洋司, 大久保正智, 文入正敏, 本田光芳¹⁾, 青木美佳子²⁾, 服部怜美²⁾, 伊東文行²⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾第二病院皮膚科): [一般講演] DFSP20例の手術法の検討. 第8回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1992.
- 19) 白井洋司¹⁾, 簡野晃次, 大久保正智, 百束比古, 文入正敏, 青木美佳子²⁾, 本田光芳²⁾ (¹⁾総合会津中央病院形成外科, ²⁾付属病院皮膚科): [一般講演] First web space flap により再建した第3趾間棘細胞癌の1例. 第8回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1992.
- 20) Akimoto, M., Hyakusoku, H., and Fumiiri, M.: [一般講演] Computer analysis of rhomboid flaps using finite element method. The Xth Congress of the International Confederation for Plastic and Reconstructive Surgery (Madrid), 1992.
- 21) Yamamoto, T., and Hyakusoku, H.: [一般講演] The propeller flap method. The Xth Congress of the International Confederation for Plastic and Reconstructive Surgery (Madrid), 1992.
- 22) Kanno, K., Hyakusoku, H., Fumiiri, M., Hirakawa, K.¹⁾, and Watanabe, T.¹⁾ (¹⁾法医学): [一般講演] Chronological observation of the energy metabolism of skin flaps by the 31P-MRS surface coil method. The Xth Congress of the International Confederation for Plastic and Reconstructive Surgery (Madrid), 1992.

- 23) Yamamoto, T., Hyakusoku, H., and Fumiiri, M. : [一般講演] Secondary vascularized flaps made by free inferior epigastric vascular bundle transfer. The Xth Congress of the International Confederation for Plastic and Reconstructive Surgery (Madrid), 1992.
- 24) Okubo, M., and Hyakusoku, H. : [一般講演] Use of superficial cervical artery skin flaps in the reconstruction of cervical scar contractures. The Xth Congress of the International Confederation for Plastic and Reconstructive Surgery (Madrid), 1992.
- 25) Takekoshi, A., Tonegawa, H., Hyakusoku, H., Kanno, K., and Fumiiri, M. : [一般講演] Reconstruction of the calcaneal area using distally based sural fasciocutaneous island flaps. The Xth Congress of the International Confederation for Plastic and Reconstructive Surgery (Madrid), 1992.
- 26) 大久保正智, 百束比古, 秋元正字, 文入正敏 : [一般講演] Arterialization により生着した degloving injury の 1 例. 第167回日本形成外科学会東京地方会, 1992.
- 27) 有吉雅徳, 百束比古, 滝沢 康, 簡野晃次, 文入正敏, 新見やよい¹⁾, 青木見佳子¹⁾, 本田光芳¹⁾(¹⁾付属病院皮膚科) : [一般講演] 爪甲下悪性黒色腫の 2 例. 第168回日本形成外科学会東京地方会, 1992.
- 28) 青木 律, 百束比古, 大久保正智, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾, 山村美和²⁾, 利根川均²⁾(¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾総合会津中央病院形成外科) : [一般講演] 後頭項頸部に発症した壊疽性筋膜炎の 1 再建例. 第169回日本形成外科学会東京地方会, 1992.
- 29) 秋元正字, 百束比古, 大久保正智, 高 建華, 滝沢 康, 有吉雅徳, 文入正敏 : [一般講演] Free inferior epigastric artery (IEA) flap を用いた再建術の検討. 第19回日本マイクロサージャリ学会, 1992.
- 30) 百束比古, 大久保正智, 秋元正字, 文入正敏, 利根川均¹⁾(¹⁾総合会津中央病院形成外科) : [一般講演] Arterialization により生着せしめた足の degloving injury の 1 例. 第19回日本マイクロサージャリ学会, 1992.
- 31) 秋元正字 : [一般講演] シミュレーション外科 ; 局所皮弁のコンピュータシミュレーション. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 32) 飛嶋佐斗子, 百束比古, 文入正敏 : [展示] シリコンバッグプロテーゼを用いない乳癌術後再建術. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 33) 利根川均, 百束比古, 秋元正字, 滝沢 康, 山本 達, 野中尚子, 文入正敏, 田沼久美子¹⁾, 伊藤博信¹⁾(¹⁾解剖第 2 学) : [展示] 下腿の皮膚動脈に関する解剖学的ならびに臨床的応用. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 34) 百束比古, 大久保正智, 秋元正字, 利根川均, 竹越昭彦, 辺見 弘¹⁾(¹⁾救急医学) : [展示] 1 本の AV 吻合でサルベージし得た degloving foot injury ; 世界初の報告例. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 35) 高 建華, 百束比古, 佐藤真美子, 文入正敏 : [展示] 中国にて考案された超薄皮弁 (super thin flap) の臨床応用と血流解析. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 36) 井上幸彦, 百束比古, 文入正敏, 新見やよい¹⁾, 山下精彦²⁾(¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾外科第 1) : [展示] Extended groin flap と大網弁による腹壁再建を行った転移性顆粒膜細胞腫の 1 例. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 37) 佐野和史, 秋元正字, 百束比古, 文入正敏 : [展示] ティッシュエクスパンダーを用いた外鼻再建術. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 38) 佐藤真美子, 百束比古, 秋元正字, 大久保正智, 文入正敏 : [展示] 小耳症の耳介形成術 ; 最近の進歩. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 39) 黒田周一, 百束比古, 白井洋司, 文入正敏 : [展示] 唇裂形成術 ; 最近の進歩. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 40) 野中尚子, 百束比古, 村上正洋, 利根川均, 文入正敏 : [展示] 下顎部頸部の重度瘢痕拘縮の 1 再建例 ; SCA 皮弁と広背筋皮弁による再建. 第60回日本医科大学医学学会総会, 1992.
- 41) 有吉雅徳, 百束比古, 滝沢 康, 簡野晃次, 新見やよい¹⁾, 青木見佳子¹⁾, 本田光芳¹⁾(¹⁾付属病院皮膚科) : [展示] 爪甲下悪性黒色腫の 2 例 ; 稀な爪甲下 amelanotic melanoma の経験. 第60回日本医科大学医学学会総会,

1992.

- 42) 大久保正智, 青木 律, 百束比古, 文入正敏, 利根川均¹⁾, 大友康裕²⁾(¹⁾総合会津中央病院形成外科, ²⁾総合会津中央病院救命救急センター): [展示] 後頭項頸部の重症壊疽性筋膜炎の1再建例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 43) 高 建華, 百束比古, 簡野晃次, 野中尚子, 黒田周一, 文入正敏: [一般講演] 超薄皮弁移植術; 第2報・OSC皮弁の解剖学的検討. 第170回日本形成外科学会東京地方会, 1992.
- 44) 簡野晃次, 高 建華, 百束比古, 野中尚子, 黒田周一, 文入正敏: [一般講演] 超薄皮弁移植術; 第3報・最近の中国文献の検討を中心にして. 第170回日本形成外科学会東京地方会, 1992.
- 45) 山本 達, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] Argatroban の皮弁生着域拡大効果に関する実験的研究. 第1回日本形成外科学会基礎学術集会, 1992.
- 46) 井上幸彦, 山村美和, 文入正敏, 平川慶子¹⁾, 植草協子¹⁾(¹⁾法医学): [一般講演] 核磁気共鳴を用いた体内埋入異物分析法の評価と問題点. 第1回日本形成外科学会基礎学術集会, 1992.
- 47) 百束比古, 高 建華, 簡野晃次, 山村美和, 文入正敏: [一般講演] narrow pedicled occipito-cervico-shoulder (OCS) flap による顔面の再建. 第11回日本頭蓋顎顔面外科学会総会, 1992.
- 48) 大久保正智, 百束比古, 青木 律, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾, 利根川均²⁾, 山村美和²⁾(¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾総合会津中央病院形成外科): [一般講演] 後頭項頸部に発症した壊死性筋膜炎の1再建例. 第11回日本頭蓋顎顔面外科学会総会, 1992.
- 49) 佐野和史, 秋元正宇, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] 包茎手術後に臍下部より陰囊に及ぶ広汎な蜂窩織炎を生じた1例. 第15回日本美容外科学会総会, 1992.
- 50) 飛嶋佐斗子, 百束比古, 大久保正智, 山村美和, 井上幸彦, 文入正敏, 橋本政子¹⁾, 山下精彦¹⁾(¹⁾中央検査室): [一般講演] 体内埋入異物患者における自己抗体陽性値の検討. 第15回日本美容外科学会総会, 1992.
- 51) 井上幸彦, 山村美和, 百束比古, 文入正敏, 平川慶子¹⁾, 植草協子¹⁾(¹⁾法医学): [一般講演] 液体 NMR による埋入異物の解析. 第15回日本美容外科学会総会, 1992.
- 52) 井上幸彦, 百束比古, 大久保正智, 佐野和史, 文入正敏: [一般講演] 陰茎異物11例の検討. 第171回日本形成外科学会東京地方会, 1992.
- 53) Akimoto, M.: [一般講演] Analysis of skin flaps using finite element method; How to cover a rhombic skin defect?. The Inaugural Congress of the International Society for Simulation Surgery (Tokyo), 1992.
- 54) 佐藤真美子, 塩塚正純, 文入正敏, 山中宣昭¹⁾, 飯野靖彦²⁾(¹⁾病理第1, ²⁾第一病院第2内科): [一般講演] 広範囲熱傷後に発症した特殊なネフローゼ症候群の1例. 第1回日本熱傷学会関東地方会, 1992.
- 55) 青木 律, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] 小児広範囲熱傷後遺症患者の問題点. 第1回日本熱傷学会関東地方会, 1992.
- 56) 青木 律¹⁾, 利根川均¹⁾, 大友康裕²⁾, 大久保正智, 百束比古, 文入正敏(¹⁾総合会津中央病院形成外科, ²⁾総合会津中央病院救命救急センター): [一般講演] 広範囲の早期デブリードマンによって救命し得た壊死性筋膜炎の2例. 第34回日本救急医学会関東地方会, 1993.
- 57) 秋元正宇, 大久保正智, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] Arterialization により生着した degloving injury の1例. 第34回日本救急医学会関東地方会, 1993.
- 58) 佐藤善一郎, 簡野晃次, 大久保正智, 百束比古, 文入正敏, 服部怜美¹⁾(¹⁾付属病院皮膚科): [一般講演] 両側耳介後部に発生した pseudo lymphoma の1例. 第173回日本形成外科学会東京地方会, 1992.

〔前年度追加分〕

- 1) Hyakusoku, H., Fumiiri, M., and Honda, M.¹⁾(¹⁾付属病院皮膚科): [一般講演] Superficial cervical artery skin flaps. The Fifth Congress of the Asian Pacific Section of the International Confederation for Plastic

and Reconstructive Surgery (Istanbul), 1989.

- 2) Kanno, K., Hyakusoku, H., Takizawa, Y., and Shirai, H. : [一般講演] Distally based posterior cal fasciocutaneous flap. The Fifth Congress of the Asian Pacific Section of the International Confederation for Plastic and Reconstructive Surgery (Istanbul), 1989.
- 3) Hirai, T., and Hyakusoku, H. : [一般講演] External wire frame fixing for sheet skin grafts. The Fifth Congress of the Asian Pacific Section of the International Confederation for Plastic and Reconstructive Surgery (Istanbul), 1989.
- 4) Akimoto, M., Hyakusoku, H., and Fumiiri, M. : [一般講演] Computer simulation of local flap operation. The Fifth Congress of the Asian Pacific Section of the International Confederation for Plastic and Reconstructive Surgery (Istanbul), 1989.
- 5) Kanno, K., Hyakusoku, H., and Okubo, M. : [一般講演] 4 cases of breast carcinoma and precancerous lesions complicated by injection mammoplasty. The International Society of Aesthetic Plastic Surgery ; The Xth Congress (Zurich), 1989.
- 6) Akimoto, M., Tamai, J., and Hyakusoku, H. : [一般講演] 3D-CT system using a personal computer. The International Society of Aesthetic Plastic Surgery ; The Xth Congress (Zurich), 1989.

20. 付属病院付置施設等

〔付属病院集中治療室〕

研究概要

急性循環器疾患の治療を中心とし、長年にわたり集中治療室（CCU, ICU）は第一内科、胸部外科、麻酔科その他の多くの臨床各科の協力の下に研究、診療を重ねており、平成4年度は総計706例の重症循環器疾患患者を収容し加療した。これらの症例に対する病態診断、治療に関し、本年度は以下のような研究と報告を行った。

急性心筋梗塞の初期治療として冠再灌流療法に関して多数の研究が行われた。これまでの血栓溶解療法を中心とする治療に加え、冠血管形成術（PTCA）を急性期の多数の症例に導入し、冠再閉塞、再梗塞および梗塞後狭心症の防止効果が示された。本年度は冠再灌流療法がもたらす梗塞域縮小、急性期死亡減少の効果が、高齢者やこれまで適応外とされていた梗塞発症6時間を越える症例にても認められるか（Late Reperfusion）につき、積極的に検討を加え、その結果を報告した。

一方、昨年から継続して日本救急医療研究試験財団による研究助成の下に、心筋障害の新しいマーカーとして血清トロポニンTの測定とその臨床的意義に関する研究を行い、多数の報告を行った。また、急性心筋梗塞や他の心疾患による心不全におけるCytokineに関する研究を続け、本病態におけるEndothelinの役割を報告し、あわせて気管内挿管を行わずに持続陽圧呼吸を可能にさせるMask CPAPを導入し新たな治療法として位置づけた。

心原性ショックを呈する重篤な急性心筋梗塞、心不全に対する経皮の心肺補助装置（PCPS）に関しては、厚生省平成4年度循環器病研究委託事業として研究を続け、急性心肺疾患への本法の適応、施行に関する指針を確立すべく症例を重ね、結果を報告した。

当施設は東京都CCUネットワークの事務局として急性心疾患治療の組織化とその結果の分析を行っている。現在、進歩する高度先進医療の一環として、新たな緊急心血管造影治療室設置に向け、さらに積極的に研究を進めている。

研究業績

論文

- 1) 高野照夫：〔総説〕循環器疾患治療の変遷と展望。治療，74，227～227，1992。
- 2) 中込明裕，高野照夫：〔総説〕心筋梗塞。肺と心，39，83～88，1992。
- 3) 神原啓文¹⁾，高野照夫（¹⁾京都大学医療技術短期大学部）：〔総説〕右冠動脈閉塞における血栓溶解療法；右室梗塞を含む。医と薬学，27，817～818，1992。
- 4) 今泉孝敬，中込明裕，説田浩一，富田喜文，清野精彦，田中啓治，佐々木美典¹⁾，安武正弘¹⁾，草間芳樹¹⁾，畑典武¹⁾，高山守正¹⁾，宗像一雄¹⁾，岸田浩¹⁾，高野照夫，早川弘一¹⁾（¹⁾内科第1）：〔原著〕右冠動脈閉塞における血栓溶解療法と右室梗塞の予防；冠動脈部位別の検討。医と薬学，27，833～839，1992。
- 5) 田中啓治，高田加寿子，矢島俊巳，高野照夫，佐々木建志¹⁾（¹⁾胸部外科）：〔原著〕急性大動脈解離の内科治療とその限界（特集：大動脈解離の診断と治療）。進歩する心臓研，12，33～39，1992。
- 6) 高山守正，高野照夫：〔総説〕T-PA；医療側に必要な体制（特集：t-PA；急性心筋梗塞の新しい初期治療）。診断と治療，80，781～785，1992。
- 7) 田中啓治：〔総説〕CCUで用いる画像診断法とその特徴；画像診断から画像治療へ。集中治療，4，641～644，1992。
- 8) 富田喜文，高野照夫：〔総説〕Lp(a)と冠動脈病変；とくに急性心筋梗塞とLp(a)の関係。医のあゆみ，161，514～514，1992。
- 9) 広沢弘七郎¹⁾，木全心一¹⁾，高野照夫，堀正二²⁾（¹⁾東京女子医大心臓血圧研究所，²⁾大阪大学）：〔原著〕Flose-

quinan (BTS49 465) の心不全患者に対する薬効評価；単回経口投与による心行動態に対する作用。臨薬理, 23, 453～467, 1992.

- 10) 新谷博一¹⁾, 安田寿一²⁾, 河合忠一³⁾, 片桐敬¹⁾, 木全心一⁴⁾, 飯塚昌彦⁵⁾, 後藤英道¹⁾, 高野照夫, 篠山重威⁶⁾, 久萬田俊明⁶⁾(¹⁾昭和大学, ²⁾北海道大学, ³⁾京都大学, ⁴⁾東京女子医科大学, ⁵⁾東京大学, ⁶⁾富山医科薬科大学)：〔原著〕慢性心不全に対するカプトプリル (CS-522CHF) の臨床的検討；多施設共同研究による至適用量の検討。臨薬理, 8, 1273～1291, 1992.
- 11) 林 宏光¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 田中啓治 (¹⁾放射線科)：〔総説〕CT. 集中治療, 4, 753～756, 1992.
- 12) 子島 潤, 高野照夫：〔総説〕急性心筋梗塞に合併する不整脈とその治療。Pharm Med., 10, 121～126, 1992.
- 13) 太田真夫¹⁾, 高野照夫(¹⁾内科第1)：〔総説〕肥満と循環機能(特集：肥満患者の管理)。ICU と CCU, 16, 617～623, 1992.
- 14) 田島廣之¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 田中啓治(¹⁾放射線科)：〔総説〕デジタルサブトラクション血管造影(DSA). 集中治療, 4, 855～859, 1992.
- 15) 高野照夫, 横山広行：〔総説〕急性心不全の治療と強心薬(特集：強心薬)。治療学, 26, 853～857, 1992.
- 16) 高野照夫：〔総説〕急性心筋梗塞の最新の治療指針。Current Topics in Cardiology, 1, 4～7, 1992.
- 17) 遠藤孝雄¹⁾, 高野照夫 (¹⁾内科第1)：〔総説〕乳酸アムリノン。現代医療, 24, 2113～2116, 1992.
- 18) 富田喜文¹⁾, 田中啓治, 横山広行¹⁾, 星野公彦¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾, 桜井太郎²⁾, 朝野伍朗²⁾(¹⁾内科第1, ²⁾病理第2)：〔原著〕血管内超音波断層法の有用性と問題点。循環器情報処理研究会雑誌, 7, 107～113, 1992.
- 19) 横山広行, 高野照夫, 田中啓治：〔総説〕硝酸薬。Med Pract, 10, 607～611, 1992.
- 20) 草間芳樹¹⁾, 子島 潤, 高野照夫 (¹⁾内科第1)：〔総説〕白血球の役割(特集：急性心筋梗塞；急性期の病態)。現代医療, 24, 35～40, 1992.
- 21) 高野照夫, 子島 潤：〔総説〕急性心筋梗塞の重症度をどう評価するか(特集：急性心筋梗塞)。日内会誌, 81, 36～41, 1992.
- 22) 田中啓治, 中込明裕, 島井新一郎, 高野照夫, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1)：〔原著〕早期梗塞後狭心症の重症度判定と難治例に対する冠動脈血行再建術。脈管学, 32, 711～714, 1992.
- 23) 高野照夫, 田中啓治, 広沢弘七郎¹⁾(¹⁾東京都 CCU ネットワーク)：〔原著〕東京都 CCU ネットワークの利用状況。Ther. Res., 13, 3165～3171, 1992.
- 24) 亀井真一郎, 富田喜文, 田中啓治, 高野照夫：〔報告〕搬送先病院内で症状変化した傷病者を心肺生を実施し救命させた事例；CCU 報告。Ther. Res., 13, 3175～3178, 1992.
- 25) 田中啓治, 富田喜文, 矢原明美, 高野照夫：〔原著〕再灌流療法とリハビリテーション；再灌流療法は早期退院を可能にしているか退院直後のリハビリテーションにおける精神的サポート。Ther. Res., 13, 3227～3230, 1992.
- 26) 玉井 仁¹⁾, 渡 潤¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 田中啓治 (¹⁾放射線科)：〔総説〕核磁気共鳴画像；MRI. 集中治療, 4, 965～968, 1992.
- 27) 田中啓治, 太田久子：〔総説〕急性心筋梗塞に伴う循環不全の治療；経皮的心肺補助法(PCPS)とスーパーバルーン。看技, 38, 9～10, 1992.
- 28) 汲田伸一郎¹⁾, 水村 直¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 田中啓治 (¹⁾放射線科)：〔総説〕CCU における RI 検査の有用性。集中治療, 4, 1069～1073, 1992.
- 29) 佐々木建志¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 池下正敏¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 井村 肇¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 高野照夫, 田中啓治, 隈崎達夫²⁾, 大矢 徹²⁾(¹⁾胸部外科, ²⁾放射線科)：〔原著〕A型大動脈解離の急性期治療方針；解離腔血栓閉塞例の治療成績からの検討。日胸外会誌, 40, 1668～1674, 1992.
- 30) 高野照夫：〔総説〕急性冠動脈疾患の成因と病態；序(特集：急性冠動脈疾患の成因と病態)。進歩する心臓研, 12, 65～66, 1992.

- 31) Tomita, Y., and Takano, T.: [原著] The mechanism and pathophysiology of sudden unexpected natural death. *Asian. Med. J.*, 35, 551~558, 1992.
- 32) 田中啓治, 竹田晋浩: [総説] 救急薬品の準備と投与. *Medicina*, 29, 342~344, 1992.
- 33) 高山守正, 田中啓治: [総説]CCUにおける診断的冠動脈・左室造影の適応とその実際. *集中治療*, 4, 1187~1192, 1992.
- 34) 高野照夫: [総説] 急性心不全の集中治療の考え方. *Cardiol*, 3, 2~6, 1992.
- 35) 高山守正, 田中啓治: [総説] CCUにおける治療のカテーテル術. *集中治療*, 4, 1321~1327, 1992.
- 36) 太田真夫¹⁾, 高野照夫^(1)内科第1): [総説]冷汗といわゆるショック. *ハートナーシング*, 61(増刊), 195~202, 1992.
- 37) 雪吹周生, 高野照夫: [総説] 利尿薬. *消外*, 15, 14~14, 1992.
- 38) 田中啓治, 杉本忠彦, 子島 潤, 高山守正, 高野照夫: [原著] 激しい心原性ショックに対する経皮的心肺補助法(PCPS)に伴う多臓器不全(MOF)の頻度と重症度. *日救急医学会関東誌*, 13, 542~545, 1992.
- 39) 高野照夫, 清野精彦¹⁾ (^{1)内科第1)}: [総説] 強心薬の今後の展望(特集: 急性心不全の病態生理と治療方針). *新薬と治療*, 42, 7~9, 1992.
- 40) 富田喜文¹⁾, 田中啓治 (^{1)内科第1)}: [総説] 血管内超音波法. *集中治療*, 4, 1423~1429, 1992.
- 41) Tomita, Y.¹⁾, Endo, T.¹⁾, Takano, T., Hayakawa, H.¹⁾, Tamura, K.²⁾, and Sugisaki, Y.²⁾ (^{1)First Department of Internal Medicine, 2)Deptment of Pathology}): [報告] Extensive hemorrhagic myocardial intraction associated with left atrial myxoma. *Cardiology*, 81, 384~388, 1992.
- 42) 富田喜文¹⁾, 高野照夫 (^{1)内科第1)}: [総説] Lp(a)と冠動脈病変: 特に急性心筋梗塞との関係. *医のあゆみ*, 161, 514~514, 1992.
- 43) 高山守正, 小谷英太郎¹⁾, 国見聡宏¹⁾, 横山広行, 荒尾正人¹⁾, 青木 聡¹⁾, 笹川 新¹⁾, 関戸司久¹⁾, 星野公彦, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 富田喜文¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (^{1)内科第1)}: [原著] 下壁梗塞心電図を伴う急性前壁梗塞の検討: 冠再灌流療法における左前下行枝下壁枝の臨床的意義. *医と薬学*, 29, 158~162, 1993.
- 44) 本間 博¹⁾, 田中啓治 (^{1)内科第1)}: [総説] CCUでの超音波診断法の有用性と限界: 経食道心エコー図法も含めて. *集中治療*, 5, 81~85, 1993.
- 45) 上松瀬勝男¹⁾, 高野照夫 (^{1)日大駿河台}): [総説] 冠動脈内血栓溶解療法の問題点とこれからの方向. *医と薬学*, 29, 127~128, 1993.
- 46) 富田喜文¹⁾, 高野照夫, 橋本英洋¹⁾ (^{1)内科第1)}: [総説] 再梗塞の予防(特集: 狭心症と心筋梗塞: 治療を中心に). *臨床医*, 19, 64~66, 1993.
- 47) 田中啓治: [総説] 大動脈内バルーンポンピング(IABP). *看技*, 39, 75~78, 1993.
- 48) 清野精彦¹⁾, 高野照夫 (^{1)内科第1)}: [総説] 心不全の病態と治療. *循環治療*, 72~78, 1993.
- 49) 高山守正: [総説] 虚血性心疾患と高脂血症(特集: 併存疾患の薬物治療). *治療*, 75, 439~442, 1993.
- 50) 富田喜文, 高野照夫, 清野精彦¹⁾, 高山守正, 宗像一雄¹⁾, 太田真夫¹⁾, 田中啓治, 大竹 稔¹⁾, 早川弘一¹⁾ (^{1)内科第1)}: [原著] 急性心筋梗塞における血中リポ蛋白(a)の意義: 特に冠動脈重症度との関連について. *心臓*, 25, 281~288, 1993.
- 51) 高野照夫: [総説] 心不全の非薬物治療の現況と展望(特集: 心不全). *循環器専門医*, 1, 41~47, 1993.
- 52) 高野照夫: [総説] 特集にあたって(特集: ICUにおける補助循環). *ICUとCCU*, 17, 213~213, 1993.
- 53) 田中啓治, 横山広行, 高山守正, 高野照夫, 早川弘一¹⁾, (^{1)内科第1)}: [総説] 冠動脈内血栓溶解療法と急性期リハビリテーション. *診療と新薬*, 30, 571~575, 1993.
- 54) 家所哲夫, 田中啓治: [総説] 胸痛. *診断と治療*, 81, 310~312, 1993.

著 書

- 1) 島井新一郎, 高野照夫: [分担] 急性心筋梗塞, “好中球エラスターゼ; 病態と治療への新しい手がかり” (小川道雄編), P. 183~192, へるす出版, 1992.
- 2) 高野照夫, 富田喜文: [分担] 不安定狭心症における血栓溶解療法の役割, “t-PA の基礎と臨床; 新しい抗血栓薬の実際” (新谷博一編), P. 97~108, 医薬ジャーナル社, 1992.
- 3) 高野照夫: [分担] ショック, “外来診療のすべて” (高久史磨監修), P. 6~9, メジカルビュー社, 1992.
- 4) 高野照夫: [分担] CCU, “急性心筋梗塞における再灌流療法案内図譜” (相澤忠範編), P. 53~55, メジカルビュー社, 1992.
- 5) 田中啓治, 大林完二: [分担] CCU・ICU モニタリング, “CCU・ICU 研修スクール No. 1” (早川弘一編), テクノコミュニケーションズ, 1992.
- 6) 高野照夫, 富田喜文: [分担] 心筋梗塞に伴う低血圧とショック, “循環器疾患最新の治療'92~'93” (杉本恒明, 篠山重威編), P. 23~26, 南江堂, 1992.
- 7) 高野照夫: [分担] 急性憎悪期の治療戦略, “循環器 Now No. 1” (矢崎義雄編), P. 126~131, 南江堂, 1992.
- 8) 清野精彦¹⁾, 竹田晋浩 (¹内科第1): [分担] 急性心不全の呼吸管理, “循環器 Now No. 1” (矢崎義雄編), P. 238~242, 南江堂, 1992.
- 9) 清野精彦¹⁾, 高野照夫 (¹内科第1): [分担] 心不全の病態と治療, “Annual Review 循環器1993” (杉本恒明, 松本昭彦, 杉下靖郎, 門間和夫編), P. 72~78, 中外医学社, 1992.
- 10) 高野照夫, 富田喜文¹⁾ (¹内科第1): [分担] 不安定狭心症における血栓溶解療法の役割, “t-PA の基礎と臨床; 新しい溶血栓薬の実際” (新谷博一編), P. 97~108, 医薬ジャーナル社, 1992.
- 11) 高野照夫: [分担] 大動脈内バルーンポンピング法, “今日の治療指針” (日野原重明, 阿部正和監修), P. 58~58, 医学書院, 1993.
- 12) 高野照夫: [分担] 合併症, “心筋梗塞” (杉本恒明, 矢崎義雄, 泰江弘文編), P. 56~74, 中山書店, 1993.

学会発表

- 1) 清野精彦¹⁾, 説田浩一¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (¹内科第1): [展示] 急性心筋梗塞症例における各種 cytokine 及び endothelin の modulation に関する検討, 第89回日本内科学会講演会, 1992.
- 2) 高山守正, 小谷英太郎¹⁾, 国見聡宏¹⁾, 横山広行, 荒尾正人¹⁾, 青木 聡¹⁾, 笹川 新¹⁾, 関戸司久¹⁾, 星野公彦, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 富田喜文¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (¹内科第1): [シンポジウム] 下壁梗塞心電図を伴う急性前壁梗塞の検討; 冠再灌流療法における左前下行枝下壁枝の臨床的意義, 第15回 Coronary Thrombolysis 研究会, 1992.
- 3) 竹田晋浩, 横山広行, 杉本忠彦, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 清野精彦¹⁾, 早川弘一¹⁾, 池下正敏²⁾, 田中茂夫²⁾ (¹内科第1, ²⁾胸部外科): [一般講演] 発症時より前脊髄動脈の閉塞による脊髄梗塞 (Adamkiewicz 症候群) を呈した解離性大動脈瘤の1例, 第144回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1992.
- 4) 小谷英太郎¹⁾, 国見聡宏¹⁾, 荒尾正人¹⁾, 青木 聡¹⁾, 笹川 新¹⁾, 関戸司久¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 横山広行, 星野公彦, 富田喜文, 高山守正, 高野照夫 (¹内科第1): [一般講演] 下壁梗塞心電図を呈し, 冠動脈造影にて左前下枝末梢部の完全閉塞が確認された急性心筋梗塞の1例, 第144回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1992.
- 5) 横山広行, 星野公彦, 中込明裕, 今泉孝敬, 富田喜文, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 佐藤直樹¹⁾, 国見聡宏¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 畑 典武¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹内科第1): [展示] 待機的 PTCA 後早期に残存する ST 下降の成因について, 第1回日本心血管インターベンション学会, 1992.
- 6) 佐々木美典¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 国見聡宏¹⁾, 安武正弘¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 畑 典武¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 横山広行, 星野公彦, 中込明裕, 今泉孝敬, 説田浩一, 富田喜文, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫 (¹内科第1):

〔一般講演〕左冠動脈主幹部高度狭窄に対する経皮的冠血管形成術の成績。第1回日本心血管インターベンション学会, 1992.

- 7) 田中啓治, 杉本忠彦, 子島 潤, 高山守正, 高野照夫, 二宮淳一¹⁾ (1)胸部外科): [シンポジウム] 激しい心原性ショックに対する経皮的心肺補助法(PCPS)に伴う多臓器不全(MOF)の頻度と重症度(主題: ショックと臓器不全). 第33回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 8) 長谷川雄二¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 小関一英¹⁾, 加藤一良¹⁾, 吉田竜介¹⁾, 松田 潔¹⁾, 中村基明¹⁾, Suarez, G.¹⁾, 井上潤一¹⁾, 田辺和子¹⁾, 松園幸雄¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 子島 潤, 杉本忠彦, 田中啓治, 高野照夫(1)救命救急センター): [一般講演] 術中IABPにて救命した敗血症性ショックの1例. 第33回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 9) 田中 隆¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 加藤貴雄²⁾, 早川弘一²⁾, 高野照夫 (1)多摩永山病院内科, 2)内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞に合併する房室ブロックの臨床的特徴とその発現メカニズム. 第12回心筋梗塞研究会, 1992.
- 10) 田中啓治, 横山広行, 高山守正, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [シンポジウム] 冠動脈内血栓溶解療法と急性期リハビリテーション(主題: 再灌流療法後の心臓リハビリテーション). 第15回心臓リハビリテーション研究会, 1992.
- 11) 国見聡宏¹⁾, 斉藤 勉¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 浅井邦也¹⁾, 酒井俊太¹⁾, 大國真一¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 富田喜文¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 星野公彦, 横山広行, 高山守正 (1)内科第1): [展示] 急性心筋梗塞発症の既日リズムに関与する因子の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 12) 田中啓治: [シンポジウム] 急性心不全の治療(主題: 心不全治療薬の最近の進歩; 治療の目標と戦略). 第40回日本心臓病学会学術集会サラテイトシンポジウム, 1992.
- 13) 横山広行, 星野公彦, 高田加寿子, 富田喜文, 子島 潤, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫: [展示] カテコラミン療法を要する急性心筋梗塞の慢性期左室機能; 左室拡大防止の重要性. 第40回日本心臓病学会, 1992.
- 14) 田中啓治: [臨床講演] 急性心不全におけるアムリノンの臨床的有用性について; 第III相試験の成績を中心に. 急性心不全研究会, 1992.
- 15) 横山広行¹⁾, 星野公彦¹⁾, 国見聡宏¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 富田喜文¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] PTCA後の運動負荷試験ST下降の推移と遠隔期再狭窄に関する検討. 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 16) 川口直美¹⁾, 新 博次¹⁾, 平山悦之¹⁾, 八島正明¹⁾, 小林みどり¹⁾, 来馬明規¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 高野照夫 (1)内科第1): [一般講演] 自動心電計による心筋梗塞診断精度の検討. 第9回日本心電学会学術集会, 1992.
- 17) 小谷英太郎¹⁾, 森下 真¹⁾, 横山広行¹⁾, 国見聡宏¹⁾, 星野公彦¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 富田喜文¹⁾, 子島 潤¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] 下壁梗塞心電図を伴う急性前壁梗塞の特徴; 左前下行枝心尖部到達度の評価. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 18) 田中啓治, 高田加寿子, 子島 潤, 富田喜文¹⁾, 高山守正, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞に対する冠動脈内血栓溶解療法と心破裂. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 19) 池下正敏¹⁾, 佐々木建志¹⁾, 落 雅美¹⁾, 小坂真一¹⁾, 宇都宮英敏¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 師田哲郎¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 高野照夫, 田中啓治 (1)胸部外科): [一般講演] B型大動脈解離の治療成績; とくに手術適応の再検討. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 20) 杉本忠彦¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 池下正敏¹⁾, 佐々木建志¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 高野照夫, 田中啓治, 高山守正, 隈崎達夫²⁾, 大矢 徹²⁾ (1)胸部外科, 2)放射線科): [一般講演] B型急性大動脈解離における非手術例の遠隔予後と残存解離腔の運命の検討. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 21) 高田加寿子, 田中啓治, 高野照夫: [一般講演] 重篤な広範性肺血栓塞栓症の病態と予後. 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 22) 富田喜文¹⁾, 大竹 稔¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 清野精彦¹⁾, 高山守正¹⁾, 太田真夫¹⁾, 宗像一雄¹⁾,

- 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [一般講演] 冠動脈硬化症と血中 Lp (a) の関係, 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 23) 落 雅美¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 池下正敏¹⁾, 二宮淳一¹⁾, 小坂真一¹⁾, 矢島俊巳¹⁾, 寺田功一¹⁾, 山内仁紫¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 師田哲郎¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 高野照夫(¹⁾胸部外科): [一般講演] 急性心筋虚血と腹部大動脈以下血管病変の合併例に対する治療方針, 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 24) 富田喜文¹⁾, 田中啓治, 国見聡宏¹⁾, 横山広行¹⁾, 星野公彦¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [一般講演] 冠動脈血管内超音波法の有用性の検討, 第33回日本脈管学会総会, 1992.
- 25) 田中啓治, 富田喜文, 高山守正, 高野照夫, 二宮淳一¹⁾, 早川弘一²⁾(¹⁾胸部外科, ²⁾内科第1): [シンポジウム] 急性心筋梗塞に伴う心破裂および心原性ショックの対策; 冠動脈血栓溶解療法, 次世代型 IABP (スーパーバルーンポンプ), 経皮的心肺補助法(PCPS) (主題: 心筋梗塞の超急性期の診断と治療), 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 26) 富田喜文, 星野公彦, 横山広行, 平山悦之, 高田加寿子, 子島 潤, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [シンポジウム] 心筋梗塞の超急性期における生化学的診断法の意義; 特に血中トロポニンT測定の有用性について (主題: 心筋梗塞の超急性期の診断と治療), 第20回日本救急医学会総会, 1992.
- 27) 田中啓治, 杉本忠彦, 三上 巖, 家所哲夫, 高山守正, 高野照夫, 師田哲郎¹⁾, 矢島俊巳¹⁾, 二宮淳一¹⁾(¹⁾胸部外科): [一般講演] IABP 無効の心原性ショックに対する経皮的心肺補助法と IABP との併用, 第13回 IABP 研究会, 1992.
- 28) 高田加寿子, 島井新一郎, 田中啓治, 高野照夫: [一般講演] 急性心筋梗塞における甲状腺機能; 老年群と若年群との比較, 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 29) 横山広行, 高山守正, 富田喜文, 平山悦之, 高田加寿子, 家所哲夫, 安室尚樹, 子島 潤, 田中啓治, 高野照夫: [一般講演] 冠再灌流療法普及後の急性心筋梗塞に伴う急性心不全治療の現況; 高齢者群の特徴, 第34回日本老年医学会総会, 1992.
- 30) 杉本忠彦, 富田喜文, 子島 潤, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 矢島俊巳¹⁾, 二宮淳一¹⁾, 池下正敏¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 庄司 佑¹⁾(¹⁾胸部外科): [一般講演] 経皮的心肺補助法 (PCPS) の応用と回路の工夫について, 第30回日本人工臓器学会, 1992.
- 31) 国見聡宏¹⁾, 斉藤 勉¹⁾, 木村陽一¹⁾, 小谷英太郎¹⁾, 高野仁司¹⁾, 森下 真¹⁾, 浅井邦也¹⁾, 酒井俊太¹⁾, 大國真一¹⁾, 雪吹周生¹⁾, 富田喜文¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 星野公彦, 横山広行, 高山守正, 高野照夫(¹⁾内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞の季節変動, 日本医科大学医学会第78回例会, 1992.
- 32) 高野照夫: [特別報告] 東京都における CCU ネットワークの利用状況, 第12回 CCU 研究会, 1992.
- 33) 高山守正, 富田喜文, 森下 真, 杉本忠彦, 横山広行, 星野公彦, 草間芳樹, 高野照夫, 関 隆志¹⁾, 小川俊一¹⁾, 弓削邦夫¹⁾, 平山恒夫¹⁾(¹⁾小児科): [一般講演] 川崎病による急性心筋梗塞に対し PTCA と Deffred PTCA が有効であった1例, 第1回関東心血管インターベンションカンファレンス, 1992.
- 34) 間宮康貴, 横山広行, 高田加寿子, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 杉浦敏昭¹⁾, 南 史朗¹⁾, 若林一二¹⁾(¹⁾内科第3): [一般講演] 下垂体腺腫摘出術後早期に3回の急性心筋梗塞を発症した Cushing 病の1例, 第415回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 35) 八幡丞子¹⁾, 青木 聡¹⁾, 井野 威¹⁾, 遠藤隆夫¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 星野公彦, 竹田晋浩, 杉本忠彦, 高山守正, 高野照夫, 窪倉浩俊²⁾, 山内仁紫²⁾, 落 雅美²⁾, 田中茂夫²⁾, 小川真紀³⁾, 浅野伍朗³⁾(¹⁾内科第1, ²⁾胸部外科, ³⁾病理第2): [一般講演] 心タンポナーデで発症し心外膜の著明な肥厚を伴い進展した心臓血管肉腫の1例, 第146回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1992.
- 36) 山口真人¹⁾, 竹田晋浩, 横山広行, 杉本忠彦, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 小川 龍¹⁾(¹⁾麻酔科): [一般講演] 重症患者に対する補助的体外循環の効果と問題点, 日本集中治療医学会第1回関東甲信越地方会, 1993.

- 37) 竹田晋浩, 本郷 卓¹⁾, 山口真人¹⁾, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 小川 龍¹⁾(¹⁾麻酔科): [一般講演] 経鼻カニューラによる呼気終末炭酸ガス濃度測定の有用性. 日本集中治療医学会第1回関東甲信越地方会, 1993.
- 38) 杉本忠彦, 田中啓治, 竹田晋浩, 子島 潤, 高山守正, 横山広行, 高野照夫, 矢島俊巳¹⁾, 二宮 淳¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 庄司 佑¹⁾(¹⁾胸部外科): [一般講演] 重症ポンプ不全に対するの有用性の検討. 日本集中治療医学会第1回関東甲信越地方会, 1993.
- 39) 子島 潤, 田中啓治, 高野照夫, 内田拓実, 家所哲夫, 高山守正, 本間 博¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [一般講演] 慢性心不全急性増悪期の液性因子. 第9回心不全研究会, 1993.
- 40) 永井信也¹⁾, 横山広行, 子島 潤, 間宮康貴, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 金子晴生²⁾, 草間芳樹²⁾, 早川弘一²⁾, 妻鳥昌平¹⁾(¹⁾老人科, ²⁾内科第1): [一般講演] 不安定狭心症から薬剤抵抗性冠閉塞を繰り返した若年者急性心筋梗塞の1例. 第416回日本内科学会関東地方会, 1993.
- 41) 田中啓治, 保坂浩希, 杉本忠彦, 高野照夫, 二宮淳一¹⁾(¹⁾胸部外科): [一般講演] 重症心不全に対する経皮的心肺蘇生法(PCPS). 第5回医工学治療研究会, 1993.
- 42) 小野卓哉, 杉本忠彦, 田島秀則, 内田拓実, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 本間 博¹⁾, 斉藤寛和¹⁾, 早川弘一¹⁾, 朽方規喜²⁾, 矢島俊巳²⁾, 田中茂夫²⁾(¹⁾内科第1, ²⁾胸部外科): [一般講演] 経胸壁の超音波断層法にて診断が困難であった巨大左房粘液腫の1例. 第147回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1993.
- 43) Takeda, S., Yamaguchi, M., Inoue, T., Takayama, M., Tanaka, K., Takano, T., and Ogawa, R.: [一般講演] Continuous positive airway pressure decreased plasma endothelin concentration in patients with congestive heart failure. The 7th Congress of the Western Pacific Association of Critical Care Medicine (Hong Kong), 1993.
- 44) 本間 博¹⁾, 酒井俊太¹⁾, 高野仁司¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 内田拓実, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫(¹⁾内科第1): [一般講演] 急性心筋虚血時の左心室拡張機能のモニター: 肺静脈血流速波形の拡張期波最大減速度を用いて. 第4回日本臨床モニター学会, 1993.
- 45) 田中啓治, 高山守正, 高野照夫, 池下正敏¹⁾, 隈崎達夫²⁾, 早川弘一³⁾(¹⁾胸部外科, ²⁾放射線科, ³⁾内科第1): [パネルディスカッション] 急性大動脈解離における内科的降圧療法: 画像診断から画像治療へ(主題: 動脈解離の病態と治療). 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 46) 星野公彦, 清野精彦¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞における血清 troponin-T 遊出動態分析による心筋 Salvage の評価. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 47) 島井新一郎¹⁾, 笹川 新¹⁾, 星野公彦, 子島 潤, 横山広行, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 富田喜文²⁾, 清野精彦²⁾, 宗像一雄²⁾, 早川弘一²⁾(¹⁾福生病院, ²⁾内科第1): [一般講演] ミオシン軽鎖 I (MCL-I) 流出動態からみた血栓溶解療法の効果判定. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 48) 富田喜文¹⁾, 清野精彦¹⁾, 星野公彦¹⁾, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [一般講演] 不安定狭心症における血清 troponin-T 上昇とその病態生理学的意義について. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 49) 森下 真, 高山守正, 永井信也, 横山広行, 佐野純子, 八島正明, 星野公彦, 内田拓実, 竹田晋浩, 杉本忠彦, 高田加寿子, 子島 潤, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [一般講演] 高齢者急性心筋梗塞に対する血栓溶解療法の有効性についての検討. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 50) 中込明裕, 田中啓治, 今泉孝敬, 高山守正, 高野照夫, 安武正弘¹⁾, 富田喜文¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [一般講演] 冠動脈血栓溶解療法(PTCR)の梗塞後狭心症(PIA)発症に及ぼす効果: 非施行群との比較. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 51) 高山守正, 宗像一雄¹⁾, 堀川龍是¹⁾, 富田喜文¹⁾, 横山広行, 星野公彦, 国見聡宏¹⁾, 大國真一¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 高野照夫, 大竹 稔¹⁾, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞回復後の積極的脂質低下療法による冠動脈病変の進展と退縮: Coronary lipid study 中間報告. 第57回日本循環器学会総会, 1993.

- 52) 酒井俊太¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 本間 博¹⁾, 高野仁司¹⁾, 横山広行¹⁾, 内田拓実¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 高山守正, 高野照夫 (¹⁾内科第1): [一般講演] ドブタミン (DOB) 負荷による心筋梗塞領域における ST 上昇と梗塞部壁運動変化との比較. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 53) 落 雅美¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 池下正敏¹⁾, 小坂真一¹⁾, 矢島俊巳¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 高山守正, 高田加寿子, 田中啓治, 高野照夫 (¹⁾胸部外科): [一般講演] PTCA が施行困難とされた重症不安定狭心症 (UA) に対する外科治療の検討. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 54) 横山広行, 星野公彦, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 草間芳樹¹⁾, 本間 博¹⁾, 高野仁司¹⁾, 酒井俊太¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科第1): [展示] Hibernating myocardium に対する冠血行再建の影響; Successful PTCA 前後の標的血管領域壁運動および壁運動予備能の比較. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 55) 横山広行, 星野公彦, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科第1): [展示] PTCA 成功後の運動負荷時 ST 下降の成因; Hibernating myocardium の関与. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 56) 中込明裕, 田中啓治, 高山守正, 高野照夫, 安武正弘¹⁾, 富田喜文¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科第1): [展示] 梗塞後狭心症 (PIA) の病態と治療法の選択について. 第57回日本循環器学会総会, 1993.
- 57) 高山守正, 安武正弘¹⁾, 本間 博¹⁾, 内田拓実, 草間芳樹¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科第1): [展示] 経皮経静脈的僧帽弁交連裂開術 (PTMC) 施行後の僧帽弁逆流の推移; 自然改善例の予測. 第57回日本循環器学会総会, 1993.

[付属病院病理部]

研究概要

兼任者を含んでの病理医二人体制のままで、日常業務として臨床各科から依頼された検体（組織診：11,060検体、細胞診：15,669検体）の診断と教育を、病理学教室の協力を得ながらなんとか遂行してきたが（臨床各科には不満があることを承知しているが）、その日常業務の中から、本年度も幾つかの問題症例を取り上げ、検討して学会発表を行った。残念ながら論文の形迄には至らなかったが、現在各担当者が論文にすべく努力しており、一部のものは現在投稿中である。もう一方の研究は、病理学教室との共同研究による各種疾患の病因についての基礎的研究であり、その幾つかが学会発表された。これも現在論文に纏められつつある。付属病院・病院病理部の性格及び位置付けに若干の問題もあり、十分な研究成果を上げられる体制になかったが、次年度は臨床各科の協力を得て日常業務及び研究に十分な成果が上げられるような体制作りに入る予定である。

研究業績

学会発表

- 1) 塚田克也¹⁾, 田村浩一, 杉崎祐一¹⁾, 鈴木恒道, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理学第1): [一般講演] 混合嚢胞腺腫合併の若年顆粒膜細胞腫の1例. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 2) 森 正陽¹⁾, 田村浩一, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理学第1): [一般講演] ラット肝部分切除後の再生過程における小葉の構造の変化の検討. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 3) 小林 匡¹⁾, 山中宣昭¹⁾, 田村浩一, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾病理学第1, ²⁾外科学第1): [一般講演] ハムスター肺発癌過程および同種継代移植における血型関連物質と細胞増殖との関連性. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 4) 田村浩一, 福田 悠¹⁾, 鈴木恒道, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理学第1): [一般講演] 僧帽弁弁膜の実験的穿孔形成部における組織反応. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 5) 松島 隆¹⁾, 塚田克也¹⁾, 田村浩一, 杉崎祐一¹⁾, 鈴木恒道, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理学第1): [一般講演] 卵巣嚢胞性

疾患の免疫組織染色による診断. 第81回日本病理学会総会, 1992.

- 6) 横沢俊一, 田村浩一, 渡会泰彦, 浅川一枝, 鈴木恒道, 前田昭太郎¹⁾ (1)多摩永山病院病理部): [一般講演] 癌細胞との鑑別が困難な異型細胞が出現した嚔下性肺炎の1例. 第33回日本臨床細胞学会総会, 1992.
- 7) 松原美幸, 田村浩一, 杉崎祐一¹⁾, 釜口晴美, 小西英喜, 前田昭太郎²⁾, 鈴木恒道 (1)病理学第1, 2)多摩永山病院病理部): [一般講演] 子宮体部扁平上皮癌の1例. 第33回日本臨床細胞学会総会, 1992.
- 8) 渡会泰彦, 松原美幸, 浅川一枝, 横沢俊一, 釜口晴美, 永原祥子, 野沢きくえ, 鈴木恒道: [一般講演] 髄液細胞診による脈絡叢乳頭腫の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 9) 松原美幸, 杉崎祐一¹⁾, 鈴木恒道, 渡会泰彦, 釜口晴美, 角田 隆²⁾, 前田昭太郎³⁾ (1)病理学第1, 2)病理学第2, 3)多摩永山病院病理部): [一般講演] 悪性血管周皮腫の穿刺吸引細胞診. 第31回日本臨床細胞学会秋期大会, 1992.
- 10) 渡会泰彦, 浅川一枝, 横沢俊一, 鈴木恒道, 山中宣昭¹⁾, 杉澤 裕²⁾, 前田昭太郎³⁾, 小黑辰雄⁴⁾ (1)病理学第1, 2)泌尿器科, 3)多摩永山病院病理部, 4)中央電子顕微鏡研究施設): [一般講演] 尿細胞診で診断した腎ペリーニ管癌の1例. 第31回日本臨床細胞学会秋期大会, 1992.

[前年度追加分]

論文

- 1) 横山宗伯¹⁾, 鈴木恒道, 五味淵誠²⁾, 前田正太郎³⁾, 山本 鼎⁴⁾, 鈴木仁子⁵⁾, 長沢紘一⁵⁾, 浅野伍朗¹⁾ (1)病理学第2, 2)胸部外科, 3)多摩永山病院病理部, 4)同放射線科, 5)同内科): [報告] 診断に難渋した肺三重癌の3例. 日臨細胞会誌, 30, 1204~1205, 1991.

学会発表

- 1) 横沢俊一, 田村浩一, 渡会泰彦, 浅川一枝, 鈴木恒道, 前田昭太郎¹⁾ (1)多摩永山病院病理部): [一般講演] 癌細胞との鑑別が困難な異型細胞が出現した嚔下性肺炎の1例. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.

[付属病院中央検査部]

研究概要

本年も広範囲にわたり, 多岐における分野での活動が行われた. 各々の分野における活動として, ①血清検査部門では話題のC型肝炎ウイルス(HCV)における分析法や利用効果の解析, ②凝固線溶検査部門では自動化を目的とした血中・尿中FDPの評価, ③緊急検査部門では心疾患に関するCK-MBやミオグロビンの継続課題, 移植に係わるシクロスポリンなどの血中薬物の検索, ④RI内分泌検査部門ではNon RIA法によるシステム化の試みや遊離型CPRの観察, ⑤生化学検査部門では尿中尿素窒素についてアンモニアに係わる解析, γ -GTPアイソザイムの検索, さらに自動化によるCRP, ASO, RF, IgG, IgA, IgMなどの免疫系物質の方法論的検出について, ⑥CCM検査部門では緊急時の血液ガスや各種Monitoringの現状, 気道内よりの細菌検出やMRSAを中心とした検出菌の推移と各抗菌剤の検討など, 各検査分野において積極的に取り組む姿勢により, 臨床検査分野の大幅な改善に地道な努力が続けられ, 着実な成果となりつつある.

研究業績

論文

- 1) 柴田泰史, 上田ひろみ, 本山三生, 山下精彦, 辺見 弘¹⁾, 安田和弘¹⁾, 小関一英¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (1)救急医学): [原著] 当救命救急センターにおける全自動血液ガス電解質測定装置Stat profile 5の検討. 日救急医学会誌, 13, 238~239, 1992.

- 2) 柴田泰史, 上田ひろみ, 紺野明子, 佐藤寛之, 本山三生, 山下精彦, 辺見 弘¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 安田和弘¹⁾, 横田裕行¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救急医学): [原著] 外傷患者における CK アイソザイムの検討. 日外傷研会誌, 16, 211~217, 1992.
- 3) 高木 豊, 山田和彦¹⁾, 田中久美, 佐藤寛之, 本山三生, 山下精彦 (¹⁾泌尿器科): [原著] m-FPIA 法によるシクロスポリン血中濃度測定; 測定過程の注意点と HPLC 法, m-RIA 法との比較. 今日の移植, 15, 499~503, 1992.
- 4) 森本 進, 藤井克彦, 今野圭子, 町田幸雄, 野本剛史, 本山三生: [報告] 尿中尿素窒素測定におけるアンモニア除去法及びアンモニア非測定法の評価. 臨床検査機器・試薬, 15, 287~294, 1992.
- 5) 町田幸雄, 藤井克彦, 森本 進, 野本剛史, 本山三生: [報告] γ -GTP アイソザイムの検討. 医学検査, 141, 880~884, 1992.
- 6) 園部一成, 野本剛史, 山下精彦: [臨床医のために] C型肝炎の診断と治療指標の一助. 日医大誌, 59, 475~478, 1992.

著 書

- 1) 野本剛史, 山下精彦: [分担] C型肝炎ウイルス (HCV) 抗体検出法 (技術講座: 免疫). 検査と技術, 20, P. 790~795, 医学書院, 1992.
- 2) 野本剛史: [編集] 第19回臨床検査技師国家試験対策セミナーテキスト. 東京都臨床衛生検査技師会, 1993.

学会発表

- 1) 野本剛史, 町田幸雄, 森本 進, 本山三生: [展示] Non RIA 法におけるシステム化の試み; 特に腫瘍 marker と甲状腺疾患を主体として. 第41回日本臨床衛生検査学会, 1992.
- 2) 太田 綾, 野本剛史, 本山三生: [展示] 糖尿病患者における疾患別検索例; 特に遊離 CPR 値の評価について. 第41回日本臨床衛生検査学会, 1992.
- 3) 石野三智男, 町田幸雄, 森本 進, 野本剛史, 本山三生: [展示] LPIA-200による CRP, ASO, RF 測定の評価. 第41回日本臨床衛生検査学会, 1992.
- 4) 森本 進, 石野三智男, 町田幸雄, 野本剛史, 本山三生: [展示] LPIA-200による IgG, IgA, IgM 測定の評価. 第41回日本臨床衛生検査学会, 1992.
- 5) 森本 進, 石野三智男, 町田幸雄, 野本剛史, 本山三生: [展示] 日立7150による無機リン酵素法の評価. 第41回日本臨床衛生検査学会, 1992.
- 6) 高木 豊, 佐藤寛之, 本山三生: [展示] IMx を用いた CK-MB の測定について. 第41回日本臨床衛生検査学会, 1992.
- 7) 佐藤寛之, 高木 豊, 上田ひろみ, 紺野明子, 柴田泰史, 本山三生: [展示] 心疾患における血中ミオグロビン測定の有用性について. 第41回日本臨床衛生検査学会, 1992.
- 8) 山田和彦¹⁾, 高木 豊, 飯野靖彦²⁾, 杉澤 裕¹⁾, 天谷健二¹⁾, 松信精一²⁾, 平岡保紀²⁾, 山下精彦, 秋元成太¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科, ²⁾内科第2, ³⁾多摩永山病院泌尿器科): [一般講演] m-FPIA 法によるシクロスポリン血中濃度測定; 測定過程の注意点と HPLC 法, m-RIA 法との比較. 第7回シクロスポリン血中濃度測定研究会, 1992.
- 9) 長谷川栄子, 瀬川純子, 吉住正和, 山本信也, 本山三生, 山下精彦: [展示] LPIA-200を用いた血中 FDP・尿中 FDP の測定. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 10) 瀬川純子, 山下精彦, 皆川 彰¹⁾, 小川博康²⁾, 八木 寛²⁾, 進 純郎³⁾ (¹⁾呼吸器科, ²⁾産婦人科): [展示] 妊娠糖尿病における血中遊離アミノ酸測定の意義についての検討 (第4報) 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 11) 柴田泰史, 上田ひろみ, 本山三生, 山下精彦, 辺見 弘¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 木村昭夫¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救急医学): [展

示)気管内挿管,人工呼吸器使用中の患者における気道内からの細菌検出状況,第60回日本医科大学医学会総会,1992.

- 12) 園部一成,太田 綾,橋本政子,本山三生,山下精彦:〔展示〕HCV 関連抗体測定系別比較検討,第60回日本医科大学医学会総会,1992.
- 13) 高木 豊,山田和彦¹⁾,田中久美,佐藤寛之,本山三生,山下精彦(¹泌尿器科):〔展示〕モノクローナル抗体を用いた FPIA 法による全血中シクロスポリン濃度測定の有用性について,第60回日本医科大学医学会総会,1992.
- 14) 田中久美,高木 豊,佐藤寛之,本山三生,山下精彦:〔展示〕TDxFLxを用いた血中薬物濃度の基礎的検討,第60回日本医科大学医学会総会,1992.
- 15) 木村昭夫¹⁾,五十嵐英夫²⁾,三和敬史³⁾,柴田泰史,大塚敏文¹⁾(¹救急医学,²⁾都立衛生研究所微生物部,³⁾東レ医療システム研究所):〔一般講演〕メチシリン耐性黄色ブドウ球菌分離検出患者における抗 Toxic Shoch Syndrome Toxin1抗体価の検討,第20回日本救急医学会総会,1992.
- 16) 加地正人¹⁾,木村昭夫¹⁾,益子邦洋¹⁾,辺見 弘¹⁾,大塚敏文¹⁾,柴田泰史,西澤健司²⁾(¹救急医学,²⁾薬剤部):〔一般講演〕当科における細菌1年間の MRSA の推移,第5回日本外科感染症研究会,1992.
- 17) 紺野明子,上田ひろみ,本山三生,山下精彦,森山雄吉¹⁾,松田範子¹⁾,金 徳栄¹⁾(¹外科第1):〔一般講演〕高ビリルビン血症における OHP の有用性について,医工学治療研究会第5回学術大会,1993.
- 18) 柴田泰史,上田ひろみ,紺野明子,本間ひろみ,本山三生,山下精彦,辺見 弘¹⁾,横田裕行¹⁾,大塚敏文¹⁾(¹救急医学):〔一般講演〕救急室における緊急検査および Monitoring の現状について,医工学治療研究会第5回学術大会,1993.
- 19) 加地正人¹⁾,辺見 弘¹⁾,益子邦洋¹⁾,二宮宣文¹⁾,木村昭夫¹⁾,大塚敏文¹⁾,柴田泰史(¹救急医学):〔一般講演〕外傷外科における術中自己血輸血(Autotransfusion)の意義,医工学治療研究会第5回学術大会,1993.
- 20) 後藤真弓¹⁾,広田考次郎¹⁾,後藤 徹¹⁾,益子邦洋¹⁾,山本保博¹⁾,辺見 弘¹⁾,大塚敏文¹⁾,柴田泰史,上田ひろみ(¹救急医学):〔一般講演〕動脈内血液ガスモニタリングシステム(PB-3000)の使用経験,医工学治療研究会第5回学術大会,1993.
- 21) 柴田泰史,上田ひろみ,紺野明子,本山三生,山下精彦,辺見 弘¹⁾,益子邦洋¹⁾,木村昭夫¹⁾,加地正人¹⁾,大塚敏文¹⁾(¹救急医学):〔一般講演〕気管内挿管,人工呼吸器使用中の患者における気道内からの検出菌および肺炎症例の検討,第34回日本救急医学会関東地方会,1993.
- 22) 加地正人¹⁾,木村昭夫¹⁾,益子邦洋¹⁾,山本保博¹⁾,辺見 弘¹⁾,大塚敏文¹⁾,柴田泰史,西澤健司²⁾(¹救急医学,²⁾薬剤部):〔一般講演〕当科における細菌の MRSA の推移,第34回日本救急医学会関東地方会,1993.
- 23) 西澤健司¹⁾,平野公晟¹⁾,木村昭夫²⁾,加地正人²⁾,益子邦洋²⁾,山本保博²⁾,辺見 弘²⁾,大塚敏文²⁾,柴田泰史(¹薬剤部,²⁾救急医学):〔一般講演〕緑膿菌に対するアミノ酸配糖体薬を中心とした各種抗菌剤の抗菌力の検討,第34回日本救急医学会関東地方会,1993.

〔付属病院薬剤部〕

研究概要

平成4年6月19日,医療法改正案が参議院本会議にて可決成立し,7月1日に公布された.今回の改正の基本的考え方は「患者の病状に応じた良質な医療を,適切に提供する体制を確保すること」であり,その第一歩として特定機能病院,療養型病床群が設けられた.付属病院は,この特定機能病院に該当する施設で,人員配置基準における薬剤師数は「入院患者÷30」が最低基準とされ,病棟業務の重要性に鑑み,入院患者数に応じた配置基準が設定された.

今年度の我々の研究も,その大部分が薬剤師の病棟業務(特に救命救急センター)に関するものであり,薬剤師の病棟業務の意義が評価できると考えられる.

具体的には、救命救急センター関係では、現在、感染症で問題となっている MRSA、緑膿菌に対する抗生物質の選択と使い方、継続研究テーマである輸液バッグへのインスリンの吸着の問題、薬剤師の医療チームへの参加が入院費、入院期間に及ぼす影響などについてまとめた。その他、A棟8階病棟業務から、点眼剤投与順序、投与間隔に関する問題、注射補給室業務から、アミノ配糖体抗生物質の TDM に関する問題、製剤室業務から、抗悪性腫瘍剤投与時の副作用として問題になっている口内炎に対する臨床効果に関する問題、薬品管理室業務から、継続して調査している付属病院における抗菌剤の使用動向についてまとめた。

付属病院における病棟薬剤師業務は、現在2病棟のみで実施しており、主として薬剤師数の問題からその拡大に苦慮しているが、特定機能病院の薬剤師に求められている病棟業務の充実、研究業績の充実にもつながり、最終的には患者の利益に結びつくことから、積極的に進めて行きたいと考えている。

研究業績

論文

- 1) 中島博子, 片岡博邦¹⁾, 渡辺ひろみ²⁾, 浜田康次³⁾, 宿前貴子³⁾, 村田正弘³⁾(¹⁾第一病院薬剤科, ²⁾第二病院薬剤科, ³⁾多摩永山病院薬剤科): [原著]医薬品情報システムの構築; 多施設使用共通医薬品集の作成, 医薬ジャーナル, 29, 327~332, 1993.
- 2) 平野公晟, 西澤健司: [総説] 救急医療における薬剤師の果たすべき役割. 月刊薬事, 35, 459~464, 1993.
- 3) 中島博子: [論説] 新薬の処方例と服薬指導; 高血圧症. 都薬雑誌, 15, 18~23, 1993.

学会発表

- 1) 西澤健司, 伊藤純子, 平野公晟: [展示] 当院救命救急センターにおける常駐薬剤師業務. 第4回クリニカルファーマシーシンポジウム, 1992.
- 2) 西澤健司, 伊藤純子, 平野公晟: [一般講演] MRSA と薬物血中濃度の問題; アミノグリコシド系抗菌剤を中心に. 第2回日本病院薬学会年会, 1992.
- 3) 片山志郎, 平野公晟: [一般講演] 繁用制酸剤のセバミット R 細粒の徐放性に与える影響. 第2回日本病院薬学会年会, 1992.
- 4) 佐治名保子, 片山志郎, 平野公晟: [一般講演] 散瞳剤を含む複数の点眼剤投与における点眼順序と散瞳効果についての検討. 関東ブロック第22回学術大会, 1992.
- 5) 西澤健司: [シンポジウム] 臨床検査値と救命救急センターにおける薬剤師活動. 第25回日本薬剤師会学術大会, 1992.
- 6) 菅谷量俊, 西澤健司, 清水 哲, 村田和也, 平野公晟: [一般講演] 高カロリー輸液バッグにおけるインスリン吸着抑制の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 7) 村田和也, 菅谷量俊, 石原朋子, 西澤健司, 平野公晟: [展示] 薬剤部における TDM (治療薬物モニタリング) のための情報提供; アミノ配糖体抗生剤について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 8) 伊藤純子, 西澤健司, 原田香里, 平野公晟, 木村昭夫¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救急医学): [展示] 塩酸ベンコマイシン (VCM) の至適投与量の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 9) 中山 健, 平澤初枝, 原田香里, 平野公晟: [展示] 日本医科大学付属病院における抗菌剤の使用動向; 1991年度報告. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 10) 木村昭夫¹⁾, 西澤健司, 青砥泰二²⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救急医学, ²⁾中央検査部): [一般講演] 当院における臨床検体より分離された緑膿菌に対する Arbekacin の抗菌力の検討. 合同学会 (第41回日本感染症学会東日本地方会総会, 第39回日本化学療法学会東日本支部総会), 1992.
- 11) 柴田泰史¹⁾, 上田ひろみ¹⁾, 紺野明子¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦¹⁾, 辺見 弘²⁾, 益子 邦洋²⁾, 木村昭夫²⁾, 加地正人²⁾, 大塚敏文²⁾, 西澤健司(¹⁾中央検査部, ²⁾救急医学): [一般講演] 気管支挿管, 人工呼吸使用中の患者における気

道内からの検出菌および肺炎症例の検討。第34回日本救急医学会関東地方会，1993。

- 12) 加地正人¹⁾，木村昭夫¹⁾，益子邦洋¹⁾，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾，西澤健司，柴田泰史²⁾(¹⁾救急医学，²⁾中央検査部)：〔一般講演〕当科における最近の MRSA の推移。第34回日本救急医学会関東地方会，1993。
- 13) 西澤健司，平野公晟，木村昭夫¹⁾，加地正人¹⁾，益子邦洋¹⁾，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾，柴田泰史²⁾(¹⁾救急医学，²⁾中央検査部)：〔一般講演〕緑膿菌に対するアミノ配糖体薬を中心とした各種抗菌剤の抗菌力の検討。第34回日本救急医学会関東地方会，1993。
- 14) 西澤健司，伊藤純子，平野公晟，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾(¹⁾救急医学)：〔一般講演〕薬剤師の医療チームへの参加が入院費，及び入院期間に及ぼす影響。日本薬学会第113年会，1993。
- 15) 松村郁夫，片山志郎，五味麻子，平野公晟，沖 守¹⁾(¹⁾泌尿器科)：〔一般講演〕口内炎に対するアロプリノール含有5%アルギン酸ナトリウム含嗽液の効果とその臨床的有用性について。日本薬学会第113年会，1993。

〔付属病院生理機能センター〕

研究概要

当センターでは，多剤耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)について前年度に引き続き検討を行った。また，心臓超音波検査のなかで特に経食道心エコー法に注目して積極的に検討を重ねている。

研究業績

学会発表

- 1) 青木 亘，野原秀明，斉藤公一，黒田 肇，川角 浩¹⁾，竹内良夫¹⁾(¹⁾微生物免疫)：〔展示〕本院生理機能センターにおける多剤耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の現状－第2報。第60回日本医科大学医学会総会，1992。
- 2) 本間 博¹⁾，内田拓実¹⁾，塚本 浩¹⁾，馬 煥煥¹⁾，宗像一雄¹⁾，岸田 浩¹⁾，早川弘一¹⁾，渡 淳，松崎つや子，斉藤公一，黒田 肇(¹⁾内科第1，²⁾内科第3)：〔一般講演〕経食道心エコー法による左心室拡張機能の評価。第60回日本医科大学医学会総会，1992。

21. 第一病院付置施設等

〔第一病院東洋医学センター〕

研究業績

論文

- 1) 白石佳正：〔原著〕傷寒論研究の空白．中医臨床，13，328～329，1992.
- 2) 仙頭正四郎：〔報告〕泰伯末老師血液病治驗．中医臨床，13，150～153，1992.
- 3) 仙頭正四郎：〔報告〕李克紹教授を済南に訪ねる；「傷寒論」研究の泰斗．中医臨床，14，10～15，1993.

著書

- 1) 白石佳正：図説 傷寒論．谷口書店，1992.
- 2) 張 瓏英¹⁾，三浦於菟，仙頭正四郎（¹⁾吉祥寺中医クリニック）：〔分担〕漢方研究．方劑解説講座・第Ⅰ集，辛涼解表劑・扶正解表劑．（漢方研究編集部編），P. 35～52，小太郎漢方製薬，1993.

学会発表

- 1) 仙頭正四郎，小高修司¹⁾（¹⁾都立豊島病院）：〔展示〕多発性骨髓腫1例の湯液治療と中医学的病機分析．第43回日本東洋医学会学術総会，1992.
- 2) 小高修司¹⁾，仙頭正四郎，下田哲也¹⁾，浮田恒夫¹⁾，大倉利生¹⁾（¹⁾都立豊島病院）：〔一般講演〕当帰六黄湯の治療経験．第43回日本東洋医学会学術総会，1992.
- 3) 白石佳正：激症頭痛の即効的針刺療法．第10回日本東方医学会，1992.
- 4) 仙頭正四郎，小高修司¹⁾（¹⁾都立豊島病院）：〔一般講演〕升陽益胃湯が奏効した症例にみる気虚頭痛の病機．第10回日本東方医学会，1992.
- 5) 北田志郎¹⁾，下田哲也¹⁾，小高修司¹⁾，仙頭正四郎（¹⁾都立豊島病院）：〔一般講演〕喘息治療における健脾の意義について．第10回日本東方医学会，1992.
- 6) 仙頭正四郎：〔一般講演〕生薬構成から見た方劑効能と「証」について；防風通聖散の座瘡への効果を例に．第49回日本東洋医学会関東甲信越支部会，1992.

〔第一病院血液センター〕

研究概要

本年度は、「産婦人科領域と輸血」をテーマに研究を進めてきたが、特に Rh（D）不適合妊娠の予防と対策に重点をおいた。これらの研究は厚生省の血液事業資料に用いられることとなった。

また、血液型不適合妊娠を引き起こした際の、赤血球抗体種別と IgG サブクラスの重要性についても継続研究しており今後報告していく予定である。

研究業績

学会発表

- 1) 中野一博，内山明美，秋丸琥甫，中井章人¹⁾，新宅孝征²⁾，永積 惇²⁾（¹⁾第一病院産婦人科，²⁾同中央検査室）：〔一般講演〕低力価抗 D 抗体によって引き起こした重症 Rho（D）不適合妊娠の1例．第40回日本輸血学会総会，1992.
- 2) 内山明美，中野一博，家所良夫¹⁾，秋丸琥甫¹⁾，新宅孝征²⁾，永積 惇³⁾（¹⁾外科第2，²⁾第一病院中央検査室，³⁾内

科第2)：〔一般講演〕大量輸血を必要としたA x B型の1例，第60回日本医科大学医学会総会，1992。

3) 福生吉裕¹⁾，駒場祐一¹⁾，赫 彰郎¹⁾，内山明美，中野一博^(¹⁾内科第2)：〔展示〕新たなHLAタイプを示したナルコレプシーの1症例，第60回日本医科大学医学会総会，1992。

4) 渡辺 淳¹⁾，宗像恵美子¹⁾，五十嵐徹¹⁾，植田高弘¹⁾，金子清志¹⁾，福永慶隆¹⁾，山本正生¹⁾，中野一博^(¹⁾第一病院小児科，同血液センター)：〔一般講演〕CyA投与後血小板不応状態が改善し一過性腎機能障害を来した重症型再生不良性貧血の1男児例，第419回日本小児科学会東京都地方会，1992。

〔第一病院病理部〕

研究概要

平成元年病理部が開設され，4年目を迎えた。初年度は，設備の整備，業務の着実な施行とパソコンを導入業務の効率化，データベースの作成を試み，2年度は甲状腺，大腸について腺腫と腺癌の鑑別について研究を開始し，専門医により，皮膚病理，腎病理，神経病理を充実，3年度は，子宮頸部境界病変の診断基準の検討を開始し，細胞診を用いたビタミンA欠乏症早期診断法の確立に取り組んだ。以下，4年度の研究概要を述べる。

- 1) 腎移植病理：馬杉名誉教授の指導により，内科腎臓グループより病理所見を含めて，研究発表が行われた。
- 2) 肝移植病理：スタッフをピッツバーグ大学へ派遣し，肝移植における胆管上皮の病変について実験的研究を行った。
- 3) 神経病理：多数の症例について解剖，CPCにより詳細な検討を行い，千駄木における脳研究部門開設に備えた。
- 4) 甲状腺病理：濾胞性病変について，良悪性の診断基準をまとめ発表した。
- 5) 大腸早期癌の病理：腺腫の悪性化について，良悪性の診断基準をまとめ，新しい大腸生検グループ分類を提案した。
- 6) 子宮頸部境界病変の病理：HPV感染による細胞像と組織像の変化を詳細に観察しdysplasiaの診断基準の再検討を行った。
- 7) PCNAの検討：細胞増殖因子であるPCNAについて，固定液の基礎的検討を行い，良悪性診断への応用を可能とした。
- 8) ビタミンA欠乏症の早期診断：結膜擦印細胞診による調査をタイ国にて実施した。
- 9) 国際医療協力：タイ国における悪性腫瘍の発生と細胞学的診断の現状に関する調査を行い将来の医療協力の可能性を検討した。
- 10) その他：タイ国チェンマイ大学医学部において癌制圧計画に関するシンポジウムを主催した。

研究業績

論文

- 1) 前田昭太郎¹⁾，秋丸琥甫²⁾，有田 淳²⁾，佐藤春明，山田宣孝^(¹⁾多摩永山病院病理部，²⁾外科学第2)：〔原著〕穿刺吸引細胞診で診断した直径0.25cmのTo微小乳癌(非浸潤性乳管癌)の1例(特集：乳腺疾患の細胞診)，病理と臨床，8，908～910，1992。
- 2) 矢野正雄¹⁾，秋丸琥甫¹⁾，庄司 佑¹⁾，中川 仁，山田宣孝^(¹⁾外科学第2)：〔原著〕Schnitzler転移を吸引穿刺細胞診にて診断し得た胃悪性カルチノイド腫瘍(内分泌細胞癌)の1例，日本臨床細胞学会誌，32，95～96，1993。
- 3) 大塚俊司，佐藤春明，村瀬幸宏，仲原昌子，早澤久美，石川喜美男¹⁾，清水一雄²⁾，山田宣孝^(¹⁾聖マリアンナ医科大学病理学教室，²⁾外科学第2)：〔原著〕甲状腺の肉眼像と組織像・細胞像〔I〕正常，パセドウ病，橋本病(特集：目で見るページ)，日本臨床衛生検査技師会誌，11，1992。
- 4) 大塚俊司，佐藤春明，村瀬幸宏，仲原昌子，早澤久美，石川喜美男¹⁾，清水一雄²⁾，山田宣孝^(¹⁾聖マリアンナ医科大学病理学教室，²⁾外科学第2)：〔原著〕甲状腺の肉眼像と組織像・細胞像〔II〕腺腫様甲状腺腫，濾胞腺腫

(特集：目で見るページ). 日本臨床衛生検査技師会誌, 12, 1992.

- 5) 大塚俊司, 佐藤春明, 村瀬幸宏, 仲原昌子, 早澤久美, 石川喜美男¹⁾, 清水一雄²⁾, 山田宣孝 (¹⁾聖マリアンナ医科大学病理学教室, ²⁾外科学第2): [原著] 甲状腺の肉眼像と組織像・細胞像 [III] 甲状腺悪性腫瘍 (特集：目で見るページ). 日本臨床衛生検査技師会誌, 1, 1993.
- 6) 大塚俊司, 佐藤春明, 村瀬幸宏, 仲原昌子, 早澤久美, 石川喜美男¹⁾, 清水一雄²⁾, 山田宣孝 (¹⁾聖マリアンナ医科大学病理学教室, ²⁾外科学第2): [原著] 甲状腺の肉眼像と組織像・細胞像 [IV] 甲状腺悪性腫瘍 (特集：目で見るページ). 日本臨床衛生検査技師会誌, 2, 1993.

〔前年度追加分〕

- 1) 秋丸琥甫¹⁾, 浦田謙二¹⁾, 斎藤 節¹⁾, 清水一雄¹⁾, 山田宣孝, 庄司 佑¹⁾ (¹⁾外科学第2): [報告] Castleman's lymphoma の2例. 日臨外会誌, 52, 908~914, 1991.
- 2) 松島伸治¹⁾, 山本英希¹⁾, 清水一雄¹⁾, 野崎 基¹⁾, 家所良夫¹⁾, 日置正文¹⁾, 山田宣孝, 庄司 佑¹⁾ (¹⁾外科学第2): [報告] 乳癌に縦隔内副甲状腺腫を合併した1手術症例. 臨胸外, 11, 545~549, 1991.
- 3) Yajima, M.¹⁾, Murata, J.¹⁾, Yamada, N., and Asano, G.¹⁾ (¹⁾病理学第2): [原著] Ultrastructural observations of small blood vessels in leprosy patients. 日本らい学会誌, 60, 121~127, 1991.
- 4) 仲原昌子, 山田宣孝, 清水由規¹⁾ (¹⁾眼科学): [報告] 結膜捺印細胞診の臨床的応用; 眼球乾燥症, とくにビタミンA欠乏症について. タイ国医学調査団報告書, 80~83, 1991.
- 5) Yamada, N., Nakahara, M., Shimizu, Y.¹⁾, and Ausayakhun, S.²⁾ (¹⁾Department of Ophthalmology, ²⁾Department of Ophthalmology, Faculty of Medicine, Chiangmai University): [報告] Conjunctival impression cytology (CIC) and vitamin A deficiency. タイ国医学調査団報告書, 97~98, 1991.

学会発表

- 1) Yamada, N.: [シンポジウム] The present situation regarding cytological methods of cancer diagnosis in Japan. 2nd Joint Symposium between Chiangmai University and Nippon Medical School (Chiangmai), 1992.
- 2) Yamada, N., and Ausayakhun, S.¹⁾ (¹⁾Department of Ophthalmology Faculty of Medicine Chiangmai University): [シンポジウム] Introduction of conjunctival impression cytology for early detection of vitamin A deficiency in children. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 3) Yamada, N.: [シンポジウム] Concept of cancer control programs. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 4) Shimizu, H.: [シンポジウム] Trends of mortality rates from main causes of death and from malignant neoplasms in Japan. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 5) Yamada, N.: [シンポジウム] Cancer registration using personal computer assisted data processing of pathological diagnosis. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 6) Satou, H.: [シンポジウム] Present prevalence of malignant neoplasms in Tokyo Metropolitan citizens. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 7) Yamada, N.: [シンポジウム] Approaches to detect cancer; Sotmach cancer. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 8) Satou, H.: [シンポジウム] Approaches to detect cancer; Breast cancer. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.

- 9) Hayasawa, K. : [シンポジウム] Approaches to detect cancer ; Lung cancer. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 10) Hajime, S. : [シンポジウム] Approaches to detect cancer ; Uterine cancer. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 11) Hayasawa, K. : [シンポジウム] Statistics of cytology and histology in the 1st Hospital of Nippon Medical School. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 12) Shimizu, H. : [シンポジウム] History of cancer control programs in Japan. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 13) Shimizu, H. : [シンポジウム] Education and trainig system for cytoscreenes in Japan. Symposium on Cancer Control Programs in Japan and Thailand (Chiangmai), 1992.
- 14) Matsukura, N.¹⁾, Onda, M.¹⁾, Tokunaga, A.¹⁾, Fujita, I.¹⁾, and Yamada, N. (¹⁾外科学第1) : [シンポジウム] Significance of helicobacter pylori in gastroduodenal carcinogenesis ; Special reference to chronic gastritis and intestinal metaplasia. UICC Kyoto International Symposium (Kyoto), 1992.
- 15) 竹田数章, 浅野伍朗¹⁾, 山田宣孝 (¹⁾病理学第2) : [一般講演] 抗 PCNA 抗体による甲状腺濾胞性病変の検討. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 16) 山田宣孝, 大塚俊司, 佐藤春明, 仲原昌子, 早澤久美, 村瀬幸宏 : [一般講演] HPV 感染と子宮頸部境界病変診断 ; とくに誤診例の増加について. 日本医科大学医学会第79回例会, 1993.
- 17) 山本英希, 矢野正雄, 須田浩充, 大塚俊司, 山田宣孝, 角田誠之¹⁾, 伊藤正秀¹⁾, 大島 博¹⁾, 渋谷哲雄²⁾, 庄司 佑²⁾, 加藤秀和³⁾, 浅野伍朗³⁾ (¹⁾第一病院内視鏡科, ²⁾外科学第2, ³⁾病理学第2) : [一般講演] 大腸生検グループ分類診断基準の提唱 ; 核 DNA 量, PCNA, p53 の発現からみて. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 18) 松本光司, 山田宣孝, 馬杉洋三, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2) : [展示] Epithelioid hemangioendothelioma の疑われた乳児肝原発悪性腫瘍の1剖検例. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 19) 仲原昌子, 佐藤春明, 村瀬幸宏, 早澤久美, 大塚俊司, 山田宣孝, 清水 一¹⁾ (¹⁾老人病研究所病理) : [展示] 結膜擦印細胞診による夜盲症 (ビタミン A 欠乏症) の早期発見について. 第31回日本臨床細胞学会総会, 1992.
- 20) 須田浩充, 山本英希, 矢野正雄, 山田宣孝, 岩瀬和泉¹⁾, 秋丸琥甫¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 浅野伍朗²⁾ (¹⁾外科学第2, ²⁾病理学第2) : [展示] 同時性両側乳癌の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 21) 矢野正雄, 山本英希, 須田浩充, 村瀬幸宏, 大塚俊司, 佐藤春明, 仲原昌子, 早澤久美, 山田宣孝, 浅野伍朗¹⁾, 秋丸琥甫²⁾ (¹⁾病理学第2, ²⁾外科学第2) : [展示] 乳癌穿刺細胞診像からみた乳癌組織分類の再検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 22) 佐藤春明, 早澤久美, 仲原昌子, 村瀬幸宏, 大塚俊司, 山田宣孝, 河合尚基¹⁾, 越野立夫¹⁾ (¹⁾第一病院産婦人科) : [展示] 子宮頸部境界病変の細胞学的診断について (第2報) ; 組織診断における HPV 感染と dysplasia の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 23) 大塚俊司, 早澤久美, 仲原昌子, 村瀬幸宏, 佐藤春明, 竹田数章, 山本英希, 今津 修, 山田宣孝 : [展示] 抗 PCNA 抗体による増殖細胞の染色 (第2報) ; 固定液及び有用性について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 24) 早澤久美, 佐藤春明, 村瀬幸宏, 仲原昌子, 大塚俊司, 山田宣孝 : [展示] 病理部門における情報処理について (第5報) ; 細胞診, 組織診データの3年間の集計. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

〔前年度追加分〕

- 1) 長 由貴¹⁾, 須賀 優¹⁾, 於保倫之助¹⁾, 海江田亮¹⁾, 羽田和正¹⁾, 今津 修¹⁾, 氏家 隆¹⁾, 原 一男¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 山田宣孝 (¹⁾内科学第2) : [一般講演] 19年経過した大腿部神経鞘腫を発生母地とした悪性化した悪性神経鞘腫の1例. 第400回日本内科学会関東地方会, 1991.

- 2) 竹内正至¹⁾, 松信精一¹⁾, 大藺英一¹⁾, 河辺満彦¹⁾, 葉山修陽¹⁾, 飯野靖彦¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 山田宣孝, 馬杉洋三
(¹⁾内科学第2): [一般講演] Sulfadiazine silver により惹起されたと思われるネフローゼ症候群の1例, 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991.
- 3) 松信精一¹⁾, 飯野靖彦¹⁾, 北村博司¹⁾, 竹内正至¹⁾, 大藺英一¹⁾, 河辺満彦¹⁾, 葉山修陽¹⁾, 原 一男¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 馬杉洋三, (¹⁾内科学第2): [一般講演] 初発時と再発時に LDLapheresis を試みた難治性ネフローゼ症候群の1例, プラズマフェレーシス治療研究会 (第11回シンポジウム), 1991.

[第一病院薬剤科]

研究概要

近年, 褥瘡や熱傷などの皮膚感染病巣より MRSA が高頻度に分離されており, これら疾患が院内感染源の1つになることが示唆され, 抗生物質や povidone-iodine 製剤による治療がなされているが, その効果は必ずしも満足すべきものでない。また, これらの感染病巣から MRSA を除菌することは治療上の有用性の他に院内感染源を排除するうえでも極めて重要であると考えられる。

当薬剤科は臨床各科, 中央検査室および看護部とともに院内における MRSA 感染症の撲滅を目的として新しい MRSA 感染局所治療剤の探索を目的に研究を進めてきた。色素剤 gentian violet (pyokutanin blue) は MRSA に対して, 低濃度で殺菌効果を示し, 抗菌効果は深達性であり血清蛋白による減弱少なく, その効果が長時間持続すること, 褥瘡ないしは熱傷病巣部における MRSA 感染に対し, 有効であることを認め, 老研・大国教授の御指導下, 日本感染症学会雑誌に原著を発表し, 院内における MRSA 感染症の減少に寄与してきた。

研究業績

論 文

- 1) 佐治 守: [原著] Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus 感染病巣に対する有機色素剤 gentian violet の局所治療剤としての検討, 感染症誌, 66, 914~922, 1992.

学会発表

- 1) 佐治 守, 田口桜子, 向坂元秀¹⁾, 戸早玲子¹⁾, 葉山修陽²⁾, 内山喜一郎³⁾, 星 健二⁴⁾, 大国寿士⁵⁾(¹⁾第一病院中央検査室, ²⁾内科第2, ³⁾外科第2, ⁴⁾皮膚科, ⁵⁾老人病研究所): [一般講演] MRSA 感染病巣に対する有機色素剤 gentian violet (pyokutan in blue) の局所治療剤としての検討, 第66回日本感染症学会総会, 1992.
- 2) 葉山修陽¹⁾, 清水光義¹⁾, 竹内正至¹⁾, 松信精一¹⁾, 原 一男¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 佐治 守, 田口桜子(¹⁾内科第2): [一般講演] MRSA 尿路感染に対する0.1%gentian violet 溶液の膀胱洗浄の効果について, 第22回日本腎臓学会東部部会, 1992.
- 3) 佐治 守, 田口桜子, 堀田孝俊, 内山喜一郎¹⁾, 鈴木章一¹⁾, 今井 茂¹⁾, 井出道也¹⁾, 渋谷哲男¹⁾, 庄司 佑¹⁾(¹⁾外科第2): [一般講演] Gentian violet の MRSA 感染病巣に対する局所治療剤としての有用性の検討, 第34回日本消化器病学会大会, 1992.
- 4) 加藤万知, 田口桜子, 堀田孝俊, 中山 薫, 佐治 守, 吉江郁雄: [一般講演] チーム医療における薬剤師の役割 (腎移植), 第66回東京私立医大病院薬局研究会, 1992.
- 5) 内山喜一郎¹⁾, 鈴木章一¹⁾, 今井 茂¹⁾, 井出道也¹⁾, 渋谷哲男¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 佐治 守, 田口桜子(¹⁾外科第2): [一般講演] MRSA 感染病巣に対するゲンチアナバイオレットの有用性の検討, 第54回日本臨床外科学会総会, 1992.
- 6) 荒木 宏¹⁾, 福生吉裕¹⁾, 小林陽二¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 佐治 守, 田口桜子(¹⁾内科第2): [一般講演] 咽頭 MRSA 保菌者に対する gentian violet の治療効果, 第27回日本成人病学会, 1993.

22. 第二病院付置施設等

〔第二病院消化器病センター〕

研究概要

当科は、平成3年4月第二病院外科教室の医局員が、消化器病センターに所属を移して独立し、消化器疾患の診療、研究、教育を行う診療科である。

- 1) 胆石、胆汁の微量元素分析、とくにタイ人の胆石と本邦との比較検討。
- 2) 肝胆臓疾患の内視鏡的検査、閉塞性横痃（悪性腫瘍）の保存的治療、肝の免疫機能。
 - I) イレウスの病態と治療。
 - II) 大腸癌の臨床病理学的研究および集学的治療。
 - III) 消化管の重複癌。
 - IV) 感染症、とくにMRSA 腸炎。
 - V) 消化器疾患の内視鏡的治療

研究業績

論文

- 1) 平野文也, 坂本俊樹¹⁾, 三樹 勝, 横室公三¹⁾(¹⁾微生物学免疫学): [原著]肝再生におけるマウスリンパ球 subset の変動. 日医大誌, 59, 166~175, 1992.
- 2) 久吉隆郎¹⁾, 村上正洋¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 平田知己¹⁾, 難波 亨¹⁾, 天野純治¹⁾, 赤岩 順(¹⁾第二病院外科): [総説] 最近の重複癌の動向と問題点. 川崎市医師会医学会雑誌, 9 (別冊), 123~128, 1992.
- 3) 馬越正通, 赤岩 順, 原 一郎, 田崎博也, 田崎達也, 山口裕史, 吉田 宏, 平野文也 内藤英二, 荒川 薫, 的場康德: [総説] イレウス (特集: 急性腹症). 外科治療, 67, 45~49, 1992.
- 4) 馬越正通, 赤岩 順, 原 一郎, 田崎博也, 田崎達也, 山口裕史, 吉田 宏, 平野文也 内藤英二, 荒川 薫, 的場康德: [総説] イレウスの処置と手術; イレウス管を進める. 臨床外科, 47, 737~740, 1992.
- 5) Prathnadi, P.¹⁾, Miki, M.²⁾, Suprasert, S.¹⁾, Matubayashi, H.²⁾, Tazaki, T.²⁾, Arakawa, K.²⁾, Matoba, Y.²⁾, Hirata, T.²⁾, Naitoh, E.²⁾, Aoki, R.²⁾, Hirano, S.²⁾, Tanaka, M.²⁾, Matuda, M.³⁾, Sundu, T.¹⁾, Narco, S.¹⁾, and Srisukho, S.¹⁾ (¹⁾Faculty of Medicine, Chiangmai University, Chiangmai, Thailand, ²⁾Second Hospital of Nippon Medical School, ³⁾Shin-Yokohama Hospital): [原著] Incidence of cholelithiasis in the northern part of Thailand. 第25次日本医科大学タイ国医学調査団報告書, 59~68, 1992.
- 6) 的場康德, 三樹 勝¹⁾, Prathnadi, P.²⁾, Srisukho, S.²⁾, Suprasert, S.³⁾ (¹⁾大仁病院, ²⁾Department of Surgery, Faculty of Medicine Chiang Mai University, ³⁾Department of Family Medicine, Faculty of Chiang Mai University): [原著] タイ王国北部地域の胆石保有者の調査. 第25次日本医科大学タイ国医学調査団報告書, 69~72, 1993.
- 7) 内藤英二, 馬越正通, 赤岩 順, 原 一郎, 山口裕史, 田崎達也, 大久保哲行, 的場康德: [原著] 術後重篤に陥ったMRSA 腸炎の検討. 川崎市医師会医学会誌, 9, 168~173, 1992.

学会発表

- 1) 的場康德, 原 一郎, 平井真実, 平田知己, 馬越正通: [一般講演] 穿孔性十二指腸潰瘍に対する大網移植術の内視鏡的検討. 第43回日本消化器内視鏡学会総会, 1992.
- 2) 山口裕史, 原 一郎, 赤岩 順, 馬越正通: [一般講演] 腹部外傷を契機として発見された小児成人型肝癌の1

症例. 第21回神奈川消化器外科研究会, 1992.

- 3) 平野滋之¹⁾, 天野純治¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知己¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 平野文也, 内藤英二(¹第二病院外科): [一般講演] イレウス症状を反覆し診断困難であった回腸塊形成の1例. 第745回外科集談会, 1992.
- 4) 赤岩 順, 馬越正通, 吉田 宏, 内藤英二, 大久保哲行: [一般講演] 若年者および高齢者の大腸癌について. 第40回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 5) 原 一郎, 的場康德, 馬越正通: [一般講演] 腹部悪性リンパ腫の1例. 日本超音波医学会第2回関東甲信越地方会, 1992.
- 6) Miki, M., Matoba, Y., Tasaki, T., and Naitoh, E.: [シンポジウム] Gastrointestinal disease center of 2nd Hospital of Nippon Medical School (1)Non-cholesterol sterol in gallstone. 2nd Joint Symposium between CMUand NMS (Chiang Mai, Thailand), 1992.
- 7) 赤岩 順, 馬越正通, 吉田 宏, 大久保哲行, 内藤英二, 平田知己, 平野滋之: [一般講演] 当科における高齢者腹部緊急手術例の検討. 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 8) 天野純治¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知己¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 平野滋之¹⁾, 平野文也(¹第二病院外科): [一般講演] 高齢者イレウス手術後の小腸吻合部脱落による汎発性腹膜炎, 腹壁開に対する救命救急処置としての一時的な小腸瘻と一期的閉腹の経験. 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 9) 久吉隆郎¹⁾, 天野純治¹⁾, 難波 亨¹⁾, 的場康德, 平田知己¹⁾, 渡辺昌則, 馬越正通, 赤岩 順(¹第二病院外科): [一般講演] 胃軸捻転症を合併した外傷性横隔膜ヘルニアの1例. 第19回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 10) 赤岩 順, 馬越正通, 平田知己, 吉田 宏, 荒川 薫: [一般講演] 下行結腸粘液癌・回腸早期癌, 同時性重複の1例. 第47回日本大腸肛門病学会総会, 1992.
- 11) 久吉隆郎¹⁾, 天野純治¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知己¹⁾, 平野滋之¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 赤岩 順, 山口裕史(¹第二病院外科): [一般講演] 横行結腸憩室穿孔の1例. 第47回日本大腸肛門病学会総会, 1992.
- 12) 原 一郎, 的場康德, 馬越正通, 難波 亨¹⁾, 久吉隆郎¹⁾(¹第二病院外科): [一般講演] 成人の後腹膜横紋筋肉腫の1例. 第61回日本超音波医学会, 1992.
- 13) 赤岩 順, 馬越正通, 大久保哲行, 荒川 薫, 吉田 宏, 内藤英二: [一般講演] 大腸低分化型癌, 当科経験例について. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.
- 14) Akaiwa, J., and Okubo, T.: [一般講演] Clinical report of colorectal non-hodgkin lymphoma in Japan. Collegium Internationale Chirurgiae Digestivae 13th World Congress (Athens), 1992.
- 15) 平野滋之¹⁾, 馬越正通, 赤岩 順, 的場康德, 吉田 宏, 川並汪一²⁾, 太田吉男²⁾, 斎藤良明²⁾(¹第二病院外科, ²同病理部): [一般講演] 輸血後, 風疹感染を伴った全身紅皮症の1例. 第747回外科集談会, 1992.
- 16) 平田知己¹⁾, 天野純治¹⁾, 難波 亨¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 吉田 宏, 佐藤雅史²⁾, 川並汪一³⁾(¹第二病院外科, ²同放射線科, ³同病理部): [一般講演] Marfan 症候群にみられた縦隔腫瘍の1例. 第747回外科集談会, 1992.
- 17) 的場康德, 原 一郎, 平田知己¹⁾, 馬越正通, 田崎達也, 田崎博也, 久吉隆郎¹⁾(¹第二病院外科): [一般講演] 慢性骨髄性白血病治療中に合併した十二指腸潰瘍穿孔の1例. 第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.
- 18) 馬越正通, 赤岩 順, 原 一郎, 吉田 宏, 内藤英二, 荒川 薫, 的場康德, 平野文也, 平田知己, 平野滋之: [パネルディスカッション] 特殊なイレウス. 第20回日本腹部救急医学会総会, 1993.
- 19) 吉田 宏, 馬越正通, 赤岩 順, 田崎博也, 田崎達也, 的場康德, 大久保哲行, 平野滋之, 久吉隆郎¹⁾, 松尾健志²⁾, 菊池三郎²⁾, 山本博人³⁾, 渡部英之³⁾(¹第二病院外科, ²同産婦人科, ³同放射線科): [一般講演] 腸管子宮内膜症に併存した, S字状結腸・子宮重複早期癌の1例. 第10回川崎市医師会医学会, 1993.
- 20) 的場康德, 原 一郎, 渡辺昌則, 平野文也, 平田知己, 馬越正通, 田崎達也, 吉田 宏: [一般講演] 十二指腸潰瘍穿孔に対する大網移植術の検討. 第10回川崎市医師会医学会, 1993.
- 21) 久吉隆郎¹⁾, 天野純治¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知己¹⁾, 赤岩 順, 大久保哲行, 吉田 宏, 佐藤雅史²⁾, 渡部英之²⁾

- (¹)第二病院外科, ²)同放射線科): [一般講演] 高齢者肺癌手術症例の検討. 第10回川崎市医師会医学会, 1993.
- 22) 鈴木和徳¹⁾ (¹)松島病院大腸肛門病センター): [一般講演] 直腸肛門指診, 直腸鏡の実際. 第11回神奈川大腸疾患研究会, 1992.
- 23) 鈴木和徳¹⁾, 松島 誠¹⁾, 田中良明¹⁾, 長谷川信吾²⁾ (¹)松島病院大腸肛門病センター, ²)横浜市立大学第二外科): [一般講演] 直腸脱の経肛門手術症例の検討. 第54回日本臨床外科医学会総会, 1992.

[第二病院リハビリテーションセンター]

研究概要

当科における研究業績はリハビリテーション医療が包括する幅広い内容を反映して下記の如く極めて多項目に渡っている. すなわち, biomachanics や運動時のリスク管理など医学的な側面から運動学, 義肢装具, 言語, 認知機能, 日常生活動作 (ADL) などの障害と治療のアプローチ, さらに家屋評価や障害者心理, 福祉制度, 地域医療行政など医療の枠を越える学際的な研究も行われている. これはリハビリテーション医療が包括的・全人的医療を理念としていることの一つの現れであるといえる. 現在はそれぞれの分野の専門家が専門領域での研究活動を行っていることが多いが部門間での共同研究も増えつつある.

研究業績

論文

- 1) 竹内孝仁: [原著] 地域リハビリテーションと特別養護老人ホーム (特集: 地域リハビリテーションの新たな展開). 総合リハ, 20, 307~310, 1992.
- 2) 竹内孝仁: [原著] チーム医療の実際: リハビリテーション医の立場~(生活の場を通じて作られる「地域共同体」という, もう一つのチーム医療の実現を). クリニシャン, 39, 24~28, 1992.
- 3) 飯盛仁志, 竹内孝仁, 田島圭輔, 安岡利一, 古野 薫, 余宮きのみ, 吉野慎一¹⁾ (¹)リウマチ科): [短報] 歩行解析による人工膝関節置換術における膝関節動的機能の検討. リハ医学, 29, 581~584, 1992.
- 4) 竹内孝仁: [原著] 地域リハビリテーションを考える: 地域リハの理念・実践方策と在宅ケア. 医療92', 8, 64~68, 1992.
- 5) 竹内孝仁, 木村義徳: [原著] 歩行訓練: 外出訓練 (特集: 知っておきたいリハビリテーション・テクニック). 総合リハ, 20, 825~828, 1992.
- 6) 宗近真理子, 菊池和美, 木村義徳, 竹内孝仁: [原著] 病棟内における「している ADL」の評価と訓練 (特集: 脳卒中の作業療法を問う). OT ジャーナル, 26, 959~962, 1992.
- 7) 竹内孝仁: [原著] 訪問リハビリテーションの現状と問題点 (特集: 脳卒中リハビリテーション医療の現状と問題点). 総合リハ, 20, 1235~1239, 1992.
- 8) 飯盛仁志, 竹内孝仁, 田島圭輔, 安岡利一, 古野 薫, 小関 務 (RPT): [症例報告] 肺癌末期において悪性脊椎腫瘍による脊髄損傷を合併した患者に対するリハビリテーション. 総合リハ, 21, 217~220, 1993.

著書

- 1) 竹内孝仁, 川村次郎¹⁾ (¹)大阪労災病院リハビリテーション診療科): [編集] 義肢装具学. 医学書院, 1992.

学会発表

- 1) 竹内孝仁: [シンポジウム] 老人保健法による機能訓練事業から地域リハへ: 地域リハの概念とその実践方策を. 第29回日本リハビリテーション医学会学術集会, 1992.
- 2) 飯盛仁志, 竹内孝仁, 田島圭輔, 安岡利一, 古野 薫, 余宮きのみ: [一般講演] 関節角度知覚検査の深部知覚

検査スクリーニングとしての臨床的意義について。第29回日本リハビリテーション医学会学術集会, 1992.

- 3) 田島圭輔, 竹内孝仁, 飯盛仁志, 安岡利一, 古野 薫, 余宮きのみ: [一般講演] 脳卒中入院患者の活動量について。第29回日本リハビリテーション医学会学術集会, 1992.
- 4) 安岡利一, 竹内孝仁, 飯盛仁志, 田島圭輔, 古野 薫, 余宮きのみ: [一般講演] 脳卒中片麻痺患者の下肢(膝)の深部感覚障害と重心動揺。第29回日本リハビリテーション医学会学術集会, 1992.
- 5) 小原真知子: [一般講演] 危機介入ソーシャルワークの展開; 障害児を抱えた母親へのアプローチ。関東スーパーヴィジョン研究会, 1992.
- 6) 宗近眞理子, 菊池和美, 木村義徳, 竹内孝仁: [一般講演] 「Home-re/Evaluation」の試み。第26回日本作業療法士学会, 1992.
- 7) 宗近眞理子, 菊池和美, 竹内孝仁: [一般講演] 排泄動作と OT 訓練・経過について。第26回日本作業療法士学会, 1992.
- 8) 宗近眞理子, 新貝尚子, 木村義徳, 竹内孝仁: [一般講演] 視覚認知障害を呈し, 作業療法上回復が得られなかった症例に関する神経心理学的症状。第16回日本神経心理学会, 1992.
- 9) 金子真人¹⁾, 新貝尚子, 前川真紀²⁾, 種村 純³⁾, 鹿島晴雄⁴⁾(¹⁾都立松沢病院, ²⁾横浜総合病院, ³⁾伊豆荏山温泉病院, ⁴⁾慶応大学): [一般講演] 混合型失語例の複数モダリティ呈示による音韻処理過程の促進。第16回日本神経心理学会, 1992.
- 10) 飯盛仁志, 竹内孝仁, 安岡利一, 古野 薫: [一般講演] 肺癌末期において悪性脊椎腫瘍による脊髄損傷を合併した患者に対するリハビリテーション。第69回関東地方リハビリテーション医学懇話会, 1992.
- 11) 安岡利一, 古野 薫, 竹内孝仁, 飯盛仁志, 田島圭輔, 穂山尚子, 荒木 勇, 来栖宏二: [一般講演] 脳梗塞を生じた高安病患者の1例; 運動, 動作時高血圧とリハビリテーション。第70回関東地方リハビリテーション医学懇話会, 1992.
- 12) 飯盛仁志: [一般講演] 当科における開設後1年の活動状況。第31回神奈川県リハビリテーション研究会, 1992.
- 13) 菊池和美, 榎本雪絵, 宗近眞理子, 木村義徳, 小原真知子, 横葉ヒトミ, 相馬由貴子, 竹内孝仁: [一般講演] 試験外泊を反復する事で在宅復帰が可能となった重症脳卒中の1例。神奈川県リハビリテーション研究会, 1992.
- 14) 田島圭輔, 竹内孝仁, 飯盛仁志, 安岡利一, 来栖宏二, 荒木 勇, 穂山尚子: [一般講演] クモ膜下出血後の意識障害に対し漢方治療とリハビリテーション治療を併用して奏功した1例。神奈川県ツムラ漢方症例報告会, 1992.
- 15) 小原真知子: [一般講演] 重度障害児の退院援助のあり方(在宅介護者を支える地域ネットワークの方法を探る)。関東スーパーヴィジョン研究会, 1992.
- 16) 新貝尚子, 金子真人¹⁾, 前川真紀²⁾, 種村 純³⁾, 竹内孝仁(¹⁾都立松沢病院, ²⁾横浜総合病院, ³⁾伊豆荏山温泉病院): [一般講演] 表記形態の違いによるひらがな音読の検討。第16回日本失語症学会, 1992.
- 17) 種村 純¹⁾, 新貝尚子, 長谷川恒雄¹⁾(¹⁾伊豆荏山温泉病院): [一般講演] 単語の了解過程。第16回失語症学会, 1992.
- 18) 前川真紀¹⁾, 矢野秀典¹⁾, 新貝尚子, 金子真人²⁾, 種村 純³⁾, 吉水信裕¹⁾(¹⁾横浜総合病院, ²⁾都立松沢病院, ³⁾伊豆荏山温泉病院): [一般講演] 新造語ジャーゴンの改善・非改善例の比較。第16回失語症学会, 1992.
- 19) 栃本しのぶ¹⁾, 種村 純¹⁾, 新貝尚子, 長谷川恒雄¹⁾(¹⁾伊豆荏山温泉病院): [一般講演] 再認法を用いた視覚的記憶力検査と失語症の関連。第16回失語症学会, 1992.
- 20) 安岡利一, 竹内孝仁, 飯盛仁志, 田島圭輔, 穂山尚子, 荒木 勇, 来栖宏二: [一般講演] 心血管系の重篤な合併症を伴った前脊髄動脈症候群の1例。第71回関東地方リハビリテーション医学懇話会, 1992.
- 21) 穂山尚子, 木村義徳, 宗近眞理子, 安岡利一, 田島圭輔, 来栖宏二, 荒木 勇, 竹内孝仁: 機能回復不良で急性期の CARE 不十分であったためリハビリテーションに難渋したギランバレー症候群の1症例。神奈川県リハビリテーション研究会, 1992.

- 22) 新貝尚子, 種村 純¹⁾, 金子真人²⁾, 前川真紀³⁾ (¹⁾伊豆荳山温泉病院, ²⁾都立松沢病院, ³⁾横浜総合病院): [一般講演]読み書きにおいて漢字に障害の強い失語症例の下位類型とその症状形成過程. 第2回言語障害臨床学術研究会, 1993.
- 23) 前川真紀¹⁾, 種村 純²⁾, 金子真人³⁾, 新貝尚子 (¹⁾横浜総合病院, ²⁾伊豆荳山温泉病院, ³⁾都立松沢病院): [一般講演]新造語ジャーゴンの改善・非改善例の比較. 第2回言語障害臨床学術研究会, 1993.
- 24) 来栖宏二, 竹内孝仁, 田島圭輔, 安岡利一, 穂山尚子, 荒木 勇: [一般講演]高齢者の廃用症候群に関する研究 (第1報): 日常活動量と呼吸循環機能との関係. 第72回関東地方リハビリテーション医学懇話会, 1992.

〔第二病院病理部〕

研究概要

気管支肺胞洗浄法 (BAL) は, 主として千駄木と第二病院の内科放射線患者にたいして行われてきており, それらの標本は, 千駄木病理部と, 第二病院病理部にて処理され, 当科にて全て分析している. これまでに総計370例を超えた. そこで松田 (院生), 佐藤 (放射線科) と共同でこれまでの成果をまとめた. その結果は日本胸部疾患学会誌, 日本医大誌に掲載された. この方法は単なる TBLB (経気道の肺生検) で得られる情報をはるかに凌ぎ, 診断学上極めて重要であることを明らかにした.

今後も呼吸器診断学の日常検査として用いられ続けるものと思われる. 千駄木病理部並びに関係検査室技師の方々, 諸先生方に感謝したい.

従来よりのマスト細胞の形態学的分析を甲状腺などで続行中である. また当病理部では, 遺伝子診断学へも手をのばしてみた. 当初の試みとして HPV を取り上げたが, 今後他の感染症の分析にも関わるつもりである.

さらに, 実験間質性肺炎像の分析に関し, 特に血管系の構築に関して興味ある新知見が理解されつつある. 肺の気管支動脈系と, 肺動脈系の役割分担については, これまでにほとんど理解されておらずこの面での解析は魅力的である.

研究業績

論文

- 1) 松田 潔¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 川並汪一 (¹⁾救急医学教室, ²⁾第二病院放射線科): [原著]間質性肺疾患における BAL と TBLB の診断学的評価. 日医大雑, 59, 155~165, 1992.
- 2) 松田 潔¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 川並汪一 (¹⁾救急医学教室, ²⁾第二病院放射線科): [原著]気管支肺胞洗浄によるびまん性肺疾患における気道系と肺胞系炎症の分析とその意義. 日胸疾患会誌, 30, 827~834, 1992.
- 3) 川並汪一, 尾見徳弥: [原著]マスト細胞の局在性とその意義 (特集: マスト細胞に関するトピックス). 臨免疫, 24, 666~675, 1992.
- 4) Kawanami, O.: [原著]Granuloma and capillaries in rat lung after silica. 韓国産業医学, 31 (別冊), 51~52, 1992.

学会発表

- 1) 川並汪一, 米山浩英, 尾見徳弥, 新井 悟, 持丸 博: [一般講演]ヒトおよびラットの肺線維症における毛細血管内皮細胞の形態転換. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 2) 細根 勝, 尾見徳弥, 赤須東樹, 川並汪一¹⁾, 小山美弥²⁾, 大綱 弘²⁾, 野村信夫, 石崎良太郎³⁾, 浅野伍朗⁴⁾, 山中宣昭⁴⁾ (¹⁾第二病院病理部, ²⁾老人病研究所病理部門, ³⁾老人病研究所分子生物部門, ⁴⁾病理学教室): [一般講演]皮膚と境界領域における HPV 感染. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 3) 小山美弥¹⁾, 細根 勝, 赤須東樹, 尾見徳弥, 川並汪一, 野村信夫¹⁾, 石崎良太郎¹⁾, 清水 一¹⁾, 枝川聖子¹⁾, 横

- 田 隆, 片山博徳¹⁾, 大網 弘¹⁾ (¹⁾老人病研究所): [一般講演] PCR によるパピローマウィルスの検出. 第82回日本病理学会総会, 1992.
- 4) 久吉隆郎, 天野純治¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知巳¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 平野義文¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 原 文男³⁾, 川並汪一 (¹⁾第二病院外科, ²⁾同放射線科, ³⁾同内科): [一般講演] 縦隔腫瘍の外科的治療例の検討. 第62回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 5) 小俣 香¹⁾, 佐藤雅史¹⁾, 渡部英之¹⁾, 山岸嘉彦¹⁾, 久吉隆郎²⁾, 難波 亨²⁾, 原 文男³⁾, 原田雄一³⁾, 川並汪一, 細根 勝 (¹⁾第二病院放射線科, ²⁾同外科, ³⁾同内科): [一般講演] von Reckinghausen 氏病に合併した中縦隔悪性神経鞘腫の1例. 第62回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 6) 持丸 博, 川並汪一, 米山浩英, 新井 悟, 尾見徳弥: [一般講演] 実験的珪肺症における肺血管内皮細胞の免疫病理. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 7) 小西公麿¹⁾, 川並汪一, 菊池三郎¹⁾, 名加富紫生²⁾ (¹⁾第二病院産婦人科, ²⁾日本臓器製薬生物活性科学研究所生化学): [一般講演] 子宮内膜, 筋膜におけるヒスタミンとマスト細胞. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 8) 新井 悟, 細根 勝, 川並汪一, 尾見徳弥, 野村信夫¹⁾, 中田朋子¹⁾, 久吉隆郎²⁾, 難波 亨²⁾ (¹⁾老人病研究所分子生物部門, ²⁾第二病院外科): [一般講演] 子宮頸部と気道における HPV 感染の免疫病理. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 9) 野呂瀬嘉彦¹⁾, 高橋秀実¹⁾, 横室公三¹⁾, 市川安昭²⁾, 山下和雄²⁾, 川並汪一 (¹⁾微生物免疫, ²⁾解剖第1): [一般講演] ノードマウスに移植した BALB 3T3細胞とマスト細胞. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 10) 赤須東樹, 川並汪一, 尾見徳弥, 清水一雄¹⁾ (¹⁾第一病院外科): [一般講演] 甲状腺疾患におけるマスト細胞の形態的特徴. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 11) 尾見徳弥, 川並汪一, 大網 弘¹⁾, 中田朋子²⁾, 野村信夫²⁾, 松田 潔³⁾, 邊見 弘³⁾, 本田光芳⁴⁾ (¹⁾老人病研究所病理部門, ²⁾同分子生物部門, ³⁾付属病院救命救急センター, ⁴⁾同皮膚科): [一般講演] 熱傷後の皮膚移植における表皮の再生と免疫担当細胞. 第42回日本アレルギー学会総会, 1992.
- 12) 持丸 博, 高橋卓夫, 川並汪一¹⁾, 佐藤雅史¹⁾, 工藤翔二, 仁井谷久暢²⁾ (¹⁾第二病院放射線科, ²⁾内科第4): [一般講演] 夏型過敏性肺臓炎とその診断法について. 日本医科大学医学会第78回例会, 1992.
- 13) 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平野滋之¹⁾, 天野純治¹⁾, 佐藤雅史²⁾ (¹⁾第二病院外科, ²⁾同放射線科): [一般講演] 肺 plasma cell granuloma の1例. 第105回日本肺癌学会関東部会, 1992.
- 14) 川並汪一: [シンポジウム] 気道と皮膚の類似性について. 第5回気道病態シンポジウム, 1993.
- 15) 柏木俊治¹⁾, 渡辺 誠¹⁾, 横内正道¹⁾, 高山裕史¹⁾, 小川ひろみ¹⁾, 吉原 潔¹⁾, 小池竜哉¹⁾, 林 英俊¹⁾, 上坂真司¹⁾, 渋谷正人¹⁾, 内山真紀¹⁾, 平沼尚和¹⁾, 川並汪一 (¹⁾第二病院整形外科): [一般講演] 肩胛部に発生したいわゆる Lennert lymphoma を疑う1例. 神奈川整形災害外科医会, 1993.

[第二病院中央検査室]

研究概要

当検査室における主な研究目的は、臨床検査学の発展に伴う各種検査の精度管理、検査方法および迅速性について、日常、臨床との関連と意義を考察し、日々の検査をみつめ検査の質の向上と確立に主眼をおいている。

研究業績

論文

- 1) 池野廣幸, 菅原 通, 野本恵子, 原 文男, 大川共一¹⁾, 花井 均²⁾ (¹⁾第二病院院長, ²⁾日研生物医学研究所): [報告] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考案(第1報); 試作品について. 日本手術部医学会誌, 14, 84~86, 1993.

- 2) 大川共一¹⁾, 池野廣幸, 菅原 通 (¹⁾第二病院院長): [総説] 消毒剤; 手術野消毒 (特集: 滅菌・消毒). *Infection Control*, 2, 34~37, 1993.
- 3) 池野廣幸, 菅原 通: [報告] ID テスト・HN-20ラピッド「ニッスイ」による *Haemophilus* および *Neisseria* の同定. *メディアサークル*, 38, 15~19, 1993.

学会発表

- 1) 隠岐和美, 井上雅則, 野本恵子, 田村朋美, 池野廣幸, 原 文男: [一般講演] 免疫凝集測定装置 PAMIA-10 による血清 CA19-9 測定専用試薬の基礎的および臨床的検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 2) 小伊藤保雄, 福田節子, 中島由美子, 津金香代子, 坂倉剛志, 池野廣幸, 原 文男: [展示] PEROX サイトグラムにおける異常パターンと血小板凝集像との関連性. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 3) 重川明子, 菊地英子, 寺尾幸重, 池野廣幸, 原 文男: [展示] ランブル鞭毛虫検査法の評価. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 4) 鈴木憲康, 畑 哲, 小伊藤保雄, 鈴木久美, 池野廣幸, 原 文男: [展示] 全自動 EIA 分析器 “QUARTUS” の有用性 についての検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 5) 中島由美子, 井上雅則, 池野廣幸, 原 文男: [展示] 自己免疫性溶血性貧血の症例についての考察. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 6) 鈴木憲康, 畑 哲, 小伊藤保雄, 鈴木久美, 池野廣幸, 原 文男: [展示] 乳頭分泌液中癌胎児性抗原 (CEA) 測定試薬 “マンモテック” の有用性. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 7) 玉手ひさ子, 井梅和美, 山賀節子, 荒井誠一, 池野廣幸, 原 文男: [展示] 外来ドック受診者における呼吸機能についての検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 8) 池野廣幸, 菅原 通, 野本恵子, 本間登志江, 吉田美和, 原 文男: [展示] 数値分類によるグラム陰性菌の同定に関する信頼性と有用性の検討. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 9) 菅原 通, 池野廣幸, 野本恵子, 原 文男: [展示] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考察機能と応用について. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 10) 池野廣幸, 菅原 通, 野本恵子, 原 文男, 大川共一¹⁾, 花井 均²⁾ (¹⁾第二病院院長, ²⁾日研生物医学研究所): [一般講演] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考案 (第1報); 試作品について. 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 11) 菅原 通, 池野廣幸, 野本恵子, 原 文男, 大川共一¹⁾, 花井 均²⁾ (¹⁾第二病院院長, ²⁾日研生物医学研究所): [一般演題] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の考案 (第2報); 付着菌の検討. 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 12) 池野廣幸, 菅原 通, 原 文男, 大川共一¹⁾, 花井 均²⁾ (¹⁾第二病院院長, ²⁾日研生物医学研究所): [一般講演] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の検討 (第3報); 試作品における環境付着菌の検査. 第8回日本環境感染学会総会, 1993.
- 13) 菅原 通, 池野廣幸, 原 文男, 大川共一¹⁾, 馬越正通²⁾, 天野純治³⁾ (¹⁾第二病院院長, ²⁾同消化器センター, ³⁾同外科): [一般講演] 環境調査のための簡易細菌検出用フィルム培地の評価 (第4報); 手術野における消毒効果の評価. 第8回日本環境感染学会総会, 1993.
- 14) 吉田美和, 菅原 通, 池野廣幸, 原 文男: [一般講演] 最近3年間における臨床材料から検出した *N. gonorrhoeae* について. 日本医科大学医学会第79回例会, 1993.

[第二病院薬剤科]

研究概要

ここ数年、薬剤科（師）内の技術的および情報活用的な研究形態から、より臨床に密着したテーマが多くなっている。この傾向は益々強くあらわれ、本来の薬剤師職能を十分に発揮すべく薬物療法を通して臨床に挑戦している。要するに、negative から positive への変換である。

患者への良質な医療提供を目的として日々研鑽し、臨床薬学実践に即した能力を身につけ、医療チーム一員として信頼と実績を得るべく臨床各科とさらなる共同研究を重ね、実践の場へ応用し医療に貢献していきたい。

研究業績

学会発表

- 1) 菊池有道：〔シンポジウム〕院内感染防止への取り組み，神奈川県病院薬剤師会ミニシンポジウム，1992.
- 2) 小坂好男：〔一般講演〕ジギタリス製剤の急進飽和における TDM，薬物治療モニタリング研究会，1992.
- 3) 古宮理絵，小坂好男，佐藤陽一，島田慰彦，菊池有道：〔一般講演〕他剤併用時における once daily drug の服薬状況，日本病院薬剤師会関東ブロック第22回学術大会，1992.

23. 多摩永山病院付置施設等

[多摩永山病院病理部]

研究概要

病理部に隣接して研究室（組織培養，生化学）が設立され，免疫組織化学，電子顕微鏡部門も充実してきた。また，臨床および病理学教室から大学院生が病理部に配属され，さらに臨床医の病理部での研究も行われるようになり，多摩永山病院病理部も益々活気に溢れ，日常業務とともに研究部門も充実してきた。病理部の現在の主な研究テーマは以下のとおりである。

- 1) Primitive neuroectodermal tumor (PNET) と Ewing 肉腫との関連および予後因子
- 2) 悪性線維性組織球腫 (MFH) の組織発生および予後因子
- 3) 骨肉腫およびその類縁疾患における骨芽細胞・類骨とオステオカルチン，コラーゲン typ IV との関連
- 4) 骨・軟部腫瘍診断に対する最終診断法としての穿刺吸引細胞診の確立
- 5) 乳癌におけるホルモン・レセプターと組織型・細胞形態（細胞質内小腺腔など）との関連性および予後因子
- 6) 子宮頸部腺癌（前癌病変を含む）の組織発生；特に Human Papilloma Virus との関連
- 7) 子宮頸部腺扁平上皮癌の組織発生；特に CAM5.2, AE1, AE2, AE3 などによる免疫組織化学的検索
- 8) 細胞診による，子宮頸部微小浸潤癌 (Stage Ia) の浸潤程度 [Stage IaA, IaB (永山分類)] の判定基準確立
- 9) 鼻腔・副鼻腔扁平上皮癌（前癌病変を含む）の組織発生；特に Human Papilloma Virus との関連

研究業績

論文

- 1) 北川泰之¹⁾，前田昭太郎¹⁾，今泉孝敬¹⁾，稲福睦美¹⁾，小口直彦²⁾，浅野伍朗²⁾ (¹⁾多摩永山病院内科，²⁾病理学第2)：〔報告〕5重複癌の1剖検例。癌の臨床，38，825～832，1992。
- 2) 前田昭太郎¹⁾，秋丸琥珀¹⁾，有田 淳¹⁾，佐藤春明¹⁾，山田宣孝¹⁾ (¹⁾第一病院病理部)：〔報告〕穿刺吸引細胞診で診断した直径0.25cmのT₀微小乳癌（非浸潤性乳管癌）の1例。病理と臨床，10，908～910，1992。
- 3) 川上康彦¹⁾，橋本 清¹⁾，丸山和男¹⁾，土屋正己¹⁾，飛田正俊¹⁾，岡部俊成¹⁾，向後俊昭¹⁾，田中洋介²⁾，吉岡正智²⁾，飯田英次³⁾，前田昭太郎 (¹⁾多摩永山病院小児科，²⁾同外科，³⁾同放射線科)：〔報告〕大量出血によるショック症状を呈し，注腸造影により診断し得た Meckel 憩室の1乳児例。小児科臨床，45，53～57，1992。

学会発表

- 1) 北川泰之¹⁾，前田昭太郎¹⁾，浅野伍朗¹⁾，白井康正²⁾ (¹⁾病理学第2，²⁾付属病院整形外科)：〔一般講演〕末梢 PNET の病理組織学的検討；第2報ユーイング肉腫と神経芽細胞腫の鑑別上の問題点。第81回日本病理学会総会，1992。
- 2) 前田昭太郎¹⁾，中川敬夫¹⁾，加藤圭子¹⁾，百田光弘¹⁾，東 敬子¹⁾，吉岡正智¹⁾，中島米次郎¹⁾，谷口善郎¹⁾，横山宗伯²⁾，北川泰之²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科，²⁾病理学第2)：〔一般講演〕乳腺の外來迅速穿刺吸引細胞診；第2報。第33回日本臨床細胞学会総会，1992。
- 3) 茶谷千歳¹⁾，白田忠男¹⁾，長尾 緑¹⁾，飯塚和弘¹⁾，中川敬夫¹⁾，加藤圭子¹⁾，前田昭太郎¹⁾，佐々木 茂²⁾，諏訪善宜²⁾，磯崎太一²⁾ (¹⁾荒川区癌予防センター，²⁾多摩永山病院産婦人科)：〔示説〕子宮頸部微小浸潤癌 (Ia 期癌) の細胞所見の検討 (第2報)。第33回日本臨床細胞学会総会，1992。
- 4) 百田光弘¹⁾，中川敬夫¹⁾，加藤圭子¹⁾，東 敬子¹⁾，前田昭太郎¹⁾，佐々木茂¹⁾，諏訪善宜¹⁾，磯崎太一¹⁾，横山宗伯²⁾，北川泰之²⁾ (¹⁾多摩永山病院産婦人科，²⁾病理学第2)：〔示説〕子宮頸管ポリープに発生した上皮内癌の1例。第33回日本臨床細胞学会総会，1992。

- 5) 松原美幸¹⁾, 田村浩一¹⁾, 杉崎祐一¹⁾, 釜口晴美¹⁾, 小西英喜¹⁾, 前田昭太郎, 鈴木恒道¹⁾(¹⁾付属病院病理部): [示説] 子宮体部扁平上皮癌の1例. 第33回日本臨床細胞学会総会, 1992.
- 6) 横沢俊一¹⁾, 田村浩一¹⁾, 渡會康彦¹⁾, 浅川一枝¹⁾, 鈴木恒道¹⁾, 前田昭太郎(¹⁾付属病院病理部): [示説] 癌細胞との鑑別が困難な異型細胞が出現した嚔下性肺炎の1例. 第33回日本臨床細胞学会総会, 1992.
- 7) 加藤圭子, 中川敬夫, 百田光弘, 東 敬子, 前田昭太郎, 吉岡正智¹⁾, 中島米次郎¹⁾, 谷口善郎¹⁾, 横山宗伯²⁾, 北川泰之²⁾(¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾病理学第2): [示説] 乳癌穿刺吸引細胞診の誤判定例の検討. 第33回日本臨床細胞学会総会, 1992.
- 8) 内山喜一郎¹⁾, 秋丸琥甫¹⁾, 長井一泰¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 中原昌子²⁾, 村瀬幸宏²⁾, 佐藤春明²⁾, 松本光司²⁾, 山田宣孝²⁾, 前田昭太郎(¹⁾外科学第2, ²⁾第一病院病理部): [示説] 乳腺の転移性悪性リンパ腫の1例. 第33回日本臨床細胞学会総会, 1992.
- 9) 荒尾正人¹⁾, 亀山元帥¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 洪 芳樹¹⁾, 小宮山徹三¹⁾, 杉木雄治¹⁾, 大津文雄¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 前田昭太郎, 早川弘一²⁾(¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾内科学第1): [一般講演] アスベルギルス心筋内浸潤により心筋梗塞発作が疑われた1剖検例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第114回学術集会, 1992.
- 10) 北川泰之¹⁾, 白井康正¹⁾, 前田昭太郎, 浅野伍朗²⁾(¹⁾付属病院整形外科, ²⁾病理学第2): [一般講演] 末梢性 PNET (Primitive neuroectodermal tumor) の病理学的検討(第3報); ユーイング肉腫と神経芽細胞腫の鑑別上の問題点. 第25回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 1992.
- 11) 谷口善郎¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 中島米次郎¹⁾, 和田雅世¹⁾, 小川芳雄¹⁾, 長谷川博一¹⁾, 前田昭太郎, 中川敬夫, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾(¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾外科学第1): [展示] 乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診; 誤判定例の検討. 第56回乳癌研究会, 1992.
- 12) 中川敬夫, 東 敬子, 加藤圭子, 清水秀樹, 前田昭太郎, 諏訪善宜¹⁾, 磯崎太一¹⁾, 佐々木茂¹⁾, 角田 隆²⁾, 吉田知永²⁾(¹⁾多摩永山病院産婦人科, ²⁾病理学第2): [一般講演] 子宮頸部 glassy cell carcinoma の1症例; その細胞・組織学的診断上の問題点. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 13) 角田 隆¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 白井康正²⁾, 井上惣一郎²⁾, 北川泰之²⁾, 松井琴恵²⁾, 皆川 敦²⁾, 松原美幸³⁾, 渡會泰彦³⁾, 鈴木恒道³⁾, 前田昭太郎(¹⁾病理学第2, ²⁾付属病院整形外科, ³⁾同病理部): [展示] 穿刺吸引細胞診にて診断し得た坐骨神経原発と考えられる脂肪肉腫の1症例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 14) 北川泰之¹⁾, 白井康正¹⁾, 前田昭太郎, 角田 隆, 須田 暁²⁾(¹⁾付属病院整形外科, ²⁾須田整形外科医院): [展示] 上腕骨に発生した骨内脂肪腫の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 15) 塚原佳世子²⁾, 清水秀樹, 加藤圭子, 中川敬夫, 前田昭太郎, 谷口善郎¹⁾, 中島米次郎¹⁾, 江上 格¹⁾, 吉岡正智¹⁾(¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾東京医学技術専門学校): [一般講演] 興味ある経過を辿った乳腺アポクリン癌の1例. 第6回日本臨床細胞学会関東連合会総会, 1992.
- 16) 北川泰之¹⁾, 白井康正¹⁾, 小黒辰夫²⁾, 佐々木善広²⁾, 山田宣孝³⁾, 村瀬幸宏³⁾, 前田昭太郎, 東 敬子, 浅野伍朗⁴⁾(¹⁾付属病院整形外科, ²⁾中央電子顕微鏡研究施設, ³⁾第一病院病理部, ⁴⁾病理学第2): [一般講演] いわゆる広義の末梢性 Primitive neuroectodermal tumor (PNET) の病理学的検討(第4報), 電顕的観察. 第24回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1992.
- 17) 北川泰之¹⁾, 白井康正¹⁾, 角田 隆¹⁾, 前田昭太郎(¹⁾付属病院整形外科): [一般講演] Spinal primitive neuroectodermal tumor の1例. 第41回東日本臨床整形外科学会, 1992.
- 18) 前田昭太郎: [一般講演] 軟部悪性腫瘍. 第24回細胞検査士ワークショップ, 1992.
- 19) 渡會泰彦¹⁾, 浅川一枝¹⁾, 横沢俊一¹⁾, 鈴木恒道¹⁾, 山中宣昭²⁾, 杉澤 裕³⁾, 前田昭太郎, 小黒辰夫⁴⁾(¹⁾付属病院病理部, ²⁾病理学第1, ³⁾付属病院泌尿器科, ⁴⁾中央電子顕微鏡室): [示説] 尿細胞診で診断した腎ペリーニ管癌の1例. 第31回日本臨床細胞学会秋期大会学術集会, 1992.
- 20) 松原美幸¹⁾, 杉崎祐一²⁾, 鈴木恒道¹⁾, 渡會泰彦¹⁾, 釜口晴美¹⁾, 角田 隆³⁾, 前田昭太郎(¹⁾付属病院病理部, ²⁾病理学第1, ³⁾病理学第2): [示説] 悪性血管周皮腫の穿刺吸引細胞診. 第31回日本臨床細胞学会秋期大会学術集会, 1992.

会, 1992.

- 21) 谷口善郎¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 田中洋介¹⁾, 中島米次郎¹⁾, 橋本正好¹⁾, 松田 健¹⁾, 松本智司¹⁾, 木村美保¹⁾, 前田昭太郎, 中川敬夫, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾外科第1): [展示] 乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診の有用性. 第1回日本乳癌検診学会, 1992.
- 22) 諏訪喜宜¹⁾, 佐々木茂¹⁾, 田中 彰¹⁾, 磯崎太一¹⁾, 家永 聡¹⁾, 田中純也¹⁾, 木島一洋¹⁾, 前田昭太郎, 中川敬夫, 清水秀樹, 加藤圭子 (¹⁾多摩永山病院産婦人科): [一般講演] 子宮頸部 glassy cell carcinoma 症例の免疫組織学的検討による一考察; その診断上の問題点. 第284回日本産婦人科学会東京地方部会例会, 1992.
- 23) 田島なつき¹⁾, 篠原義智¹⁾, 飯田英次¹⁾, 小林由子¹⁾, 山本 鼎¹⁾, 隈崎達夫²⁾, 前田昭太郎 (¹⁾多摩永山病院放射線科, ²⁾付属病院放射線科): [一般講演] 後腹膜神経節細胞腫の1例; 画像所見を中心に. 第397回日本医学放射線学会関東地方会, 1993.
- 24) 谷口善郎¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 中島米次郎¹⁾, 松田 健¹⁾, 松本智司¹⁾, 木村美保¹⁾, 前田昭太郎, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾外科第1): [展示] 乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診の意義. 第55回乳癌研究会, 1993.
- 25) 小林由子¹⁾, 飯田英次¹⁾, 杉崎健一¹⁾, 田島なつき¹⁾, 篠原義智¹⁾, 山本 鼎¹⁾, 木島一洋¹⁾, 諏訪喜宜²⁾, 佐々木茂²⁾, 前田昭太郎 (¹⁾多摩永山病院放射線科, ²⁾同産婦人科): [一般講演] 子宮脂肪腫の1例. 第398回日本医学放射線学会関東地方会, 1993.
- 26) 頼 徳成¹⁾, 添野眞一¹⁾, 星 慎一¹⁾, 鈴木 勲¹⁾, 島田早苗¹⁾, 中川敬夫, 清水秀樹, 加藤圭子, 前田昭太郎 (¹⁾多摩永山病院耳鼻咽喉科): [一般講演] 迅速診断上, 細胞診が有用であった嗅神経芽細胞腫の1例. 日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会第95回学術講演会, 1993.

[多摩永山病院中央検査室]

研究概要

当中央検査室では, 業務内容や技術員数および諸設備の上から系統的な研究には限度があり, 日常の検査業務のなかからの研究に心掛けている. なお, 多摩永山病院衛生委員会での病院内環境調査を中心に継続的な調査を行い報告している. 今後も各診療科と共同して臨床検査全般の技術と検査精度を向上させるため, 日常業務の中からテーマを見つけ研究を行っていきたい.

研究業績

学会発表

- 1) 井上 淳, 高橋由美子, 恩田怜子, 飯野幸永, 長澤紘一¹⁾ (¹⁾多摩永山病院内科): [展示] 有機リン中毒における1例; 硫酸バリウム服用後, 有機リン剤を服用した患者の検査値の変動. 第41回日本臨床衛生検査学会, 1992.
- 2) 高橋由美子, 酒井艶枝, 恩田怜子, 飯野幸永, 長澤紘一¹⁾ (¹⁾多摩永山病院内科): [展示] 人工担体を利用したHBs 抗原測定のための基礎的検討. 第41回日本臨床衛生検査学会, 1992.
- 3) 酒井艶枝, 井上 淳, 高橋由美子, 恩田怜子, 飯野幸永, 長澤紘一¹⁾ (¹⁾多摩永山病院内科): [展示] 全自動蛍光偏光免疫測定装置 TDX-FLX による血中薬物濃度の基礎的検討. 第41回日本臨床衛生検査学会, 1992.
- 4) 佐藤知枝, 柴田明佳, 飯野幸永, 畝本陽男¹⁾, 村田正弘¹⁾, 北村誠一²⁾, 石川富雄³⁾, 本間妙子⁴⁾, 福岡イツ子⁴⁾, 野口 素⁴⁾, 政次富美子⁴⁾, 鈴木 健⁵⁾, 田中洋介⁶⁾ (¹⁾多摩永山病院薬剤科, ²⁾同放射線科, ³⁾同栄養課, ⁴⁾同看護部, ⁵⁾同内科, ⁶⁾同消化器科): [一般講演] 多摩永山病院における定期的細菌検査について (第4報). 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 5) 石渡統夫, 酒井艶枝, 恩田怜子, 奥田朗夫, 飯野幸永, 長澤紘一¹⁾ (¹⁾多摩永山病院内科): [展示] HB ワクチン接種4年経過後の抗体価の推移. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.

- 6) 柴田明佳, 佐藤知枝, 飯野幸永, 畝本賜男¹⁾, 村田正弘¹⁾, 北村誠一²⁾, 石川富雄³⁾, 本間妙子⁴⁾, 福岡イツ子⁴⁾, 野口 素⁴⁾, 政次富美子⁴⁾, 鈴木 健⁵⁾, 田中洋介⁶⁾, 吉岡正智⁷⁾ (¹⁾多摩永山病院薬剤科, ²⁾同放射線科, ³⁾同栄養課, ⁴⁾同看護部, ⁵⁾同内科, ⁶⁾同消化器科, ⁷⁾同外科): [一般講演] 当院における院内環境調査 (第2報); 手術室について, 第14回日本手術部医学会総会, 1992.
- 7) 井上 淳, 久保田稔, 恩田怜子, 柴田明佳, 坂爪百合子, 佐藤知枝, 飯野幸永, 畝本賜男¹⁾, 村田正弘¹⁾, 黒川 顯²⁾, 須崎紳一郎²⁾, 中村圭志³⁾, 坂本幸廣³⁾, 緋田雅美³⁾ (¹⁾多摩永山病院薬剤科, ²⁾同救命救急センター, ³⁾同看護部): [一般講演] 救命救急センターにおける MRSA 感染症の対策 (第2報); 環境清浄化に関して (シャットノクサスの試用と効果), 第8回日本環境感染学会総会, 1992.

[多摩永山病院薬剤科]

研究概要

当薬剤科は病院薬剤師の本来実施すべき薬剤師職能を追求することを目標として, 実践執務に直結したテーマを中心に研究を行なっている。臨床各診療科と共同で, 分析, 合成, 情報評価などに薬剤師の技術, 知識が活用できる問題を対象にしていきたい。

臨床薬学実践を通じて薬物療法を患者個人別に効率化するための試行を重ねてきた。TDM(薬物の体液内濃度測定)や患者への服薬指導などは, 医療の効率をアップすることを実証したが, 今後はこれを普遍化する努力をしたい。医薬品に関しても実務的な評価基準が求められているので医薬品情報の総合的検討を進めている。

研究業績

論文

- 1) 中島博子¹⁾, 片岡博邦²⁾, 渡辺ひとみ³⁾, 浜田康次, 宿前貴子, 村田正弘 (¹⁾第一病院薬剤科, ²⁾付属病院薬剤部, ³⁾第二病院薬剤科): [原著] 医薬品情報システムの構築; 多施設使用共通医薬品集の作成. 医薬ジャーナル, 29, 327~332, 1993.
- 2) 椎野元裕, 村田正弘: [解説] 注射薬調剤における製品の分割使用の問題点 (特集: 注射薬調剤; 最近の話題), 月刊薬事, 34, 2727~2734, 1992.
- 3) 村田正弘: [論説] 患者の知る権利と医薬品情報; 薬剤師の立場から (資料: 日本薬学会111年会. 『薬と社会』部会シンポジウム記録). 社会薬学, 11, 87~91, 1992.
- 4) 村田正弘: [解説] 迅速診断と薬物分析 (特集: 中毒患者の処置と看護). Emergency Nursing 春季増刊, 14~19, 1993.
- 5) 村田正弘: [論説] インフォームド・コンセントと薬剤師の対応 (特集). 日本病院薬剤師会雑誌, 28, 288~292, 1992.

著書

- 1) 平田清貴¹⁾, 山本保博¹⁾, 田口元子 (¹⁾救命救急センター): [共著] 輸液, 輸血, 救急薬 TODAY. メディカ出版, 1991.
- 2) 平田清貴, 山本保博¹⁾他 (¹⁾救命救急センター): [共著] 救急イラストレイテッドマニュアル. 文光堂, 1992.

学会発表

- 1) 畝本賜男, 宿前貴子, 村田正弘, 松園幸雅²⁾, 布施 明²⁾, 富岡譲二²⁾, 須崎紳一郎²⁾, 牧野俊郎²⁾, 黒川 顯²⁾, 山本保博²⁾ (¹⁾救命救急センター): [一般講演] ポンタール (メフェナム酸) 中毒患者における血中濃度の検討.

第14回日本中毒学会, 1992.

- 2) 畝本賜男, 村田正弘, 井上 淳¹⁾, 飯野幸永¹⁾, 中村圭志³⁾, 坂本幸廣³⁾, 緋田雅美³⁾, 須崎紳一郎³⁾, 黒川 顕³⁾
(¹⁾中央検査室, ²⁾救命救急センター): [一般講演] 救命救急センターの室内消毒における噴霧式消毒法の検討, 第5回医工学治療研究会, 1993.
- 3) 平田清貴, 内田裕子, 渡辺 徹, 村田正弘: [一般講演] プラバスタチン10mg 錠の有用性について, 第22回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会, 1992.
- 4) 富岡勝世, 中原保裕, 村田正弘, 佐々木美典¹⁾, 大木清司¹⁾, 杉木雄治¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 長沢紘一¹⁾
(¹⁾内科): [一般講演] パンコマイシン投与方法の検討, 第13回日本臨床薬理学会, 1992.
- 5) 村田正弘, 阿部和史¹⁾他 (¹⁾都立府中病院): [一般講演] 薬剤師によるペン型注射器『ノボベン』指導報告第2報, 指導前後の血糖コントロール, 日本薬学会第113年会, 1993.
- 6) 村田正弘, 朝長文弥¹⁾他 (¹⁾北里大学病院): [報告] 薬剤業務マニュアル作成のための調査研究, 日本薬学会第113年会 病院薬局協議会, 1993.

[多摩永山病院看護部]

研究概要

- 1) タイムスタディ調査により, 外来看護業務の分析を行った. 適正な人員配置で効率的な外来運営を図るための方策を検討した.
- 2) 看護部と薬剤科との連携により注射薬の定数配置方式からトランスファーカートによる1本渡し方式への移行, 入院定時処方ワンドーズ方式および内服薬の自己管理の3点について業務改善を行った.
- 3) Molter の示す45項目の重傷患者のコードにより, アンケート調査を家族および医療者側に行い, 家族への効果的援助の実施に有効な結果を得た.
- 4) 心筋梗塞患者の退院後の生活指導が患者各人に適したものであるよう, 血圧・心拍数の日内変動を記録し検討した.
- 5) 薬物服用による自殺企図の症例を通し, キュアが優先される期間であっても精神的ケアの強化, 心身共に「安楽」な状態を創りだしていく看護を展開していかなければならないことを再認識した.

研究業績

論文

- 1) 永田信子, 西山弘子, 政次富美子: [報告] 外来の看護業務調査から適正人員配置を探る, 看護部門, 5, (5), 12~24, 1992.
- 2) 遠藤三代子: [報告] 薬剤師との連携により3段階ですすめた業務改善, 看護展望, 18, (2), 19~25, 1993.

学会発表

- 1) 新屋典子, 上床明子, 小口博行, 橋本聡隆, 緋田雅美, 坂本幸廣, 西山弘子: [一般講演] 面会における家族への援助; アンケートを実施し家族援助を振り返る, 第33回救急医学会関東地方会, 1992.
- 2) 河村加奈子: [一般講演] 血圧・心拍数の日内変動に関する検討, 第18回看護研究学会, 1992.
- 3) 緋田雅美, 西山弘子¹⁾, 黒川 顕²⁾, 山本保博²⁾ (¹⁾多摩永山病院救命救急センター): [一般講演] 自殺企図による中毒患者の看護, 第7回日本中毒学会東日本部会, 1992.
- 4) 西山弘子: [教育講演] 救急医療の変遷と救急看護の実際, 丸子看護専門学校シンポジウム, 1992.
- 5) 佐藤知枝¹⁾, 柴田明佳¹⁾, 飯野幸永¹⁾, 畝本賜男²⁾, 村田正弘²⁾, 北村誠一³⁾, 石川富雄⁴⁾, 本間妙子⁵⁾, 福岡イツ子⁵⁾, 野口 素⁵⁾, 政次富美子⁵⁾, 鈴木 健⁶⁾, 田中洋介⁷⁾ (¹⁾多摩永山病院中央検査室, ²⁾同薬剤科, ³⁾同放射線科, ⁴⁾同

栄養課, ⁶⁾同内科, ⁷⁾同消化器科) : [一般講演] 多摩永山病院における定期的細菌検査について ; 第 4 報, 第 60 回日本医科大学医学会総会, 1992.

- 6) 柴田明佳¹⁾, 佐藤知枝¹⁾, 飯野幸永¹⁾, 畝本賜男²⁾, 村田正弘²⁾, 北村誠一³⁾, 石川富雄⁴⁾, 本間妙子, 福岡イツ子, 野口 素, 政次富美子, 鈴木 健⁶⁾, 田中洋介⁶⁾, 吉岡正智⁷⁾ (¹⁾多摩永山病院中央検査室, ²⁾同薬剤科, ³⁾同放射線科, ⁴⁾同栄養課, ⁵⁾同内科, ⁶⁾同消化器科, ⁷⁾同外科) : [一般講演] 当院における院内環境調査 (第 2 報), 第 14 回日本手術部医学会総会, 1992.

- 7) 井上 淳¹⁾, 久保田稔¹⁾, 恩田怜子¹⁾, 柴田明佳¹⁾, 坂爪百合子¹⁾, 佐藤知枝¹⁾, 飯野幸永¹⁾, 畝本賜男²⁾, 村田正弘²⁾, 黒川 顕³⁾, 須崎紳一郎³⁾, 中村圭志, 坂本幸廣, 緋田雅美 (¹⁾多摩永山病院中央検査室, ²⁾同薬剤科, ³⁾同救命救急センター) : [一般講演] 救命救急センターにおける MRSA 感染症の対策 ; 第 2 報, 環境清浄化に関して (シャットノクサスの試用と効果), 第 8 回日本環境感染学会総会, 1992.

〔 4 〕 付 置 研 究 施 設

1. 老人病研究所

研究概要

老化の生物説は個体を構成している各組織および臓器の機能低下と、その要因のすべてを老化の原因としてとりあげてを許容する。age-related change が、今日なお広汎に追跡されている理由もここにある。動脈、脳、骨および各組織の経年変化は、それらが動脈硬化、脳血管障害、梗塞、痴呆、骨粗鬆症、ガンおよび自己免疫疾患など加齢とともに多発する疾患との関連で重要である。老研各部門はそれらを病理学的、生化学的、免疫学的、分子生物学的に追跡するとともに個々の臓器の経年変化と個体の機能低下との関わり合いについても総合的に検索を進め、老化抑制を目標に研究する。疫学部門は以上の老年期疾患を疫学的、社会学的にとりあげ研究する。また、新設された臨床部門では、人間ドック外来患者を中心に、①ガンおよび骨粗鬆症の早期発見診断法の比較検討、②今日のニーズに答えるためのドックのあり方などの研究を行っている。

各部門はまた、従来の研究とともに重点の一つを「痴呆」に定めている。

1) 動脈硬化関連：①同一老人(10名)の血清脂質および cholesterol dynamics を8年間追跡、さらに継続中。②八丈島の脳梗塞発生の低率を、血中ホモステイン量と食事 V.B6 含量を中心に追跡中。③ホモステインの血管、骨、脳、その他の組織への害作用を細胞内 ATP の減少との関連で検索。④ストレスの効果が高 TC 状態で増幅される要因を TXA_2/PGI_2 以外 (EDRF など) にも求めて追跡中。⑤ホモステインの血管害作用を independent risk として確認。

2) 胸部交感神経節の冠動脈血流量に及ぼす影響についての実験的研究。

3) 痴呆関連：①ホモステインと脳梗塞、脳動脈硬化および骨粗鬆症との関連(メチオニン食飼育により大動脈脂質沈着、骨量減少、脳障害の発生を確認)。②アルミニウム脳症の実験的研究。③アルコールの脳に及ぼす影響。

4) 遺伝子関連：① transgenic mice を利用して、oncogene の腫瘍形成能について研究中。②ガン遺伝子 fos, myb の関連遺伝子の単離とその機能の解析。

5) ①慢性関節リウマチの実験モデルの作製を介しての自己免疫疾患の成立機転の解明。②老化における常在細菌叢由来成分の意義。③ストレプトキナーゼによるプラスミノゲン活性機構の分子レベルでの解析を通して血栓溶解機構の解明。④川崎病の病因としての口腔細菌種の検索。

6) 疫学的検索：①山間部の人口過疎地に発生した C 型肝炎を原因とする肝機能異常者の長期観察。②モデル地域を設定し、高齢社会に対応する保険・福祉のあり方について検討中。③健康審査受診者の意識および受診行動などの行動医学的解析。

研究業績

論文

- 1) Todome, Y., Ohkuni, H., Mizuse, M., Furuya, M., Fujikawa, S.¹⁾, Tanaka, S.²⁾, Watanabe, N.²⁾, Fujii, K.³⁾, and Zabriskie, J.B.⁴⁾ (¹⁾独協医大小児科, ²⁾杏林大・医・小児科, ³⁾慈恵医大・整形外科, ⁴⁾ロックフェラー大): [原著] Detection of antibodies against streptococcal peptidoglycan and the peptide subunit (synthetic tetra-D-alanyl-bovine serum albumin complex) in rheumatic diseases. *Int. Arch. Allergy Immunol.*, 97, 301~307, 1992.
- 2) Kiyama, T.¹⁾, Onda, M.¹⁾, Tokunaga, A.¹⁾, Fujita, I.¹⁾, Okuda, T.¹⁾, Mizutani, T.¹⁾, Yoshiyuki, T.¹⁾, Simizu, Y.¹⁾, Nishi, K.¹⁾, Matsukura, N.¹⁾, Tanaka, N.¹⁾, Todome, Y., Ohkuni, H., and Asano, G.²⁾ (¹⁾外科第1, ²⁾病理第2): [原著] Correlation between epidermal growth factor receptor concentration and the growth of human gastric cancer xenografts in nude mouse. *Gastroenterol. Jpn.*, 27, 459~465, 1992.
- 3) Urasawa, S.¹⁾, Hasegawa, A.²⁾, Urasawa, T.¹⁾, Taniguchi, K.¹⁾, Wakasugi, F.¹⁾, Suzuki, H., Inouye, S.³⁾,

Pongprot, B.⁴⁾, Supawadee, J.⁴⁾, Suprasert, S.⁴⁾, Rangsiyanond, P.⁴⁾, Tonusin, S.⁴⁾, and Yamazi, Y.⁵⁾ (¹⁾札幌医科大学・衛生, ²⁾予研, ³⁾公衆衛生院, ⁴⁾Chiang Mai 大, ⁵⁾微生物免疫): [原著] Antigenic and genetic analyses of human rotaviruses in Chiang Mai, Thailand: Evidence for a close relationship between human and animal rotaviruses. J. Infect. Dis., 166, 227~234, 1992.

- 4) 大網 弘, 横田 隆, 森 隆, 大石一二三¹⁾, 渡辺乾二²⁾ (¹⁾協同乳業研, ²⁾岐阜大・農・食品科学): [原著] 鶏卵卵白オボムチン由来シアロ糖蛋白質の腫瘍細胞傷害作用. 医学と生物学, 126, 20~23, 1993.
- 5) 高木信一, 福生吉裕¹⁾, 瀬田健一²⁾, 斉藤俊光³⁾, 中嶋克行³⁾, 長谷川卓志, 中島信治, 赫 彰郎¹⁾ (¹⁾内科第2, ²⁾博慈会老研病院, ³⁾日本抗体研): [原著] 慢性期脳梗塞患者における血中 Remnant-like Particles (Lipo-Z), アポリポ蛋白および血清脂質の検討. 動脈硬化, 20, 675~679, 1992.
- 6) Date, T.¹⁾, Tanihara, K.¹⁾, Yamamoto, S.¹⁾, Nomura, N., and Matsukage, A.²⁾ (¹⁾金沢医大・生化, ²⁾愛知がんセンター・細胞生物): [原著] Two regions in human DNA polymerase β mRNA suppress translation in *Escherichia coli*. Nucleic Acids Res., 20, 4859~4864, 1992.
- 7) 長谷川卓志, 高木信一, 西嶺貴代美, 中島信治: [報告] ストレス負荷時における血中L-アルギニンレベルについて. 動脈硬化, 20, 1017~1020, 1992.
- 8) Nomura, N., Zu, Y.-L.¹⁾, Maekawa, T.¹⁾, Tabata, S.²⁾, Akiyama, T.³⁾, and Ishii, S.¹⁾ (¹⁾理研つくばセンター・分子遺伝, ²⁾名大・理, ³⁾阪大・微研): [原著] Isolation and chracterization of novel member of the gene family encoding the cAMP response element-binding protein CRE-BP1. J. Biochem., 268, 4259~4266, 1993.
- 9) 野村信夫: [総説] 癌遺伝子ノート: Ski 遺伝子. 蛋・核・酵, 37, 1561~1562, 1992.

著 書

- 1) 大国寿士, 留目優子: [分担] レンサ球菌の培地. “レンサ球菌感染症—その基礎と臨床—” (塩川優一, 吉岡守正, 浜田茂幸編), p. 53~65, 広川書店, 1992.
- 2) 大国寿士: [分担] レンサ球菌感染における生体の自然防御因子. “レンサ球菌感染症—その基礎と臨床—” (塩川優一, 吉岡守正, 浜田茂幸編), p. 262~268, 広川書店, 1992.
- 3) 大国寿士: [分担] レンサ球菌感染に対する生体の免疫応答. “レンサ球菌感染症—その基礎と臨床—” (塩川優一, 吉岡守正, 浜田茂幸編), p. 268~289, 広川書店, 1992.
- 4) Takano, M.¹⁾, Izumi, Y.¹⁾, Kamei, Y.¹⁾, Ueda, H.¹⁾, Miyanaga, Y.¹⁾, Todome, Y., and Ohkuni, H. (¹⁾東女医大・眼科): [分担] Eliciting mechanism of endogenous uveitis due to *Streptococcus sanguis*. “Current Aspects in Ophthalmology” (Shimizu, K. ed), p. 1247~1253, Elsevier Science Publishers B. V., (New York), 1992.
- 5) 津島慶三¹⁾, 富村太郎²⁾, 後藤至孝³⁾, 下川千代子²⁾, 中島信治 (¹⁾横浜市立大, ²⁾相模女子大, ³⁾滝野川保健所): [翻訳・分担] “高齢者, 特殊な難題をもつ個人”, 実践栄養学—保健医療者のためのクイックリファレンス—. (富村太郎 監訳), p. 247~316, 文光堂, Aspen Publishers, Inc., (Maryland), 1992.

学会発表

- 1) 細根 勝¹⁾, 尾見徳弥¹⁾, 赤須東樹¹⁾, 川並汪一¹⁾, 小山美弥, 大網 弘, 野村信夫(¹⁾第二病院病理): [一般講演] 皮膚との境界領域における HPV 感染. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 2) 小山美弥, 細根 勝¹⁾, 尾見徳弥¹⁾, 赤須東樹¹⁾, 川並汪一¹⁾, 野村信夫, 石崎良太郎²⁾, 清水 一, 枝川聖子, 横田 隆, 片山博徳, 大網 弘 (¹⁾第二病院病理, ²⁾日獣大・分子腫瘍): [一般講演] PCR によるパピローマウィルスの検出. 第81回日本病理学会総会, 1992.
- 3) 清水 一, 横田 隆, 枝川聖子, 片山博徳, 関谷正雄, 石崎良太郎¹⁾, 大網 弘 (¹⁾日獣大・分子腫瘍): [一般

講演] アルミニウム投与による PC12細胞の形態学変化. 第81回日本病理学会総会, 1992.

- 4) 佐次 守¹⁾, 田口桜子¹⁾, 向坂元秀²⁾, 戸早玲子²⁾, 葉山修陽³⁾, 内山喜一郎⁴⁾, 星 健二⁵⁾, 大国寿士^{(1)第一病院・薬剂科, 2)同中検, 3)内科第2, 4)外科第2, 5)皮膚科}): [一般講演]MRSA 感染病巣に対する有機色素剤 gentiana violet (pioktanin blue) の局所治療薬としての検討. 第66回日本感染症学会総会, 1992.
- 5) 森田恵子, 石橋佳朋, 長谷川卓志, 中島信治: [一般講演]含硫アミノ酸とその代謝物の Ca 代謝に及ぼす影響. 第46回日本栄養・食糧学会総会, 1992.
- 6) 大国寿士: [特別講演]連鎖球菌の kinase について. 第4回プロテインA研究会, 1992.
- 7) 高木信一, 長谷川卓志, 西槇貴代美, 石橋佳朋, 森田恵子, 中島信治: [一般講演]ストレス負荷時における血中アルギニンレベルについて. 第24回日本動脈硬化学会総会, 1992.
- 8) 山下哲次¹⁾, 栗本文彦¹⁾, 留目優子, 水瀬 学, 大国寿士^{(1)三菱油化ビーシーエル}): [一般講演]慢性関節リウマチ (RA) および川崎病における soluble-CD 14抗原測定 of 臨床的意義. 第13回日本炎症学会総会, 1992.
- 9) 水瀬 学, 留目優子, 関谷政雄, 大国寿士: [一般講演]川崎病患児より分離した緑色レンサ球菌群と HSP70. 第13回日本炎症学会総会, 1992.
- 10) 関谷政雄: [一般講演]集検からみたストレスの要因分析について. 第33回日本人間ドック学会総会, 1992.
- 11) 大谷信崇¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 留目優子, 水瀬 学, 大国寿士, 鈴木英史, 恩田昌彦^{2)(1)病理第2, 2)外科第1}): [展示]可溶性 CD14の shedding に関する研究 (第1報); sCD14の測定法についての基礎的検討. 第60回日本医大医学会総会, 1992.
- 12) 清水 一, 横田 隆, 枝川聖子, 片山博徳, 森 隆, 石崎良太郎¹⁾, 小黒辰夫²⁾, 大網 弘^{(1)日獣大・分子腫瘍, 2)中央電頭}): [展示]アルミニウム投与による PC 12細胞の形態学変化. 第60回日本医大医学会総会, 1992.
- 13) 片山博徳, 横田 隆, 森 隆, 広中貴宏¹⁾, 大石一二三¹⁾, 大網 弘^{(1)協同乳業研}): [展示]癌細胞保有ヘパリチナーゼに対するモノクローナル抗体の作製. 第60回日本医大医学会総会, 1992.
- 14) 森 隆, 清水 一, 横田 隆, 枝川聖子, 片山博徳, 大網 弘, 永田和哉¹⁾, 佐々木富雄²⁾, 高倉公朋^{2)(1)新東京病院, 2)東大脳外}): [展示]免疫抑制剤投与による遅発性脳血管攣縮の予防効果および攣縮血管の免疫組織化学的研究. 第60回日本医大医学会総会, 1992.
- 15) 長谷川卓志, 高木信一, 西槇貴代美, 石橋佳朋, 中島信治: [展示]ストレス負荷時における血中アルギニンレベルについて. 第60回日本医大医学会総会, 1992.
- 16) 西槇貴代美, 長谷川卓志, 戸嶋恵子, 石橋佳朋, 中島信治: [展示]Methionine 多量投与の脳および血管系に及ぼす影響についての研究 (3). 第60回日本医大医学会総会, 1992.
- 17) 戸嶋恵子, 中島信治, 松本譲二¹⁾, 菊池三郎¹⁾^{(1)第二病院産婦人科}): [展示]ラット妊娠期におけるカルシウム摂取量の母仔骨塩含量に及ぼす影響. 第60回日本医大医学会総会, 1992.
- 18) 片山博徳, 広中貴宏¹⁾, 大石一二三¹⁾, 横田 隆, 小山美弥, 大網 弘^{(1)協同乳業研}): [展示]癌細胞保有ヘパリチナーゼの免疫組織化学的検索. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 19) 岡 史徳¹⁾, 中神義三¹⁾, 阿部裕行¹⁾, 伊藤 博¹⁾, 池田一則¹⁾, 石崎良太郎^(第一病院泌尿器科)): ヒト前立腺癌細胞株における ONCOGENE に関する研究. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 20) 坂本隆子¹⁾, 野村信夫, 小山美弥, 石崎良太郎, 園田 隆¹⁾, 小尾俊一¹⁾, 安井 洋¹⁾, 荻野雅弘¹⁾, 山本樹生¹⁾, 森 宏之¹⁾, 沖永莊一¹⁾^{(1)帝京大産婦人科}): [展示]卵巣癌における p53および第17染色体の欠失. 第51回日本癌学会総会, 1992.
- 21) 鈴木 博, 長谷川斐子¹⁾, 井上 栄²⁾, 高橋修和, 山地幸雄³⁾^{(1)予研, 2)公衆衛生院, 3)微生物免疫}): [一般講演]タイ国チェンマイ地区における乳幼児のロタウィルス感染の長期追跡. 第40回日本ウィルス学会総会, 1992.
- 22) 大国寿士, 留目優子, 水瀬 学, 大谷信崇, 鈴木英史, 片野民貴¹⁾, 鴨頭 峻¹⁾^{(1)大塚製薬・細胞工学研}): [展示]Nephritis strain-associated streptokinase (NSA-SKase) のエピトープに関する研究. 第66回日本細菌学会総会, 1993.

- 23) 藤巻わかえ¹⁾, 加藤秀人¹⁾, 五十嵐英夫²⁾, 大国寿士, 留目優子, 高田春比古³⁾, 小谷尚三⁴⁾, 内山竹彦¹⁾(¹⁾東女医大・微生物, ²⁾都衛研・微生物, ³⁾鹿児島大・歯・口腔細菌, ⁴⁾大阪医療技術): [一般講演] *Streptococcus mitis* が産生するスーパー抗原活性を示す外毒素の性状と病原性について, 第66回日本細菌学会総会, 1993.
- 24) 長瀬隆弘¹⁾, 野村信夫, 石井俊輔¹⁾(¹⁾理研つくばセンター・分子遺伝): [一般講演] ski 遺伝子産物の複合体形成能, 第15回日本分子生物学会年会, 1992.
- 25) 祖 幼立¹⁾, 野村信夫, 前川利男¹⁾, 田畑哲之²⁾, 石井俊輔¹⁾(¹⁾理研つくばセンター・分子遺伝, ²⁾名大・理): [一般講演] CRE 結合蛋白質 CRE-BPa による転写制御, 第15回日本分子生物学会年会, 1992.
- 26) 石見幸夫¹⁾, 中田朋子, 奥田明日子¹⁾, 菊池昭彦¹⁾(¹⁾三菱生命研): [シンポジウム] ヌクレオソームアッセンブリーたんぱくの構造と酵母における欠失変異株の解析, 第15回日本分子生物学会年会, 1992.

2. ワクチン療法研究施設

研究概要

昭和47年の当施設開設以来、21年を経過、SSM（人型結核菌体抽出物質）使用登録悪性腫瘍患者累積数は、平成5年5月26日現在、296,824例を算した。丸山千里先生のご逝去1年後も以前同様、日に新患50名前後、再来・郵送を含めて、500名もの多数の紹介患者を迎えている。従来からの2万数千名にのぼる共同治験医師に、さらに新しい協力医療機関の参入がみられ、世界に先駆けて非特異的癌免疫療法を唱導された故丸山千里先生の丸山ワクチンという偉大な遺産が、進行末期癌の治療において一層定着しつつある。SSM濃厚溶液（健保適用）の放射線療法との併用も順調に経過しつつある。

SSMの臨床比較対照試験には、既報のごとく、東海地区SSM共同研究班によるもの、二重盲検法による東北地区SSM研究会によるものなど、アメリカにおける丸山ワクチン物質特許成立要件にもなり得た優れた臨床研究がある。現在、SSMの産婦人科領域の悪性腫瘍の放射線療法併用時における臨床効果について、全国の国公立大学・国公立病院などにおいて治験が進められている。

1979年から1993年3月までの14年間の患者累積数は、194,330例で、内訳は胃癌54,386、肺癌26,892、腸癌22,020、乳癌11,023、子宮癌7,226、食道癌4,454、胆道癌5,956、卵巣癌4,730、膵癌 9,287、肝癌13,156、悪性リンパ腫1,953例などで、18,114例（9.32%）が3年以上の長期SSM加療例であった。

BRMであるSSMは、悪性腫瘍治療における全身療法として重責を果たしており、その治療状況や成績については疾患別にも報告している。特に、高齢者の進行末期癌においてQOLと延命効果の立場から、SSM療法の優れた点についても説明されつつある。

また、分子レベルでSSM長期使用例とHLA型との関連を検討中であり、さらにSSM経口投与の可能性についても検討を重ねている。

研究業績

論文

- 1) 藤田敬四郎, 新井愛彦, 平井敏之, 丸山千里, 飯田智博¹⁾, 与那嶺京子¹⁾, 野坂啓介¹⁾, 石島 明¹⁾, 林 和彦¹⁾, 田所 衛²⁾, 星 恵子³⁾ (¹⁾聖マリアンナ医科大学産婦人科, ²⁾同病理学, ³⁾川崎市立向丘診療所): [原著] 試験開腹時の巨大悪性腫瘍が, 短期の化学, 長期の免疫療法により, 消退健存する1例. 日産婦東京地方会誌, 41, 186~189, 1992.
- 2) 浅川光夫¹⁾, 飯田和美, 平井和人²⁾, 清水真澄³⁾, 七戸和博³⁾ (¹⁾解剖学第2, ²⁾日本医学技術専門学校, ³⁾実験動物管理室): [臨床・実験報告] スナネズミ (*Meriones unguiculatus*) の臓器重量について. 日医大誌, 59, 186~189, 1992.
- 3) 平井敏之, 宮崎定活, 飯田和美, 藤田敬四郎, 後藤博一, 大竹 稔: [原著] 進行期膵癌の長期(3年)生存症例について. 日医新報, 43~46, 1992.

学会発表

- 1) 仲地紀良, 藤田敬四郎, 飯田和美, 平井敏之, 後藤博一, 新井愛彦, 岩城弘子, 宮崎定活, 大竹 稔: [展示] 当施設における結核菌体抽出物質(SSM)使用登録癌患者の現況と10年以上加療中の巨大悪性リンパ腫の1例. 第60回日本医科大学医学会総会, 1992.
- 2) 藤田敬四郎, 飯田和美, 後藤博一, 新井愛彦, 仲地紀良, 平井敏之, 宮崎定活, 岩城弘子, 大竹 稔: [示説] 当施設における結核菌体抽出物質(SSM)使用登録癌患者の現況(第14報). 第30回日本癌治療学会総会, 1992.

あ と が き

最近、大学の自己点検、自己評価の必要性が盛んに議論されるようになった。本学においても平成5年に、自己点検委員会が設置され活動を開始している。研究業績の評価は、重要な自己点検項目の一つであり、本研究年報の持つ意義がますます高まっている。研究委員会では現在、研究業績の評価方法についての議論を始めている。この中で、本学では原著論文（特に欧文論文）を発表しても、研究費や人事の点であまり評価されないことに対する不満や、逆に、論文偏重主義に対する反論など多くの意見が出されている。研究委員会としては今後、これらの問題も含め、医科大学での基礎および臨床医学研究がどうあるべきかについて議論を進めていきたいと考えている。また、この中で現在の研究業績年報の内容や形態についても見直していきたいと考えている。

平成5年12月

研究委員会委員長 島 田 隆

平成6年 1 月 10 日 印 刷

平成6年 1 月 15 日 発 行

発 行 日 本 医 科 大 学
研 究 委 員 会

〒113 東京都文京区千駄木 1-1-5

TEL 03 (3822) 2 1 3 1

印 刷 株 式 会 社 杏 林 舎

〒114 東京都北区西ヶ原 3-46-10

TEL 03 (3910) 4 3 1 1~5

